

QNAP Turbo NAS

取扱説明書

(バージョン: 3.8)

© 2013 QNAP Systems, Inc. All Rights Reserved.

目次

1. 注意	5
1.1 規制の通知	6
1.2 本書で使用される記号	7
1.3 安全に関する警告	8
2. 始めましょう	9
2.1 CD-ROM の検索	15
2.2 ハードディスクの推奨リスト	17
2.3 システムステータスのチェック	18
2.4 NAS ネットワーク共有に接続	21
2.5 Web ブラウザを使って NAS に接続	23
2.6 システム移行	29
3. システム管理	32
3.1 全般設定	33
3.2 ネットワーク	37
3.3 サービスバインディング	58
3.4 ハードウェア	60
3.5 セキュリティ	64
3.6 通知	67
3.7 電源管理	74
3.8 ネットワークごみ箱	76
3.9 設定のバックアップ/復元	77
3.10 システムログ	78
3.11 ファームウェア更新	84
3.12 工場出荷時設定の復元	88
4. ディスク管理	89
4.1 ボリューム管理	89
4.2 RAID管理	93
4.3 ハードディスクS.M.A.R.T.	118
4.4 暗号化ファイルシステム	119
4.5 iSCSI	129
4.5.1 ポータル管理	129
4.5.2 ターゲット管理	142
4.5.2.1 WindowsのMicrosoft iSCSIイニシエータを使用したNASへの接続	155
4.5.2.2 Mac OSのXtend SAN iSCSIイニシエータを使用したNASへの接続	161
4.5.2.3 Ubuntu LinuxのOpen-iSCSIイニシエータを使用して接続する	168
4.5.3 拡張ACL	170
4.5.4 LUN バックアップ	174

4.6 仮想ディスク	193
5. アクセス権管理	198
5.1 ドメインのセキュリティ	198
5.1.1 NASをWindows Server 2003/2008 Active Directoryに結合します	200
5.1.2 NAS の LDAP ディレクトリへの接続	214
5.2 ユーザ	221
5.3 ユーザグループ	237
5.4 共有フォルダ	238
5.5 クォータ	270
6. ネットワーク サービス	271
6.1 Microsoftネットワーク	272
6.2 Appleネットワーク	276
6.3 NFSサービス	279
6.4 FTPサービス	282
6.5 Telnet/SSH	284
6.6 SNMP設定	285
6.7 Webサーバ	287
6.7.1 仮想ホスト	311
6.8 ネットワークサーチサービス	313
7. アプリケーション・サーバー	315
7.1 Web File Manager	316
7.2 マルチメディアステーション (Multimedia Station)	334
7.2.1 QMobile	365
7.3 Photo Station	393
7.4 Music Station	418
7.5 Download Station	441
7.6 Surveillance Station	463
7.7 iTunes サービス	472
7.8 DLNAメディアサーバ	475
7.9 MySQLサーバ	476
7.10 QPKG Center	478
7.11 Syslogサーバ	482
7.12 RADIUS サーバ	487
7.13 バックアップサーバー	491
7.14 アンチウイルス	495
7.15 TFTPサーバ	504
7.16 VPN サービス	505
7.17 LDAP サーバ	521
8. バックアップ	526

8.1 リモートレプリケーション	526
8.2 クラウドバックアップ	552
8.3 Time Machine	562
8.4 外部ドライブ	568
8.5 USBワンタッチコピー	582
9. 外部デバイス	585
9.1 外部ストレージデバイス	585
9.2 USBプリンタ	595
9.2.1 Windows 7, Vistaユーザー	598
9.2.2 Windows XPユーザー	605
9.2.3 Mac OS 10.6	607
9.2.4 Mac OS 10.5	610
9.2.5 Mac OS 10.4	615
9.2.6 Linux (Ubuntu 10.10)	620
9.3 UPS設定	625
10. MyCloudNAS サービス	630
10.1 MyCloudNAS ウィザード	631
10.2 MyCloudNAS構成	640
10.3 自動ルータ構成	648
11. システムステータス	651
11.1 システム情報	651
11.2 システムサービス	652
11.3 リソースモニタ	653
12. LCDパネルの使用	656
13. インターネットから QNAP NASをアクセスする (DDNSサービス)	663
14. QNAP NASで SMS、電子メール、IM Alertをセットアップします	673
15. メディアプレーヤー用に UPnPメディアサーバをセットアップする	685
16. QNAP NASにて PHPBBフォーラムをホストする	694
17. NAS メンテナンス	706
17.1 シャットダウン/再起動	707
17.2 システム温度保護	710
18. GNU GENERAL PUBLIC LICENSE	711

1. 注意

QNAP製品をお選びいただき、ありがとうございます。このユーザーマニュアルでは、Turbo NASの使用に関して詳細に説明しています。本書をよく読み、Turbo NASの強力な機能をお楽しみください。

- 「Turbo NAS」または「NAS」と呼ばれます。
- 本書はTurbo NASのすべての機能について説明します。ご購入いただいた製品は特定のモデルに限定されている一部の機能をサポートしていない場合があります。

法的事項

すべての特徴、機能、その他の製品仕様は予告なしに変更されることがあります。この情報は予告なく変更される場合があります。

QNAPおよびQNAPのロゴはQNAP Systems, Inc.の登録商標です。他のすべてのブランドおよび製品名は、個々の所有者の登録商標です。また、®あるいは™の記号は本書では省略します。

免責事項

いかなる場合もQNAPシステムズ社(QNAP)の責任は直接的、間接的、特別、偶発的、または必然的なソフトウェアまたはそのマニュアルに由来する製品の対価を超えることはありません。QNAPは、その製品もしくはコンテンツまたは本書の使用および付随するすべてのソフトウェアに関して明示、黙示、または法定上の保証または説明を行いません。特に、特別な目的による品質、性能、商品性、または適合性に対する責任を否認します。QNAPは、いかなる個人または事業体に対する通知義務なく製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改定または更新する権利を保持します。

データの損失を避けるために、システムのバックアップを定期的にとってください。QNAPはいかなる種類のデータ損失または回復に関して責任を負うことはありません。

NASパッケージのコンポーネントを返品して返金を受ける場合、念入りに輸送用の梱包がなされていることを確認してください。不適切な梱包によるいかなる形の損傷も、補償の対象外となります。

1.1 規制の通知



FCC (連邦通信委員会)通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ / オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。




シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。



CE通知

クラスBのみ。

1.2 本書で使用される記号

 警告	このアイコンは、必ず指示に従うことを示します。指示を遵守しないと人身事故または死亡の原因となることがあります。
 注意	このアイコンは、その操作によってディスクの消去または喪失を引き起こすことを示します。指示を遵守しないとデータの損失、ディスクの損傷、または製品の損傷の原因となることがあります。
 重要	このアイコンは、提供される情報が重要であるか、あるいは法的規制に関連することを示します。

1.3 安全に関する警告

1. NASは0°C-40°Cの温度、および0%-95%の相対湿度で標準作動します。環境がよく換気されていることを確認してください。
2. 電源コードとNASに接続されたデバイスは、正しい供給電圧(100W、90-264V)を提供する必要があります。
3. NASを直射日光にさらしたり、化学物質の傍に設置しないでください。環境温度と湿度が最適レベルに設定されていることを確認してください。
4. クリーニングする前に、電源コードと接続されているすべてのケーブルを抜いてください。乾いたタオルでNASを拭きます。化学薬品やエアゾールでNASをクリーニングしないでください。
5. サーバの正常な作動と過熱の原因となるため、NASの上に物を置かないでください。
6. ハードディスクを取り付けるとき、正常に作動するように、製品パッケージ付属の平頭ねじを使用してNASにハードディスクをしっかり留めてください。
7. 液体の傍にNASを設置しないでください。
8. 不安定な表面の上にNASを設置しないでください。落下して負傷の原因となります。
9. NASを使用しているとき、電圧が正しいことを確認してください。不明な場合は、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
10. 電源コードの上に物を置かないでください。
11. いかなる場合でも、NASを自分で修理することはおやめください。製品を不適切に分解すると、感電またはその他の危険にさらされます。質問がございましたら、販売店にお問い合わせください。
12. シャーシNASモデルはサーバ室に配置し、認定されたサーバ管理者あるいはIT管理者のみメンテナンスしてください。サーバ室は施錠あるいはキーカード・アクセスとされ、認定されたスタッフのみがサーバ室に入室することができます。



警告:

- バッテリーを不適切に交換すると、爆発の危険性があります。製造元により推奨されたものと同一あるいは同等の形式のバッテリーとのみ交換してください。使用済みのバッテリーは製造元の指示に従って廃棄してください。
- システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

2. 始めましょう

NASのウェブベースの設定

製品CD-ROMなしで、システムインストールを実行するには、<http://qnap.com/start/en/>に行き、「Start Now (今すぐ開始)」をクリックします。画面の指示に従って、お使いのNASモデルを選択し、お使いのOS (Windows、Mac、Linux) 用のハードウェアとソフトウェアインストールを完了します。このページは、QNAPのソフトウェアユーティリティとモバイルアプリのダウンロードリンクへのアクセスも提供しています。

English - Global

Hard Disk Compatible List User Manual

Set Up Your Turbo NAS

Store, back up and share your data easily

New to Turbo NAS ? Follow the steps to get started:

- 1 Set up the hardware for your Turbo NAS
- 2 Install firmware and configure your Turbo NAS
- 3 Get useful tools to enjoy your Turbo NAS

Start Now

Firmware Installation

If you have set up the hardware, please click "Go" to install the Turbo NAS firmware directly.

GO

Enjoy Hands-on Applications for Turbo NAS

Various handy tools are available to smooth your work with the Turbo NAS. You can enjoy convenient data backup, smart download management, remote access to the Turbo NAS anytime and anywhere.

Back up data on your PC

NetBak Replicators
Conveniently back up documents, pictures, music, videos and more to one or multiple Turbo NAS units.
[Learn more](#)

Windows

Access your Turbo NAS easily

MyCloudNAS Connect
3 quick steps to connect to your Turbo NAS with MyCloudNAS Connect via Virtual Private Network (VPN) to manage files by drag-and-drop within Windows Explorer.
[Learn more](#)

Windows

Manage download tasks

QGet
Install QGet to manage BT, HTTP, and FTP download tasks on the Turbo NAS.
[Learn more](#)

Windows Mac Linux

Remote access on the go

Mobile Apps
Access and manage your Turbo NAS and enjoy multimedia files on mobile devices whenever, wherever.
[Learn more](#)

Qfile Qmanager Qmobile

Online Resources Customer Service | Online Support Form | QNAP Forum | User Manual | Tutorials

Facebook Google+ Twitter YouTube

ハードウェアのインストール

ハードウェアのインストール情報については、製品パッケージにある「Quick Installation Guide(クイックインストールガイド)」(QIG)を参照してください。QIG は製品 CD-ROM または QNAP Web サイト(<http://www.qnap.com>)でもご覧いただけます。

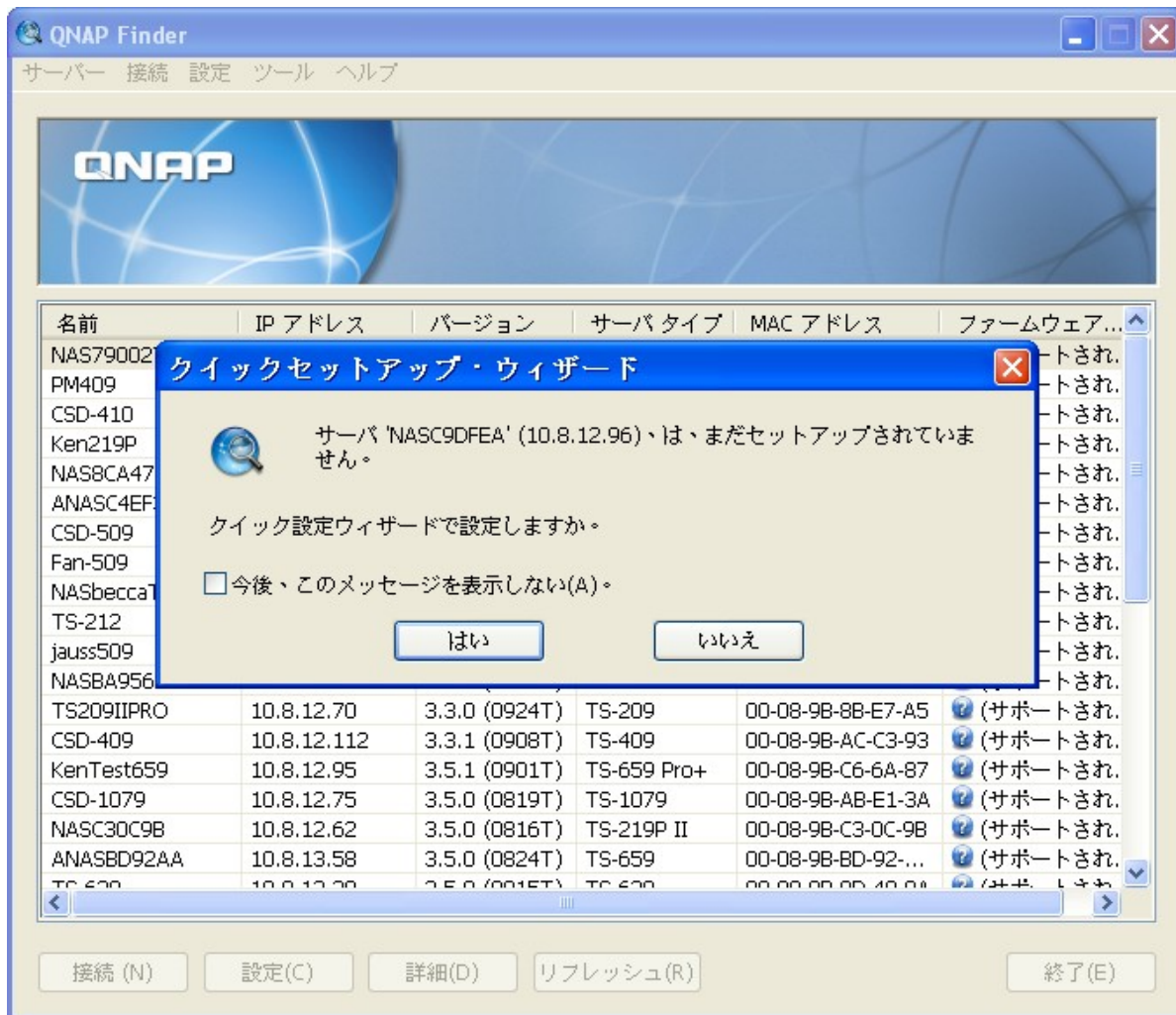
(CD-ROMを使用した)ソフトウェアのインストール

NAS ハードウェアをインストールしたら、ソフトウェアのインストールに進みます。次のデモは Windows OS に基づきます。

1. 製品 CD-ROM から QNAP ファインダーをインストールします。



2. QNAP ファインダーを実行します。ファインダーがお使いのファイアウォールでブロックされている場合は、ユーティリティのブロックを解除します。
3. QNAP ファインダーが、構成されていない NAS を検出します。[Yes(はい)] をクリックすると、NAS のクイックセットアップを実行するように指示されます。



4. [OK] をクリックして続行します。



5. お使いのデフォルトの Web ブラウザが開きます。指示に従って NAS を構成します。

クイック設定

歓迎 手順 1 手順 2 手順 3 手順 4 手順 5 手順 6 終了

歓迎

クイック設定ウィザードようこそ。次の手順でサーバの設定を完了します。

1. サーバ名の設定
2. 管理者のパスワード変更
3. サーバの日付、時刻とタイムゾーンの設定
4. イサーバのIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイの設定
5. 有効にするサービスを選択します
6. ディスク設定を選択

注意: 変更は最後の手順で設定を確認後、有効になります。

6. 最後に [START INSTALLATION (インストールの開始)] をクリックします。

クイック設定

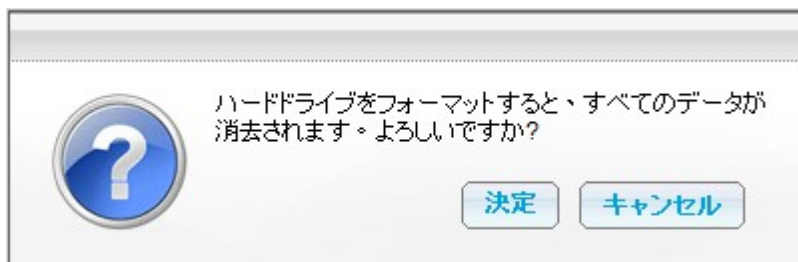
歓迎 手順 1 手順 2 手順 3 手順 4 手順 5 手順 6 **終了**

終了

サーバに対して行った変更は以下の通りです。「インストールのスタート」をクリックしてクイック構成を開始するか、「戻る」をクリックして前のステップに戻り設定を修正します。

サーバ名:	QNAPAlex
パスワード:	パスワードは変更されていません。
タイムゾーン:	(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London
時間設定:	コンピュータと同じ時刻にサーバー時刻を設定してください。
ネットワーク:	TCP/IP設定はDHCPによって自動的に取得
IPアドレス:	--
サブネットマスク:	--
デフォルトゲートウェイ:	--
プライマリDNSサーバ:	0.0.0.0
セカンダリDNSサーバ:	0.0.0.0
ネットワークサービス:	Microsoftネットワーク、Webファイルマネージャ、FTPサービス、ダウンロードステーション、マルチメディアステーション
ディスク設定:	単独ディスク
ファイルシステム:	EXT4
ドライブ 1:	WDC WD5000AADS-00S9B01.0 465.76 GB
ドライブ 2:	--

7. インストールされているハードディスクがすべて初期化されて、すべてのデータが消去されます。[OK] をクリックして続行します。



8. 完了したら、「Return to system administration page(システム管理ページに戻る)」をクリックするか、または、Web ブラウザに NAS IP を入力して NAS のウェブ管理ページに接続します。

クイック設定

システムを初期化中です。しばらくお待ちください。

システムを設定中です。サーバーの電源をオフにしたり、ハードドライブのプラグを抜かないでください。

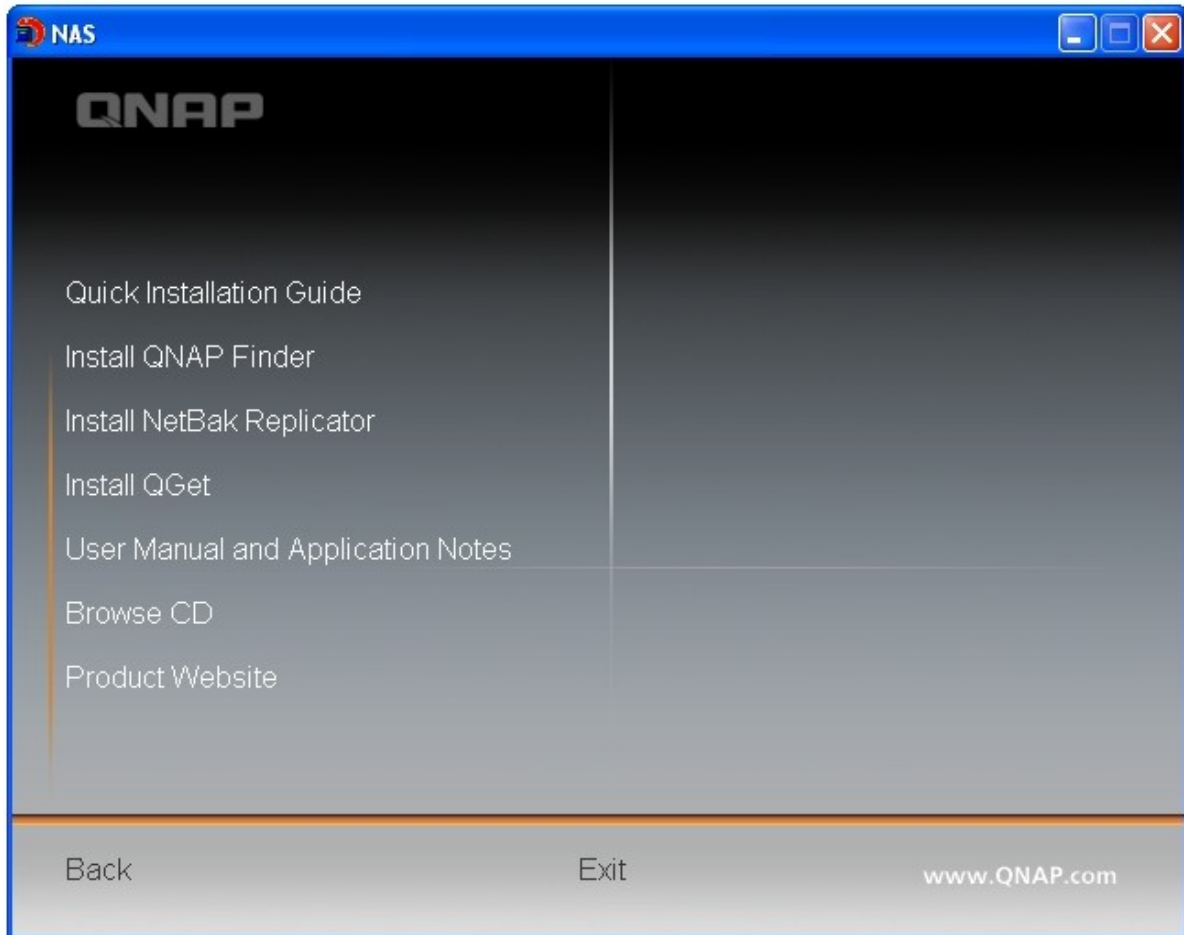
1. このサーバーの名前を変更。
2. 管理者のパスワード変更。
3. 時間の設定を変更。
4. ネットワークの設定を変更。
5. ネットワークサービスを開始します。
6. ハードディスクを初期化。



システム設定が完了しました。.....

2.1 CD-ROM の検索

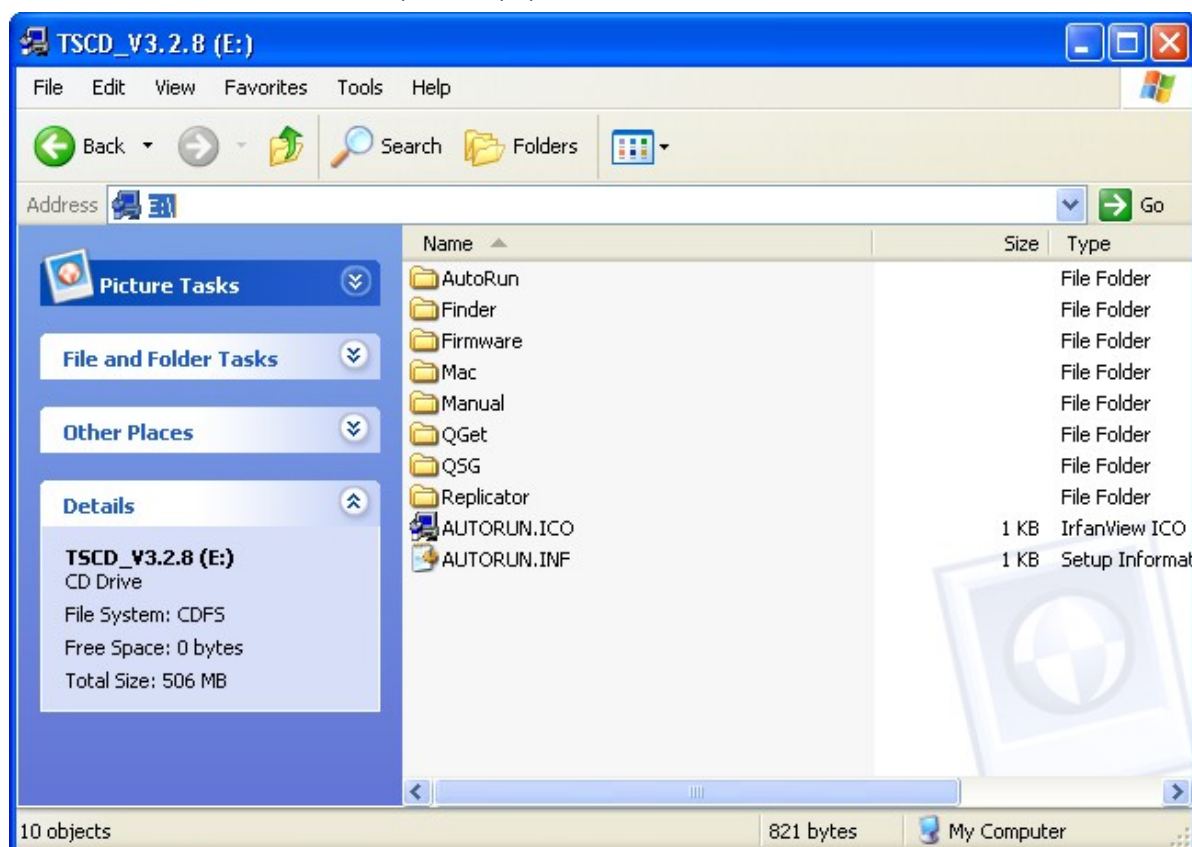
NAS CD-ROM には、Quick Installation Guide (クイックインストールガイド) (QIG)、ユーザーマニュアル、アプリケーションノート、ソフトウェアユーティリティ QNAP ファインダー、NetBak レプリケーター、QGet などのドキュメントが含まれています。



CD-ROM を検索して次のコンテンツにアクセスできます:

- Finder (ファインダー): QNAP ファインダー (Windows OS 用) のセットアッププログラム。
- Firmware (ファームウェア): お買い上げいただいた NAS モデル用のファームウェア IMG ファイル。
- Mac: QNAP ファインダー (Mac OS 用) のセットアッププログラム。
- Manual (マニュアル): Quick Installation Guide (クイックインストールガイド)、ソフトウェアユーザーマニュアル、Turbo NAS のハードウェアマニュアル。
- QGet: QGet ダウンロードユーティリティ (Windows OS 用) のセットアッププログラム。
- QSG: NAS のハードウェアのインストール方法を表示します。
- Replicator (レプリケーター): NetBak レプリケーター (Windows OS から QNAP NAS へのデータバックアップ用 Windows ユーティリティ) のセットアッププログラム。

上記のコンテンツは QNAP Web サイト (<http://www.qnap.com>) でもご覧いただけます。



2.2 ハードディスクの推奨リスト

当製品は主要なメーカーの2.5/3.5インチSATAハードディスクドライブに対応しています。HDD対応表は、<http://www.qnap.com>にてご覧ください。



QNAPはいかなる理由でもハードディスクの誤使用または不適切な取り付けによる製品の損傷/誤作動またはデータ損失/回復に対していかなる責任も負いません。



NASにこれまで設置されたことのないハードドライブ(新品あるいは中古)を設置する場合は、ハードドライブは自動的にフォーマット及びパーティションされ、すべてのディスクデータは消去されます。

2.3 システムステータスのチェック

LED ディスプレイ & システムステータス概観

LED	色	LED状態	説明
システムステータス	赤/緑	0.5秒ごとに赤と緑に交互に点滅	<ol style="list-style-type: none"> 1) NASのハードドライブのフォーマット中です。 2) NASの初期化中です。 3) システムファームウェアの更新中です。 4) RAID再構築が進行中です。 5) RAIDのオンライン容量拡張が進行中です。 6) オンラインRAIDのレベル転換が進行中です。
		赤	<ol style="list-style-type: none"> 1) ハードドライブが無効です。 2) ディスクボリュームが最大容量に達しました。 3) ディスクボリュームがフルになります。 4) システムファンが故障しています。(TS-119は、スマートファンをサポートしません。) 5) ディスクデータにアクセス中(読み取り/書き込み)エラーが発生しました。 6) ハードドライブのセクタに問題があります。 7) NASは読み取り専用モードに低下しています。(RAID 5あるいはRAID 6 構成において2台のメンバードライブに支障あり、データは読み取り可能) 8) (ハードウェア自己テストエラー)
		0.5秒ごとに赤く点滅	NASは低下モードです。(RAID 1、RAID 5あるいはRAID 6構成において1台のメンバードライブに支障あり)
		0.5秒ごとに緑に点滅	<ol style="list-style-type: none"> 1) NASが起動しています。 2) NASが構成されていません。 3) ハードドライブがフォーマットされていません。
		緑	NASの準備が完了しました。
		オフ	NASの全てのハードドライブがスタンバイモードです。
LAN	オレンジ色	オレンジ色	ネットワークからディスクデータがアクセス中に、読み取り/書き込み処理にエラーが発生しました。
		オレンジ色に点滅	ネットワークがNASにアクセス中です。
10 GbE*	緑	緑	10GbEネットワーク拡張カードが取り付けられています。
		オフ	10GbEネットワーク拡張カードが取り付けられていません。
HDD	赤/緑	赤く点滅	ハードドライブのデータにアクセス中ですが、プロセスの途中で読み取り/書き込みにエラーが生じました。

LED	色	LED状態	説明
		赤	ハードドライブに読み取り/書き込みエラーが起きました。
		緑で点滅	ハードドライブのデータにアクセス中です。
		緑	ハードドライブにアクセスすることが出来ます。
USB	青	0.5秒ごとに青く点滅	1) 前面USBポートに接続されたUSB機器が検出されました。 2) 前面USBポートに接続されたUSB機器はNASから取り外されました。 3) NASの前面USBポートに接続されたUSB機器がアクセスされました。 4) 外部USB/eSATA機器にデータをコピー/コピーされました。
		青	前面USB機器が検出されました。(機器のマウント後)
		オフ	1) USB機器が検出できません。 2) NASは、前面USBポートに接続されたUSB機器へからのデータコピーを完了しました。
eSATA**	オレンジ色	点滅	eSATAデバイスにアクセスしています。
		オフ	eSATA機器が検出できません。

* 10 GbEネットワーク拡張機能はTS-879 Pro、TS-1079 Pro、TS-879U-RP、TS-1279U-RP、TS-EC879U-RP、TS-EC1279U-RPでのみサポートされています。

** TS-210、TS-212、TS-219、TS-439U-SP/RP、TS-809 Pro、TS-809U-RPは、eSATAポートをサポートしません。

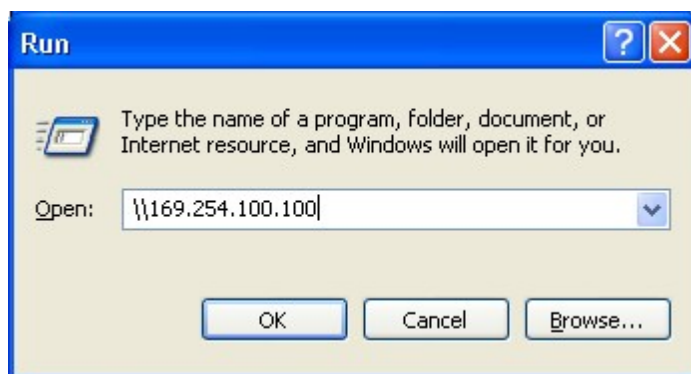
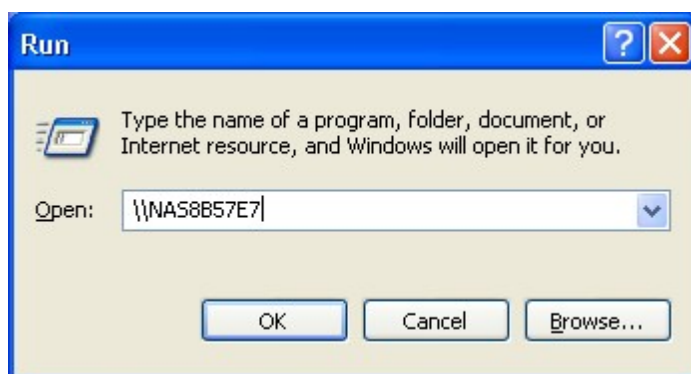
アラームブザー (アラームブザーは「システムツール」>「ハードウェア設定」で無効化できます)

ビープ音	回数	説明
短いビープ(0.5秒)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 1) NASが起動しています。 2) NASがシャットダウンしています。(ソフトウェアシャットダウン) 3) ユーザーにより、NASをリセットするリセットボタンが押されました。 4) システムファームウェアが更新されました。
短いビープ(0.5秒)	3回	ユーザーにより、正面USBポートの外部メモリデバイスへNASのデータコピーが試行されましたが、コピーに失敗しました。
短いビープ(0.5秒)、長いビープ(1.5秒)	3回、5分ごと	システムファンが故障しています。(TS-119は、スマートファンをサポートしません。)
長いビープ(1.5秒)	2回	<ul style="list-style-type: none"> 1) ディスクボリュームがフルになります。 2) ディスクボリュームが最大容量に達しました。 3) NASのハードドライブは低下モードです。 4) ユーザーによりHDD再構築プロセスが開始されました。
	1回	<ul style="list-style-type: none"> 1) NASが強制終了されました。(ハードウェアシャットダウン) 2) NASの電源投入に成功しました。準備完了です。

2.4 NAS ネットワーク共有に接続

Windows ユーザー

1. 次の手段によって、NASのパブリックフォルダにアクセスできます。
 - a. マイネットワークを開き、NASのワークグループを探します。サーバーが見つからない場合、ネットワーク全体を参照してNASを検索してください。NASの名前をダブルクリックして、接続します。
 - b. Windowsで[ファイル名を指定して実行]機能を使用します。\\[NAS name] または \\[NAS IP]を入力して、NASの共フォルダにアクセスします。



2. パスワード・フィールドが表示されるので、管理者名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名 : admin
パスワード : admin

3. ネットワーク共にファイルをアップロードできます。

Mac ユーザー

1. "Go" (移動) > "Connect to Server" (サーバに接続)を選択します。
2. ディスクをマウントする方法は2 つあります。
 - AFP:NAS IP あるいは afp://NAS_IPをタイプ
 - SMB:smb://NAS_IP あるいは NAS_名前をタイプ例えば、169.254.100.100 あるいはsmb://169.254.100.100
3. "Connect" (接続)をクリックします。

Linuxユーザー

Linuxでは、以下のコマンドを実行します:

```
mount -t nfs <NAS IP>:<Network Share Name> <Directory to Mount>
```

例えば、NASのIPアドレスが192.168.0.1で、/mnt/pubディレクトリ内のネットワーク共フォルダ「public」にリンクする場合、以下のコマンドを使用します:

```
mount -t nfs 192.168.0.1:/public /mnt/pub
```

注:上記コマンドを初期化するには、「root」ユーザーでログインしてください。

定義したユーザーIDでログインすると、マウントしたディレクトリを使ってネットワーク共ファイルにアクセスできます。

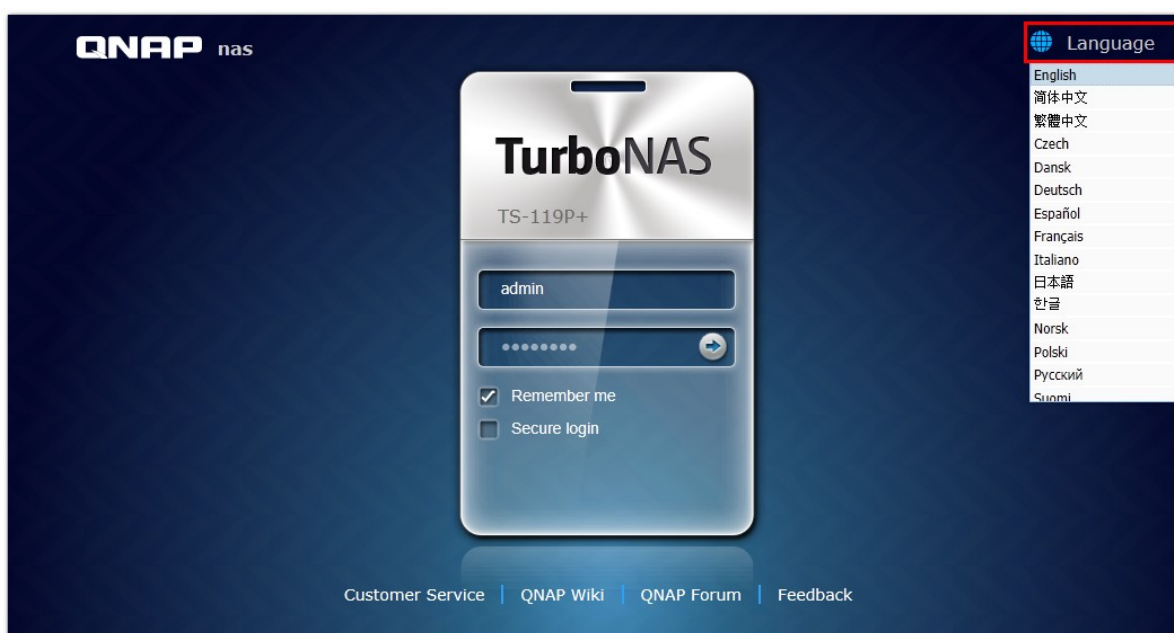
2.5 Web ブラウザを使って NAS に接続

ウェブブラウザでNASに接続するには、下記のステップに従ってください。

1. <http://NAS IP:8080>を入力するか、ファインダーを使用してNASを検索し、NAS名をダブルクリックします。

注:デフォルトNAS IPは169.254.100.100:8080です。NASがDHCPを使用するよう構成してある場合は、Finderを利用してNASのIPアドレスを確認することが出来ます。Finderを実行しているコンピュータとNASが同じサブネットに接続していることを確認してください。NAS IPが検索できない場合、NASをコンピュータに直接接続し、Finderを再度実行してください。

2. NASのログインページのドロップダウンメニューから、またはNASにログイン後に、表示言語を選択します。

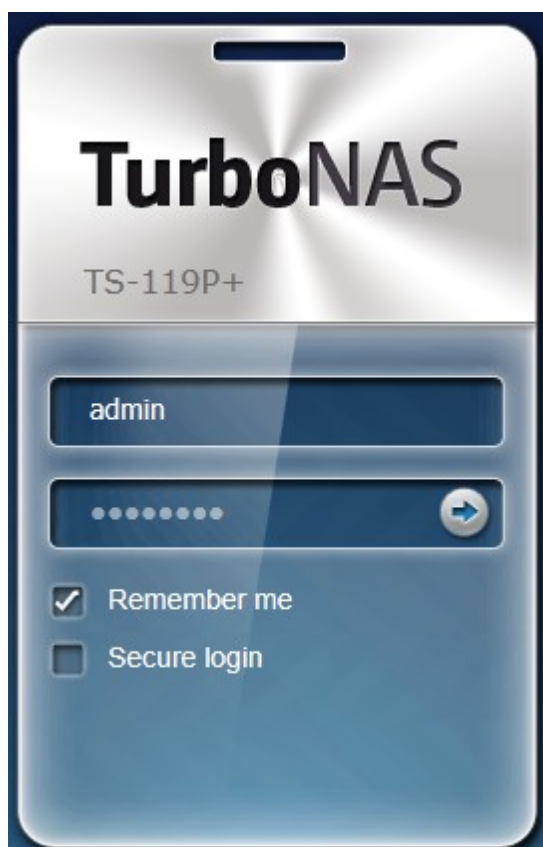


3. ドメインの管理社名とパスワードを入力します。オプション「安全なログイン」(安全なソケットレイヤログイン)をオンにして、NASに安全に接続できるようにします。管理者権限のないユーザーがNASにログインすると、ユーザーはログインパスワードしか変更できません。

デフォルトのユーザー名 : admin

パスワード : admin

注:NASがNATゲートウェイの背後に設置されている場合、イーサネットからセキュアログインでNASにアクセスするためには、NATのポート443を開いて、同ポートをNASのLAN IPにフォワードする必要があります。



4. ログインポータルが表示されます。現在のウィンドウでサービスページを開くには、アプリケーションアイコンをクリックします。または、新しいタブでサービスページを開くには、アプリケーションアイコンの+記号をクリックします。



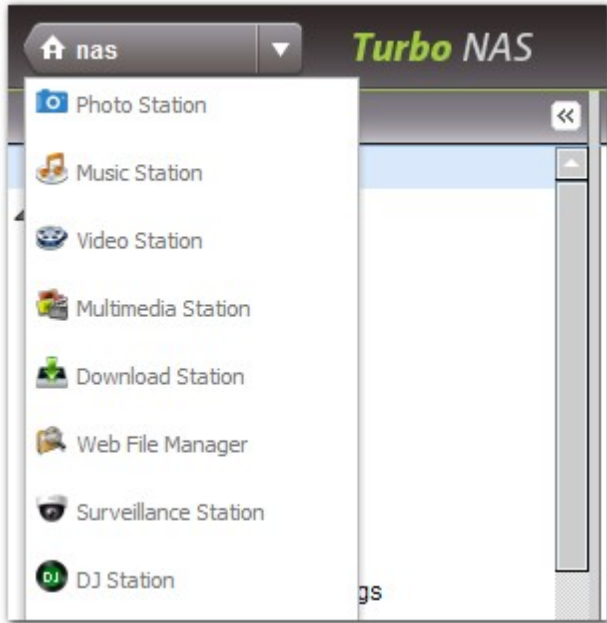
5. システム設定を行うには、ログインポータルで「Administration (管理)」をクリックします。



6. セクション名の隣にある参画のアイコンをクリックし、樹状表示を広げ、各セクション下の項目を一覧表示します。



7. 別のアプリケーションに切り替えるには、ページ上部のドロップダウンメニューからサービスを選択します。



追加オプションの場合、右上のログイン名の隣りにある三角形のアイコンをクリックします。ログインパスワードを変更して、NASを再起動／停止／ログアウトするか、製品モデルとファームウェアバージョンを表示します。



2.6 システム移行

システム移行により、既存のQNAP NASユーザーは、データ転送やシステムの再構成なしにご使用のNASを他のQNAP NAS新モデルにアップグレードすることができます。オリジナルのハードディスクドライブ(HDD)を、元のHDDの順番に従って新しいNASに設置し、NASを再起動するだけです。

異なるハードウェアデザインに伴い、NASは自動的にファームウェアの更新が必要かどうかをシステム移行前に確認します。移行が完了した後は、設定およびデータは新しいNASにおいて全ての維持され、適用されます。

下記の表はシステム移行をサポートするNASモデルを表記しています。

元のNAS	移行先のNAS	注記
TS-x10, TS-x19 TS-x39 TS-509 TS-809 SS-x39 TS-x59 TS-x69 TS-x12	TS-x10 TS-x19 TS-x39 TS-509 TS-809 SS-x39, TS-x12	ファームウェア更新が必要です。
TS-x10 TS-x19 TS-x39 TS-509 TS-809 SS-x39 TS-x59 TS-x69 TS-x12, TS-x79	TS-x59 TS-x69 TS-x79	ファームウェア更新は必要ありません。

注:

- 保存先に十分なドライブベイがあり、ソース NAS のディスクボリューム内のハードディスクドライブの数に対応できることを確認します。
- SS-x39 シリーズがサポートするのは 2.5 インチ HDD だけです。
- 暗号化されたディスクボリュームの付いたNASは、ファイルシステム暗号化に対応しないNASに移動できません。ファイルシステム暗号化はTS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-419P、TS-410U、TS-419U、TS-119P+、TS-219P+、TS-419P+、TS-419U+、TS-112、TS-212、TS-412ではサポートされません。
- 非 TS-x79 モデルから TS-x79 モデルに移行した場合、マルチメディアステーション、Download Station、iTunes サーバーおよび UPnP メディアサーバー機能は削除されます。ネットワーク共有の Multimedia/Qmultimedia、Download/Qdownload およびすべてのダウンロードされたファイルは保存されます。
- システム移行後、ソースNASの登録済みMyCloudNAS名は宛先NASに移動されません。宛先NASで同じMyCloudNAS名を使用するには、システム移行前にソースNASでMyCloudNAS名を変更して、処理後に宛先NASで同じ名前を登録します。

移行先NAS	システム移行に対応するディスクボリューム
1 ベイ NAS	1 ドライブシングルディスクボリューム
2 ベイ NAS	1-2 ドライブシングルディスクボリューム/JBOD/RAID 0、 2 ドライブ RAID 1。
4 ベイ NAS	1-4 ドライブシングルディスクボリューム/JBOD/RAID 0、 2 ドライブ RAID 1、 3-4 ドライブ RAID 5、 4 ドライブ RAID 6、 4ドライブRAID 10。
5 ベイ NAS	1-5 ドライブシングルディスクボリューム/JBOD/RAID 0、 2 ドライブ RAID 1、 3-5 ドライブ RAID 5、 4-5ドライブ RAID 6、 4ドライブRAID 10。
6 ベイ NAS	1-6 ドライブシングルディスクボリューム/JBOD/RAID 0、 2 ドライブ RAID 1、 3-6 ドライブ RAID 5、 4-6 ドライブ RAID 6、 4ドライブまたは6ドライブRAID 10。
8 ベイ NAS	1-8 ドライブシングルディスクボリューム/JBOD/RAID 0、 2 ドライブ RAID 1、 3-8 ドライブ RAID 5、 4-8 ドライブ RAID 6、 4ドライブ、6ドライブ、または8ドライブRAID 10。

システム移行を実行するには、以下の手順に従ってください。



注：サーバの破損あるいは重大な負傷を防ぐため、システム移行手順は認可を受けたサーバ管理者あるいはIT管理者が行ってください。

1. 元のNASの電源をオフにして、HDDのプラグを抜きます。
2. HDDを元のトレイから取り外し、新しいNASのHDDトレイへと設置します。
3. HDDを移行先のNAS (新しいモデルに接続します。HDDの設置順が元のNASの場合と同じであるよう確認してください)。
4. クイックインストールガイド(QIG)の説明に従い、新しいNASの電源およびネットワークケーブルを接続します。
5. 新しいNASの電源を入れます。ウェブ管理インターフェイスに管理者としてログインします。(デフォルトログイン: admin、パスワード:adminとなります)
6. 新しいNASにおいてファームウェアを更新するよう求められた場合は、説明にしたがってファームウェアをダウンロードし、インストールします。
7. "Start Migrating" (移行開始)をクリックします。システム移行後、NASが再起動します。全てのデータおよび設定が維持されます。

システム移行の実行をしない場合は、QIGの説明に従いNASを初期化してください。

システムデザインの相違により、システム移行後いくつかのシステム設定は削除されることがあります。新しいNAS上で以下の設定の再構成が必要な場合があります。

- Windows AD
- いくつかのQPKGの再インストール(例:XDove)

3. システム管理

全般設定 [33](#)

ネットワーク [37](#)

サービスバイディング [58](#)

ハードウェア [60](#)

セキュリティ [64](#)

通知 [67](#)

電源管理 [74](#)

ネットワークごみ箱 [76](#)

設定のバックアップ/復元 [77](#)

システムログ [78](#)

ファームウェア更新 [84](#)

工場出荷時設定の復元 [88](#)

3.1 全般設定

システム管理

NASの名前を入力します。サーバ名の長さは最大14文字で、アルファベット、数字、ハイフン(-)を含むことができます。サーバ名にスペース、ピリオド(.)、を含めることはできません。

ホーム >> システム管理 >> 一般設定 ようこそ admin | ログアウト 日本語

一般設定

システム管理 日付と時刻 夏時間 言語 パスワード強度

システム管理

サーバ名:

システムポート:

セキュア接続(SSL)を有効にする

ポート番号:

セキュア接続(SSL)のみを使用する

注: [セキュア接続(SSL)のみを使用する]オプションを有効にすると、Web管理ページにはhttps経由のみで接続できません。

Multimedia Station、Photo Station、Music Station、Download Station、iTunesサーバー、UPnPメディアサーバーなどのホーム/マルチメディア機能は、デフォルトでTS-x79シリーズでは非表示にされています。これらの機能を選択して有効にして表示するか、無効にして非表示にします。この設定を変更すると、NASにログインし直す必要があります。

システムサービスのポート番号を指定します。デフォルトポートは8080です。このポートを使うサービス：システム管理、ウェブファイルマネージャ、マルチメディアステーションおよびDownload Station。

セキュリティ接続(SSL)を効化

ユーザーがNASにhttpsによってアクセスできるよう、セキュリティ接続(SSL)を効化し、ポート番号を入力します。"Force secure connection (SSL) only" (セキュリティ接続(SSL)のみ使用)のオプションを効化した場合、ユーザーはhttps接続でのみウェブ管理ページにアクセスできます。

日付と時刻

本製品が現在時刻として保持する日付、時間を設定し、タイムゾーンを選択します。不正確な日付と時間が設定されている場合は、次のような問題が生じる可能性があります。設置後必ず最初に日付と時刻を設定してください。

- 本製品に保存するファイルの作成/更新日時等が正しく記録されません。結果としてネットワーク上のどのファイルが新しいかを判断できなくなります。
- ログが正しく記録されません。結果としていつどのファイルにアクセスされているかを判断できなくなり、ログを記録する意味がなくなります。

サーバ時間をコンピュータの時間に合わせて設定する

サーバ時間をご使用のコンピュータの時間と同期するには、このオプションの隣にある'Update now(今すぐ更新)'をクリックします。

インターネットタイムサーバで自動的に同期化します

指定したNTP (ネットワークタイムプロトコルサーバを効または使用して、システムの日付と時刻を自動的に更新できます。時刻を調整する時間間隔を入力します。このオプションは、NASがインターネットに接続されている時のみに使用できます。

注:初めてNTPサーバを効にすると、時間が正しく調整されるまで時刻の同期に数分かかることがあります。

システム管理	日付と時刻	夏時間	言語	パスワード強度
現在の日時				
2011/1/11 11:24:42 火曜日				
日付と時刻				
時間帯:	(GMT+08:00) Taipei			
日付形式:	yyyy/MM/DD			
時間設定:	24HR			
<input type="radio"/> 手動設定				
日付/時刻:	2011/1/11	/	11	: 23 : 45
<input checked="" type="radio"/> 自動的にインターネットタイムサーバと同期する				
サーバ:	WIN-MB6N8PQRU8C.adtest.local			
間隔:	1		日	
コンピュータと同じ時刻にサーバ時刻を設定する				<input type="button" value="今すぐ更新"/>
				<input type="button" value="適用"/>

夏時間

ご使用の地域が夏時間 (DST: Daylight Saving Time) を採用している場合、「夏時間に従ってシステムクロックを自動的に調整します」を効にしてください。「適用」をクリックします。「日付と時刻」のセクションで選択したタイムゾーンの最新DSTスケジュールが表示されます。システム時刻はこのDSTに従って自動的に調整されます。

ご使用の地域がDSTを採用しない場合は、このページのオプションが選択できません。

システム管理 | 日付と時刻 | **夏時間** | 言語 | パスワード強度

夏時間

時間帯: (GMT+08:00) Taipei

最近の夏時間: 開始時間: --
終了時間: --

オフセット: -- 分間

夏時間に合わせてシステムクロックを自動的に調整する
 カスタム夏時間テーブルを有効にする

適用

夏時間表を手動で入力するには、「カスタム夏時間テーブルを有効化します」オプションにチェックしてください。「夏時間データの追加」をクリックして夏時間スケジュールを入力します。次に「適用」をクリックして夏時間を保存します。

夏時間に従ってシステムクロックを自動的に調整します。

カスタム夏時間テーブルを有効化します。

適用

カスタム夏時間テーブル

<input type="checkbox"/>	開始時間	終了時間	オフセット	動作
<input type="checkbox"/>				夏時間データの追加

削除

言語

NASがファイルとディレクトリの表示に使用する言語を選択します。

注：NASのすべてのファイルとディレクトリは、ユニコードを使用して作成されます。FTPクライアントまたはPCのOSが例えばWindows 95/98/MEのようにユニコードをサポートしない場合、サーバのファイルとディレクトリを表示するためにこのOSと同じ言語を選択してください。

The screenshot shows a web interface with a navigation bar at the top containing five tabs: 'システム管理' (System Management), '日付と時刻' (Date and Time), '夏時間' (Daylight Saving Time), '言語' (Language), and 'パスワード強度' (Password Strength). The '言語' tab is currently selected and highlighted in blue. Below the navigation bar, the page title '言語' is displayed. Underneath, there is a label 'ファイル名符号化:' followed by a dropdown menu showing '英語' (English) with a downward arrow. At the bottom right of the form area, there is a blue button labeled '適用' (Apply).

パスワード強度

パスワード設定規則はここで設定することができます。設定を適用した後、システムは自動的にパスワードの効性を確認します。

The screenshot shows a web interface with a navigation bar at the top containing five tabs: 'システム管理' (System Management), '日付と時刻' (Date and Time), '夏時間' (Daylight Saving Time), '言語' (Language), and 'パスワード強度' (Password Strength). The 'パスワード強度' tab is currently selected and highlighted in blue. Below the navigation bar, the page title 'パスワード強度' is displayed. Underneath, there are three checkboxes, each followed by a rule description:


- 1. 小文字、大文字、数字、特殊文字のうち3種類以上を混在させた、新しいパスワードを選択する。
- 2. 新しいパスワードでは、同じ文字を3回以上続けての使用を禁止する。
- 3. 新しいパスワードには、ユーザ名と同じ値やユーザ名を逆にした値の使用を禁止する。

At the bottom right of the form area, there is a blue button labeled '適用' (Apply).

3.2 ネットワーク

TCP/IP

(i) IPアドレス

NASのTCP/IP 設定をこのページで構成することができます。 をクリックしてネットワーク設定を編集します。



2つのLANポートをサポートするNASでは、両方のネットワークインターフェースを2つの異なるスイッチに接続し、TCP/IP設定を構成できます。NASは2つの異なるサブネットネットワークからアクセスできるようにする、2つのIPアドレスを取得します。これは複数IPアドレス設定として知られています*。ファインダを使用してNAS IPを検出する場合、Ethernet 1のIPはLAN 1にのみ表示され、Ethernet 2のIPはLAN 2のみに表示されます。デュアルLAN接続のポートランキングモードを使用するには、セクション(iii)を参照してください。

*TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-119P+、TS-219P+、TS-112、およびTS-212は、1つのGiga LANポートのみを提供します。従って、デュアルLAN構成やポートランキングをサポートしません。

Network

TCP/IP | WI-FI | DDNS | IPV6 | PROXY

IP Address

Interface	DHCP	IP Address	Subnet Mask	Gateway	MAC address	Speed	MTU	Link	Edit
Ethernet 1	No	10.8.13.59	255.255.254.0	10.8.12.1	00:08:9B:C5:A3:01	1000Mbps	1500		

Default Gateway

Use the settings from: Ethernet 1

DNS Server

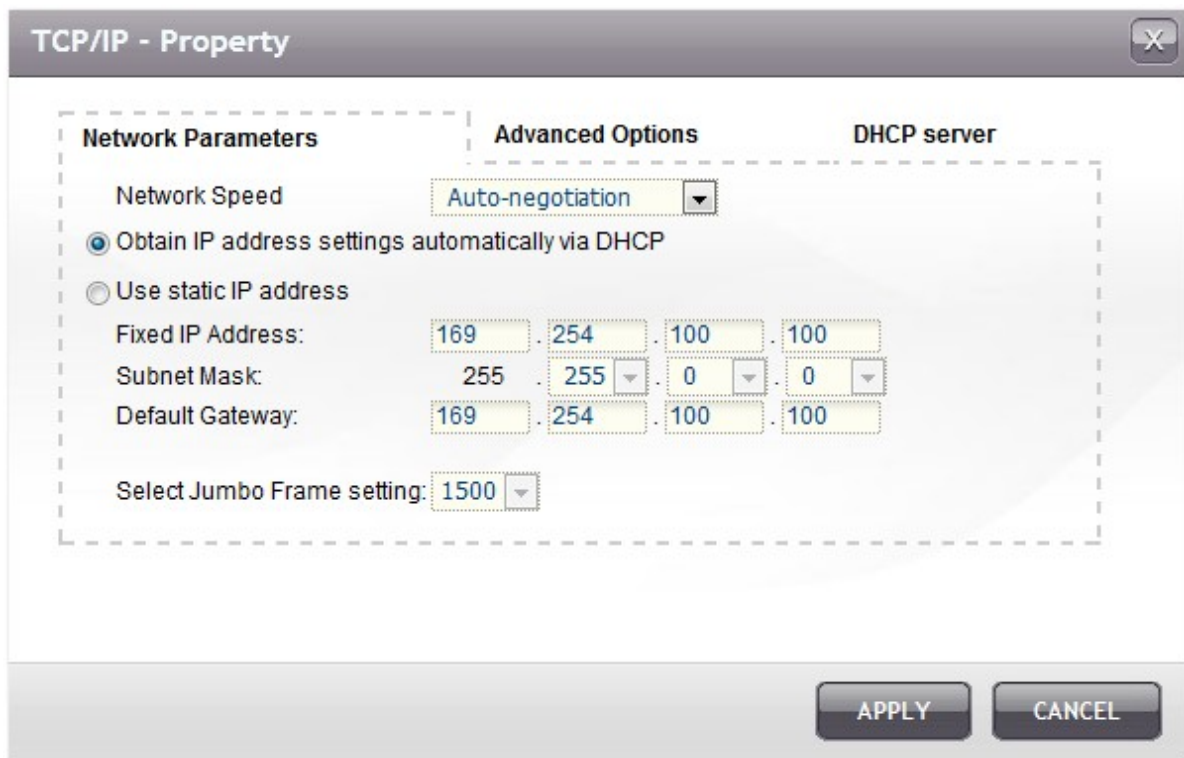
Obtain DNS server address automatically

Use the following DNS server address:

Primary DNS server: . . .

Secondary DNS server: . . .

APPLY



TCP/IPプロパティページで、以下の設定を構成してください。

ネットワーク速度

NASが接続されているネットワーク環境に基づいてネットワーク転送速度を選択します。"Auto negotiation" (自動ネゴシエーション)を選択します。これにより、NASは転送速度を自動的に調整します。

DHCP 設定

DHCP は多くの商業用ブロードバンドネットワークで使用されています。DHCP はIP アドレスを自動的に取得し、自動的に設定をおこないます。

手動設定

ネットワークに適した本製品のIP アドレスを手動で指定します。同じネットワーク内でIP アドレスを重複して設定することはできませんので、必ずネットワーク管理者等に空いているIP アドレスをご確認ください。

DHCP サーバー

DHCP (動的ホスト設定プロトコル)サーバーは、ネットワーク上のクライアントに IP アドレスを割り当てます。「Enable DHCP Server (DHCPサーバを有効にする)」を選択し、NAS の存在するローカルネットワーク上に DHCP サーバーが無い場合、NAS を DHCP サーバーに設定します。

注:

- DHCP サーバーがローカルネットワーク上に存在する場合は、IP アドレスの競合またはネットワークアクセスエラーを避けるために、DHCP サーバーを有効化しないでください。
- DHCP サーバーオプションは、デュアル LAN NAS の両 LAN ポートがネットワークに接続され、スタンドアロン IP 設定がされている場合、イーサネット 1 にのみ有効化します。

開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、リース時間: NAS により、DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲およびリース時間を設定します。リース時間とは、クライアントに IP アドレスをリースする期間を表します。その間、IP アドレスは割り当てられたクライアントに予約されます。リース期間が経過すると、IP アドレスは別なクライアントに割り当てられます。

WINS サーバー (オプション): WINS (Windows Internet Naming Service : Windows インターネットネーミングサービス)は、Windows ネットワークコンピュータ名 (NetBIOS 名) を IP アドレスに解決し、ネットワーク上の Windows コンピュータが相互に検索/通信をしやすくします。利用可能な場合、ネットワーク上の WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

DNS サフィックス (オプション): DNS サフィックスは、無資格または不完全なホスト名を解決するために使用されます。

TFTP サーバー (オプション): NAS は、ネットワークデバイスの PXE ブートをサポートします。TFTP サーバーの IP アドレスおよびブートファイル (TFTP サーバー上のディレクトリおよびファイル名を含む) を入力します。デバイスをリモートブートするには、TFTP サーバーの公開 IP アドレスを入力します。

TCP/IP - プロパティ

ネットワークパラメータ

DHCPサーバー

DHCPサーバを有効にする

開始IPアドレス: 10 . 8 . 1 . 100

終了IPアドレス: 10 . 8 . 1 . 200

リース期間: 1 日 0 時間

WINSサーバー: 0 . 0 . 0 . 0

DNS Suffix:

TFTPサーバー: 0 . 0 . 0 . 0

起動ファイル:

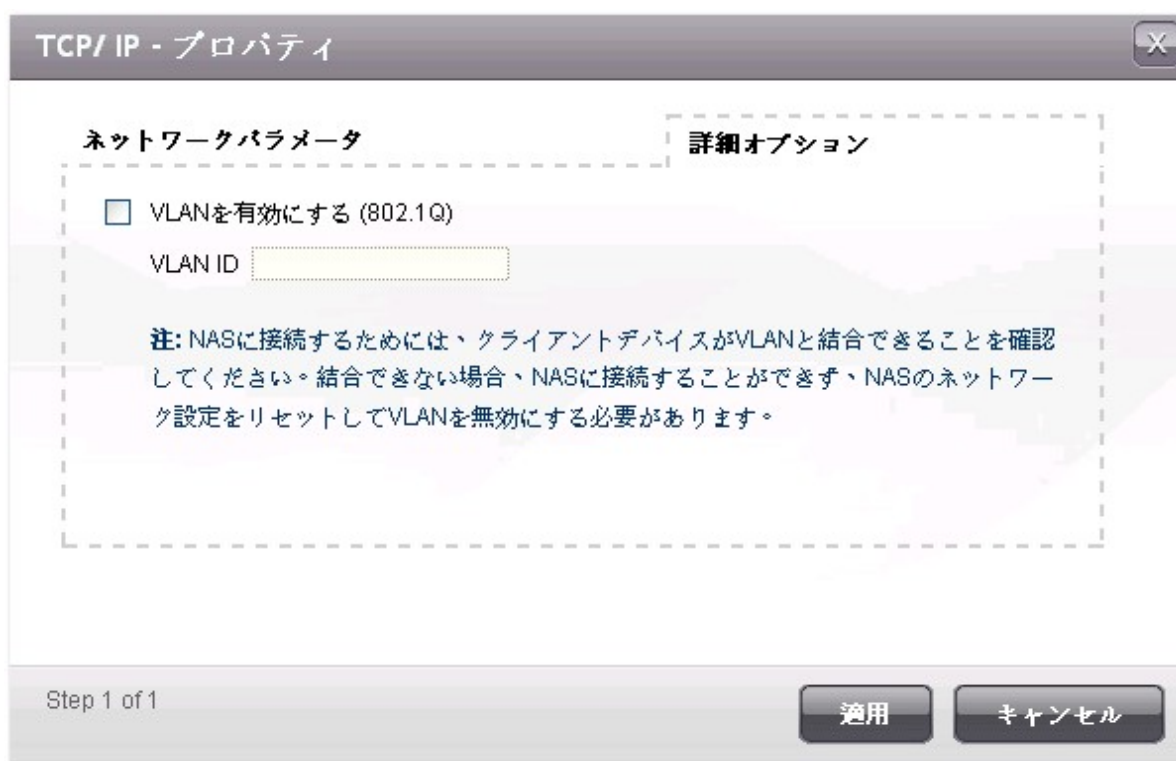
適用 キャンセル

詳細オプション

VLAN (バーチャルLAN) は異なる物理的場所に置かれていた場合でも、同じブロードキャストドメインに接続されているかのように通信する、ホストのグループです。NASをVLANに結合し、同じVLAN上の他のデバイスのバックアップストレージとしてNASを設定できます。

NASをVLANに結合するには、「Enable VLAN (VLANを有効にする)」を選択しVLAN ID (0と4094の値) を選択します。VLAN IDを安全な場所に保管し、クライアントデバイスがVLANと結合できることを確認してください。VLAN IDを忘れNASに接続できなかった場合、NASのリセットボタンを押してネットワーク設定をリセットする必要があります。NASがリセットされると、VLAN機能は無効になります。NASが2つのギガビットLANポートをサポートするが、VLANを有効にするために1つのネットワークインターフェースしか設定されない場合、他のネットワークインターフェース経由でNASに接続する必要もあります。

注: VLAN機能はIntelベースのNASモデルでのみサポートされます。詳細は<http://www.qnap.com>にアクセスしてください。



(ii) デフォルトのゲートウェイ

両方のLANポートをネットワークに接続する場合、使用するゲートウェイの設定を選択します(デュアルLAN NASモデルのみ)。

(iii) ポートトランキング (Port Trunking)

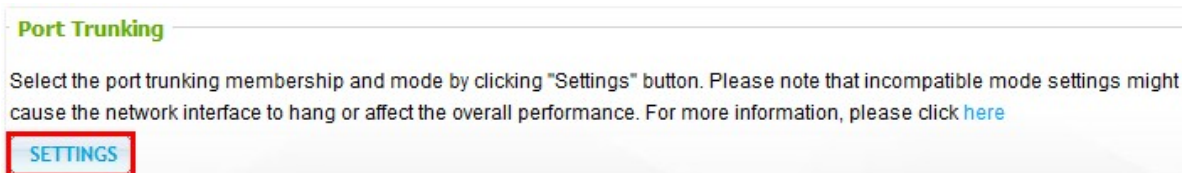
2つまたは複数の LAN ポートを持つ NAS モデルにのみ適用します。この機能は、TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、およびTS-219Pではサポートされません。

NASは、2つのイーサネットインターフェースを1つに結合し、大域幅を増加し、ロードバランシングと耐障害性(フェイルオーバーとしても知られます)を提供するポートのトランキングをサポートします。ロードバランシングは、2つのイーサネットインターフェースに均一に負荷分散し、冗長性を高める機能です。フェイルオーバーは、プライマリネットワークインターフェース(マスターインターフェースとしても知られます)がハイアベイラビリティを維持するために正しく反応しないときスタンバイネットワークインターフェース(スレーブインターフェースとしても知られます)にスイッチオーバーする機能です。

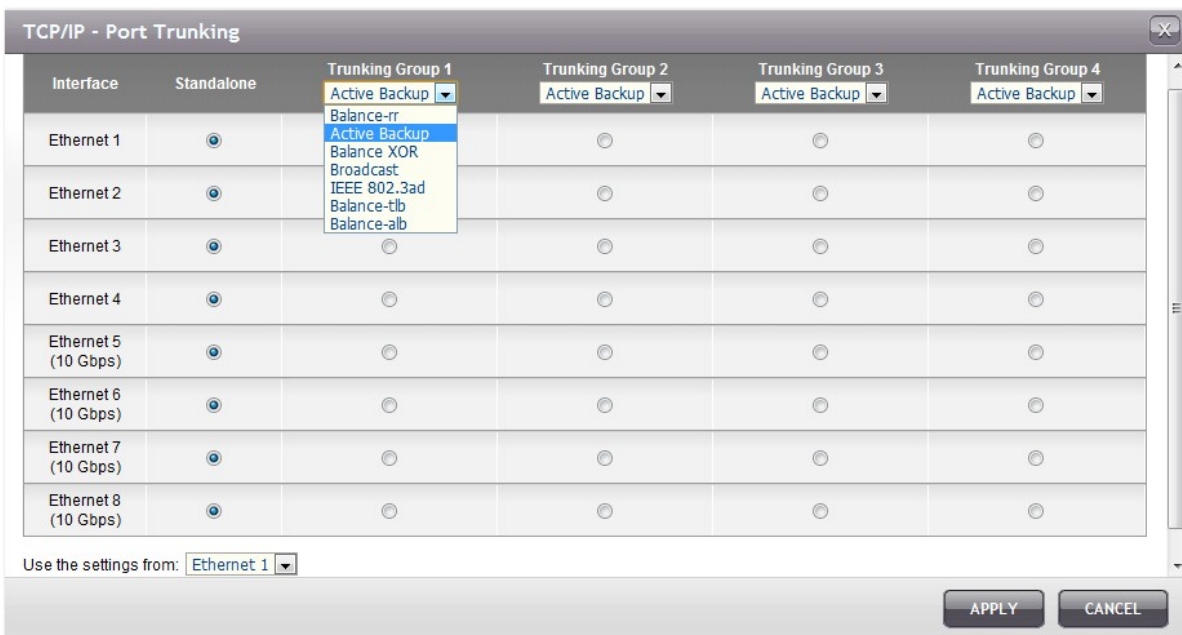
NAS のポートトランキングを使用するには、NAS の最低 2 つの LAN ポートが同一のスイッチに接続され、セクション (i) および (ii) で説明する設定が行われていることを確認する必要があります。

下の手順に従ってNASのポートトランキングを構成します。

1. 「Settings (設定)」をクリックします。



2. トランキンググループ (イーサネット 1+2、イーサネット 3+4、イーサネット 5+6、またはイーサネット 7+8) に対するネットワークインターフェースを選択します。ドロップダウンメニューからポートトランキングモードを選択します。デフォルトオプションは、アクティブバックアップ (フェールオーバー) です。




3. 使用するトラッキンググループを選択します。「Apply (適用)」をクリックします。



Interface	Standalone	Trunking Group 1	Trunking Group 2	Trunking Group 3	Trunking Group 4
Ethernet 1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 5 (10 Gbps)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 6 (10 Gbps)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 7 (10 Gbps)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Ethernet 8 (10 Gbps)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Use the settings from: Ethernet 1

- Ethernet 1
- Ethernet 2
- Ethernet 3
- Ethernet 4
- Ethernet 5
- Ethernet 6
- Ethernet 7
- Ethernet 8

APPLY CANCEL

4. "Edit" (編集) ボタン()をクリックして、ネットワーク設定を編集します。

IP Address										
Interface	VLAN (Virtual LAN)	DHCP	IP Address	Subnet Mask	Gateway	MAC Address	Speed	MTU	Link	Edit
Ethernet 1+2	None	Yes	10.8.12.72	255.255.254.0	10.8.12.1	00:08:9B:C3:C7:D6	1000Mbps	1500		

注: 設定を適用した後、2つのイーサネットインターフェースのネットワークケーブルが正しいスイッチに接続され、スイッチがNASで選択したポートランキングモードをサポートするように構成されていることを確認します。

NASで使用可能なポートランキングのオプションについては下の表を参照してください。

項目	解説	必要なスイッチ
バランス-rr (ラウンドロビン)	ラウンドロビンモードは、通常目的における2つのイーサネットインターフェース間のロードバランシングに適しています。このモードは始めから最後まで稼働しているスレーブが順番にパケットを送信します。このモードはロードバランスとフォールトトレランスを提供します。	静的ランキングをサポートします。スイッチに静的ランキングが効化されていることを確認してください。
アクティブバックアップ	アクティブバックアップは、単一のイーサネットインターフェースのみを使用します。最初のイーサネットインターフェースが適切に機能しない場合、2番目のイーサネットインターフェースに切り換えます。ボンドのインターフェースは1つだけが効になります。ボンドのMACアドレスは1ポート(ネットワークアダプタ)でのみ外部から見るのが可能なため、スイッチの混乱を防ぐことができます。アクティブバックアップモードはフォールトトレランス(耐障害性)を提供します。	一般スイッチ
バランスXOR	バランスXORは、指定した各送信先にイーサネットインターフェース間の発信パケットを分割することによってトラフィックのバランス配分を行います。選択した伝送ハッシュポリシーに従って送信します。デフォルトのポリシーは、送信元MACアドレスが送信先MACアドレスと連結したレイヤ2で動作するシンプルスレーブカウントです。オプションによりxmitハッシュポリシーを使用して異なる伝送ポリシーを選択することができます。バランスXORモードはロードバランシングとフォールトトレランスを提供します。	静的ランキングをサポートします。スイッチに静的ランキングが効化されていることを確認してください。
ブロードキャスト	ブロードキャストは両方のネットワークインターフェースにトラフィックを送信します。ブロードキャストモードはフォールトトレランスを提供します。	静的ランキングをサポートします。スイッチに静的ランキングが効化されていることを確認してください。
IEEE 802.3ad (ダイナミックリンクアグリゲーション)	ダイナミックリンクアグリゲーションは複雑なアルゴリズムを使用して速度およびデプレックス設定によりアダプタを集約させます。802.3ad仕様に従いアクティブアグリゲータ内の全てのスレーブを利用します。ダイナミックリンクアグリゲーションモードはロードバランスおよびフォールトトレランスを提供しますが、IEEE 802.3adをサポートした、LACPモードが適切に構成されているスイッチが必要となります。	802.3ad LACPをサポートします。
バランス-tlb	バランス-tlbは、特定のスイッチを必要としないチャンネルポ	一般スイッチ

<p>(アダプティブトランスミットロードバランシング)</p>	<p>ンディングを使用します。各イーサネットインターフェースの現在のロード (速度に対して算出)に基づいて発信トラフィックが配分されます。着信トラフィックは現在のスレーブにより受信されます。受信トラフィックは、現在のイーサネットインターフェースによって受信されます。受信イーサネットインターフェースが故障した場合は、故障した受信スレーブのMACアドレスを他のスレーブが引き継ぎます。バランス-tlbモードはロードバランシングとフォールトトレランスを提供します。</p>	
<p>バランス-alb (アダプティブロードバランシング)</p>	<p>バランス-albはバランス-tlbと似ていますが、さらにIPV4トラフィックに対し受信を再配分します (受信ロードバランス)。セットアップには、特別なスイッチへの対応や構成を必要としません。受信ロードバランシングはローカルシステムによりARPの応答が送信される際来实现され、異なるピアがそれぞれ異なるハードウェアアドレスをサーバ用に使用できるように送信元のハードウェアアドレスをボンド内のイーサネットハードウェアのうちの一つの固有ハードウェアアドレスとして上書きするARPネゴシエーションにより实现されます。バランス-albモードはロードバランシングとフォールトトレランスを提供します。</p>	<p>一般スイッチ</p>

(iv) DNSサーバ

1次DNSサーバ:外部ネットワークでNASに対してDNSサービスを提供する、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。

2次DNSサーバ:外部ネットワークでNASに対してDNSサービスを提供する、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。

注:

- プライマリおよびセカンダリDNSサーバのIPアドレスはISPまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。NASを端末として使用して、BTのダウンロードなどのように独立した接続を確立する必要がある場合は、正しいURL接続のために少なくとも1つのDNSサーバIPを入力してください。入力しない場合、正しく機能しないことがあります。
- DHCPからIPアドレスを取得するよう選択してある場合、プライマリおよびセカンダリDNSサーバの設定は必要ありません。設定には「0.0.0.0」を入力できます。

(v) ジャンボフレーム設定 (MTU)

この機能はTS-509 Pro、TS-809 Pro、およびTS-809U-RPではサポートされません。

「ジャンボフレーム」は1500バイトを超えるイーサネットフレームのことで、パケットごとにもっと効率的で大量のペイロードを使用することにより、イーサネットネットワークのスループットを向上させ、大容量ファイル転送のためのCPU使用率を低減させるようデザインされています。

最大転送単位 (MTU) とは、通信プロトコルの任意のレイヤーが転送できるパケットの最大サイズ (バイト単位) のことです。

NASはデフォルトで1500バイトの標準的イーサネットフレームを使用します。お使いのネットワーク機器がジャンボフレーム設定に対応している場合は、ネットワーク環境に最適なMTU値を選択してください。NASは4074、7418バイトと9000バイトのMTUに対応しています。

注: ジャンボフレーム設定はギガビットネットワーク環境でのみ効です。また、接続されているすべてのネットワーク機器はジャンボフレームを効にしており、同一のMTU値を使用していなければなりません。

ワイヤレス

NASをワイヤレスネットワークに接続するには、ワイヤレス dongle を NAS の USB ポートに差し込みます。ワイヤレスアクセスポイントのリストが検出されます。NASを2つの方法でワイヤレスに接続できます。

注:

- ワイヤレス接続パフォーマンスは、アダプタモデル、USBアダプタのパフォーマンス、ネットワーク環境などの多くの要因によって異なります。接続パフォーマンスを高くするには、優先接続を使用することをお勧めします。
- 1つのシステムで同時にご使用頂けるUSB Wi-Fi Dongleは、1つだけです。

1. 既存のワイヤレスネットワークへの接続 :






信号強度のあるワイヤレスアクセスポイントのリストは、「ワイヤレスネットワーク接続」パネルに表示されます。

ワイヤレスネットワーク接続

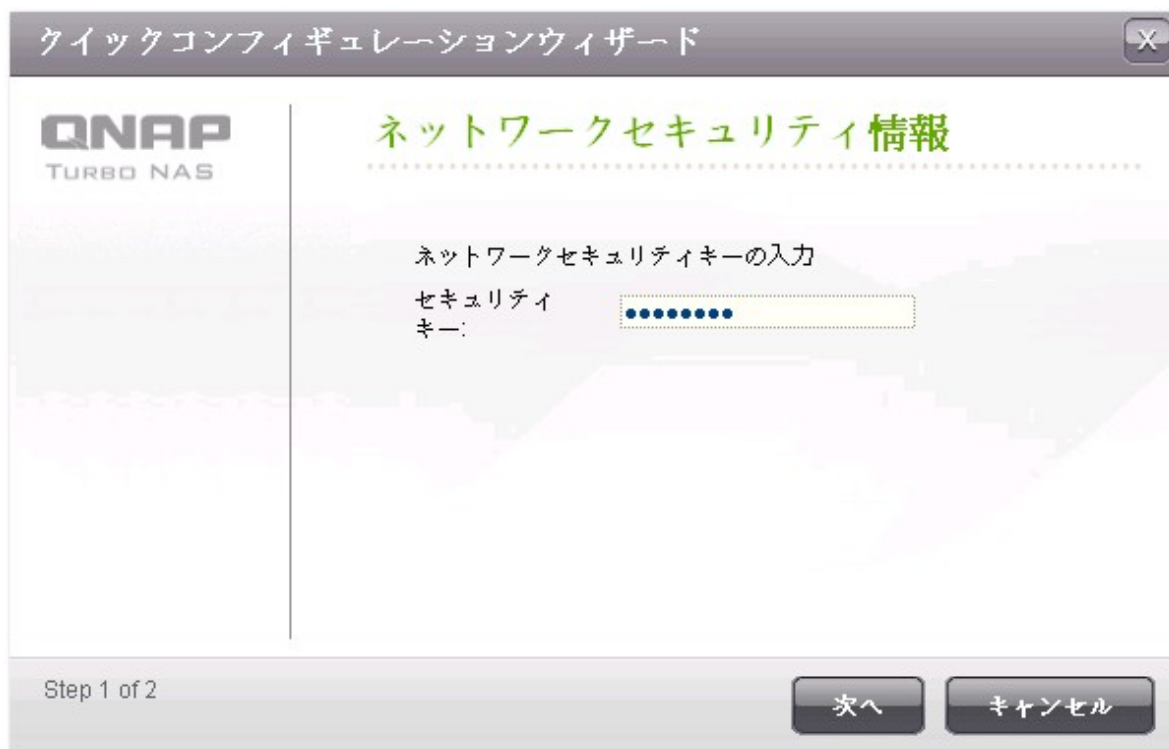
ワイヤレスネットワークへの接続

再スキャン すべて表示

ネットワーク名 (SSID)	信号品質	プロトコル	ステータス	アクション
PM1	■■■■■■■■■■	802.11b/g	IPを取得できませんでした, 自動接続	▶ ⚙ ✖
PM	■■■■■■■■■■		範囲外、またはSSIDがステルスモードです	▶ ⚙ ✖
QPM2	■■■■■■■■■■	802.11b/g/n		▶ ⚙ ✖
NETGEAR-2G	■■■■■■■■■■	802.11b/g/n		▶ ⚙ ✖
ASUS	■■■■■■■■■■	802.11b/g/n		▶ ⚙ ✖

アイコンとオプション	説明
再スキャン	範囲内のワイヤレスネットワークを検索します。
 (安全なネットワーク)	このアイコンは、ワイヤレスネットワークにネットワークキーが必要なことを示しています。ネットワークに接続するには、キーを入力する必要があります。
 (接続)	ワイヤレスネットワークに接続します。セキュリティキーが要求された場合、キーを入力するように求めるプロンプトが表示されます。
 (編集)	接続情報を編集します。範囲内にあるとき、ワイヤレスネットワークに自動的に接続するように選択できます。
 (切断)	ワイヤレスネットワークから切断します。
 (削除)	パネルからワイヤレスネットワークプロファイルを削除します。
すべて表示	使用可能なワイヤレスネットワークをすべて表示するには、このオプションを選択します。構成されたネットワークプロファイルのみを表示するには、このオプションをオフにします。

範囲内の使用可能なワイヤレスネットワークを検索するには、「再スキャン」をクリックします。接続するワイヤレスネットワークを選択し、Connect (接続) ボタン(▶)をクリックします。セキュリティキー対応ネットワークの場合、セキュリティキーを入力します。「NEXT (次へ)」をクリックすると、NASはワイヤレスネットワークへの接続を試みます。



再スキャン すべて表示

ネットワーク名 (SSID)	信号品質	プロトコル	ステータス	アクション
PM1	■■■■■■■■■■	802.11b/g	IPを取得できませんでした,自動接続	▶ ✎ ✕
PM	■■■■■■■■■■		範囲外、またはSSIDがステルスモードです	▶ ✎ ✕
QPM2	■■■■■■■■■■	802.11b/g/n		▶ ✎ ✕
ASUS	■■■■■■■■■■	802.11b/g/n		▶ ✎ ✕
Fan ASUS	■■■■■■■■■■	802.11b/g		▶ ✎ ✕

設定されたネットワークプロファイルのステータスを表示できます。

メッセージ	説明
接続済み	NASは現在、ワイヤレスネットワークに接続されています。
接続しています	NASはワイヤレスネットワークに接続を試みています。
範囲外、またはSSIDがステルスモードです。	無線信号が利用不可、またはSSIDが通知されていません。
IPを取得できませんでした	NASはワイヤレスネットワークに接続されていますが、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できません。ルータ設定をチェックしてください。
関連付けに失敗しました	NASは、ワイヤレスネットワークに接続できません。ルータ設定をチェックしてください。
間違ったキー	入力したセキュリティキーが間違っています。
自動接続	範囲内にある場合、ワイヤレスネットワークに自動的に接続されます。 Wi-FiネットワークのSSIDがブロードキャストでない場合、自動接続機能はサポートされません。

2. ワイヤレスネットワークへ手動で接続 :

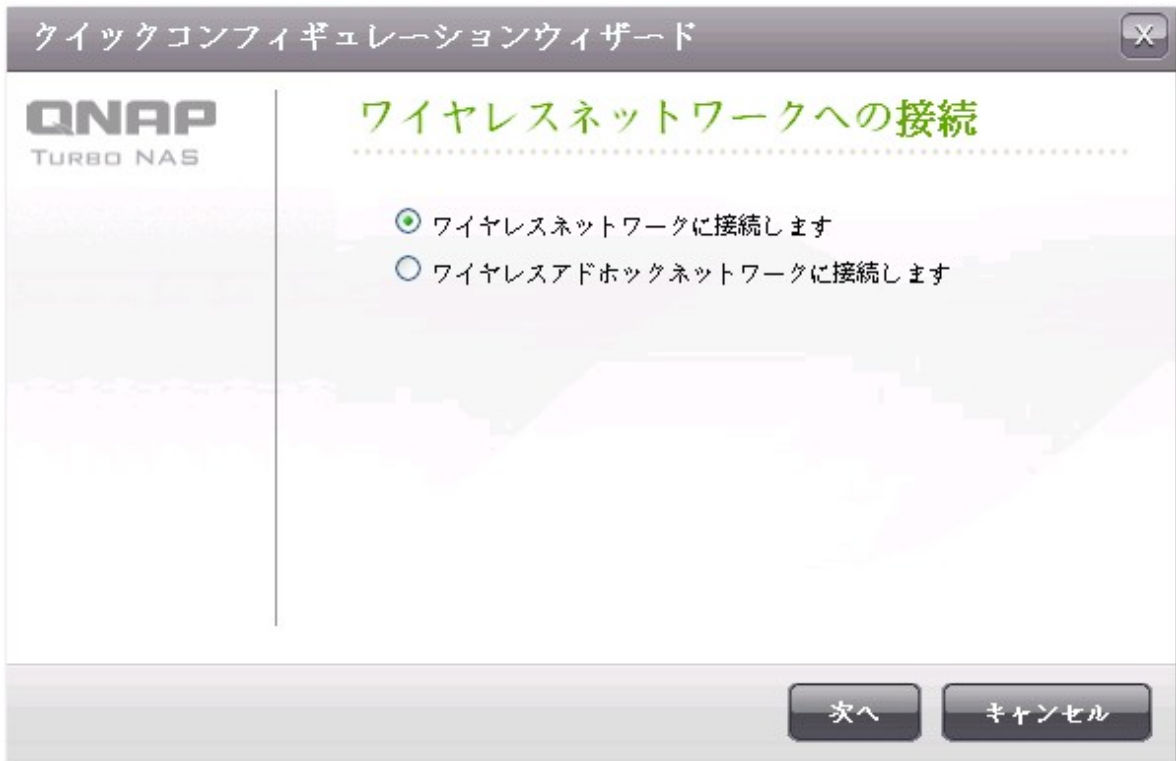
そのSSID(ネットワーク名)を送信しないワイヤレスネットワークに手動で接続するには、「CONNECT TO A WIRELESS NETWORK(ワイヤレスネットワークに接続する)」をクリックします。

IP Address										
Interface	DHCP	IP Address	Subnet Mask	Gateway	MAC Address	Speed	MTU	Link	Edit	
WLAN 1	Yes	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	00:1F:1F:55:4E:3C	--	0			

Wi-Fi Network Connection

[CONNECT TO A WI-FI NETWORK](#)

アクセスポイントを必要とせずに、任意のワイヤレスデバイスに接続できるアドホックネットワークへの接続を選択できます。



ワイヤレスネットワークのネットワーク名(SSID)を入力し、セキュリティタイプを選択します。

- 認証されていません (開) : セキュリティキーは必要ありません。
- WEP: 最大4つのWEPキーを入力し、認証に使用するキーを1つ選択します。
- WPA-パーソナル : AESまたはTKIP暗号化タイプを選択し、暗号化キーを入力します。
- WPA2-パーソナル : セキュリティキーを入力します。

注:

- WEPキーは5文字か13文字のASCIIキャラクターまたは10文字か26文字の16進数 (0-9 / A-F)で記入してください。
- 暗号化されたワイヤレスネットワークへの接続が難しい場合、ワイヤレスルータ/AP設定をチェックし、「Nのみ」モードから「B/G/N混合」または類似設定に転送速度を変更します。
- WPA2で暗号化したWindows 7のユーザーの場合、NASでアドホック接続を確立することはできません。Windows 7でWEP暗号化を使用するように、変更してください。
- アドホック接続を確立するには、ワイヤレスインターフェースに対して固定IPアドレスを使用する必要があります。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

ワイヤレスネットワークプロパティ

ネットワーク名: PM

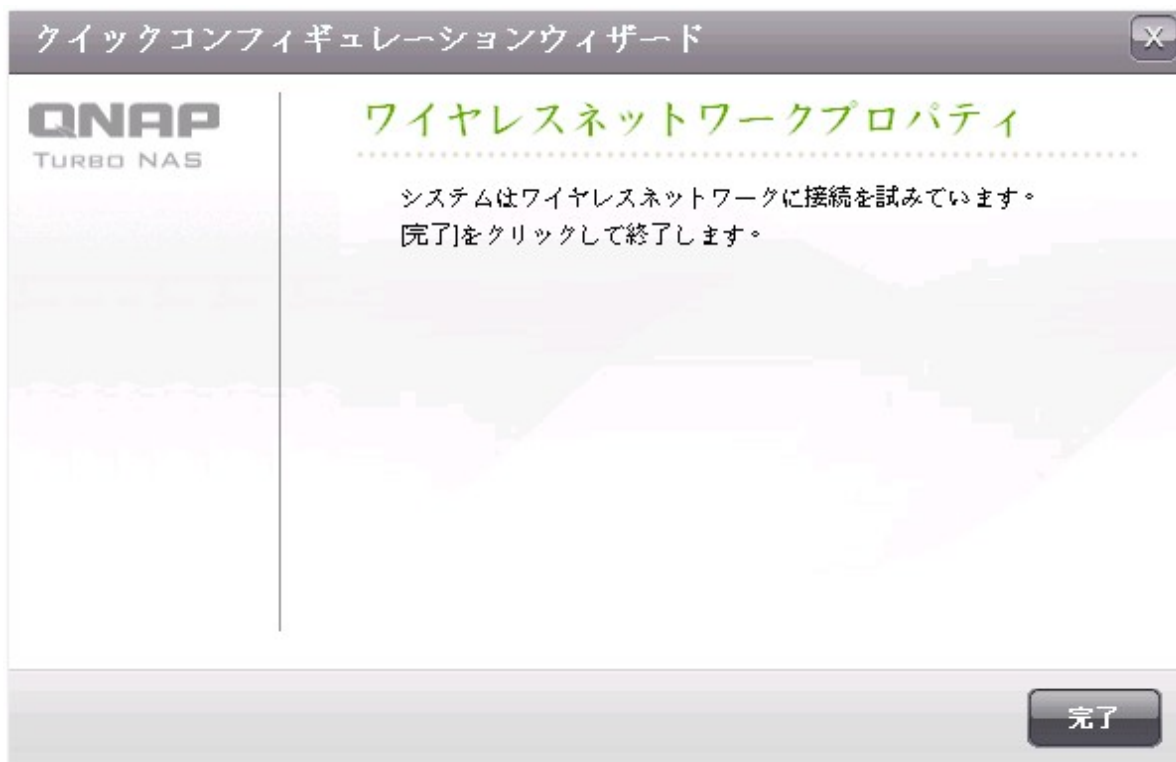
セキュリティタイプ: 認証されていません (開)


ワイヤレスネットワークを有効にする



続しま

戻る 次へ キャンセル

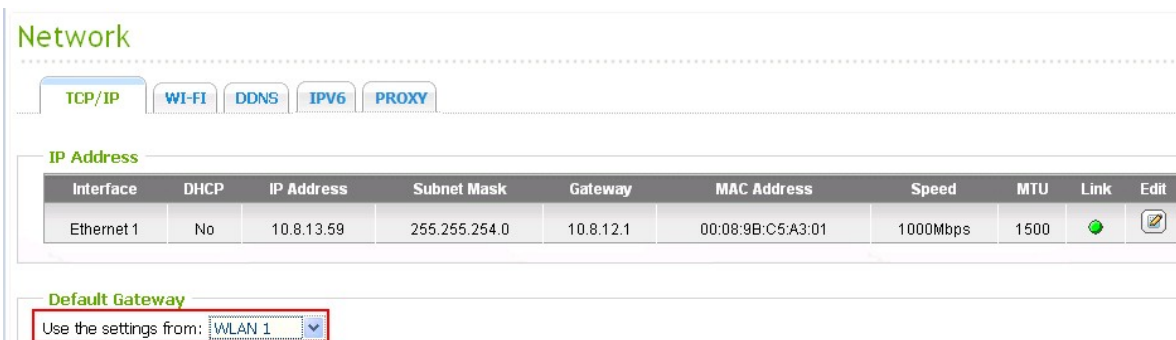
NASがワイヤレスネットワークを追加した後、「FINISH(終了)」をクリックします。



IPアドレス設定を編集するには、Edit(編集)ボタン  をクリックします。DHCPでIPアドレスを自動的に取得したり、固定IPアドレスを設定したりできます。

IP Address									
Interface	DHCP	IP Address	Subnet Mask	Gateway	MAC Address	Speed	MTU	Link	Edit
WLAN 1	Yes	192.168.11.6	255.255.255.0	0.0.0.0	00:1F:1F:55:4E:3C	54Mbps	1500		

ワイヤレス接続がNASとルータ/AP間の唯一の接続の場合、「Network(ネットワーク)」>「TCP/IP」ページでデフォルトゲートウェイとして「WLAN1」を選択する必要があります。そうしなければ、NASはインターネットに接続したり、別のネットワークと通信したりすることができません。



DDNS

インターネット上にサーバを設定して、同サーバへの容易なアクセスを可能にするには、通常、覚えやすい固のホスト名が必要です。ただし、ISPから提供されているのが動的なIPアドレスだけの場合、サーバのIPアドレスは更されるので、呼び出すのは簡単ではありません。DDNSサービスを使えば、この問題を解決できます。

NASのDDNSサービスを効にした後、NASを再起動するか、IPアドレスを更すると、NASはDDNSプロバイダに直ちに通知して、新しいIPアドレスを記録します。ホスト名を使ってNASに接続しようとする時、DDNSは記録されたIPアドレスをユーザーに送信します。

DDNSサービスを使用する前に、DDNSプロバイダから入手したホスト名を登録してください。NASは以下のDDNSプロバイダに対応しています: DDNS providers: <http://www.dyndns.com>, <http://update.ods.org>, <http://www.dns.org>, <http://www.dyns.cx>, <http://www.3322.org>, <http://www.no-ip.com>. DDNSサービスの登録方法に関しては、DDNSプロバイダのウェブサイト参照してください。

NASにおけるDDNSセットアップおよびポート転送の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

The screenshot shows a web interface for network configuration. At the top, there's a 'Network' header and a navigation bar with tabs for 'TCP/IP', 'WI-FI', 'DDNS', 'IPV6', and 'PROXY'. The 'DDNS' tab is selected. Below the tabs, the 'DDNS Service' section is active. It contains a checkbox for 'Enable Dynamic DNS Service', a dropdown menu for 'Select DDNS server' (set to 'www.dyndns.com'), and input fields for 'Username', 'Password', and 'Host name'. There is also a checkbox for 'Check the external IP address automatically' with a dropdown set to '1 hour'. At the bottom of this section, it shows 'Current WAN IP: 61.62.220.74'. Below the DDNS Service section is a 'Recent DDNS Update Result' section with labels for 'Connection IP last checked:', 'Next check for connection IP:', 'Last DDNS update time:', and 'Update server response:'.

IPv6

NASは「ステートレス」アドレス構成を備えたIPv6接続、またIPv6とRFC2461用のRADVD（ルータ通知デーモン、Router Advertisement Daemon）をサポート。これにより、同一のサブネット上のホストはNASからIPv6アドレスを自動的に取得できます。NAS上のIPv6対応サービスは以下を含みます:



- リモートレプリケーション
- ウェブサーバ
- FTP
- iSCSI (仮想ディスクドライブ)
- SSH (putty)

Network

TCP/IP WI-FI DDNS **IPv6** PROXY

IP Address

Enable IPv6

Interface	Auto Configuration	IPv6 Address	Prefix Length	Gateway	Link	Edit
Ethernet 1	Yes	fe80::208:9bff:fe8c:bc6c	64	::		

DNS Server

.....

.....

APPLY

この機能を使用するには、“Enable IPv6”（IPv6を効化）のボックスにチェックをいれ、“Apply”（適用）をクリックします。NASが再起動します。システムが再起動した後、IPv6ページに再度ログインします。IPv6インターフェイスの設定が表示されます。✎をクリックして設定を編集します。

IPv6 - Property

IPv6自動コンフィギュレーション

スタティックIPアドレスの使用

固定IPアドレス:

プレフィクス長:

デフォルトゲートウェイ:

ルータアドバタイズメントデーモン(radvd)を有効にする

プレフィクス:

プレフィクス長:

Step 1 of 1

適用 キャンセル

IPv6 自動構成

ネットワーク上にIPv6 対応ルータがある場合、このオプションを選択して、NASが自動的にIPv6アドレスを取得し構成するようにします。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用するには、IPアドレス(例:2001:bc95:1234:5678)、プレフィクス長(例:64)、およびNASのゲートウェイアドレスを入力してください。プレフィクス及びプレフィクス長の情報をISPに問い合わせる必要があります。

- ルータ通知デーモン (radvd) を効化する

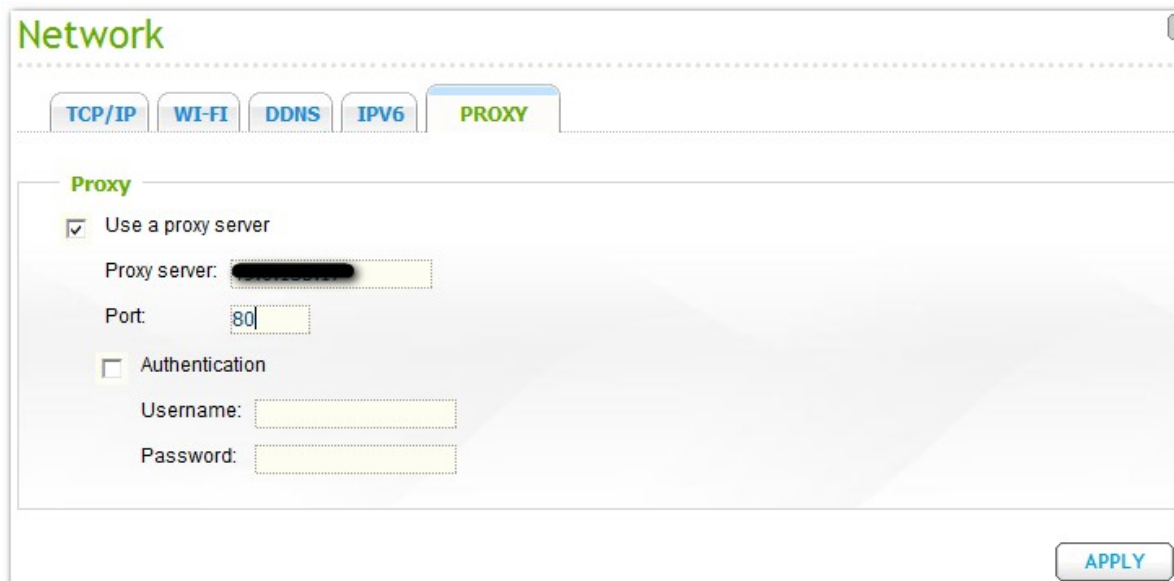
NASをIPv6ホストとして構成しIPv6アドレスをIPv6対応のローカルクライアントに分配するには、このオプションを効化し、プレフィクス及びプレフィクス長を入力します。

IPv6 DNSサーバ

ご希望のDNSサーバを上欄に入力し、代替DNSサーバを下欄に入力します。情報についてはISPあるいはネットワーク管理者にお問い合わせください。IPv6自動構成を選択した場合は、欄は「:」-のままにしておいてください。

Proxy

NASがファームウェアのライブアップデート、ウイルス定義の更新、QPKGアドオンダウンロードを行うためにプロキシサーバー経由でインターネットにアクセスすることを許可するには、プロキシサーバー設定を入力します。



The screenshot shows the 'Network' configuration page with the 'PROXY' tab selected. The 'Proxy' section is active, and the 'Use a proxy server' checkbox is checked. The 'Proxy server' field contains a redacted IP address, and the 'Port' field is set to '80'. The 'Authentication' section is currently unchecked, with empty fields for 'Username' and 'Password'. An 'APPLY' button is located at the bottom right of the configuration area.

Network

TCP/IP WI-FI DDNS IPV6 **PROXY**

Proxy

Use a proxy server

Proxy server: [REDACTED]

Port: 80

Authentication

Username: []

Password: []

APPLY

3.3 サービスバインディング

注: サービスバインディング機能は、2 つ以上のネットワークインターフェース(有線および無線)をもつ NAS でのみ利用可能です。

NAS サービスは、初期設定では、すべての利用可能なネットワークインターフェース上で稼働します。サービスを 1 つ以上のネットワークインターフェース(有線または無線)にバインドするには、サービスバインディングを有効にします。

サービスバインディング ?

サービスバインディング

NASサービスは、デフォルトですべての利用可能なネットワークインターフェース上で稼働します。一つ以上の特定のネットワークインターフェース(有線または無線)にバインドするには、サービスバインディングを有効化し、設定します。指定したネットワークインターフェースを介してのみサービスを接続できるようになります。

サービスバインディングの有効化

[適用](#)

NAS 上の利用可能なネットワークインターフェースが表示されます。すべての NAS サービスは、初期設定では、すべてのネットワークインターフェース上で稼働します。各サービスにバインドするネットワークインターフェースを少なくとも 1 つ選択します。それから、「Apply（適用）」をクリックします。ユーザーが、指定したネットワークインターフェースを経由して、サービスに接続できるようになります。

設定が適用できない場合は、「Refresh（更新）」をクリックして、サーバー上の現在のネットワークインターフェースを表示して、サービスバインディングを再度設定します。

注：サービスバインディング設定を適用後も、指定したネットワークインターフェースを経由せずに接続しているユーザーの接続は保持されます。指定したネットワークインターフェースは、次の接続セッションから使用されます。

サービスバインディングの有効化

	イーサネット 1	イーサネット 2
ネットワーク サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Microsoft ネットワーク	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Apple ネットワーク ⓘ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
NFS サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
FTP サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
iSCSI サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
TFTP サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
サービスの管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
NAS ウェブ管理 インターフェース ⓘ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SSH サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Telnet サービス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SNMP	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
アプリケーション	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Web サーバ ⓘ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
MySQL サーバ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RTRR サーバ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Rsync サーバ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

3.4 ハードウェア

本製品のハードウェア機能を、効あるいは無効に設定できます。

ハードウェア

- コンフィギュレーションリセットスイッチを有効にする
- ハードディスクスタンバイモードを有効にする(次の時間以内にアクセスがない場合: 30分間) ステータスLEDがオフになります
- ディスクの空きサイズが次の値より少なくなったらLED通知を有効にする: 3072 MB
- 書き込みキャッシュを有効にする(EXT4の場合)

ブザーコントロール

アラームブザーを有効にする

- システム操作(起動、シャットダウン、ファームウェアアップグレード)
- システムイベント(エラーと警告)

スマートファンコンフィギュレーション

ファン回転速度の設定: スマートファンを有効にする(推奨)

- 以下の湿度条件をすべて満たした場合に、ファンを低速で回転させる:
 - システムの湿度が40°C(104°F)未満である。
- 以下の湿度条件のいずれかを満たした場合に、ファンを高速で回転させる:
 - システムの湿度が57°C(135°F)以上である。
 - CPUの湿度が62°C(144°F)以上である。
 - ハードドライブの湿度が50°C(122°F)以上である。
- 設定湿度を定義する:
 - システム湿度が次より低い場合: 25 °C ファンを回転を停止します。
 - システム湿度が次より低い場合: 35 °C 低速で回転します。
 - システム湿度が次より高い場合: 45 °C 高速で回転します。

構成リセットスイッチを効にする

このボタンを効にすることにより、リセットボタンを3秒間押しして管理者パスワードとシステム設定をリセットしてデフォルトに戻すことができます。ディスクのデータは維持されます。

システム	ベーシックシステムリセット (ビーブ音1回)	アドバンスドシステムリセット (ビーブ音2回)
すべてのNASモデル	リセットボタンを3秒間押します。	リセットボタンを10秒間押します。

ベーシックシステムリセット(3秒)

リセットボタンを3秒間押すと、ビープ音が発生します。以下の設定はデフォルト値にリセットされます:

- システム管理者のパスワード:admin
- TCP/IP設定: DHCPを通してIPアドレス設定を自動的に取得する
- TCP/IP設定:ジャンボフレームを無効にする
- TCP/IP 構成:ポートランキングが効な場合 (デュアルLANモードのみ)、ポートランキングモードは "Active Backup (Failover)" (アクティブバックアップ(フェールオーバー) にリセットされます。
- システムポート: 8080 (システムサービスポート)
- セキュリティレベル:すべての接続を許可する
- LCDパネルパスワード: (空欄)*
- VLANが無効になります
- サービスバインディング:すべてのNASサービスは、すべての利用可能なネットワークインターフェース上で稼働します。

*この機能はLCDパネルの付いたNASモデルにのみ付属しています。詳細については、<http://www.qnap.com>にアクセスしてください。

アドバンスドシステムリセット(10秒)

リセットボタンを10秒間押し続けると、3秒後と10秒後の2回発信音が聞こえます。NASは「Administration(管理)」>「Restore to Factory Default(工場出荷時のデフォルト状態に復元)」でネットワークを利用したシステムリセットとして、システム設定内容のすべてを予約済みのデータを除いてデフォルト状態にリセットします。ユーザー、ユーザーグループ、ネットワーク共有フォルダなど、以前作成した設定内容は消去されます。アドバンスシステムのリセット後に古いデータを復元するには、NAS上に同じネットワーク共有フォルダを作成すればデータに再度アクセスできるようになります。

ディスクスタンバイモードを効にする

この機能が効になっているとき、指定した時間アクセスがないとハードディスクはスタンバイモードに入ります。

SATAディスクの空き容量が値より少なくなると、光の信号警報が効になります。

この機能が効になっているときSATAディスクの空き容量が値より少なくなると、ステータスLEDインジケータが赤と緑で点滅します。値の範囲は1-51200 MBです。

ライトキャッシュの効化(EXT4)

NASのディスクボリュームがEXT4形式でフォーマットされている場合、このオプションを選択すると書き込みに高いパフォーマンスが得られます。データの書き込み中に予期しないシステムのシャットダウンが起こると、データ転送が未完了になってしまいます。以下のサービスのいずれかが効の場合、このオプションはオフになります。Download Station*、MySQLサービス、ユーザークォータ、Surveillance Station NASを仮想環境またはクラスター環境での共ストレージとして設定した場合、このオプションをオフにすることをお勧めします。

*この機能は、TS-879 Pro、TS-1079 Pro、TS-879U-RP、TS-EC879U-RP、TS-1279U-RP、TS-EC1279U-RPではサポートされません。

アラームブザーの効化

システム操作(スタートアップおよびファームウェアアップグレード)およびシステムイベント(エラーおよび警告)が起きた際にアラームブザーをオンにするよう選択することができます。

スマートファンコンフィギュレーション

i. スマートファンを効化(推奨)

デフォルトのスマートファン設定を使用するか、あるいは設定を手動で定義するかを選択します。システムデフォルト設定が選択された場合、サーバ温度、CPU温度、ハードドライブ温度が条件を満たす際はファン回転速度は自動調節されます。このオプションを効化するよう推奨いたします。

ii. ファン回転速度を手動で設定

ファンの速度を低速、中足、高速から設定します。

ウェブ ベースのインターフェイスで予備電源用の警告アラートを使用可能にする：

NAS に 2 個の電源ユニット(PSU)を設置して、それらを電源ソケットに接続すると、両方の PSU が NAS に電源を供給します (1U モデルと 2U モデルに適用されます)。“System Administration” (システム管理) > “Hardware” (ハードウェア) で予備電源モードを使用可能にし、予備電源用の警告アラートの受信を可能にすることができます。PSU のプラグが外れるか、故障すると、NAS はビーブ音を出し、エラー メッセージを“System Logs” (システム ログ) に記録します。

NAS に電源ユニット(PSU)を 1 個のみ設置した場合には、このオプションを使用可能にしないことをお勧めします。



Hardware

Hardware

- Enable configuration reset switch
- Enable hard disk standby mode (if no access within 30 minutes Status LED will be off)
- Enable light signal alert when the free size of disk is less than the value: 3072 MB
- Enable alarm buzzer (beep sound for error and warning alert)
- Enable Redundant Power Supply Mode

3.5 セキュリティ

セキュリティレベル

このサーバーへの接続が許可または拒否されるIPアドレスまたはネットワークを入力します。ホストサーバーの接続が拒否されると、そのサーバーのプロトコルはすべてローカルサーバーにアクセスすることができません。設定を変更したら、[適用]をクリックして更を保存します。ネットワークサービスが再起動し、サーバへの現在の接続が切断されます。

セキュリティ

- セキュリティレベル
- ネットワークセキュリティ
- SSL信用証明書のインポート

セキュリティレベル

高：以下のリストのみ接続を許可します

中：以下の接続を拒否

低：全ての接続を許可

このサーバーへの接続が許可または拒否されるIPアドレスまたはネットワークを入力します。

+ -

ジャンル	IPアドレスまたはネットワークドメイン	IPブロックの残り時間
------	---------------------	-------------

適用

ネットワークアクセスの保護

ネットワークアクセス保護によりシステムのセキュリティが強化され、望ましくない侵入を防ぐことができます。IPが特定の接続方法でサーバにログインできない場合、一定期間または絶えずIPをブロックするようにすることができます。

セキュリティ

セキュリティレベル **ネットワークセキュリティ** SSL信用証明書のインポート

ネットワークセキュリティ

ネットワークアクセス接続を有効にする

<input checked="" type="checkbox"/> SSH:	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間
<input checked="" type="checkbox"/> Telnet:	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP(S):	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間
<input type="checkbox"/> FTP:	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間
<input type="checkbox"/> SAMBA:	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間
<input type="checkbox"/> AFP:	1分間	内に、	5回	の試みが失敗した後、IPを	5分間

SSL信用証明書のインポート

Secure Socket Layer (セキュアソケットレイヤー、SSL) はウェブサーバーとブラウザ間のデータ転送の安全確保を目的に開発されたプロトコルです。信用できるプロバイダによって発行された信用証明書をアップロードすることができます。信用証明書を正式にアップロードすると、SSL接続によって管理インターフェースに接続でき、アラートもエラーメッセージも発生しません。システムはX.509証明書とプライベートキーのみをサポートします。

- 証明書のダウンロード: 現在使用中の安全な証明書をダウンロードします。
- プライベートキーのダウンロード: 現在使用中のプライベートキーをダウンロードします。
- デフォルト証明書およびプライベートキーの復元: 安全な証明書およびプライベートキーをシステム初期値に復元します。現在使用中の安全な証明書およびプライベートキーは上書きされます。

セキュリティ

- セキュリティレベル
- ネットワークアクセス保護
- SSLセキュア証明書と秘密キー**

SSLセキュア証明書と秘密キー

信頼できるプロバイダーが発行したセキュア証明書をアップロードできます。セキュア証明書を正常にアップロードすると、SSL接続で管理インターフェースにアクセスできます。アラートもエラーメッセージも表示されません。

アップロードしたセキュア証明書が正しくないと、SSL接続でサーバにログインできません。この問題を解決するには、セキュア証明書をデフォルトに戻してから、もう一度システムにアクセスしてください。

ステータス: デフォルトのセキュア証明書を使用中

証明書: 以下に、X.509PEM形式で証明書をを入力してください。

秘密キー: 以下に、X.509PEM形式で証明書または秘密キーを入力してください。

3.6 通知

SMTPサーバーの設定

NASは、電子メールアラートをサポート、ユーザーに対しシステムエラーあるいは警告を通知します。電子メールでアラートを受信するには、SMTPサーバを構成します。

- SMTPサーバ: SMTPサーバ名(例:smtp.gmail.comなど)を入力します。
- ポート番号: SMTPサーバ用のポート番号を入力します。ポート番号の初期設定値は25です。
- 送信者:送信者情報を入力します。
- SMTP認証を有効化: この機能を有効化すると、システムはメッセージが送信される前にメールサーバの認証を求めます。
- ユーザー名およびパスワード: 電子メールアカウントのログイン情報を入力します。(例:Gメールログイン名及びパスワードなど)
- SSL/TLSセキュリティ接続を使用: SMTPサーバがこの機能をサポートしている場合、有効化することができます。

通知

SMTPサーバの設定 IM設定 SMSCサーバの設定 アラート通知

SMTPサーバの設定

SMTPサーバ:

ポート番号:

送信元:

SMTP認証を有効にする

ユーザ名:

パスワード:

SSL/TLSセキュア接続を使用する

プロトコルタイプ:

適用

IM 設定

NAS は、インスタントメッセージ(IM)サービスをサポートし、複数の Windows ライブメッセージング連絡機能で、即時システムエラー/警告メッセージを受信し、または、Windows ライブメッセージング会話機能で、NAS からリアルタイムでシステム情報を問い合わせることを可能にします。

注:

- この機能を利用するには、NAS をインターネットに接続する必要があります。
- NAS は、Windows ライブメッセージング 2009 または、それ以降をサポートします。
- NAS 専用の Windows ライブメッセージングのアカウントを登録します。1 台の NAS では、1 つの Windows ライブメッセージングのアカウントのみが利用可能です。

これらの機能を実施するには、以下のステップで行います:

1. <https://signup.live.com/>から、NAS 用の Windows ライブメッセージング ID にサインアップします。
2. お使いの Windows オペレーティングシステム用の Windows ライブメッセージングを<http://explore.live.com/>からダウンロードします。NAS は、Windows ライブメッセージング 2009 または、それ以降をサポートします。
3. ステップ 1 で登録した Windows ライブメッセージングのアカウントでログインします。NAS との対話を許可する連絡先を最大 10 件追加します。これらの連絡先を NAS のメッセージングアカウントに追加していることを確認します。
4. 「Notification (通知)」>「Configure IM (IM設定)」へ進み、ステップ 1 で登録したログイン情報を入力します。「Apply (適用)」をクリックします。ログインステータスが、「On (オン)」と表示されます。

通知

SMTPサーバの設定 IM 設定 SMSCサーバの設定 アラート通知

インスタントメッセージサービスの設定

インスタントメッセージサービスを有効にする

メールアドレス: [REDACTED]

パスワード: [REDACTED]

現在の状態: オン

適用

5. 「Notification (通知)」>「Alert Notification (アラート通知)」と進みます。インスタントメッセージによる警告通知を有効にして、「Instant Messaging Settings (インスタントメッセージの設定)」の下に最大 10 件の許可する連絡先を入力します。「Apply (適用)」をクリックします。

通知

SMTPサーバの設定 IM 設定 SMSCサーバの設定 **アラート通知**

アラート通知

システムイベントが発生した時は、直ちに次の項目を実施してください:

システムエラーアラートの送信方法: Eメール SMS インスタントメッセージ

システム警告アラートの送信方法: Eメール インスタントメッセージ

Eメール通知設定

Eメールアドレス1: alexke@qnap.com

Eメールアドレス2:

テストEメールの送信

注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。

インスタントメッセージの設定

指定連絡先: **追加**

削除

6. 許可された Windows ライブメッセージアカウントでログインして、Windows ライブメッセージを経由し、NAS を対話します。NAS は、イベント発生時に、即時エラー/警告メッセージを許可された連絡先に送信します(英語のみ)。

許可された Windows ライブメッセージャーの連絡先を使用し、次のコマンドを入力して、NAS からリアルタイムでシステム情報を問い合わせることができます。情報は、英語でのみ利用可能です。

コマンド	説明
help	コマンドのオプション一覧が表示されます。
info-cpu	現在の CPU 温度を問い合わせます。
info-sys	現在のシステム温度および冷却ファンの速度を問い合わせます。
info-model	NAS のモデル番号と問い合わせます。
info-hd	NAS 上のハードディスクの個数を問い合わせます。
info-hd-[hd#]	ハードディスクの現在の温度およびスマートステータス(自己監視および報告技術によるステータス)を問い合わせます。例、info-hd-1
info-vol	NAS 上のディスクボリュームの個数を問い合わせます。
info-vol-[vol#]	ディスクボリュームの情報を問い合わせます。例、info-vol-1

SMSCサーバーの構成

SMSサーバ設定を構成して、NASからSMSメッセージを送信することができます。デフォルトのSMSサービスプロバイダはClickatellです。ドロップダウンメニューで「SMSプロバイダの追加」を選択することで、専用のSMSサービスプロバイダを追加することもできます。

「SMSサービスプロバイダの追加」を選択するとき、SMSプロバイダの名前とURLテンプレートテキストを入力する必要があります。

注:入力されたURLテンプレートテキストSMSサービスプロバイダの標準に従っていない場合、SMSを適切に受信することができません。

通知

SMTPサーバの設定 IM 設定 **SMSCサーバの設定** アラート通知

SMSCサーバの設定

SMSプロバイダーから提供されるSMSサービスを利用してインスタントシステムアラートを送信するには、SMSCに関する情報を設定します。

SMSサービスプロバイダー: Clickatell <http://www.clickatell.com>

SSL接続を有効にする

SSLポート: 443

SMSサーバログイン名: [REDACTED]

SMSサーバのログインパスワード: [REDACTED]

SMSサーバAPI_ID: [REDACTED]

適用

アラート通知

NAS がシステムイベント(警告/エラー)発生時に指定したユーザーに送信する即時警告の種類を選択します。

E メール通知の設定

NAS からの即時システム警告を受信する E メールアドレスを最大 2 件指定します。

インスタントメッセージ設定

NAS からの即時システム警告を受信し、Windows ライブメッセージを経由して NAS からリアルタイムでの情報を問い合わせる Windows ライブメッセージの連絡先を最大 10 件指定します。

Windows ライブメッセージの連絡先は、最初に、「Notification (通知)」>「Configure IM (IM設定)」で、NAS の Windows ライブメッセージアカウントに追加する必要があります。

SMS 通知設定

NAS からの即時システム警告を受信する携帯電話番号を最大 2 件指定します。

SMTPサーバの設定

IM 設定

SMSCサーバの設定

アラート通知

アラート通知

システムイベントが発生した時は、直ちに次の項目を実施してください:

システムエラーアラートの送信方法: Eメール SMS インスタントメッセージ

システム警告アラートの送信方法: Eメール インスタントメッセージ

Eメール通知設定

Eメールアドレス1:

Eメールアドレス2:

テストEメールの送信

注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。

インスタントメッセージの設定

指定連絡先:

SMS通知の設定

国コード:

携帯電話番号 1: +886

携帯電話番号 2: +886

テスト用SMSメッセージの送信

3.7 電源管理

このセクションによりサーバの即時再起動またはシャットダウンが可能です。また、停電後に電力が復旧した場合のサーバの動作を定義、さらに自動システム電源オン/オフ/再起動のスケジュールの設定をすることができます。

再起動/シャットダウン

システムの再起動/シャットダウンを直ちに実行する。

リモートレプリケーションジョブの進行中に、ウェブベースのインターフェイスまたはLCDパネルからNASを再起動あるいは電源オフにしようとした場合、システムは進行中のリモートレプリケーションジョブを無視するかどうか確認するメッセージが表示されます。

「レプリケーションジョブの実行中は、再起動/シャットダウンのスケジュールを延期する」のオプションを有効化すると、進行中のレプリケーションジョブが完了した後に、スケジュール済みのシステム再起動あるいはシャットダウンが実行されます。そうでない場合、システムは進行中のレプリケーションジョブを無視し、スケジュール済みのシステム再起動/シャットダウンを実行します。

EuP の設定

EuP（または、エネルギー使用製品）とは、電気機器のエネルギー効率の向上、有害物質の使用の削減、製品リサイクルの容易さの向上、および製品の環境への優しさを改善するために設計された欧州連合（EU）の指令です。

EuP が有効になっている場合は、以下の設定は、サーバの電源が切れている場合、低消費電力（1W 未満）を維持するように影響を受けます。

- ウェイクオン LAN：無効になります。
- AC 電源再供給：電源が停電から復旧後も、サーバはオフのままになります。
- スケジュール電源オン/オフ/再起動設定：無効になります。

EuP が無効になると、サーバの電源がオフの場合の電源消費量は 1W より少し大きくなります。EuP は、初期設定では無効になっており、ウェイクオン LAN、AC 電源再供給、電源スケジュール設定機能を正しく利用できます。

この機能は、一部の NAS モデルでのみサポートされます。詳細は、<http://www.qnap.com> を参照してください。

Wake on LAN (ウェイクオンLAN)

このオプションを有効にすると、Wake on LANにより遠隔操作でNASの電源を入れることが出来ます。NASがオフの間に電源接続が実際に引き抜かれた場合、Wake on LANは電源がその後再接続されたかどうかに関わらず、機能しません。

この機能は、TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-419P、TS-410U、TS-419U、TS-112、TS-212、TS-412およびTS-412Uではサポートされません。詳細は<http://www.qnap.com>にアクセスしてください。

電源回復設定

停電時にAC電源が回復した際、NASが以前のオンまたはオフ状態に戻る、または電源を入れる、あるいはオフのままにするよう構成します。

電源オン/オフ/再起動スケジュール

毎日、平日、週末、あるいは週のうちのいずれかの曜日を選び、特定の時間に自動システム電源オン、オフ、あるいは再起動するよう設定することができます。平日とは月曜日から金曜日までのことです。週末とは、土曜日と日曜日のことです。最大15スケジュールまで設定することができます。

電源管理

再起動/シャットダウン

システムの再起動/シャットダウンをただちに実行します。

EuPモードのコンフィギュレーション

有効
 無効

Wake on LANの設定

有効
 無効

AC電源復旧時の動作

サーバを前回の電源オンまたは電源オフのステータスに戻す。
 サーバをオフのままにする。

電源オン/電源オフの再起動スケジュールを設定

スケジュールを有効にする

レプリケーションジョブの実行中は、再起動/シャットダウンのスケジュールを延期する。

シャットダウン 毎日 7 0

3.8 ネットワークごみ箱

ネットワークごみ箱を使用する

ネットワークごみ箱には、NAS 上で削除されたファイルが保持されます。削除されたファイルを保持するには、この機能を有効にして、日数(1 ~ 9999)を指定します。また、ごみ箱から除外するファイル拡張子を指定することもできます。「Apply (適用)」をクリックします。

ネットワークごみ箱はSAMBAおよびAFPを使用してのファイル削除のみサポートしていますのでご注意ください。

ネットワークごみ箱を空にする

ネットワークごみ箱内のすべてのファイルを削除するには、「ネットワークごみ箱を空にする」をクリックします

Network Recycle Bin

Network Recycle Bin

After enabling Network Recycle Bin, all the deleted files on the network folders of the NAS are moved to the "Network Recycle Bin" network folder.

Enable Network Recycle Bin

File retention time : day(s)

Exclude these file extensions: (case insensitive, separated by comma ',')

Empty Network Recycle Bin

Click **[EMPTY NETWORK RECYCLE BIN]** to delete all the files in network recycle bin.

3.9 設定のバックアップ/復元

システムバックアップの設定

設定をバックアップするには、「バックアップ」ボタンを押してください。

システム復元の設定

設定をリストアするには、以前に保存した設定情報ファイルを選択し、「リストア」ボタンを押してください。

システムバックアップの設定

システムバックアップの設定

設定をバックアップするには、「バックアップ」ボタンを押してください。

[バックアップ](#)

システム復元の設定

設定をリストアするには、以前に保存した設定情報ファイルを選択し、「リストア」ボタンを押してください。

[瀏覽...](#)


[復元](#)

3.10 システムログ

システムイベントのログ

NASは警告、エラーおよび情報メッセージを含む最近10,000件のイベントログを保存できます。情報単なるメッセージです。通常は無視してください。警告この動作には、問題がある可能性があります。ネットワークやセキュリティの設定によっては、何らかの対処が必要でエラー何らかの対処が必要です。

ヒント：ログを右クリックして記録を削除することができます。すべてのログを消去するには、「Clear(クリア)」をクリックします。



The screenshot shows a web interface titled "システムログ" (System Log). It has several tabs: "システムイベントログ" (System Event Log), "システム接続ログ" (System Connection Log), "オンラインユーザ" (Online Users), and "SYSLOG". Below the tabs are buttons for "すべてのイベント" (All Events), "クリア" (Clear), and "保存" (Save). The main area contains a table with the following columns: "タイプ" (Type), "日付" (Date), "時刻" (Time), "ユーザ" (User), "送信元IP" (Source IP), "コンピュータ名" (Computer Name), and "内容" (Content). The table lists ten events, all with a warning icon, occurring on 2011-01-11 between 11:52:21 and 11:53:22. Each event's content is "Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes." At the bottom, a status bar indicates "イベントが10000件あります。ページあたり 10 件の記録を表示します。" (There are 10,000 events. Display 10 records per page.) and shows "1 / 1000" with navigation arrows.

タイプ	日付	時刻	ユーザ	送信元IP	コンピュータ名	内容
⚠	2011-01-11	11:53:22	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:53:15	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:53:09	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:53:02	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:55	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:49	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:42	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:35	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:28	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.
⚠	2011-01-11	11:52:21	System	127.0.0.1	localhost	Add IP: [10.8.12.18] to ban list for 5 minutes.

システム接続のログ

システムはHTTP、FTP、Telnet、SSH、AFP、NFS、SAMBA、および iSCSIの接続のログをサポートします。「オプション」をクリックしてログする接続タイプを選択します。

ヒント: 接続ログのリストのログを右クリックし選択して、レコードを削除するかIPを禁止するリストに追加し、IPの禁止期間を選択できます。すべてのログを消去するには、「Clear(クリア)」をクリックします。

The screenshot shows the 'システムログ' (System Log) interface. It has tabs for 'システムイベントログ', 'システム接続ログ', 'オンラインユーザー', and 'SYSLOG'. Below the tabs are buttons for 'すべてのイベント', 'オプション', 'ログギングの停止', 'クリア', and '保存'. The main area is a table with the following columns: タイプ, 日付, 時刻, ユーザ, 送信元IP, コンピュータ名, 接続タイプ, アクセスしたリソース, and アクション. A context menu is open over a row, showing options: 'このレコードの削除' and 'ブロックリストに追加'. The 'ブロックリストに追加' menu is further open, showing options: '5分間', '30分間', '1時間', '1日', and '期限なし'. At the bottom, it says 'イベントが2970件あります。 ページあたり 10 件の記録を表示します。' and shows page navigation controls.

タイプ	日付	時刻	ユーザ	送信元IP	コンピュータ名	接続タイプ	アクセスしたリソース	アクション
!	2011-01-11	11:53:49	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:48	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:47	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:46	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:44	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:43	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:41	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:40	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:39	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai
!	2011-01-11	11:53:37	System	10.8.12.18	---	HTTP	Administration	Login Fai

アーカイブログ: このオプションは接続ログのアーカイブを効化します。システムは、csvファイルを自動的に生成し、ログ回数が上限に達するとファイルを指定のフォルダに保存します。

X

接続タイプ

ログする接続タイプを選択してください。

HTTP

FTP

Telnet

SSH

AFP

SAMBA

iSCSI

ログ数が10,000に達したら、接続ログをアーカイブし、フォルダにファイルを保存します:

適用
キャンセル

このページでファイルレベルのアクセスログを表示することもできます。「Options(オプション)」で指定した接続タイプ経由でファイルやフォルダにユーザーがアクセス、作成、削除、移動、または名前の変更を行うと、NASはログを記録します。この機能を無効にするには、「Stop logging(ロギングの停止)」をクリックします。

システムイベントログ
システム接続ログ
オンラインユーザー
SYSLOG

すべてのイベント
オプション
ロギングの停止
クリア
保存

タイプ	日付	時刻	ユーザー	送信元IP	コンピュータ名	接続タイプ	アクセスしたリソース	アクション
①	2011-01-24	10:18:54	guest	10.8.12.7	reinb	SAMBA	---	Login OK
①	2011-01-24	10:18:54	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/temp/New Microsoft Office Access /	Write
①	2011-01-24	10:18:45	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/temp/New Bitmap Image.bmp	Delete
①	2011-01-24	10:18:40	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/New Bitmap Image.bmp -> Public/t	Move
①	2011-01-24	10:18:28	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/New Text Document.txt	Delete
①	2011-01-24	10:18:09	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/tem -> Public/temp	Rename
①	2011-01-24	10:18:06	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	Public/temp -> Public/tem	Rename
①	2011-01-24	10:18:00	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	---	Login OK
①	2011-01-24	10:17:59	guest	10.8.12.7	reinb	SAMBA	---	Login OK
①	2011-01-24	10:17:41	admin	10.8.12.7	reinb	SAMBA	---	Login OK

イベントが598件あります。 ページあたり 件の記録を表示します。

 / 60

オンラインユーザー

ネットワークサービス経由でシステムにアクセスするオンラインユーザーの情報は、このページに表示されます。

ヒント: ログを右クリックしてIP接続の切断を選択し、IPをブロックリストに追加することができます。

タイプ	ログイン日付	ログイン時刻	ユーザ	送信元IP	コンピュータ名	接続タイプ	アクセス
成功	2011-01-11	09:16:40	iqn.2010.10.com.example:cf4036bf	10.8.13.101	---	iSCSI	iqn.20
成功	2011-01-			10.8.12.43	---	HTTP	Admin

イベントが2件

この接続の切断
ブロックリストに追加

この接続の切断とIPのブロック

5分間
30分間
1時間
1日
期限なし

Syslog

SyslogはIPネットワークでログメッセージを転送するための標準規格です。このオプションを使用可能にすることで、イベント・ログや接続ログをリモートのSyslogに保存することができます。

システムイベントログ	システム接続ログ	オンラインユーザ	SYSLOG
Syslog設定			
<input checked="" type="checkbox"/> Syslogを有効にする このオプションを有効にすると、イベントログと接続ログをリモートSyslogサーバに保存できます。			
SyslogサーバIP: <input type="text"/>			
UDPポート: <input type="text" value="514"/>			
記録するログの選択			
<input checked="" type="checkbox"/> システムイベントログ			
<input type="checkbox"/> システム接続ログ (このオプションを使用するシステム接続ログを有効にする必要があります。)			
<input type="button" value="適用"/>			

接続ログをCSVファイルに変換する場合、接続タイプとアクションはコード(番号)になります。コードの意味については、下の表を参照してください。

接続タイプコード	アクションコード
0 - UNKNOWN	0 - UNKNOWN
1 - SAMBA	1 - DEL
2 - FTP	2 - READ
3 - HTTP	3 - WRITE
4 - NFS	4 - OPEN
5 - AFP	5 - MKDIR
6 - TELNET	6 - NFSMOUNT_SUCC
7 - SSH	7 - NFSMOUNT_FAIL
8 - ISCSI	8 - RENAME
	9 - LOGIN_FAIL
	10 - LOGIN_SUCC
	11 - LOGOUT
	12 - NFSUMOUNT
	13 - COPY
	14 - MOVE
	15 - ADD

3.11 ファームウェア更新

ウェブ管理ページによるファームウェア更新

Firmware Update

FIRMWARE UPDATE **LIVE UPDATE**

Firmware Update

Current firmware version: 3.8.0 Build 20121114

Before updating system firmware, please make sure the product model and firmware version are correct. Follow the steps below to update firmware:

1. Download the release notes of the same version as the firmware from QNAP website <http://www.qnap.com/>
Read the release notes carefully to make sure you need to update the firmware.
2. Before updating system firmware, back up all disk data on the server to avoid any potential data loss during system update.
3. Click the **[Browse...]** button to select the correct firmware image for system update. Click the **[Update System]** button to update the firmware.

Browse...

Note: System update may take tens of seconds to several minutes to complete depending on the network connection status, please wait patiently. The system will inform you when system update is completed.

UPDATE SYSTEM

注:システムが正常に動作している場合にはファームウェアのアップデートは必要ありません。

ファームウェアのアップデートを開始する前に、製品名およびファームウェアバージョンをご確認ください。ファームウェアのアップデートは下記の手順に従って進めてください。

手順1:QNAP ウェブサイトからファームウェアと同じバージョンのリリースノートダウンロードしてください。http://www.qnap.com/ リリースノートを注意してお読みください。更にファームウェアをアップデートする必要があるかどうかご確認ください。

手順2:NASファームウェアをダウンロードし、IMGファイルをご使用のコンピュータに解凍してください。

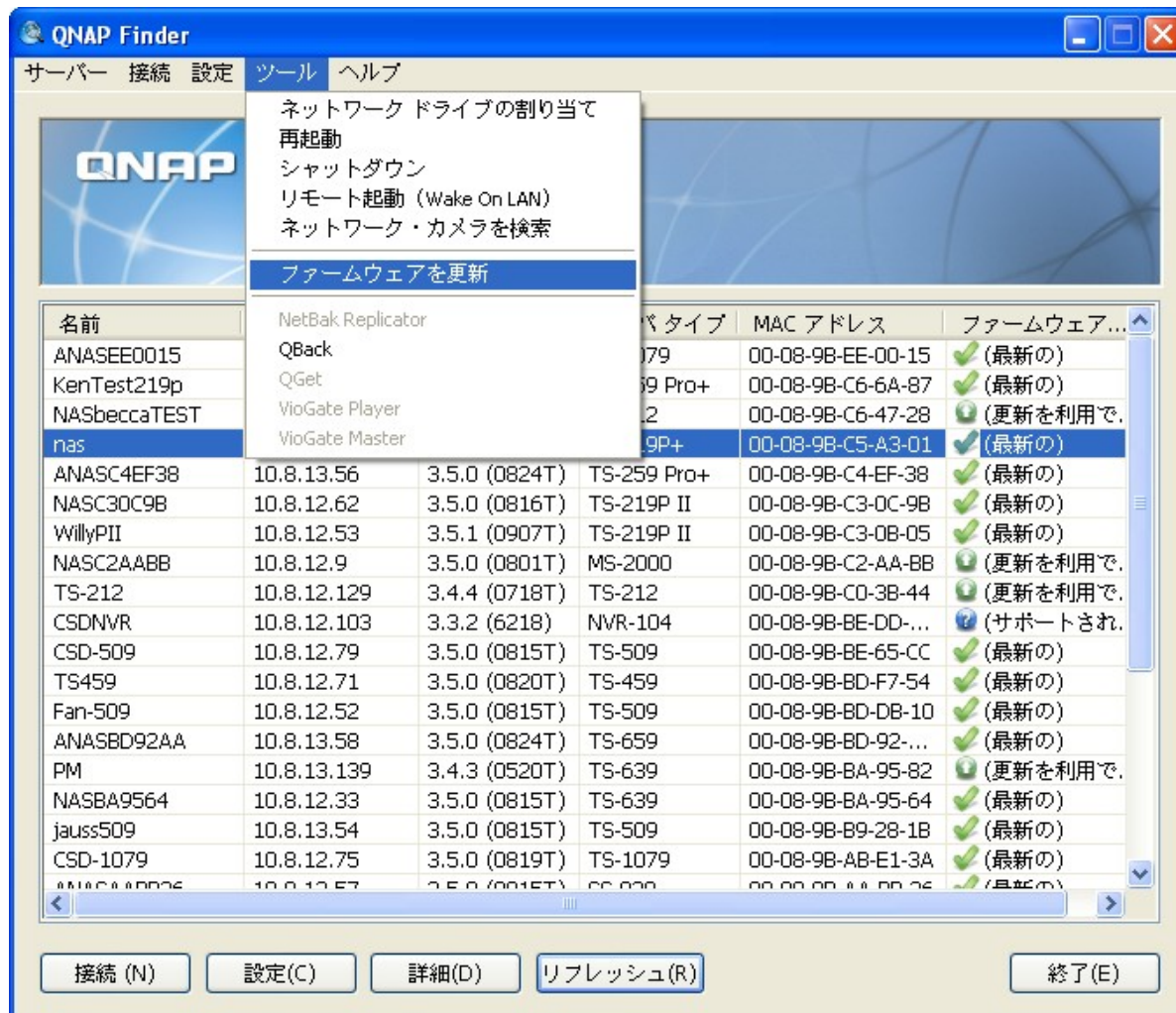
手順3:ファームウェアのアップデート前には、データの紛失を避けるためにサーバー上の全データのバックアップをとってください。

手順4:ファームウェアのアップデートには [参照...] ボタンをクリックした後、[更新] ボタンをクリックしてください。

注:アップデートには数十秒から数分かかることがあります。アップデートの完了が通告されたら終了です。

Finderによるシステムファームウェアの更新

QNAP Finderによりシステムファームウェアを更新することができます。“Tools”（ツール）メニューからNASモデルを選択し“Update Firmware”（ファームウェアを更新）を選択してください。



管理者としてログインします。



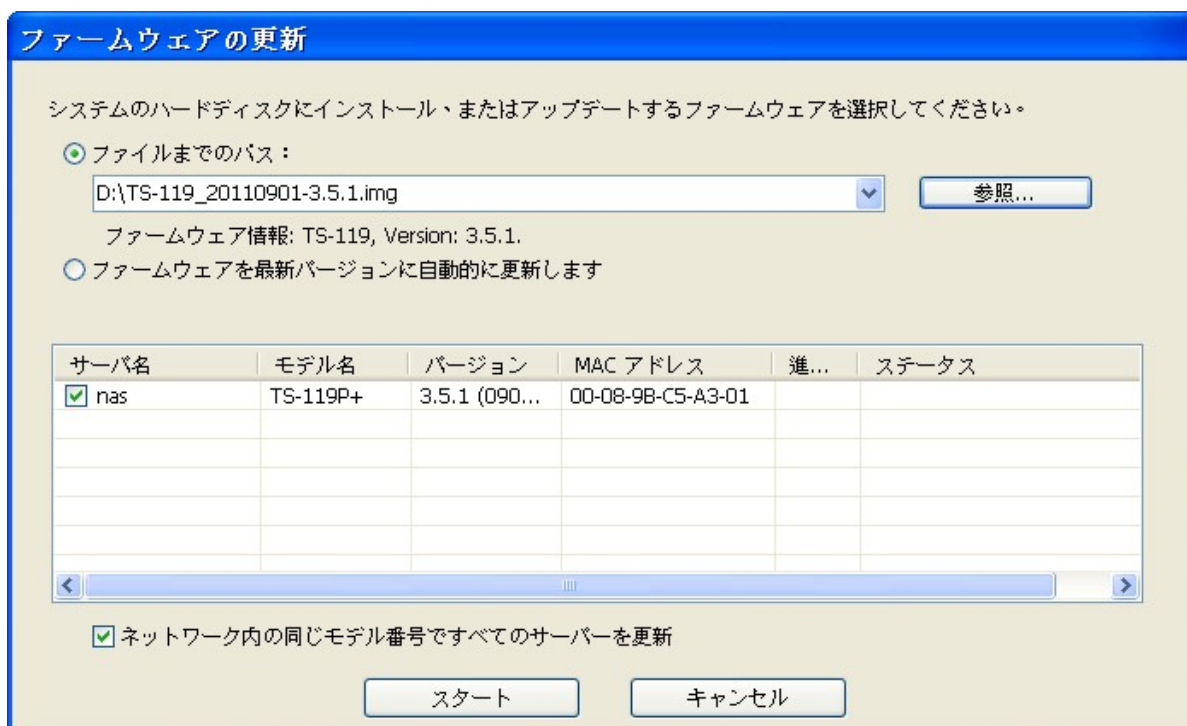
管理者パスワードのチェック [nas]

管理者名 (A): admin

管理者パスワード (P): ●●●●

OK キャンセル

NASのファームウェアを参照し選択します。“Start”（開始）をクリックしシステムを更新します。



ファームウェアの更新

システムのハードディスクにインストール、またはアップデートするファームウェアを選択してください。

ファイルまでのパス：
D:\TS-119_20110901-3.5.1.img 参照...

ファームウェア情報: TS-119, Version: 3.5.1.

ファームウェアを最新バージョンに自動的に更新します

サーバ名	モデル名	バージョン	MAC アドレス	進...	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/> nas	TS-119P+	3.5.1 (090...	00-08-9B-C5-A3-01		

ネットワーク内の同じモデル番号ですべてのサーバーを更新

スタート キャンセル

注：Finderを使用して、同じローカルネットワーク上にある同じモデルのサーバをすべて更新することができます。更新したいすべてのサーバに対し管理者権限があることを確認してください。

ライブ・アップデート

“Enable QNAP live update”（QNAPライブ・アップデートを効化）を選択すると、新規ファームウェアバージョンがインターネットからダウンロードできるかどうかをNASが自動的に確認します。ファームウェアが見つかったら、NASに管理者としてログインした際にその旨が通知されます。

“CHECK FOR UPDATE”（更新を確認する）をクリックすると、いつでもファームウェアの更新について確認することができます。

これらの機能が動作するには、NASがインターネットに接続されていることが必要となりますのでご注意ください。

The screenshot shows the 'ファームウェア更新' (Firmware Update) page. At the top, there are two tabs: 'ファームウェア更新' (Firmware Update) and 'ライブ更新' (Live Update). The 'ライブ更新' tab is selected. Below the tabs, the 'ライブ更新' (Live Update) section is displayed. It shows the status as 'ステータス:--' (Status: --) and a '更新の確認' (Check for Update) button. Below this, the 'ライブ更新設定' (Live Update Settings) section is shown. It contains a description: 'このサービスを有効にすると、NAS Web管理にログインするときに、ダウンロード可能な新しいファームウェアバージョンがあるかどうか自動的に確認されます。' (When you enable this service, the system will automatically check for available new firmware versions when you log in to the NAS Web management). There is a checked checkbox for 'ライブ更新を有効にする' (Enable live update). At the bottom right, there is an '適用' (Apply) button.

3.12 工場出荷時設定の復元

設定情報を工場出荷値に戻すには、「リセット」ボタンを押してください。



注:このページで[リセット]を押すと、ドライブデータ、ユーザーアカウント、ネットワーク共およびシステム設定はすべて消去され、デフォルトに復元されます。NASをリセットする前に、すべての重要なデータとシステム設定をバックアップしていることを確認してください。

Restore to Factory Default

Restore to Factory Default

To reset all settings to default, click **[Reset]**.

Caution: When you press **[Reset]** on this page, all drive data, user accounts, network shares and system settings are cleared and restored to default. Please make sure you have backed up all the important data and system settings before resetting the NAS.

RESET

4. ディスク管理

ボリューム管理^[89]

RAID管理^[93]

ハードディスクS.M.A.R.T.^[118]

暗号化ファイルシステム^[119]

iSCSI^[128]

仮想ディスク^[193]

4.1 ボリューム管理

このページにはNASのSATAディスクのモデル、サイズ、現在のステータスが表示されます。ディスクをフォーマットしてチェックし、ディスクの不良ブロックをスキャンできます。SATAディスクをフォーマットするとき、NASは次のデフォルトの共有フォルダを作成します。

- Public: ファイルを共するためのネットワーク共
- Qdownload/ Download*: Download Stationのためのネットワーク共[#]
- Qmultimedia/ Multimedia*: マルチメディアステーションのためのネットワーク共[#]
- Qusb/ Usb*: USBケーブルを通じたデータコピー機能のためのネットワーク共
- Qweb/ Web*: Webサーバ用のネットワーク共
- Qrecordings/ Recordings* は Surveillance Stationのデフォルトのネットワーク共です

*TS-x59 TS-x69 シリーズのみ

[#]これらの機能は、TS-879 Pro、TS-1079 Pro、TS-879U-RP、TS-EC879U-RP、TS-1279U-RP、TS-EC1279U-RP ではサポートされません。

注:最初のディスクボリュームおよびディレクトリに作成されているデフォルトの共有は変更することはできません。

ボリューム管理



単一ディスクボリューム
単一ディスクボリュームを1つ以上作成する。



RAID 1ミラーリングディスクボリューム
ミラーリングディスクボリュームを1つ以上作成する。



RAID 0ストライピングディスクボリューム
ストライピングディスクボリュームを1つ作成する。



RAID 10ディスクボリューム
3つ以上のディスクを組み合わせてディスクボリュームを作成し、隣接しないディスクでの障害からデータを保護します。



JBOD リニアディスクボリューム
リニアディスクボリュームを1つ作成する。



RAID 5ディスクボリューム
3台以上のディスクを組み合わせて、データ保護機能付きのディスクボリュームを作成します(ディスク障害は1台まで許容されます)。

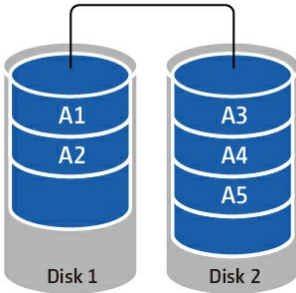
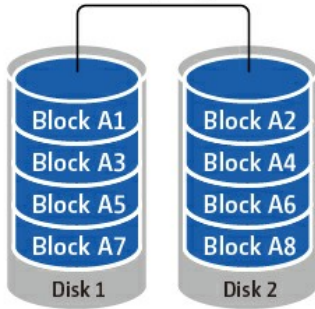
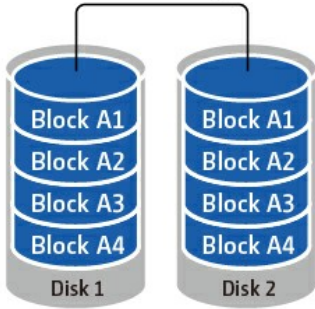


RAID 6ディスクボリューム
4台以上のディスクを組み合わせて、データ保護機能付きのディスクボリュームを作成します(ディスク障害は2台まで許容されます)。

現在のディスクボリュームコンフィギュレーション: 物理ディスク

ディスク	モデル	容量	ステータス	不良ブロックスキャン	S.M.A.R.T. 情報
ドライブ 1	Hitachi HDT725032VLA360 V54O	298.09 GB	準備完了	今すぐスキャン	良好
ドライブ 2	Seagate ST3250620AS 3.AA	232.89 GB	準備完了	今すぐスキャン	良好
ドライブ 3	Seagate ST3250620AS 3.AA	232.89 GB	準備完了	今すぐスキャン	良好
ドライブ 4	--	--	ディスクなし	今すぐスキャン	---
ドライブ 5	--	--	ディスクなし	今すぐスキャン	---

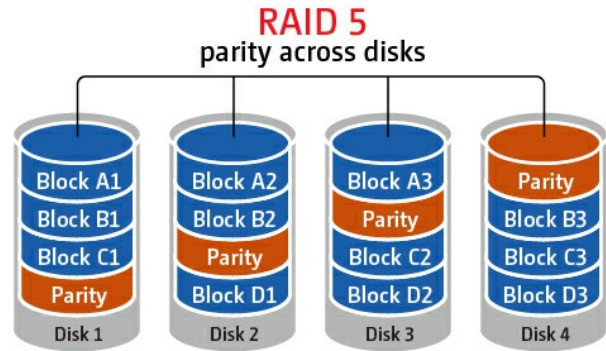
ディスク構成	対応するNASモデル
シングルディスクボリューム	すべてのモデル
RAID 1、JBOD (Just a bunch of disks(ただのディスクの束)の略;スパニング)	2ベイモデル以上
RAID 5、RAID 6、RAID 5+ホットスペア、	4ベイモデル以上
RAID 6+ホットスペア	5ベイモデル以上
RAID 10	4ベイモデル以上
RAID 10+ホットスペア	5ベイモデル以上

<p>シングルディスクボリューム</p> <p>各ハードディスクドライブはスタンドアロンディスクとして使用されます。ディスクが損傷した場合、すべてのデータが失われます。</p>	
<p>JBOD (Just a bunch of disks (ディスク束))</p> <p>JBODは、RAID保護を行わないハードディスクドライブの集まりです。データは物理ディスクに順番に書き込まれます。合計ストレージ容量は、すべてのメンバードライブの容量の合計となります。</p>	<p style="text-align: center;">JBOD</p> 
<p>RAID 0 ストライピングディスクボリューム</p> <p>RAID 0 (ストライピングディスク) は二つ以上のハードディスクドライブを一つの大きなボリュームにまとめます。データはパリティ情報なしにハードディスクに書き込まれ、冗長性はありません。</p> <p>合計ストレージ容量は、すべてのメンバードライブの容量の合計となります。</p>	<p style="text-align: center;">RAID 0 striping</p> 
<p>RAID 1 ミラーリングディスクボリューム</p> <p>RAID 1 はディスクミラーリングによりデータを2つのハードディスクドライブの間で複製します。RAID 1 アレイを作成するには、2機以上のハードドライブが必要となります。</p> <p>RAID 1ディスクボリュームのストレージ容量は最小ハードドライブのサイズ。</p>	<p style="text-align: center;">RAID 1 mirroring</p> 

RAID 5 ディスクボリューム

データはRAID 5アレイ内のすべてのドライブにストライプされます。パリティ情報は各ドライブに分配され保管されます。メンバードライブが停止した際は、アレイは低下モードに入ります。停止したドライブに替えて新規ドライブを設置した後、データはパリティ情報を持つ他のメンバードライブから再構築することができます。

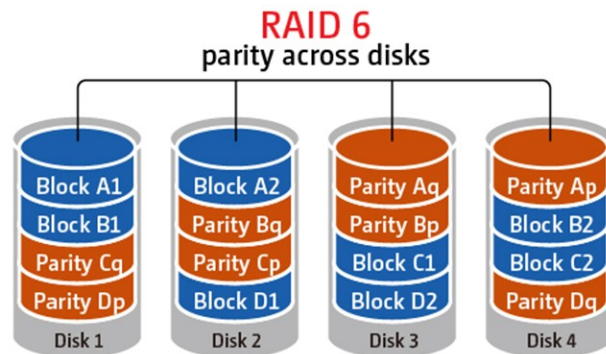
RAID 5 ディスクボリュームを作成するには、3機以上のハードドライブが必要となります。RAID 5アレイのストレージ容量は $(N-1) \times$ (最小ハードドライブのサイズ)と同じです。Nは、アレイのハードドライブメンバーの総数です。



RAID 6 ディスクボリューム

データはRAID 6アレイ内のすべてのドライブにストライプされます。RAID 6がRAID 5と違う点は、パリティ情報の二つ目のセットがアレイ内のメンバードライブに保管されることです。これでメンバードライブ2機の停止に備えることができます。

RAID 6 ディスクボリュームを作成するには、4機以上のハードドライブが必要となります。RAID 6アレイのストレージ容量は $(N-2) \times$ (最小ハードドライブのサイズ)と同じです。Nは、アレイのハードドライブメンバーの総数です。

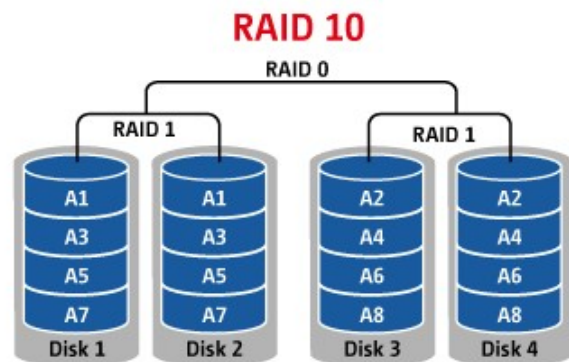


RAID 10 ディスクボリューム

RAID 10は、1つのシステムのRAID 0およびRAID 1の利点を結合しています。ディスクの2次セットのデータをすべてミラーリングすることでセキュリティを提供する一方で、ディスクの各セットにまたがってストライプを使用してデータ転送を加速します。

RAID 10は偶数のハードドライブを必要とします (最低4台のハードドライブ)。RAID 10ディスクボリュームのストレージ容量は(アレイの最小容量ディスクのサイズ) * N/2と同じです。Nは、ボリュームのハードドライブの数です。

RAID 10では、異なるペアのディスクの故障は最大2台まで許可されます。



4.2 RAID管理

*オンラインRAID容量拡張、オンラインRAIDレベル移行、RAID復旧は、1ベイNASモデルおよびTS-210、TS-212ではサポートされません。

このページで、オンラインRAID容量拡大(RAID 1、5、6、10)とオンラインRAIDレベル移行(1台のディスク、RAID 1、5、10)を実行し、ハードドライブメンバーをRAID 5、6、または10設定に追加し、予備のハードドライブ(RAID 5、6、10)を保存されたデータで設定し、ビットマップを有効にし、RAID設定を回復することができます。

RAID 10ボリュームのストレージ容量を拡大するには、オンラインRAID容量拡大を実行するか、同じ数のハードディスクドライブをボリュームに追加します。

RAID管理ツール

この機能により、予約された元のドライブデータで容量を拡張したり、RAID設定を移行したり、スペアドライブを設定したりできます。
注:この機能を使用する前に、この指示をよく読み、正しい操作手順を完全に理解していることを確認してください。

現在のディスクボリューム設定				
ボリューム	容量	Bitmap	状態	コメント
<input type="radio"/> RAID 5ディスクボリューム:ドライブ 1 2 3	455.52 GB	いいえ	準備ができています	実行可能な操作: - 容量の拡張

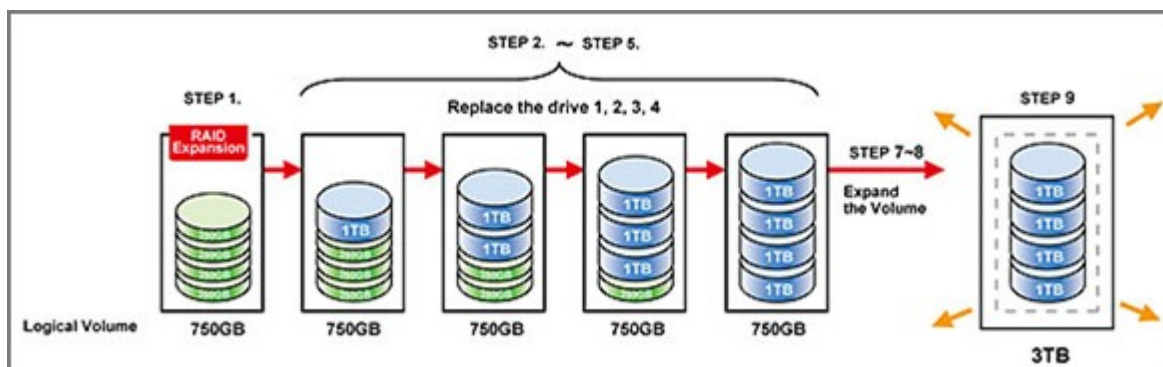
容量の拡張 ハードドライブの追加 移行 スペアドライブの設定 BITMAP RECOVER

オンラインRAID容量拡張

使用例

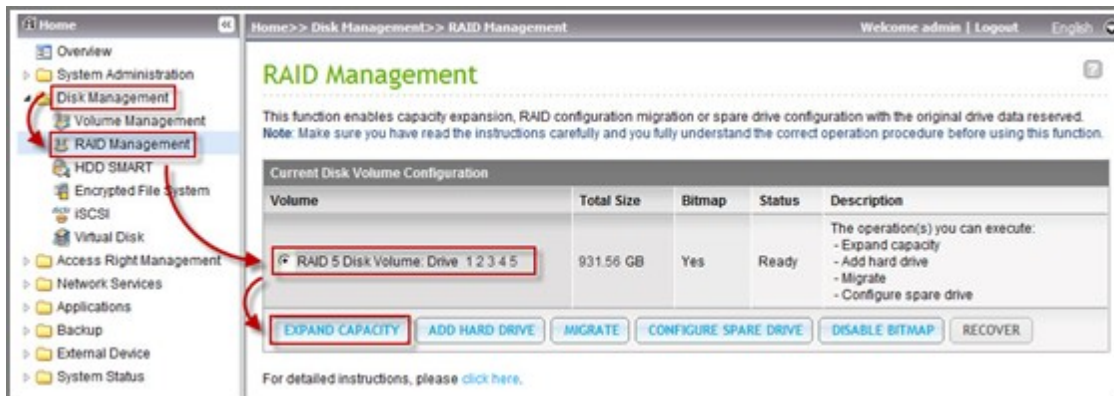
あなたはTS-509Proの初期設定のために4台の250GBハードドライブを購入し、RAID 5ディスク構成を構成しました。

半年後、部署のデータサイズは大きく増大し、1.5TBに達しました。つまり、TS-509Proの容量はほぼフルの状態なのです。それと同時に、1TBハードドライブの価格は大幅に下がっています。

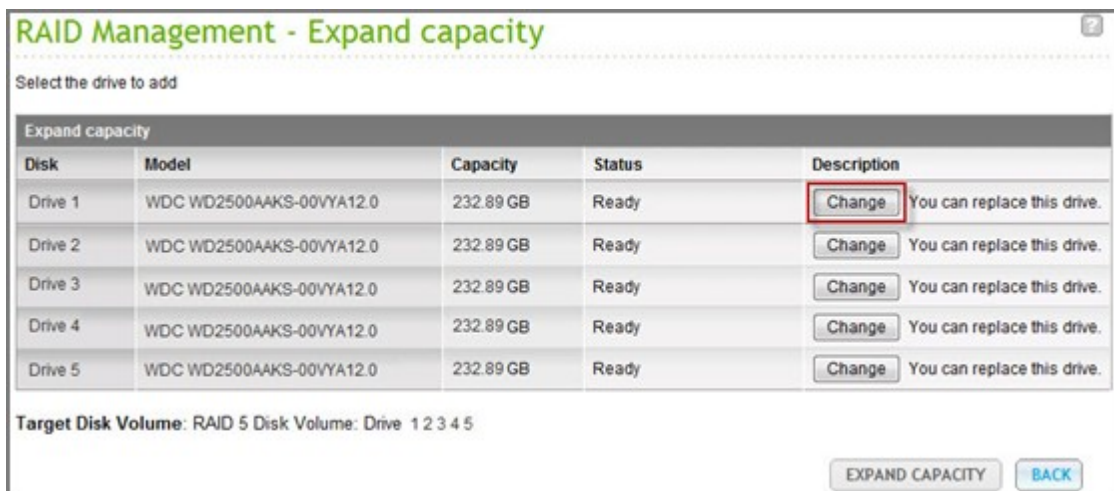


操作手順

"Disk Management" (ディスク管理) > "RAID Management" (RAID管理)ページにて、拡張するドライブボリュームを選択し、"Expand Capacity" (容量を拡張)をクリックします。



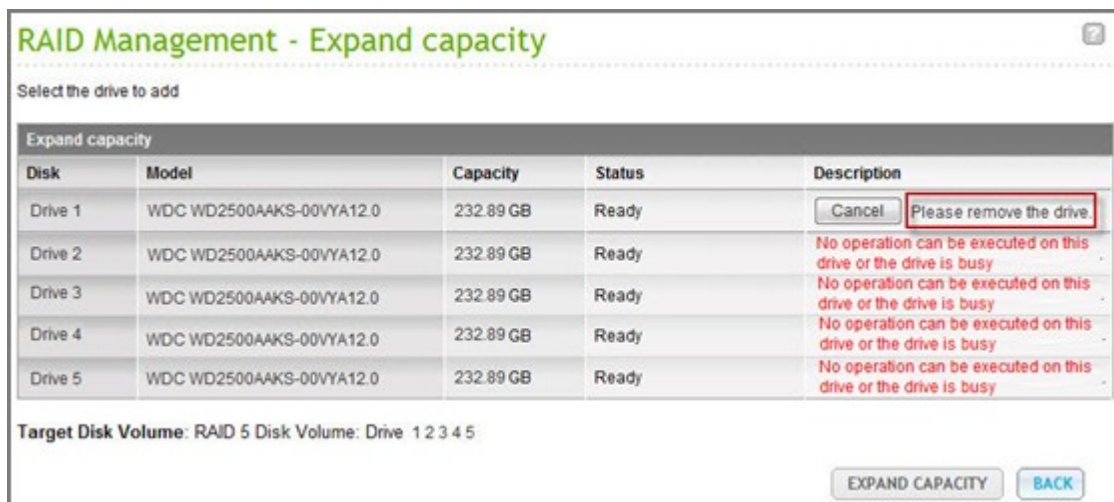
交換したい最初のハードドライブに対し"Change" (変更)をクリックします。指示に従い続行します。



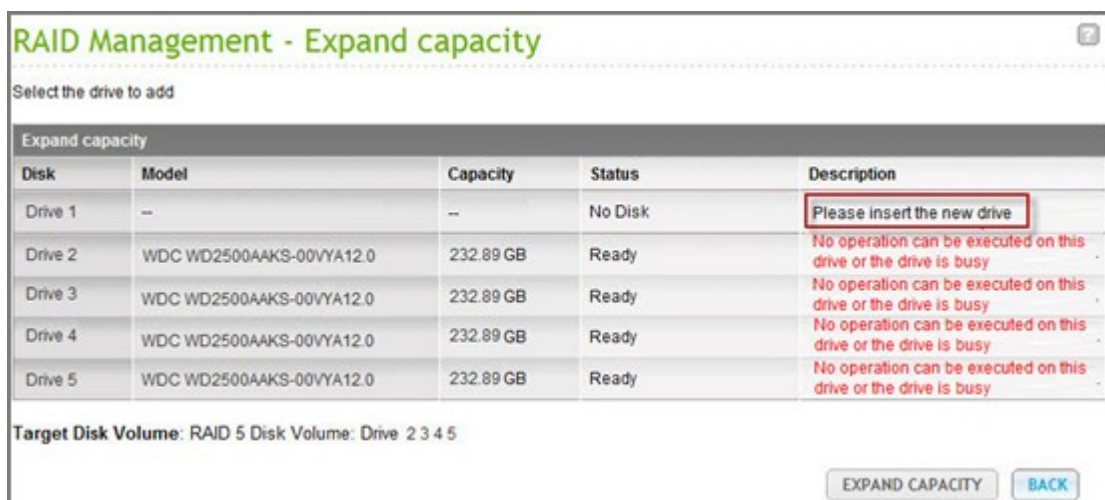
ヒント: ハードドライブを交換した後、説明の欄には" You can replace this drive " (このドライブを交換できます) のメッセージが表示されます。これは、ハードドライブをより容量が大きいものに交換できる、あるいはハードドライブが既に交換されている場合はこのステップをスキップできるということを表しています。

! 注: ハードドライブの同期が進行中の際は、ハードドライブのプラグを差し込む、または抜く、あるいはNASの電源を切る、といったことは絶対にお止めください。






説明が"Please remove this drive" (このドライブを取り外してください) と表示されたら、NASからハードドライブを取り外します。ハードドライブを取り外した後、NASがビープ音を2回鳴らすまでお待ちください。



説明が"Please insert the new drive" (新しいドライブを挿入してください) と表示されたら、ドライブスロットに新しいドライブを挿入します。



ハードドライブの挿入後、NASがビープ音を発するのをお待ちください。システムが再構築を開始します。

Status	Description
 Rebuilding... (0%)	No operation can be executed on this drive or the drive is busy
 Rebuilding... (0%)	No operation can be executed on this drive or the drive is busy
 Rebuilding... (0%)	No operation can be executed on this drive or the drive is busy
 Rebuilding... (0%)	No operation can be executed on this drive or the drive is busy
 Rebuilding... (0%)	No operation can be executed on this drive or the drive is busy

再構築が終了したら、上記のステップに従って他のハードドライブを交換します。

RAID Management - Expand capacity ?

Select the drive to add

Expand capacity				
Disk	Model	Capacity	Status	Description
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	<input type="button" value="Change"/> You can replace this drive.
Drive 2	WDC WD2500AAKS-00VYA12.0	232.89 GB	Ready	<input type="button" value="Change"/> You can replace this drive.
Drive 3	WDC WD2500AAKS-00VYA12.0	232.89 GB	Ready	<input type="button" value="Change"/> You can replace this drive.
Drive 4	WDC WD2500AAKS-00VYA12.0	232.89 GB	Ready	<input type="button" value="Change"/> You can replace this drive.
Drive 5	WDC WD2500AAKS-00VYA12.0	232.89 GB	Ready	<input type="button" value="Change"/> You can replace this drive.

Target Disk Volume: RAID 5 Disk Volume: Drive 1 2 3 4 5

ハードドライブの交換および再構築が完了した後、"EXPAND CAPACITY" (容量を拡張) をクリックしてRAID拡張を行います。

RAID Management

This function enables capacity expansion, RAID configuration migration or spare drive configuration with the original drive data reserved.
Note: Make sure you have read the instructions carefully and you fully understand the correct operation procedure before using this function.

Current Disk Volume Configuration

Volume	Total Size	Bitmap	Status	Description
RAID 5 Disk Volume: Drive 1 2 3 4 5	913.96 GB	Yes	Ready	The operation(s) you can execute: - Expand capacity

EXPAND CAPACITY ADD HARD DRIVE MIGRATE CONFIGURE SPARE DRIVE BITMAP RECOVER

For detailed instructions, please [click here](#).

"OK"をクリックして続行します。

NASがビープ音を発し、容量の拡張を開始します。

RAID Management - Expand capacity

Select the drive to add

Expand capacity

Disk	Model	Capacity	Status	Description
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	Processing...
Drive 2	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	Processing...
Drive 3	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	Processing...
Drive 4	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	Processing...
Drive 5	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	Processing...

Target Disk Volume: RAID 5 Disk Volume: Drive 1 2 3 4 5 You can expand the disk volume capacity to approximately 3726 GB

EXPAND CAPACITY BACK

ドライブのサイズにより、プロセスの完了には数時間から数十時間かかる場合があります。プロセスが完了するまでお待ちください。NASの電源は絶対に切らないでください。

Current Disk Volume Configuration: Physical Disks					
Disk	Model	Capacity	Status	Bad Blocks Scan	SMART Information
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKAO	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 2	Hitachi HD5721010KLA330 GKAO	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 3	Hitachi HD5721010KLA330 GKAO	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 4	Hitachi HD5721010KLA330 GKAO	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 5	Hitachi HD5721010KLA330 GKAO	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD

Current Disk Volume Configuration: Logical Volumes				
Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
RAID 5 Disk Volume: Drive 1 2 3 4 5	EXT3	3726.04 GB	3315.36 GB	Ready

RAID拡張が完了した後、新しい容量が表示され、ステータスは"Ready" (準備完了) となります。これで拡張された容量を使用することができます。(この例では、3TB論理ボリュームに拡張されたということです)

RAID Management

This function enables capacity expansion, RAID configuration migration or spare drive configuration with the original drive data reserved.
Note: Make sure you have read the instructions carefully and you fully understand the correct operation procedure before using this function.

Current Disk Volume Configuration				
Volume	Total Size	Bitmap	Status	Description
<input checked="" type="radio"/> RAID 5 Disk Volume: Drive 1 2 3 4 5	3726.04 GB	Yes	Ready	The operation(s) you can execute: - Expand capacity

EXPAND CAPACITY
ADD HARD DRIVE
MIGRATE
CONFIGURE SPARE DRIVE
BITMAP
RECOVER

For detailed instructions, please [click here](#).

ヒント: 説明が "You can replace this hard drive" (このハードドライブを交換できます) と表示され、ドライブのボリュームステータスが "Ready" (準備完了) のままの場合、このRAIDボリュームはさらに拡張することができます。

オンラインRAIDのレベル移行

使用例

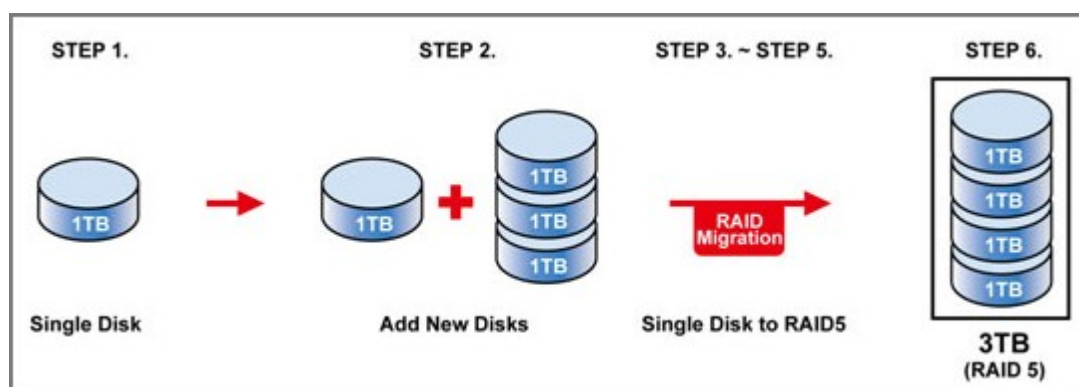
TS-509 Proの初期設定の間に、あなたは1TBハードドライブを購入し、Single Disk(シングルディスク)モードで構成しました。TS-509 Proは部署間のデータ共有のためのファイルサーバとして使用されています。

半年後、TS-509 Proに重要なデータが大量に保管されています。ハードドライブのクラッシュまたはデータ損失の恐れが出てきました。そこで、あなたはディスク構成をRAID 5にアップグレードすることにしました。

オンラインRAIDレベル移行により、ユーザーはTS-509 Proのセットアップのためにハードドライブを一機取り付け、後ほどRAID冗長性レベルを移行してデータ保護を向上することができます。移行プロセスはサーバの電源を切ることなしに実行することができます。オリジナルのデータはすべて保持されます。

オンラインRAIDレベル移行で次を実行できます。

- 1台のディスクからRAID 1、RAID 5、RAID 6またはRAID 10にシステムを移行します
- RAID 1からRAID 5、RAID 6またはRAID 10にシステムを移行します
- 3台のハードドライブを持つRAID 5からRAID 6にシステムを移行します。



以下を行ってください

- 既存のドライブと同等またははより容量が大きいRAID構成のハードドライブを準備します。
- RAID移行 (シングルディスクモードからハードディスク4台のRAID 5にシステムを移行)。

"Device Management" (デバイス管理) > "Volume Management" (ボリューム管理) ページに移動します。 ページに表示される現在のディスクボリューム構成はシングルディスク(容量1TB) です。

Current Disk Volume Configuration: Physical Disks					
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 2	--	--	No Disk	SCAN NOW	---
Drive 3	--	--	No Disk	SCAN NOW	---
Drive 4	--	--	No Disk	SCAN NOW	---
Drive 5	--	--	No Disk	SCAN NOW	---

Current Disk Volume Configuration: Logical Volumes				
Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
Single Disk: Drive 1	EXT3	931.51 GB	524.68 GB	Ready

[FORMAT NOW](#) [CHECK NOW](#) [REMOVE NOW](#)

NASのドライブスロット2、3、4、5に1TB容量の新規ハードドライブを挿入します。NASが新規ハードディスクを検出します。新規ディスクのステータスは"Unmounted" (マウント解除) です。

Current Disk Volume Configuration: Physical Disks					
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 2	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 3	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 4	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 5	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD

Current Disk Volume Configuration: Logical Volumes				
Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
Single Disk: Drive 1	EXT3	931.51 GB	524.68 GB	Ready
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 2	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 3	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 4	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 5	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW

"Disk Management" (ディスク管理) > "RAID Management" (RAID管理) ページにて、移行するドライブ構成を選択し、"Migrate" (移行) をクリックします。

© QNAP. All Rights Reserved

Volume	Total Size	Bitmap	Status	Description
<input checked="" type="radio"/> Single Disk: Drive 1	915.42 GB	--	Ready	The operation(s) you can execute: - Migrate
<input type="radio"/> Single Disk: Drive 2	--	--	Unmounted	No operation can be executed for this drive configuration.
<input type="radio"/> Single Disk: Drive 3	--	--	Unmounted	No operation can be executed for this drive configuration.
<input type="radio"/> Single Disk: Drive 4	--	--	Unmounted	No operation can be executed for this drive configuration.
<input type="radio"/> Single Disk: Drive 5	--	--	Unmounted	No operation can be executed for this drive configuration.

EXPAND CAPACITY ADD HARD DRIVE **MIGRATE** CONFIGURE SPARE DRIVE BITMAP RECOVER

1つ以上の使用可能なドライブおよび移行方法を選択してください。移行後のドライブ容量が表示されます。"Migrate" (移行) をクリックして続行します。

RAID Management - Migrate

Select the drive to add

Available drive(s)	Disk	Model	Capacity	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 2	WD1000FYPS-01ZKB02.0	931.51 GB	Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 3	WD1000FYPS-01ZKB02.0	931.51 GB	Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 4	WD1000FYPS-01ZKB02.0	931.51 GB	Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 5	WD1000FYPS-01ZKB02.0	931.51 GB	Ready

Select the migration method:

- Single Disk Volume -> RAID 1 Mirroring Disk Volume
- Single Disk Volume -> RAID 5 Disk Volume
- Single Disk Volume -> RAID 6 Disk Volume

Target Disk Volume: Single Disk: Drive 4 The drive configuration is about to be configured as RAID 5 Disk Volume, The capacity is approximately 3726 GB

MIGRATE **BACK**

選択したドライブのすべてのデータは消去されます。"OK"をクリックして確定します。

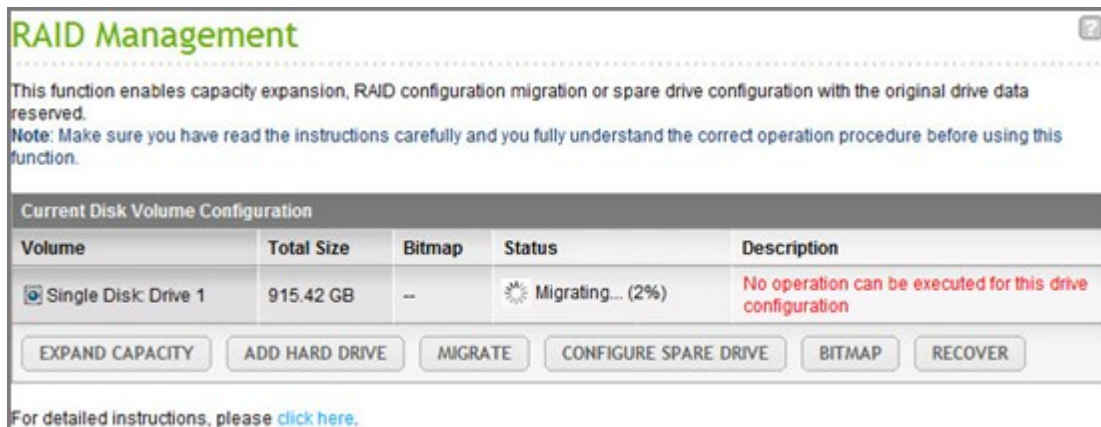
移行が進行中の際は、説明の欄に必要な時間と移行後のドライブ容量が表示されます。

Current Disk Volume Configuration: Physical Disks					
Drive 1	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 2	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 3	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 4	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD
Drive 5	Hitachi HD5721010KLA330 GKA0	931.51 GB	Ready	SCAN NOW	GOOD

Current Disk Volume Configuration: Logical Volumes				
Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
Single Disk: Drive 1	EXT3	931.51 GB	524.68 GB	Ready
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 2	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 3	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 4	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW
Single Disk: Drive 5	EXT3	--	--	Unmounted
				FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW

注: RAID構成のデータがRAID移行完了後も確実に一致するよう、NASシステムは、移行が11%~49%進行中の際に"Read only" (読み取り専用) モードに入ります。

移行が完了した後、新しいドライブ構成が表示され(この場合RAID 5)、ステータスはReady(準備完了)となります。これで新しいドライブ構成を使用することができます。



The screenshot shows the RAID Management interface. At the top, it says "RAID Management" with a help icon. Below that, a note states: "This function enables capacity expansion, RAID configuration migration or spare drive configuration with the original drive data reserved. Note: Make sure you have read the instructions carefully and you fully understand the correct operation procedure before using this function." A table titled "Current Disk Volume Configuration" is displayed with the following data:

Volume	Total Size	Bitmap	Status	Description
Single Disk: Drive 1	915.42 GB	--	Migrating... (2%)	No operation can be executed for this drive configuration

Below the table are several buttons: EXPAND CAPACITY, ADD HARD DRIVE, MIGRATE, CONFIGURE SPARE DRIVE, BITMAP, and RECOVER. At the bottom, it says "For detailed instructions, please [click here](#)."

ドライブのサイズにより、プロセスの完了には数時間から数十時間かかる場合があります。後で、NASのWebページに接続してステータスを確認することができます。

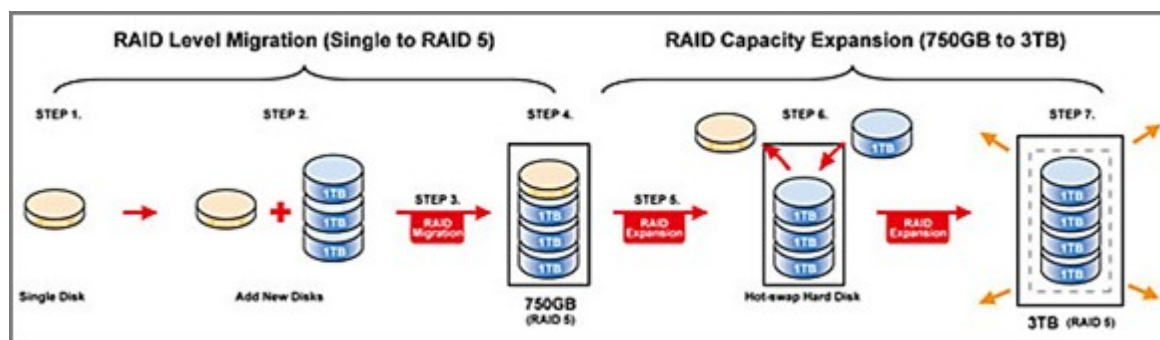
オンラインRAID容量拡張およびオンラインRAIDレベル移行を併用する

使用例

あなたははととも多忙で、ファイルサーバとFTPサーバをセットアップする時間が見つかりませんでした。しかし、あなたがお持ちのドライブは250GBのハードドライブ一台だけでした。そこで、TS-509 Proをシングルディスク構成でセットアップしました。

元のプランは、TS-509 Proを3TB RAID 5ネットワークデータセンターにてセットアップすることでした。

あなたは今、TS-509 Proのディスク構成をRAID 5に移行し、総ストレージ容量を3TBに拡張、すべてのオリジナルのデータはハードドライブを購入した後に保持、というプランを立てています。



システムをシングルディスクからRAID 5へ移行するため、オンラインRAIDレベル移行を実行します。RAID 5の総ストレージ容量は750GBになります(250GBドライブ1台、1TBドライブ3台、RAID 5のディスク使用は250GB*4となります)。操作手順についての詳細は前のステップを参照してください。

250GBドライブを新規1TBドライブと交換するためオンラインRAID容量拡張を実行します。そしてRAID 5の論理ボリュームを750GBから3TBに拡張します。詳細な操作手順についてはケース1を参照してください。

ハードドライブの追加

以下の手順に従ってHDDメンバーをRAID 5またはRAID 6ディスク設定に追加します。

1. RAID 5またはRAID 6設定の状態が「Ready (準備OK) 」になっていることを確認します。
2. NASにHDDを取り付けます。お使いのHDDがNASの1台のディスクボリュームとしてすでにフォーマットされている場合、HDDをRAID 5またはRAID 6設定に追加できます。RAID設定の場合、同じストレージ容量のハードディスクドライブを使用するようにお勧めします。
3. 「RAID管理」ページでRAID 5またはRAID 6設定を選択し、「ハードドライブの追加」をクリックします。
4. 新しいHDDメンバーを選択します。ドライブを追加した後の合計ドライブ容量が表示されます。「ハードドライブの追加」をクリックします。
5. 新しいHDDメンバーのすべてのデータが、このプロセス中に削除されます。元のRAID 5またはRAID 6設定のデータが保存されます。[OK] をクリックします。NASが2回ビーブ音を出します。

RAID 10ディスクボリュームにハードドライブのメンバーを追加するには、上の手順を繰り返します。RAID 10ボリュームに、偶数のハードディスクドライブを追加する必要があります。正常に設定されると、RAID 10ボリュームのストレージ容量が増加します。

このプロセスでは終了するまでに、ハードドライブの数とサイズによって、数時間から数十時間かかります。プロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。このプロセスの間、NASをオフにしないでください。プロセス後、大容量のRAID設定を使用することができます。

予備のドライブの設定

予備のドライブをRAID 5、6、または10設定に追加したり、この設定から取り外したりできます。

この機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

1. RAID 5、6、10設定の状態が「Ready (準備OK)」になっていることを確認します。
2. 予備のドライブを追加するには、NASにハードドライブを取り付けます。NASにシングルディスクボリュームとしてフォーマット済みのハードドライブを取り付けている場合、予備のドライブとしてこのハードドライブを設定できます。RAID設定の場合、同じストレージ容量のハードディスクドライブを使用するようにお勧めします。
3. RAID設定を選択し、「CONFIGURE SPARE DRIVE (予備のドライブの設定)」をクリックします。
4. 選択した設定に予備のドライブを追加するには、ハードドライブを選択し「CONFIGURE SPARE DRIVE (スペアドライブの設定)」をクリックします。予備のドライブを取り外すには、予備のドライブを選択解除し、「CONFIGURE SPARE DRIVE (予備のドライブの設定)」をクリックします。
5. 選択したハードドライブのデータがすべて削除されます。「OK」をクリックして続行します。

RAID 5、RAID 6、または10ディスクボリュームの元のデータが保存されます。設定が完了すると、ディスクボリュームの状態が「Ready (準備OK)」になります。

次のアクションを実行する前に、ディスクボリュームからホットスペアドライブを取り外す必要があります。

- オンラインRAID容量拡張
- オンラインRAIDレベルの移行
- ハードドライブメンバーをRAID 5、RAID 6またはRAID 10ボリュームに追加する

Bitmap

Bitmap(ビットマップ)は、クラッシュやRAID構成のメンバードライブの削除または再追加の後のRAID再構築の時間を縮小します。配列内にビットマップが存在する場合、メンバードライブは削除または再追加が可能であり、削除移行に更されたブロックのみ(ビットマップに記録されているとおり再同期されます)。

注: ビットマップサポートは、RAID1、5、6、10構成でのみ使用可能です。

RAID管理ツール

この機能により、予約された元のドライブデータで容量を拡張したり、RAID設定を移行したり、スペアドライブを設定したりできます。
注: この機能を使用する前に、この指示をよく読み、正しい操作手順を完全に理解していることを確認してください。

現在のディスクボリューム設定

ボリューム	容量	Bitmap	状態	コメント
RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3	455.52 GB	いいえ	準備ができています	実行可能な操作: - 容量の拡張

容量の拡張

ハードドライブの追加

移行

スペアドライブの設定

BITMAPの有効化

RECOVER

RAID復旧

NASがRAID 1、RAID 5あるいはRAID 6で構成されており、機のハードドライブがサーバから誤ってプラグを抜かれた場合、そのハードドライブを同じドライブスロットにプラグインして「回復」をクリックすることで、ボリュームステータスを「起動していません(Not active)」から「格下げモード(Degraded mode)」に戻すことができます。

ディスクボリュームがRAID 0あるいはJBODで構成されている場合に、1台以上のドライブメンバーがNASから接続を切断されたり、プラグを抜かれた場合、この機能を使用してボリュームステータスを「起動していません(Not active)」から「一般(Normal)」に回復することができます。回復が完了すると、ディスクボリュームは正常に使用することができます。

ディスクボリューム	RAID回復をサポート	ディスク削除が可能な最大数
シングル	いいえ	-
JBOD	はい	1台以上
RAID 0	はい	1台以上
RAID 1	はい	1台あるいは2台
RAID 5	はい	2台以上
RAID 6	はい	3台以上
RAID 10	いいえ	-

注：

- RAID回復によってRAID 1、RAID 5あるいはRAID 6ディスクボリュームを非アクティブから低下モードに回復した場合は、通常通りボリュームの読取り/書込みが可能になります。ボリュームステータスは、同期の後に正常に回復されます。
- 切断されたドライブメンバーに障害がある場合、RAID回復機能は動作しません。

	標準RAID 5	QNAP RAID 5	標準RAID 6	QNAP RAID 6
低下モード	N-1	N-1	N-1 & N-2	N-1 & N-2
読み取り専用保護 (即時データバックアップ & HDD 交換)	適用なし	N-1、不良ブロックがアレイ中の残存ドライブに存在	適用なし	N-2、不良ブロックがアレイ中の残存ドライブに存在
RAID復旧 (RAIDステータス:非アクティブ)	適用なし	元のハードディスクドライブをすべてNASに挿しなおした場合には、ドライブが起動し、認識され、アクセスできる場合、HDDスーパーブロックは破損していません。	適用なし	元のハードディスクドライブをすべてNASに挿しなおした場合には、ドライブが起動し、認識され、アクセスできる場合、HDDスーパーブロックは破損していません。
RAIDキャッシュ	N-2	N-2 停止したHDDおよびその他すべてのHDDが起動/認識/アクセスできない。	N-3	N-3 およびその他すべてのHDDが起動/認識/アクセスできない。

N = アレイ中のハードディスクドライブの数

グローバルスペアの設定/解除

グローバルスペアドライブは、NAS 上の RAID 1、5、6、10 ディスクボリュームの故障したハードドライブに自動的に置き換わりま
す。同じグローバルスペアが NAS 上の複数の RAID ボリュームで共有されている場合、スペアドライブは、RAID ボリュームで最
初に故障したドライブに置き換わります。

グローバルスペアドライブとして、ディスクドライブを設定するには、1 台のディスクボリュームを選択し、「Set Global Spare (グローバ
ルスペアの設定)」をクリックします。ハードドライブ上のすべてのデータが消去されます。

現在のディスクボリュームコンフィギュレーション				
ボリューム	合計サイズ	ビットマップ	ステータス	説明
<input type="radio"/> 単一ディスク: ドライブ 3	--	--	グローバルスペア	実行可能な操作: - グローバルスペアのキャンセル
<input checked="" type="radio"/> 単一ディスク: ドライブ 4	--	--	マウント解除	実行可能な操作: - グローバルスペアの設定
<input type="radio"/> ミラーリングディスクボリューム: ドライブ 12	291.94 GB	いいえ	準備完了	実行可能な操作: - 容量の拡張 - 移行 - ビットマップの有効化

グローバルスペアの設定

注: グローバルスペアドライブの容量は、RAID ディスクボリュームのドライブの容量と等しいか、または、それより大きくなければなりません。

グローバルスペアドライブを解除するには、ドライブを選択し、「Cancel Spare Drive (スペアドライブの解除)」をクリックします。

現在のディスクボリュームコンフィギュレーション				
ボリューム	合計サイズ	ビットマップ	ステータス	説明
<input checked="" type="radio"/> 単一ディスク: ドライブ 3	--	--	グローバルスペア	実行可能な操作: - グローバルスペアのキャンセル
<input type="radio"/> 単一ディスク: ドライブ 4	--	--	マウント解除	実行可能な操作: - グローバルスペアの設定
<input type="radio"/> ミラーリングディスクボリューム: ドライブ 12	291.94 GB	いいえ	準備完了	実行可能な操作: - 容量の拡張 - 移行 - ビットマップの有効化

グローバルスペアのキャンセル

NASは、サポートされるハードドライブの数とディスクの構成に従って以下の操作をサポートします。詳細は、下表を参照してください。

最初のディスクの構成 * ハードディスクの数	新規ハードディスクの数	操作	新規ディスクの構成 * HDDの数
RAID 5 * 3	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 4
RAID 5 * 3	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 5
RAID 5 * 3	3	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 6
RAID 5 * 3	4	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 7
RAID 5 * 3	5	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 8
RAID 5 * 4	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 5
RAID 5 * 4	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 6
RAID 5 * 4	3	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 7
RAID 5 * 4	4	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 8
RAID 5 * 5	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 6
RAID 5 * 5	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 7
RAID 5 * 5	3	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 8
RAID 5 * 6	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 7
RAID 5 * 6	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 8
RAID 5 * 7	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 5 * 8
RAID 6 * 4	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 5
RAID 6 * 4	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 6

		加	
RAID 6 * 4	3	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 7
RAID 6 * 4	4	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 8
RAID 6 * 5	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 6
RAID 6 * 5	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 7
RAID 6 * 5	3	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 8
RAID 6 * 6	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 7
RAID 6 * 6	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 8
RAID 6 * 7	1	ハードディスクメンバーの追加	RAID 6 * 8
RAID 10 * 4	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 10 * 6
RAID 10 * 4	4	ハードディスクメンバーの追加	RAID 10 * 8
RAID 10 * 6	2	ハードディスクメンバーの追加	RAID 10 * 8
RAID 1 * 2	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 1 * 2
RAID 5 * 3	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 3
RAID 5 * 4	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 4
RAID 5 * 5	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 5
RAID 5 * 6	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 6
RAID 5 * 7	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 7
RAID 5 * 8	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 5 * 8
RAID 6 * 4	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 6 * 4
RAID 6 * 5	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 6 * 5
RAID 6 * 6	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 6 * 6
RAID 6 * 7	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 6 * 7
RAID 6 * 8	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 6 * 8

RAID 10 * 4	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 10 * 4
RAID 10 * 6	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 10 * 6
RAID 10 * 8	1	オンラインRAID容量拡張	RAID 10 * 8
シングル * 1	1	オンラインRAIDレベル移行	RAID 1 * 2
シングル * 1	2	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 3
シングル * 1	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 4
シングル * 1	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 5
シングル * 1	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 6
シングル * 1	6	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 7
シングル * 1	7	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 8
シングル * 1	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 4
シングル * 1	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 5
シングル * 1	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 6
シングル * 1	6	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 7
シングル * 1	7	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 8
シングル * 1	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 4
シングル * 1	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 6
シングル * 1	7	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 8
RAID 1 * 2	1	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 3
RAID 1 * 2	2	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 4
RAID 1 * 2	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 5
RAID 1 * 2	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 6
RAID 1 * 2	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 7
RAID 1 * 2	6	オンラインRAIDレベル移行	RAID 5 * 8
RAID 1 * 2	2	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 4
RAID 1 * 2	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 5
RAID 1 * 2	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 6
RAID 1 * 2	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 7
RAID 1 * 2	6	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 8
RAID 1 * 2	2	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 4

RAID 1 * 2	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 6
RAID 1 * 2	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 10 * 8
RAID 5 * 3	1	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 4
RAID 5 * 3	2	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 5
RAID 5 * 3	3	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 6
RAID 5 * 3	4	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 7
RAID 5 * 3	5	オンラインRAIDレベル移行	RAID 6 * 8

4.3 ハードディスクS.M.A.R.T.

S.M.A.R.T.(セルフモニタリング・アナリシス・アンド・リポーティング・テクノロジー)によって、ハードディスクの状態、温度、使用状況を監視することができます。

ハードドライブを選択すると、対応するボタンをクリックすることで次の情報を表示できます。

項目	説明
概要	ハードドライブのスマートサマリと最新のテスト結果を表示します。
ハードディスク情報	ハードドライブの詳細、たとえばモデル、シリアル番号、ドライブ容量などが表示されます。
SMART情報	ハードドライブのS.M.A.R.T.が表示されます。しきい値より値が低いアイテムは、すべて異常と見なされます。
テスト	ハードドライブのS.M.A.R.T.テストを素早く完璧に実施し、結果を表示します。
設定	温度アラームを設定します。ハードドライブの温度がプリセット値を超えると、システムはエラーログを記録します。 素早く完璧なテストスケジュールも設定できます。最新のテスト結果は、サマリページに表示されます。

ハードディスクSMART

ハードディスクのS.M.A.R.T.メカニズムによりハードディスクのヘルス、温度、および使用ステータスを監視します。

[概略](#) [ハードディスク情報](#) [SMART情報](#) [テスト](#) [設定](#)

概略

良い

ハードディスクにエラーは検出されませんでした。ハードディスクは正常に作動しています。

ハードディスクモデル	Western Digital Caviar Green family
ドライブ容量	465.76 GB
ハードドライブのヘルス	良い
ハードドライブの温度	37 °C
テスト時間	---
テスト結果	テストされていません

4.4 暗号化ファイルシステム

この機能は、TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-419P、TS-410U、TS-419U、TS-119P+、TS-219P+、TS-419P+、TS-112、TS-212、TS-412、TS-419U+、およびTS-412Uではサポートされません。

このページでNASの暗号化されたディスクボリュームを管理できます。暗号化された各ディスクボリュームは特定のキーでロックされます。暗号化されたボリュームは以下の方法でロックを解除できます。

- 暗号化パスワード：暗号化パスワードを入力してディスクボリュームのロックを解除します。デフォルトのパスワードは「admin」に設定されています。パスワードは、8～16文字にしてください。記号(!@#\$%^&*()_+=?)はサポートされています。
- 暗号化キーファイル：暗号化ファイルをサーバーにアップロードしてディスクボリュームのロックを解除します。ディスクボリュームのロックが正常に解除されると、「暗号化キーの管理」ページからキーをダウンロードできます。

データ暗号化機能は、一部の国では法規制に従って利用できないことがあります。

ボリューム	容量	状態	動作
単独ディスクドライブ 1	456.98 GB	ロック解除	暗号化キーの管理

QNAP Turbo NASのデータ暗号化機能を使用するには

Turbo NASのデータ暗号化機能により、NASのディスクボリュームを256ビットAES暗号により暗号化し、データ漏洩を防ぎます。暗号化されたディスクボリュームは認証されたパスワードによってのみ、通常の読取り/書込みアクセス用にマウントすることができます。暗号化により、ハードドライブあるいはサーバ自体が盗難されても機密データを保護することができます。

AES 暗号化について：

"暗号技術において、新暗号規格 (AES) は米国政府に採用されている暗号規格です。この規格は3つのブロック暗号、AES-128, AES-192 and AES-256 [...] によって構成されています。各AES暗号は128ビットのブロックサイズで、それぞれ128、192、256ビットの鍵長となります。AES暗号は広範囲にわたって分析され、現在は世界中で利用されています。" http://en.wikipedia.org/wiki/Advanced_Encryption_Standard

AESボリュームベース暗号化は特定のQNAP NASモデルにのみ適用されます。

詳しくはこちらの対応表をご参照ください: http://www.qnap.com/images/products/comparison/Comparison_NAS.html

始める前に

Turbo NASのデータ暗号化機能の使用を始める前に、以下の点にご注意ください。

- Turbo NASの暗号化機能はボリュームベースです。ボリュームはシングルディスク、JBOD構成、あるいはRAIDアレイが使用できます。
- ディスクボリュームをNAS上に作成する際に、データを暗号化するかどうかを選択する必要があります。つまり、ディスクを作成した後は暗号化を実行できません。実行するには、ディスクボリュームを初期化する必要があります。ディスクボリュームを初期化すると、そのボリューム上の既存のデータはすべて消去されます。
- ディスクボリュームの暗号化を除去するには、初期化する必要があります。ディスクボリュームの暗号化を除去するには、ディスクボリュームを初期化し、すべてのデータを消去しなくてはなりません。
- 暗号化パスワードあるいはキーは安全に保管してください。パスワードを忘れてたり、あるいは暗号化キーを紛失すると、データを取り戻すことができません!
- 始める前に、本書類を注意深く読み、説明に正しく従うようご注意ください。

Turbo NAS上でディスクボリューム暗号化を起動する

NAS設置時にディスクボリュームを暗号化する

クイックインストールガイド (QIG) の説明に従い、ウェブベースのインターフェイスを使用してNASを初期化します。クイック構成のステップ6にて、"Encrypt disk volume" (ディスクボリュームを暗号化する) オプションで "Yes" (はい) を選択します。

クイックインストールガイド (QIG) の説明に従い、ウェブベースのインターフェイスを使用してNASを初期化します。クイック構成のステップ6にて、"Encrypt disk volume" (ディスクボリュームを暗号化する) オプションで "Yes" (はい) を選択します。

ディスクボリュームの暗号化を選択すると、暗号化設定が表示されます。

Step 6

Step 6/6: Select the disk configuration

Note: All drive data will be cleared unless you select not to initialize the hard drives.

Please select the disk configuration for the initialization.

Disk configuration:

File System:

Total available storage capacity: 464.26 GB

You may select to use the hard drives as single disk volumes. However, when a drive failure occurs, all data will be lost.

Encrypt disk volume:

Input Encryption Password:

Verify Encryption Password:

Use Default Value Save Encryption Key

暗号化パスワードを入力します。このパスワードは暗号化されたボリュームのロックを解除する際に必要となります。暗号化パスワードは8-16文字以内で設定してください。スペース()は使用できません。文字と数字を混合した長いパスワードを作成するようにしてください。

- デフォルト値を使用する:デフォルトの暗号化パスワード "admin" の使用を選択します。
- 暗号化キーの保存:暗号化キーをNAS上に保存するよう選択します。(このオプションは後からの変更が可能です)
 - チェックを入れた場合: NASの起動時に、保存されたパスワードを使用して暗号化ディスクボリュームを自動的にロック解除します。
 - チェックを入れない場合: NASの起動時に、暗号化ディスクボリュームはロックされています。NASに管理者としてログインし、暗号化パスワードを入力してディスクボリュームのロックを解除する必要があります。

その後、次の手順に進んでNASの設置を完了します。

新規ハードドライブに新規暗号化ディスクボリュームを作成する

ご使用のNASが設置済みの場合に、新規ハードドライブをサーバに設置して新規暗号化ディスクボリュームを作成したい場合は、以下の手順に従ってください。

1. 新規ハードドライブをNASに設置します。
2. NASに管理者としてログインします。"Disc Management" (ディスク管理) > "Volume Management" (ボリューム管理) を開きます。
3. NASに管理者としてログインします。"Disc Management" (ディスク管理) > "Volume Management" (ボリューム管理) を開きます。



4. ディスクボリュームを作成するハードドライブを選択します。この例では、シングルドライブの作成を選択します。手順はRAID構成の場合も同様です。

Disk	Model	Capacity	Status	
<input type="checkbox"/>	Drive 2	SAMSUNG HD502HI 1AG0	465.76 GB	Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 5	Seagate ST3500320NS SN16	465.76 GB	Ready

Encryption: **No** ▼

File System: **EXT4** ▼

5. "Encryption" (暗号化) オプションにて "Yes" (はい) を選択し、暗号化設定を入力します。

Disk	Model	Capacity	Status	
<input type="checkbox"/>	Drive 2	SAMSUNG HD502HI 1AG0	465.76 GB	Ready
<input checked="" type="checkbox"/>	Drive 5	Seagate ST3500320NS SN16	465.76 GB	Ready

Encryption **Yes** ▼

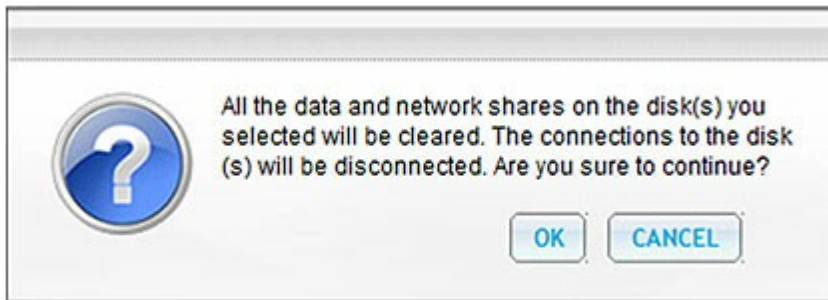
Input Encryption Password: ●●●●●●●●

Verify Encryption Password: ●●●●●●●●

Use Default Value Save Encryption Key

File System: **EXT4** ▼

6. 続いて "CREATE" (作成) をクリックして、新規暗号化ボリュームを作成します。選択したドライブのすべてのデータは消去されますのでご注意ください! 暗号化ボリュームを作成する前にデータをバックアップしてください。




NAS上に暗号化ディスクボリュームが作成されました。

ディスクボリュームが暗号化されたことを確認する

ディスクボリュームが暗号化されていることを確認するには、まずNASに管理者としてログインします。続いて、“Disc Management” (ディスク管理) > “Volume Management” (ボリューム管理) を開きます。

ディスクボリュームのステータス欄に鍵のアイコンが表示されている場合、暗号化されていることを表します。暗号化ボリュームのロックが解除されると、鍵が開いたアイコンになります。ステータス欄に鍵のアイコンがないディスクボリュームは暗号化されていません。



Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
Single Disk: Drive 2	EXT4	456.98 GB	456.78 GB	Ready 
				<input type="button" value="FORMAT NOW"/> <input type="button" value="CHECK NOW"/> <input type="button" value="REMOVE NOW"/>
Single Disk: Drive 5	EXT4	456.98 GB	456.79 GB	Ready 
				<input type="button" value="FORMAT NOW"/> <input type="button" value="CHECK NOW"/> <input type="button" value="REMOVE NOW"/>



システム再起動時の暗号化ボリュームの動作

システム再起動時の暗号化ボリュームの動作

1つ目のボリューム（シングルディスクドライブ2）は“Save Encryption Key”（暗号化キーを保存）オプションを有効化して作成されています。

2つ目のボリューム（シングルディスクドライブ5）は“Save Encryption Key”（暗号化キーを保存）オプションを無効化して作成されています。

NASの再起動後、ボリュームステータスを確認します。1つ目のドライブのロックは解除されマウントされていますが、2つ目のドライブはロックされています。2つ目のディスクボリュームでは暗号化キーが保存されていないため、ユーザーは手動で暗号化パスワードを入力し、ロックを解除する必要があります。

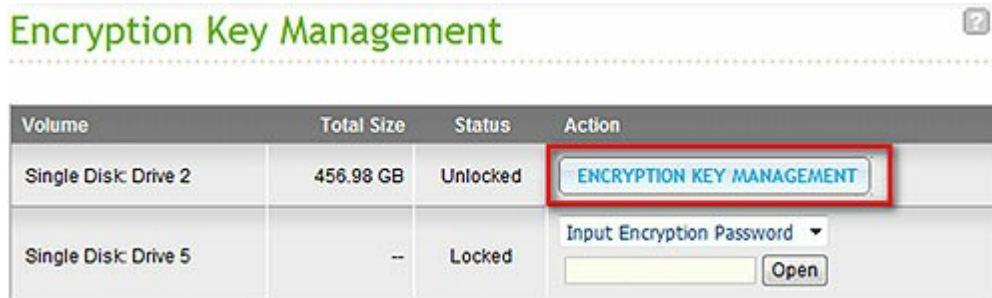
Current Disk Volume Configuration: Logical Volumes				
Volume	File System	Total Size	Free Size	Status
Single Disk: Drive 2	EXT4	456.98 GB	456.78 GB	Ready 
FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW				
Single Disk: Drive 5	Unknown	--	--	Unmounted 
FORMAT NOW CHECK NOW REMOVE NOW				

- NAS上にキーを保管すると、ハードドライブのみが盗難された場合はデータを保護することができます。NAS全体が盗難された場合は、NASを再起動することでデータにアクセスが可能となるため、データ漏洩の危険性があります。
- NASに暗号化キーを保存しないよう選択した場合は、サーバが盗難された際にもデータ漏洩を防ぐことができます。唯一不都合となる点は、システム再起動のたびにディスクボリュームを手動でロック解除する必要があるということです。

暗号化キー管理:新規パスワード/暗号化キーの保存/暗号化キーのエクスポート

暗号化キー設定を管理するには、NASに管理者としてログインし、「Disk Management」(ディスク管理) > 「Encrypted File System」(暗号化ファイルシステム) を開きます。

ロック解除されているディスクボリュームの「Action」(動作) 行にある「ENCRYPTION KEY MANAGEMENT」(暗号化キー管理) をクリックします。



以下の動作を実行することができます:

- 暗号化キーの変更
- NAS上に暗号化キーを保存
- 暗号化キーファイルのダウンロード

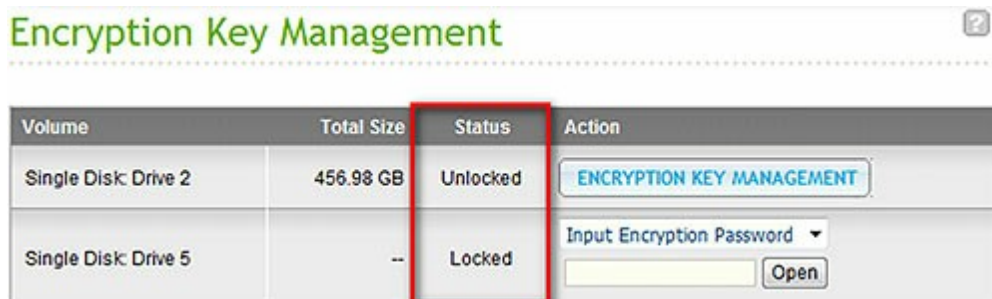


- 暗号化キーの変更:
現在の暗号化パスワードを入力し、続いて新しいパスワードを入力します。(パスワードの変更後は、以前にエクスポートされたキーは無効となりますのでご注意ください。必要に応じて新しい暗号化キーをダウンロードする必要があります。その手順については以下をご覧ください。)
- 暗号化キーの保存:
暗号化キーをNASに保存し、NASが再起動する際に暗号化ディスクボリュームを自動的にロック解除しマウントします。
- 暗号化キーファイルのダウンロード:
暗号化パスワードを入力して暗号化キーファイルをダウンロードします。暗号化キーファイルをダウンロードすることで暗号化キーをファイルに保存することができます。ファイル自体も暗号化されており、実際のパスワードを知らない場合にもボリュームのロック解除が可能です。(下記の"ディスクボリュームを手動でロック解除する"をご覧ください) 暗号化キーファイルは安全な場所に保管してください!

ディスクボリュームを手動でロック解除する

ボリュームをロック解除するには、NASに管理者としてログインします。続いて、"Disc Management" (ディスク管理) > "Encrypted File System" (暗号化ファイルシステム) を開きます。

暗号化ボリューム及びそのステータスが表示されます:ロック/ロック解除。



Volume	Total Size	Status	Action
Single Disk: Drive 2	456.98 GB	Unlocked	ENCRYPTION KEY MANAGEMENT
Single Disk: Drive 5	--	Locked	Input Encryption Password <input type="text"/> Open

ボリュームをロック解除するには、暗号化パスワードを入力するか、あるいは前にエクスポートされた暗号化キーファイルを使用します。



Volume	Total Size	Status	Action
Single Disk: Drive 2	456.98 GB	Unlocked	ENCRYPTION KEY MANAGEMENT
Single Disk: Drive 5	--	Locked	Input Encryption Password <input type="text"/> Open

Upload Encryption Key File Browse... Upload

暗号化パスワードあるいはキーファイルが正しい場合、ボリュームはロック解除され使用可能となります。

Volume	Total Size	Status	Action
Single Disk: Drive 2	456.98 GB	Unlocked	ENCRYPTION KEY MANAGEMENT
Single Disk: Drive 5	456.98 GB	Unlocked	ENCRYPTION KEY MANAGEMENT

4.5 iSCSI

ポータル管理 [129](#)
ターゲット管理 [142](#)
拡張ACL [170](#)
LUN バックアップ [174](#)

4.5.1 ポータル管理

NASはサーバクラスタリングおよび仮想環境向けの内蔵iSCSIサービスをサポートしています。

iSCSIターゲットサービス

コンピュータとストレージデバイスの相互関係では、コンピュータはデバイスへの接続を開始するため イニシエータ (initiator) と呼ばれ、デバイス (target) はターゲットと呼ばれます。

NASはビルトインiSCSIサービスをサポートします。この機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

1. iSCSIイニシエータをコンピュータ (Windows PC、Mac、またはLinux) にインストールします。
2. iSCSIターゲットサービスをNAS上に有効にし、新しいiSCSIターゲットを作成します。
3. iSCSIイニシエータを実行し、iSCSIターゲット (NAS) に接続します。
4. ログイン完了後、iSCSIターゲット (ディスクボリューム) をフォーマットします。ディスクボリュームをご使用のコンピュータの仮想ドライブとしてNAS上で使用開始できます。

注: 同じiSCSIターゲットを2つの異なるクライアント (iSCSIイニシエータに同時に接続することは避けてください。データのクラッシュまたはディスク損傷の原因となる場合があります。

以下の説明は、3.3.0以前のバージョンのファームウェアを実行する非IntelベースのNASモデルと、3.2.0以前のバージョンのファームウェアを実行するIntelベースのNASモデルにのみ適用されます。NASモデルが一覧にない場合、http://www.qnap.comにアクセスして詳細をご確認ください。

IntelベースのNAS	TS-x39シリーズ、TS-x59シリーズ、TS-x69シリーズ、TS-509、TS-809、TS-809 Pro TS-809U-RP SS-439 Pro SS-839 Pro TS-x59 Pro+ TS-879 Pro TS-1079 Pro TS-879U-RP TS-EC879U-RP TS-1279U-RP TS-EC1279U-RP
非IntelベースのNAS	TS-109、TS-209、TS-409、TS-409U、TS-x10、TS-x12、TS-x19シリーズ

iSCSIターゲットとLUNをNAS上に作成するには、以下の手順に従ってください。

ロジカルユニット番号(LUN)は作成する各iSCSIターゲットに対して作成されます。最大4つのターゲットと4つのLUNを作成できます。

"iSCSI TARGET LIST" (iSCSIターゲットリスト)タブの下にある、"Create New iSCSI Target" (新規iSCSIターゲットの作成)をクリックします。



必要な情報を入力します。ターゲット名を指定します。iSCSIターゲットが作成されるボリューム、ターゲットのサイズ、またディスク領域を事前に割り当てるかどうかを指定します。

新規iSCSIターゲットの作成

iSCSIターゲットのプロファイル

ターゲット名:

iSCSIターゲットIQN: iqn.2004-04.com.qnap.TS-219:iSCSI.mytarget.3C3B5D

iSCSIターゲットLUN

ディスクスペースを今割り当てる i

ボリューム:

空き領域: 455GB

容量: GB

NASが公共ネットワークや信頼されないネットワークに接続される場合、CHAP認証設定を入力します (オプション。"CHAP"下にユーザー名とパスワード設定を入力した場合にのみ、iSCSIターゲットはイニシエータを認証します。つまり、イニシエータは、ユーザー名とパスワードを入力しないとターゲットに接続されません。

相互CHAP: このオプションを効化すると、iSCSIターゲットとイニシエータの間で二方向の認証が行われます。ターゲットははじめのユーザー名とパスワードのセットを使用してイニシエータを認証します。イニシエータは"Mutual CHAP" (相互CHAP)設定を使用してターゲットを認証します。

欄	ユーザー名制限	パスワード制限
CHAP認証を使用	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Zのみ 最長: 256文字まで 	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Zのみ 最長: 12-16文字まで
相互CHAP	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Z, :(コロン), . (ドット), および - (ダッシュ) 最長: 12-16文字まで 	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Z, :(コロン), . (ドット), および - (ダッシュ) 最長: 12-16文字まで

タイプ

None

CHAP

ユーザー名 (A~Z, a~z, 0~9)

パスワード (A~Z, a~z, 0~9)

パスワードの再入力:

Mutual CHAP

イニシエータ名: (A~Z, a~z, 0~9)

パスワード (A~Z, a~z, 0~9)

パスワードの再入力:

CRC/チェックサム (オプション)

データダイジェスト

ヘッダダイジェスト

作成が完了すると、iSCSIターゲットは、iSCSIターゲットリストに表示されます。

iSCSIターゲット

iSCSIターゲットリスト

iSCSIターゲットリスト

◆ 新規iSCSIターゲットの作成

iSCSIターゲット名	容量	ステータス	動作
iqn.2004-04.com.qnap:TS-219:iSCSI.mytarget.3C3B5D	10.00 GB	オフライン	

"iSCSI TARGET" (iSCSIターゲット) タブにある"Enable iSCSI Target Service" (iSCSIターゲットサービスの有効化) オプションを選択して、"Apply" (適用) をクリックします。iSCSIターゲットの準備が完了しました。

iSCSIターゲット

iSCSIターゲット

iSCSIターゲットサービスの有効化

iSCSIサービスポート: 3260

iSNSの有効化

iSNSサーバーIP:

クイック構成ウィザード

以下の説明は3.3.0以降のバージョンのファームウェアを実行する非IntelベースのNASモデルと、3.2.0以降のバージョンのファームウェアを実行するIntelベースのNASモデルにのみ適用されます。

最大256のiSCSIターゲットとLUNを作成できます。例えば、NASに100のターゲットを作成する場合、作成できるLUNの最大数は156になります。複数のLUNを各ターゲット用に作成できます。ただし、NASによってサポートされるiSCSIターゲットへの最大同時接続数はご使用のネットワークインフラとアプリケーションの性能によって異なります。同時接続が多すぎると、NASのパフォーマンスが低下する場合があります。

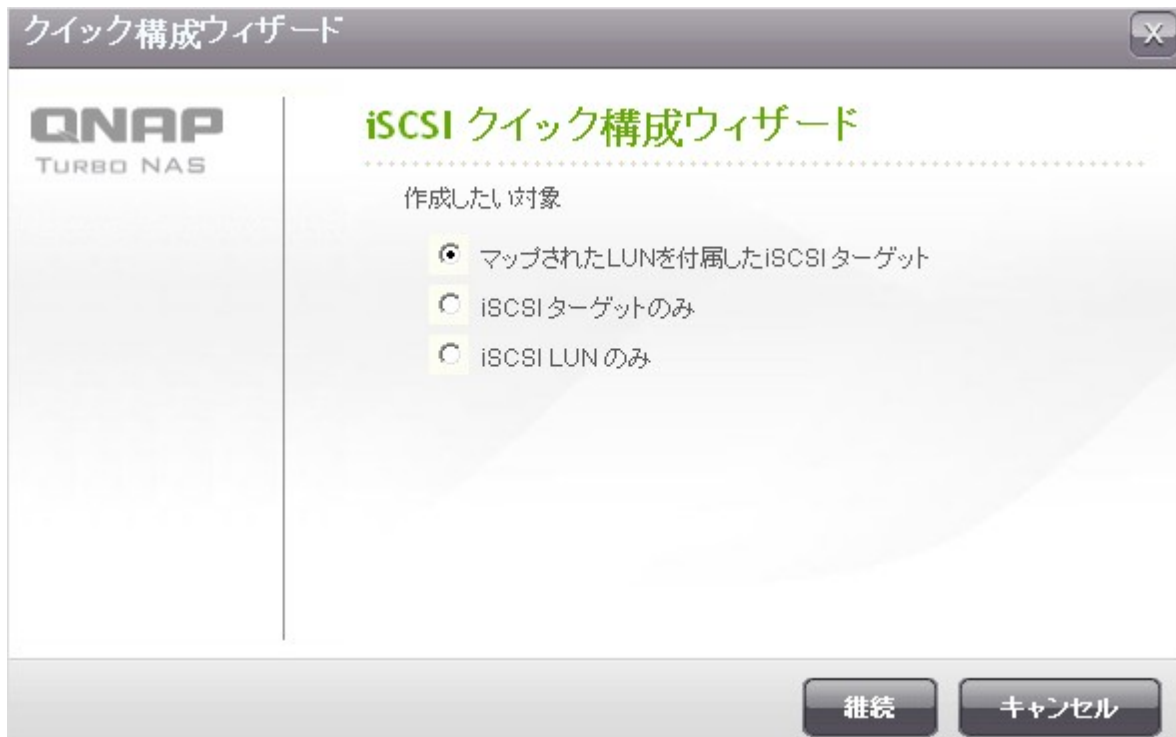
NASにおいてiSCSIターゲットサービスを構成するには以下の手順に従ってください。

1. “Portal Management”（ポータル管理）表をクリックしiSCSIターゲットサービスを効化します。設定を適用します。

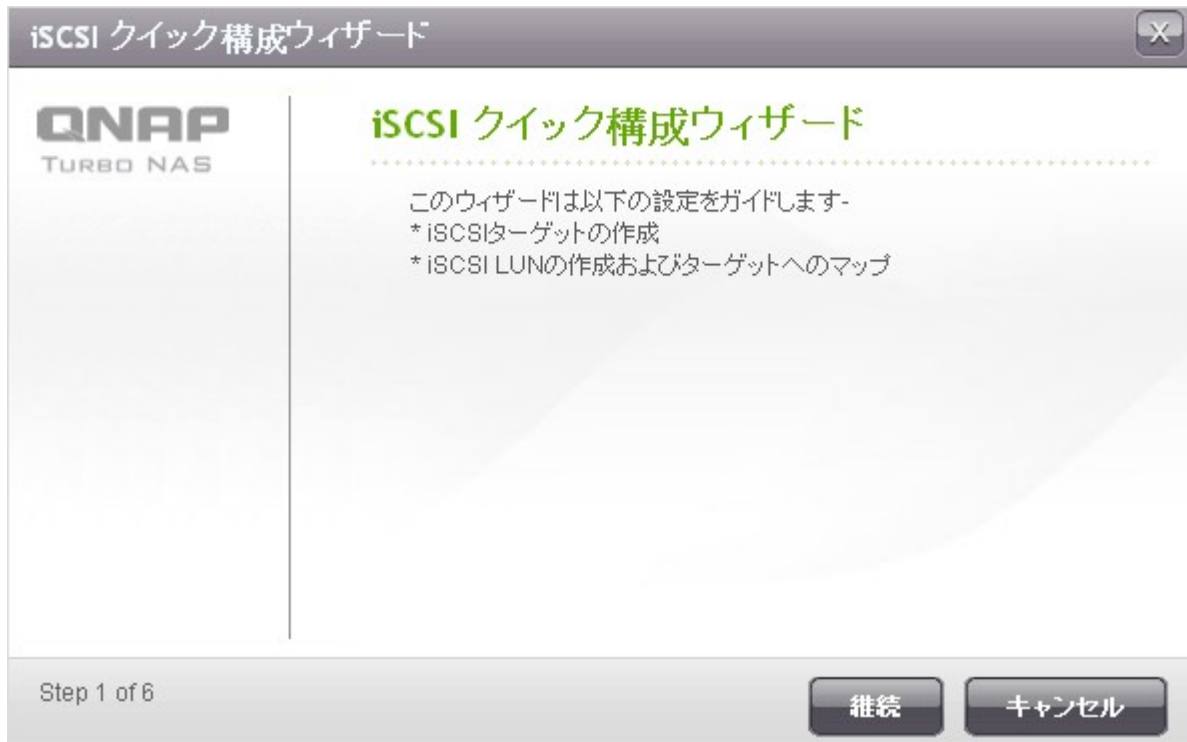
The screenshot shows the 'iSCSI' configuration page with the 'Portal Management' tab selected. Under the 'iSCSI Portal' section, the checkbox 'iSCSI target service enabled' is checked, and the 'iSCSI service port' is set to 3260. The 'iSNS enabled' checkbox is unchecked. An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area.

2. サービスが効の状態、”Target Management”（ターゲット管理）タブを開き、iSCSIターゲットをNAS上で作成します。iSCSIターゲットを初めて作成する場合、Quick Installation Wizard（クイックインストールウィザード）が表示され、iSCSIターゲットまた/あるいはLUN（論理ユニット番号）の作成を求めます。「OK」をクリックします。

3. ウィザードが表示された際に、マップされた LUN と iSCSI ターゲット、iSCSI ターゲットのみ、あるいは iSCSI LUN のみの作成を選択します。“Next”(次へ)をクリックします。



4. マップされた LUNとiSCSI ターゲットを作成します:
“Next”(次へ)をクリックします。



5. ターゲット名及びターゲットエイリアスを入力します。“Data Digest”（データダイジェスト）また/あるいは“Header Digest”（ヘッダーダイジェスト）のオプションにチェックを入れます。（オプション）これらは、iSCSIイニシエータがiSCSIターゲットに接続しようとする際に確認をおこなうパラメータです。

iSCSI クイック構成ウィザード

QNAP
TURBO NAS

新規iSCSIターゲットの作成

iSCSIターゲットのプロファイル

ターゲット名:

iSCSIターゲット IQN:

ターゲットエイリアス:

CRC/チェックサム (オプション)

データダイジェスト

ヘッダーダイジェスト

Step 2 of 6

6. CHAP認証設定に入ります。ユーザー名及びパスワード設定を“Use CHAP authentication”（CHAP認証を使用する）下でのみ入力すると、iSCSI ターゲットのみがイニシエータを認証することになります。つまり、イニシエータはターゲットにアクセスするためにユーザー名及びパスワード設定をここで入力する必要があります。

相互CHAP: このオプションを効化すると、iSCSI ターゲットとイニシエータの間で二方向の認証が行われます。ターゲットははじめのユーザー名とパスワードのセットを使用してイニシエータを認証します。イニシエータは“Mutual CHAP”（相互CHAP）設定を使用してターゲットを認証します。

欄	ユーザー名制限	パスワード制限
CHAP認証を使用	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Zのみ 最長: 256文字まで 	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Zのみ 最長: 12-16文字まで
相互CHAP	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Z, : (コロン), . (ドット), および - (ダッシュ) 最長: 12-16文字まで 	<ul style="list-style-type: none"> 効な文字は0-9, a-z, A-Z, : (コロン), . (ドット), および - (ダッシュ) 最長: 12-16文字まで

iSCSI クイック構成ウィザード X



CHAP認証設定

CHAP認証を使用

ユーザー名:

パスワード:

パスワードの再入力:

相互CHAP

ユーザー名:

パスワード:

パスワードの再入力:

Step 3 of 6

戻る
継続
キャンセル

7. iSCSI LUNを作成します

iSCSI LUNはiSCSIターゲットにマップされた論理ボリュームです。以下のうちいずれかのモードを選択してディスク容量をLUNに配分します:

- Thin Provisioning: このオプションを選択すると、ディスク容量を柔軟に配分することができます。NAS上で使用できる現在のストレージ容量に関わらず、ディスク容量をターゲットにいつでも配分することができます。NASのストレージ容量は、オンラインRAID容量拡張により拡大できるため、割り当て超過も可能です。
- 即時配分: このオプションを選択すると、ディスク容量をLUNに即時配分することができます。このオプションはLUNに対してディスク容量割当を保証するものですが、LUNの作成に時間がかかるようになる場合があります。

LUN名を入力し、LUNの場所を指定します。(NAS上のディスクボリューム) LUN用の容量を入力します。“Next”(次へ)をクリックします。

iSCSI クイック構成ウィザード

QNAP
TURBO NAS

iSCSI LUNを作成する

LUN配分: シン・プロビジョニング ⓘ
 即時配分

LUN名:

LUN場所:
空き領域: 220.56GB

容量: GB

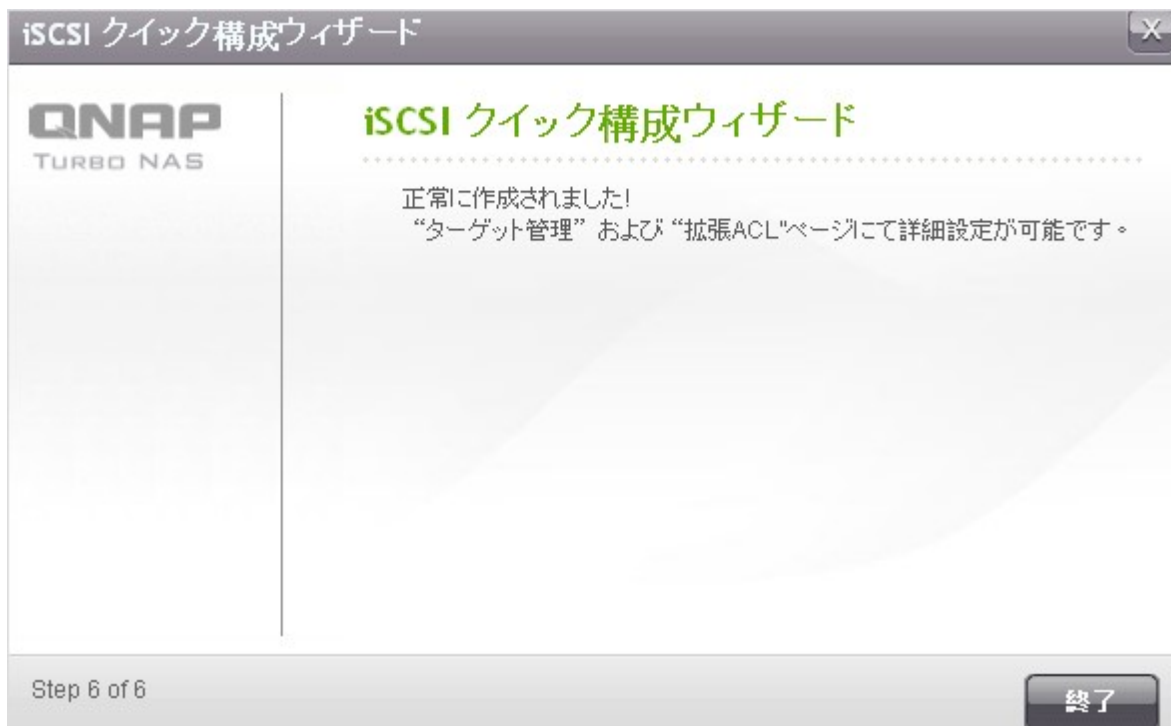
Step 4 of 6

戻る 継続 キャンセル

8. 設定を確認し、“Next”(次へ)をクリックします。



9. ターゲットとLUNが作成された後に、“Finish”(終了)をクリックします。



10. ターゲットとLUNが“Target Management”（ターゲット管理）タブ内の一覧に表示されます。

iSCSIターゲットリスト

+	エイリアス(IQN)	ステータス	動作
-	target (iqn.2004-04.com.qnap:ts-459:iscsi.target01.bb958a) └ id:0 - 001 (50.00 GB)	準備完了 有効化	    

合計: 1 | 各ページ 10 ▼ エントリーずつ表示。

1 / 1

4.5.2 ターゲット管理

iSCSIターゲットの作成

以下の説明は3.3.0以降のバージョンのファームウェアを実行する非IntelベースのNASモデルと、3.2.0以降のバージョンのファームウェアを実行するIntelベースのNASモデルにのみ適用されます。

単独のiSCSIターゲットに複数のLUNを作成することができます。iSCSIターゲットにさらにLUNを作成するには以下の手順に従ってください。

1. “Target Management” (ターゲット管理) から“Quick Configuration Wizard” (クイック構成ウィザード) をクリックします。



2. “iSCSI LUN only” (iSCSI LUNのみ) を選択し、“Next” (次へ) をクリックします。



3. LUN配分方法を選択します。LUN名を入力し、LUNディレクトリを選択し、LUN用の容量を指定します。“Next”(次へ)をクリックします。

iSCSI クイック構成ウィザード

QNAP
TURBO NAS

iSCSI LUNを作成する

LUN配分: シン・プロビジョニング ⓘ
 即時配分

LUN名: 002

LUN場所: Single Disk: Drive 1 ▼
空き領域: 220.56GB

容量: 1 GB

Step 1 of 4

継続 キャンセル

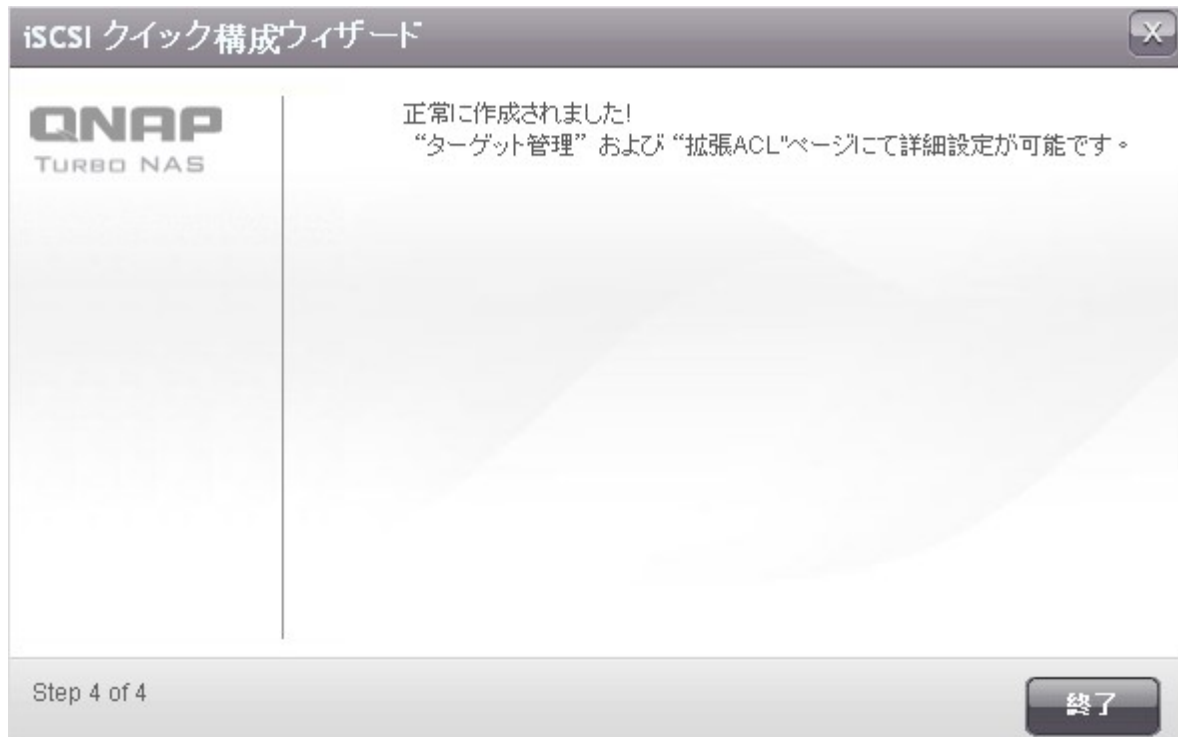
4. LUNをマップするターゲットを選択します。LUNを今はマップしないよう選択することも可能です。



5. 設定を確定し、“Next” (次へ)をクリックします。



6. LUNが作成された後に、“Finish”（終了）をクリックしてウィザードを終了します。



7. 作成されたLUNはいつでも iSCSI ターゲットにマップ、あるいは iSCSI ターゲットからアンマップすることができます。また、1つのターゲットからLUNをアンマップして他のターゲットにマップすることも可能です。

ポータル設定
ターゲット設定
拡張ACL

ターゲット設定

クイック構成ウィザード

クイック構成ウィザードがiSCSIターゲットおよびLUNの作成をお手伝いします。

iSCSIターゲットリスト

	エイリアス(ION)	ステータス	動作
+	target (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119:iscsi.target.c5a301)	オフライン	
+	target02 (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119:iscsi.target02.c5a301)	準備完了	










合計: 2 | 各ページ 10 エントリーずつ表示。 1 / 1

マップされていないiSCSI LUN一覧

	名前	容量	動作
<input type="checkbox"/>	002	1 GB	
<input type="checkbox"/>	003	1 GB	

削除 合計: 2 | 各ページ 10 エントリーずつ表示。 1 / 1

項目	ステータス	説明
iSCSI ターゲット	準備完了	iSCSIターゲットは準備完了していますが、イニシエータは接続されていません。
	接続済み	iSCSIターゲットはイニシエータにより接続されました。
	切断	iSCSIターゲットは切断されました。
	オフライン	iSCSIターゲットは無効化され、イニシエータにより接続することができません。
LUN	効化	LUNは接続に対し効で、認証されたイニシエータから見るることができます。
	無効化	LUNは無効であり、イニシエータからは見えません。

ボタン	説明
	準備完了あるいは接続済みのターゲットを非アクティブにします。イニシエータによる接続は切断されますのでご注意ください。
	オフラインのターゲットをアクティブ化します。
	以下のターゲット設定を更します: ターゲットエイリアス、CHAP情報、チェックサム設定。 以下のLUN設定を更します: LUN配分、名前、ディスクボリュームディレクトリなど。
	iSCSIターゲットを削除します。すべての接続が切断されます。
	LUNを無効化します。すべての接続が切断されます。
	LUNを効化します。
	LUNをターゲットからアンマップします。LUNのアンマップの前にLUNを無効化するようご注意ください。このボタンをクリックすると、LUNは「Un-Mapped iSCSI LUN List」(アンマップ済みiSCSI LUN一覧)に移動されます。
	LUNをiSCSIターゲットにマップします。"Un-Mapped iSCSI LUN List" (アンマップ済みiSCSI LUN一覧)上でのみこのオプションを使用できます。
	iSCSIターゲットの接続状況を表示します。

LUNのマッピングを切り替える

以下の説明は3.3.0以降のバージョンのファームウェアを実行する非IntelベースのNASモデルと、3.2.0以降のバージョンのファームウェアを実行するIntelベースのNASモデルにのみ適用されます。

LUNのマッピングを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

1. iSCSI ターゲットからアンマップするLUNを選択し、 (無効化) をクリックします。

iSCSIターゲットリスト			
	エイリアス(IQN)	ステータス	動作
	target (iqn.2004-04.com.qnap:ts-459:iscsi.target01.bb958a) └ id:0 - 001 (50.00 GB)	準備完了 有効化	    

2. 続いて、 をクリックしてLUNをアンマップします。“Un-Mapped iSCSI LUN List” (アンマップ済みiSCSI LUN 一覧) にLUNが表示されます。 をクリックしてLUNを他のターゲットにマップします。

iSCSIターゲットリスト			
	エイリアス(IQN)	ステータス	動作
	target (iqn.2004-04.com.qnap:ts-459:iscsi.target01.bb958a) └ id:0 - 001 (50.00 GB)	準備完了 無効化	     
	target2 (iqn.2004-04.com.qnap:ts-459:iscsi.target02.bb958a)	準備完了	  

合計: 2 | 各ページ 10 | エントリーずつ表示。

1 / 1

マップされていない iSCSI LUN一覧			
<input type="checkbox"/>	名前	容量	動作
<input type="checkbox"/>	002	1 GB	 

3. LUNをマップするターゲットを選択し、“Apply”（適用）をクリックします。




4. LUNをターゲットにマップします。

iSCSIターゲットリスト			
	エイリアス(IQN)	ステータス	動作
	target (iqn.2004-04.com.qnap:ts-459:iscsi.target01.bb958a)	準備完了	
	└ id:1 - 002 (1.00 GB)	有効化	

iSCSIターゲットおよびLUNをNAS上に作成すると、ご使用のコンピュータ（Windows PC, Mac, Linux）にインストールされたiSCSI initiator を使用してiSCSIターゲットおよびLUNに接続し、ディスクボリュームをコンピュータの仮想ドライブとして使用することができます。

iSCSI LUNの容量の拡張

NAS は、iSCSI LUNの容量の拡張をサポートしています。それを実施するには、次のステップに従います。

1. 「iSCSI」>「Target Management(ターゲット管理)」のiSCSIターゲットリスト上でiSCSI LUNを指定します。 をクリックします。



The screenshot shows the 'iSCSI' management interface. It has tabs for 'ポータル管理', 'ターゲット管理', '拡張ACL', and 'LUN バックアップ'. The 'ターゲット管理' tab is active, showing a 'クイックコンフィギュレーションウィザード' button and a note: 'クイックコンフィギュレーションウィザードに従うと、iSCSIターゲットおよびLUNを簡単に作成できます。' Below this is a table titled 'iSCSIターゲットリスト'.

	エイリアス(IQN)	ステータス	アクション
	a (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119pplus:iscsi.a.c5a301)	準備完了	
	b (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119pplus:iscsi.b.c5a301)	準備完了	
	└ id:0 - 1 (1.00 GB)	有効	

合計: 2 | ページあたり 10 エントリを表示します。 1 / 1

2. スライドバーを使って、LUNの容量を指定するか、フィールド内に容量を入力します。LUNの容量は最大限界値まで何回でも増やすことはできますが、減らすことはできないことに注意してください。

LUNのアロケーションタイプ	LUNの最大容量
シンプロビジョニング	32テラバイト
即時配分	ディスクボリューム上の空き容量

iSCSI LUNの変更

LUN配分: シンプロビジョニング ⓘ 即時配分

LUN名: 1

LUNロケーション: 単一ディスク: ドライブ1
空きサイズ: 334.32 GB

LUN Serial Number: e9b3da04-c407-4896-9a2c-1f4662d9dcaf

容量: GB

適用 キャンセル

3. 「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。

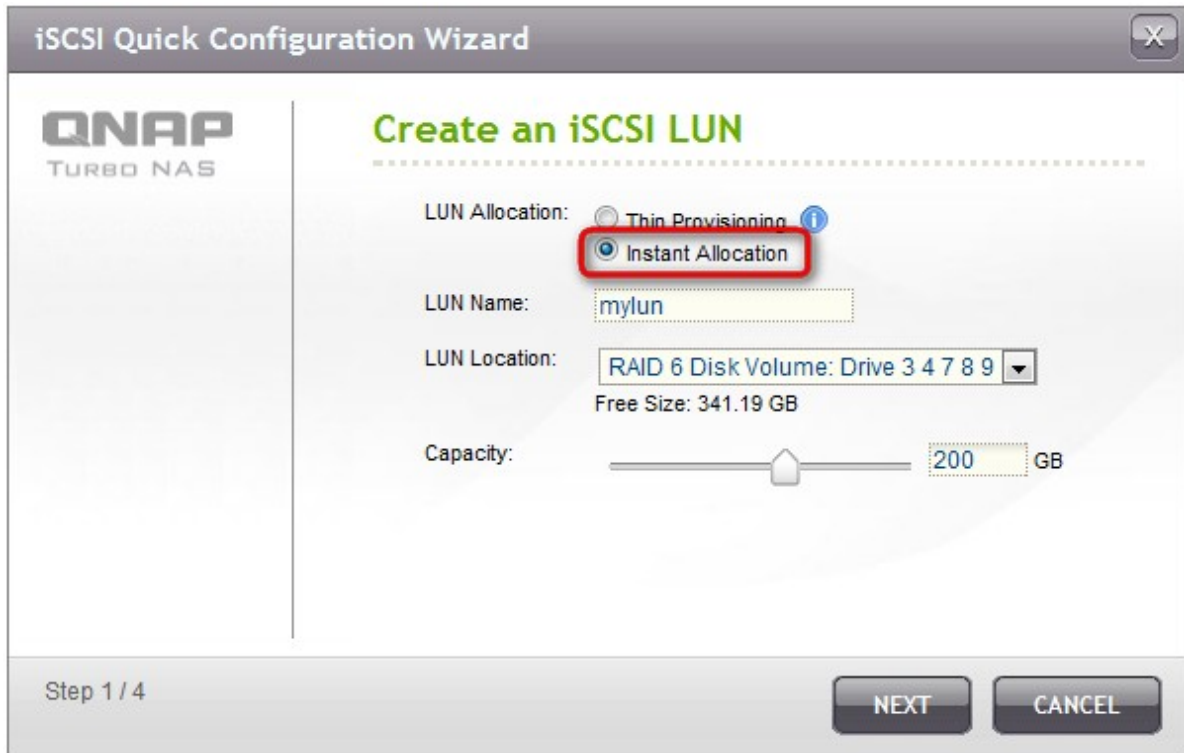
注: 容量を増やす前に、NAS上のiSCSI LUNをiSCSIターゲットにマッピングする必要があります。

iSCSIパフォーマンスの最適化

仮想化など、高性能なストレージを必要とする環境では、ユーザはiSCSIやNASハードディスクのパフォーマンスを最適化するために、次の操作を行うことが推奨されます。

インスタント割り当ての使用

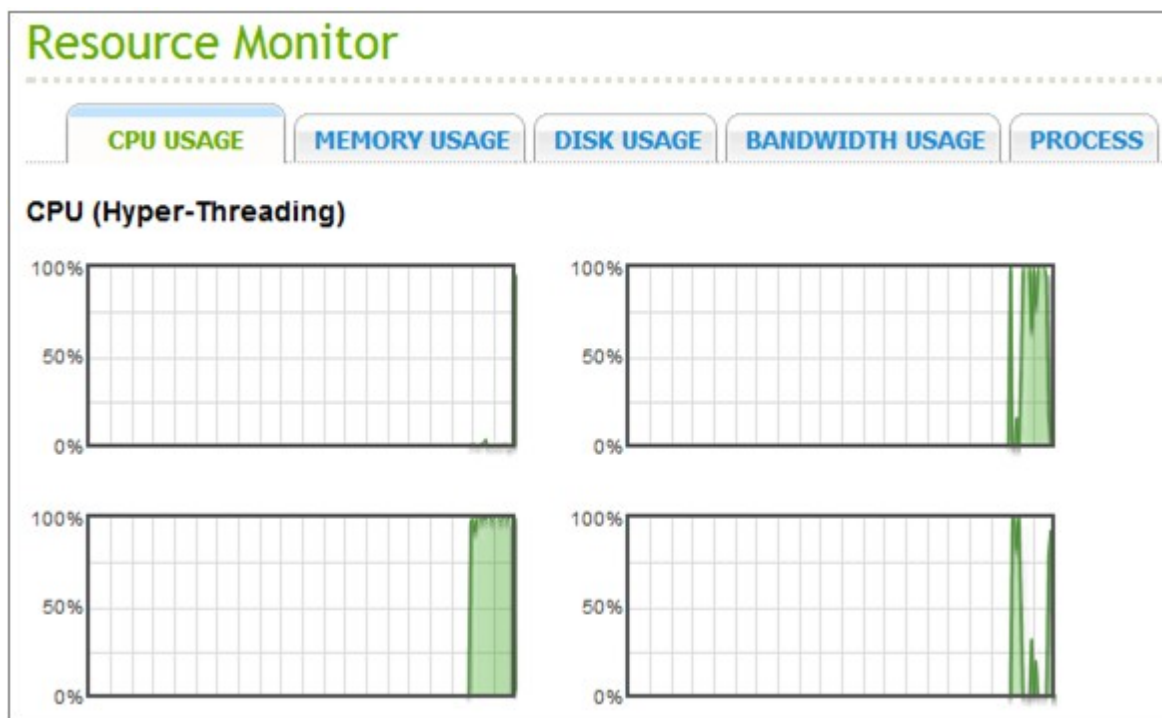
iSCSI LUNを作成する場合には、少し高いiSCSIパフォーマンスを達成するために、「Instant Allocation (インスタント割り当て)」を選択します。しかし、シンプロビジョニングの利点は失われます。



The screenshot shows the 'iSCSI Quick Configuration Wizard' window. The title bar reads 'iSCSI Quick Configuration Wizard'. On the left is the 'QNAP TURBO NAS' logo. The main area is titled 'Create an iSCSI LUN'. Under 'LUN Allocation', there are two radio buttons: 'Thin Provisioning' (unselected) and 'Instant Allocation' (selected and highlighted with a red box). Below this, the 'LUN Name' is 'mylun'. The 'LUN Location' is 'RAID 6 Disk Volume: Drive 3 4 7 8 9' with a dropdown arrow, and the 'Free Size' is '341.19 GB'. The 'Capacity' is set to '200 GB' using a slider. At the bottom left, it says 'Step 1 / 4'. At the bottom right, there are 'NEXT' and 'CANCEL' buttons.

複数のLUNを作成

NASのプロセッサ数に応じて、複数のLUNを作成します。「System Status(システムステータス)」>「Resource Monitor(リソースモニター)」で情報をチェックできます。NASが4つのプロセッサを持っていたら、iSCSIのパフォーマンスを最適化するために、4つ以上のLUNを作成することをお勧めします。



高負荷アプリケーション用に異なるLUNを使用

異なるLUN上で高い読み込み/書き込みパフォーマンスが必要なデータベースや仮想マシンのようなアプリケーションを分散します。例えば、LUNで集中的にデータを読み書きする2つの仮想マシンがあれば、VMのワークロードを効果的に分散できるようにNASに2つのLUNを作成することを推奨します。

4.5.2.1 Windowsの Microsoft iSCSI イニシエータを使用した NAS への接続

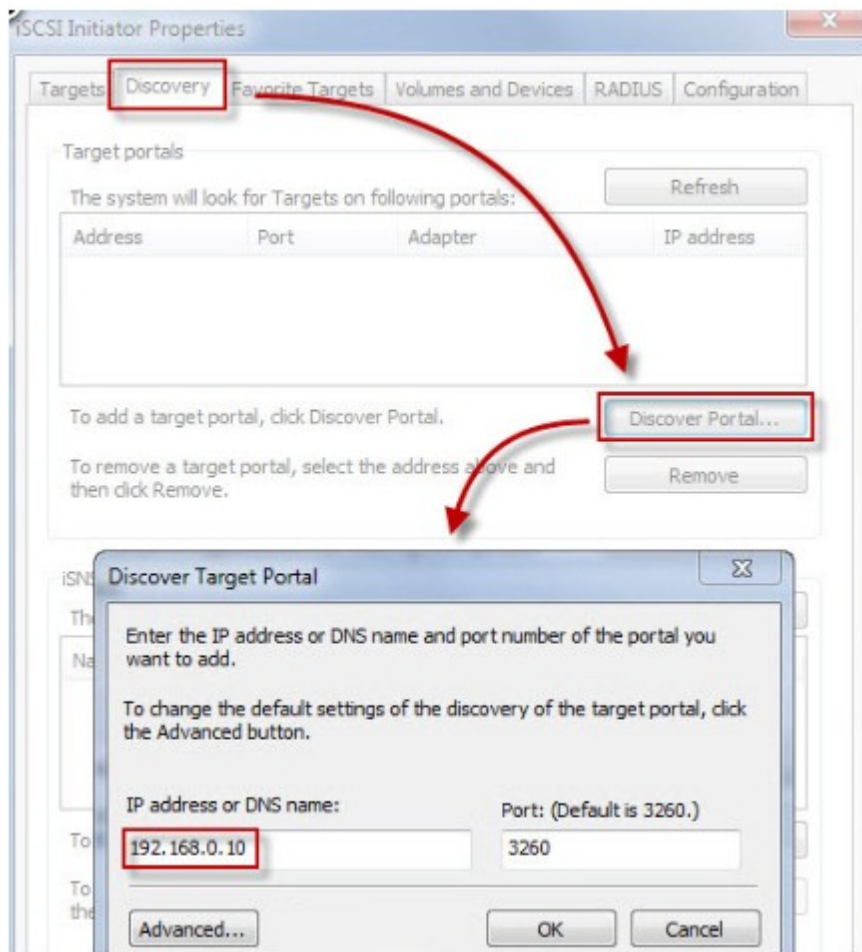
iSCSI ターゲットサービスの使用を開始する前に、NAS 上の LUN を使用して iSCSI ターゲットを作成し、ご使用の OS に適した正しい iSCSI イニシエータをインストールしておく必要があります。

Windows の iSCSI イニシエータ

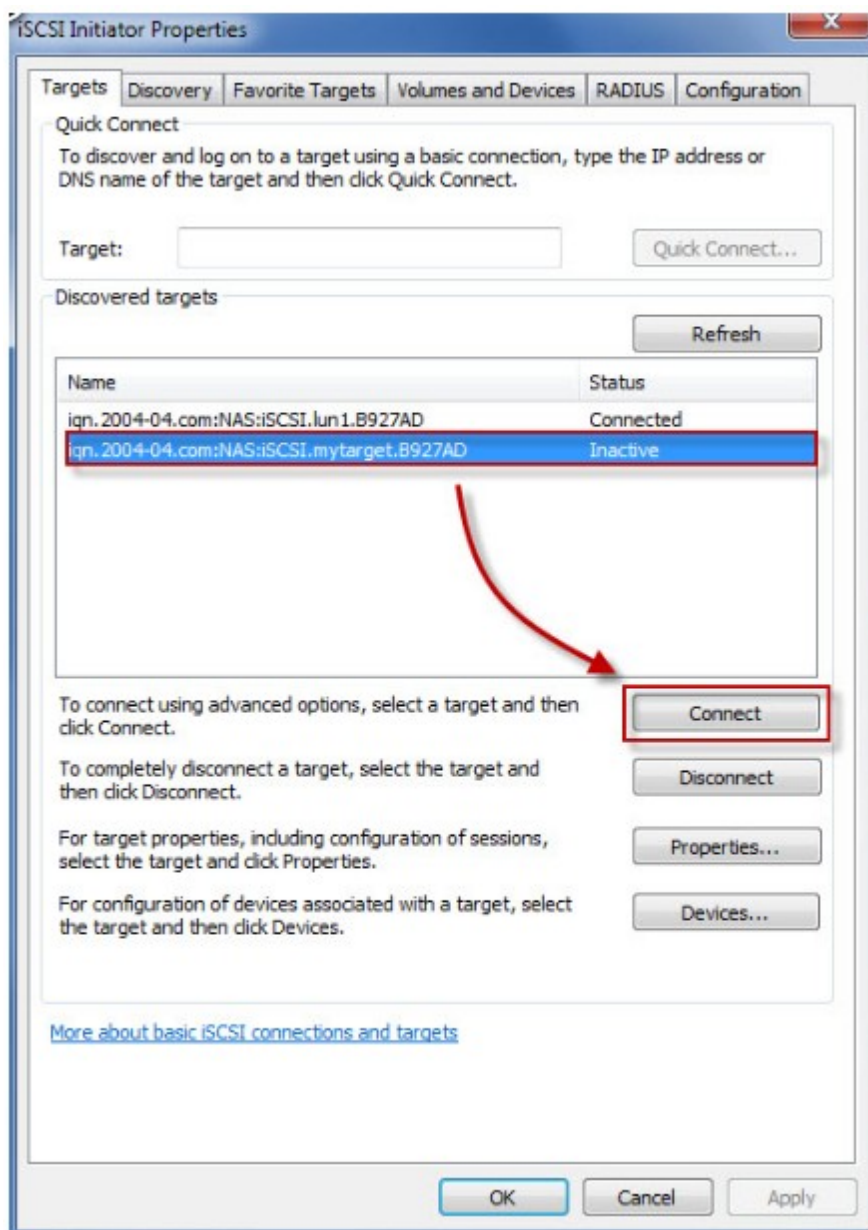
Microsoft iSCSI Software Initiator v2.07 は Windows OS 2003、XP、および 2000 の公式アプリケーションで、ネットワーク上で外部 iSCSI ストレージアレイの実装を可能にします。Windows Vista または Windows Server 2008 には、Microsoft iSCSI Software Initiator が含まれています。詳細およびダウンロードの場所については、以下のリンクからアクセスしてください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=12cb3c1a-15d6-4585-b385-befd1319f825&displaylang=en>

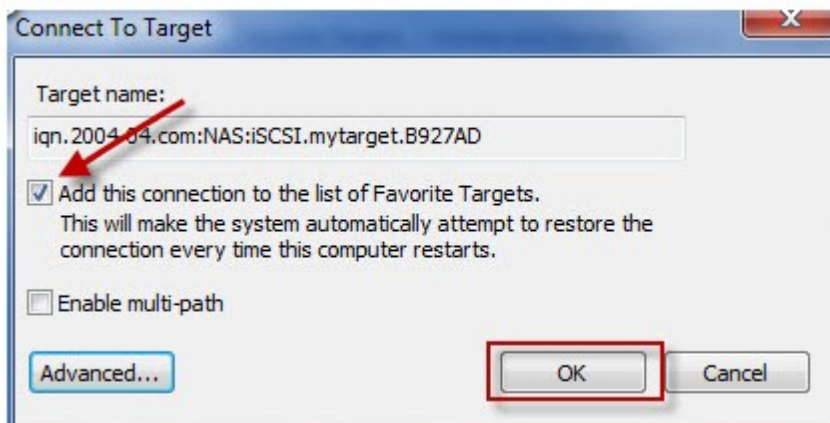
"Control Panel" (コントロールパネル) > "Administrative Tools" (管理ツール) からiSCSIイニシエータを開始します。"Discovery" (探索) タブ下の "Add Portal" (ポータルを追加) をクリックします。NAS IPおよびiSCSIサービスのためのポート番号を入力します。



使用可能なiSCSIターゲットおよびそのステータスは"Targets" (ターゲット) タブ下にて表示されます。接続を希望するターゲットを選択し、"Log on" (ログオン) をクリックします。



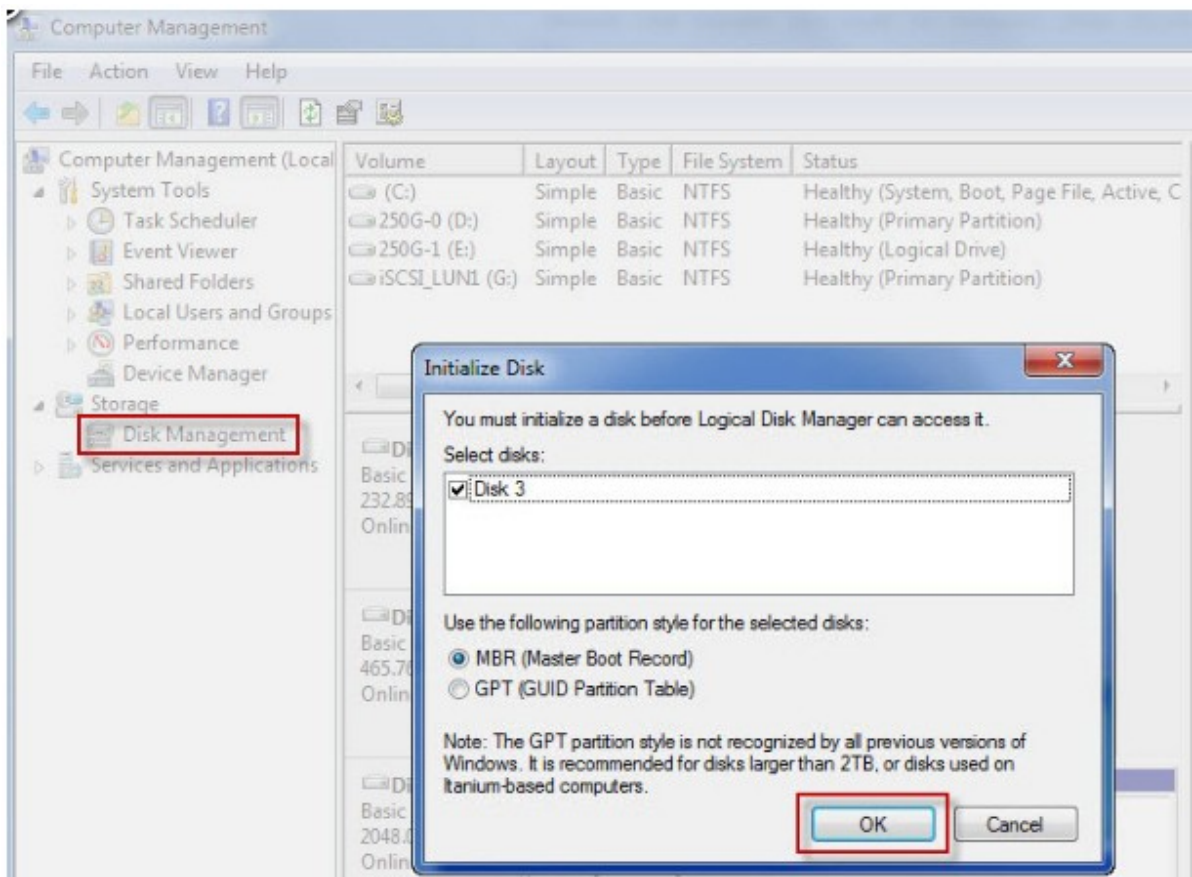
認証を構成してある場合は"Advanced" (詳細) をクリックするとログオン情報を特定することができます。構成を行っていない場合は"OK"をクリックして続行します。



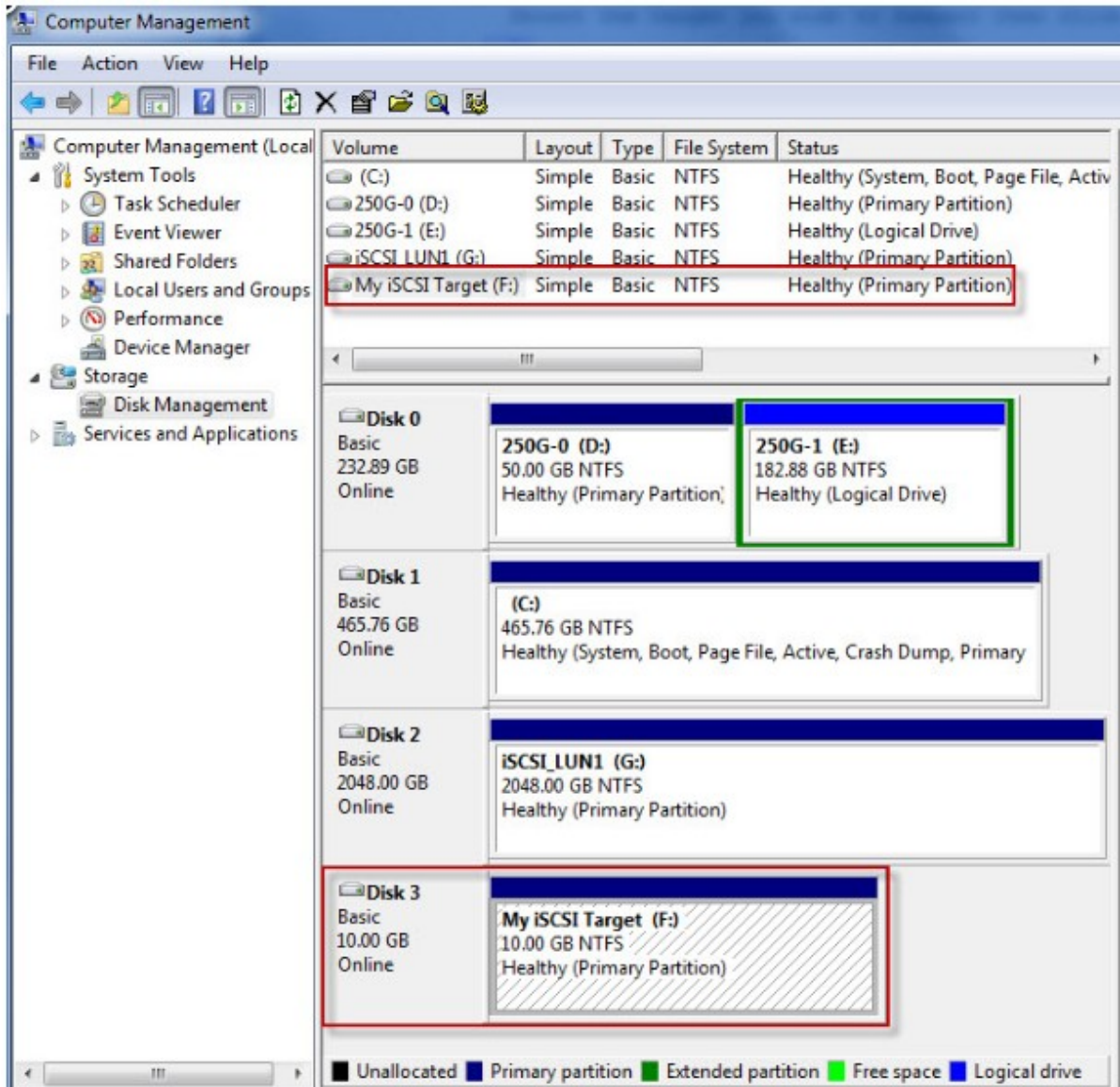
問題なくログオンすると、ターゲットのステータスは "Connected" (接続済み) となります。

Name	Status
iqn.2004-04.com:NAS:iSCSI.lun1.B927AD	Connected
iqn.2004-04.com:NAS:iSCSI.mytarget.B927AD	Connected

Windowsは接続されたターゲットを検出し、追加された新規ハードドライブは使用前に初期化とフォーマットが必要であると認識します。右クリックして "My Computer" (マイコンピュータ) > "Manage" (管理) と移動し、"Computer Management" (コンピュータ管理) ウィンドウを開きます。"Disk Management" (ディスク管理) に進むと、ウィンドウが自動的にポップアップし、新たに検出されたハードドライブを初期化するかどうか選択を求めます。"OK"をクリックし、新規ディスクを追加する際と同様にこのドライブをフォーマットします。



ディスク初期化とフォーマットが済んだら、新しいドライブがPCに接続されます。PCとターボステーションとが同一のLANに接続されていることを確認してください。



4.5.2.2 Mac OSの Xtend SAN iSCSIイニシエータを使用した NASへの接続

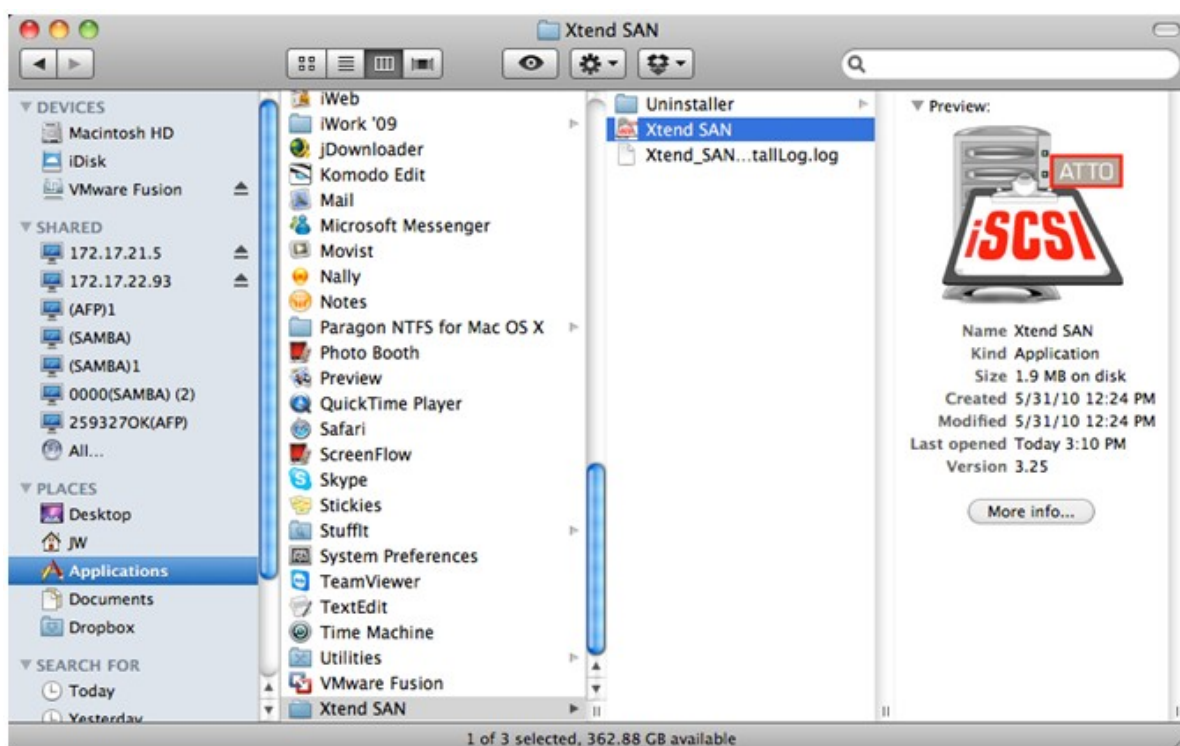
このセクションでは、Mac OSのXtend SAN iSCSIイニシエータを使用してiSCSIターゲット(QNAP NAS)を追加パーティションとして追加する方法をご紹介します。iSCSIターゲットサービスの使用を始める前に、NAS上のLUNを使用してiSCSIターゲットを作成し、ご使用のOSに適した正しいiSCSIイニシエータをインストールしておく必要があります。

Xtend SAN iSCSI イニシエータについて

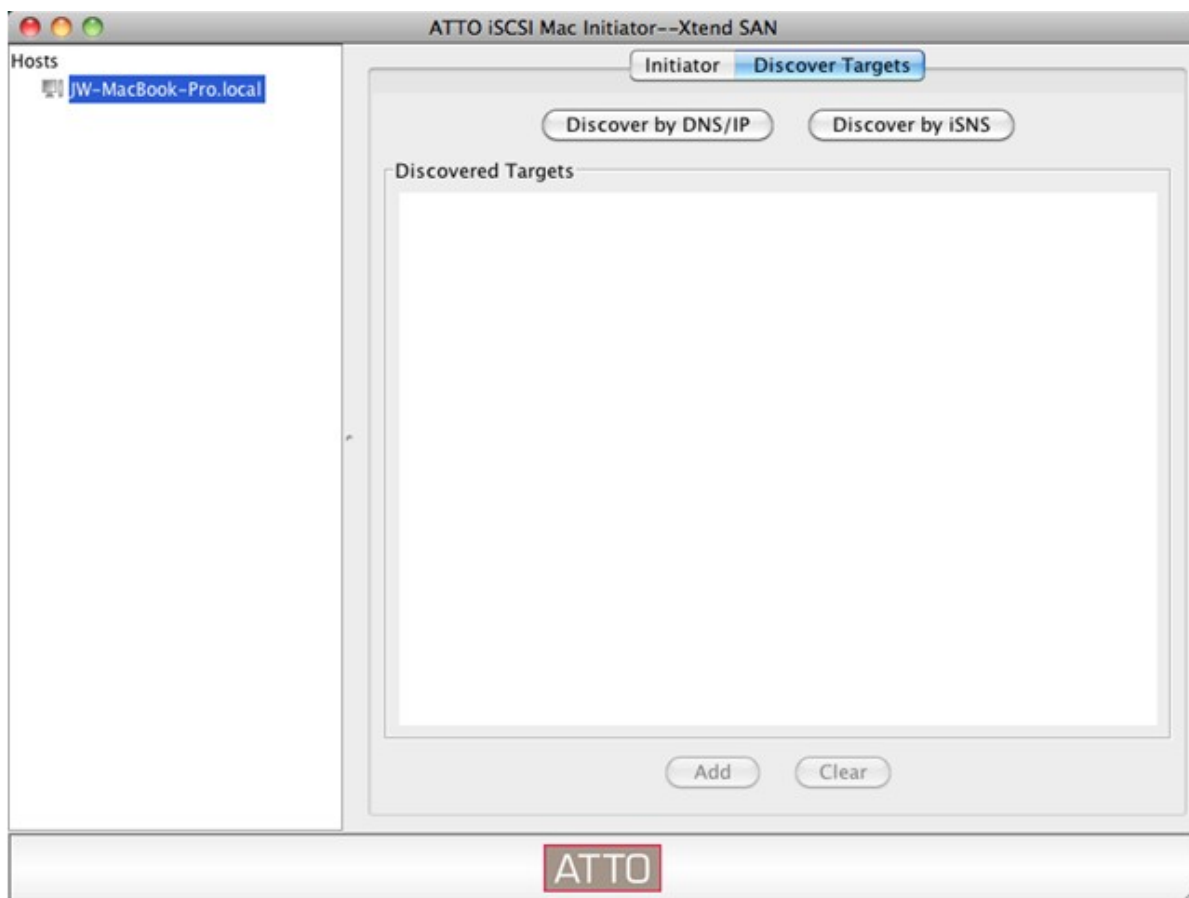
MAC OS X向けATTOのXtend SAN iSCSIイニシエータにより、MacユーザーはiSCSIを使用しその利点を活用することができます。Mac OS X 10.4.x to 10.6.xと互換しています。

詳しくは、こちらのページをご覧ください: <http://www.attotech.com/products/product.php?sku=INIT-MAC0-001>

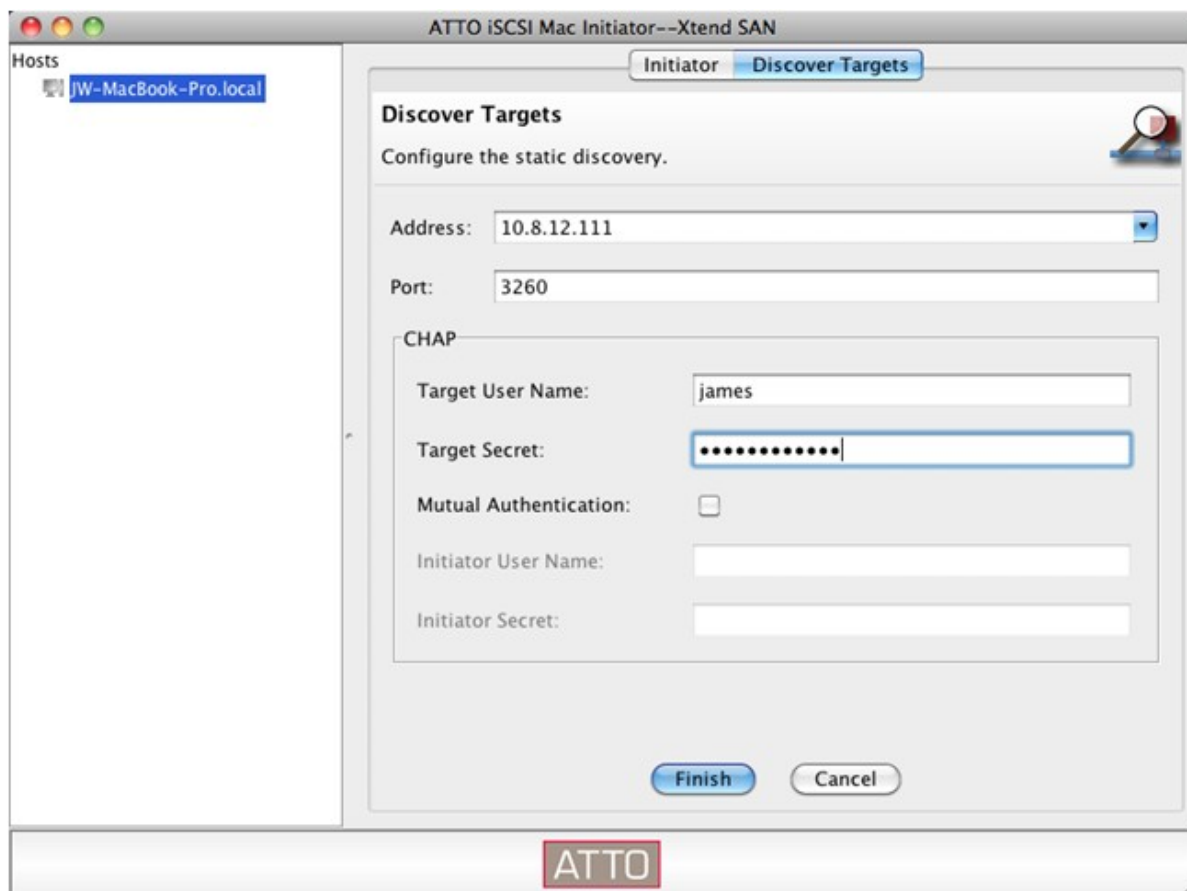
Xtend SAN iSCSIイニシエータは、インストール後は "Applications" (アプリケーション) から表示することができます。



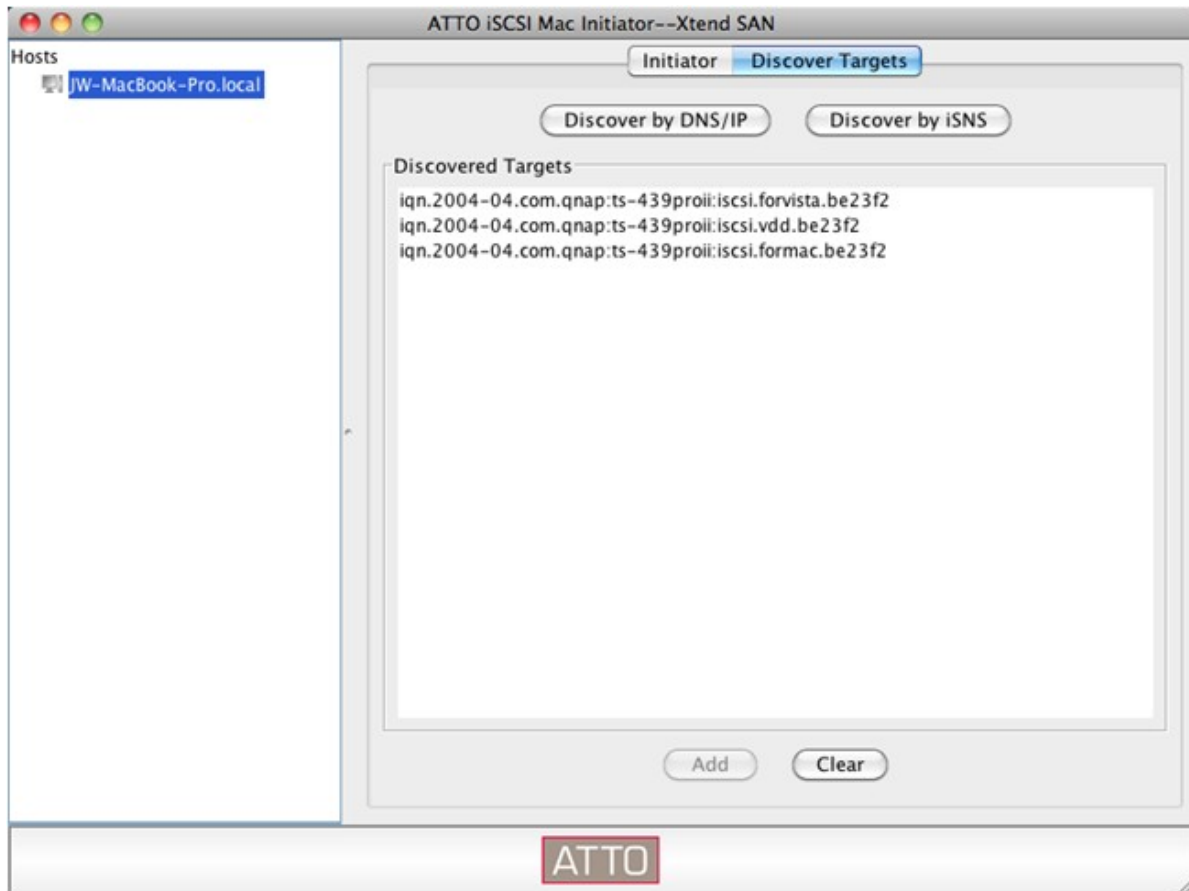
"Discover Targets" (ターゲットの検出) タブをクリックすると、ネットワークポロジーに応じて"Discover by DNS/IP" (DNS/IPにより検出) あるいは "Discover by iSNS" (iSNSにより検出) のどちらかを選択することができます。この例では、IPアドレスを使用してiSCSIターゲットを検出します。



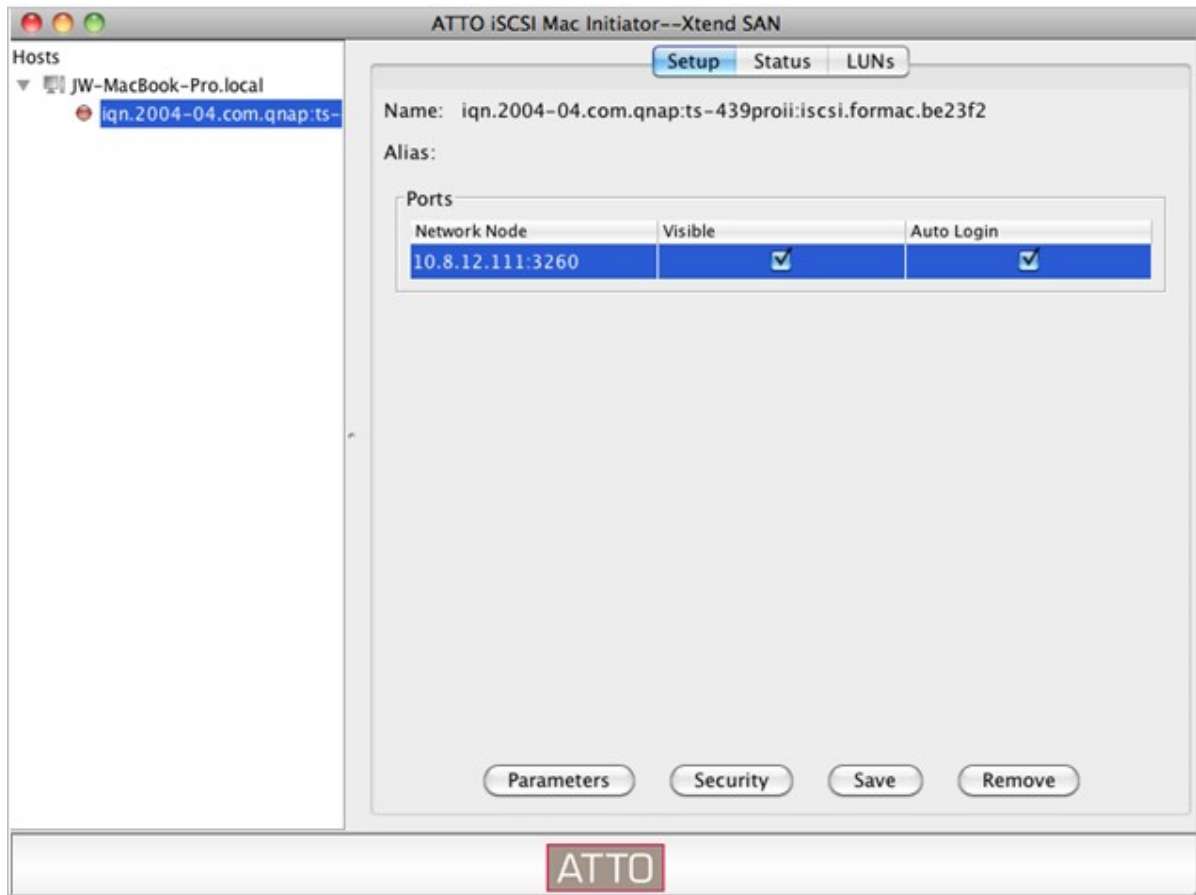
画面の指示に従い、サーバアドレス、iSCSIターゲットポート番号(デフォルト:3260)、CHAP情報(該当する場合)を入力します。全てのデータが正しく入力された後、"Finish" (終了) をクリックしてターゲット一覧を取得します。



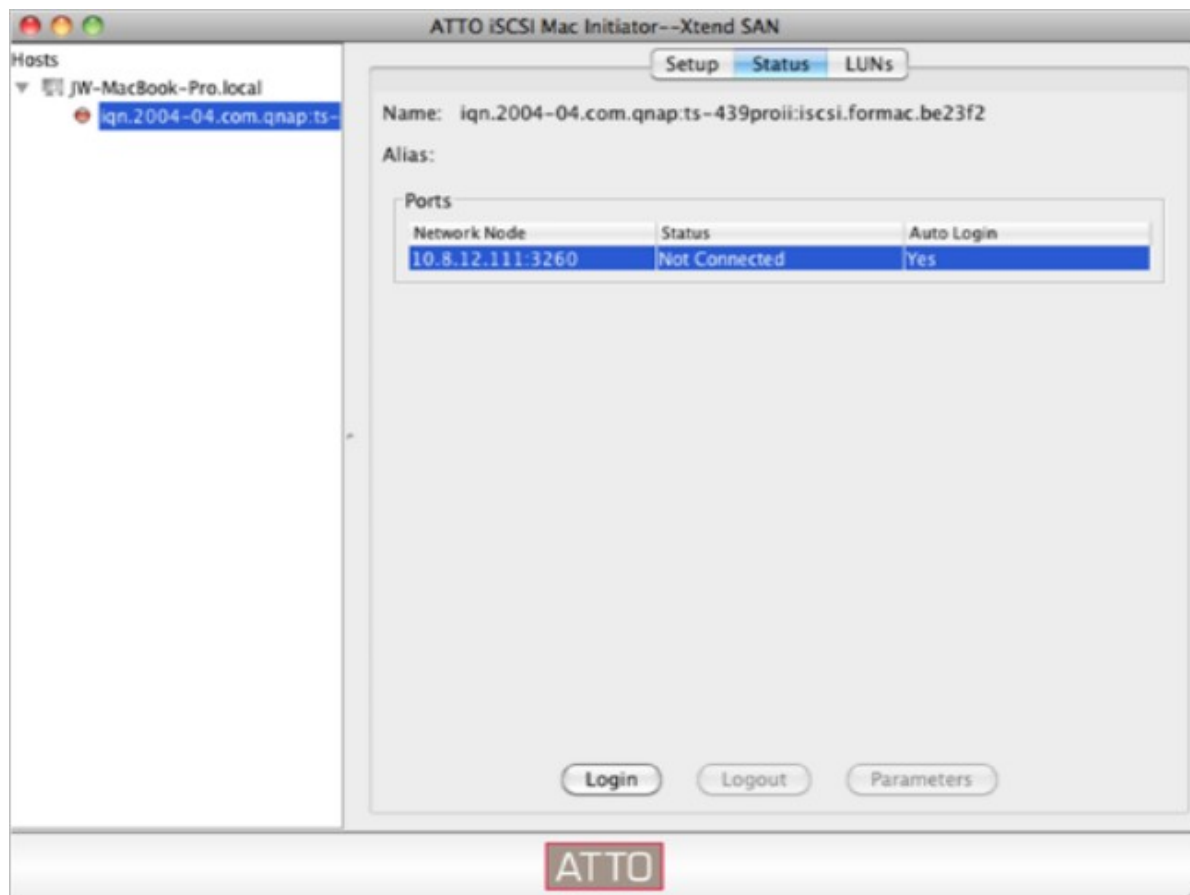
NASサーバにおいて使用可能なiSCSIターゲットが全て表示されます。接続するターゲットを選択し、"Add" (追加) をクリックします。



選択したiSCSIターゲットの接続プロパティは、"Setup" (セットアップ) タブにて構成することができます。



"Status" (ステータス) タブをクリックして接続するターゲットを選択します。"Login" (ログイン) をクリックして続行します。



iSCSIターゲットに初めてログオンするとき、ディスクが初期化されていないことを指摘するポップアップメッセージが表示されます。"Initialize..." (初期化) をクリックしてディスクをフォーマットします。"Disk Utilities" (ディスクユーティリティ) アプリケーションを開いて、初期化を実行することもできます。



これで、Macの外部ドライブとしてiSCSIを使用できるようになりました。



4.5.2.3 Ubuntu Linuxの Open-iSCSIイニシエータを使用して接続する

ここでは、UbuntuのLinux Open-iSCSIイニシエータを使用してiSCSIターゲット(QNAP NAS)を追加パーティションとして追加する方法をご紹介します。iSCSIターゲットサービスの使用を始める前に、NAS上のLUNを使用してiSCSIターゲットを作成し、ご使用のOSに適した正しいiSCSIイニシエータをインストールしておく必要があります。

LinuxのOpen-iSCSIイニシエータについて

LinuxのOpen-iSCSIイニシエータはUbuntu 8.04 LTS以降の組み込みパッケージです。シェルプロンプトで2、3のコマンドを入力するだけで、iSCSIボリュームに接続することができます。Ubuntuに関する詳細は、<http://www.ubuntu.com/> でご覧いただけます。Open-iSCSIの詳細とダウンロード場所については、<http://www.open-iscsi.org/> を参照してください。

始める前に

Open-iSCSIパッケージをインストールします。パッケージはLinux Open-iSCSIイニシエータとしても知られています。

```
# sudo apt-get install open-iscsi
```

以下のステップに従い、LinuxのOpen-iSCSIイニシエータでiSCSIターゲット(QNAP NAS)に接続します。

node.session.auth.username & node.session.auth.password などのCHAPログイン情報に対して、iscsid.confを更新する必要があります。

```
# vi /etc/iscsi/iscsid.conf
```

ファイルを保存して終了し、open-iscsiサービスを再起動します。

```
# /etc/init.d/open-iscsi restart
```

デフォルトポートが3260である「10.8.12.31」などの特定ホスト(この例では、QNAP NAS)でiSCSIターゲットを見つけます。

```
# iscsiadm -m discovery -t sendtargets -p 10.8.12.31:3260
```

接続する使用可能なiSCSIノードにチェックマークを付けます。

```
# iscsiadm -m node
```

** サービスが次のコマンドで実行されるとき、接続を望まないノードを削除することができます。

```
# iscsiadm -m node --op delete --targetname THE_TARGET_IQN
```

open-iscsiを再起動して、使用可能なすべてのノードにログインします。

```
# /etc/init.d/open-iscsi restart
```


以下のようなログインメッセージが表示されます。

```
Login session [iface: default, target: iqn.2004-04.com:NAS:iSCSI.ForUbuntu.B9281B, portal: 10.8.12.31,3260] [ OK ]
```

dmesgでデバイスステータスをチェックします。

```
# dmesg | tail
```

次のコマンドを入力してパーティションを作成します。/dev/sdbはデバイス名です。

```
# fdisk /dev/sdb
```

パーティションをフォーマットします。

```
# mkfs.ext3 /dev/sdb1
```

ファイルシステムをマウントします。

```
# mkdir /mnt/iscsi
```

```
# mount /dev/sdb1 /mnt/iscsi/
```

次のコマンドを使用してI/O速度をテストすることができます。

```
# hdparm -tT /dev/sdb1
```

以下は、"iscsiadm"関連のコマンドの一部です。

ホストでターゲットを見つけます。

```
# iscsiadm -m discovery --type sendtargets --portal HOST_IP
```

ターゲットにログインします:

```
# iscsiadm -m node --targetname THE_TARGET_IQN --login
```

ターゲットからログアウトします:

```
# iscsiadm -m node --targetname THE_TARGET_IQN --logout
```

ターゲットを削除します:

```
# iscsiadm -m node --op delete --targetname THE_TARGET_IQN
```

4.5.3 拡張 ACL

拡張ACL

以下の説明は3.3.0以降のバージョンのファームウェアを実行する非IntelベースのNASモデルと、3.2.0以降のバージョンのファームウェアを実行するIntelベースのNASモデルにのみ適用されます。

LUNマスキングポリシーを作成して、NASのiSCSIターゲットにマッピングされたLUNへのアクセスを試行するiSCSIイニシエータの許可が設定できます。この機能を使用するには、「拡張ACL」の「ポリシーの追加」をクリックします。

iSCSI

ポータル管理 ターゲット管理 **拡張ACL** LUN バックアップ

LUNマスキング

接続元のiSCSIイニシエータから、NAS上のiSCSIターゲットにマッピングされているiSCSI LUNにアクセスするときには、そのイニシエータがターゲットのACLおよびLUNマスキングで認証されず(詳細な手順については、[ここ](#)をクリックしてください)。

LUNマスキングポリシーリスト ポリシーの追加

<input type="checkbox"/>	ポリシー名	ION	アクション
<input type="checkbox"/>	デフォルトポリシー		

削除 合計: 1 | ページあたり 10 | エントリを表示します。 1 / 1

ポリシー名、イニシエータIQNを入力し、NASで作成した各LUNへのアクセス権を割り当てます。

- 読み取り専用: 接続されたイニシエータはLUNからのデータを読み取ることだけが可能です。
- 読み取り/書き込み: 接続されたイニシエータはLUNの読み取りと書き込みアクセス権が許可されます。
- Deny Access (アクセスの拒否: LUNは、接続されたイニシエータに非表示となります。


ポリシーの追加 ✕

LUNマスキングポリシーを、下記に入力したイニシエータ向けに定義します。

ポリシー名:

イニシエータIQN:

名前	読み取り専用	読み取り/書き込み	アクセス拒否
001	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
002	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
003	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>


接続されたiSCSIイニシエータに特定のLUNマスキングポリシーを指定しない場合、デフォルトのポリシーが適用されます。システムのデフォルトのポリシーでは、接続された全iSCSIイニシエータからの読み取りと書き込みアクセスを許可します。LUNマスキングリストにある  をクリックすると、デフォルトのポリシーを編集できます。

注: デフォルトのLUNポリシーを編集する前にNAS上のLUNを最低1つは作成しておく必要があります。

LUNマスキング

接続されたiSCSIイニシエータは、NASのiSCSIターゲットにマップされた iSCSI LUNにアクセスするために、ターゲットACLおよびLUNマスキングにより認証されます。(詳しい説明は、[こちら](#)をクリックしてご覧ください。)

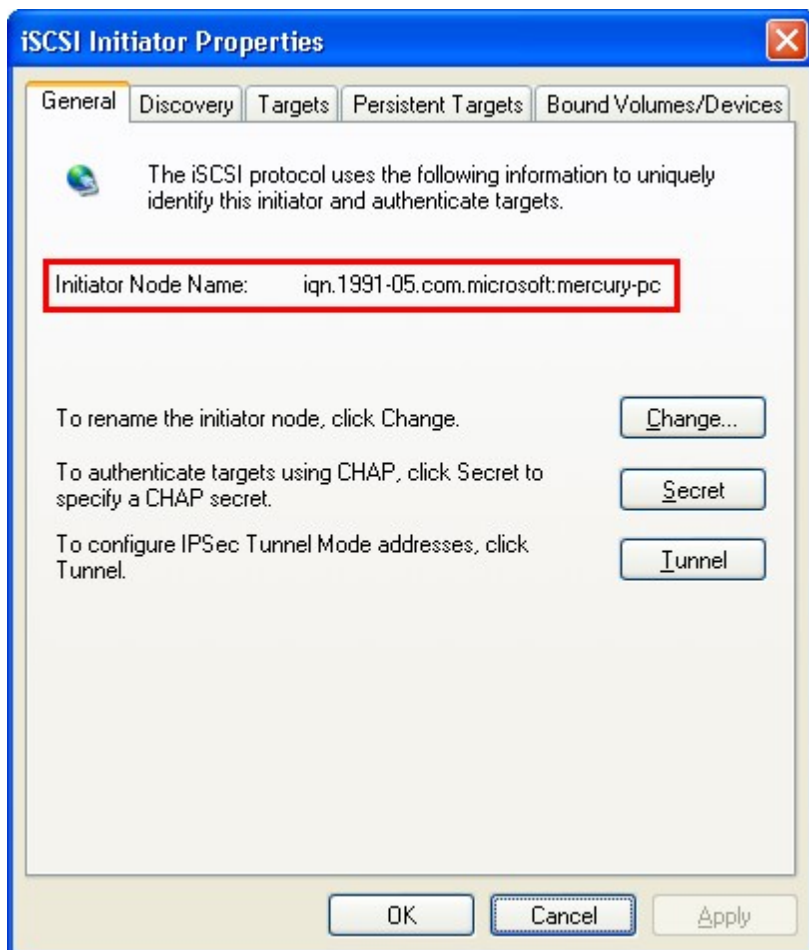
LUNマスキングポリシー一覧 + ポリシーの追加

<input type="checkbox"/>	ポリシー名	ION	動作
<input type="checkbox"/>	デフォルトポリシー		

削除 合計: 1 | 各ページ 10 エントリーずつ表示。 1 / 1

ヒント:イニシエータIQNはどこにありますか？

Microsoft iSCSIイニシエータを開始し、"General" (全般)をクリックします。イニシエータのIQNは下図のように表示されます。



4.5.4 LUN バックアップ

NAS は、iSCSI LUN の異なるストレージロケーション (Windows、Linux、またはローカルネットワーク共有) へのバックアップ、LUN の NAS への復元、LUN スナップショットを作成し、iSCSI ターゲットにマッピングする機能をサポートします。

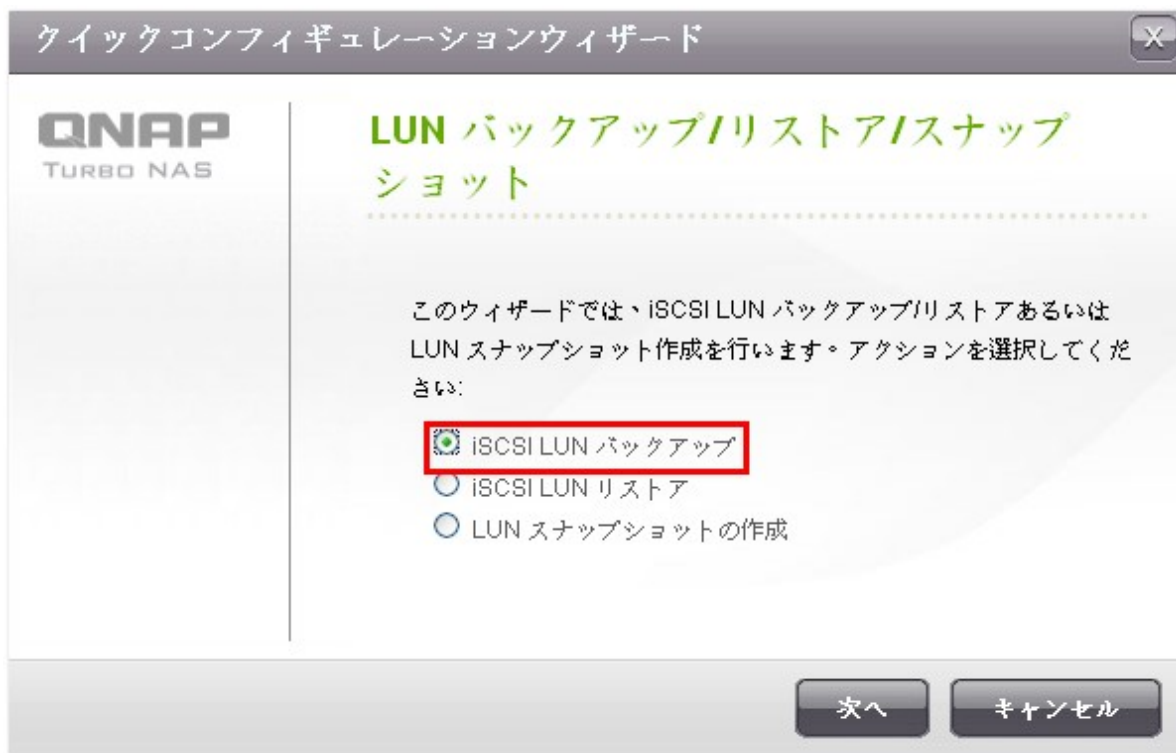
iSCSI LUN のバックアップ

iSCSI LUN バックアップを行う前に、NAS 上に少なくとも一つの iSCSI LUN が作成されていることを確認してください。iSCSI ターゲットおよび LUN を作成するには、「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「Target Management (ターゲット管理)」に進みます。

1. 「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「LUN BACKUP (LUN バックアップ)」に進みます。「Create a new job (新しいジョブの作成)」をクリックします。



2. 「Back up an iSCSI LUN (iSCSI LUNバックアップ)」を選択し、「NEXT (次へ)」をクリックします。



3. バックアップを行う LUN を選択します。オンライン LUN を選択した場合、LUN に対し自動的に非常に短時間にスナップショットを作成します。



4. LUN のバックアップ先を指定します。NAS は、LUN のバックアップ先として、Linux 共有 (NFS)、Windows 共有 (CIFS/SMB)、および NAS 上のローカルフォルダをサポートします。「TEST (テスト)」をクリックして、指定したパスへの接続をテストします。それから、「NEXT (次へ)」をクリックします。



5. LUN バックアップのイメージ名を入力するか、NAS により生成されたものを使用します。イメージファイルを格納するサブフォルダを選択します。「Use compression* (圧縮の使用)」または「not(使用しない)」を選択します。「NEXT (次へ)」をクリックします。

*Use Compression (圧縮の使用): このオプションを有効にした場合、NAS 上の CPU リソースはたくさん消費されますが、LUN バックアップサイズは小さくなります。バックアップ時間は、iSCSI LUN の大きさにより変化します。



6. バックアップスケジュールを指定します。次のオプションが利用可能です:

- すぐ
- 毎時
- 毎日
- 毎週
- 毎月

「NEXT (次へ)」をクリックします。



7. 設定が表示されます。ジョブ名を入力するか、NAS により生成されたものを使用します。「NEXT (次へ)」をクリックします。

QNAP
TURBO NAS

設定の確認

iSCSI LUN バックアップ:

ジョブ名: Backup_a->backup-a

ソース LUN: a (1.00 GB)

プロトコル: Linux 共有(NFS)

デスティネーション選択: Public/Backup

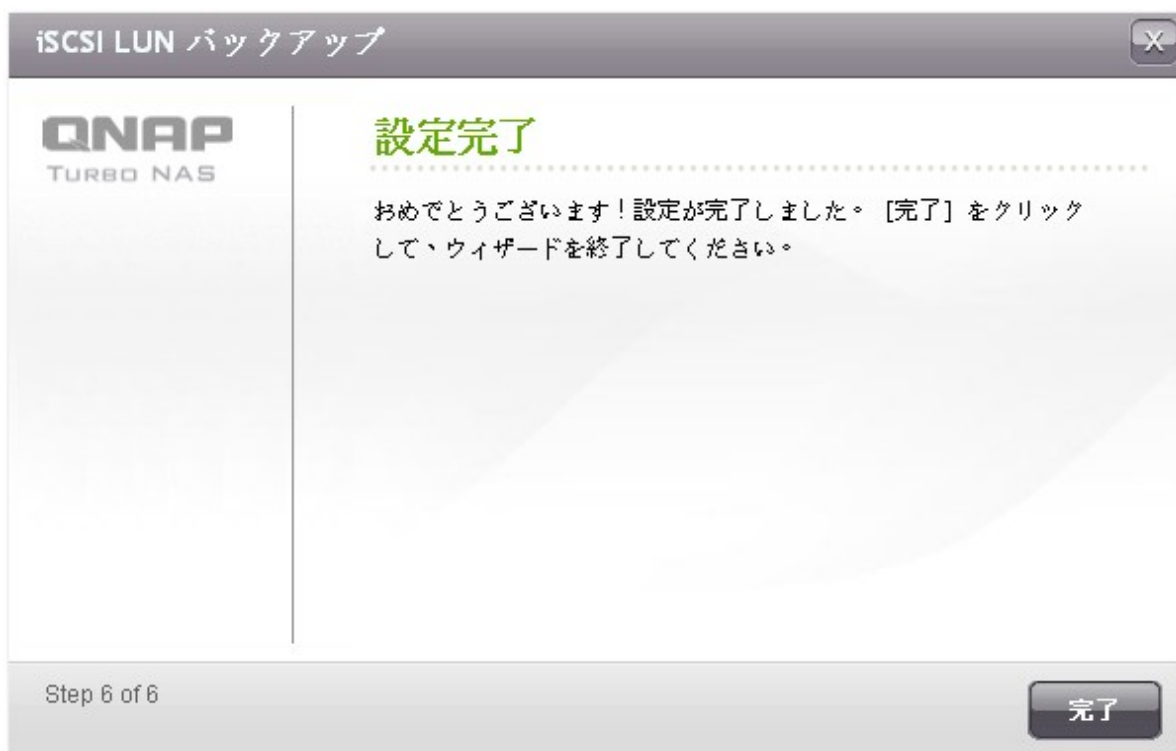
LUN イメージ名: /backup-a

スケジュール: 毎日 00:00





Step 5 of 6

戻る 次へ キャンセル

8. 「FINISH (完了)」をクリックして終了します。




9. バックアップジョブがリスト上に表示されます。

ボタン	説明
	ジョブを直ちに開始します。
	稼働中のジョブを停止します。
	ジョブの設定を編集します。
	ジョブのステータスおよびログを表示します。

現在のジョブ

LUN バックアップを使って、LUN データを他のストレージにバックアップしたり、データを NAS にリストアすることができます。

現在のジョブ [新しいジョブの作成](#)

<input type="checkbox"/>	ジョブ名	タイプ	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	Backup_a->backup-a	バックアップ (スケジュール: 毎日 00:00)	---	  

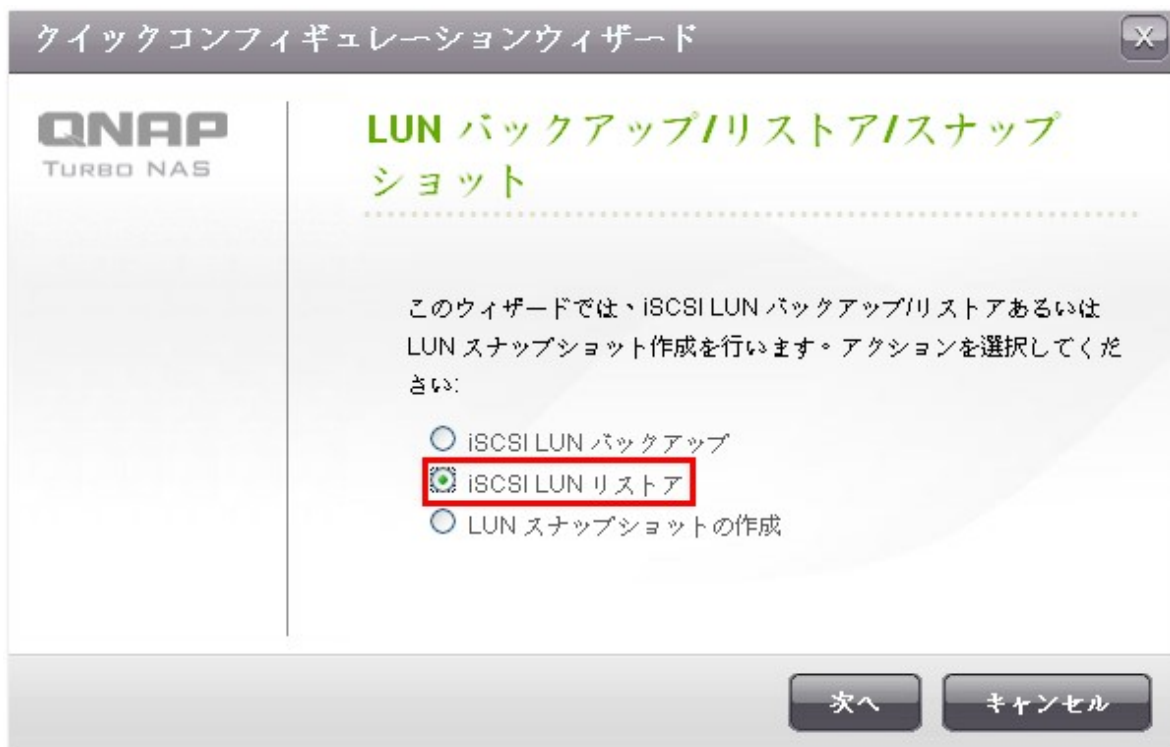
[削除](#)

iSCSI LUN のリストア

1. iSCSI LUN を NAS にリストアするには、「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「LUN Backup (LUN バックアップ)」に進みます。「Create a new job (新しいジョブの作成)」をクリックします。



2. 「Restore an iSCSI LUN (iSCSI LUNリストア)」を選択し、「NEXT (次へ)」をクリックします。



3. リストア元のプロトコル、IP アドレス/ホスト名、およびフォルダ/パスを指定します。「TEST (テスト)」をクリックして、接続をテストします。それから、「NEXT (次へ)」をクリックします。

iSCSI LUN リストア

QNAP
TURBO NAS

リストア ソースを選択

プロトコル: Linux 共有(NFS) ✓

IPアドレス/ホスト名: [Redacted] ✓
(例:192.168.0.100, nas.com, nas,...)

フォルダ/パス: /Public/Backup ✓
(例:/share/HDA_data/backup)

リモートホストのテスト: [テスト](#)

Step 1 of 5

次へ キャンセル

4. LUN イメージファイルを表示し、選択します。「NEXT (次へ)」をクリックします。

iSCSI LUN リストア

QNAP
TURBO NAS

ソース ロケーション 選択

フォルダー一覧: [V]

LUN 一覧: backup-a (a:1.00GB)

Step 2 of 5

戻る 次へ キャンセル

5. リストア先を選択します。

- 既存 LUNの上書き: iSCSI LUN をリストアし、NAS 上の既存 LUN を上書きします。元の LUN 上のすべてのデータが上書きされます。
- 新規 LUN作成: iSCSI LUN を NAS 上に新規 LUN としてリストアします。新規 LUN の名称を入力し、ロケーションを選択します。

「NEXT (次へ)」をクリックします。

iSCSI LUN リストア

QNAP
TURBO NAS

デスティネーション選択

既存 LUN の上書き
a (1.00 GB, 有効) 空きサイズ: 334.99 GB
注意: LUN 上のオリジナル データは上書きされます。

新規 LUN 作成
LUN名: test
LUN ロケーション: 単一ディスク: ドライブ 1
空きサイズ: 334.32 GB

Step 3 of 5

戻る 次へ キャンセル

6. 設定が表示されます。ジョブ名を入力するか、NAS により生成されたものを使用します。「NEXT (次へ)」をクリックします。

QNAP
TURBO NAS

設定の確認

iSCSI LUN リストア:

ジョブ名:

プロトコル: Linux 共有(NFS)

リモート ホスト: [redacted]/Public/Backup

LUN イメージ名: /backup-a (a:1.00GB)

LUN 名: test (新規 LUN 作成, 1.00)

Step 4 of 5

戻る 次へ キャンセル

7. 「FINISH (完了)」をクリックして終了します。

QNAP
TURBO NAS




設定完了

おめでとうございます! 設定が完了しました。 [完了] をクリックして、ウィザードを終了してください。

完了

Step 5 of 5

8. リストアジョブは、直ちに実行されます。

ボタン	説明
	稼働中のジョブを停止します。
	ジョブの設定を編集します。
	ジョブのステータスおよびログを表示します。

現在のジョブ + 新しいジョブの作成

<input type="checkbox"/>	ジョブ名	タイプ	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	Backup_a->backup-a	バックアップ (スケジュール: 毎日 00:00)	---	  
<input type="checkbox"/>	Restore_backup-a->test	リカバリ	処理中... 0%	  

 削除

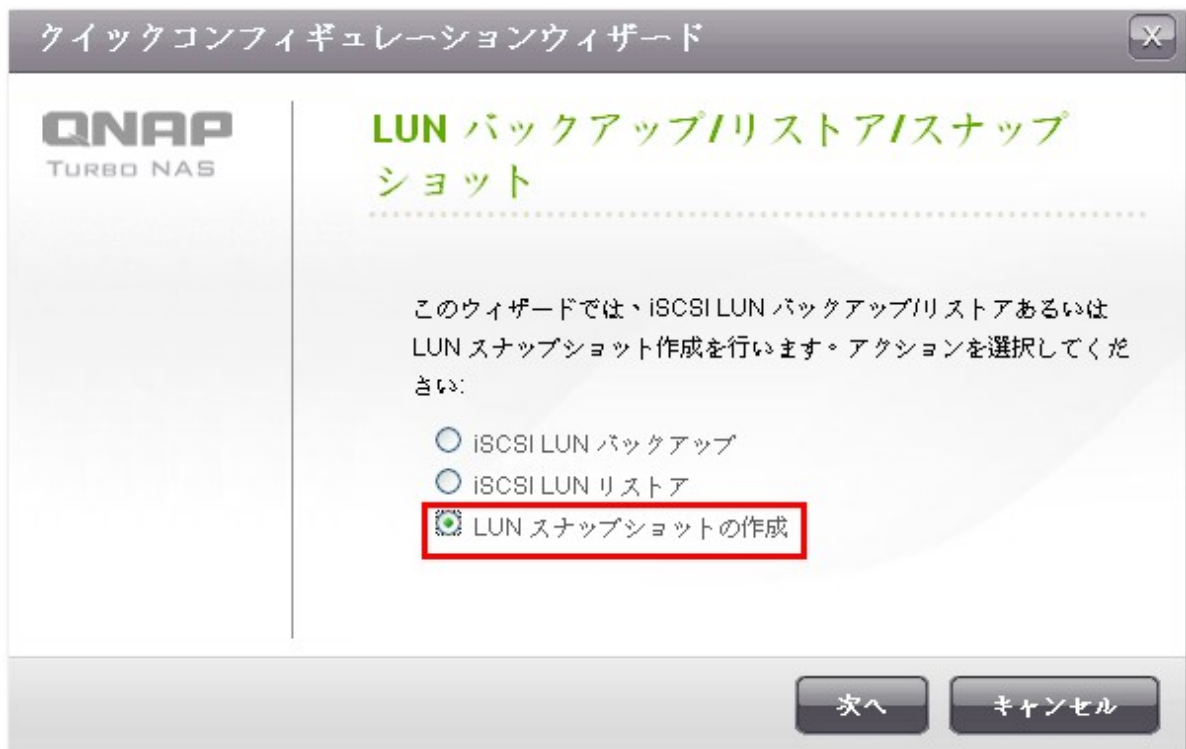
iSCSI LUN スナップショットの作成

iSCSI LUN スナップショットを作成する前に、NAS 上に少なくとも一つの iSCSI LUN および一つの iSCSI ターゲットが作成されていることを確認します。iSCSI ターゲットおよび LUN を作成するには、「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「Target Management (ターゲット管理)」に進みます。

1. iSCSI LUN スナップショットを作成するには、「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「LUN Backup (LUN バックアップ)」に進みます。「Create a new job (新しいジョブの作成)」をクリックします。



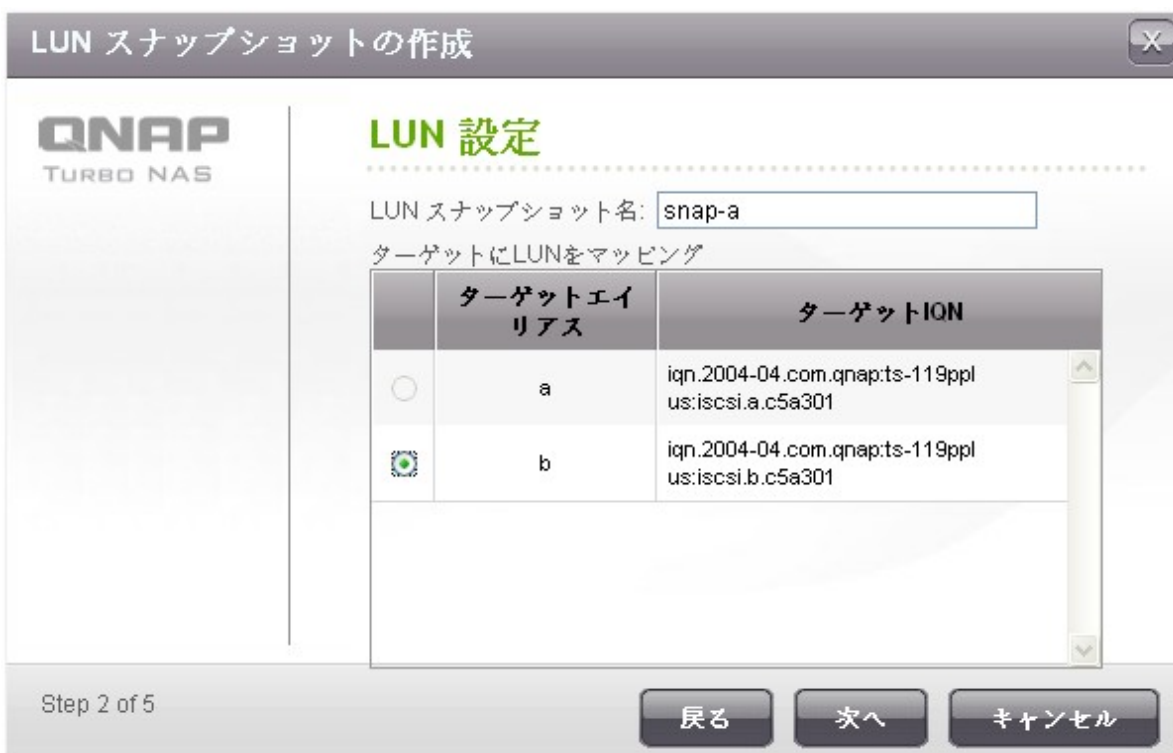
2. 「Create a LUN Snapshot (LUN スナップショットの作成)」を選択し、「NEXT (次へ)」をクリックします。



3. NAS 上の iSCSI LUN を選択します。「NEXT (次へ)」をクリックします。



4. LUN スナップショット名を入力するか、NAS により生成されたものを使用します。LUN スナップショットをマッピングする iSCSI ターゲットを選択します。「NEXT (次へ)」をクリックします。



5. スナップショットのスケジュールおよび存続期間を指定します。スナップショットは、存続期間に達した時に自動的に消去されます。

LUN スナップショットの作成

QNAP
TURBO NAS

スナップショット スケジュール

スケジュールの選択:
今

スナップショット間隔: -- 日 3 時間

Step 3 of 5

戻る 次へ キャンセル

6. 設定が表示されます。ジョブ名を入力するか、NAS により生成されたものを使用します。「NEXT (次へ)」をクリックします。

LUN スナップショットの作成

QNAP
TURBO NAS

設定の確認

LUN スナップショットの作成:

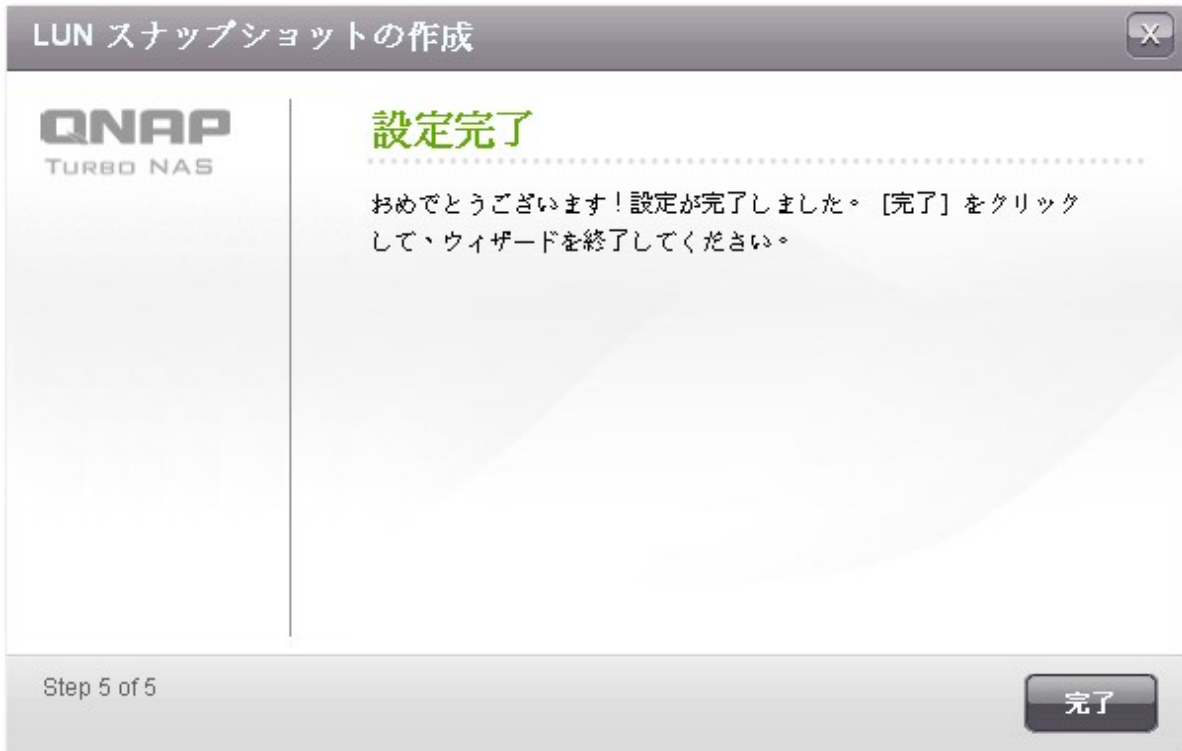
ジョブ名: Snap_shota->snap-a

ソース LUN: a (1.00 GB)
LUN スナップショット名: snap-a
ターゲットにLUNをマッピング: b
スケジュール: 今

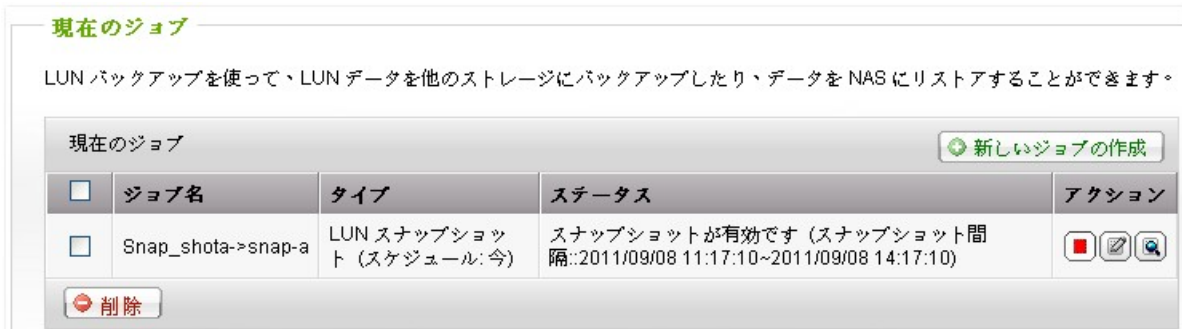
Step 4 of 5

戻る 次へ キャンセル

7. 「FINISH (完了)」をクリックして終了します。



8. スナップショットは直ちに作成されます。ステータスおよび存続期間がリスト上に表示されます。



9. 「iSCSI」 > 「Target Management (ターゲット管理)」と進めて、iSCSI ターゲットリスト内にスナップショットの LUN を表示します。iSCSI イニシエーターソフトウェアを使って、iSCSI ターゲットに接続し、LUN スナップショット上の瞬時データにアクセスします。QNAP NAS 上の iSCSI ターゲットへの接続に関する詳細な情報は、http://www.qnap.com/pro_application.asp?ap_id=135を参照してください。

注: ソースLUNとスナップショットLUNは、Windows 7やWindows 2008 R2などの特定オペレーティングシステム上の同じサーバーにマウントすることはできません。そのような場合、LUNを異なるサーバーにマウントしてください。

iSCSI

ポータル管理 ターゲット管理 拡張ACL LUN バックアップ

ターゲット管理

クイックコンフィギュレーションウィザード クイックコンフィギュレーションウィザードに従うと、iSCSIターゲットおよびLUNを簡単に作成できます。

iSCSIターゲットリスト

	エイリアス(IQN)	ステータス	アクション
+	a (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119pplus:iscsi.a.c5a301)	準備完了	✎ ✖
-	b (iqn.2004-04.com.qnap:ts-119pplus:iscsi.b.c5a301)	準備完了	✎ ✖
	id:0 - 1 (1.00 GB)	有効	⊘ ✎
	id:1 - snap-a (1.00 GB)	有効	■ ✎

合計: 2 | ページあたり 10 エントリを表示します。

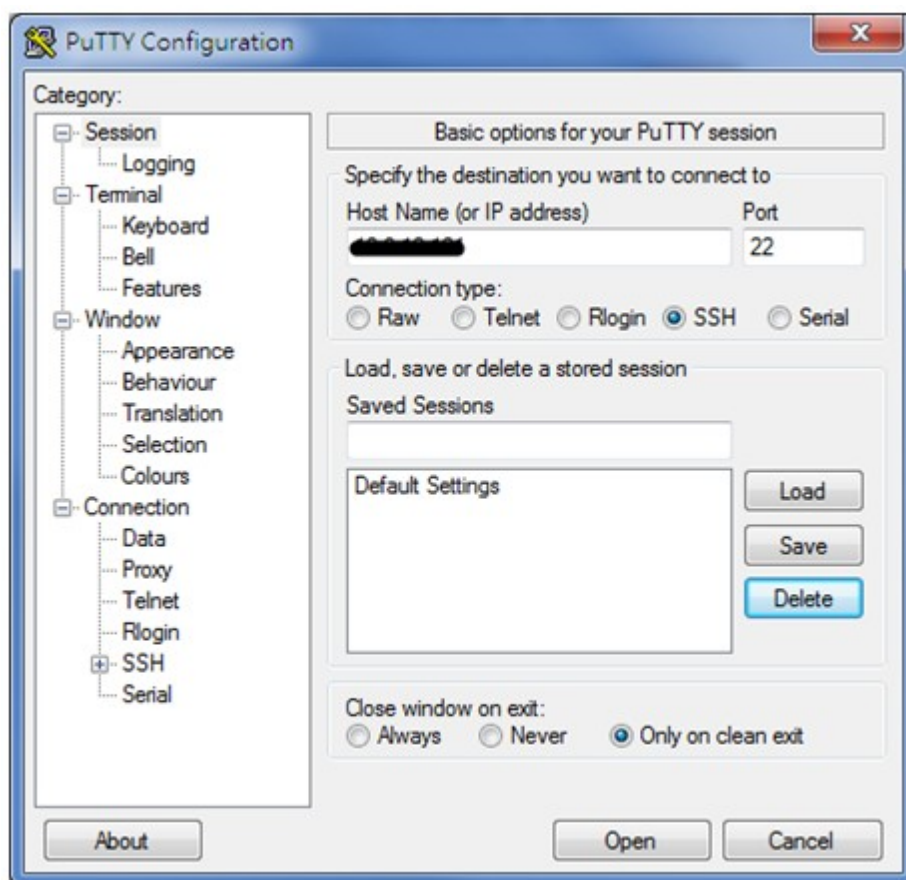
1 / 1

コマンドラインでの LUN バックアップ/リストア/スナップショットの管理

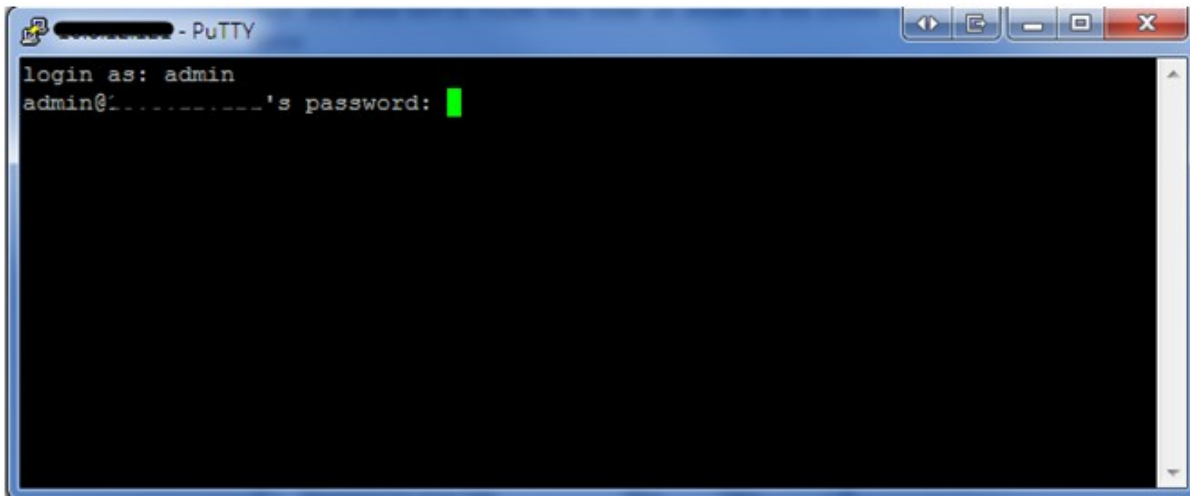
QNAP NAS ユーザーは、コマンドラインで、NAS 上の iSCSI LUN バックアップ、リストア、スナップショットジョブを実行/停止することができます。次の操作を行い、この機能を利用します。

注: 以下の操作はコマンドラインに慣れた IT 管理者のみが実行するようにしてください。

1. 最初に、iSCSI LUN バックアップ、リストア、スナップショットジョブが NAS 上に作成されていることを「Disk Management (ディスク管理)」>「iSCSI」>「LUN Backup (LUN バックアップ)」で確認します。
2. NAS に Putty などの SSH ユーティリティを使用して接続します。

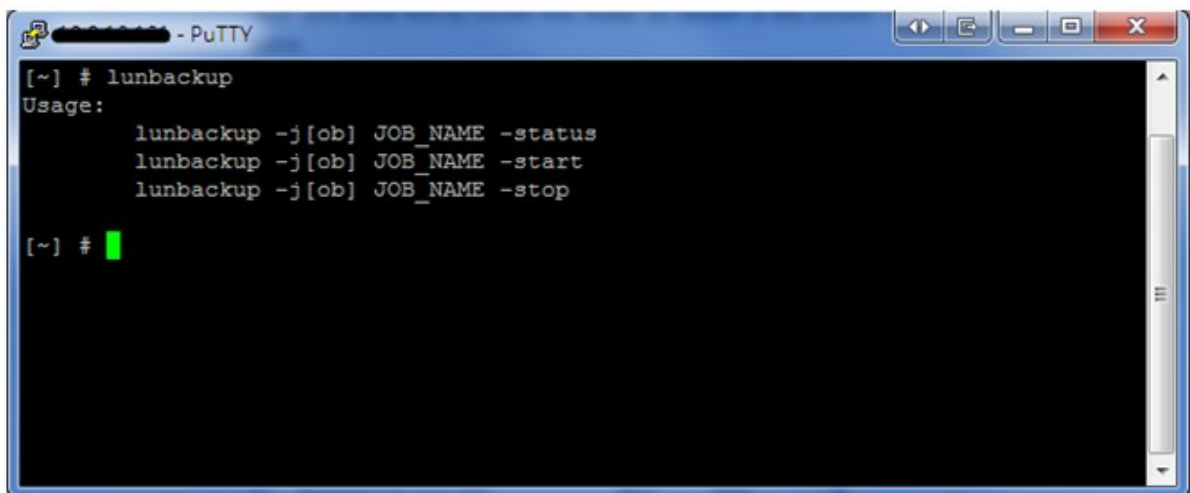


3. NAS に管理者としてログインします。



```
login as: admin
admin@'.....'s password: █
```

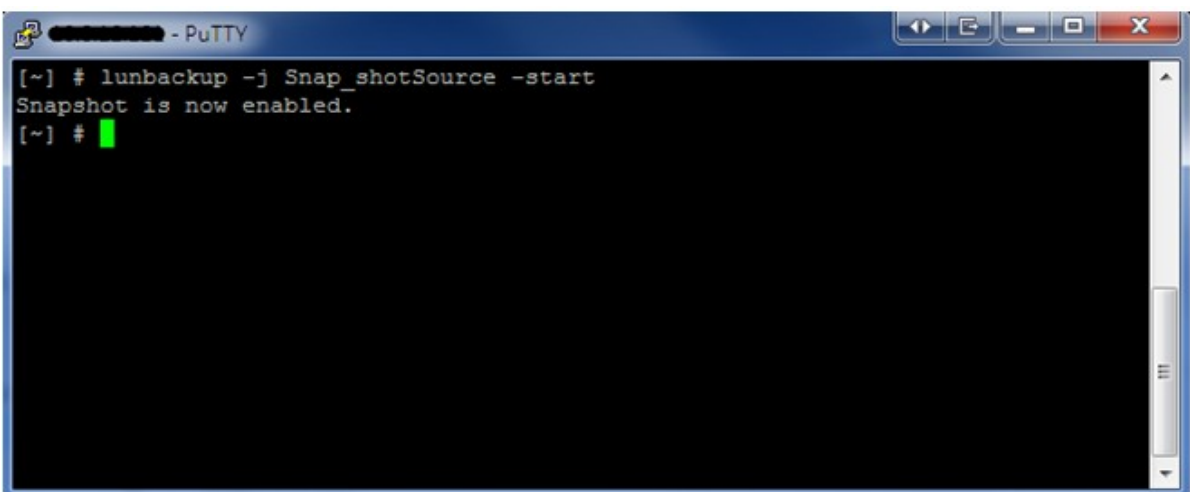
4. コマンド「lunbackup」を入力します。コマンドの使用方法が表示されます。



```
[~] # lunbackup
Usage:
  lunbackup -j [ob] JOB_NAME -status
  lunbackup -j [ob] JOB_NAME -start
  lunbackup -j [ob] JOB_NAME -stop

[~] # █
```

5. lunbackup コマンドを使用して、NAS 上の iSCSI LUN バックアップ、リストア、スナップショットジョブを開始/終了します。



```
[~] # lunbackup -j Snap_shotSource -start
Snapshot is now enabled.
[~] # █
```


4.6 仮想ディスク

この機能を使用して、他のQNAP NASまたはストレージサービスのiSCSIターゲットを、ストレージ容量拡張のため仮想ディスクとしてNASに追加することができます。NASは最大8仮想ディスクまでサポートしています。

注：NASがサポートする仮想ディスクの最大サイズは16テラバイトです。

仮想ディスク

仮想ディスクを追加

<input type="checkbox"/>	ファイル名	ファイルシステム	容量	空き領域	状態	動作
使用可能な仮想ディスクはありません。						

削除

仮想ディスクをNASに追加するには、iSCSIターゲットが作成されていることを確認してください。「仮想ディスクの追加」をクリックします。

仮想ディスク

仮想ディスクを追加

<input type="checkbox"/>	ファイル名	ファイルシステム	容量	空き領域	状態	動作
使用可能な仮想ディスクはありません。						

削除

ターゲットのサーバーIPとポート番号を入力します(デフォルト: 3260)。「Get Remote Disk(リモートディスクの取得)」をクリックします。ターゲットリストからターゲットを選択します。認証が要求されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。オプションの「データダイジェスト」と「ヘッダダイジェスト」を選択することができます。これらのオプションは、iSCSIターゲットへの接続を試みるときに、イニシエータを検証するパラメータです。「NEXT(次へ)」をクリックします。

仮想ディスクの追加

仮想ディスクの追加

ターゲットサーバIP/名前: ポート:

ターゲット名:

イニシエータIQN:iqn.2004-04.com.qnap:TS-659.ANASBD92AA

認証

ユーザー名:

パスワード:

CRC/チェックサム(任意)

データダイジェスト

ヘッダダイジェスト

Step 1 of 3

バーチャルディスクの名前を入力します。ターゲットが複数のLUNでマップされる場合、リストからLUNを選択します。このNASのみがLUNに接続できることを確認します。NASはEXT3、EXT4、FAT32、NTFS、HFS+ファイルシステムのマウントに対応しています。LUNのファイルシステムが「不明」な場合、「Format virtual disk now (仮想ディスクを今フォーマットする) 」とファイルシステムを選択します。EXT3、EXT4、FAT32、NTFS、HFS+としてバーチャルディスクをフォーマットできます。「Format virtual disk now (仮想ディスクを今フォーマットする) 」を選択することで、LUNのデータが削除されます。

仮想ディスクの追加

仮想ディスクの設定

仮想ディスク名: VirtualDisk1

LUN List: LUN:0 ファイルシステム: hfsplus

注: 選択したLUNに接続できるのは、このNASのみであることを確認してください。

仮想ディスクを今フォーマットする

ファイルシステム: EXT3

警告: ディスクデータはすべて削除されます!

Step 2 of 3






戻る 次へ キャンセル

「FINISH (終了) 」をクリックしてウィザードを終了します。



NASのストレージ容量は、バーチャルディスクにより拡張されています。「Access Right Management (アクセス権の管理)」>「Share Folders (共有フォルダ)」をポイントすることで、バーチャルディスクの新しい共有フォルダを作成できます。



アイコン	説明
 (編集)	iSCSIターゲットのバーチャルディスク名または認証情報を編集します。
 (接続)	iSCSIターゲットに接続します。
 (切断)	iSCSIターゲットに接続します。
 (フォーマット)	EXT3、EXT 4、FAT 32、NTFS、HFS+ファイルシステムとしてバーチャルディスクをフォーマットします。
 (削除)	iSCSIターゲットのバーチャルディスクを削除します。

5. アクセス権管理

ドメインのセキュリティ [198](#)

ユーザ [227](#)

ユーザグループ [237](#)

共フォルダ [238](#)

クォータ [270](#)

5.1 ドメインのセキュリティ

NAS は、ローカルでのアクセス権管理、Microsoft アクティブディレクトリ (Windows Server 2003/2008)、および、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol : ライトウェイトディレクトリアクセスプロトコル) ディレクトリによるユーザー認証をサポートします。NAS をアクティブディレクトリまたは LDAP ディレクトリに参加させることにより、アクティブディレクトリまたは LDAP ディレクトリのユーザーは、NAS 上に設定された余分なユーザーアカウントではなく、自身のユーザーアカウントで NAS にアクセスすることができます。

ドメインセキュリティなし

ローカルユーザーのみが NAS にアクセス可能です。

Active Directory 認証 (ドメインメンバー)

NAS をアクティブディレクトリに参加させます。ドメインユーザーは、NAS により認証されます。NAS をアクティブディレクトリドメインに参加させた後は、ローカル NAS ユーザーおよびアクティブディレクトリユーザーは、次のプロトコル/サービス経由で NAS にアクセスします：

- Samba (Microsoft ネットワーク方式)
- AFP
- FTP
- Web ファイルマネージャ
- WebDAV

LDAP 認証

NAS を LDAP ディレクトリに接続します。LDAP ユーザーは、NAS により認証されます。NAS を LDAP ディレクトリに接続した後は、ローカル NAS ユーザー、または、LDAP ユーザーは Samba (Microsoft ネットワーク方式) 経由で認証され、アクセスします。ローカル NAS ユーザーおよび LDAP ユーザーは、次のプロトコル/サービス経由で NAS にアクセスします：

- AFP
- FTP
- Web ファイルマネージャ

ドメインのセキュリティ

ファイルサービス用のドメインセキュリティ

- ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)
- Active Directory認証(ドメインメンバー)
- LDAP認証

適用

5.1.1 NASを Windows Server 2003/2008 Active Directoryに結合します

Active Directory® は、Windows環境で使用されるMicrosoftのディレクトリです。このディレクトリを使用してネットワーク上で情報やリソースを中央集散的に保存、共、及び管理できます。これは、ユーザー、ユーザーグループ、コンピュータの情報を中央集散的に保持しセキュアなアクセス管理が可能な階層的データセンターです。

NASは、Active Directory (AD) をサポートします。NASとActive Directoryを連結させることによって、ADサーバーのユーザーアカウントは全て、自動的にNASへインポートされます。ADユーザーは、ユーザー名およびパスワードを使用してNASにログインできます。

アクティブディレクトリをWindows Server 2008 R2上で使用している場合、NASをアクティブディレクトリに連携させるには、NASファームウェアをV3.2.0またはそれ以降にアップデートさせる必要があります。

QNAP NASをWindows Active Directoryに連結するには、以下の手順に従ってください。

1. NASに管理者としてログインします。"System Administration" (システム管理) > "General Settings" (一般設定) > "Date and Time" (日付) に移動します。NASの日付を設定します。この日付は、ADサーバーの日付と一致させる必要があります。最大許容誤差時間は5分です。

2. "System Administration" (システム管理) > "Network" (ネットワーク) > "TCP/IP" に移動します。プライマリDNSサーバーのIPアドレスをActive DirectoryサーバーのIPアドレスとして入力します。外部DNSサーバーを使用する場合、ドメインに連携することはできません。

ホーム>> システム管理>> ネットワーク設定 ようこそ admin | ログアウト 日本語

Port Trunking

Port Trunking(ポート・トラッキング)は、二つのイーサネットインターフェイスを一つに組み合わせ、単一のインターフェイスの制限を越えて帯域幅を増加することができます。これによりロードバランス及びフォールトトレランスを提供します。また、両方のインターフェイスがPort Trunkingをサポートする同一のスイッチに接続されている場合は、冗長性を実現、さらに有用性を高めます。

ネットワーク ポート・トラッキングを有効化します。

以下からポート・トラッキング モードを選択します。互換性のないモード設定は、ネットワークインターフェイスの停止、または全体的なパフォーマンスに影響する場合がありますのでご注意ください。詳しい情報は、 [こちら](#) をクリックしてください。

Balance-rr (Round-Robin) ▼

DNSサーバ:

DNSサーバアドレスを自動的に取得

次のDNSサーバアドレスを使用します:

プライマリDNSサーバ: . . .

セカンダリDNSサーバ: . . .

3. 「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Domain Security (ドメインのセキュリティ)」と進みます。「Active Directory authentication (domain member) (Active Directory認証(ドメインメンバー))」を有効化し、アクティブディレクトリドメインの情報を入力します。

ドメインのセキュリティ

ファイルサービス用のドメインセキュリティ

ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)

Active Directory認証(ドメインメンバー)

LDAP認証

クイックコンフィギュレーションウィザード クイック設定ウィザードにより、NASをアクティブなディレクトリドメインに結合できます。

サーバの説明(任意):	myserver
ドメインNetBIOS名:	test
ADサーバ名:	AD
ドメイン:	ADtest.local
組織単位(任意):	
ドメイン管理者ユーザー名:	administrator
ドメイン管理者パスワード:	●●●●●●

適用

注:

- 正式に認可されたADドメイン名 (例: qnap-test.com) を入力します。
- ここに入力したADユーザーはADドメインへの管理者アクセス権を所持している必要があります。
- WINS サポート:WINSサーバをネットワークでご使用の際に、ワークステーションをWINSサーバを名前解決に使用するよう構成してある場合、WINSサーバIPをNAS上にセットアップする必要があります。(特定のWINSサーバを使用)。

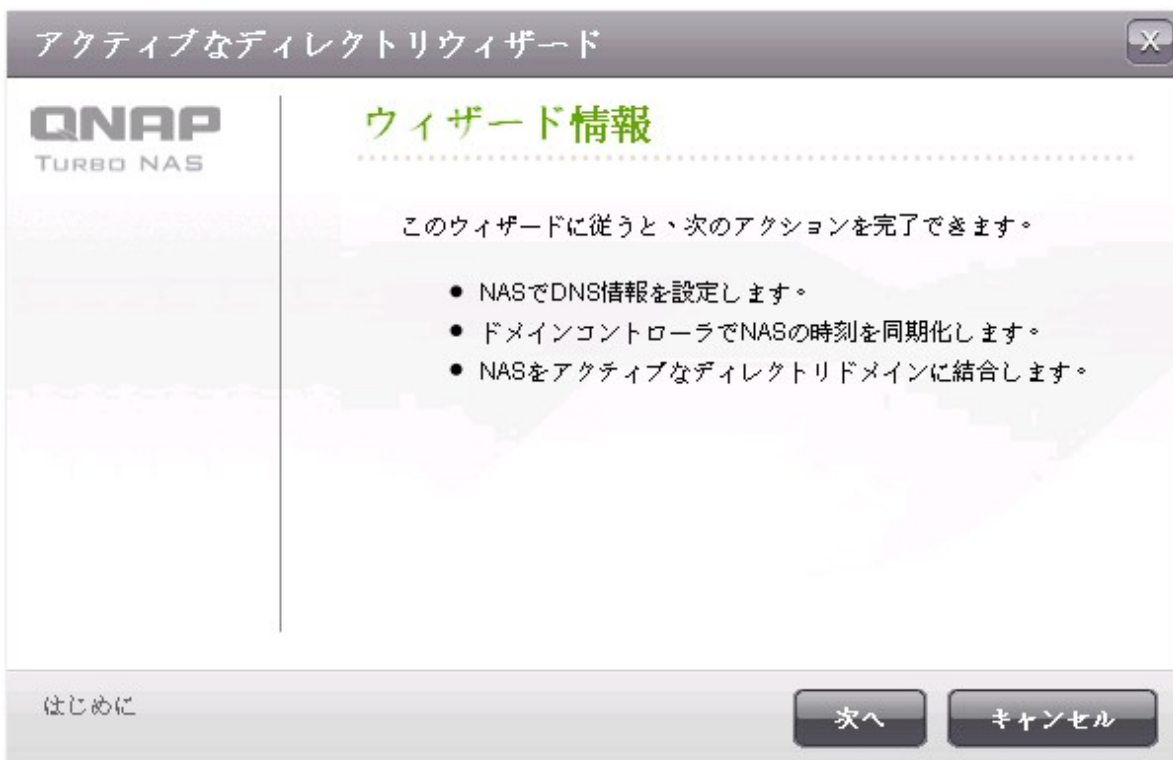
クイック設定ウィザードによりAD(アクティブディレクトリ)にQNAP NASを結合する

クイック設定ウィザードで、NAS をアクティブディレクトリドメインに参加させるには、次のステップを行います。

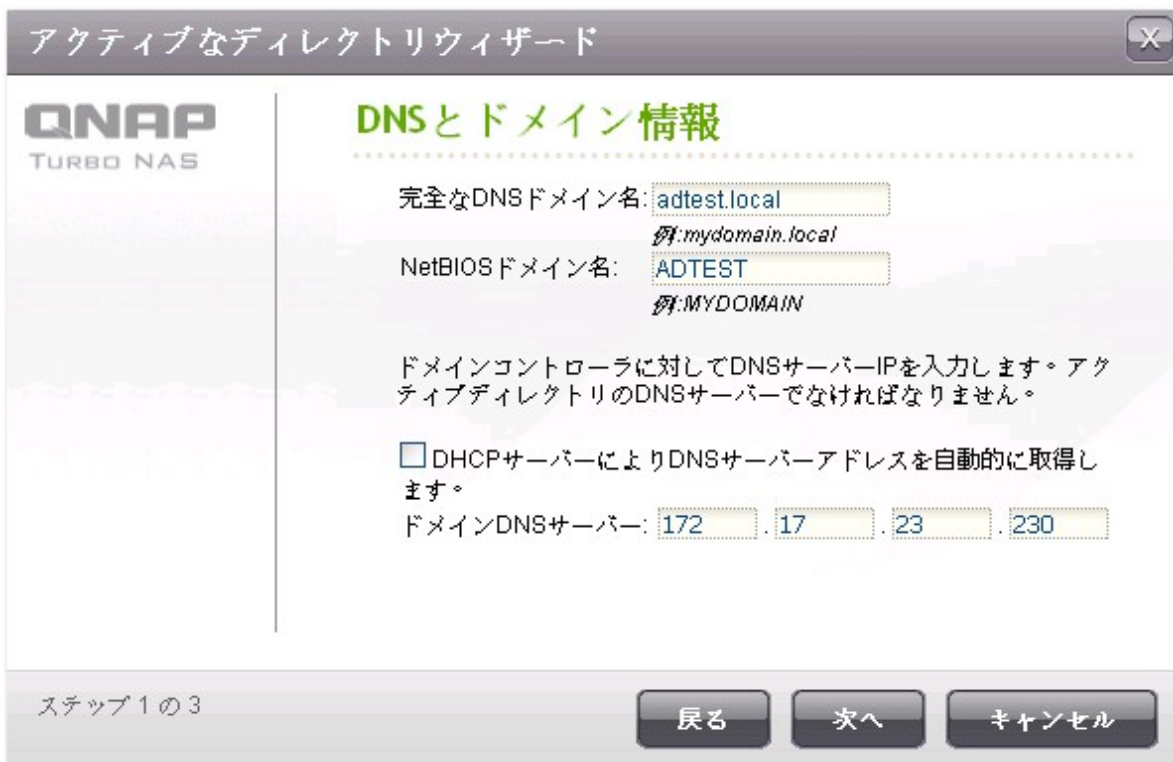
1. 「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Domain Security (ドメインのセキュリティ)」と進みます。「Active Directory authentication (domain member) (Active Directory 認証(ドメインメンバー))」を選択し、「Quick Configuration Wizard (クイックコンフィギュレーションウィザード)」をクリックします。

The screenshot shows the 'Domain Security' configuration page in the QNAP web interface. The breadcrumb trail is 'ホーム >> アクセス権管理 >> ドメインのセキュリティ'. The page title is 'ドメインのセキュリティ'. Under the heading 'ファイルサービス用のドメインセキュリティ', there are three radio button options: 'ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)', 'Active Directory 認証(ドメインメンバー)', and 'LDAP 認証'. The 'Active Directory 認証(ドメインメンバー)' option is selected and highlighted with a red box. Below this, there is a link for 'クイックコンフィギュレーションウィザード' (Quick Configuration Wizard), which is also highlighted with a red box. A note next to it states: 'クイック設定ウィザードにより、NASをアクティブなディレクトリドメインに結合できます。' Below the note are several input fields for configuration: 'サーバの説明(任意):', 'ドメインNetBIOS名:', 'ADサーバ名:', 'ドメイン:', '組織単位(任意):', 'ドメイン管理者ユーザ名:', and 'ドメイン管理者パスワード:'. A '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the form area.

2. ウィザードの紹介を読みます。「Next (次へ)」をクリックします。



3. DNS(ドメイン名サービス)のドメイン名を入力します。ドメイン名を入力すると、NetBIOS名が自動的に生成されます。ドメインコントローラのDNSサーバーIPを指定します。IPは、アクティブディレクトリのDNSサーバーと同じにする必要があります。「NEXT(次へ)」をクリックします。



4. ドロップダウンメニューからドメインコントローラを選択します。ドメインコントローラは、NASとドメインサーバーおよびユーザー認証間の時刻同期に関与しています。ドメインの管理者名とパスワードを入力します。「JOIN(結合)」をクリックします。

アクティブなディレクトリウィザード

QNAP
TURBO NAS

認証情報

選択したドメインコントローラは時刻同期化とユーザー認証に使用されます。:

ドメインコントローラの選択:
win-tlubusrdf9e.adtest.local

ドメイン管理者のユーザー名: admin

ドメイン管理者のパスワード: ●●●●

ステップ 2 の 3

戻る 結合 キャンセル

5. NAS がドメインへの参加に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。前のステップに戻り、設定を変更してください。

アクティブなディレクトリウィザード

QNAP
TURBO NAS

概要

ドメイン情報
DNSサーバ: 172.17.23.230
DNS名: adtest.local
NetBIOS名: ADTEST
ドメインコントローラ: WIN-TLUBUSRDF9E.adtest.local

ドメインを結合できませんでした。
Microsoftネットワークの設定で問題が発生しました。認証に失敗しました。ドメイン管理者ユーザー名およびドメイン管理者パスワードを確認してください。

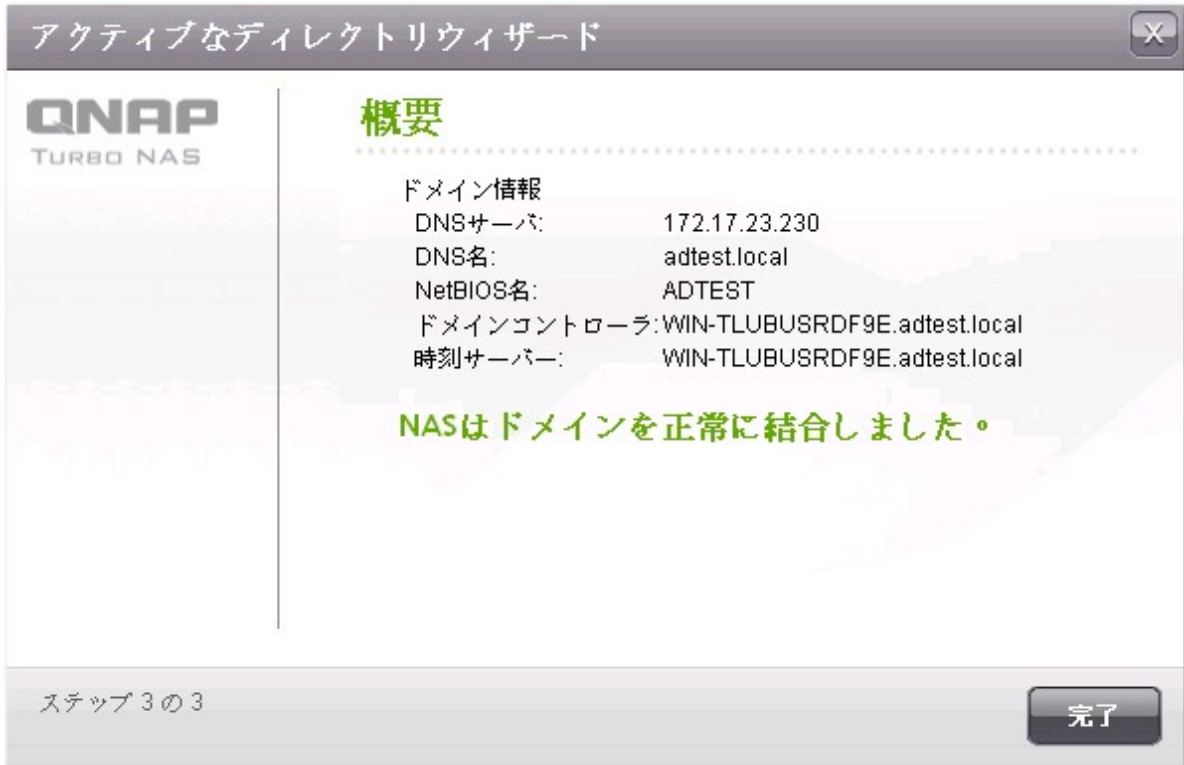
===== DEBUG START =====

[クリップボードへのコピー](#)

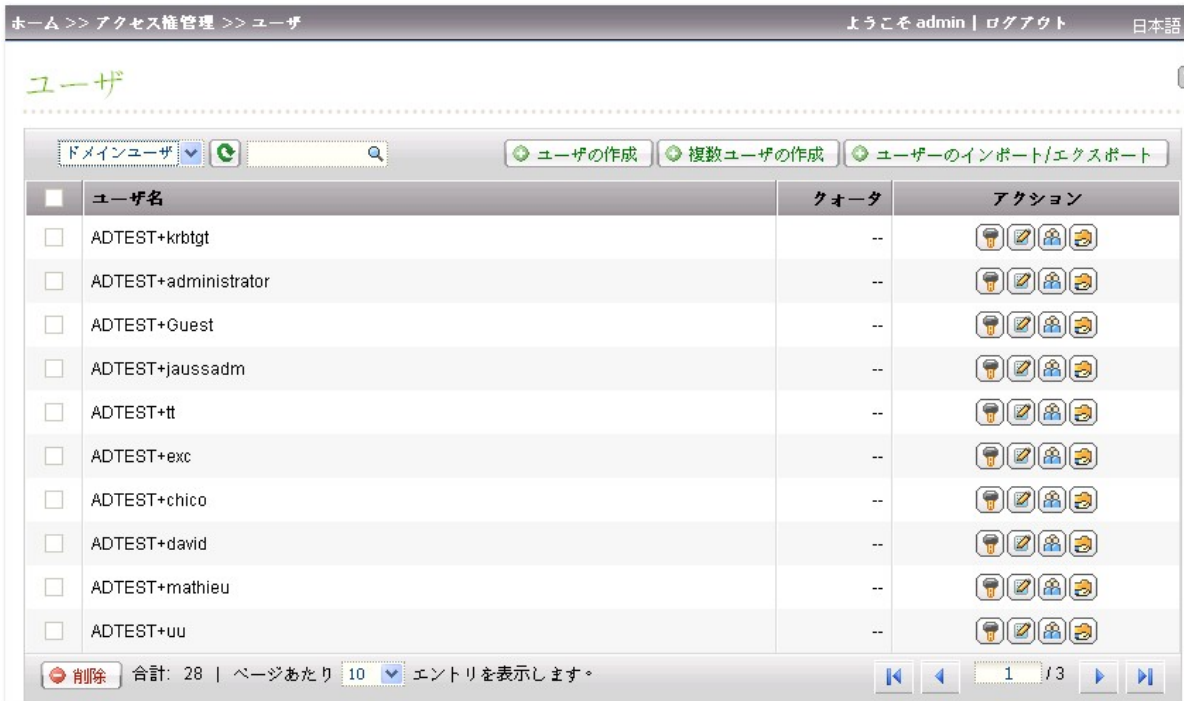
ステップ 3 の 3

戻る キャンセル

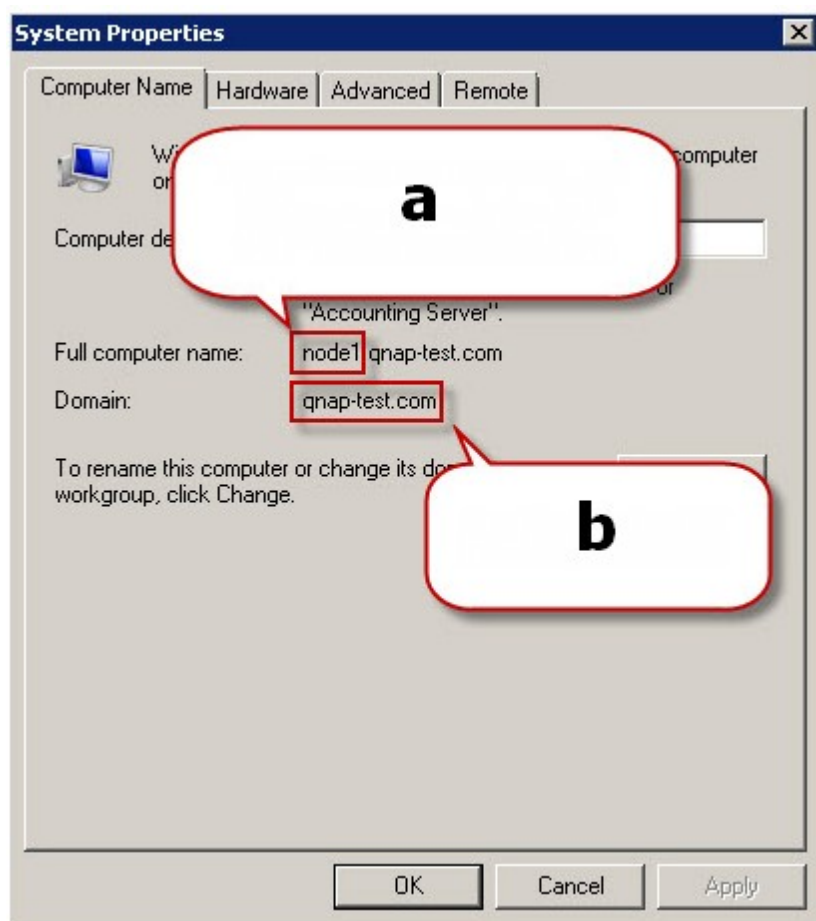
6. ドメインサーバーへのログインに成功すると、NAS はドメインに参加します。「Finish (完了)」をクリックして、ウィザードを終了します。



7. 「Access Right Management (アクセス権管理)」> 「Users (ユーザー)」または「User Groups (ユーザーグループ)」にアクセスして、ドメインユーザーまたはユーザーグループをNASにロードできます。



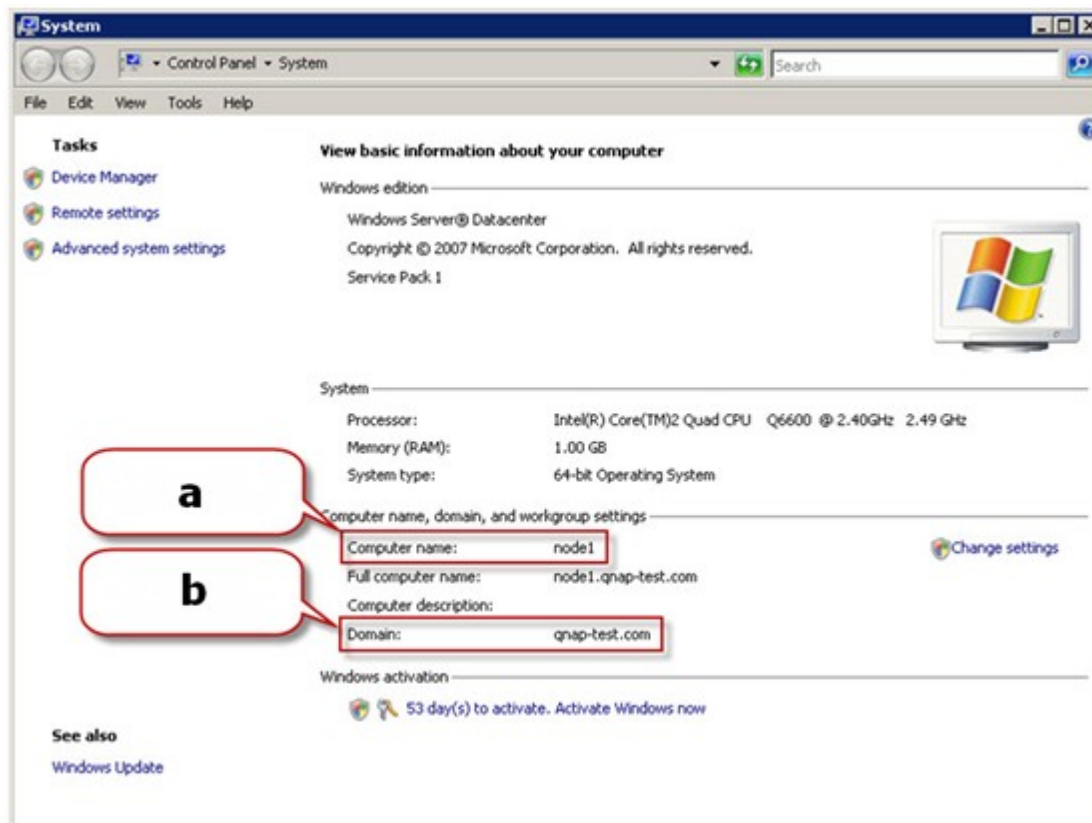
ADサーバ名およびADドメイン名を"System Properties" (システムプロパティ)内で確認できます。



- a. Windows 2003 サーバでは、ADサーバ名は "node 1", であり、"node1.qnap-test.com" ではありません。
- b. ドメイン名は同じです。

Windows Server 2008

ADサーバ名およびADドメイン名を "Control Panel" (コントロールパネル) > "System" (システム) で確認できます。



- a. これはユーザーの "AD server name" (ADサーバ名) です。
- b. これはユーザーの "Domain name" (ドメイン名) です。

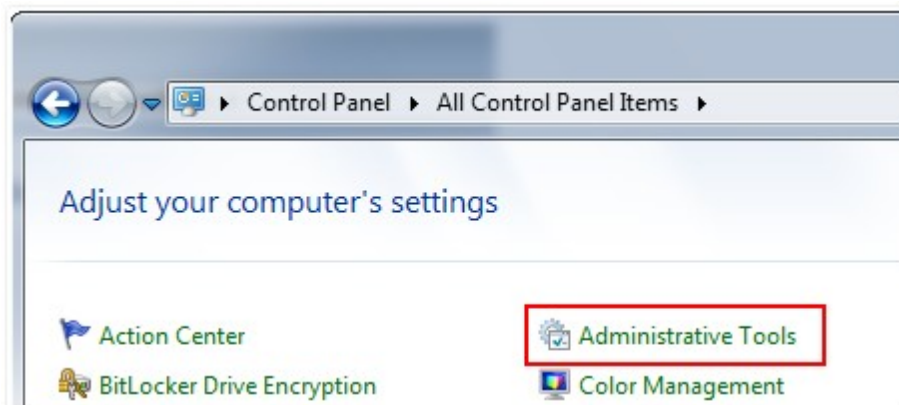
注:

- NASをActive Directoryに連結させた後、ADサーバーへのアクセス権を持つローカルのNASユーザーは、"NASname\username" (NAS名\ユーザー名) を使用してログインします。ADユーザーは、ご自分のユーザー名を使用してADサーバーにログインする必要があります。
- ローカルのNASユーザーおよびADユーザー (ドメイン名 + ユーザー名のユーザー名を使用します) は、AFP、FTP、Web File Manager、およびWebDAVを介して、NAS (ファームウェアバージョン 3.2.0以降) にアクセスできます。ただし、NASのファームウェアバージョンが、3.2.0よりも前のバージョンである場合は、ローカルのNASユーザーのみがWeb File ManagerおよびWebDAVを介してNASにアクセスできます。
- TS-109/209/409/509シリーズTurbo NASについては、ADドメインがWindows 2008 Serverに基づく場合、NASのファームウェアは、バージョン2.1.2以降にアップデートする必要があります。

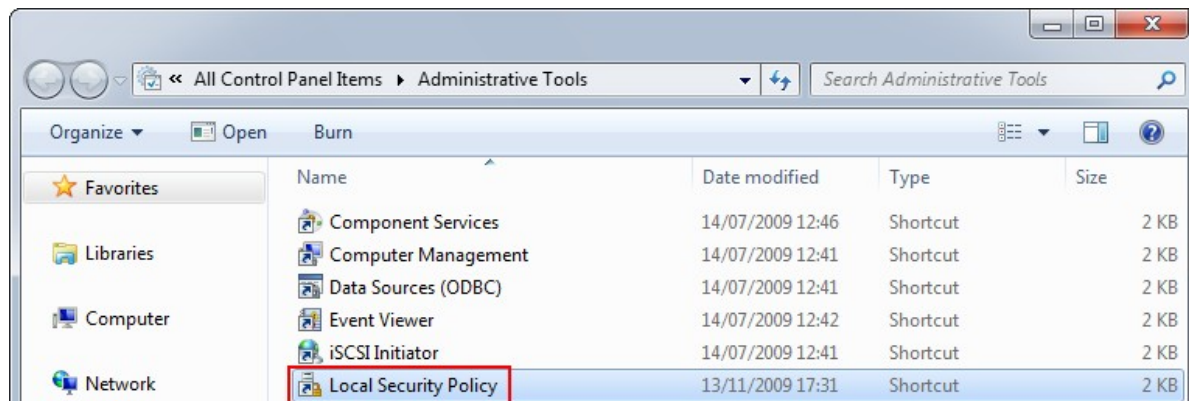
Windows 7

Active DirectoryのメンバーではないWindows 7 PCをご使用で、あなたのNASがADドメインメンバーであり、ファームウェアバージョンがv3.2.0より前のバージョンである場合は、PC設定を以下のように更して、ご使用のPCをNASにアクセスできるようにします。

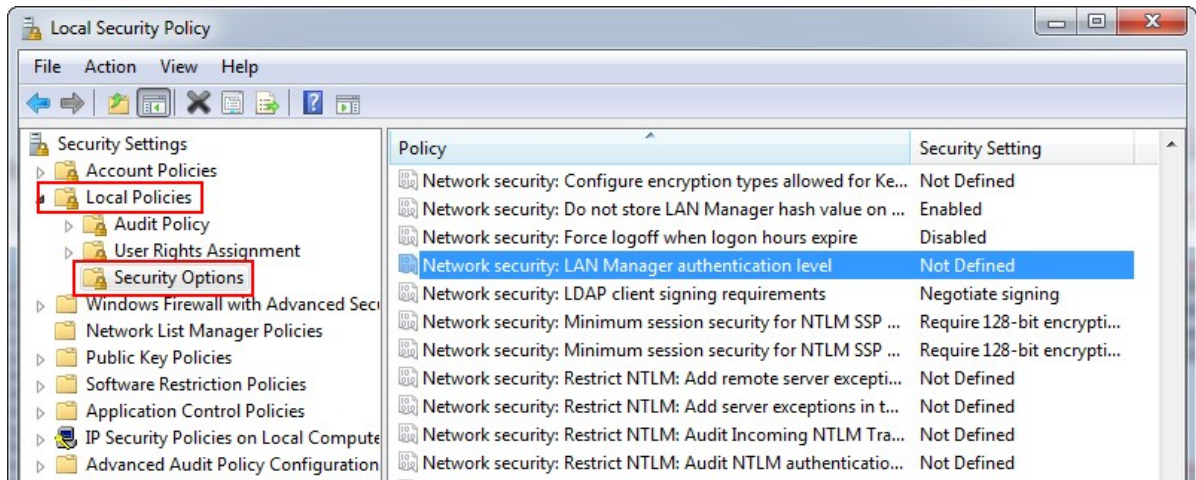
- a. "Control Panel" (コントロールパネル) に移動し、"Administrative Tools" (管理ツール) をクリックします。



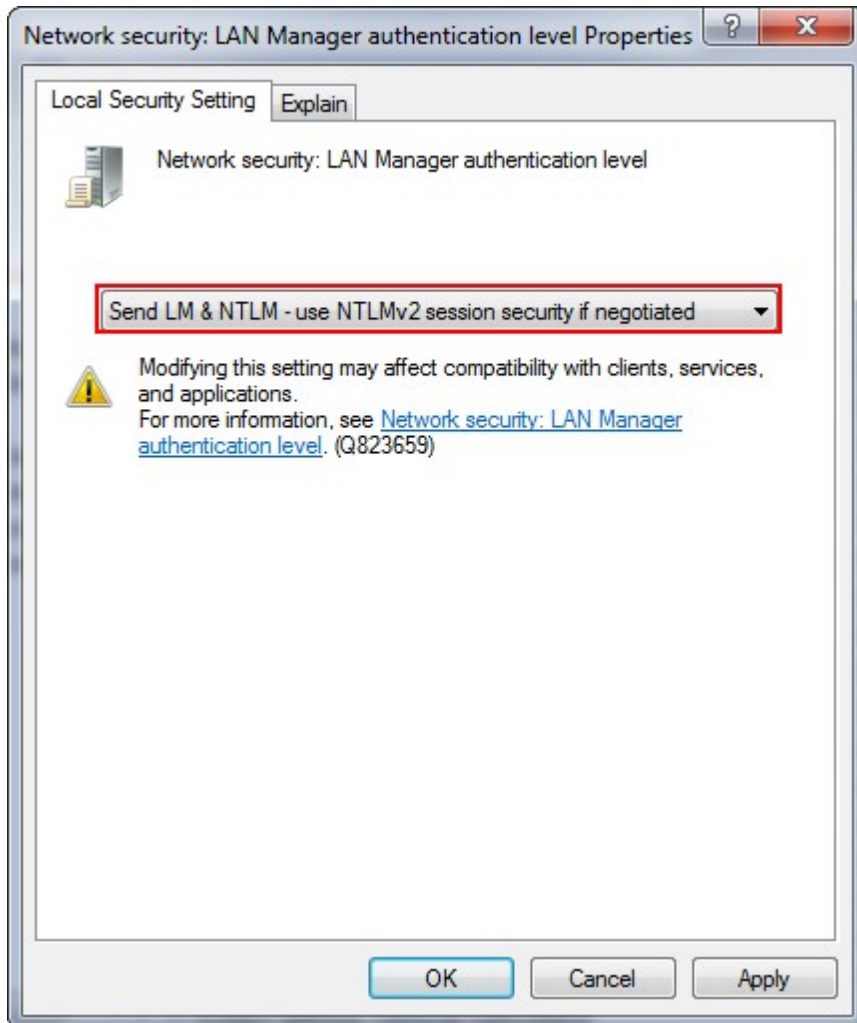
- b. "Local Security Policy" (ローカルセキュリティポリシー) をクリックします。



- c. "Local Policies" (ローカルセキュリティポリシー) > "Security Options" (セキュリティオプション) に移動します。
次に、"Network security: LAN Manager authentication level" (ネットワークセキュリティ: LAN Manager 認証レベル) を選択します。



- d. "Local Security Setting" (ローカル セキュリティの設定) タブを選択し、リストから "Send LM & NTLM – use NTLMv2 session security if negotiated" (LM と NTLM を送信する - ネゴシエーションの場合、NTLMv2 セッションセキュリティを使う) を選択します。"OK"-をクリックします。



設定の確認

NASが正しくアクティブディレクトリに連携されているかどうかを確認するには、“Access Right Management”（アクセス権管理）＞“Users”（ユーザー）に移動します。ユーザーとユーザーグループの一覧が、“Domain Users”（ドメインユーザー）および“Domain Groups”（ドメイングループ）のリストの中に表示されます。

ドメインに新しいユーザーまたはユーザーグループを作成した場合、“Access Right Management”（アクセス権管理）＞“Users”（ユーザー）の“Domain Users”（ドメインユーザー）ドロップダウンメニュー、または“Access Right Management”（アクセス権管理）＞“User Groups”（ユーザーグループ）の“Domain Groups”（ドメイングループ）ドロップダウンメニューの隣に位置する再ロードボタンをクリックすることができます。これによりアクティブディレクトリからNASにユーザーおよびユーザーグループリストを再ロードできます。ユーザー権限設定はドメインコントローラーを使用してリアルタイムで同期化されます。



5.1.2 NAS の LDAP ディレクトリへの接続

LDAPとは、ライトウェイトディレクトリアクセスプロトコルを表しています。中央サーバー内に、すべてのユーザーおよびグループの情報を格納できるディレクトリです。LDAPを使って、管理者は、LDAP ディレクトリ内のユーザーを管理することができ、ユーザーは、複数の NAS サーバーに同じユーザー名とパスワードで接続することができます。

この機能は、Linux サーバー、LDAP サーバー、および Samba にいづらか知識のある管理者およびユーザーを対象にしています。QNAP NAS の LDAP 機能を利用するには、稼働している LDAP サーバーが必要です。

必要な情報/設定:

- LDAP サーバーの接続情報および認証情報
- ユーザーおよびグループが格納される LDAP の構造
- LDAP サーバーのセキュリティ設定

次のステップを行い、QNAP NAS を LDAP ディレクトリに接続します。

1. NAS のウェブインターフェースに管理者としてログインします。
2. 「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Domain Security (ドメインのセキュリティ)」と進みます。初期設定では、「No domain security (ドメイン無しのセキュリティ)」オプションが有効になっています。これは、ローカル NAS ユーザーのみが NAS にアクセスできることを意味します。
3. 「LDAP authentication (LDAP 認証)」を選択し、設定を行います。

ホーム >> アクセス権管理 >> ドメインのセキュリティ ようこそ admin | ログアウト 日本語

ドメインのセキュリティ

ファイルサービス用のドメインセキュリティ

ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)

Active Directory認証(ドメインメンバー)

LDAP認証

ステータス	オンライン
LDAPサーバーホスト	10.8.13.222
LDAPセキュリティ	ldap://
ベースDN	dc=jauss,dc=local
ルートDN	cn=admin,dc=jauss,dc=local
パスワード	●●●●●●
ユーザーベースDN	ou=People,dc=jauss,dc=local
グループベースDN	ou=group,dc=jauss,dc=local

Microsoftネットワークに対してLDAP認証を有効にできます (Samba)

現在のSamba ID : S-1-5-21-245671276-3193767782-850457661

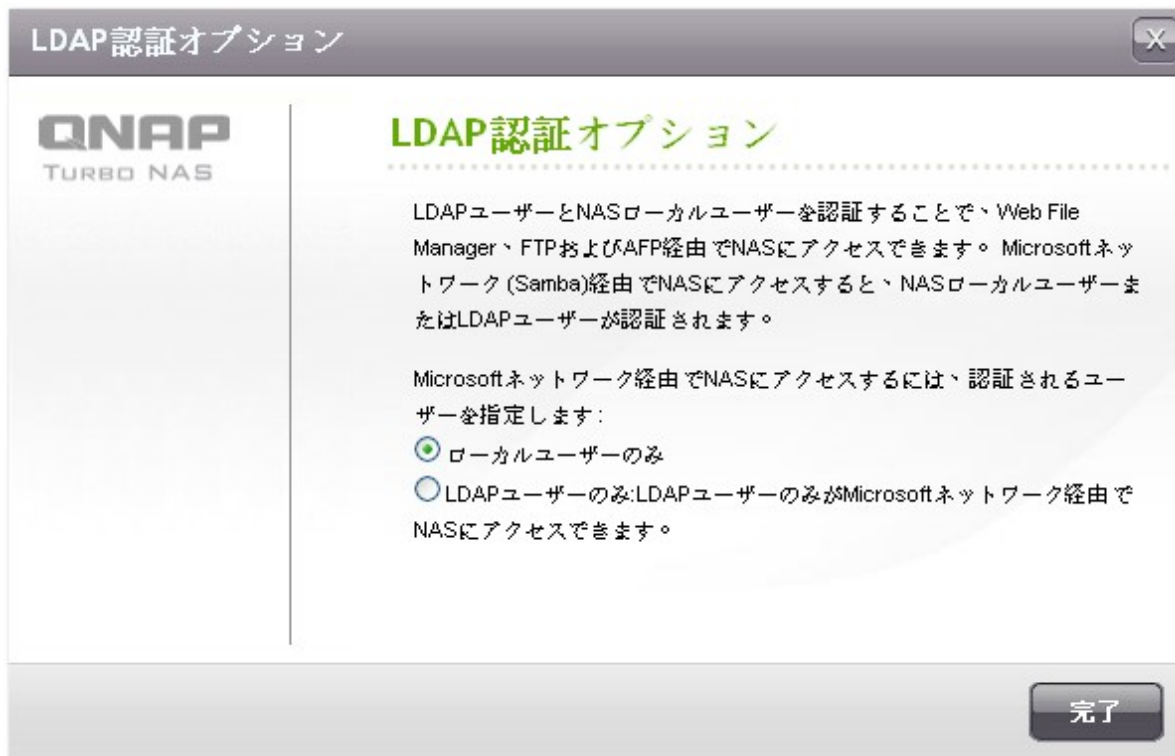
適用

- LDAP サーバーホスト: LDAP サーバーのホスト名または IP アドレスです。
 - LDAP セキュリティ: NAS の LDAP サーバーとの通信方法を指定します:
 - ✓ ldap:// = 標準 LDAP 接続を使用します (デフォルトポート: 389)。
 - ✓ ldap:// (ldap + SSL) = SSL で暗号化された接続を使用します (デフォルトポート: 686)。通常、旧バージョンの LDAP サーバーで使用します。
 - ✓ ldap:// (ldap + TLS) = TLS で暗号化された接続を使用します (デフォルトポート: 389)。通常、新バージョンの LDAP サーバーで使用します。
 - BASE DN: LDAP ドメインです。例: dc=mydomain,dc=local
 - Root DN: LDAP ルートユーザーです。例: cn=admin, dc=mydomain,dc=local
 - パスワード: ルートユーザーのパスワードです。
 - Users Base DN: ユーザーが格納されている OU (組織単位)です。例: ou=people,dc=mydomain,dc=local
 - Groups Base DN: グループが格納されている OU (組織単位)です。例: ou=group,dc=mydomain,dc=local
 - パスワード暗号化タイプ: LDAP サーバーがパスワードを格納する際の暗号化タイプを選択します。LDAP サーバーの設定と同一である必要があります。
4. 「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。設定に成功すると、NAS は、LDAP サーバーに接続できるようになります。

5. LDAP 認証オプションを設定します。

- Microsoft ネットワーク方式が有効になっている場合 (ネットワークサービス > Microsoft ネットワーク方式)、LDAP 設定を有効にする際、Microsoft ネットワーク方式 (Samba) を経由して NAS にアクセスできるユーザーを指定します。
 - ✓ ローカルユーザーのみ: ローカル NAS ユーザーのみが、Microsoft ネットワーク方式を経由して NAS にアクセスできます。
 - ✓ LDAP ユーザーのみ: LDAP ユーザーのみが、Microsoft ネットワーク方式を経由して NAS にアクセスできます。

注: LDAP ユーザーおよびローカル NAS ユーザーは、両者ともに、Web ファイルマネージャー、FTP、および AFP を経由して NAS にアクセスすることが可能です。



- Microsoft ネットワーク方式が有効な場合、NAS を LDAP サーバーに接続後、Microsoft ネットワーク方式用の認証タイプを選択します。
 - ✓ スタンドアロンサーバー：ローカル NAS ユーザーのみが、Microsoft ネットワーク方式を経由して NAS にアクセスできます。
 - ✓ LDAP ドメイン認証：LDAP ユーザーのみが、Microsoft ネットワーク方式を経由して NAS にアクセスできます。

ホーム >> ネットワーク サービス >> Microsoft ネットワーク ようこそ admin | ログアウト 日本語

Microsoft ネットワーク

MICROSOFT ネットワーク [詳細オプション](#)

Microsoft ネットワーク

Microsoft ネットワーク向けのファイルサービスを有効にする

サーバーの説明(任意):

ワークグループ:

スタンドアロンサーバ


AD ドメインメンバ(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。

LDAP ドメイン認証(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。

現在のSamba ID S-1-5-21-325120726-1639715159-2191483818

[適用](#)

6. NAS が LDAP ユーザーに接続されると、管理者は次を実行できます：

- 「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Users (ユーザ)」と進み、ドロップダウンメニューから「Domain Users (ドメインユーザ)」を選択します。LDAP ユーザーの一覧が表示されます。
- 「Access Right Management (アクセス権管理)」>「User Groups (ユーザグループ)」と進み、ドロップダウンメニューから「Domain Groups (ドメイングループ)」を選択します。LDAP グループの一覧が表示されます。
- 「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Shared Folders (共有フォルダ)」>「Folder Permissions (フォルダ許可) 」で、LDAP ドメインのユーザーまたはグループのフォルダ権限を指定します。

ホーム >> アクセス権管理 >> 共有フォルダ ようこそ admin | ログアウト 日本語

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

共有ファイル

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	4 KB	0	0	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Public	25.04 GB	47	708	いいえ	

ユーザーとグループの選択

ドメインユーザ 合計: 4 1 / 1

名前	読み取り専用	読み取り/書き込み	アクセス拒否
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Microsoft ネットワークの LDAP 認証に関する技術的要件 :

LDAP ユーザーを Microsoft ネットワーク(Samba)で認証するには次の項目が必要です :

1. LDAP サーバー内で LDAP と Samba 間のパスワードを同期させるサードパーティのソフトウェア。
2. Samba スキーマの LDAP ディレクトリへのインポート。

1) サードパーティソフトウェア :

Samba パスワードを含む LDAP ユーザーを管理できるソフトウェアはいくつかあります。例 :

- LDAP Account Manager (LAM) ウェブベースのインターフェースで、以下で取得できます : <http://www.ldap-account-manager.org/>
- smbldap-tools (コマンドラインツール)
- webmin-ldap-useradmin - Webmin 用 LDAP ユーザー管理モジュール。

2) Samba スキーマ :

Samba スキーマを LDAP サーバーにインポートする方法は、LDAP サーバーの文書または FAQ を参照してください。
samba.schema ファイルが必要で、Samba ソース配布物の examples/LDAP ディレクトリ内にあります。

LDAP サーバーが稼働している Linux サーバー内の open-ldap の例(Linux のディストリビューションによって異なります) :

Samba スキーマをコピーします :

```
zcat /usr/share/doc/samba-doc/examples/LDAP/samba.schema.gz > /etc/ldap/schema/samba.schema
```

/etc/ldap/slapd.conf (openldap サーバー設定ファイル)を編集し、ファイル内に次の行があることを確認します :

```
include /etc/ldap/schema/samba.schema  
  
include /etc/ldap/schema/cosine.schema  
  
include /etc/ldap/schema/inetorgperson.schema  
  
include /etc/ldap/schema/nis.schema
```

設定例：

以下は、設定の例です。これらは必須ではありませんし、LDAP サーバの設定と一致するように適応させる必要があります：

1. Linux OpenLDAP Server(Linux OpenLDAP サーバー)

Base DN: dc=qnap,dc=com

Root DN: cn=admin,dc=qnap,dc=com

Users Base DN: ou=people,dc=qnap,dc=com

Groups Base DN: ou=group,dc=qnap,dc=com

2. Mac Open Directory Server(Mac オープンディレクトリサーバー)

Base DN: dc=macserver,dc=qnap,dc=com

Root DN: uid=root,cn=users,dc=macserver,dc=qnap,dc=com

Users Base DN: cn=users,dc=macserver,dc=qnap,dc=com

Groups Base DN: cn=groups,dc=macserver,dc=qnap,dc=com

5.2 ユーザ

デフォルトでは、次のユーザがあらかじめ登録されています。

- admin

フォルトのユーザadmin は、グループAdministrators のメンバで、システムを管理できます。ユーザadmin は削除できません。

- guest

登録されていないユーザ名が使用された場合、本製品はそれをゲストと認め、限定的なアクセスを許可します。ユーザGuest はどのグループにも所属しません。ユーザguest は削除できません。またパスワードも更できません。「guest」のログインパスワードはguestです。

- Anonymous

FTP サービスによってサーバに接続する場合、Guest としてログインすることができます。ユーザAnonymous は削除できません。またパスワードも更できません。

NASで作成できるユーザー数は、NAS機種によって異なります。NASモデルが一覧にない場合、<http://www.qnap.com>にアクセスして詳細をご確認ください。

最大ユーザー数	NASモデル
1,024	TS-110、TS-210
2,048	TS-112, TS-119, TS-119P+, TS-212, TS-219P+, TS-410, TS-239 Pro II+, TS-259 Pro+
4,096	TS-412, TS-419P+, TS-410U, TS-419U, TS-412U, TS-419U+, SS-439 Pro, SS-839 Pro, TS-439 Pro II+, TS-459U-RP/SP, TS-459U-RP+/SP+, TS-459 Pro+, TS-459 Pro II, TS-559 Pro+, TS-559 Pro II, TS-659 Pro+, TS-659 Pro II, TS-859 Pro+, TS-859U-RP, TS-859U-RP+, TS-809 Pro, TS-809U-RP, TS-879 Pro, TS-1079 Pro, TS-879U-RP, TS-EC879U-RP, TS-1279U-RP, TS-EC1279U-RP

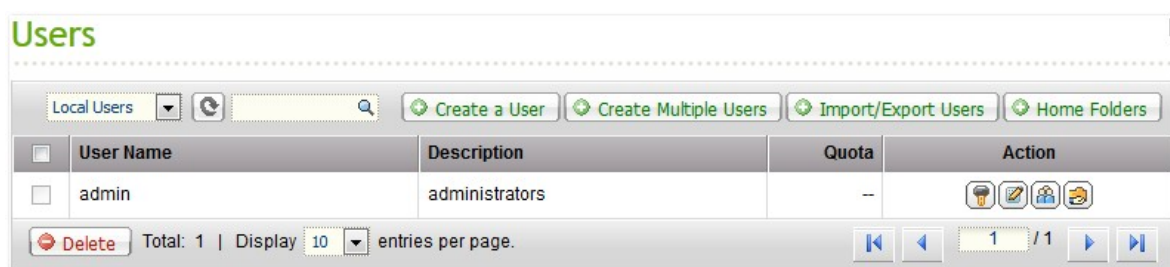
ユーザ名

ユーザ名は、大文字小文字を区別しません。2 バイト文字（例えば、日本語、国語、韓国語等は使用できません。半角32 文字以内の文字です。次の特殊文字は使用できません。

" / \ [] : ; | = , + * ? < > ` '

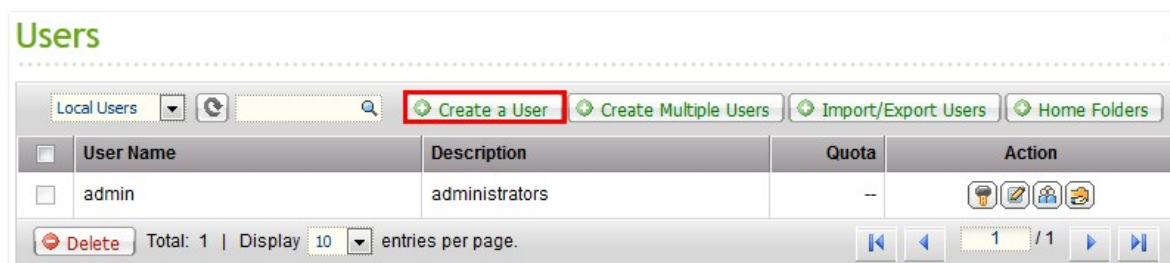
パスワード

大文字小文字を区別します16 文字以内の文字です。セキュリティのため、少なくともパスワード6 文字以上を設定してください。

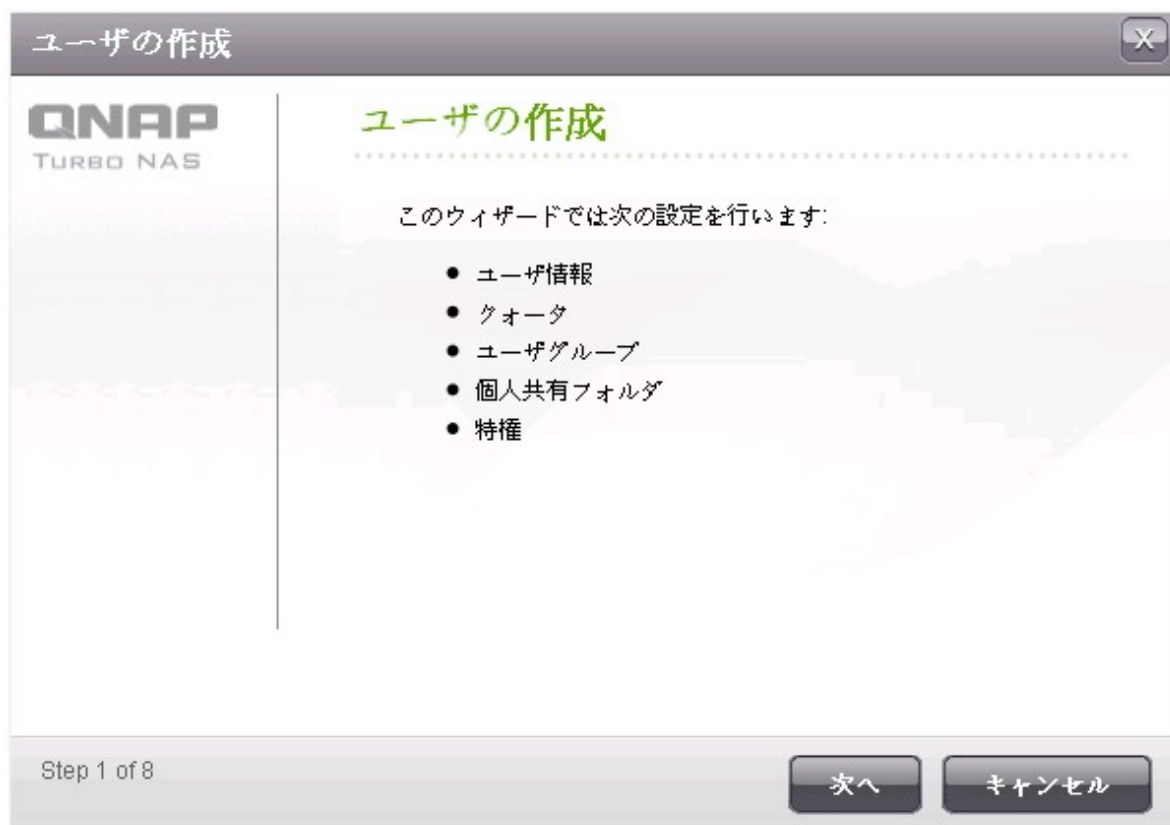


ユーザの作成

NASでユーザーを作成するには、「Create a User (ユーザの作成)」をクリックします。



ウィザードの指示に従い、詳細を完成します。

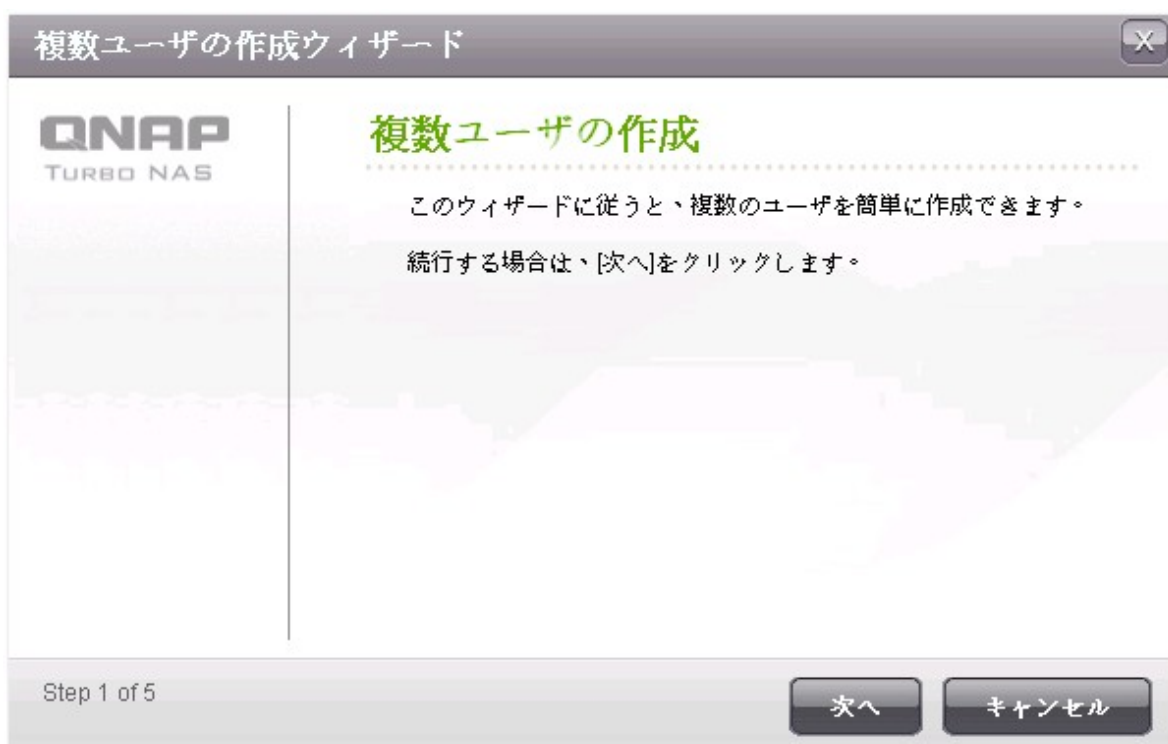


複数のユーザーの作成

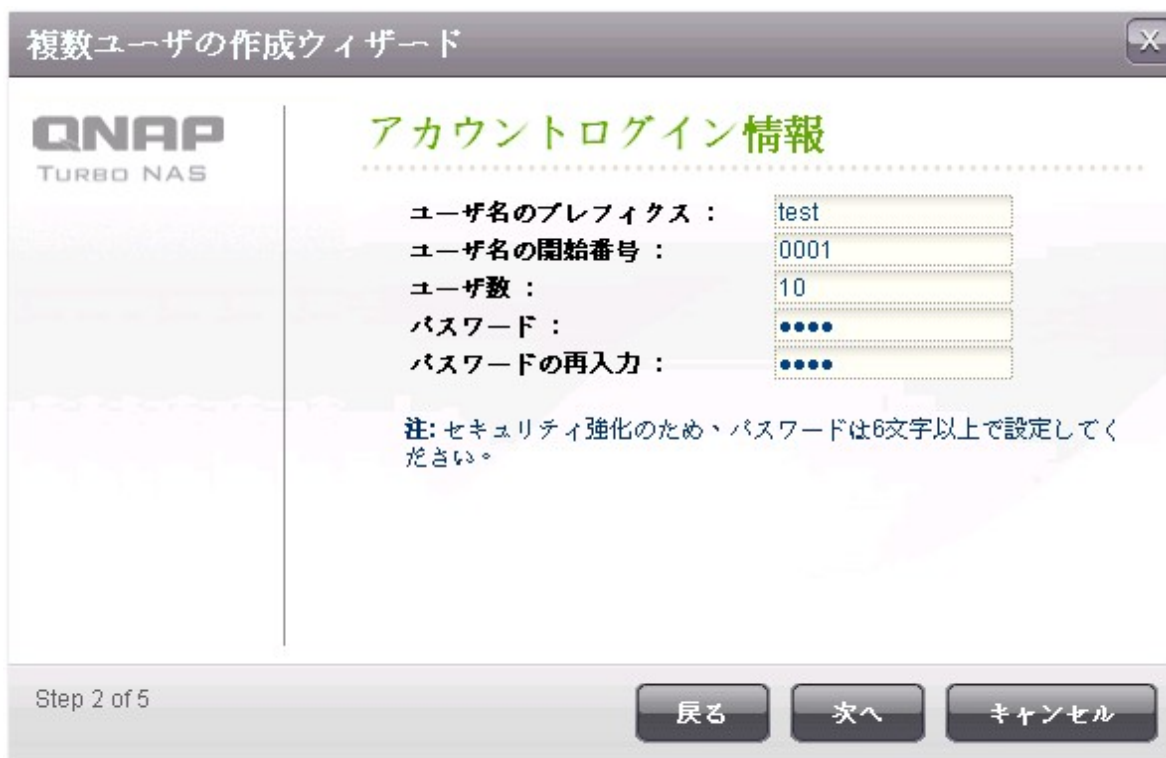
NASで複数のユーザーを作成するには、「Create Multiple Users (複数ユーザの作成)」をクリックします。



「Next (次へ)」をクリックします。



名前の接頭辞、たとえばtestを入力します。ユーザー名の開始番号、たとえば0001、および作成するユーザーの番号、たとえば10を入力します。NASはtest0001、test0002、test0003...test0010という名前のユーザーを作成します。ここに入力するパスワードは、すべての新しいユーザーに対して同じです。



複数ユーザの作成ウィザード

QNAP
TURBO NAS

アカウントログイン情報

ユーザ名のプレフィクス : test

ユーザ名の開始番号 : 0001

ユーザ数 : 10

パスワード : ●●●●

パスワードの再入力 : ●●●●

注:セキュリティ強化のため、パスワードは6文字以上で設定してください。

Step 2 of 5

戻る 次へ キャンセル

各ユーザーのプライベートネットワーク共有を作成するかしないかを選択します。ネットワーク共有はユーザー名の後で名前が付けられます。同じ名前のネットワーク共有がすでに存在する場合、NASはフォルダを作成しません。

QNAP
TURBO NAS

プライベートネットワーク共有の作成

各ユーザのプライベートネットワーク共有を作成しますか？

- はい
 いいえ

注: [いいえ]を選択すると、ウィザードが完了し、後で権限管理を変更できます。

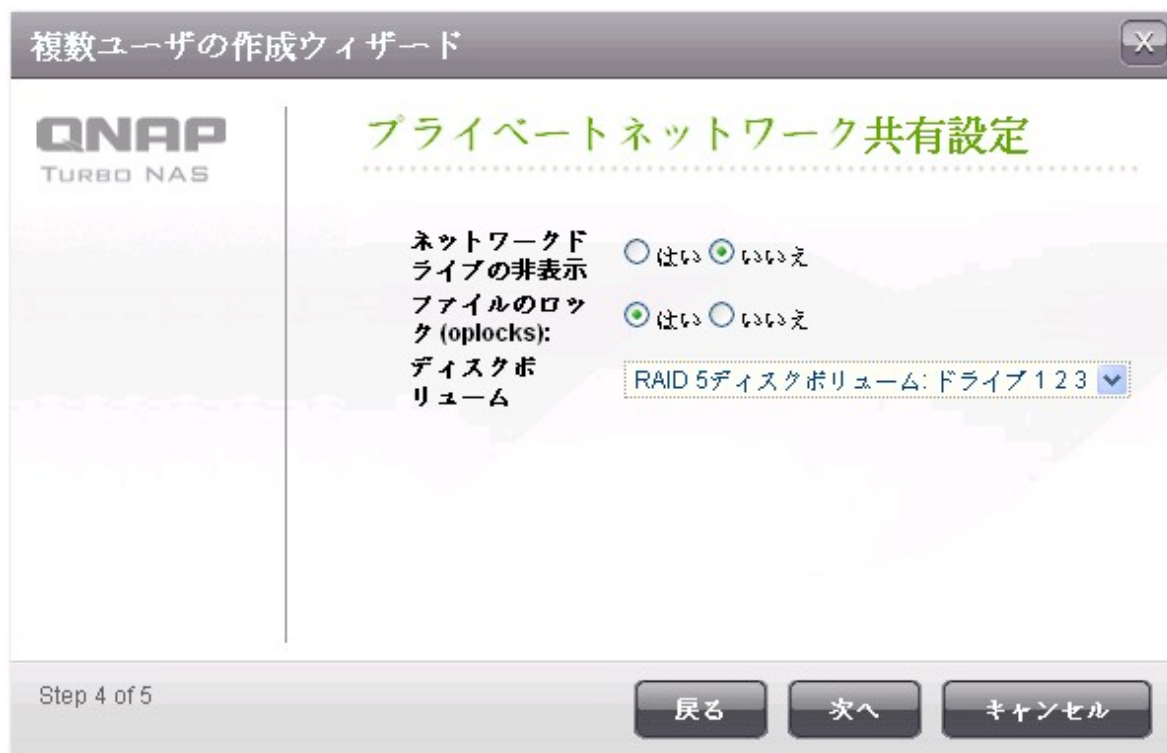
Step 3 of 5

戻る

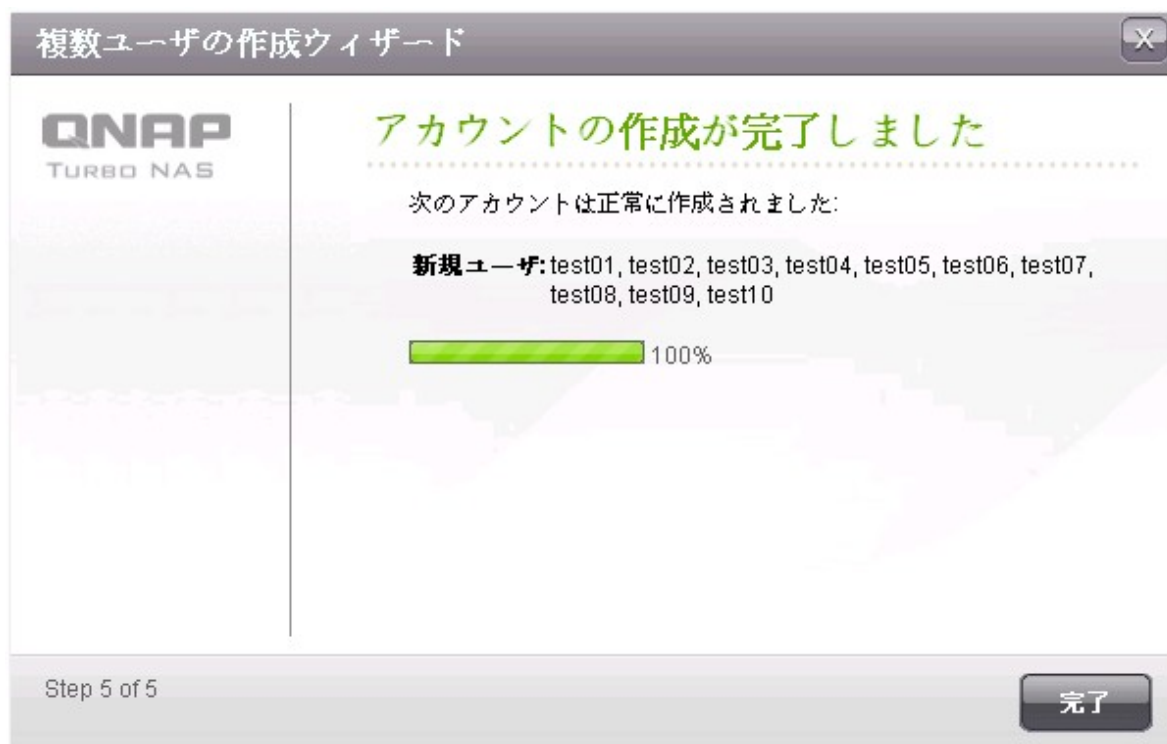
次へ

キャンセル

フォルダ設定を指定します。



最後の手順で作成した新規ユーザーを表示できます。「FINISH (終了)」をクリックしてウィザードを終了します。



ユーザーが作成されたことを確認します。

ローカルユーザー

ユーザーの作成 複数ユーザーの作成 ユーザーのインポート/エクスポート

<input type="checkbox"/>	ユーザー名	クォータ	アクション
<input type="checkbox"/>	admin	--	   
<input type="checkbox"/>	test0001	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0002	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0003	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0004	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0005	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0006	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0007	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0008	1.95 GB	   
<input type="checkbox"/>	test0009	1.95 GB	   

削除 合計: 11 | ページあたり 10 エントリを表示します。 1 / 2

ユーザーのネットワーク共有が作成されたことを確認します。

ホーム >> アクセス権管理 >> 共有フォルダ



ようこそ admin | ログアウト 日本語

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

共有ファイル

新規共有フォルダ ネットワーク共有をデフォルトに戻す

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	test0001	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0002	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0003	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0004	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0005	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0006	4 KB	0	0	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0007	⊛	⊛	⊛	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0008	⊛	⊛	⊛	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0009	⊛	⊛	⊛	いいえ	       
<input type="checkbox"/>	test0010	⊛	⊛	⊛	いいえ	       

削除 合計: 20 | ページあたり 10 エントリを表示します。 2 / 2

ユーザーのインポート/エクスポート

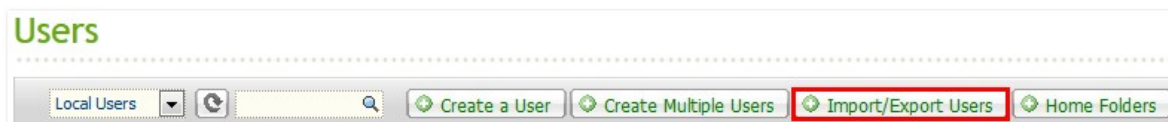
このシステムでは、NASとユーザー間でインポート/エクスポートを実行できます。

注: ユーザーリストをインポートしているとき、パスワード規則 (適用可能な場合) は適用されません。

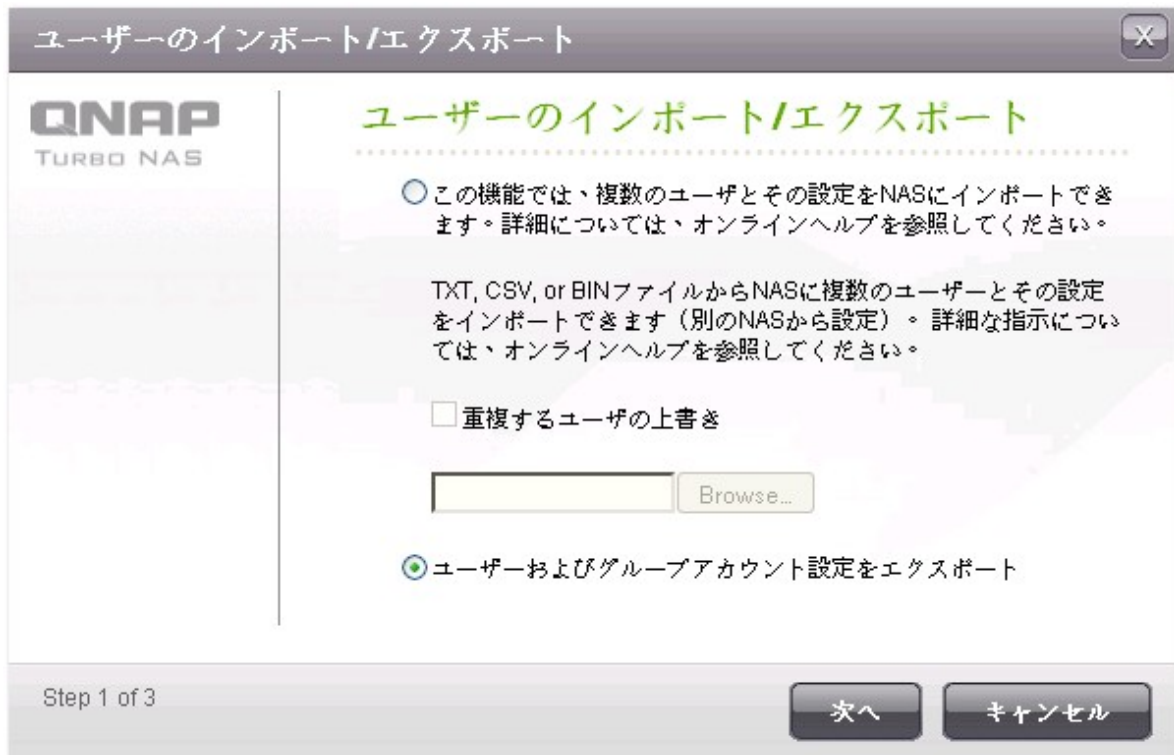
ユーザーのエクスポート

以下の手順に従って、NASからユーザーをエクスポートします。

1. 「Import/Export Users (ユーザーのインポート/エクスポート)」をクリックします。



2. 「Export user and user group settings (ユーザーとユーザーグループ設定のエクスポート)」のオプションを選択します。
3. 「NEXT (次へ)」をクリックして、アカウント設定ファイル(*.bin)をダウンロードし保存します。アカウントセットアップの場合、ファイルは別のNASにインポートできます。

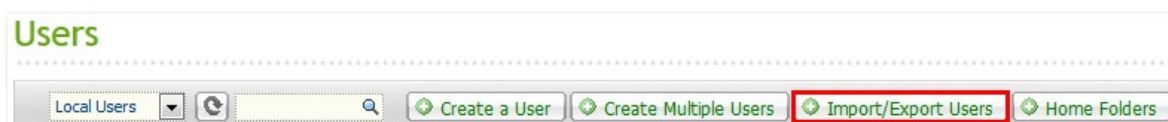


クォータ機能が「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Quota (クォータ)」で有効になっているとき、クォータ設定をエクスポートできます。

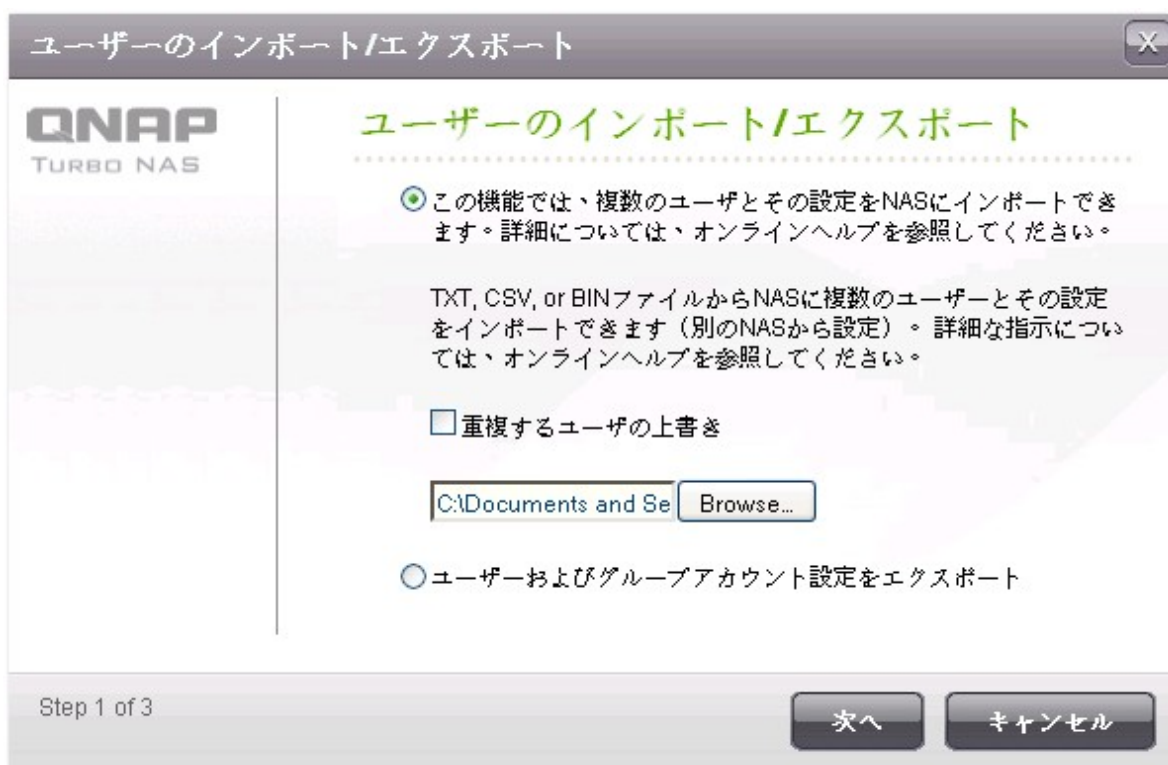
ユーザーのインポート

NASにユーザーをインポートする前に、ユーザーをエクスポートすることでユーザー設定をバックアップしていることを確認してください。以下の手順に従って、NASにユーザーをインポートします。

1. 「Import/Export Users (ユーザーのインポート/エクスポート)」をクリックします。



2. 「Import user and user group settings ()」のオプションを選択します。「Overwrite duplicate users (重複ユーザーの上書き)」オプションを選択して、NASに既存のユーザーを上書きします。



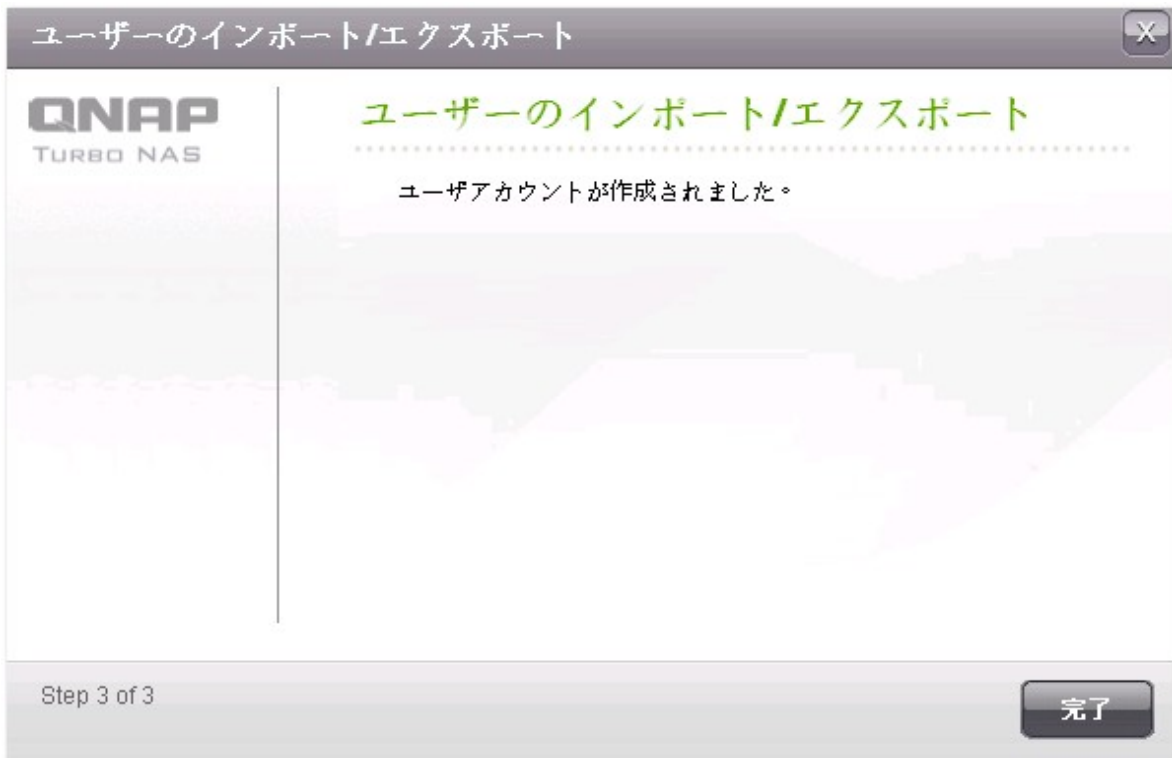
3. 「Browse (閲覧)」をクリックして、ユーザー情報を含むファイル(*.TXT、*.CSV、*.BIN)を選択します。「NEXT (次へ)」をクリックしてユーザーをインポートします。

4. インポートされたユーザーのリストが表示されます。赤でハイライトされた、異常な状態のユーザーは、スキップされます。BINファイルによりユーザーをインポートする場合、この手順は表示されません。

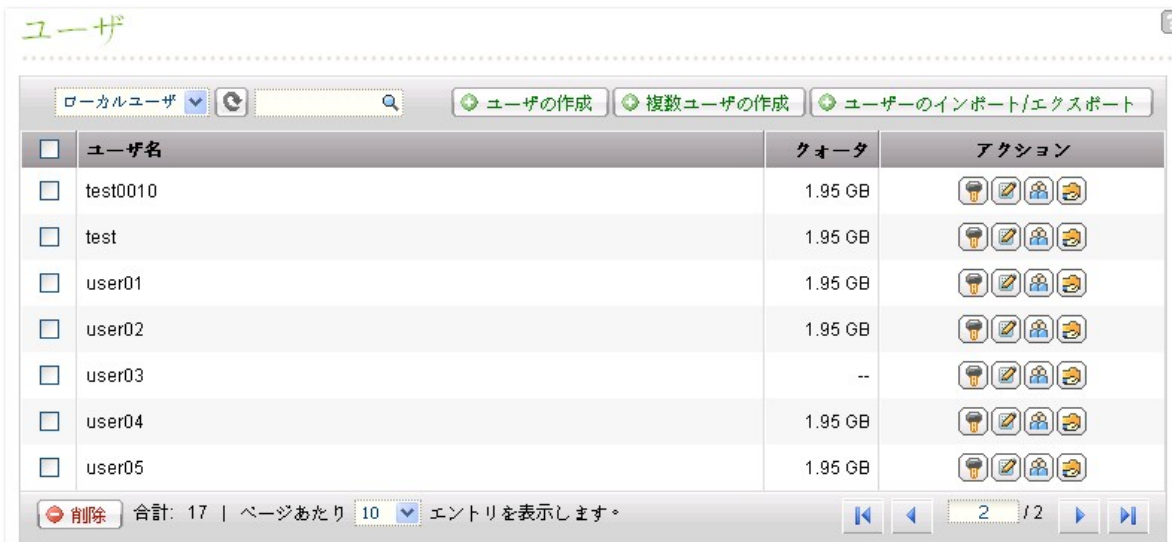


5. 「NEXT (次へ)」をクリックしてユーザーアカウントを作成します。

6. ユーザーが作成されたら、「Finish (終了)」をクリックします。



7. インポートしたユーザーアカウントが表示されます。

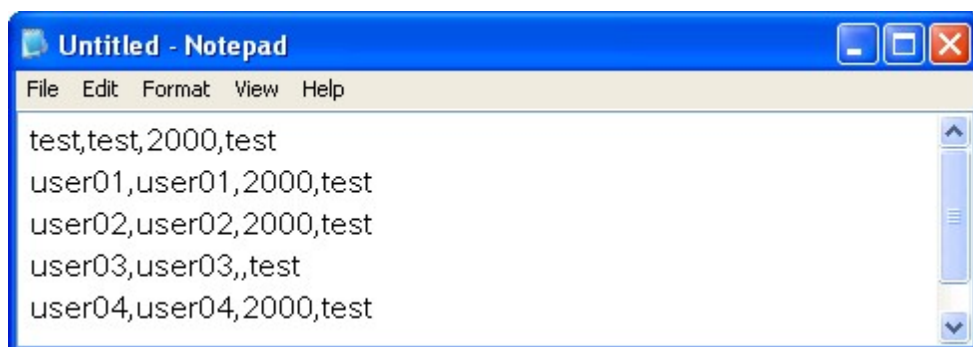


NASはTXT、CSVまたはBINファイルからユーザーアカウントのインポートをサポートします。これらのファイルタイプでユーザーアカウントのリストを作成するには、以下の手順に従います。

TXT

1. テキストエディターで新規ファイルを開きます。
2. ユーザーの情報を以下の情報で入力し、"," で区切ります: ユーザー名、パスワード、クォータ(MB)、グループ名
3. 次の行に移動し、前のステップを繰り返して他のユーザーアカウントを作成します。各行一人ずつのユーザーの情報を示します。
4. 全角文字を含むファイルはUTF-8エンコードで保存します。

下記はその例です。クォータが空白のままの場合、ユーザーはNASのディスク容量を無制限に使用することができます。



CSV (Excel)

1. Excelで新規ファイルを開きます。
2. ユーザーの情報を同じ列に以下の順番で入力します:
 - 行A: ユーザー名
 - 行B: パスワード
 - 行C: クォータ(MB)
 - 行D: グループ名
3. 次の列に移動し、前のステップを繰り返して他のユーザーアカウントを作成します。各列一人ずつのユーザーの情報を示します。ファイルをcsv形式で保存します。
4. 全角文字を含むcsvファイルはノートパッドで開き、UTF-8エンコードで保存します。

下記はその例です:

	A	B	C	D
1	test	test	2000	test
2	user01	user01	2000	test
3	user02	user02	2000	test
4	user03	user03		test
5	user04	user04	2000	test
6	user05	user05	2000	test

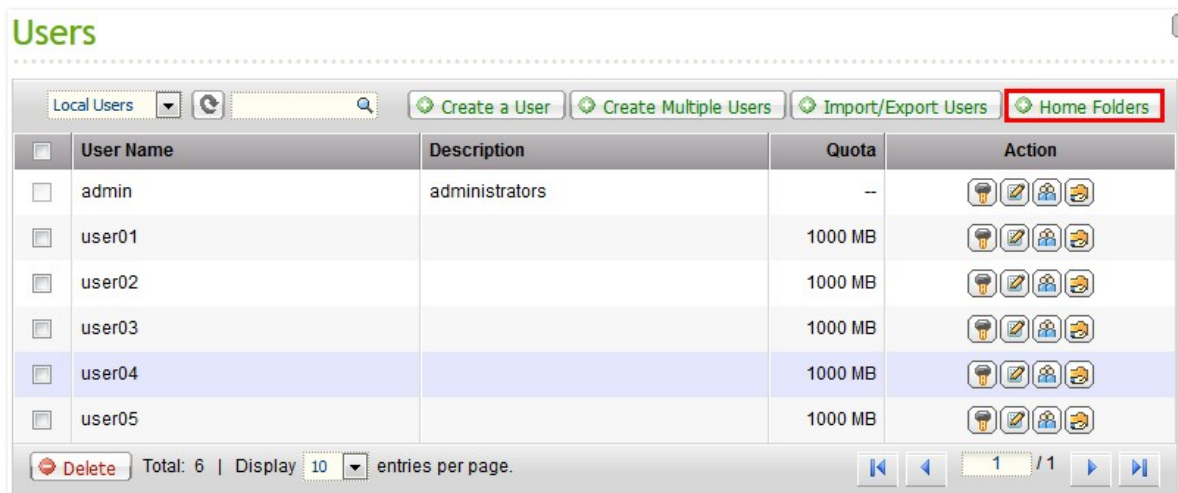
BIN (NASからエクスポート)

























BINファイルは、QNAP NASからエクスポートされます。ユーザー名、パスワード、クォータ、ユーザーグループを含む情報が含まれます。クォータ機能が「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Quota (クォータ)」で有効になっているとき、クォータ設定をエクスポートできます。

ホームフォルダ

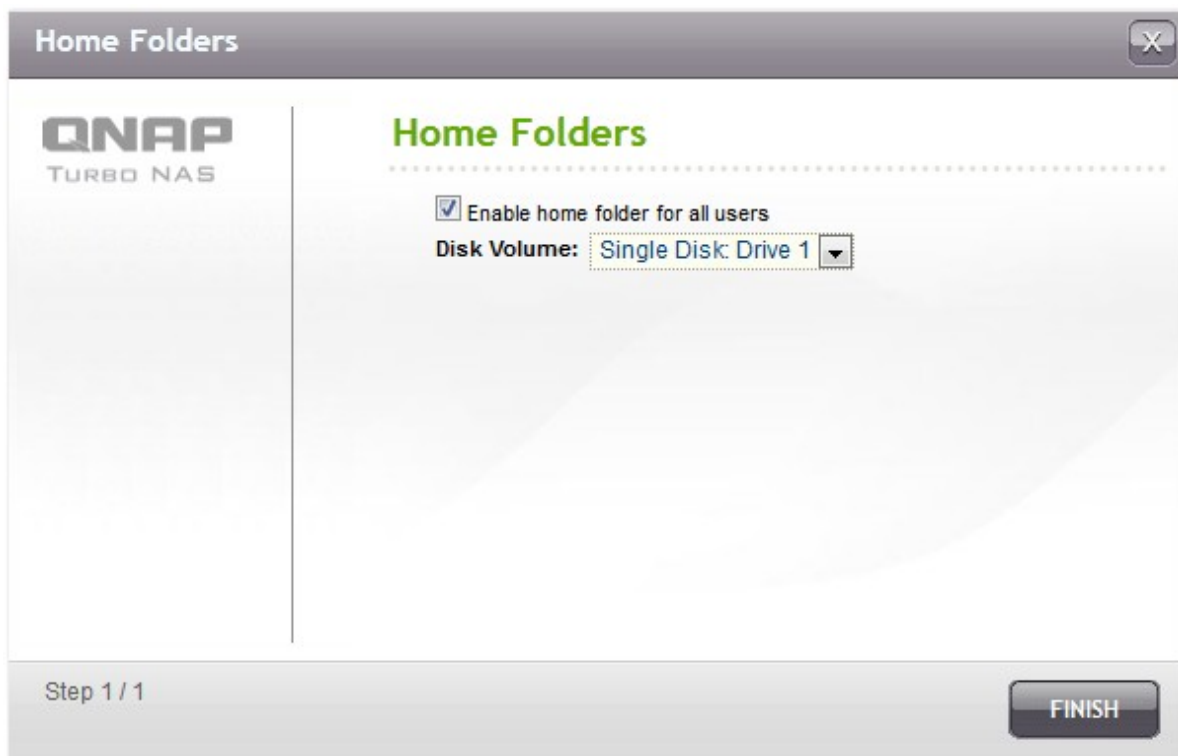
NAS 上のローカルユーザーおよびドメインユーザーに対してパーソナルフォルダを作成するには、ホームフォルダを有効にします。ユーザーは、各自の“home”フォルダに Microsoft networking、FTP、AFP、およびウェブファイルマネージャを介してアクセスすることができます。すべてのホームフォルダは、デフォルトで“admin”しかアクセスできないネットワーク共有“Homes”にあります。

この機能を使用するには、「Home Folders (ホームフォルダ)」をクリックします。



<input type="checkbox"/>	User Name	Description	Quota	Action
<input type="checkbox"/>	admin	administrators	--	   
<input type="checkbox"/>	user01		1000 MB	   
<input type="checkbox"/>	user02		1000 MB	   
<input type="checkbox"/>	user03		1000 MB	   
<input type="checkbox"/>	user04		1000 MB	   
<input type="checkbox"/>	user05		1000 MB	   

「Enable home folder for all users (全ユーザーに対してホームフォルダを有効にする)」を選択し、ホームフォルダを作成するディスクボリュームを選択します。「Finish (完了)」をクリックします。



Home Folders

QNAP
TURBO NAS

Home Folders

Enable home folder for all users

Disk Volume:

Step 1 / 1

FINISH

5.3 ユーザグループ

簡単にアクセス権を設定、更できるように、ユーザを作成したら、グループ化します。ファイルまたはフォルダへの同じアクセス権を与えるユーザを1つのグループにまとめます。デフォルトでは、次のグループがあらかじめ登録されています。

Administrators

グループAdministrators の全メンバは、システムを管理できます。グループAdministrators は削除できません。

Everyone

全てのユーザはグループEveryone に所属します。グループEveryone に所属しないような設定はできませんし、グループEveryone は削除できません。

NASで作成できるユーザーグループ数は、NAS機種によって異なります。NASモデルが一覧にない場合、<http://www.qnap.com>にアクセスして詳細をご確認ください。

最大ユーザーグループ数	NASモデル
128	TS-110 TS-210
256	TS-112, TS-119, TS-119P+, TS-212, TS-219P+, TS-410, TS-239 Pro II+, TS-259 Pro+
512	TS-412, TS-419P+, TS-410U, TS-419U, TS-412U, TS-419U+, SS-439 Pro, SS-839 Pro, TS-439 Pro II+, TS-459U-RP/SP, TS-459U-RP+/SP+, TS-459 Pro+, TS-459 Pro II, TS-559 Pro+, TS-559 Pro II, TS-659 Pro+, TS-659 Pro II, TS-859 Pro+, TS-859U-RP, TS-859U-RP+, TS-809 Pro, TS-809U-RP, TS-879 Pro, TS-1079 Pro, TS-879U-RP, TS-EC879U-RP, TS-1279U-RP, TS-EC1279U-RP

グループ名は半角256 以内の文字です。2 バイト文字 (例えば、日本語、国語、韓国語等は使用できます。次の特殊文字は使用できません。

" / \ [] : ; | = , + * ? < > ` ' `

グループ

ローカルグループ

グループ名	動作
<input type="checkbox"/> administrators	
<input type="checkbox"/> everyone	
<input type="checkbox"/> root	
<input type="checkbox"/> test	

合計: 4 | 各ページ 10 | エントリーずつ表示。 1 / 1

5.4 共有フォルダ

共フォルダ

ファイルの共により、OS やマシンの違いを超えて同じ情報にアクセスしたり、同じ環境で作業したりできます。

NASで作成できる共フォルダ数は、NAS機種によって異なります。NASモデルが一覧にない場合、<http://www.qnap.com> にアクセスして詳細をご確認ください。

最大共有フォルダ数	NASモデル
256	TS-110, TS-210, TS-112, TS-119, TS-119P+, TS-212, TS-219P+, TS-410, TS-239 Pro II+, TS-259 Pro+
512	TS-412, TS-419P+, TS-410U, TS-419U, TS-412U, TS-419U+, SS-439 Pro, SS-839 Pro, TS-439 Pro II+, TS-459U-RP/SP, TS-459U-RP+/SP+, TS-459 Pro+, TS-459 Pro II, TS-559 Pro+, TS-559 Pro II, TS-659 Pro+, TS-659 Pro II, TS-859 Pro+, TS-859U-RP, TS-859U-RP+, TS-809 Pro, TS-809U-RP, TS-879 Pro, TS-1079 Pro, TS-879U-RP, TS-EC879U-RP, TS-1279U-RP, TS-EC1279U-RP

共フォルダ一覧にて、現在のデータサイズ、サブフォルダおよびネットワーク共有内に作成されたファイルの数、またフォルダステータス(非表示かどうか)を表示することができます。

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

共有ファイル

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	Dept	64 KB	13	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Download	400.23 MB	9	14	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Multimedia	16.84 GB	69	583	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	28 KB	4	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Public	30.1 GB	318	1668	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Recordings	88 KB	19	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Usb	28 KB	4	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Web	237.69 MB	269	2165	いいえ	
<input checked="" type="checkbox"/>	ivan	4.7 MB	0	1	いいえ	
<input checked="" type="checkbox"/>	root	28 KB	4	2	いいえ	

合計: 20 | ページあたり 10 エントリを表示します。 1 / 2

共有フォルダを作成するには、"New Share Folder" (新規共有フォルダ) をクリックします。

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	動作
<input type="checkbox"/>	Download	50.31 MB	2	7	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Multimedia	5.02 MB	6	52	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	690.02 MB	31	6305	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Public	524.15 MB	809	10263	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Recordings	4 KB	0	0	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Usb	4 KB	0	0	いいえ	
<input type="checkbox"/>	Web	14.57 KB	0	1	いいえ	

削除 合計: 7 | 各ページ 10 エントリーずつ表示。 1 / 1

"Next" (次へ) をクリックします。

共有フォルダの作成

このウィザードから以下の設定が行えます:

- 共有フォルダの設定
- 特権

続行するには、次へをクリックします。終了する場合は、キャンセルをクリックします。

Step 1 of 7


継続 キャンセル

共有フォルダ設定を入力します。

- フォルダ名:共有フォルダ名を入力します。共有フォルダ名には以下の記号は使用できません。“ / ¥ [] : ; | = , + * ? < > , ' ”
- フォルダの非表示:Microsoft ネットワークにて、フォルダを非表示にするかを選択します。フォルダが非表示の場合は、フォルダにアクセスする際は完全なディレクトリ¥¥NAS_IP¥¥フォルダ_名 を入力する必要があります。
- ファイルプロテクト(oplocks): Opportunistic LockingはWindowsによる機構です。クライアントはopportunistic lock (oplock) をサーバ上のファイルに設定し、データをローカルでキャッシュしてパフォーマンスを向上させることができます。デフォルトでは、日常使用において効となっています。データベースなど、複数のユーザーが同時に同一のファイルへアクセスする必要があるネットワークに対しては、oplocksは無効にしてください。
- パス:フォルダのパスを特定、あるいはNASが自動的にパスを特定するよう選択します。
- 説明:オプションでこのフォルダの説明を入力します。

フォルダへのアクセス権限をどのように特定するかを選択し、ゲストのアクセス権限を特定します。

共有フォルダの作成



特権

ネットワーク共有フォルダへのユーザーアクセス権を構成するには、以下の方法のうち一つを選択してください:

- フルアクセス (皆にフルアクセス権を割り当てる)
- ユーザ別
- ユーザグループ別
- システム管理者(アドミン)だけが完全なアクセス権を持っています。一般ユーザは**読み取りのみ**のアクセス権があります。

ゲストのアクセス権:

- アクセス拒否
- 読み込みのみ
- 読み取り/書き込み

Step 3 of 7

ユーザーあるいはユーザーグループ毎にアクセス権限を特定するよう選択した場合は、読込みのみ、読込み/書き込み、あるいはアクセス拒否をユーザーあるいはユーザーグループに割り当てることができます。

共有フォルダの作成 X

アクセス制御(ユーザ別)

合計: 3 1 / 1



ユーザ名	読込みのみ	読み取り/書き込み	アクセス拒否
admin	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
qnap	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
admin2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Step 4 of 7

戻る 継続 キャンセル

設定を確定し、“Next”(次へ)をクリックします。

共有フォルダの作成

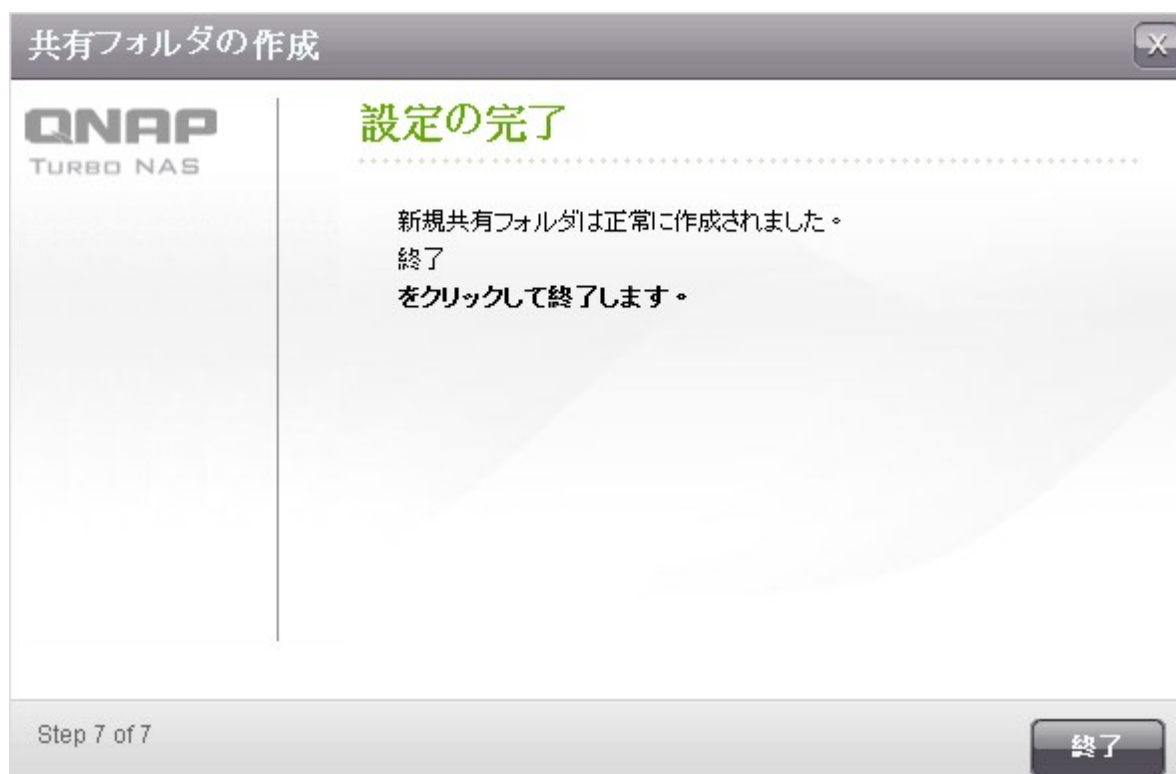
設定の確認

フォルダ名 :	test
フォルダを非表示にする:	いいえ
ファイルのロック (oplocks):	はい
パス :	/test
説明:	---
アクセス権 :	ユーザ別
ユーザ/ユーザグループにアクセス :	admin, qnap, admin2

Step 6 of 7

[戻る](#) [継続](#) [キャンセル](#)

“Finish”（終了）をクリックしてセットアップを完了します。



共有フォルダを削除するには、フォルダのチェックボックスにチェックを入れ、“Delete”（削除）をクリックします。“Also delete the data in these folder(s)”（これらのフォルダのデータも削除する）のオプションを選択して、フォルダおよびその中のファイルを削除することができます。フォルダデータを削除しないよう選択した場合は、データはNASに保持されます。データにアクセスするには、同じ名前のフォルダを再度作成します。







共有フォルダ

共有フォルダ | ISO共有フォルダ | フォルダ集約 | 詳細オプション


共有ファイル

<input type="checkbox"/>				ル	非表示	アクション
<input checked="" type="checkbox"/>				0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>				0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>				0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>				0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>	test0005	4 KB	0	0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>	test0006	4 KB	0	0	いいえ	NFS
<input checked="" type="checkbox"/>	test0007	4 KB	0	0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>	test0008	4 KB	0	0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>	test0009	4 KB	0	0	いいえ	NFS
<input type="checkbox"/>	test0010	9.63 MB	1	62	いいえ	NFS

削除 合計: 20 | ページあたり 10 エントリを表示します。 2 / 2

アイコン	説明
 (フォルダプロパティ)	フォルダのプロパティを編集します。フォルダの表示または非表示、便宜的ロック、フォルダパス、コメントの有効または無効、FTP接続で書き込み専用アクセスの有効または無効を指定します。
 (フォルダアクセス権)	フォルダ許可およびサブフォルダ許可を編集します。
 (NFSアクセス制御)	NASへのNFSアクセス権を指定します。アスタリスク(*)はすべての接続を意味します。
 (WebDAVアクセス制御)	フォルダへのWebDAVアクセス権を指定します。
 (Microsoft Networkingホストアクセス制御)	Microsoft Networking経由でフォルダへの接続を許可されたホスト名またはIPアドレスを入力します。Microsoft Networking経由でフォルダにアクセスするために、ユーザーは正しいログイン名とパスワードが必要です。
 (リフレッシュ)	フォルダの詳細をリフレッシュします。

フォルダアクセス権

NASでフォルダ許可またはサブフォルダ許可を設定できます。基本フォルダ許可を編集するには、「アクセス権利管理」>「共有フォルダ」でフォルダ名を検索し、をクリックします。

共有フォルダ

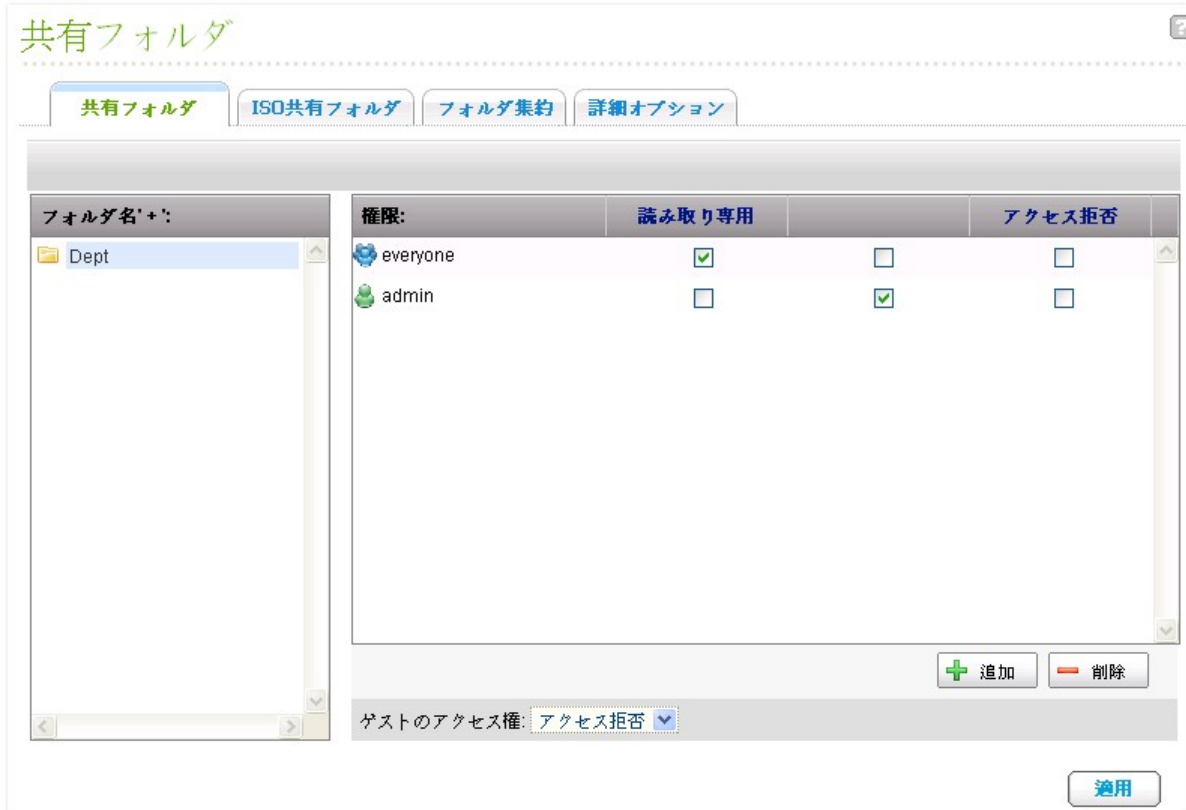
共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

共有ファイル

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	Dept	64 KB	13	2	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Download	400.23 MB	9	14	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Multimedia	16.84 GB	69	583	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	28 KB	4	2	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Public	30.1 GB	318	1668	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Recordings	88 KB	19	2	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Usb	28 KB	4	2	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	Web	237.69 MB	269	2165	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	ivan	4.7 MB	0	1	いいえ	  NFS  
<input type="checkbox"/>	root	28 KB	4	2	いいえ	  NFS  

合計: 20 | ページあたり 10 エントリを表示します。 / 2

フォルダ名は左に表示され、設定済みアクセス権利を持つユーザーはパネルに表示されます。パネル下部でゲストアクセス権利を指定することもできます。

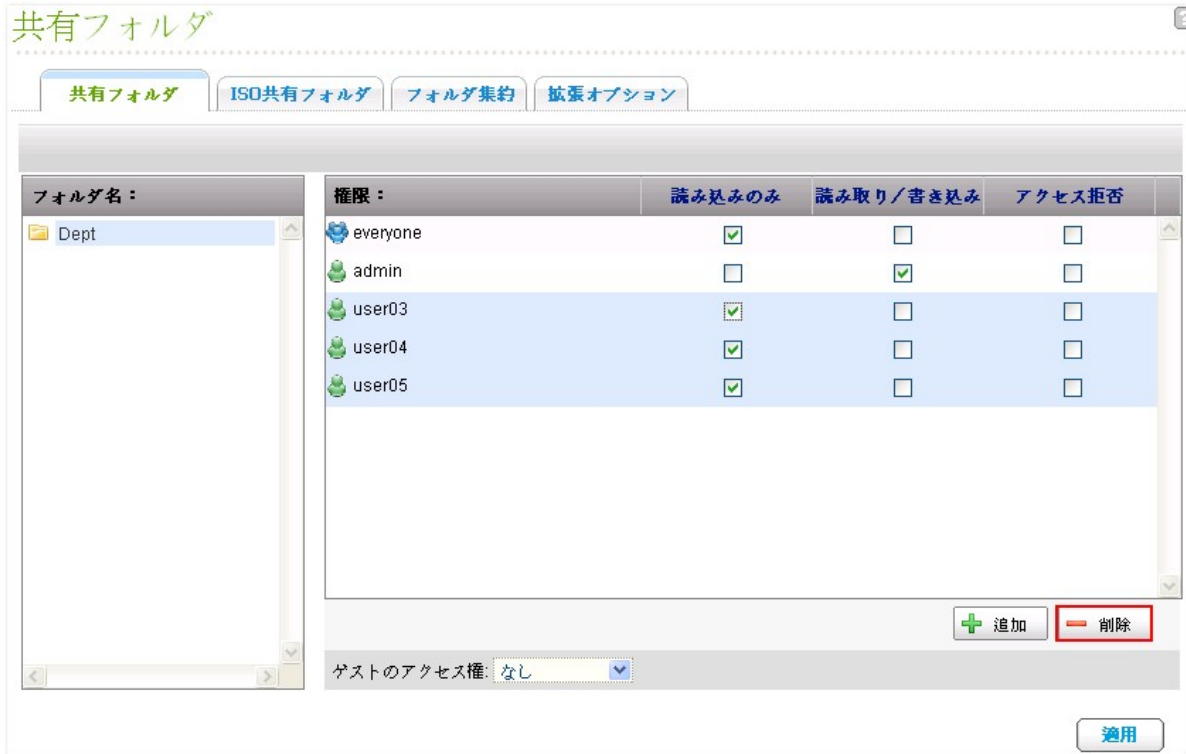


「+ Add (+ 追加)」をクリックしさらに多くのユーザーとユーザーグループを選択し、フォルダへのアクセス権を指定します。「ADD (追加)」をクリックして確認します。



「- Remove (除去) 」をクリックして設定された許可を取り外します。Ctrlキーを押したままマウスを左クリックすることで、複数の項目を選択できます。「APPLY (適用) 」をクリックして設定を保存します。

「Read/Write (読み取り/書き込み) 」アクセス権をユーザーに与えると、フォルダとサブフォルダを完全に制御できます。




サブフォルダ許可

NASは、フォルダとサブフォルダの安全管理のためにサブフォルダ許可をサポートします。各フォルダとサブフォルダに対して、個別ユーザーの読み取り、読み取り/書き込み、および拒否アクセス権を指定できます。

サブフォルダ許可を設定するには、「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Share Folders (共有フォルダ)」 > 「Advanced Options (詳細オプション)」タブを順にポイントします。「Enable Advanced Folder Permissions (詳細フォルダ許可を有効にする)」を選択し、「APPLY (適用)」をクリックします。

注: 詳細フォルダ許可が有効になっているとき、各フォルダに対して最大230の許可エントリを作成できます。



「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Share Folders (共有フォルダ)」 > 「Share Folders (共有フォルダ)」タブを順にポイントします。ルートフォルダ、例えばDeptを選択し、をクリックします。



フォルダ名とそのファーストレベルのサブフォルダが左に表示されます。設定したアクセス権を持つユーザーが、以下の特別な許可と共にパネルに表示されます。ファーストレベルのサブフォルダをダブルクリックして、セカンドレベルのサブフォルダを表示します。

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

フォルダ名'+':

- Dept
 - Admin
 - HR
 - Production
 - Sales
 - test

権限:	読み取り専用	読み取り/書き込み	アクセス拒否	特別許可
everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
admin	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

+ 追加 - 削除

ゲストのアクセス権: **アクセス拒否**

所有者: admin 所有者のみがコンテンツを削除できます (オンラインヘルプを参照)

管理者のみがファイルとフォルダを作成できます (オンラインヘルプを参照)

変更をファイルとサブフォルダに適用します

このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

詳細については、[ここをクリックしてください。](#)

適用

ルートフォルダ(Dept)を選択します。「+ Add (+追加)」をクリックして、ユーザー及びユーザーグループの読み取り専用、読み取り/書き込み、または拒否アクセス権を指定します。

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

フォルダ名'+':

- Dept
 - Admin
 - HR
 - Production
 - Sales
 - test

権限:	読み取り専用	読み取り/書き込み	アクセス拒否	特別許可
everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
admin	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

+ 追加 - 削除

ゲストのアクセス権: **アクセス拒否**

所有者: admin 所有者のみがコンテンツを削除できます (オンラインヘルプを参照)

管理者のみがファイルとフォルダを作成できます (オンラインヘルプを参照)

変更をファイルとサブフォルダに適用します

このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

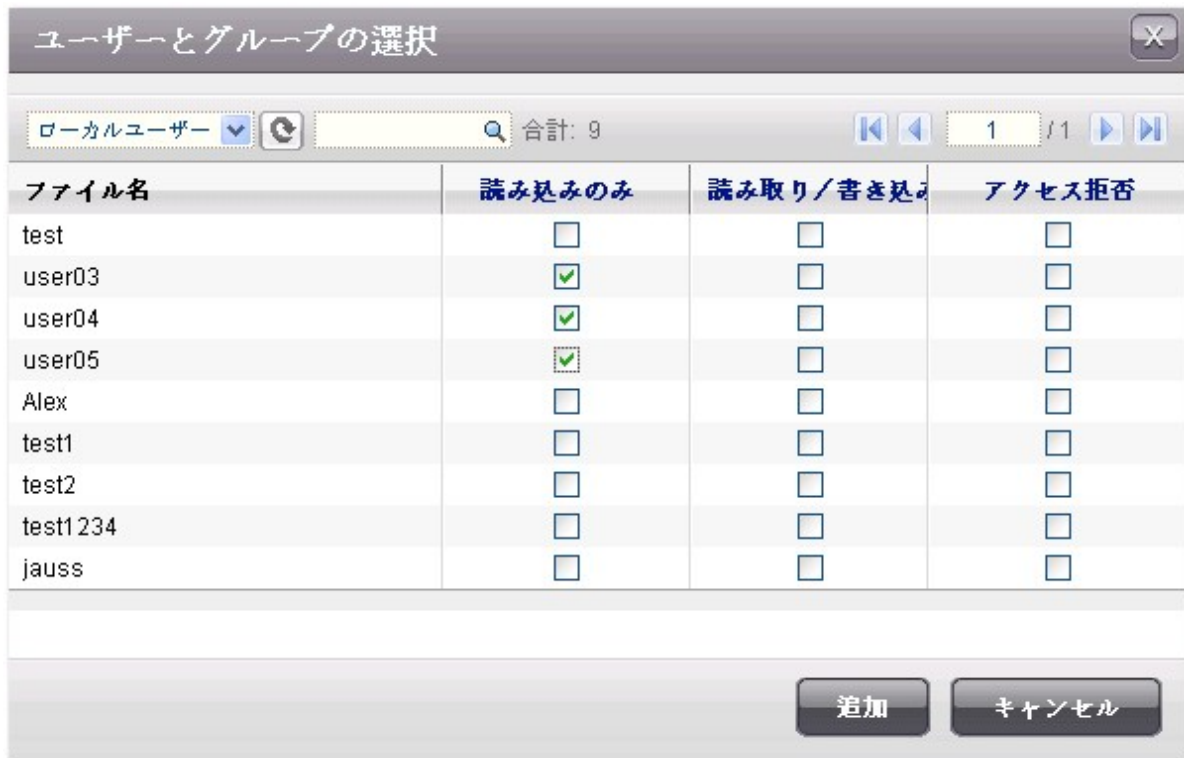
詳細については、[ここをクリックしてください。](#)

適用


注:

- ルートフォルダのユーザーに対して「拒否アクセス権」を指定した場合、あなたがサブフォルダへの読み取り/書き込みアクセス権を選択した場合でも、ユーザーはフォルダとサブフォルダへのアクセスを許可されません。
- ルートフォルダのユーザーに対して「読み取り専用アクセス権」を指定した場合、あなたがサブフォルダへの読み取り/書き込みアクセス権を選択した場合、ユーザーはすべてのサブフォルダに対して読み取り専用アクセス件を与えられます。
- ルートフォルダに読み取り専用許可を、サブフォルダに読み取り/書き込み許可を指定するには、ルートフォルダで読み取り/書き込み許可を設定し、「管理者のみがファイルとフォルダを作成できる」(後述)オプションを使用する必要があります。

設定を終了したら「ADD(追加)」をクリックします。




フォルダ許可パネルの下で、他の許可設定を指定します。

所有者: admin  所有者のみがコンテンツを削除できます [\(オンラインヘルプを参照\)](#)

管理者のみがファイルとフォルダを作成できます [\(オンラインヘルプを参照\)](#)

変更をファイルとサブフォルダに適用します

このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

- ゲストアクセス権：完全または読み取り専用アクセス権を与えるように、またはゲストアクセス権を拒否するように指定します。
- オーナー：フォルダのオーナーを指定します。デフォルトで、フォルダオーナーは作成者です。フォルダオーナーを変更するには、 をクリックします。

共有フォルダ


[共有フォルダ](#) [ISO共有フォルダ](#) [フォルダ集約](#) [詳細オプション](#)

フォルダ名'+: Dept

権限:	読み取り専用	読み取り/書き込み	アクセス拒否	特別許可
everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
admin	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[+](#) 追加 [-](#) 削除

ゲストのアクセス権: [アクセス拒否](#)

所有者: admin  所有者のみがコンテンツを削除できます [\(オンラインヘルプを参照\)](#)

管理者のみがファイルとフォルダを作成できます [\(オンラインヘルプを参照\)](#)

変更をファイルとサブフォルダに適用します

このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

詳細については、[ここをクリックしてください。](#)

[適用](#)

リストからユーザーを選択するか、ユーザー名を検索します。「Set (設定)」をクリックします。

ローカルユーザ

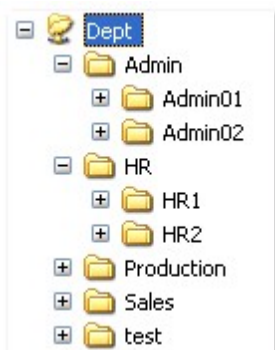
ユーザーまたはユーザーグループを検索して選択します:

- admin
- test0001
- test0002
- test0003
- test0004
- test0005
- test0006
- test0007
- test0008
- test0009
- test0010

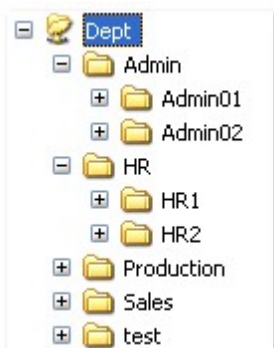
[設定](#)

- オーナーのみがコンテンツを削除できる

このオプションをフォルダ、例えばDeptに適用するとき、フォルダオーナーのみがファーストレベルのサブフォルダとファイルを削除できます。オーナーではないがフォルダへの読み取り/書き込み許可を持つユーザーは、この例のAdmin、HR、Production、Sales、testを削除できません。このオプションは、「ファイルとサブフォルダに変更を適用する」と「このフォルダ、ファイル、およびサブフォルダのすべての既存の許可を適用し置換する」オプションが選択されている場合でも、選択したフォルダのサブフォルダには適用されません。



- 管理者のみがファイルとフォルダを作成できる：このオプションは、ルートフォルダでのみ使用できます。このオプションを選択すると、管理者は選択したフォルダでのみファーストレベルのサブフォルダとファイルを作成できます。例えば、フォルダ「Dept」では、管理者のみがファイルとサブフォルダAdmin、HR、Productionなどを作成できます。Deptに対して読み取り/書き込みアクセス権を持つ他のユーザーはAdmin01、Admin02、HR1、HR2などのセカンドおよびファーストレベルのサブフォルダにファイルとフォルダのみを作成できます。



- ファイルとサブフォルダに変更を適用する：選択したフォルダ内部のすべてのファイルとサブフォルダに対するオーナー保護とルートフォルダの書き込み保護設定を除き、許可設定を適用します。これらの設定には新規ユーザー、削除されたユーザー、変更された許可、フォルダオーナーが含まれます。「オーナーのみがコンテンツを削除できる」と「管理者のみがファイルとフォルダを作成できる」のオプションはサブフォルダには適用されません。

- このフォルダ、ファイル、およびサブフォルダの既存の許可をすべて適用し、交換する：オーナー保護とルートフォルダの書き込み保護設定を除き、選択したフォルダとそのファイルおよびサブフォルダのそれまでに設定された許可をすべて無効にするには、このオプションを選択します。「オーナーのみがコンテンツを削除できる」と「管理者のみがファイルとフォルダを作成できる」のオプションはサブフォルダには適用されません。
- 特殊許可：このオプションは、ルートフォルダでのみ使用できます。ユーザーにフ事前設定された許可に関わりなく、フォルダのすべてのコンテンツへのアクセス権を許可するには、このオプションを選択し、「読み取り専用」または「読み取り/書き込み」から選択します。特殊な許可を持つユーザーは、Microsoft Networking経由でフォルダに接続するとき「admin」として確認されます。ユーザーに「読み取り/書き込み」アクセス権のある特殊な許可を与えた場合、そのユーザーは完全アクセス権を持ち、Windowsのフォルダ許可を設定することができるようになります。このユーザーにより作成されたファイルは、すべて「admin」に属します。「admin」はNASの割当が制限されていないため、特殊な許可を持つユーザーが作成したファイルの数とサイズは事前設定された割当設定により制限されません。このオプションは、管理とバックアップタスクにしか使用できません。

許可の変更後、「APPLY (適用)」、「YES (はい)」の順にクリックして確認します。

The screenshot shows a web interface for managing shared folders. A dialog box is open, asking for confirmation to apply permissions to files and subfolders. The dialog text is: "許可をファイルとサブフォルダに適用すると、処理するファイルとフォルダの数によって異なりますが、いくらか時間がかかります。今、許可を適用しますか？ 続行しますか？" (When applying permissions to files and subfolders, it will vary depending on the number of files and folders to be processed, but it will take some time. Do you want to apply permissions now? Do you want to continue?). There are "はい" (Yes) and "いいえ" (No) buttons, with "はい" highlighted in red.

The background interface shows a table of folder permissions. The table has columns for "フォルダ名" (Folder Name), "アクセス拒否" (Access Denied), and "特別許可" (Special Permissions). The "Dept" folder is selected, and its permissions are shown in the table below.


フォルダ名	アクセス拒否	特別許可
Dept	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
HR	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Production	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Sales	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
test	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Below the table, there are controls for guest access (ゲストのアクセス権: アクセス拒否), owner (所有者: admin), and checkboxes for "管理者のみがファイルとフォルダを作成できます" (Only administrators can create files and folders), "変更をファイルとサブフォルダに適用します" (Apply changes to files and subfolders), and "このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します" (Apply all existing permissions for this folder, files, and subfolders and replace them).

At the bottom right, there is a red "適用" (Apply) button.

Microsoft Networkingホストアクセス制御

NASフォルダは、デフォルトではSamba接続(Windows)経由でアクセスできます。Microsoft Networking経由でNASへのアクセスを許可された、IPアドレスまたはホストを指定できます。フォルダのホストアクセス制御を編集するには、

 をクリックします。

共有フォルダ

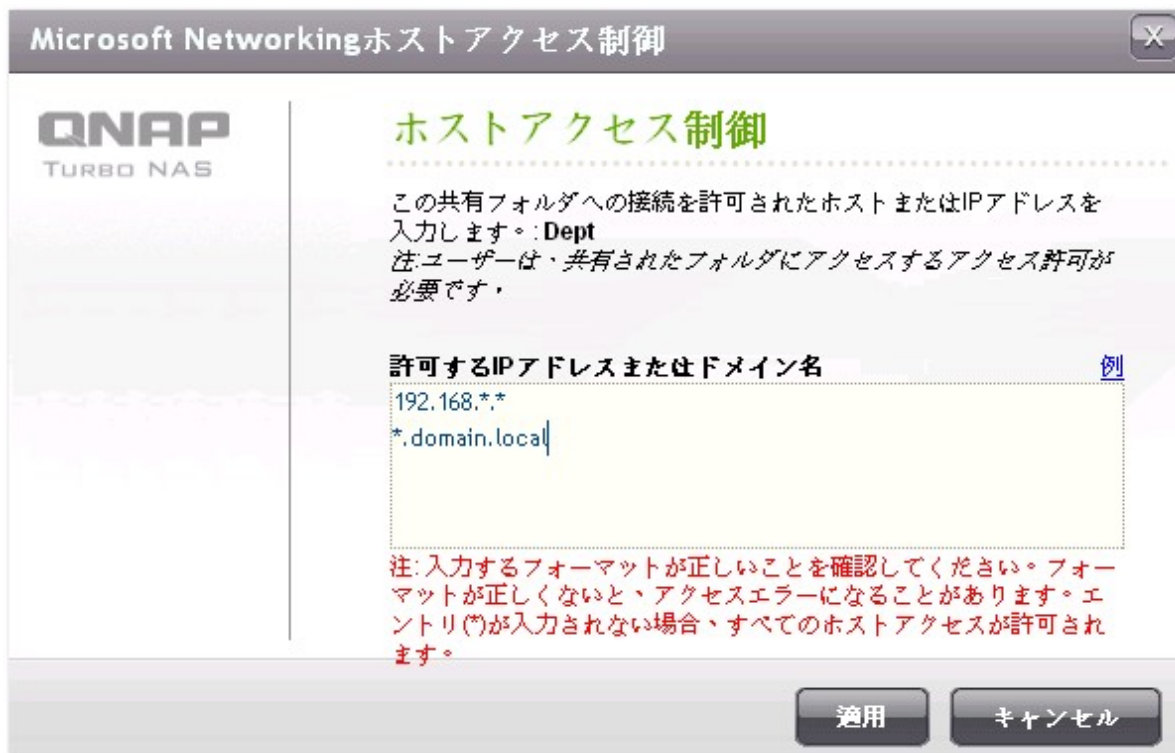
共有フォルダ ISO共有フォルダ フォルダ集約 詳細オプション

共有ファイル 新規共有フォルダ ネットワーク共有をデフォルトに戻す

<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	Dept	64 KB	13	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Download	400.23 MB	9	14	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Multimedia	16.84 GB	69	583	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	28 KB	4	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Public	30.1 GB	318	1668	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Recordings	88 KB	19	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Usb	28 KB	4	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Web	237.69 MB	269	2165	いいえ	  NFS   

ウィザードが示されます。許可されたIPアドレスとホスト名を入力します。例:

IPアドレス	192.168.12.12 192.168.*.*
ホスト名	dnsname.domain.local *.domain.local



ワイルドカード文字

不明な文字を表すために、IPアドレスまたはホスト名エントリにワイルドカード文字を入力できます。

アスタリスク(*)

ゼロ以上の文字数の場合、代替文字としてアスタリスク(*)を使用します。例えば、*.domain.localと入力した場合、次の項目が含まれます。

a.domain.local

cde.domain.local

test.domain.local

疑問符(?)

1文字だけの場合、代替文字として疑問符(?)を使用します。例えば、test?.domain.localには次が含まれます。

test1.domain.local

test2.domain.local

testa.domain.local

有効なホスト名にワイルドカード文字を使用するとき、ドット(.)がワイルドカード文字に含まれます。例えば、*.

example.com、「one.example.com」および「one.two.example.com」が含まれます。

ISO共有フォルダ

ISO画像ファイルをNASにISO共フォルダとしてマウントし、ディスクにコピーを焼き付けることなくコンテンツにアクセスすることができます。NASは最大で256*のISO共フォルダをサポートしています。

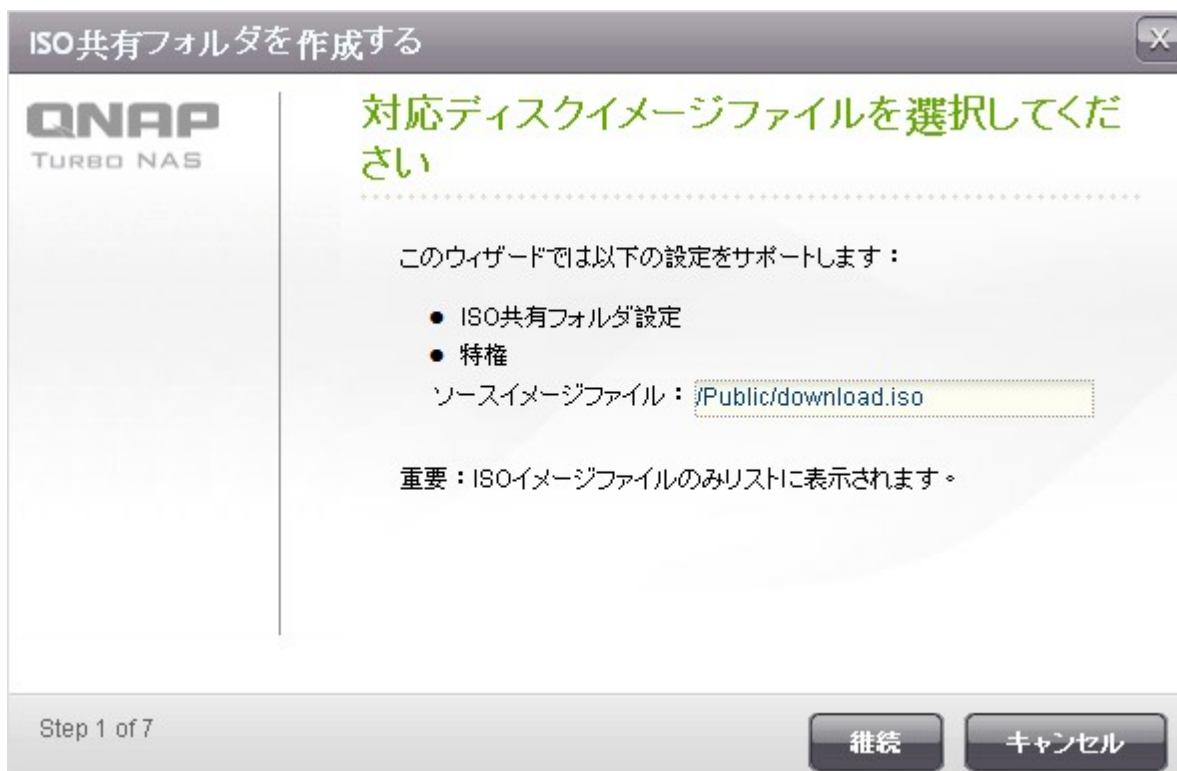
*TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-119P+、TS-219P+、TS-112、およびTS-212は最大256のネットワーク共フォルダのみサポートしています。そのため、これらのモデルでサポートされるISO画像ファイルの最大数は256以下となります。

下記の手順に従い、ウェブインターフェイスを使用してNASにISOファイルをマウントしてください。

1. NASに管理者としてログインします。"Share Folders" (共フォルダ) > "ISO SHARE FOLDERS" (ISO共フォルダ)を開きます。"Mount An ISO File" (ISOファイルをマウントする)をクリックします。



2. NASのISO画像ファイルを選択します。"Next" (次へ) をクリックします。



3. 画像ファイルはNASの共有フォルダとしてマウントされます。フォルダ名を入力します。

ISO共有フォルダを作成する

QNAP
TURBO NAS

ISO共有フォルダ設定

フォルダ名:

フォルダを非表示にする: はい いいえ ^①

説明:

Step 2 of 7

4. NASユーザーあるいはユーザーグループの共有フォルダに対するアクセス権を指定します。ゲストアクセス権限に "Deny Access" (アクセス拒否) あるいは "Read only" (読込のみ) を選択することもできます。"Next" (次へ) をクリックします。

ISO共有フォルダを作成する

QNAP
TURBO NAS

特権

ネットワーク共有フォルダへのユーザーアクセス権を構成するには、以下の方法のうち一つを選択してください:

- 管理者にのみ読み取りアクセス権を許可する
- ユーザ別
- ユーザグループ別

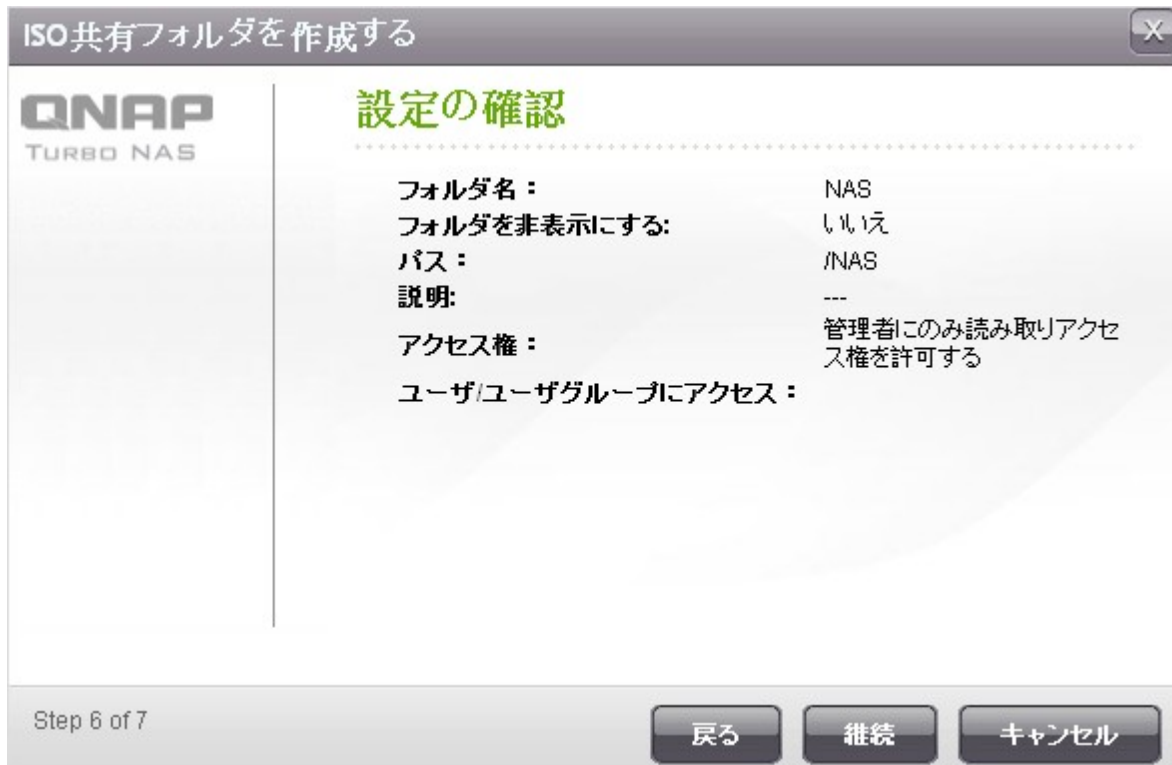
ゲストのアクセス権:

- アクセス拒否
- 読み込みのみ

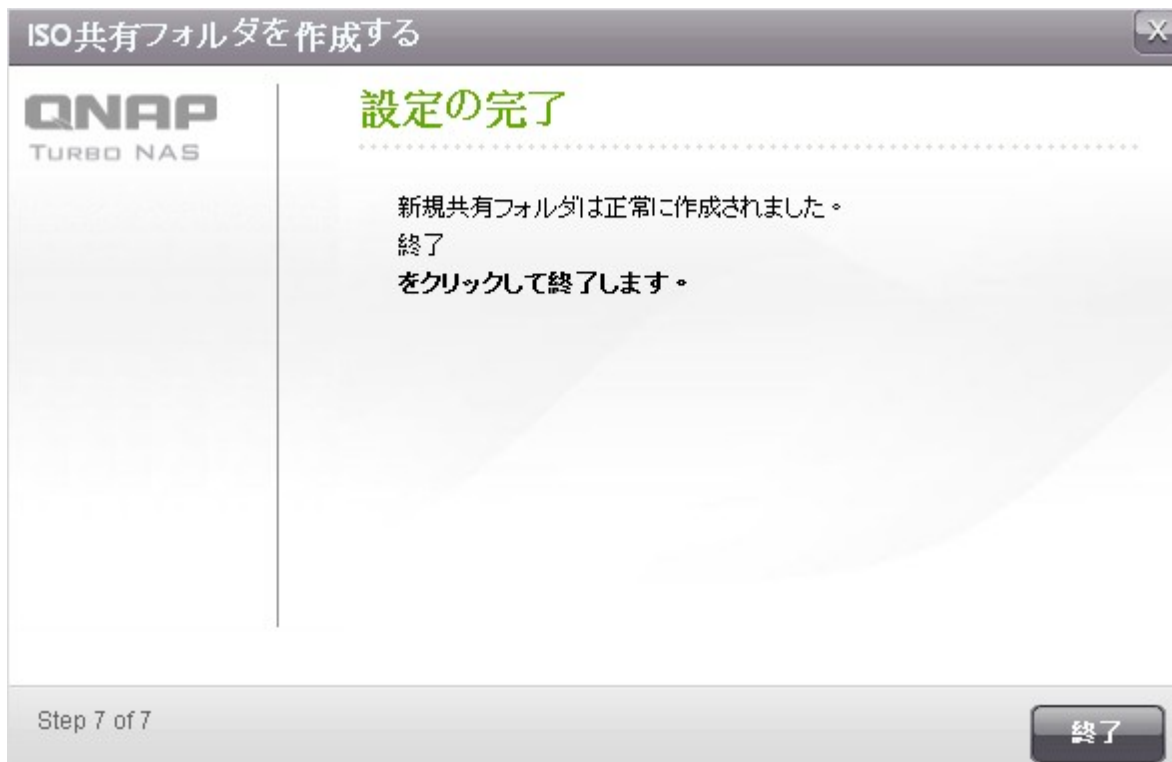
Step 3 of 7

戻る 継続 キャンセル

5. 設定を確定し、"Next" (次へ)をクリックします。



6. "Finish" (終了)をクリックします。



7. 画像ファイルのマウント後、異なるネットワークプロトコル(SMB、AFP、NFS、WebDAVなど)からのユーザーにおけるアクセス権限を指定することができます。"Action" (操作)列のアイコンをクリックしてください。



8. NASはWeb File Manager(ウェブファイルマネージャ)によるISO画像ファイルのマウントもサポートしています。詳細はこちら[リンク](#)をご覧ください。

フォルダ集約

Microsoftネットワークの共フォルダをNASのポータルフォルダとして集約し、ご使用のNASを通してNASユーザーがアクセスできるようにすることができます。最大10個の共フォルダまでNAS上のポータルフォルダにリンクすることができます。

注: この機能は、Microsoftネットワークサービスでのみサポートされています。

この機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

1. フォルダ集約を効化します。

共有フォルダ

共有フォルダ ISO共有フォルダ **フォルダ集約** 詳細オプション

フォルダ集約

フォルダ集約を有効にする

この機能を有効にすると、ローカルネットワークのすべての共有フォルダをNASの"ポータルフォルダ"に集約できます。

フォルダ集約を使用できるのは、Microsoftネットワーク/Sambaサービスだけです。

適用

フォルダ集約リスト

ポータルフォルダの作成 フォルダツリーのインポート/エクスポート

<input type="checkbox"/>	ポータルフォルダ名	アクション
--------------------------	-----------	-------

削除

2. "Create A Portal Folder" (ポータルフォルダの作成) をクリックします。

フォルダ集約リスト

ポータルフォルダの作成 フォルダツリーのインポート/エクスポート

<input type="checkbox"/>	ポータルフォルダ名	動作
--------------------------	-----------	----

削除

3. ポータルフォルダ名を入力します。フォルダを表示するかどうかを選択し、ポータルフォルダのオプションのコメントを入力します。

ポータルフォルダの作成

QNAP
TURBO NAS

ポータルフォルダの作成


フォルダ名: Shares ✓

フォルダを非表示にする: はい いいえ ⓘ

コメント:

Step 1 of 1

適用 キャンセル

4.  をクリックし、リモートフォルダ設定を入力します。共フォルダがパブリックアクセスに開かれていることを確認してください。

注: 共フォルダに許可制限がある場合、同じADドメインのNASとリモートサーバに参加する必要があります。

フォルダ集約リスト

<input type="checkbox"/>	ポータルフォルダ名	動作
<input type="checkbox"/>	Shares	 

リモートフォルダ・リンク X

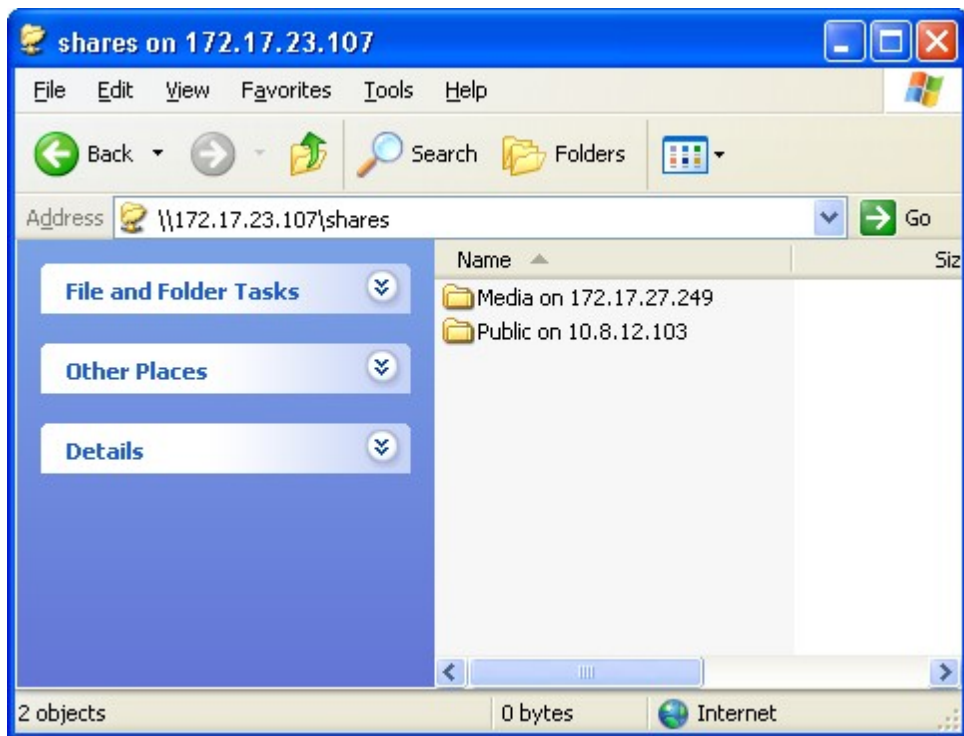
リモートフォルダ・リンク

ポータルフォルダ名: Shares

リンク	ファイル名	ホスト名	リモート共有フォルダ
1	Public on 10.8.12.103	10.8.12.103	Public
2	Media 172.17.27.249	172.17.27.249	Media
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

Step 1 of 1

5. 正常に接続されると、NASを通じてリモートフォルダにアクセスすることができます。



詳細オプション

「Advanced Folder Permissions (高度なフォルダ権限)」および「Windows ACL」は、サブフォルダとファイルレベルの権限管理を提供します。それらは、同時または別々に有効にすることができます。

Share Folders

SHARE FOLDERS | ISO SHARE FOLDERS | FOLDER AGGREGATION | **ADVANCED OPTIONS**

Advanced Options

When this option is enabled, you can assign the folder and subfolder permission to individual users and user groups.

Enable Advanced Folder Permissions

Enable Windows ACL Support

APPLY

プロトコル	権限	オプション	設定方法
高度なフォルダ権限	FTP、AFP、ウェブファイルマネージャ、Samba	3 種類 (読み専用、読み & 書き込み、拒否)	NAS ウェブユーザーインターフェース
Windows ACL	Samba	13 種類 (NTFS 権限)	Windows ファイルエクスプローラ
両方	FTP、AFP、ウェブファイルマネージャ、Samba	詳細は、アプリケーションノートを参照 (http://www.qnap.com/index.php?lang=en&sn=4686)。	Windows ファイルエクスプローラ

高度なフォルダ権限

「Advanced Folder Permissions (高度なフォルダ権限)」を使って、NAS ユーザーインターフェースから直接サブフォルダの権限を設定することができます。サブフォルダ権限に深さの制限はありません。しかし、サブフォルダの最初または 2 番目の権限のみの変更を強く推奨します。「Advanced Folder Permissions (高度なフォルダ権限)」が有効な場合、「Share Folders (フォルダ共有)」

タブの下の「Folder Permissions (フォルダ権限)」アイコン  をクリックして、サブフォルダ権限設定を行います。詳細は、このセクションの「Share Folders (フォルダ共有)」>「Folder Permission (フォルダ権限)」[238](#)を参照してください。

Windows ACL

「Windows ACL」と使って、Windows ファイルエクスプローラから、サブフォルダとファイルレベルの権限を設定します。全 Windows 権限がサポートされます。Windows ACL の詳細は、標準 NTFS 権限を参照してください：http://www.ntfs.com/#ntfs_permission

- サブフォルダとファイルの権限をユーザーまたはユーザーグループに割り当てるには、ユーザーまたはユーザーグループにフルコントロールの共有レベルの権限を許可する必要があります。
- Windows ACL が有効で、「Advanced Folder Permissions (高度なフォルダ権限)」が無効な場合、サブフォルダとファイルの権限は、Windows ファイルエクスプローラから NAS にアクセスする時にのみ作用します。ユーザーは、共有レベル権限がある場合のみ、FTP、AFP、またはウェブファイルマネージャを介して NAS に接続することができます。
- Windows ACL と高度なフォルダ権限が同時に有効な場合、ユーザーは、NAS ユーザーインターフェースから高度なフォルダ権限を設定することができません。AFP、ウェブファイルマネージャ、FTP に対する高度なフォルダ権限 (読み専用、読み/書きおよび拒否) は、自動的に Windows ACL の設定に従います。

5.5 クォータ

ディスク容量を効果的に使用、運用するためにユーザが使用できるディスク容量を制限できます。設定が適用されたとき制限値以上のデータを利用できません。これにより少数のユーザがディスク容量を独占するのを防止できます。初期設定では制限は設けられていません。

- すべてのユーザーに対してクォータを効にします
- 各ディスクボリュームのクォータサイズ

容量制限

容量制限

ディスク容量の割り当てを有効にする

ディスクの容量制限 MB

注意: ユーザ設定の容量制限でも、ディスク容量の割り当てを行えます。[ユーザ]

更の適用後、クォータ設定が表示されます。“GENERATE”（生成）をクリックし、クォータ設定ファイルをCSV形式で生成します。ファイルが生成された後、“DOWNLOAD”（ダウンロード）をクリックして指定した場所に保存します。

ローカルユーザー

単独ディスク: ドライブ 1

ユーザ	容量	使用領域	状態
admin	–	0 MB	制限なし
test	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user01	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user02	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user03	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user04	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user05	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
user07	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB
guest	1000 MB	0 MB	空き領域 1000 MB

合計: 9 | 各ページ エントリーずつ表示。

注意: 2010_07_1_Local_User_Quota_Volume1.csv x x x のダウンロード準備ができました。

6. ネットワーク サービス

Microsoftネットワーク [272](#)

Appleネットワーク [276](#)

NFSサービス [279](#)

FTPサービス [282](#)

Telnet/ SSH [284](#)

SNMP設定 [285](#)

Webサーバ [287](#)

ネットワークサーチサービス [315](#)

6.1 Microsoftネットワーク

Microsoft Windows NetworkでNASへのアクセスを許可するには、Microsoftネットワーク用のファイルサービスを有効にします。ユーザーの認証方法も指定してください。

The screenshot shows a web interface for configuring Microsoft Network services. The breadcrumb navigation at the top reads "ホーム >> ネットワーク サービス >> Microsoft ネットワーク". The user is logged in as "admin" and the language is set to "日本語". The main heading is "Microsoft ネットワーク". There are two tabs: "MICROSOFT ネットワーク" (selected) and "詳細オプション". The configuration area is titled "Microsoft ネットワーク" and contains the following options:

- Microsoft ネットワーク向けのファイルサービスを有効にする
 - サーバの説明(任意):
 - ワークグループ:
- スタンドアロンサーバ
- ADドメインメンバ(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。
- LDAPドメイン認証(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。

現在のSamba ID S-1-5-21-325120726-1639715159-2191483818

A "適用" (Apply) button is located at the bottom right of the configuration area.

スタンドアロンサーバ

認証にはローカルユーザーを使用します。NASはローカルのユーザーアカウント情報(「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Users (ユーザ)」で作成)を使用して、NASにアクセスするユーザーを認証します。

- サーバの説明(オプション): ユーザーがMicrosoft Networkのサーバーを容易に識別できるように、NASを説明します。
- ワークグループ: NASが属するワークグループを指定します。ワークグループ名は15文字までサポートされますが、以下を含むことはできません。

" + = / \ : | * ? < > ; [] % , `

ADドメインメンバ

AD(Microsoft Active Directory)を使ってユーザーを認証します。このオプションを使用するには、「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Domain Security (ドメインのセキュリティ)」でActive Directory認証を有効にし、NASをActive Directoryに結合します。

LDAPドメイン認証

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol): ライトウェイト・ディレクトリ・アクセス・プロトコル)ディレクトリを使って、ユーザーを認証します。このオプションを使うには、LDAP認証を有効にして、「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Domain Security (ドメインのセキュリティ)」で設定を指定します。このオプションが有効になっている場合、ローカルのNASユーザーを選択する必要があります。選択しないと、LDAPユーザーがMicrosoft Networkingを通してNASにアクセスできます。

拡張オプション

Microsoft ネットワーク

MICROSOFT ネットワーク 拡張オプション

拡張オプション

- WINSサーバを有効にする
- 指定のWINSサーバの使用
WINS IPアドレス 0 . 0 . 0 . 0
- ローカルマスターブラウザ
- NTLMv2 認証のみを許可する。
- 名前解析の優先度 : DNS のみ ▼
- ログインスタイル: FTP、AFP、ウェブファイルマネージャにはドメイン+ユーザー名の代わりにドメイン/ユーザー名 を使用
- DNSへの自動登録
- 信頼できるドメインを有効化する

適用

WINSサーバ

ローカルネットワークにWINSサーバが取り付けられていない場合、IPアドレスを指定してください。NASはWINSサービスにその名前とIPアドレスを自動的に登録します。ネットワーク内にWINSサーバがあって、そのサーバを使用する場合は、WINSサーバのIPを入力します。この設定について確信がないときは、このオプションを効にしないでください。

ドメインマスター

リソースとサービスを収集しレコードするために、独特なドメインマスターブラウザをネットワークまたはWindowsのワークグループ内のそれぞれのPCに対して使用できます。ドメインマスターブラウザ(Windows NT/ 200x/ XP PC)がネットワークにすでに存在する場合、ドメインマスターとしてNASを設定する必要はありません。

ネットワークコンピュータにアクセスするための待機時間が長すぎる場合、既存のマスターブラウザに障害があるか、またはマスターブラウザを使用できないことが原因であると考えられます。原因が後者である場合、このセクションでボックスドメインマスターをチェックし、NASをマスターブラウザとして設定すると、ネットワークコンピュータの情報へのアクセス速度を向上することができます。この設定について確信がないときは、このオプションを効にしないでください。

NTLMv2認証のみ許可する

NTLMv2とはNT LAN Manager version 2の略です。このオプションがオンの場合、NTLMv2認証がある場合に限りMicrosoft Networking (Microsoftネットワーク) を使用しての共有フォルダへのログインが可能になります。オプションがオフの場合は、デフォルトでNTLM (NT LAN Manager) が使用され、NTLMv2はクライアントによってネゴシエートされます。デフォルト設定は無効です。

名前解決優先度

DNSサーバまたはWINSサーバを選択して、IPアドレスからクライアントホスト名を取得することができます。NASがWINSサーバを使用するようセットアップするか、あるいはWINSサーバとなるようセットアップすると、名前解決のためにDNSとWINSのどちらをはじめに使用するかを選択することができます。WINSが効の場合、デフォルト設定は 'Try WINS then DNS' (まずWINSを試行し続いてDNS) となります。WINSが効でない場合は、デフォルトでDNSが名前解決に使用されます。

ログインスタイル:FTP、AFP、ウェブファイルマネージャにはドメイン+ユーザー名の代わりにドメイン¥ユーザー名を使用。

アクティブディレクトリ環境では、ドメインユーザーのデフォルトログイン形式は以下のとおりです:

Windows共:ドメイン¥ユーザー名

FTP:ドメイン+ユーザー名

Web File Manager (ウェブファイルマネージャ):ドメイン+ユーザー名

AFP:ドメイン+ユーザー名

このオプションがオンの場合は、ユーザーは同一のログイン名形式 (ドメイン¥ユーザー名) を使用してサービスに接続することができます。

DNSにて自動登録 : このオプションがオンの際にNASがアクティブディレクトリと結合されている場合、NASはドメインDNSサーバに自動的に登録されます。これにより、DNSサーバ内でのNASのDNSホストエントリが作成されます。NAS IPが更された場合は、NASは自動的に新IPをDNSサーバに対し更新します。

信頼ドメインを有効にする : このオプションを選択して信頼できるアクティブディレクトリドメインからユーザーをロードし、「Access Right Management(アクセス権管理)」>「Share Folders(共有フォルダ)」でユーザーのアクセス許可をNASに指定します。(ドメイン信頼は、NASではなく、アクティブディレクトリでのみセットアップされます)。

6.2 Appleネットワーク

Mac から NAS に接続するには、Apple ファイリングプロトコルを有効にします。AppleTalk ネットワークが拡張ネットワークを使用し、複数ゾーンに割り当てられている場合、NAS にゾーン名を割り当てます。アスタリスク(*)を入力して、初期設定を使用します。この設定は初期設定では無効になっています。

Mac OS X 10.7 Lion から NAS へのアクセスを許可するには、「DHX2 Authentication Support (DHX2 認証のサポート)」を有効にします。「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。

Apple ネットワーク

Apple ネットワーク

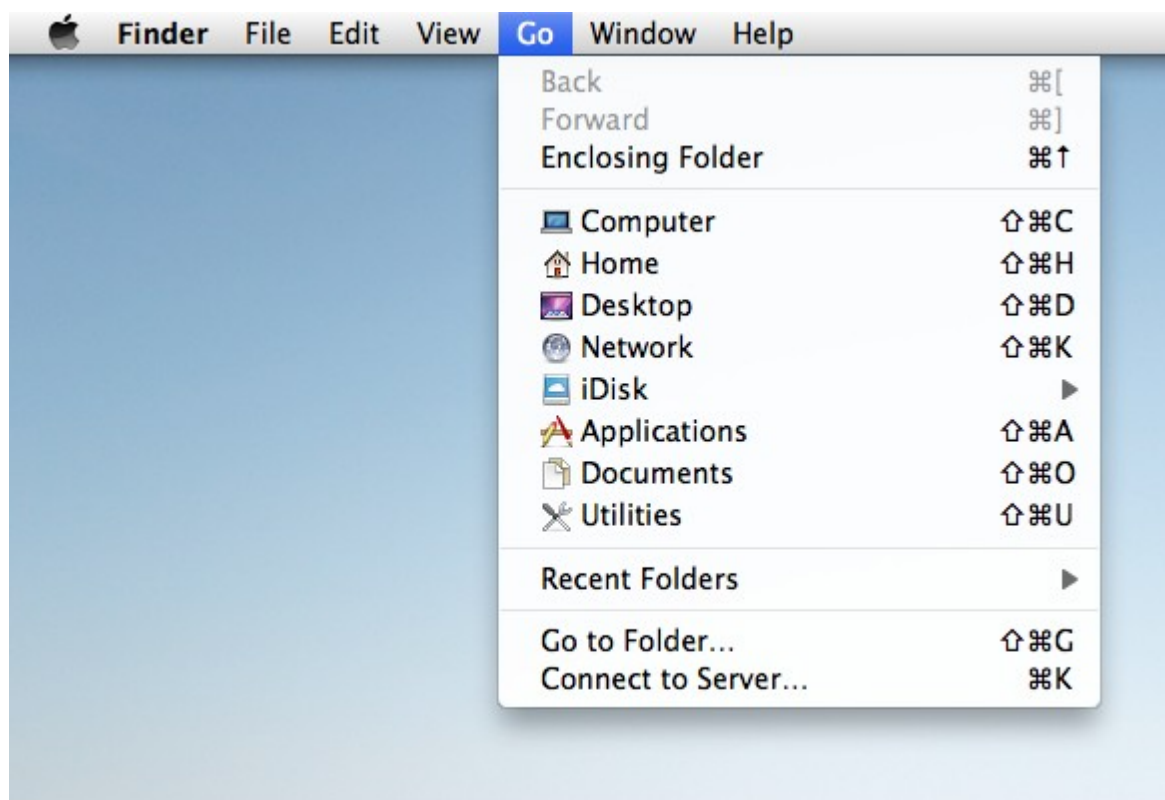
Apple Filing Protocolを有効にする

ゾーン: *

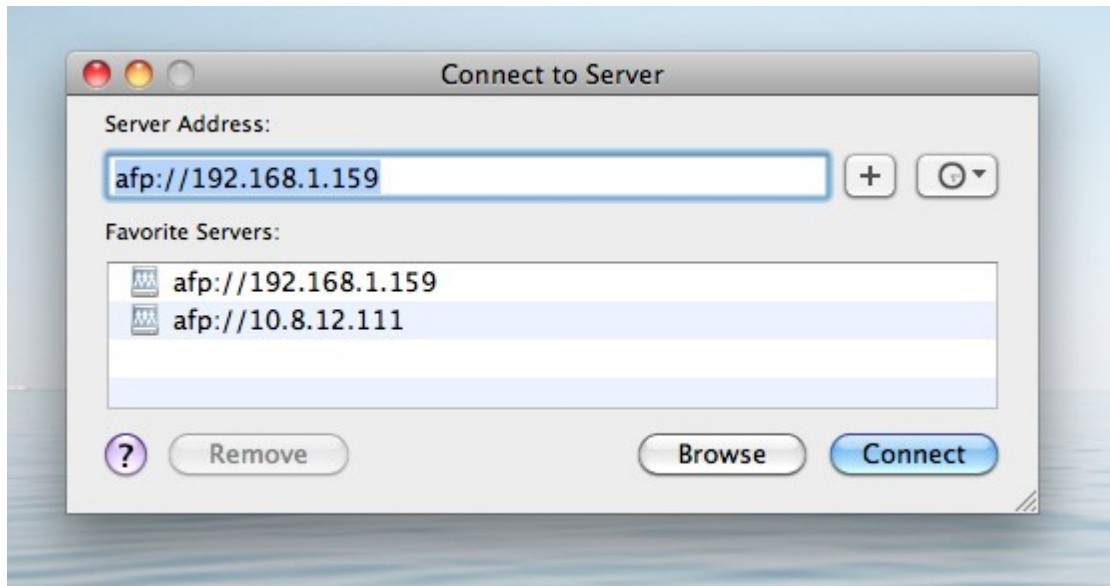
DHX2認証のサポート

適用

ファインダーを使ってMacから共有フォルダに接続できます。「Go(移動)」>「Connect to Server(サーバーに接続)」をポイントするか、デフォルトのキーボードショートカット「Command+k」を使用します。



「afp://YOUR_NAS_IP_OR_HOSTNAME」などの、「Server Address (サーバーアドレス)」フィールドに接続情報を入力します。
以下に例を上げます:
afp://10.8.12.111
afp://NAS-559
smb://192.168.1.159



注: Mac OS XはApple Filing ProtocolとMicrosoft Networkingをどちらもサポートします。Apple Filing ProtocolによってNASに接続するには、サーバーアドレスが「afp://」で始まる必要があります。Microsoft NetworkingによってNASに接続するには、「smb://」を使用してください。

6.3 NFSサービス

LinuxからNASにアクセスするには、NFSサービスを効にします。



NAS上の共フォルダのNFSアクセス権設定を構成するには、"Access Right Management" (アクセス権管理) > "Share Folders" (共フォルダ) を開いてください。"Action" (アクション) 列のNFSボタンをクリックします。



ネットワーク共に対するアクセス権限を特定します。"No limit" (制限なし) あるいは "Read only" (読込のみ) を選択した場合は、NFSによって共ファイルに接続することのできるIPアドレスあるいはドメインを特定することができます。

- 制限なし:ネットワーク共およびその全てのサブディレクトリ内にて、ユーザーはファイルあるいはフォルダを作成、読込み、書込み、および削除することができます。
- 読込のみ:ネットワーク共およびその全てのサブディレクトリ内にて、ユーザーはファイルあるいはフォルダを読込むことができますが、書込み、作成、あるいは削除することはできません。
- アクセス拒否:ネットワーク共に対する全てのアクセスを拒否します。

NFSアクセスコントロール

QNAP
TURBO NAS

NFSアクセスコントロール

ネットワーク共有のNFSアクセス権を設定できます。

ネットワーク共有名: Download

アクセス権: 制限なし

許可するIPアドレスまたはドメイン名

10.8.13.139, 10.8.12.72, 10.8.12.73

注: 入力するフォーマットが正しいことを確認してください。フォーマットが正しくないと、アクセスエラーになることがあります。

Step 1 of 1

適用 キャンセル

NFSを使用してNASに接続

Linuxでは、以下のコマンドを実行します:

```
mount -t nfs <NAS IP>:/<Network Share Name> <Directory to Mount>
```

例えば、NASのIPアドレスが192.168.0.1で、/mnt/pubディレクトリ内のネットワーク共フォルダ「public」にリンクする場合、以下のコマンドを使用します:

```
mount -t nfs 192.168.0.1:/public /mnt/pub
```

注：上記コマンドを初期化するには、「root」ユーザーでログインしてください。

定義したユーザーIDでログインすると、マウントしたディレクトリを使ってネットワーク共ファイルにアクセスできます。

6.4 FTPサービス

FTPサービスを効にするとき、サービスのポート数とFTPに同時に接続されているユーザーの最大数を定義できます。

FTP設定

一般

有効

プロトコルタイプ： FTP (標準)
 SSL/TLS (明示的)のある FTP

ポート番号：

ユニコードサポート： はい いいえ

匿名を有効にする： はい いいえ

注意: FTPクライアントがユニコードをサポートしていない場合、**「いいえ」**を選択し、**[全般設定]-[ファイル名の言語設定]**から、サポートされている言語を選択してください。

接続

すべてのFTP接続の最大数：

単一アカウントの最大接続数：

FTP転送制限を有効にする

最大アップロード速度 (KB/s)： KB/s

最大ダウンロード速度 (KB/s)： KB/s

NASのFTPサービスを使用するには、この機能を効化します。IEブラウザを開き、ftp://[NAS IP]と入力します。ユーザー名及びパスワードを入力しFTPサービスにログインします。

プロトコルタイプの選択

標準のFTP接続またはSSL/TLS暗号化FTPの使用を選択します。お使いのクライアントFTPソフトウェアで対応するプロトコルタイプを選択し、正常に接続されることを確認します。

ユニコードのサポート

ユニコードサポートを効/無効を選択します。初期設定は無効です。ほとんどのFTPクライアントは現在ユニコードに対応していないため、ここでユニコードサポートを無効にし、FTPのフォルダとファイルが正しく表示されるように、「システム管理」>「全般設定」ページでOSと同じ言語を選択することをお勧めします。FTPクライアントがユニコードに対応している場合、クライアントとNASの両方に対してユニコードを効にしていることを確認してください。

自動ログイン

anonymousログインを使用すれば、NASのFTPサーバに匿名でアクセスできます。ユーザーは公共アクセス用のファイルとフォルダに接続できます。このオプションをオフにした場合、ユーザーは認証済みユーザー名とパスワードを入力しないとサーバに接続できません。

パッシブFTPポート範囲

デフォルトのポート範囲(55536-56559)を使用するか、または1024より大きなポート範囲を定義できます。この機能を使用しているとき、ルータまたはファイアウォールで、設定されたポート範囲が開いていることを確認してください。

FTP転送制限

すべてのFTP接続の最大数、単一アカウントの最大接続および単一接続の最大アップロード/ダウンロード速度を設定することができます。

受動FTP接続要求に対して外部IPアドレスで応答

受動FTP接続が使用中でFTPサーバがルータ下で設定されているとき、リモートコンピュータがWAN経由でFTPサーバに接続できない場合、この機能を効にできます。この機能を効にすることによって、FTPサービスは指定されたIPアドレスに手動で応答したり、外部IPアドレスを自動で検出できるため、リモートコンピュータはFTPサーバに正常に接続できます。

6.5 Telnet/SSH

このログインを効にした後、TelnetまたはSSH暗号化接続を介してこのサーバーにアクセスできます(アカウント「admin」のみがリモートでログインできます)。接続に対して特定のTelnetまたはSSH接続クライアント、たとえばputtyを使用できます。この機能を使用しているとき、ルータまたはファイアウォールで設定されたポートを開いていることを確認してください。

SFTP (SSH File Transfer Protocol (SSHファイル転送プロトコル)あるいは Secure File Transfer Protocol (セキュリティファイル転送プロトコル)として知られます)を使用するには、"Allow SSH connection" (SSH接続を許可) のオプションをオンにするよう注意してください。

Telnet / SSH

Telnet / SSH

このオプションを有効にした後、TelnetまたはSSH接続を介してこのサーバーにアクセスできます。(アカウント管理者のみがリモートでログインできます。)

Telnet接続を許可する
ポート番号

SSH接続を許可する
ポート番号

SFTPを有効にする

6.6 SNMP設定

SNMP(シンプルネットワークマネジメントプロトコル)サービスをNASにて効化し、SNMP管理ステーション(SNMPマネージャ、例えばSNMPソフトウェアがインストールされているPC)のトラップアドレスを入力することができます。NASにてイベント、警告、またはエラーが生じた際、(SNMPエージェントとしての)NASはSNMP管理ステーションにリアルタイムでアラートを報告します。

フィールドの説明は以下の通りです:

フィールド	説明
SNMPトラップレベル	SNMP管理ステーションに送信される情報の種類を選択します。
イベント送信	SNMPマネージャに報告するイベントのタイプを選択します。詳細ログは「システムログ」のページで表示することができます。
SNMP MIB(管理情報ベース)	MIBはASCIIテキスト形式のデータベースのタイプで、SNMPネットワーク内のNASの管理に使用されます。SNMPマネージャはMIBを使用することでネットワーク内のエージェント(NAS)によって送信されたメッセージを理解、または価値判断することができます。すべてのワードプロセッサあるいはテキストエディターによって、MIBをダウンロードし表示することができます。
コミュニティ(SNMP V1/V2)	SNMPコミュニティストリングは、パスワードとして機能するテキストストリングです。これは、管理ステーションとNASの間で送信されたメッセージの認証に使用されます。コミュニティストリングは、SNMPマネージャとSNMPエージェントとの間で送信される各パケットに含まれています。
SNMP V3	NASはSNMPバージョン3をサポートしています。使用可能な場合、認証及びプライバシー設定を入力することができます。

SNMP設定

SNMP

このサービスを有効化した後、NASはSNMPを経由して管理システムに情報を報告できるようになります。

SNMPサーバを有効にする

ポート番号:

SNMPトラップレベル: 情報 警告 エラー

トラップアドレス 1:

トラップアドレス 2:

トラップアドレス 3:

SNMPバージョン:

コミュニティ:

SNMP MIB

MIBを管理システムにインストールするには、**[ダウンロード]**をクリックしてください。

[ダウンロード](#)

6.7 Webサーバ

NASを使えば、ウェブサーバ機能により、ウェブページをアップロードして独自のウェブサイトを管理するのが容易にできます。また、インタラクティブなウェブサイトを確立するJoomla!、PHPやSQLiteにも対応しています。

ホーム >> ネットワーク サービス >> Webサーバ ようこそ admin | ログアウト 日本語

Webサーバ

WEBサーバ | **仮想ホスト**

Webサーバ

この機能を有効にすると、「Web」ネットワーク共有にWebページファイルをアップロードして、Webサイトを公開できます。

- Webサーバを有効にする ?
ポート番号:
register_globals: オン オフ
- セキュア接続(SSL)を有効にする
ポート番号:
- WebDAVを有効にする
- ログインページにサービスリンクを表示する

このサービスを有効にすると、次のリンクからWebサーバにアクセスできます。

<http://10.8.12.111:80/>
<https://10.8.12.111:8081/>

php.iniのメンテナンス

- php.iniのメンテナンス

php.iniファイルは、Webサーバのシステムコンフィギュレーションファイルです。この機能を有効にすると、このファイルを編集、アップロード、または復元できます。システムのデフォルト設定を使用することを推奨します。

ウェブサーバを使用するには、以下の手順に従ってください。

1. サービスを効化し、ポート番号を入力してください。初期設定値は80です。

2. その他の設定を構成します:

- register_globals の設定

register_globalsを効または無効にするように選択します。設定は、デフォルトでは無効になっています。ウェブプログラムがPHP register_globalsを効にするように要求する場合は、register_globalsを効にしてください。ただ、システムセキュリティ上、このオプションは無効にすることを推奨します。

- php.iniを編集する

php.ini メンテナンスがphp.ini を効にして、編集、アップロードおよび修復できます。

注:PHP mail()機能を使用するには、「システム管理」 > 「通知」 をポイントしてSMTPサーバーを設定します

- セキュリティ接続(SSL)

SSL接続用のポート番号を入力します。


3. HTMLファイルをNAS上の共フォルダ (Qweb/ Web) にアップロードします。ウェブページのホームパスは、file index.html、index.htm、あるいはindex.php となります。

4. "Web Server" (ウェブサーバ) ページ上のリンク(http://NAS IP/)をクリックするか、あるいはNASのログインページ上の"Web Server" (ウェブサーバ) をクリックしてアップロードしたウェブページにアクセスします。 Web Server (ウェブサーバ) が効な際は、NASのログインページにアクセスするには、ウェブブラウザに[http://NAS IP アドレス:8080] と入力する必要があります。

WebDAV

WebDAV (Web-based Distributed Authoring and Versioning)はHTTPプロトコル向けの拡張子のセットで、これによりユーザーはリモートウェブサーバ上のファイルの編集または管理を行うことができます。この機能を効化すると、インターネットを通してNASの共フォルダをリモートPCのネットワークドライブとしてマップすることができます。アクセス権設定を編集するには、“Access Right Management” (アクセス権管理) > “Share Folders” (共フォルダ) ページに移動してください。

ご使用のPCのネットワークドライブとしてNAS上の共フォルダをマップするには、NAS上のWebDAVを効化し、以下の手順に従ってください。

「アクセス権管理」>「共フォルダ」>「共フォルダ」をクリックします。「動作」カラムにある「WebDAVアクセスコントロール」ボタン  をクリックして、ユーザーの共フォルダへのWebDAVアクセス権を設定します。

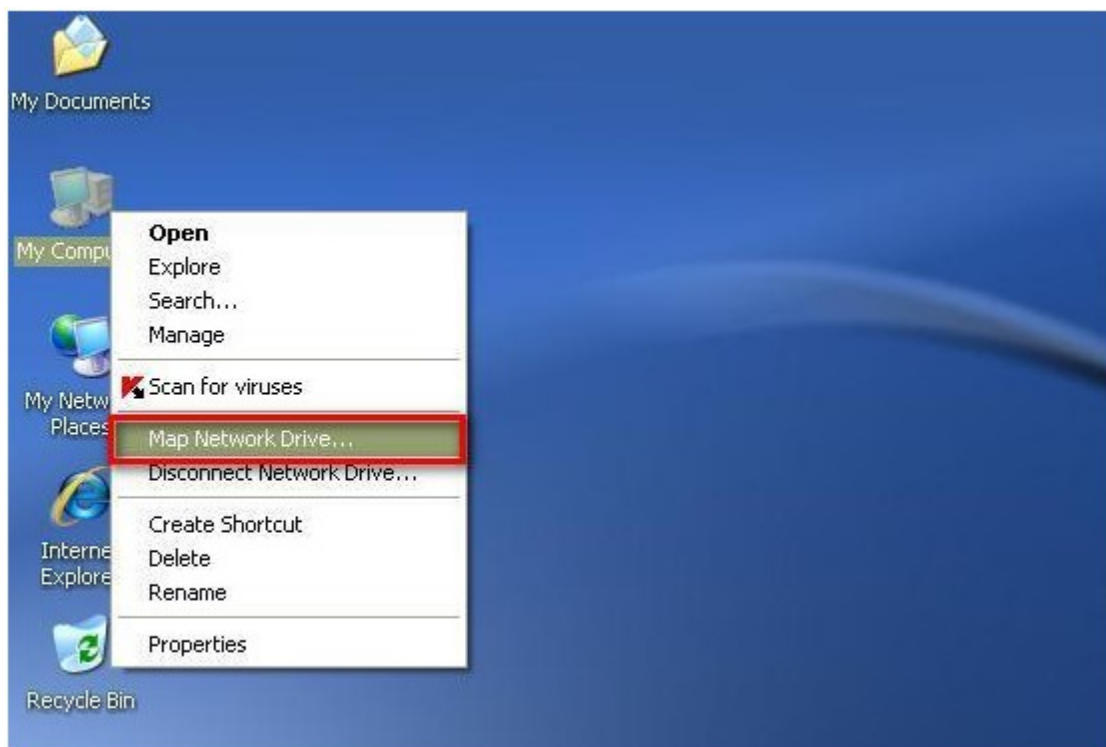


<input type="checkbox"/>	フォルダ名	サイズ	フォルダ	ファイル	非表示	アクション
<input type="checkbox"/>	Dept	64 KB	13	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Download	400.23 MB	9	14	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Multimedia	16.84 GB	69	583	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Network Recycle Bin 1	28 KB	4	2	いいえ	  NFS   
<input type="checkbox"/>	Public	30.1 GB	318	1668	いいえ	  NFS   

次に、WebDAVによって、ご使用のオペレーティングシステム上のネットワーク共フォルダとしてNASのネットワーク共フォルダをマウントします。

Windows XP :

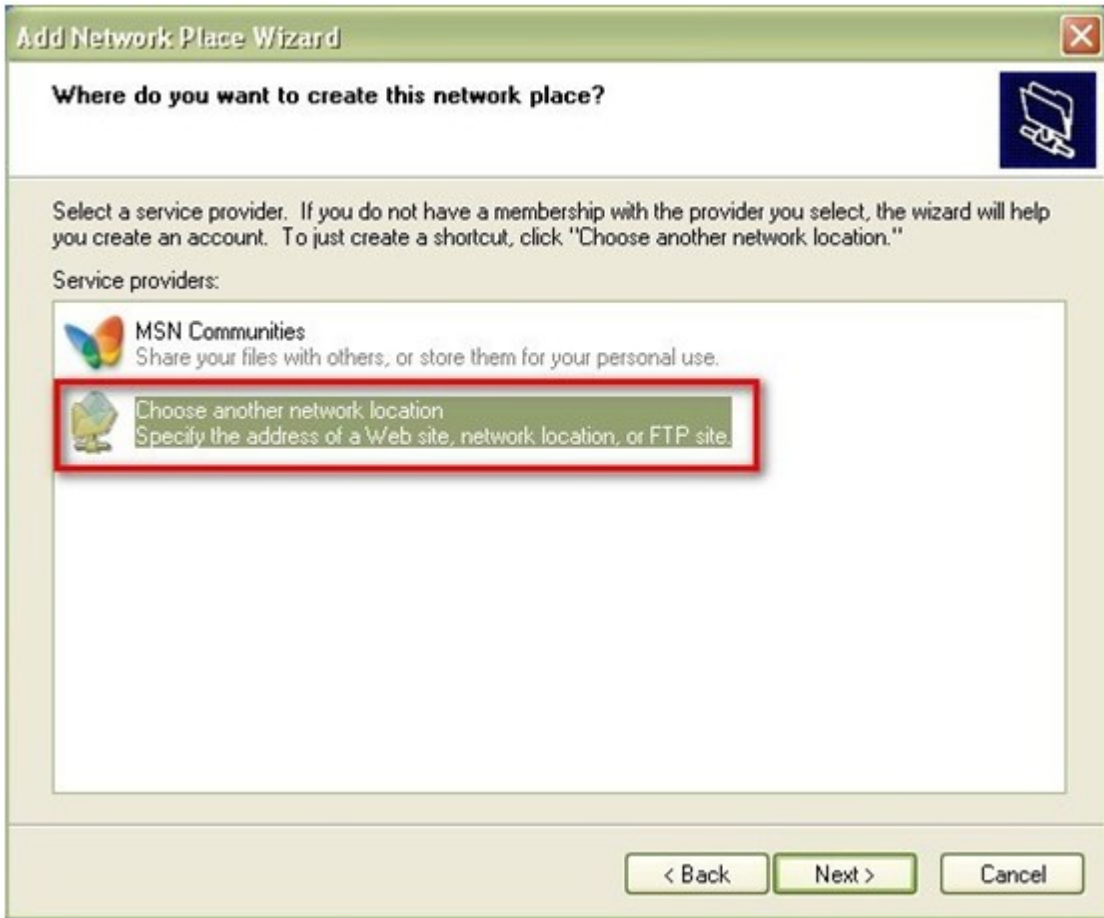
1. "My Computer" (マイコンピュータ) を右クリックし"Map Network Drive..." (ネットワークドライブをマップする) を選択します。



2. "Sign up for online storage or connect to a network server" (オンラインストレージへサインアップ、またはネットワークサーバへ接続) をクリックします。

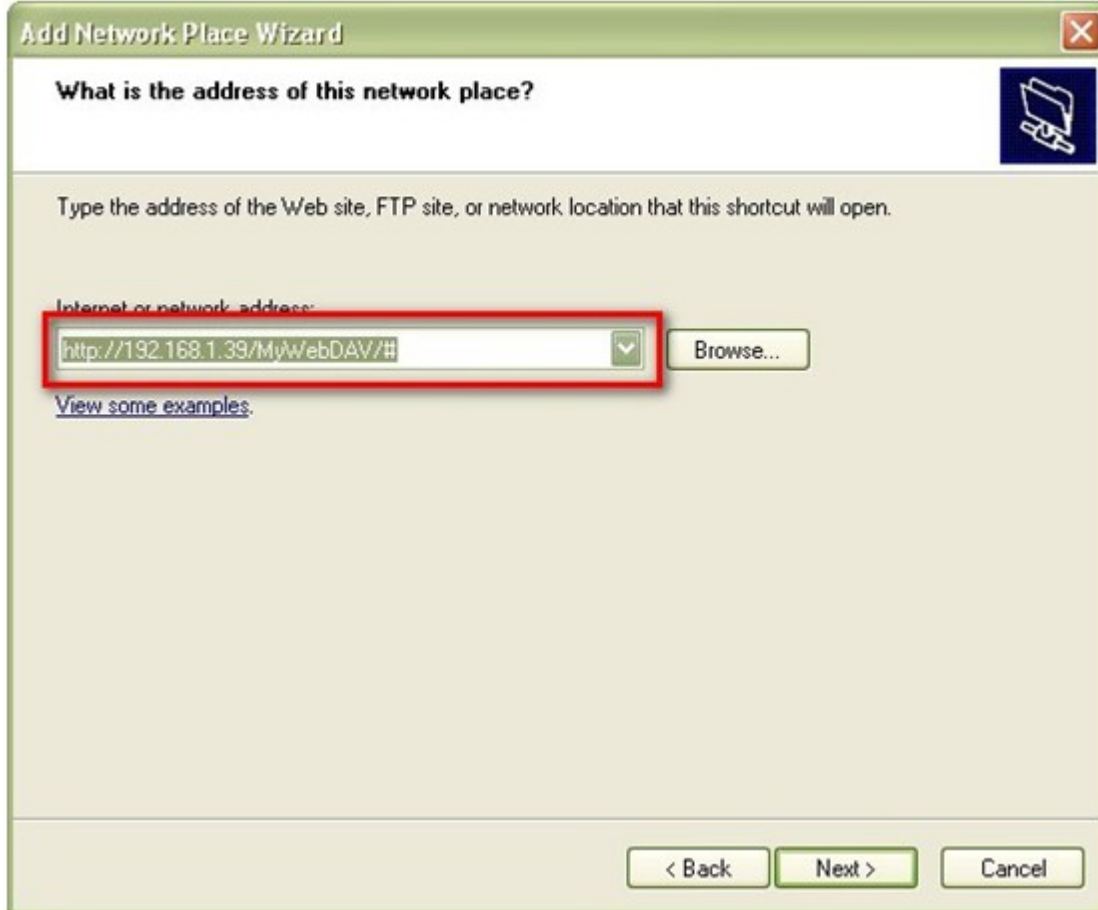


3. "Choose another network location" (他のネットワークの場所を選択する) を選択します。



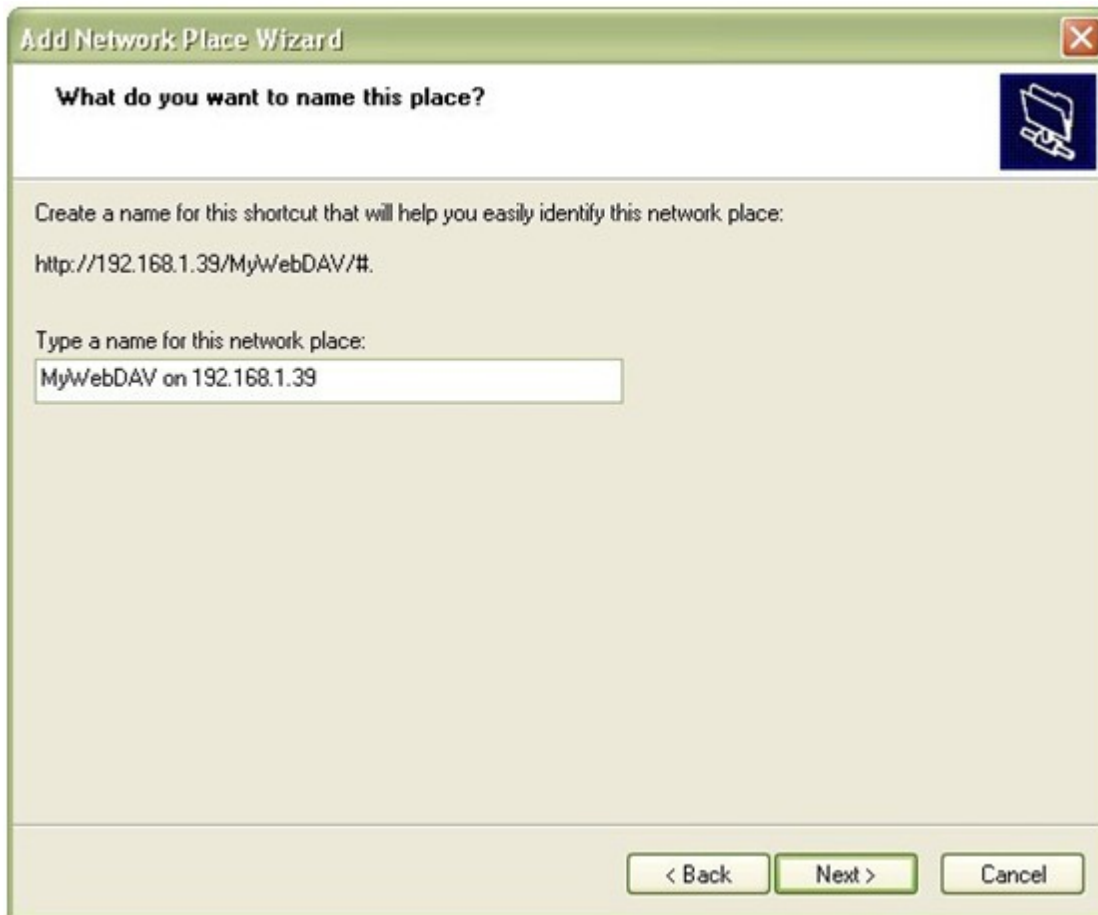
4. NASのURLを共フォルダ名と共に入力します。URLの終わりに"# "を入力するようご注意ください。"Next" (次へ)をクリックします。

フォーマット : http://NAS_IP_or_HOST_NAME/SHARE_FOLDER_NAME/# (http://NAS_IP_またはホスト名/共フォルダ名/#)



5. 共フォルダにアクセスするWebDAV権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。

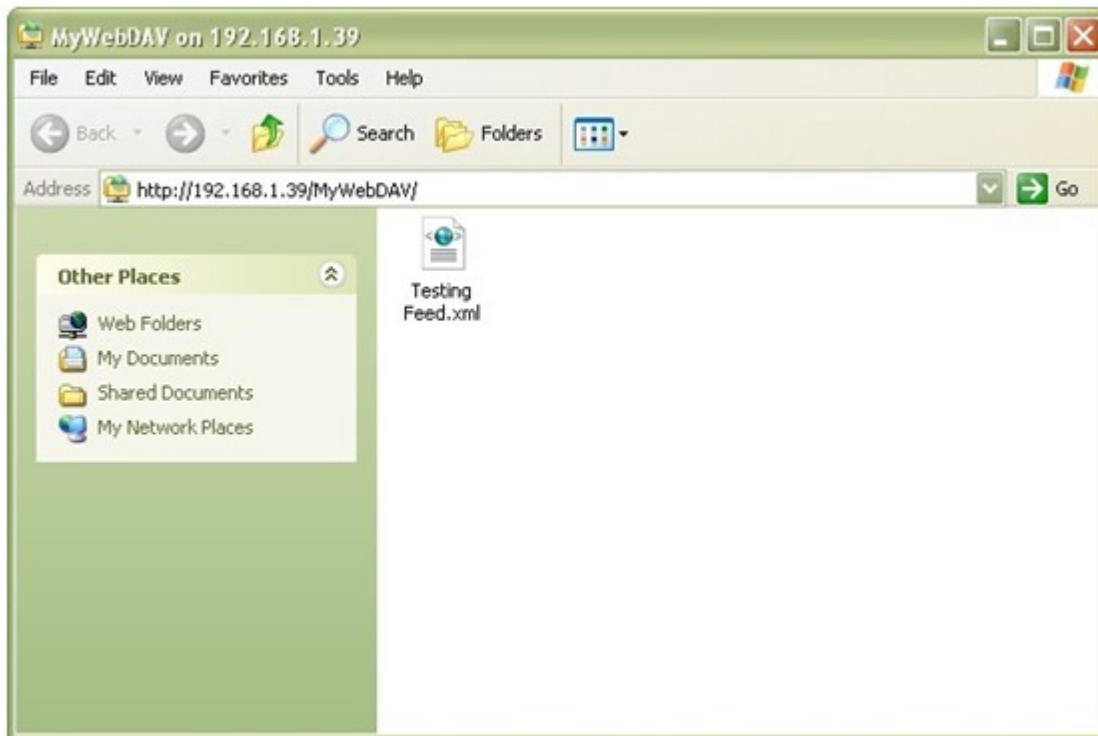
6. このネットワークプレースの名前を入力します。



7. ネットワークプレースが作成され、使用準備が整っています。



8. これでこの共有フォルダにいつでもWebDAVを使用してアクセスすることができます。"My Network Places" (マイネットワークプレース) にショートカットも作成されています。

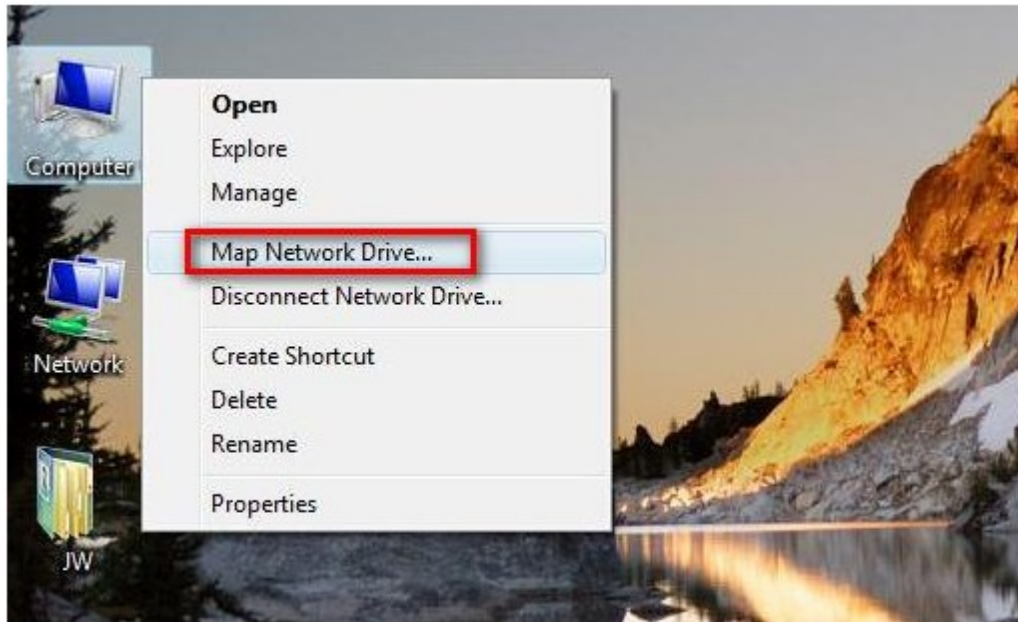


Windows Vista

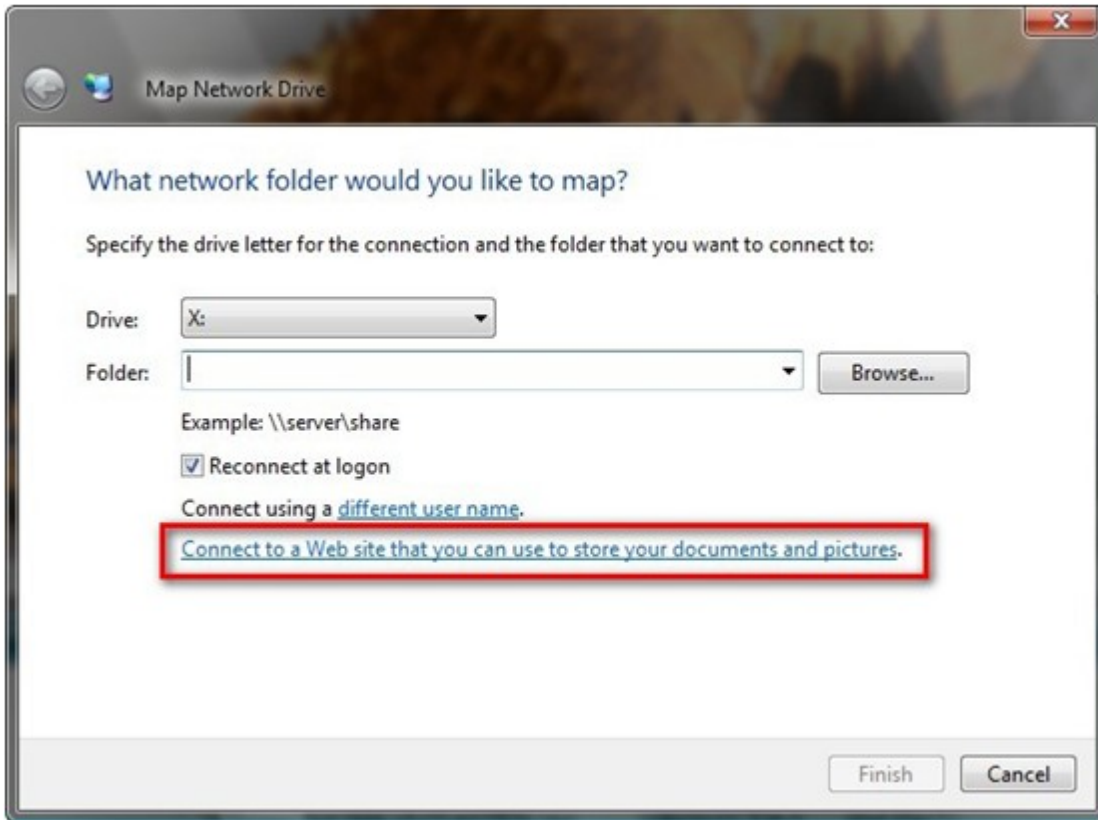
Windows Vistaをご使用の場合は、"Software Update for Web Folders" (ウェブフォルダのソフトウェア更新) (KB907306) のインストールが必要な場合があります。この更新は32ビットのWindows OSにのみ行われます。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=17c36612-632e-4c04-9382-987622ed1d64&displaylang=en>

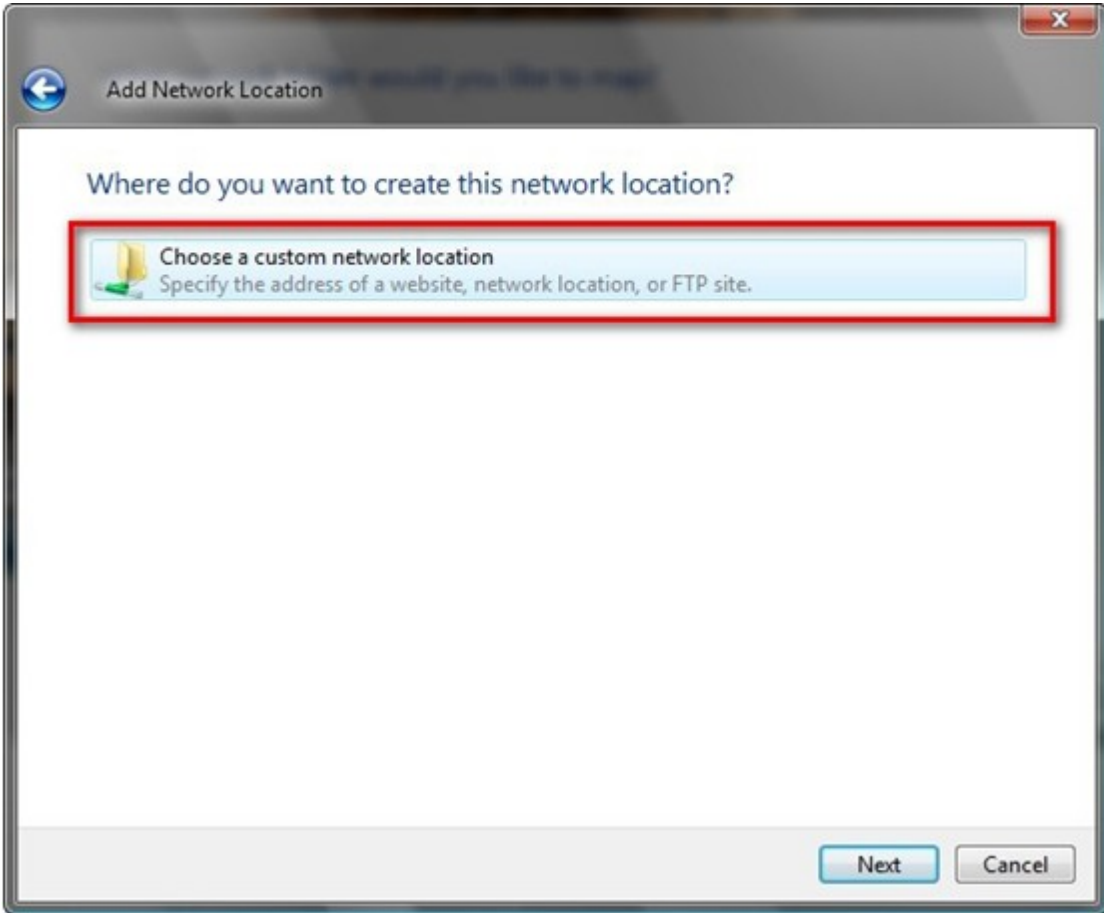
1. "Computer" (コンピュータ) を右クリックし "Map Network Drive..." (ネットワークドライブをマップする...) を選択します。



2. "Connect to a web site that you can use to store your documents and pictures" 書類や写真を保管するのに使用できるウェブサイトに接続する) をクリックします。

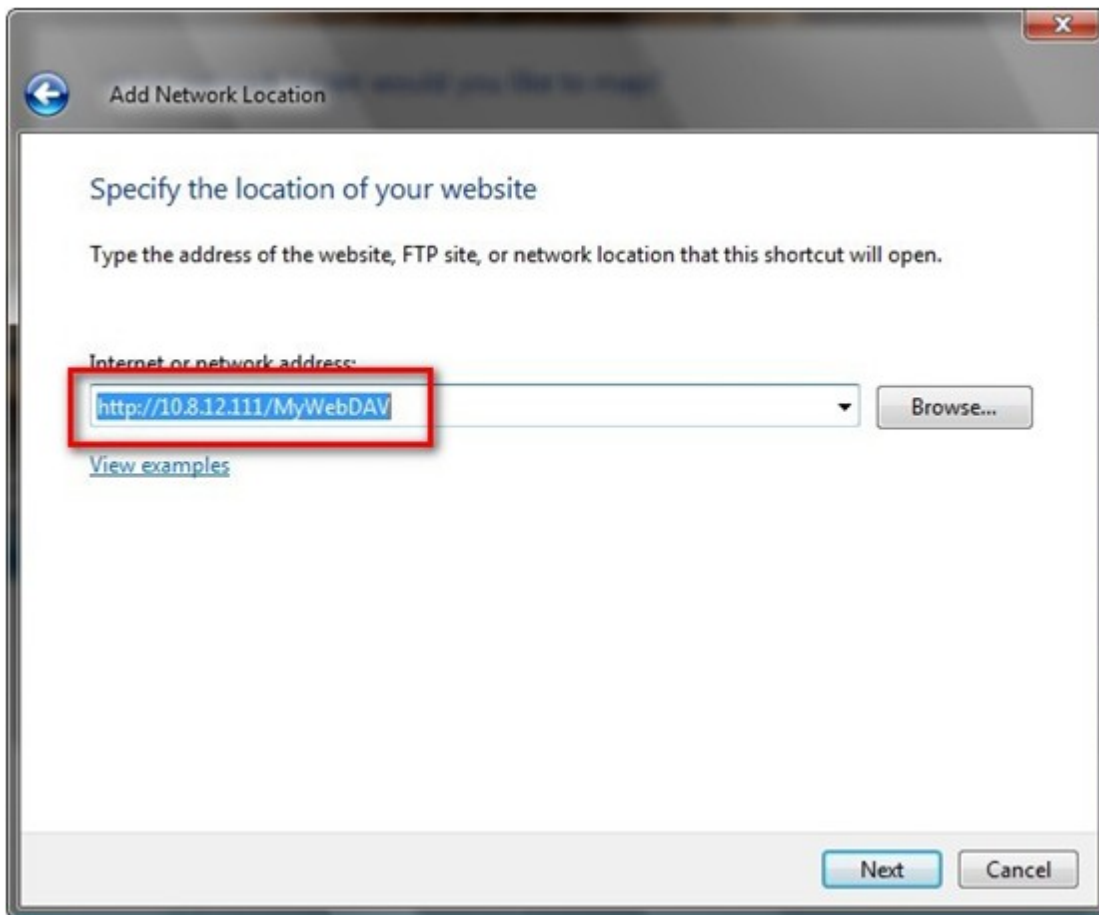


3. "Choose a custom network location" (カスタムのネットワークの場所を選択する) を選択します。



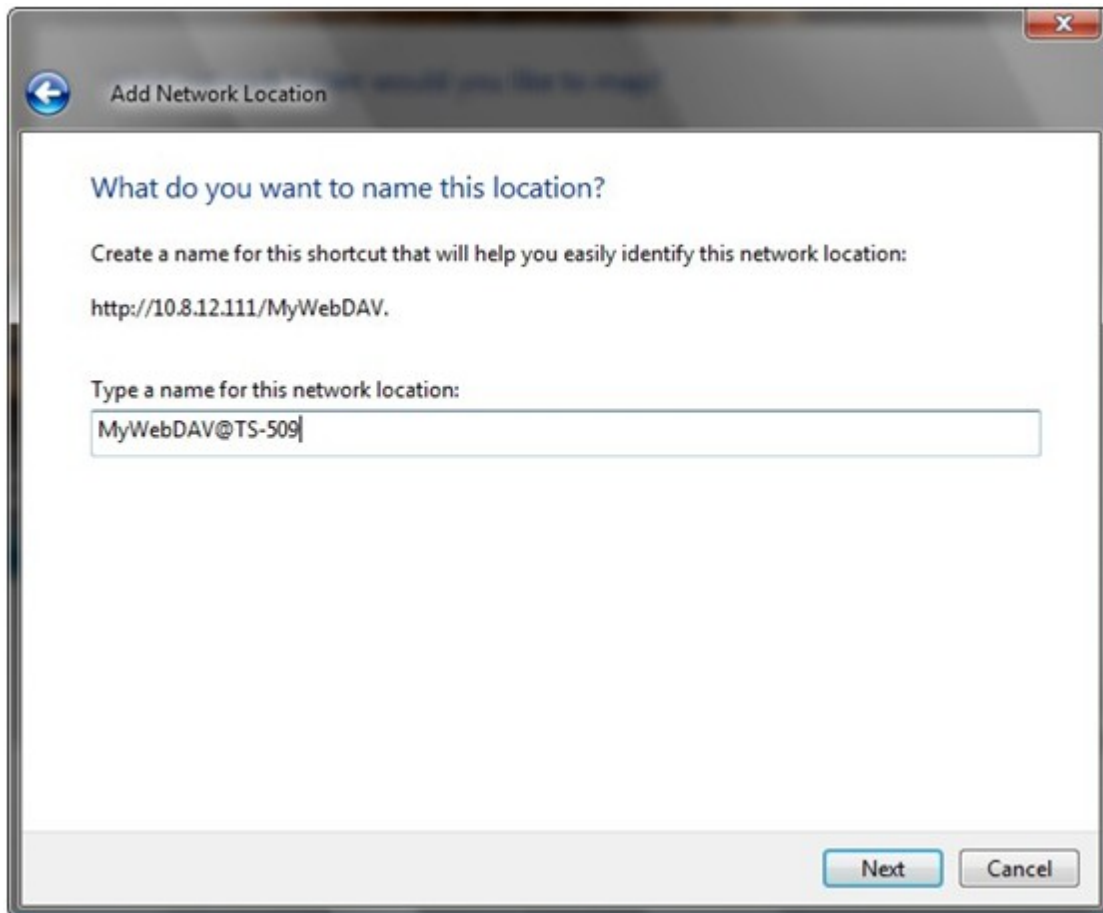
4. NASのURLを共フォルダ名と共に入力します。

フォーマット : `http://NAS_IP_or_HOST_NAME/SHARE_FOLDER_NAME` (`http://NAS_IP`またはホスト名/共フォルダ名)

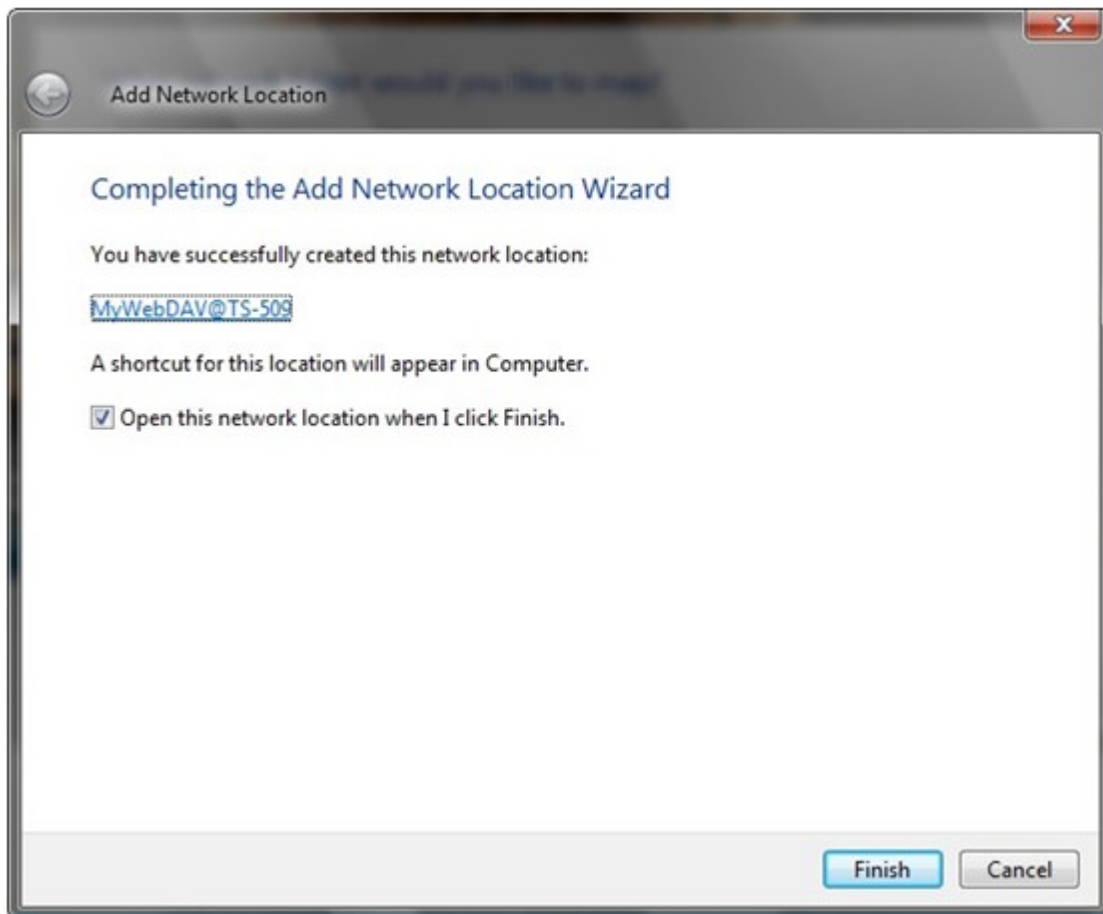


5. この共フォルダにアクセスするWebDAV権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。

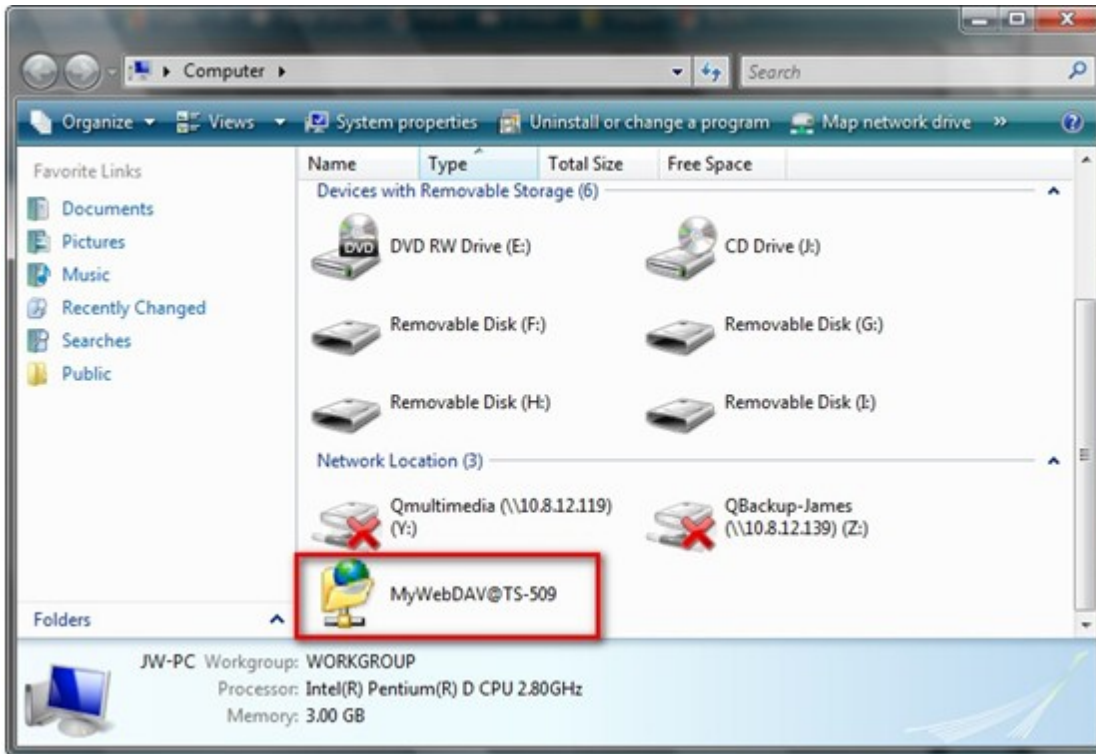
6. このネットワークの場所の名前を入力します。



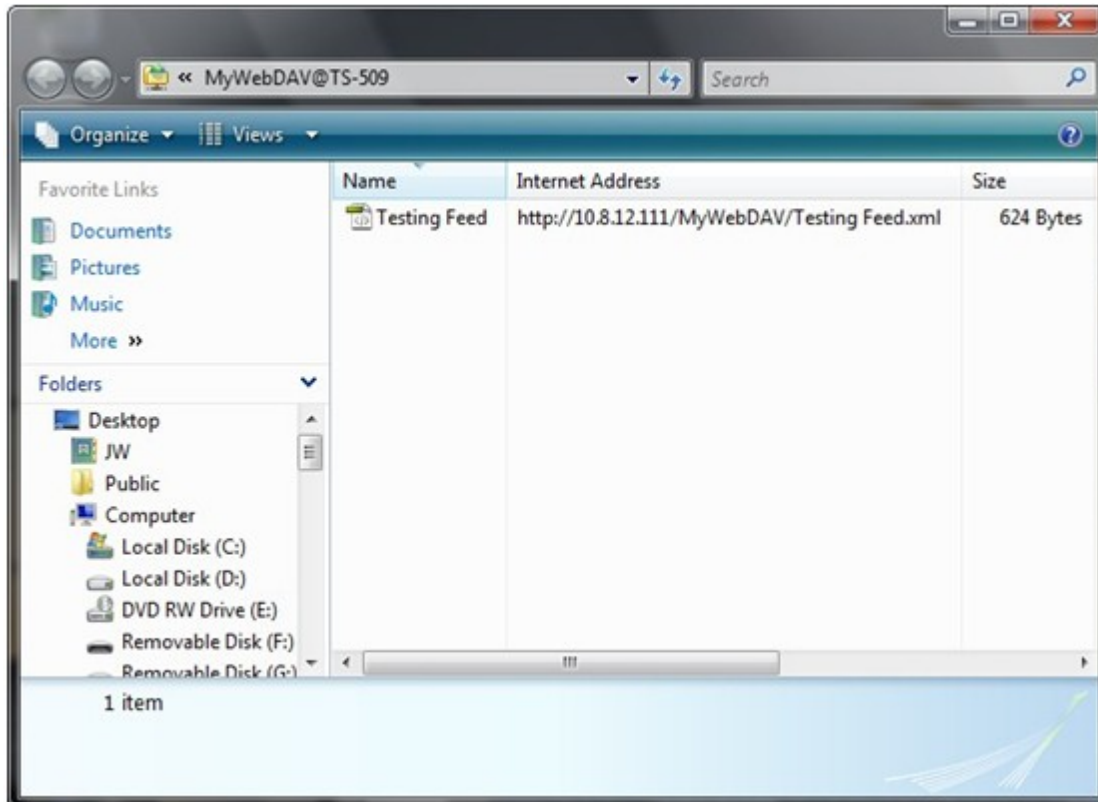
7. ウェブフォルダが正常に作成されました。



8. ウェブフォルダは "Computer" (コンピュータ) の "Network Location" (ネットワークの場所) セクションに作成されています。



9. この共フォルダにはこのリンクからHTTP/WebDAV経由でアクセスすることができます。



Mac OS X

Mac OS XのWebDAVを通してNASに接続するには以下の手順に従ってください。

クライアントオペレーティングシステム : Mac OS X Snow Leopard (10.6.1)

1. "Finder" (ファインダ) > "Connect to Server" (サーバに接続) を開き、共フォルダのURLを入力します。

フォーマット: `http://NAS_IP_or_HOST_NAME/SHARE_FOLDER_NAME` (`http://NAS_IP`または`ホスト名/共フォルダ名/`)



2. この共フォルダにアクセスするWebDAV権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。



3. この共フォルダにはこのリンクから HTTP/WebDAV 経由でアクセスすることができます。



4. ファインダの "SHARED" (共) カテゴリからマウントポイントを確認し、これをログイン項目の一つにすることも可能です。



上記の説明はMac OS X 10.6に基づいたものです。10.4以降に適用できます。

U b u n t u

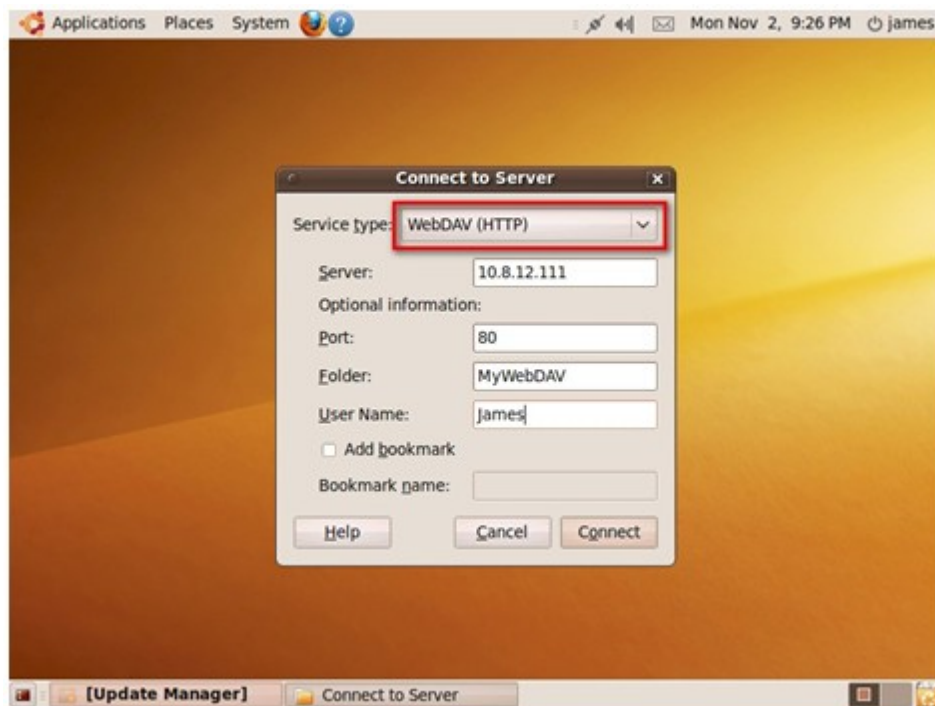
Ubuntu の WebDAVを通してNASに接続するには以下の手順に従ってください。

クライアントオペレーティングシステム: Ubuntu 9.10 Desktop

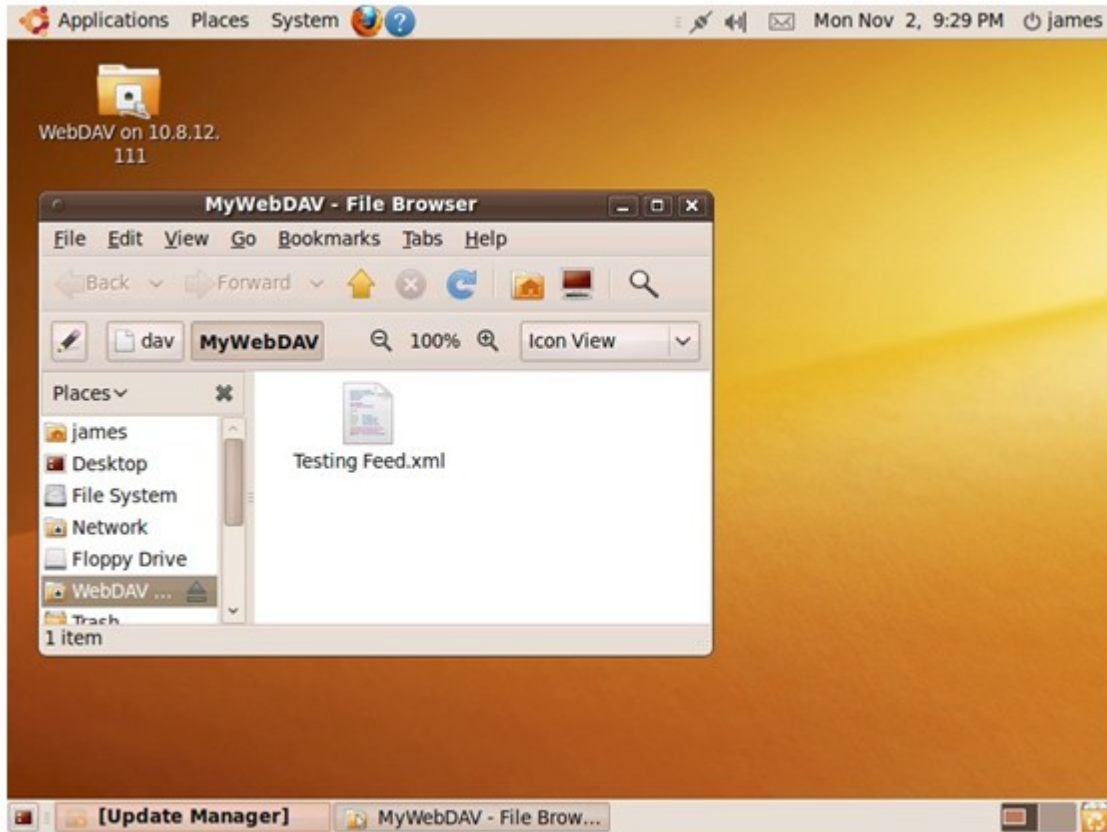
1. "Places" (場所) > "Connect to Server..." (サーバに接続) を開きます。



2. ご使用のNAS設定に合わせてService type (サービスタイプ) にて "WebDAV (HTTP)" あるいは "Secure WebDAV (HTTPS)" (セキュリティ保護WebDAV) を選択し、ホスト情報を入力します。この共フォルダにアクセスするWebDAV権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。"Connect" (接続) をクリックして接続を初期化します。



3. このWebDAV接続は正常に確立されました。リンク先フォルダはデスクトップに自動的に作成されます。



MySQL 管理

システムを初めてインストールするとき、phpMyAdminソフトウェアはMySQL管理ツールとして自動的にインストールされます。将来ファームウェアを更新するとき、phpMyAdminは再インストールされず、データベースのデータは上書きまたは更されません。

phpMyAdminプログラムファイルはQweb/ Web共フォルダに作成されます。ブラウザにURLを入力することで、フォルダ名を更しデータベースにアクセスできます。しかし、Web管理インターフェイスのリンクは更されません。

注: MySQLのデフォルトのユーザー名は「root」です。パスワードは「admin」です。phpMyAdmin管理インターフェイスにログインした後、直ちにルートパスワードを更してください。

SQLite 管理

SQLiteManagerはSQLiteデータベースを管理する多言語のウェブベースツールで、<http://www.sqlitemanager.org/>からダウンロードできます。

以下の手順に従うか、ダウンロードしたSQLiteManager-*.tar.gz? に含まれるINSTALLファイルを参照して、SQLiteManagerをインストールします。

- ダウンロードファイルSQLiteManager-*.tar.gzをアンパックします。
- アンパックしたフォルダSQLiteManager-*を\\NAS IP\Qweb\あるいは\\NAS IP\Web\にアップロードします。
- ウェブブラウザを開いて、http://NAS IP/SQLiteManager-*/にアクセスします。

?: 「*」の記号はSQLiteManagerのバージョン番号を指しています。

6.7.1 仮想ホスト

この機能により、複数のウェブサイト(最大32)をNASにてホストすることができます。

仮想ホストを使用する前に、NASのWebサーバを効化してあることを確認してください。仮想ホストを使用するには、以下の手順に従ってください。

1. "Enable Virtual Host" (仮想ホストを有効にする)を選択し、"Apply" (適用) をクリックします。
2. 続いて "Create New Virtual Host" (新規仮想ホストの作成) をクリックします。

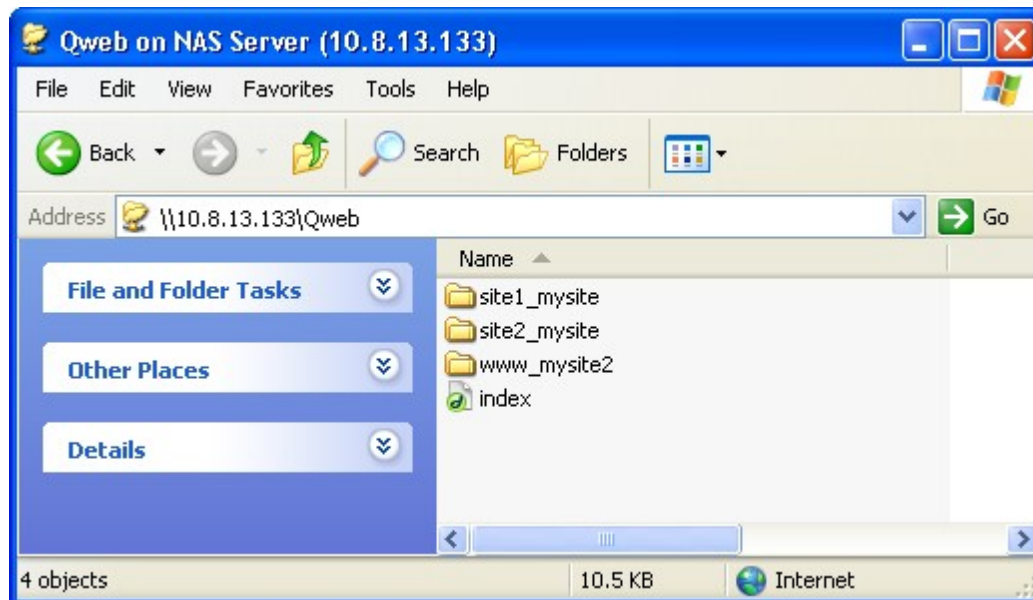
The screenshot shows the 'Webサーバ' (Web Server) configuration page. The '仮想ホスト' (Virtual Host) tab is selected. Below the tab, there is a section titled '仮想ホスト' with the text: 'この機能を有効にすると、Webファイルを各フォルダにアップロードして複数のWebサイトを作成できます。' (When this feature is enabled, you can create multiple websites by uploading web files to each folder). There is a checkbox labeled '仮想ホストを有効にする' (Enable Virtual Host) which is checked. To the right of this checkbox is an '適用' (Apply) button. Below this section is a table with columns: 'ホスト名' (Host Name), 'フォルダ名' (Folder Name), 'プロトコル' (Protocol), 'ポート' (Port), and 'アクション' (Action). A button labeled '新規仮想ホストの作成' (Create New Virtual Host) is located to the right of the table. A '削除' (Delete) button is located below the table.

3. ホスト名を入力し、ウェブファイルをアップロードするフォルダ*(WebあるいはQweb下)を指定します。
4. 接続用プロトコル(HTTPまたはHTTPS)を指定します。HTTPSを選択した場合、Webサーバーのオプションの "Enable Secure Connection (SSL)" (セキュア接続(SSL)を効にする)がオンになっていることを確認してください。
5. 接続用ポート番号を指定します。
6. "Apply" (適用)をクリックします。

*ウェブファイル用には、"Access Right Management" (アクセス権限管理) > "Share Folders" (共フォルダ) のWebあるいはQweb下に専用ファイルを作成するよう注意してください。



仮想ホストの作成後は、ウェブファイルを特定のフォルダにアップロードし、自分のウェブサイトをNAS上で公開することができます。その後、ウェブページにはその設定によりhttp://NAS_IP:ポート_番号 あるいは https://NAS_IP:ポート_番号 にて接続することができます。



6.8 ネットワークサーチサービス

UPnP探索サービス

ネットワークにデバイスが追加された際、ネットワーク上のコントロール ポイントに対し、デバイスはUPnP検出プロトコルによりそのサービスを提供することが出来ます。

UPnP検出サービスを効化することで、UPnPをサポートする全てのオペレーティングシステムがNASを検出できるようになります。

The screenshot shows a window titled "ネットワークサービスディスカバリ" (Network Service Discovery). It has two tabs: "UPnPディスカバリサービス" (UPnP Discovery Service) and "BONJOUR". The "UPnPディスカバリサービス" tab is selected. Below the tab, there is a section titled "UPnPディスカバリサービス" with the following text: "このサービスを有効にすると、UPnPがサポートされているすべてのオペレーティングシステムでNASを検出できます。" (When this service is enabled, NAS can be detected on all supported operating systems). Below this text is a checkbox labeled "UPnPサービスを有効にする" (Enable UPnP service), which is checked. At the bottom right of the window is a button labeled "適用" (Apply).

Bonjour

ご使用のMacは、Bonjourによりネットワークサービスを配信することで、NAS上で実行されているネットワークサービス(例:FTP)を、IPアドレスの入力やDNSサーバの構成の必要なしに、自動的に検出することができます。

注:各サービス(例:FTP)をセットアップページにて効化し、その後Bonjourページにてまたサービスを効化します。これにより、NASはこのサービスをBonjourを通して提供できます。

UPNP DISCOVERY SERVICE **BONJOUR**

Bonjour

Before broadcasting the following services through Bonjour, please DO NOT forget to enable these services first.

Select all

Web Administration
Service Name:

SAMBA (Server Message Block over TCP/IP)
Service Name:

AFP (Apple File Protocol over TCP/IP)
Service Name:

SSH
Service Name:

FTP (File Transfer Protocol)
Service Name:

HTTPS (Secure web server)
Service Name:

DLNA Media Server
Service Name:

7. アプリケーション・サーバー

Web File Manager [316](#)

マルチメディアステーション (Multimedia Station) [334](#)

Photo Station [393](#)

Music Station [418](#)

Download Station [447](#)

Surveillance Station [463](#)

iTunes サービス [472](#)

DLNAメディアサーバ [475](#)

MySQL サーバ [478](#)

OPKG Center [478](#)

Syslogサーバ [482](#)

RADIUS サーバ [487](#)

バックアップサーバ [497](#)

アンチウイルス [495](#)

TFTPサーバ [504](#)

VPN サービス [505](#)

LDAP サーバ [527](#)

7.1 Web File Manager

Webファイルマネージャーは、ユーザがインターネット上のNASにアクセスし、ウェブブラウザでファイルを管理することを可能にします。「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Web File Manager(Webファイルマネージャー)」でサービスを有効にします。ページのリンクをクリックし、Webファイルマネージャーにアクセスします。

ウェブファイル管理 ?

ウェブファイル管理

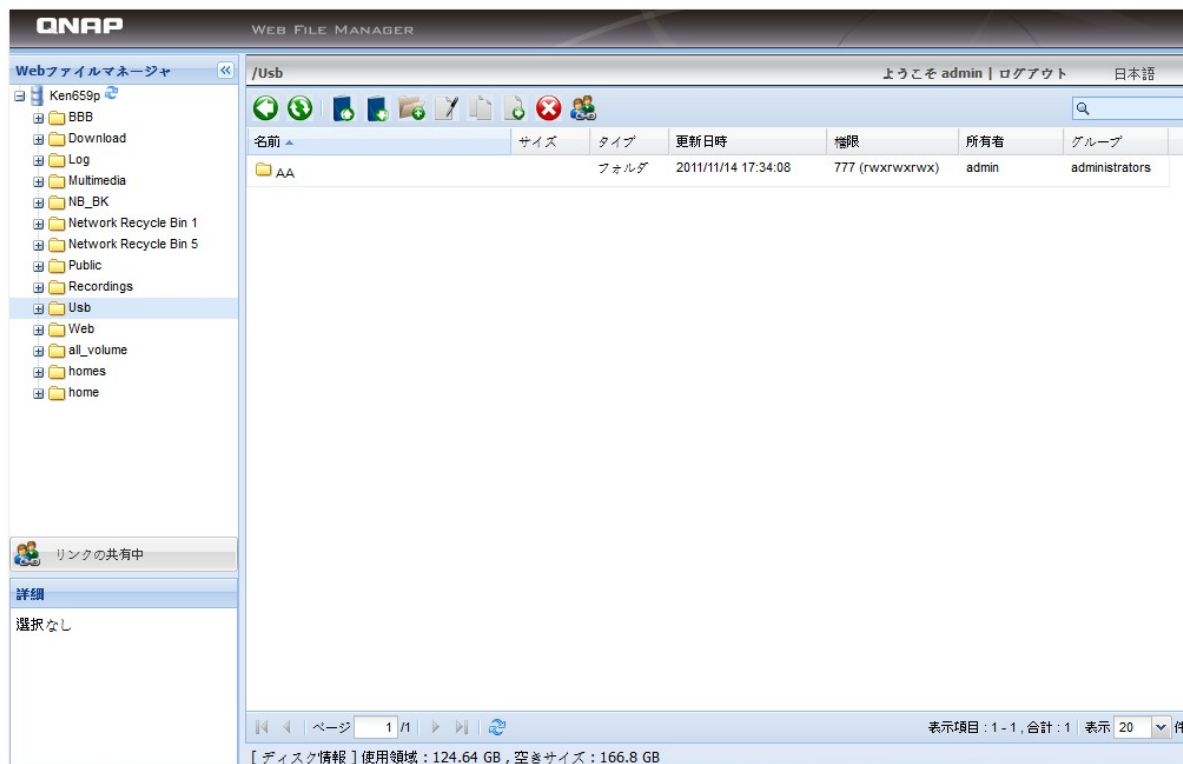
- Webファイルマネージャを有効にする
 - ログインページにサービスリンクを表示する

[適用](#)

ページ上部あるいはNASログインページの"Web File Manager"をクリックし、ウェブファイルマネージャにアクセスします。NASログインページからサービスにログインする場合、ユーザー名およびパスワードを入力する必要があります。

注：Web File Managerを使用する前に、ネットワーク共有が作成されていることを確認してください。



NASのネットワーク共有フォルダを整理することができます。ウェブファイルマネージャにより、ネットワーク共有内のファイル及びフォルダを、アップロード、ダウンロード、名前更、移動、コピー、あるいは消去することができます。



ファイルのアップロード

注：Web ファイルマネージャーを介して NAS にアップロードできるファイルの最大サイズは 2 ギガバイトです。

この機能を使用するには、Adobe Flash プラグインをご使用のウェブブラウザにインストールしてください。

- i. フォルダを選択し、 をクリックします。
- ii. 「Browse(参照)」をクリックして、ファイルを選択します。
- iii. フォルダ内の既存ファイルの「Skip(スキップ)」または「Overwrite(上書き)」を選択します。
- iv.  をクリックしてファイルをアップロードするか、「Upload All(すべてアップロード)」をクリックして選択したファイルをすべてアップロードします。


アップロード先：/Public/Pic

アップロードするファイル：(2) 合計サイズ：1.65 MB アップロード済ファイル(0) 合計サイズ：0 B


	モード	名前	サイズ	%	転送率	残り時間
 	-	Chrysanthemum.jpg	858.78 KB	0%	0 B/Sec.	
 	-	Desert.jpg	826.11 KB	0%	0 B/Sec.	

ファイルが既に存在する場合： スキップ 上書き


ファイルをダウンロードする

1. ダウンロードしたいファイルあるいはフォルダを選択します。
2. マウスを右クリックして"Download" (ダウンロード) を選択、あるいは  をクリックしてファイルをダウンロードします。


フォルダの作成

1. 新しいフォルダを作成するネットワーク共またはフォルダを選択します。
2. ツールバーで  (フォルダの作成) をクリックします。
3. 新しいフォルダ名を入力し、OK をクリックします。


ファイルまたはフォルダの名称更

1. 名称更するファイルまたはフォルダを選択します。
2. ツールバーで  (名称変更) をクリックします。
3. 新しいファイルまたはフォルダ名を入力し、OK をクリックします。


ファイルまたはフォルダをコピーする

1. コピーしたいファイルまたはフォルダを選択します。
2.  (コピー) をクリックします。
3. コピー先フォルダを選択します。
4. コピー先フォルダ内の既存のファイルをスキップするか上書きするかを選択します。"OK" をクリックします。

ファイルまたはフォルダを移動する

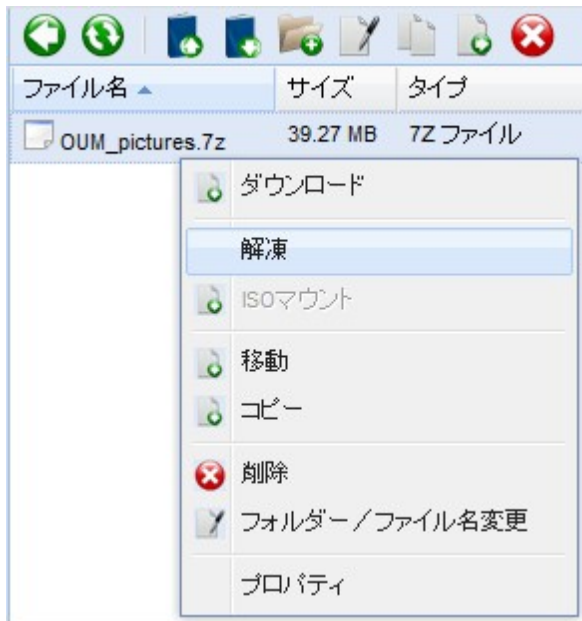
1. 移動したいファイルまたはフォルダを選択します。
2.  (移動) をクリックします。
3. 移動先フォルダを選択します。
4. 移動先フォルダ内の既存のファイルをスキップするか上書きするかを選択します。"OK" をクリックします。

ファイルまたはフォルダの削除

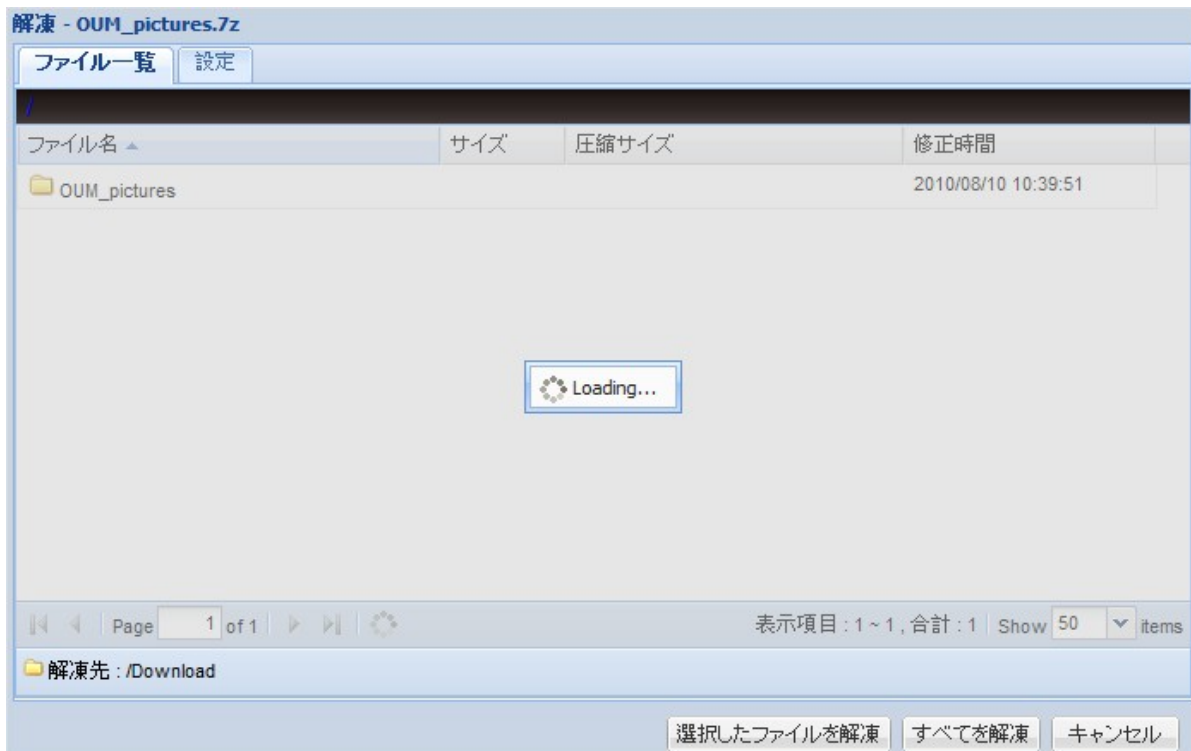
1. 削除するファイルまたはフォルダを選択します。
2. ツールバーで  (削除) をクリックします。
3. ファイルまたはフォルダの削除を確認します。

ファイルを解凍する

1. ZipファイルをNAS上で解凍するには、Zipファイル上で右クリックし、"Extract" (解凍) を選択します。




2. 解凍するファイルを選択し、解凍設定を構成します。



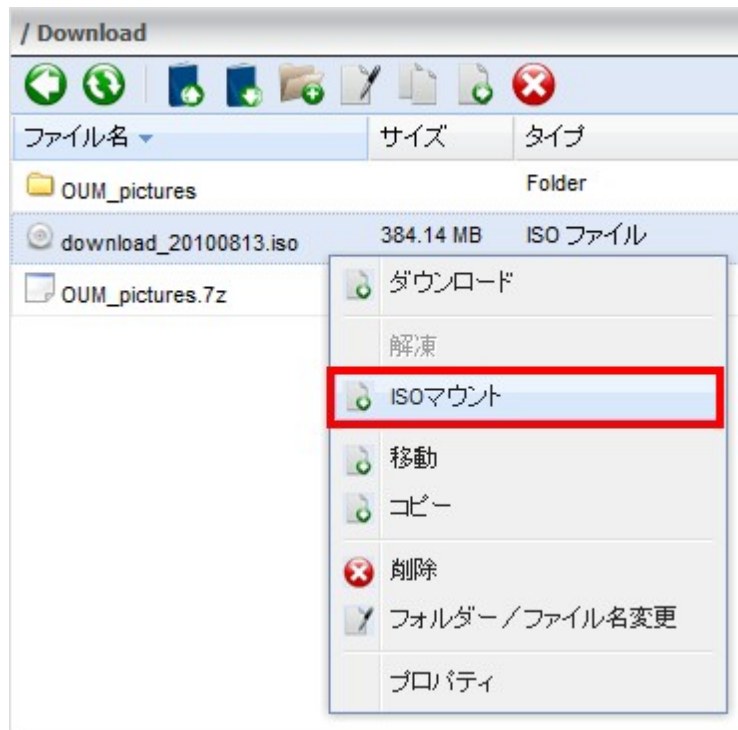
ファイル/フォルダ検索

Web File Manager (ウェブファイルマネージャ)は、NAS上にあるファイル、サブフォルダ、フォルダのスマート検索をサポートしています。ファイルまたはフォルダ名のすべてあるいは一部、またファイルの拡張子(AVI、MP3など)によってファイルやフォルダを検索することができます。

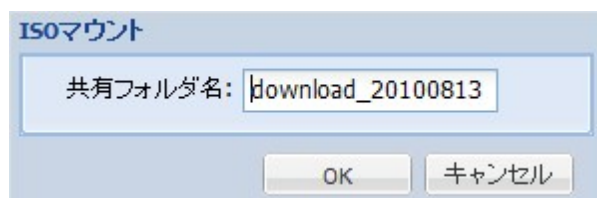
/Multimedia							ようこそ admin ログアウト	日本語
							🔍 jpg	
名前 ▲	サイズ	タイプ	更新日時	権限	所有者	グループ		
 1.jpg	632 B	JPG ファ...	2012/02/09 10:39:43	776 (rwxrwxrw-)	guest	guest		
 1.jpg	591.46 KB	JPG ファ...	2008/10/05 21:02:36	666 (rw-rw-rw-)	admin	administrators		
 10.jpg	1.42 MB	JPG ファ...	2009/01/27 22:17:42	666 (rw-rw-rw-)	admin	administrators		
 2.jpg	918.84 KB	JPG ファ...	2008/10/05 21:10:28	666 (rw-rw-rw-)	admin	administrators		
 3.jpg	2.17 MB	JPG ファ...	2008/10/18 19:20:24	666 (rw-rw-rw-)	admin	administrators		

ISO共有のマウント

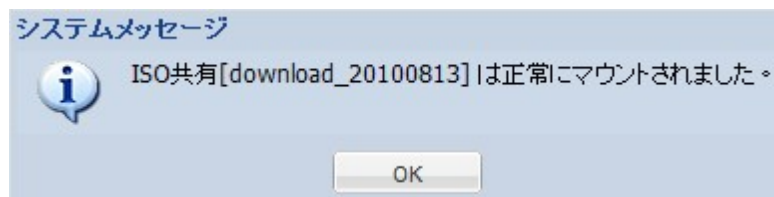
NASにISOファイルを共有フォルダとしてマウントするには、下記の手順に従ってください。
NAS上のISOファイルを検索します。ファイルを右クリックし、“Mount ISO”（ISOをマウント）を選択します。



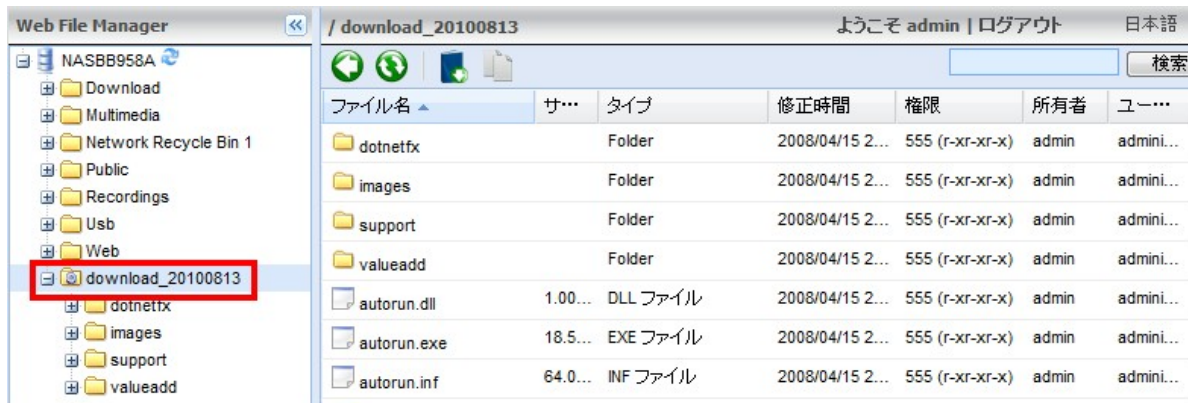
共有フォルダ名を入力し、“OK”をクリックします。



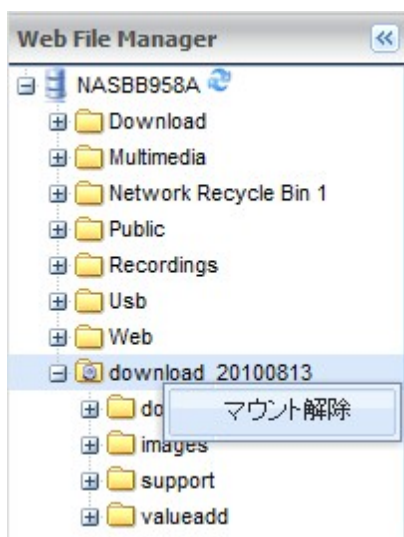
“OK”をクリックして確定します。



共フォルダリストにISO共フォルダが表示されます。ISO画像ファイルのコンテンツにアクセスすることもできます。NASウェブインターフェイスに管理者アカウントでログインし、ユーザーのアクセス権限を“Access Right Management”（アクセス権限管理）＞“ISO Share Folders”（ISO共フォルダ）にて特定します。

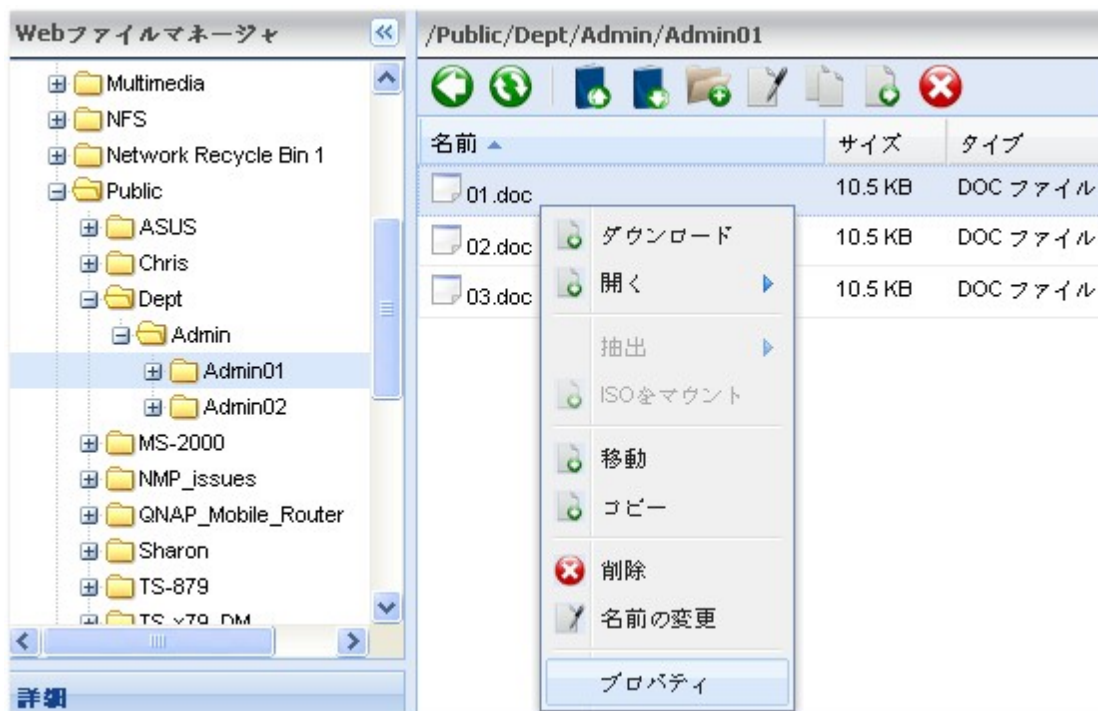


共フォルダをマウント解除するには、フォルダ名を右クリックし、“Unmount”（マウント解除）を選択します。続いて“OK”をクリックします。



ファイル/フォルダレベル許可

Web File Managerにより、NASでファイルレベルまたはフォルダレベル許可を設定できます。ファイルまたはフォルダを右クリックして、「Properties(プロパティ)」を選択します。



「Advanced Folder Permissions(拡張フォルダ許可)」オプションが「Access Right Management(アクセス権管理)」>「Share Folder(フォルダの共有)」>「Advanced Options(拡張オプション)」で無効になっている場合、次の設定が表示されます。オーナー、グループ、およびパブリックに対してアクセス権の読み取り、書き込み、実行を定義します。

- オーナー: ファイルまたはフォルダのオーナー。
- グループ: ファイルまたはフォルダのグループオーナー。
- パブリック: グループオーナーのオーナーまたはメンバーでない他のすべての(ローカルまたはドメインメンバー)ユーザー。

プロパティ

情報

名前: 01.doc
ロケーション: /Public/Dept/Admin/Admin01
サイズ: 10.5 KB
更新日時: 2011/06/17 17:19:45

権限

	読み取り	書き込み	実行
所有者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
グループ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
パブリック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

OK キャンセル

フォルダが選択されている場合、「Apply changes to folder(s), subfolder(s) and file(s)(変更をフォルダ、サブフォルダおよびファイルに適用する)」を選択して設定を選択したフォルダ内部のすべてのファイルやサブフォルダに適用できます。「OK」をクリックして確認します。

プロパティ

情報


名前 : Admin01
ロケーション : /Public/Dept/Admin
サイズ : 31.5 KB
更新日時 : 2011/06/17 17:20:02

権限

	読み取り	書き込み	実行
所有者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
グループ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
パブリック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

フォルダ、サブフォルダ、ファイルに変更を適用する

OK キャンセル

「拡張フォルダ許可」オプションが「Access Right Management(アクセス権管理)」>「Share Folder(フォルダの共有)」>「Advanced Options(拡張オプション)」で有効になっている場合、ユーザーとユーザーグループでファイルとフォルダ許可を指定することができます。  をクリックします。

プロパティ

情報

名前	01.doc
ロケーション	/Public/Dept/Admin/Admin01
サイズ	10.5 KB
更新日時	2011/06/17 17:19:45

権限

名前	読み取り	書き込み	実行
 administrators	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 guest	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所有者: 

所有者のみがコンテンツを削除できます
 変更をファイルとサブフォルダに適用します
 このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

OK キャンセル

ユーザーとユーザーグループを選択し、読み取り、書き込み、および実行権利を指定します。「Add(追加)」をクリックします。


ユーザーとグループの選択

ローカルユーザー

<input type="checkbox"/> 名前	読み取り	書き込み	実行
<input type="checkbox"/> reichan	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> test01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> test02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> test03	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test04	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test05	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test06	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test07	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> test08	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⏪ ⏩ ページ 1 / 2 ⏪ ⏩

表示項目 : 1 ~ 10 , 合計 : 11



リストの許可を削除するには、ユーザーまたはユーザーグループを選択し、をクリックします。


プロパティ

情報

名前	01.doc
ロケーション	/Public/Dept/Admin/Admin01
サイズ	10.5 KB
更新日時	2011/06/17 17:19:45

権限

名前	読み取り	書き込み	実行
 administrators	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
 guest	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 test01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 test02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 test03	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所有者: 

所有者のみがコンテンツを削除できます
 変更をファイルとサブフォルダに適用します
 このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

OK キャンセル



をクリックすることで、ファイルとフォルダオーナーを定義することもできます。リストからユーザーを選択するか、ユーザー名を検索します。「Set(設定)」をクリックします。



フォルダ許可設定に対して、次のオプションを利用できます。「Access Right Management(アクセス権管理)」>「Share Folders(フォルダの共有)」[238]でフォルダ許可とサブフォルダ許可を設定することをお勧めします。

- Only the owner can delete the contents (所有者のみがコンテンツを削除できます)。このオプションをフォルダに適用すると、第一レベルのサブフォルダとファイルはそのオーナーでのみ削除できます。
- Apply changes to files and subfolders (変更をファイルとサブフォルダに適用します): オーナー保護以外の変更済み許可設定を、選択したフォルダ内部のすべてのファイルとサブフォルダに適用します。オプション「Only the owner can delete the contents(所有者のみがコンテンツを削除できます)」はサブフォルダに適用されません。
- Apply and replace all existing permissions of this folder, files, and subfolders (このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します): オーナー保護を除き、選択したフォルダとそのファイルおよびサブフォルダのそれまでに設定された許可をすべて無効にするには、このオプションを選択します。オプション「Only the owner can delete the contents(所有者のみがコンテンツを削除できます)」はサブフォルダに適用されません。

プロパティ

情報

名前	Admin01
ロケーション	/Public/Dept/Admin
サイズ	31.5 KB
更新日時	2011/06/17 17:20:02

権限

名前	読み取り	書き込み	実行
administrators	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
everyone	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
guest	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

+ |

所有者:

所有者のみがコンテンツを削除できます


変更をファイルとサブフォルダに適用します

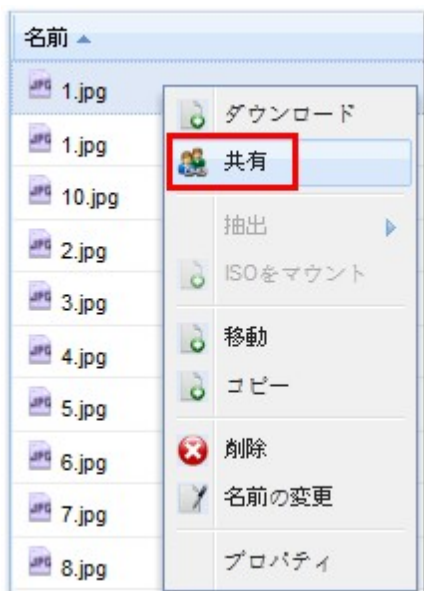
このフォルダ、ファイル、サブフォルダの既存の許可をすべて適用して置換します

OK キャンセル

ファイル共有

注:この機能は、admin でのみ利用できます。

Web ファイルマネージャを使って NAS 上でファイル共有を行うには、 をクリックするか、ファイルを右クリックして、「Share (共有)」を選択します。



NAS の IP または「Domain name (ドメイン名)」を選択します。「Create the link(s) in SSL (SSL によるリンクを作成する)」(オプション)を選択し、「Expiration (有効期限)」を指定して、「Password (パスワード)」を入力します(オプション)。

A screenshot of a dialog box titled 'ダウンロードリンクの作成' (Create Download Link). It contains the following fields and options:

- ドメイン名/IP アドレス: mcna.mycloudnas.com
- SSL (https://) でリンクを作成する
- 有効期限:
 - 次の間有効:
 - 07 日数 00 時間
 - 次まで有効:
 - 2012/06/06 23 : 59
 - 常に有効
- パスワード保護 (オプション):
 - ランダム
- メールを通してダウンロード用リンクを共有する:

Buttons at the bottom: 作成 (Create), キャンセル (Cancel).

電子メールでリンクを共有するには、「Share the download links through email(電子メールを通してダウンロードリンクを共有する)」を選択し、コンテンツを入力します。「Create(作成)」をクリックします。

注: この機能を使用するには、「System Administration(システム管理)」>「Notification(通知)」>「Configure SMTP Server(SMTP サーバーの設定)」でメールサーバー設定を適切に行う必要があります。

メールを通してダウンロード用リンクを共有する :

パスワードを含む

発信先:

Subject:

Content:

*注意: メールアドレスをコンマ (,) またはセミコロン (;) で区切ってください。最大 5 件のメールアドレスに送信できます。

作成 キャンセル

情報を確認し、「Start Sharing(共有開始)」をクリックします。

リンクの共有中

次の情報を確認してください

1. 1.jpg
<http://mcna.mycloudnas.com:8080/share.cgi?ssid=0XN0aa6>

有効期間: 06/13/2012 11:17

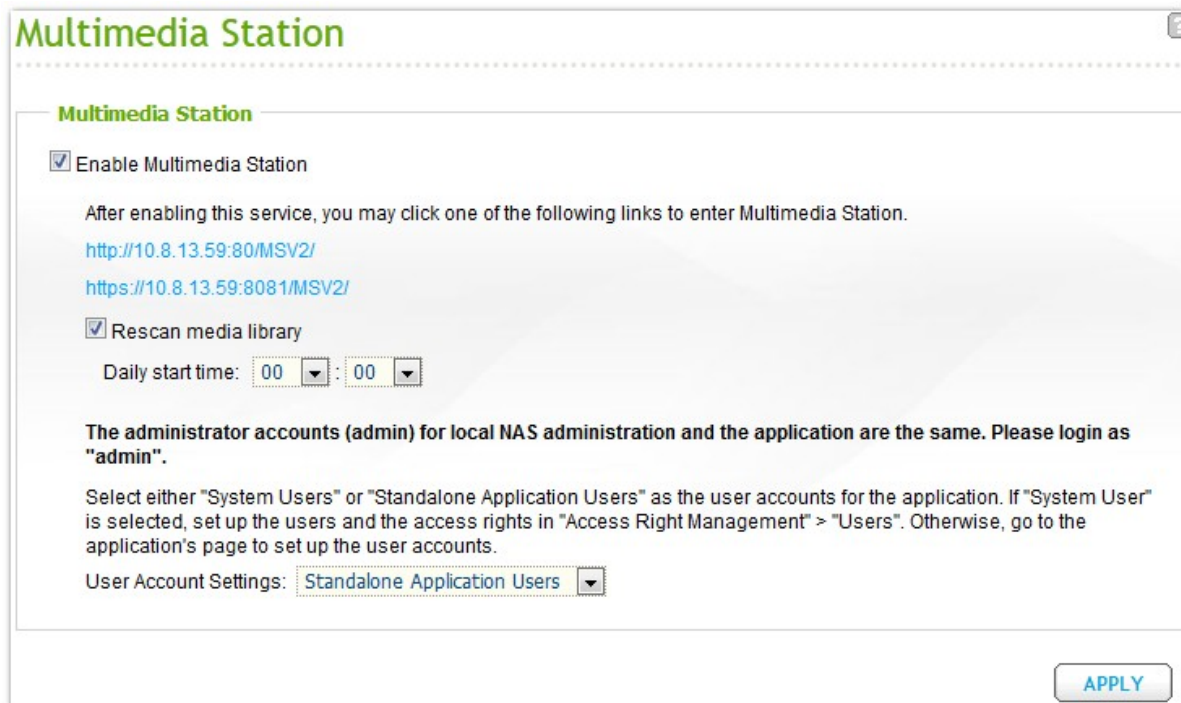
共有の開始 キャンセル

7.2 マルチメディアステーション (Multimedia Station)

マルチメディアステーションは、ウェブブラウザでNAS上の写真を表示し、音楽や動画を再生するためのウェブベースのアプリケーションです。そしてFacebook、Plurk、Twitter、Bloggerなどの有名なソーシャルネットワークサイトにファイルを共有します。

マルチメディアステーションを利用するには、次のステップを行います。

1. 「Administration(管理)」>「Network Services(ネットワークサービス)」>「Web Server(ウェブサーバー)」に進みます。ウェブサーバー機能をオンにします。HTTPSでマルチメディアステーションにアクセスすることを許可するには、「Enable Secure Connection(安全な接続を有効にする)(SSL)」オプションをオンにします。
2. 「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Multimedia Station(マルチメディアステーション)」に進みます。サービスを有効にします。
3. 「Rescan media library(メディアライブラリーの再スキャン)」オプションを有効にし、NASが毎日メディアライブラリーをスキャンする時刻を指定します。NASは、毎日指定した時刻に新しく追加されたファイルに対してサムネイルを生成し、メディア情報を取得して、ビデオをトランスコードします。



Multimedia Station

Enable Multimedia Station

After enabling this service, you may click one of the following links to enter Multimedia Station.

<http://10.8.13.59:80/MSV2/>

<https://10.8.13.59:8081/MSV2/>

Rescan media library

Daily start time: 00 : 00

The administrator accounts (admin) for local NAS administration and the application are the same. Please login as "admin".

Select either "System Users" or "Standalone Application Users" as the user accounts for the application. If "System User" is selected, set up the users and the access rights in "Access Right Management" > "Users". Otherwise, go to the application's page to set up the user accounts.

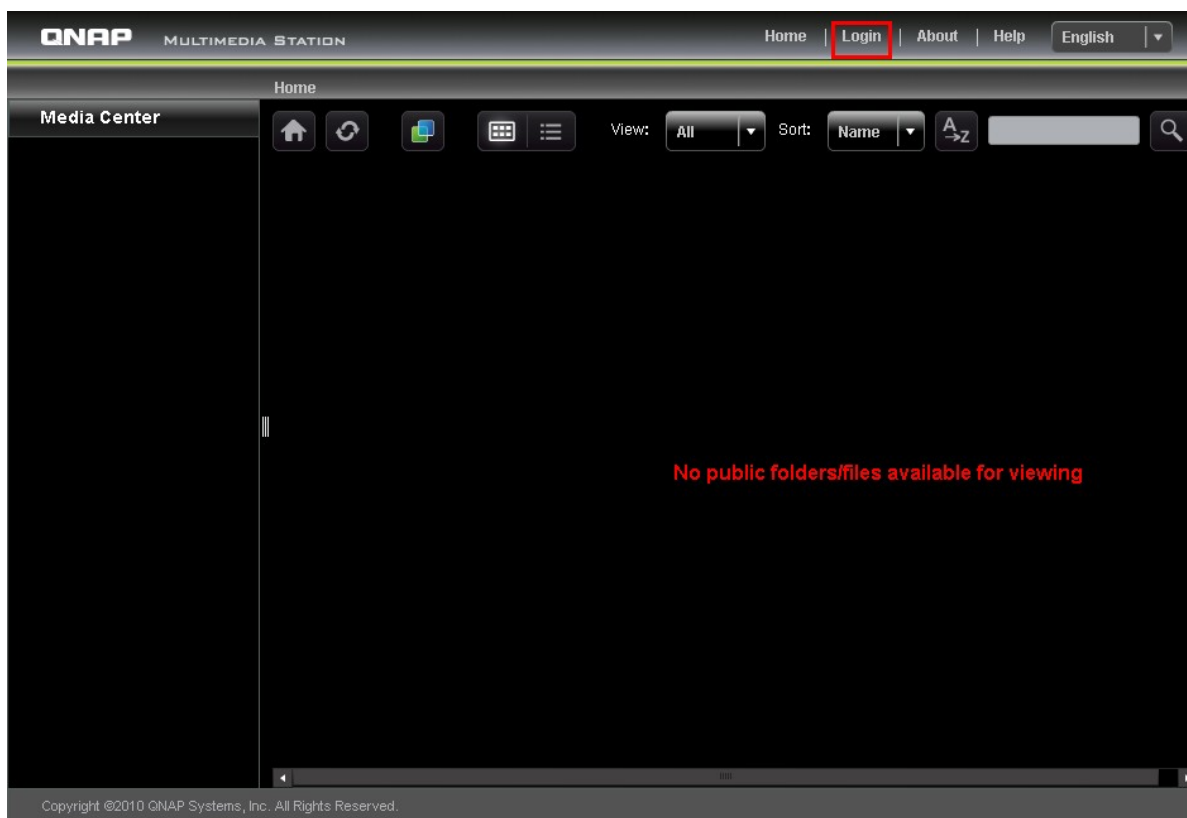
User Account Settings: Standalone Application Users

APPLY

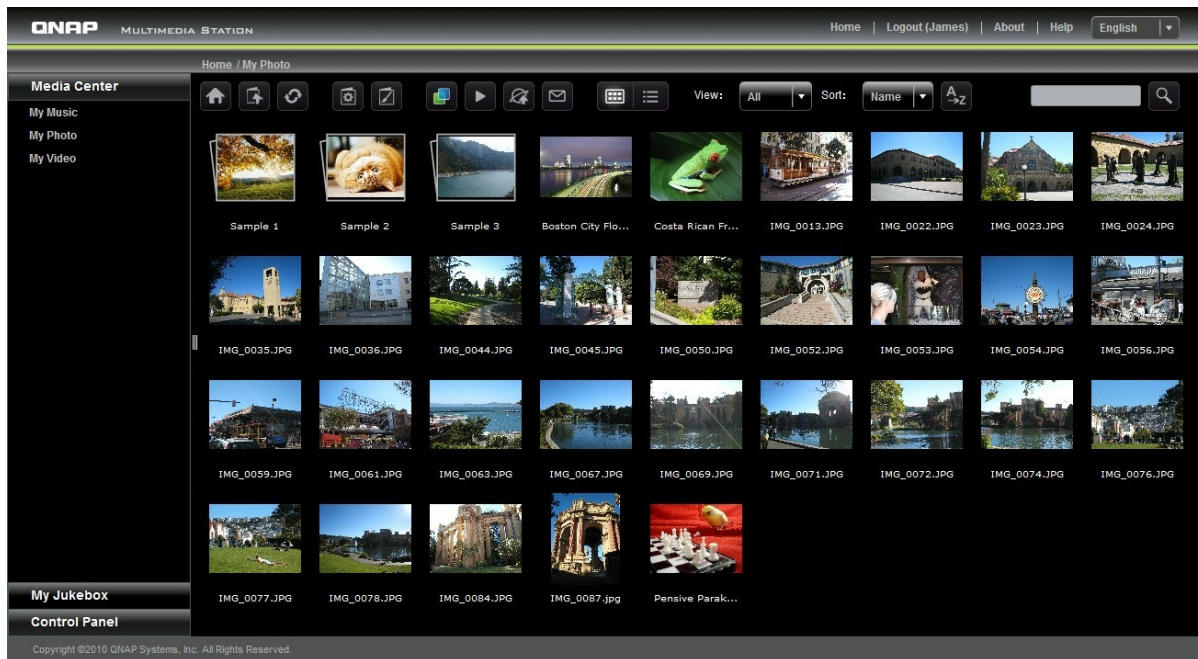
4. ユーザアカウント設定では、「System Users (システムユーザ)」または「Standalone Application Users (スタンドアロンアプリケーションユーザ)」(デフォルト)のどちらかを選択します。「System Users (システムユーザ)」が選択された場合、アプリケーションにはローカルNASアカウントが使用されます。ユーザアカウントは「Access Right Management (アクセス権の管理)」>「Users (ユーザ)」で作成できます。アプリケーションで専用のユーザアカウントを使用するには、「Standalone Application Users (スタンドアロンアプリケーションユーザ)」を選択します。「Control Panel (コントロールパネル)」>「User Management (ユーザ管理)」からアプリケーションにログイン後、ユーザアカウントを作成および管理できます。
5. NASのログインポータルからマルチメディアステーションに接続するか、ウェブブラウザでhttp://NAS_IP:80/MSV2/またはhttps://NAS_IP:8081/MSV2/(セキュア接続)と入力します。プロンプトが表示されたら、アプリケーションにログインします。管理者 (admin) だけがユーザを作成し、高度な設定を行うことができます。

注:

- マルチメディアステーションの管理者ログイン情報は、NASウェブ管理者のそれと同じです。
- 「admin」以外のスタンドアロンユーザアカウントが使用中の場合、NASのログインポータルページからアプリケーションへのログインは無効になります。



Multimedia Stationは、Media Center (メディアセンター)、My Jukebox (マイ・ジュークボックス)、およびControl Panel (コントロールパネル)により構成されます。



Media Center (メディアセンター)

Multimedia Stationのデフォルトネットワーク共 (Qmultimedia / Multimedia) のフォルダおよびマルチメディアファイルは、Media Center (メディアセンター) にて表示されます。NAS上のマルチメディアコンテンツ(画像、ビデオ、およびオーディオファイル)を、LANあるいはWAN経由でウェブブラウザにて表示または再生することができます。

サポートされているファイル形式

タイプ	ファイル形式
オーディオ	MP3
画像	JPG/JPEG, GIF, PNG (アニメーションGIFファイルではアニメーションは表示されません)
ビデオ	再生:FLV, MPEG-4 ビデオ (H.264 + AAC) トランスコード:AVI, MP4, M4V, MPG, MPEG, RM, RMVB, WMV (ファイルはFLVに換えられます)



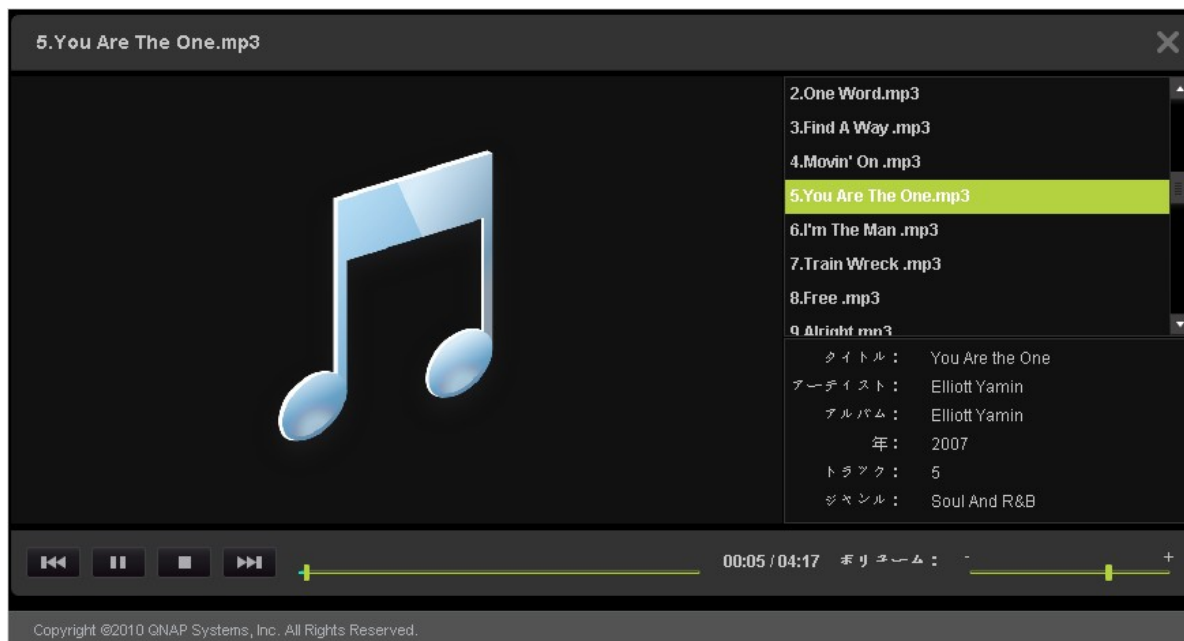
	ホーム Multimedia Stationのホームディレクトリに戻ります。
	親ディレクトリ 親ディレクトリに戻ります。
	更新 現在のディレクトリを更新します。
	アルバムの管理* 以下の内容が可能です: 1. 現在のディレクトリ下に新規アルバムを作成、および 2. このディレクトリにファイルをコピーあるいはアップロードすることで、このアルバムに新規ファイルを追加
	アルバムカバーの設定* 各アルバム/ディレクトリに対して、そのアルバム/ディレクトリ内から写真を一枚指定してアルバムカバーとして設定することができます。
	Cooliris Coolirisを使って写真を3D表示することができます。はじめにCoolirisプラグインのインストールが必要です。
	スライドショー スライドショーを開始します。フォトフレーム、バックグラウンドミュージック、およびアニメーションをスライドショーモードにて設定することができます。
	公開* 選択した写真(最大5枚まで)を人気のソーシャルネットワークサイトに公開します。現在のサポート先は以下のとおりです:Twitter, Facebook, MySpace, Plurk, Windows Live, および Blogger. 公開の前に、アルバムをパブリック(コントロールパネル > Set Folder Public (フォルダをパブリック(公開)に設定)に設定し、またインターネットからMultimedia Stationにアクセスできる必要があります。この機能を使用する前に、NAS向けにDDNSをセットアップすることが推奨されます。
	電子メール* 写真(最大5枚まで)をお友達に電子メールで送信します。この機能を使用する前に、NAS管理コンソール内でSMTPサーバをセットアップする必要がありますので注意してください。
	サムネイル ファイルをサムネイル表示できます。Multimedia Stationでは、これはデフォルト設定です。
	詳細 ファイルを詳細表示できます。以下の機能をサポートしています:開く、名前の更、削除、ダウンロード、全画面表示
	分類 ファイルをアルファベットの昇順あるいは降順で分類するよう選択することができます。
	検索

	この機能によりファイルを検索することができます。現在のディレクトリ内での検索のみサポートしています。
--	--

*管理者のみ操作できるオプション

音楽を再生

NASはウェブブラウザ上の音楽ファイルの再生をサポートしています。ウェブページ上でファイル(MP3)をクリックするだけで、NASが再生します。フォルダ内の音楽ファイルをクリックした場合は、フォルダ内にある他の音楽ファイルも、サポートされる場合に限り、再生リストに表示され、再生されます。'X'をクリックし、再生ページを終了します。



画像ファイルの表示


画像ファイルを表示している際に "EXIF" をクリックすると、ファイル名、サイズ、日付、および効口径などの詳細情報が表示されます。ファイルにキャプションを追加するには、"Edit caption" (キャプションの編集) をクリックし説明を入力します。説明は512文字まで可能です。

画像ファイルに対するコメントを送信し、また他のユーザーからのコメントを "All comments" (全てのコメント) にて表示することができます。各コメントは128文字まで可能です。



バックグラウンドミュージックの設定

画像ファイルあるいは画像ファイルのフォルダにバックグラウンドミュージックを設定するには、Multimedia Station の "Control Panel" (コントロールパネル) > "Playlist Editor" (再生リストエディタ) (後ほど説明) にて再生リストを作成しておく必要があります。

Media Center にて画像ファイルを開き、 をクリックします。



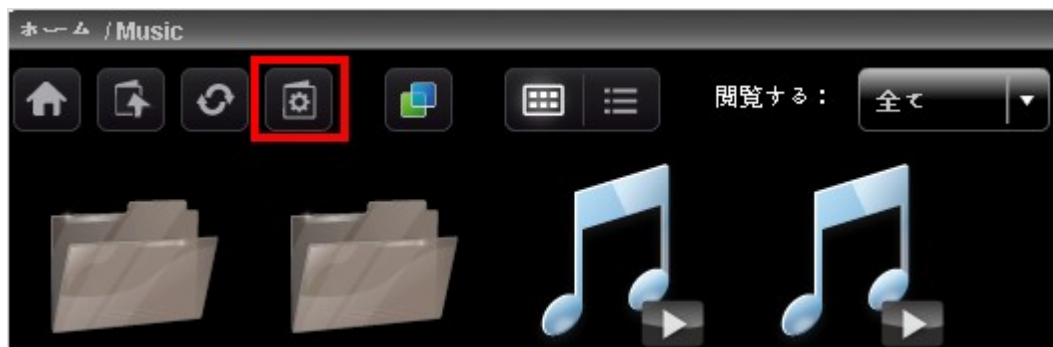
再生リストを選択し、"Save" (保存)をクリックします。バックグラウンドミュージックを削除するには、"No music" (音楽なし) を選択します。



アルバムの作成

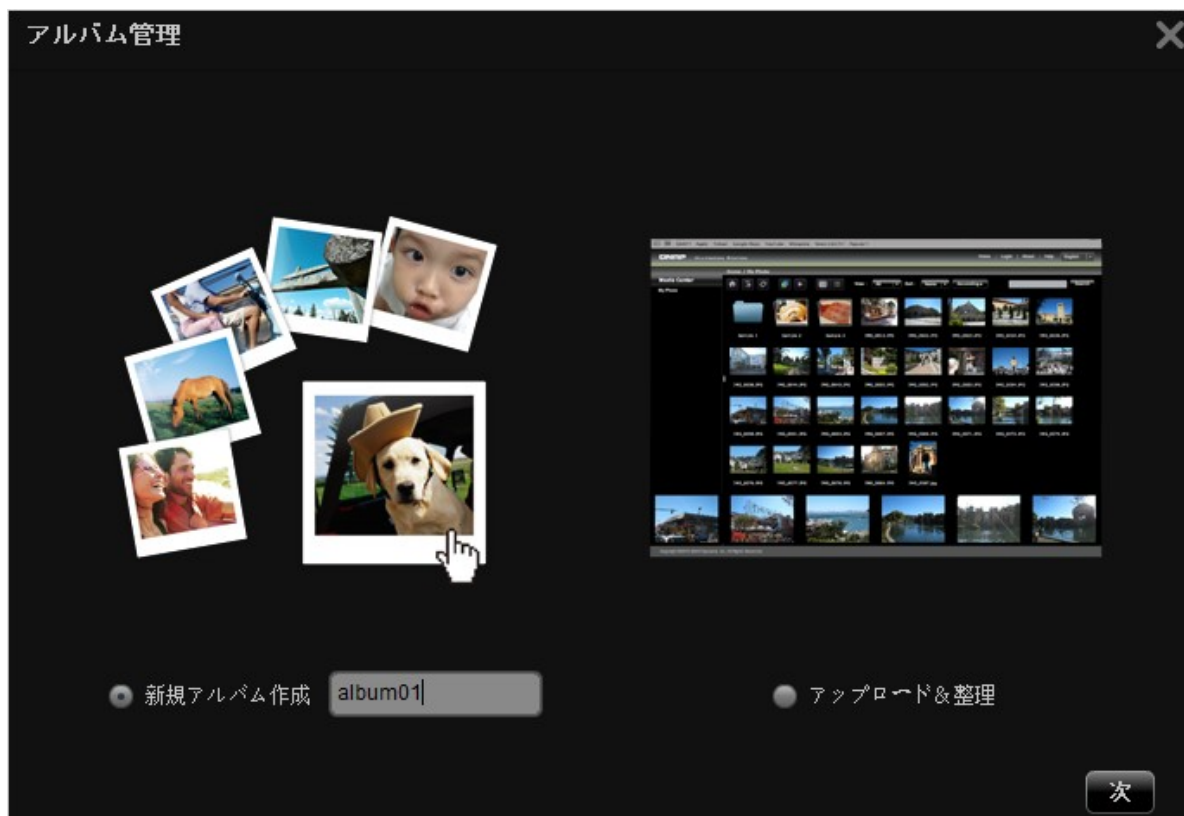
Multimedia Station のウェブベースのインターフェイスを使用してアルバム (フォルダ) を作成するには、Media Center に

でディレクトリを作成します。  (Create Album)(アルバム作成) をクリックします。



"Create New Album" (新アルバムの作成) を選択し、アルバム名を入力します。"Next" (次へ) をクリックします。

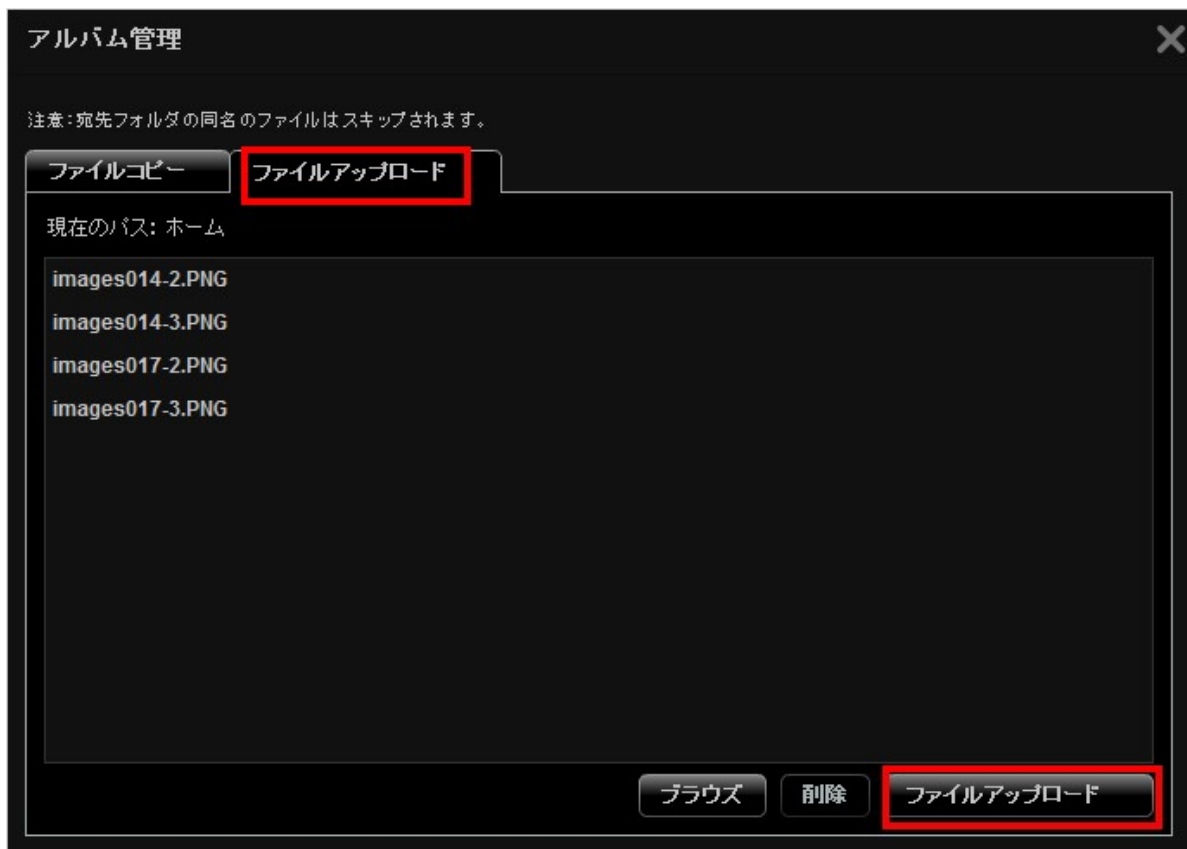
アルバム名は1-64文字以内で設定してください。また以下の記号は使用できません。| \ : ? " < > *




Media Center内の他の場所からアルバムにファイルをコピーしたい場合は、“File Copy”（ファイルのコピー）を選択し、コピーするファイルを選んで>をクリックします。続いて“File Copy”（ファイルのコピー）をクリックしてファイルのコピーを開始します。

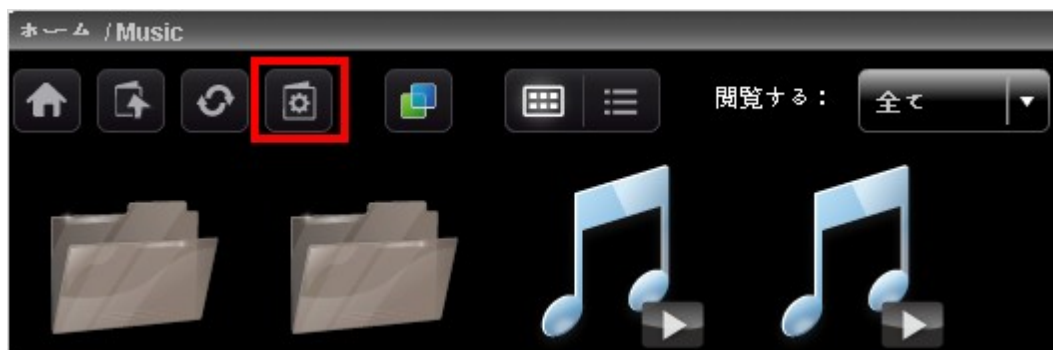


アルバムにファイルをアップロードするには、“Browse”（参照）をクリックしてファイルを選択し、“File Upload”（ファイルのアップロード）をクリックします。

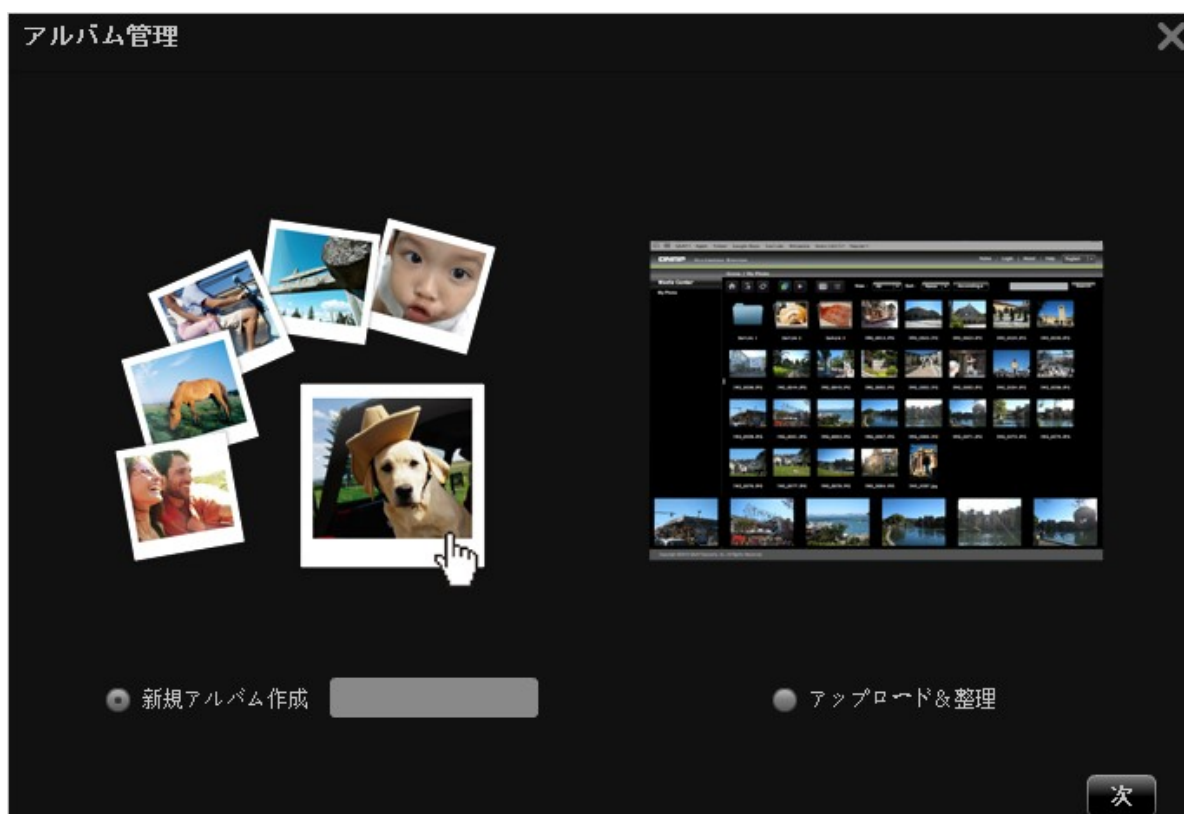


アルバムの管理

Multimedia Station のウェブベースのインターフェイスを使用してアルバム（フォルダ）を管理するには、Media Center にてディレクトリを作成します。 (Create Album) (アルバム作成) をクリックします。



“Upload & Organize” (アップロード&整理) を選択し、“Next” (次へ) をクリックします。




Media Center 内の他の場所からアルバムにファイルをコピーしたい場合は、“File Copy”（ファイルのコピー）を選択し、コピーするファイルを選んで > をクリックします。続いて“File Copy”（ファイルのコピー）をクリックしてファイルのコピーを開始します。アルバムにファイルをアップロードするには、“Browse”（参照）をクリックしてファイルを選択し、“File Upload”（ファイルのアップロード）をクリックします。

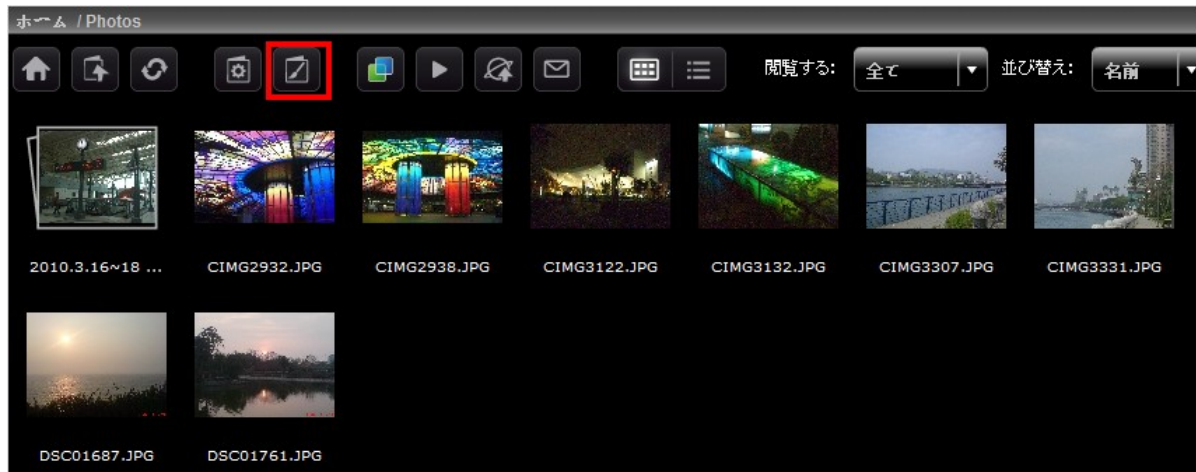


☰ をクリックしてマルチメディアコンテンツの詳細を表示し、アイコンをクリックしてファイルあるいはフォルダを開く、名前を変更する、削除する、あるいはダウンロードすることができます。



アルバムカバーの設定

画像ファイルをアルバムカバーとして設定するには、 をクリックします。



画像ファイルを選択し、“Save”（保存）をクリックします。



スライドショー



をクリックし、複数の画像ファイルをスライドショーで表示します。再生速度(3秒/6秒/9秒/15秒)を選択し、またスライドショーの効果(全画面表示用)をドロップダウンメニューから選びます。画像ファイルの表示のためのフォトフレームも選択することができ



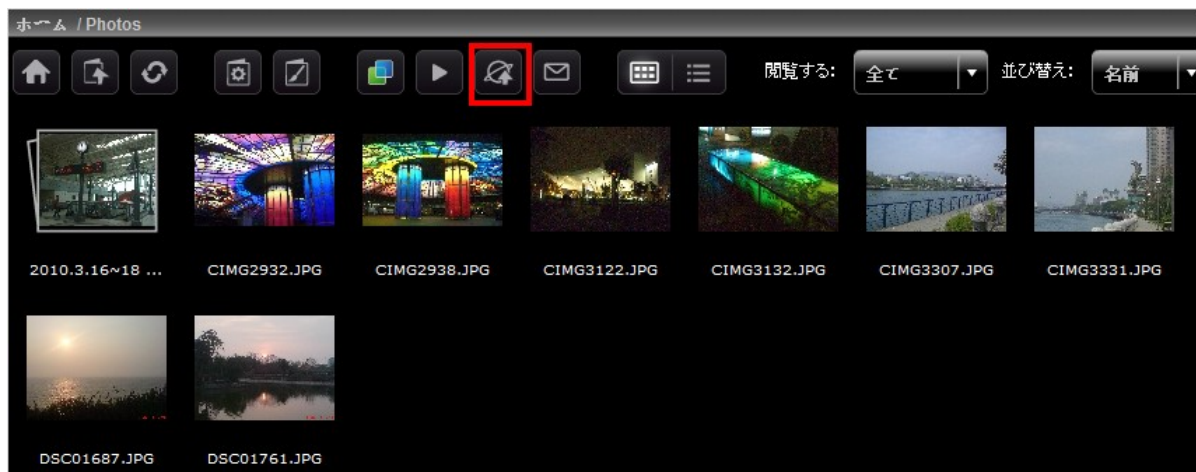
ます。3次元表示(3D)で画像ファイルを表示するには、をクリックします。



画像ファイルの公開

Multimedia Station上の画像ファイルを、FacebookやTwitterなどの人気のソーシャルネットワークサイトにて公開することができます。

をクリックします。




公開する画像ファイルを選択します。1度につき5枚まで公開できます。タイトルおよび説明を入力します。続いてファイルを公開するウェブサイトを選択し、ウェブサイトのログイン情報を入力します。公開の前に、アルバムをパブリック(コントロールパネル > Set Folder Public (フォルダをパブリック(公開)に設定)に設定し、またインターネットからMultimedia Stationにアクセスできる必要があります。この機能を使用する前に、NAS向けにDDNSをセットアップすることが推奨されます。

記入欄	制限
タイトル	最大文字数: 256
リンク(NASのIPアドレスあるいはホスト名)	アルファベット、数字、ドット(.)、スラッシュ(/)のみ。 最大文字数: 256
説明	最大文字数: 1024

The screenshot displays the QNAP Multimedia Station interface. At the top, it says "QNAP MULTIMEDIA STATION" and "公開したいイメージをクリックしてください". Below this is a gallery of five images with left and right navigation arrows and a "1/2" indicator. Underneath the gallery is a form with "タイトル: photos" and "リンク: 10.8.12.103 /MSV2/". Below the form is a rich text editor with icons for Bold (B), Italic (I), Underline (U), ABC, link, unlink, list, and ulist. At the bottom, there are social media sharing buttons labeled "公開先" with icons for Blogger (e), Facebook (f), Twitter (t), Windows Live (Windows logo), Facebook (f), and Print (P).

画像ファイルの電子メール送信

画像ファイルを電子メールで送信するには、NASのSMTPサーバ設定が適切に構成されているよう確認してください。 をクリックします。

情報を入力して、“Send” (送信)をクリックします。

記入欄	制限
題名	最大文字数: 128
私の名前	名前にはアルファベット(A-Zおよびa-z)、数字 (0-9、ハイフン(-)、およびアンダースコア(_))のみ使用できます。
私の電子メール	最大文字数: 128
友人の名前	最大文字数: 128
友人の電子メール	最大文字数: 128
メッセージ	最大文字数: 1024

QNAP MULTIMEDIA STATION
公開したいイメージをクリックしてください



1 / 2

選択イメージ

件名:

あなたの名前:

あなたのメールアドレス:

友達の名前:

友達のメールアドレス:

ここにあなたのメッセージを載せることができます。

メッセージ:

ビデオの再生

NASはウェブブラウザ上のビデオファイルの再生をサポートしています。ウェブページ上でビデオファイルをクリックするだけで、NASが再生します。フォルダ内のビデオファイルをクリックした場合は、フォルダ内にある他のビデオファイルも、サポートされる場合に限り、再生リストに表示され、再生されます。'X'をクリックし、再生ページを終了します。



トランスコードビデオ

ビデオファイルがAVI、M4V、MPG/MPEG、RM/RMVB、WMV形式の場合、Multimedia Stationで正しく再生するためにファイルをトランスコードする必要があります。トランスコードが可能なビデオファイルには、サムネイル表示の際に下のようなアイコンが表示されています。



アイコンをクリックし、ビデオトランスコードの実行を確定します。トランスコードが進行中の間、お待ちください。



ビデオはFLV形式に換されます。これでウェブブラウザ上で再生することができます。ビデオのトランスコードは管理者のみ実行することができます。

QNAPは全てのビデオ形式またはコーデックがサポートされていることを保証するものではありません。ビデオファイルをNASにアップロードする前に、ファイルをMultimedia Stationがサポートする形式に換するよう強く推奨いたします。

名前	日付	種類	サイズ	
20100817	2010/08/17	Folder		
QNAP_MSV2_English_1280x720.mov	2010/08/17	video	25,474KB	
test.flv	2010/08/18	video	14,582KB	
test.wmv	2010/08/18	video	25,630KB	

My Jukebox (マイ・ジュークボックス)

音楽ファイルの再生リストを作成し、My Jukebox (マイ・ジュークボックス)で再生することができます。アルバムアートおよび情報は、該当する場合、ID3タグから自動的に読み込まれます。

My Jukeboxにて自分の再生リストを作成したり編集するには、“Control Panel” (コントロールパネル) > “Playlist Editor” (再生リストエディタ)を開いてください。管理者のみが再生リストを編集することができます。My Jukebox内の再生リストは、Multimedia Stationのユーザー全てと共されます。

ユーザー情報を入力します。ユーザー名はアルファベット(A-Zおよびa-z)、数字(0-9、ハイフン(-)、およびアンダースコア(_))のみ使用できます。ユーザー名は32文字まで可能です。

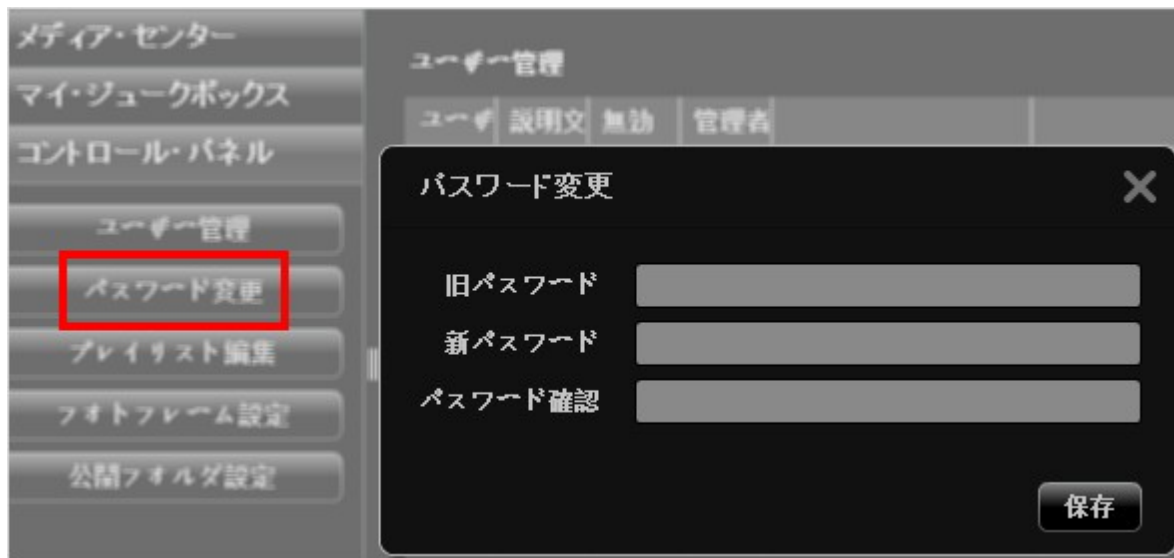
ユーザーが管理者かどうかを特定し、ユーザーがアクセスできるフォルダを指定します。“Save”(保存)をクリックします。パスワードには1-16文字まで使うことができます。パスワードに効な文字はA-Z, a-z, 0-9, -, !, @, #, \$, %, _です。

リストの中に、そのユーザーが表示されます。ユーザー情報の編集、ユーザーの削除、またログインパスワードの更が可能です。デフォルトアカウントである“admin”は削除できません。ご注意ください。

ユーザー名	説明文	無効	管理者			
admin	System Administrator	N	Y	ユーザー編集		
test		N	N	ユーザー編集	ユーザー削除	パスワード変更

Change Password (パスワードの更)

管理者のパスワードをこのセクションで変更することができます。パスワードには1-16文字まで使うことができます。パスワードに効な文字はA-Z, a-z, 0-9, -, !, @, #, \$, %, _です。



The screenshot shows a web interface with a sidebar on the left and a main content area. The sidebar contains several menu items: 'メディア・センター', 'マイ・ジュークボックス', 'コントロール・パネル', 'ユーザー管理', 'パスワード変更', 'プレイリスト編集', 'フォトフレーム設定', and '公開フォルダ設定'. The 'パスワード変更' item is highlighted with a red rectangle. The main content area shows a 'ユーザー管理' section with tabs for 'ユーザー', '説明文', '無効', and '管理者'. A modal dialog box titled 'パスワード変更' is open, featuring three input fields: '旧パスワード', '新パスワード', and 'パスワード確認'. A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the dialog box.

Playlist Editor (再生リストエディタ)

再生リストを作成するには、Playlist Editor (再生リストエディタ) を開きます。既存の再生リストをドロップダウンメニューから選択するか、“Add” (追加) をクリックして再生リストを作成します。

次に、左の行 (Multimedia Station上のファイル) から音楽ファイルを選択し、> をクリックしてファイルを再生リストに追加します。“Save” (保存)、続いて “Close” (閉じる) をクリックします。

再生リストの作成後、このリストをMy Jukeboxで再生することができます。

再生リスト内の最大文字数	24
再生リスト内の最大曲数	512
再生リストの最大保管数	128

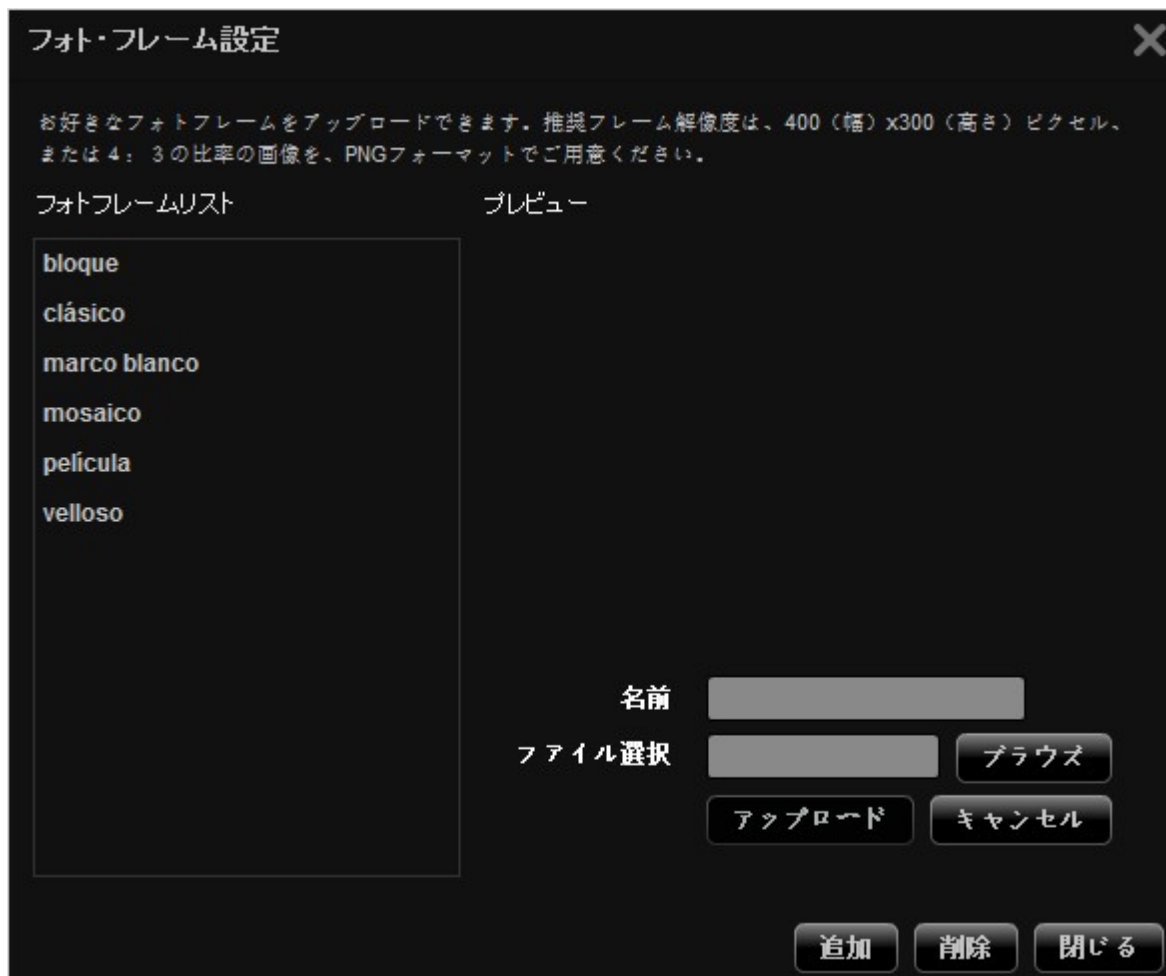


Photo Frame Settings (フォトフレーム設定)

フォトフレームをアップロードして画像表示に使用することができます。推奨解像度は400(幅)x300(高ピクセルか、画像を4:3アスペクト比で使用します。サポートする形式はPNGです。フォトフレームを追加するには、“Add”(追加)をクリックしてファイルをアップロードします。



フォトフレーム名には1-16文字まで使うことができます。Multimedia Stationがサポートするフォトフレームの最大数は、システムデフォルトのフォトフレームを含め64です。デフォルトのフォトフレームは削除できません。ご注意ください。



Set Folder Public (フォルダをパブリックに設定)

画像ファイルをウェブに公開するには、フォルダをパブリックにする必要があります。パブリックアクセスを許可するフォルダを選択し、>をクリックします。続いて“Save” (保存)をクリックします。パブリックフォルダには、Multimedia Stationにログインすることなく全ての人がアクセスすることができますのでご注意ください。



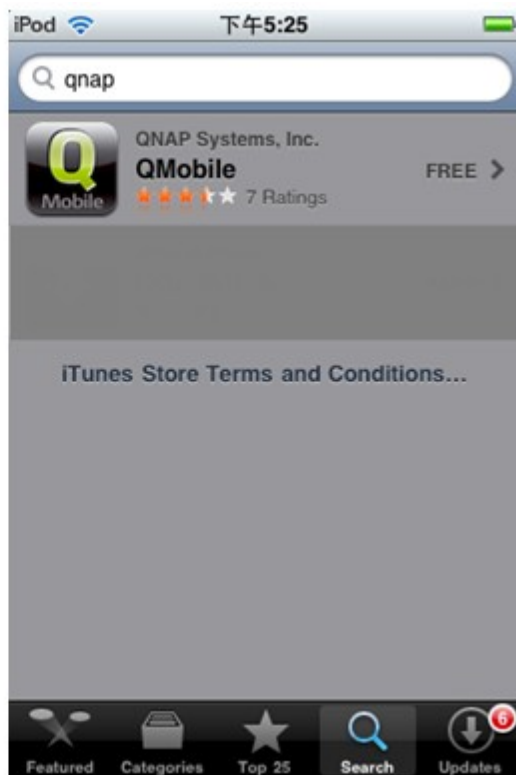
7.2.1 QMobile

QMobile は、iPhone、iPod touch、iPad、および、Android 電話などのハンドヘルドデバイスを使って、音楽、デジタル写真、および、ビデオを、QNAP NAS サーバーからストリームして、どこにいても、ファイルをデバイス上で直接再生できるアプリケーションです。インターネットアクセスがあれば、NAS 上のすべてのコンテンツにリモートアクセスできます。

注: QMobile は、ファームウェアバージョン 3.3.0 またはそれ以降を実行する QNAP Turbo NAS に適用できます。マルチメディアステーションと Web サーバーが有効になっていること、および、QMobile が QNAP NAS 上のマルチメディアファイルにアクセスできるように共有コンテンツが構成されていることを確認します。(NAS 上とマルチメディアステーション上に作成したユーザーアカウントは相互依存性はありません。認証されたユーザーアカウントを使って、マルチメディアステーションにアクセスしてください。)

QMobile のステップバイステップインストールガイド:

App Store (iPhone) または Android Market (Android 電話) から QMobile をダウンロードします。



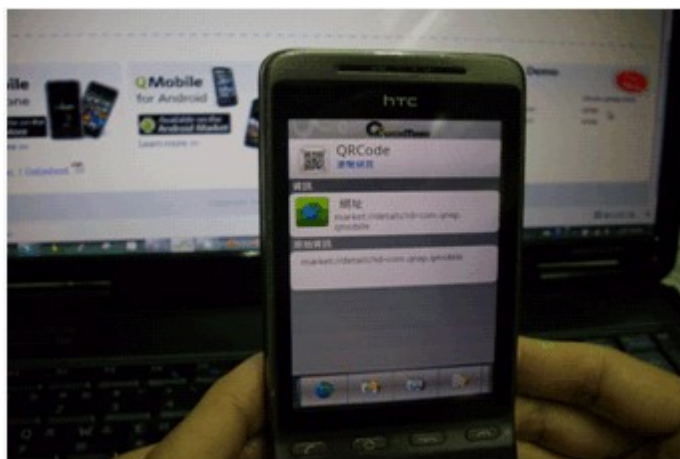
Android電話ユーザーは、以下のWebサイトからQRコードの写真を撮ることでQmobileのダウンロードリンクを取得することもできます。

1. <http://www.qnap.com/QMobile/Default.aspx?lang=eng>
2. <http://www.doubletwist.com/apps/android/qmobile/-6558955796410604679/>

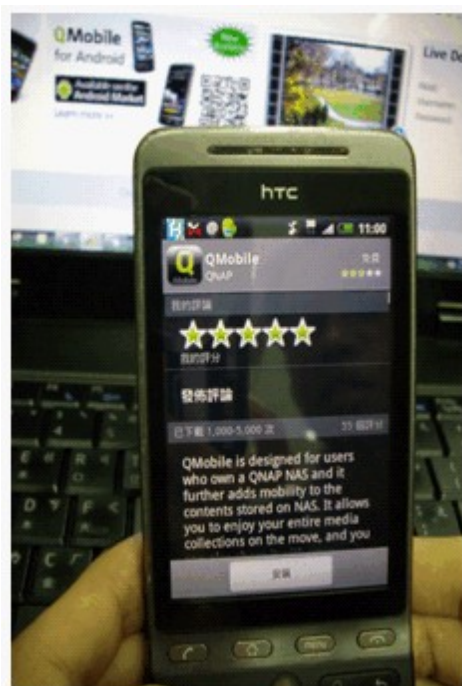
QRコードの写真を撮ります。



QRコードからダウンロードを自動的に取得します。



QMobileをAndroid電話にダウンロードします。



インストールが完了すると、QMobile が画面上に表示されます。



ハンドヘルドデバイス上で NAS 設定を構成します

QMobile アプリケーションを起動して QNAP NAS を追加します。「Automatic Discovery (オートディスカバリ)」または「Add Server Manually (サーバーを手動で追加)」で NAS を QMobile に追加できます。



Automatic Discovery (オートディスカバリ)



注:

1. iPhone の場合

この機能を使用できるのは、「Network Services (ネットワークサービス)」>「Network Service Discovery (ネットワークサービス ディスカバリ)」>「Bonjour」で「QMobile for iPhone/iPod Touch (iPhone/iPod touch 用の QMobile)」を有効にした場合だけです。

Home>> Network Services>> Network Service Discovery

Service Name:

SSH
Service Name:

FTP (File Transfer Protocol)
Service Name:

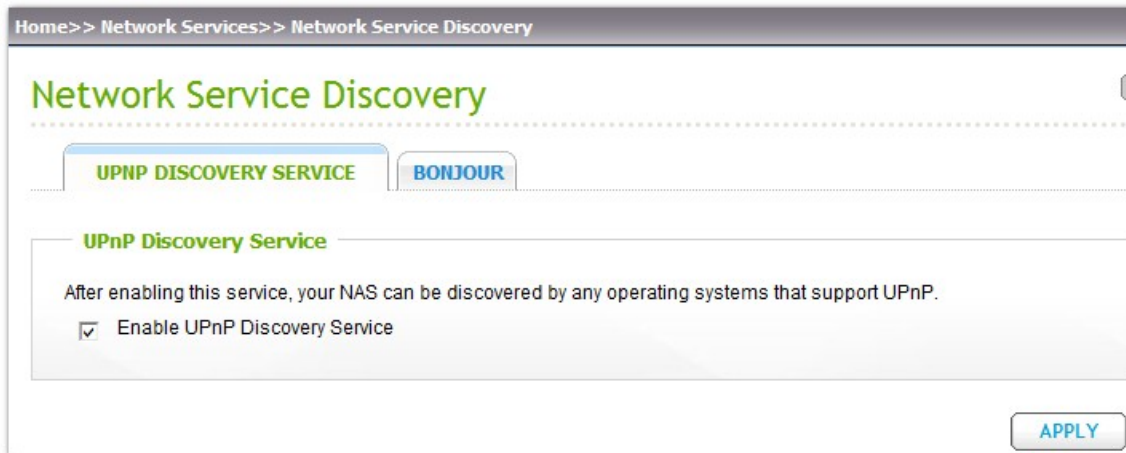
HTTPS (Secure web server)
Service Name:

DLNA Media Server
Service Name:

Apps for iPhone, iPad, iPod touch
Service Name:

2. Android デバイスの場合

この機能を使用できるのは、「Network Services (ネットワークサービス)」>「Network Service Discovery (ネットワークサービス ディスカバリ)」>「UPnP Discovery Service (UPnP ディスカバリサービス)」で NAS 上の「Enable UPnP Service (UPnP サービスを有効にする)」を有効にした場合だけです。



QMobile がローカルネットワーク上で Bonjour/UPnP を有効にした NAS サーバーをすべて検索します。NAS を選択し、ユーザー名とパスワードを使ってログインします。



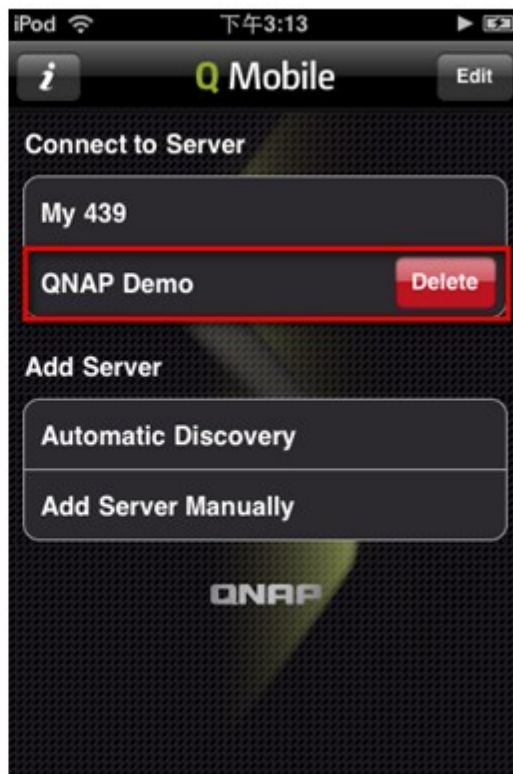
Add Server Manually (サーバーを手動で追加)



NAS の名前、ホスト/IP、ユーザー名、および、パスワードを入力します。



接続したい NAS を選択します。QMobileからNASを削除するには、NAS名をスワイプし[Delete(削除)]をタップします。



QMobile を使って NAS 上のメディアセンターを管理する

1. Media Center (メディアセンター)

NAS のマルチメディアステーション上に保存したマルチメディアファイルを表示したり、再生できます。
注: QMobile が再生できるのはハンドヘルドデバイスがサポートするファイル形式だけです。

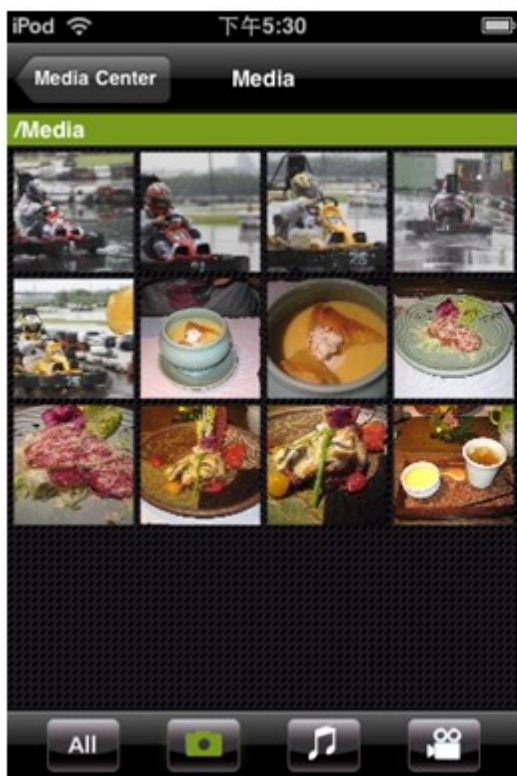
NAS に接続して、Media Center(メディアセンター)アイコンをタップします。



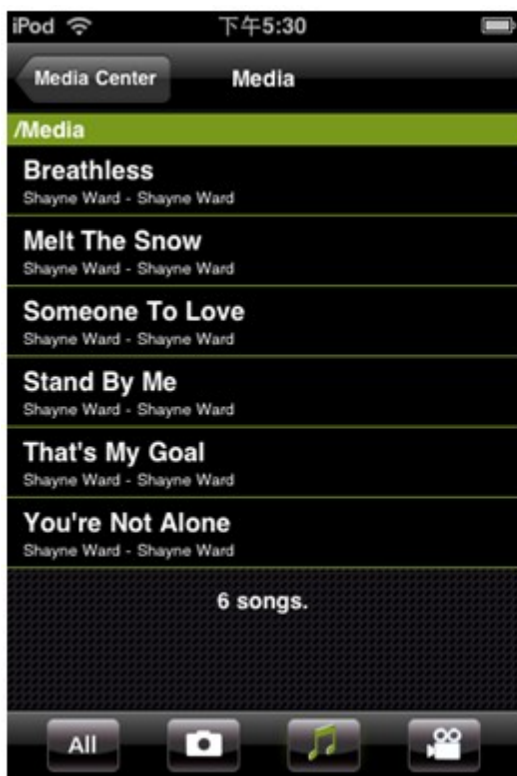
「Qmultimedia/Multimedia」デフォルト共有フォルダで、マルチメディアファイルを検索できます。または、一番下にある対応するアイコンをタップして、特定の写真、音楽、または、ビデオファイルを選択できます。



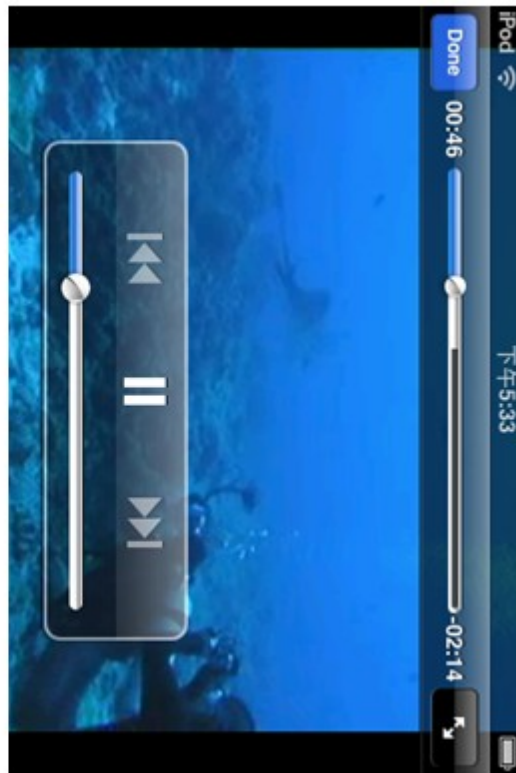
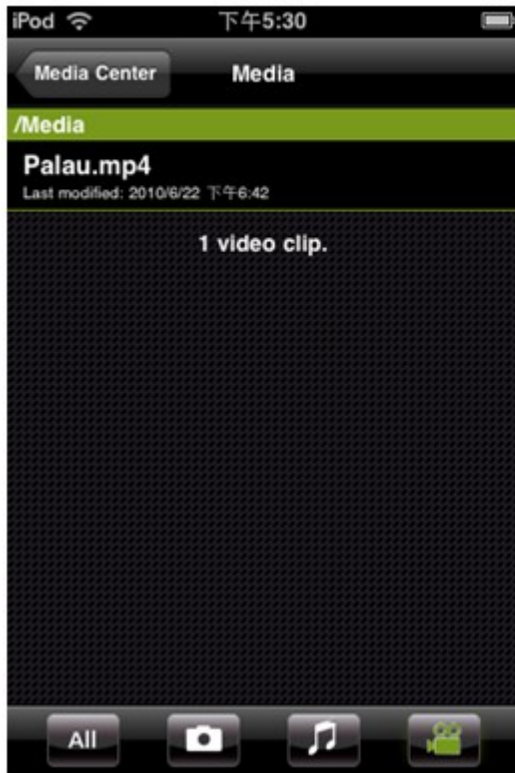
フォトビュー



ミュージックビュー



ビデオビュー



2. 写真を NAS にアップロードする

QMobile 経由でハンドヘルドデバイス上の写真ファイルを NAS に直接アップロードできます。  をタップして、ファイルソース

を選択します。  をタップして、NAS のファイルのアップロード先を選択します。

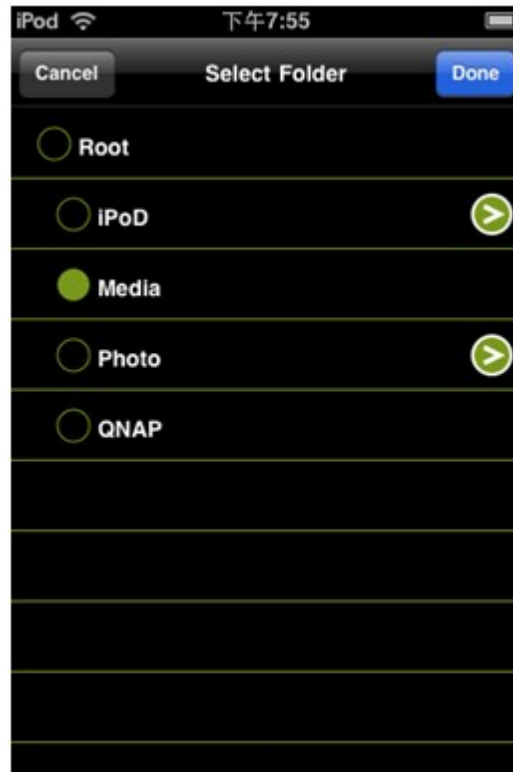


写真のソース: ハンドヘルドデバイスから写真を選択します。

写真の保存先: 写真の保存先となるルートフォルダ (NAS の「Qmultimedia/Multimedia」フォルダ)、または、サブフォルダを選択します。



(写真のソース)



(写真の保存先)

写真を選択し、「Upload(アップロード)」アイコンをタップして、写真を NAS にアップロードします。

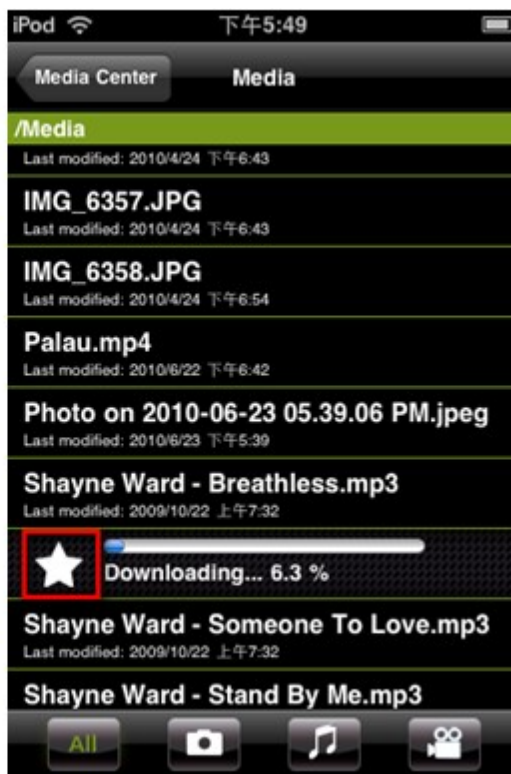


3. My Favorites (お気に入り)

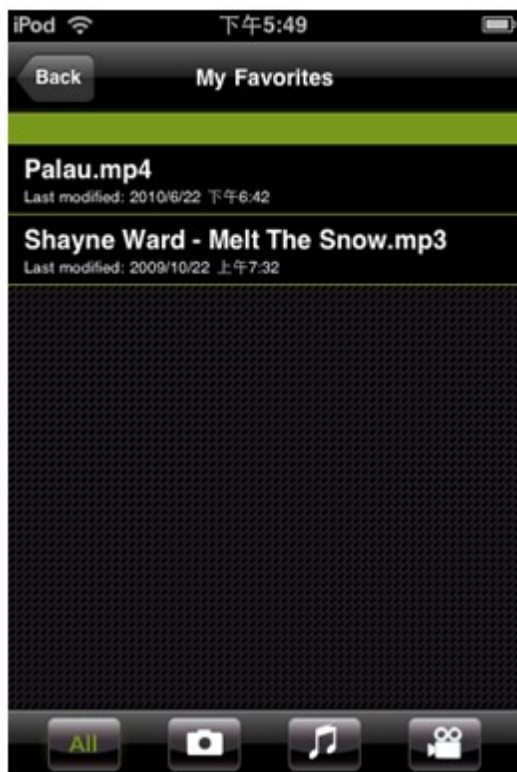
「My Favorites (お気に入り)」で、マルチメディアファイルを NAS からハンドヘルドデバイスにダウンロードして、オフラインで再生できます。



Media Center(メディアセンター)でファイルをスワイプし、星印をタップしてダウンロードを開始します。
(ダウンロードされていないファイルは「Not downloaded(ダウンロードされていません)」と表示されます。)



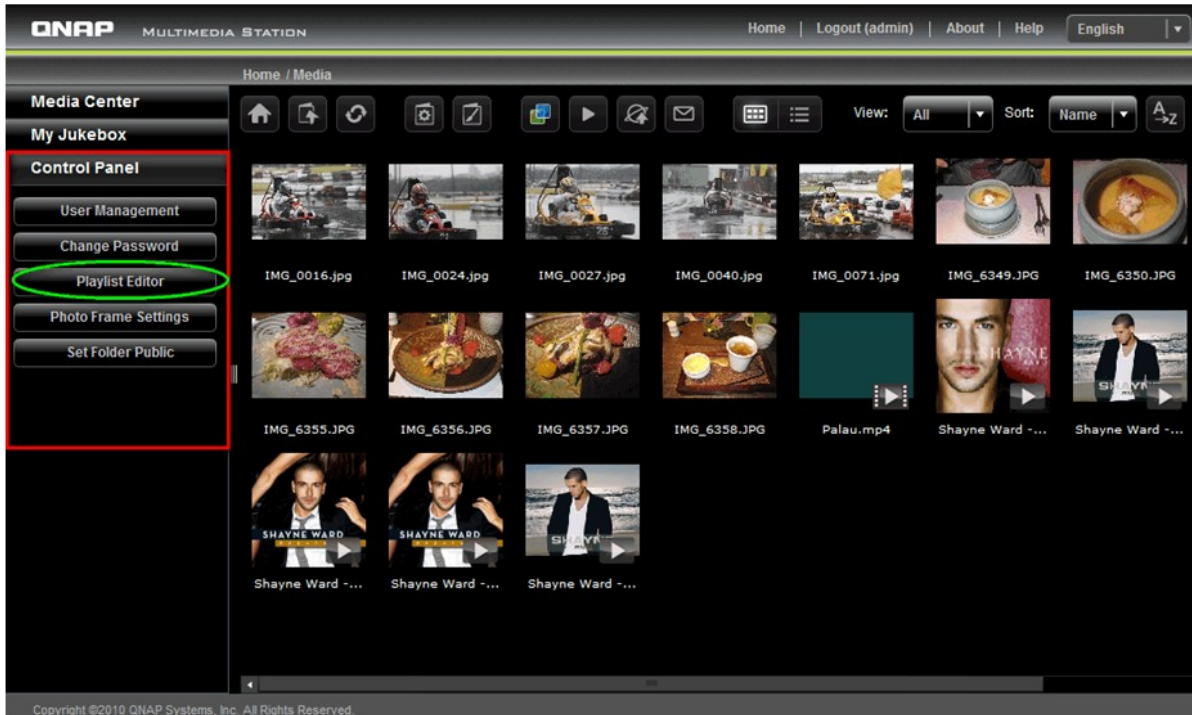
ダウンロードしたファイルが「My Favorites (お気に入り)」に表示されます。NAS に接続する度に、QMobile が、ダウンロードしたファイルのソースが更新されたかどうか、または、NAS から削除されたかどうかを確認します。NAS を使って変更を同期化するように選択できます。



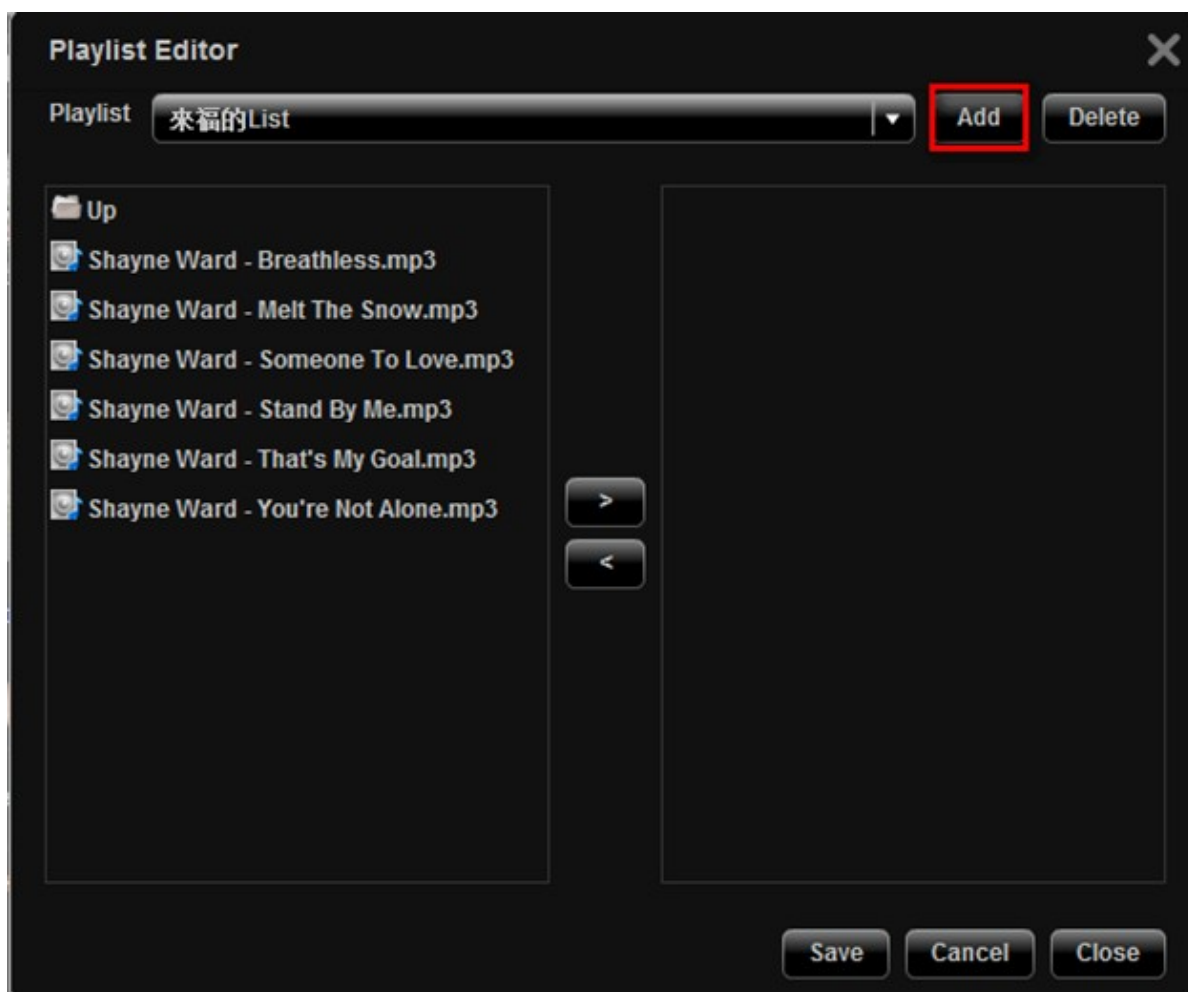
4. My Jukebox (マイ ジュークボックス)

メディアステーション上で構成したプレイリストを表示、ストリーム、再生できます。

メディアステーションに管理者としてログインします。「Control Panel(コントロール パネル)」>「Playlist Editor(プレイリストエディタ)」の順に選択します。



[Add(追加)] をクリックして、プレイリストを作成します。プレイリスト名を入力して、[Save(保存)] をクリックします。



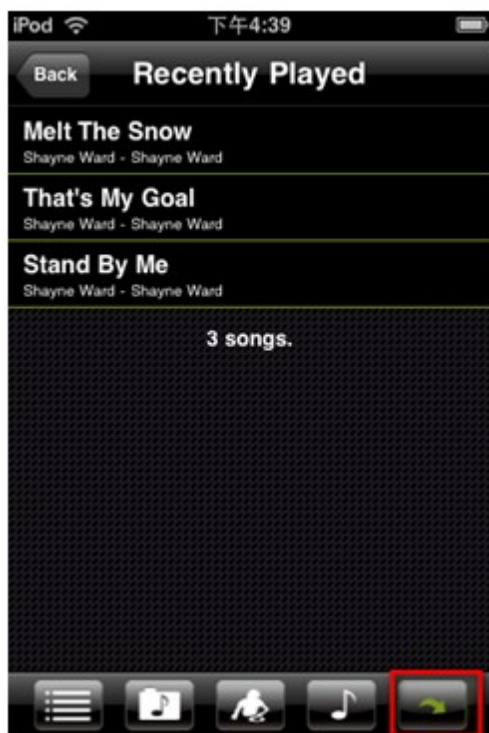
ドロップダウンメニューからプレイリストを選択し、次に、プレイリストに追加する音楽ファイルを選択して、[>] をクリックします。[Save (保存)] をクリックして、プレイリストを保存します。



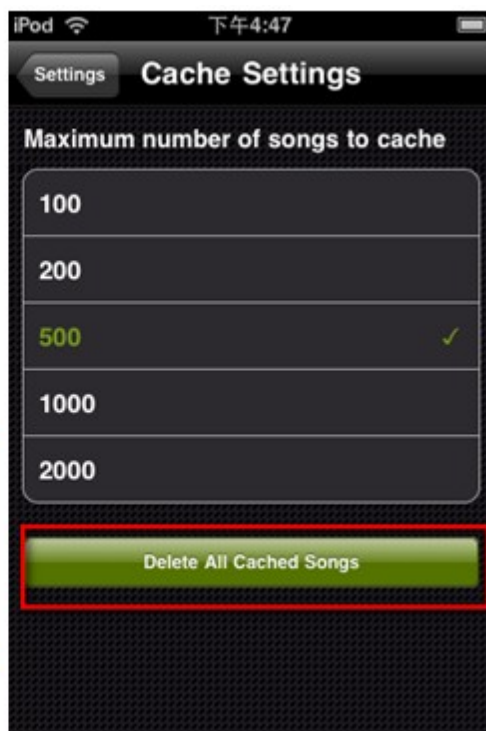
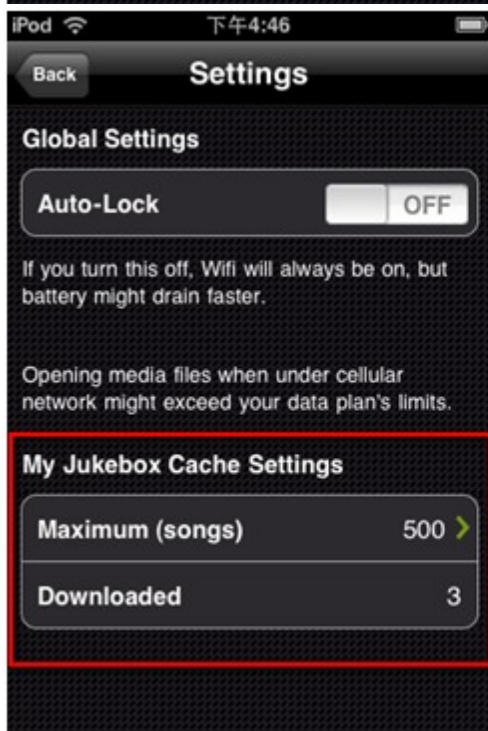
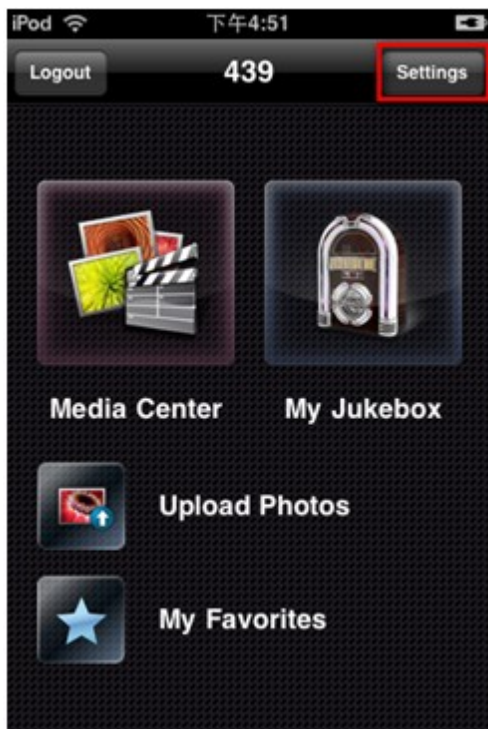
ハンドヘルドデバイス上の「My Jukebox(マイ ジュークボックス)」で、NAS 上に作成したプレイリストを再生できます。



オーディオファイルのストリームが完了すると、「Recently Played(最近再生したファイル)」内のキャッシュに保存されます。



「Settings (設定)」でキャッシュ設定を編集できます。



7.3 Photo Station

Photo Station とは、インターネット上で写真およびビデオを整理し共有するウェブアルバムです。

要件：

- NAS の Web サーバーおよびマルチメディアステーションを有効にします。Photo Station は、マルチメディアステーションのメディアライブラリを使用します。Photo Station を有効にすると、マルチメディアステーションが自動的に有効化されます（無効な場合）。
- Adobe Flash Player 9 またはそれ以降が必要です。

Photo Station を使用するには、以下を行います。

1. NAS に「admin」としてログインします。「Applications (アプリケーション)」>「Photo Station」に移動し、この機能を有効にします。「Rescan media library (メディアライブラリの再スキャン)」オプションを有効にし、NAS が毎日メディアライブラリをスキャンする時刻を指定します。NAS は、毎日指定した時刻に新しく追加されたファイルに対してサムネイルを生成し、メディア情報を取得して、ビデオをトランスコードします。



2. ユーザアカウント設定では、「System Users (システムユーザ)」または「Standalone Application Users (スタンドアロンアプリケーションユーザ)」(デフォルト)のどちらかを選択します。「System Users (システムユーザ)」が選択された場合、アプリケーションにはローカルNASアカウントが使用されます。ユーザアカウントは「Access Right Management (アクセス権の管理)」>「Users (ユーザ)」で作成できます。アプリケーションで専用のユーザアカウントを使用するには、「Standalone Application Users (スタンドアロンアプリケーションユーザ)」を選択します。「Settings (設定)」からアプリケーションにログイン後、ユーザアカウントを作成および管理できます。

3. 写真およびビデオファイルを NAS の Qmultimedia または Multimedia フォルダにアップロードします。

Photo Station は、次のファイルフォーマットをサポートします：

画像	BMP (Intel ベース NAS のみ)、GIF、PNG、JPG および JPEG
ビデオ	FLV および H.264 (AAC)

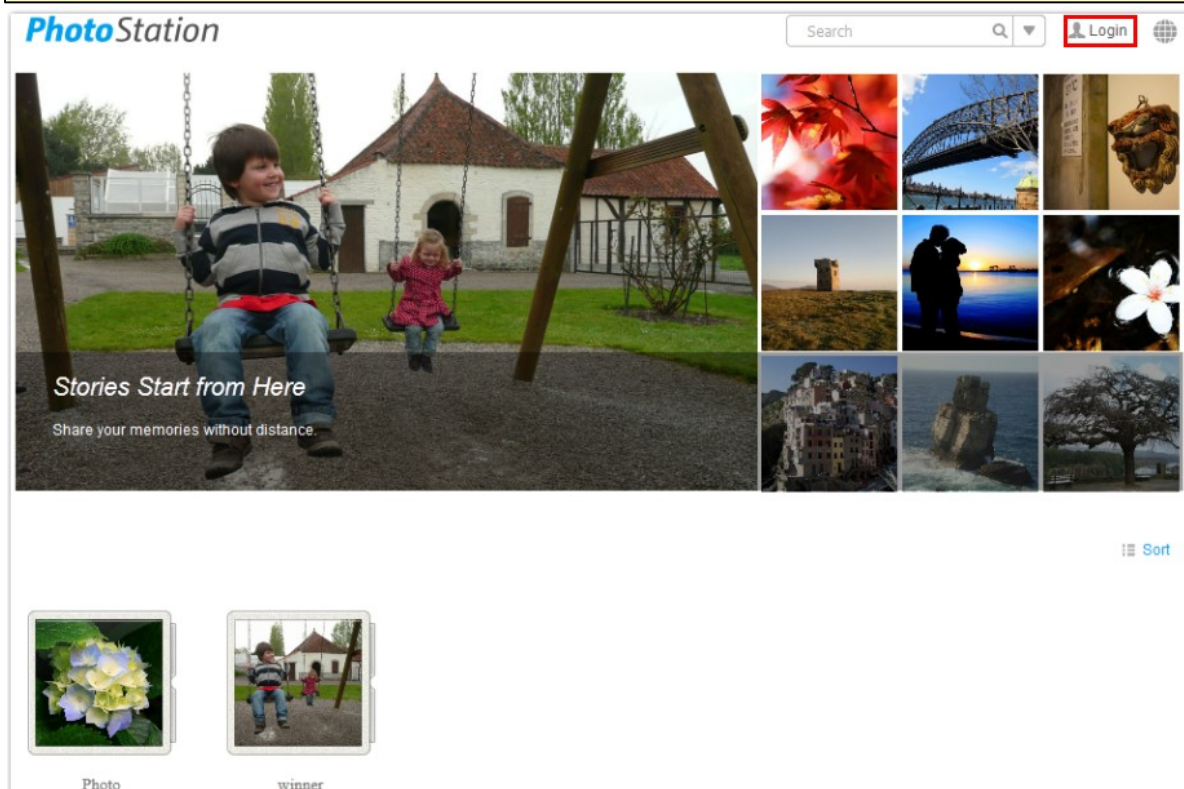
ファイルアップロードのヒント：

- 画像ファイルの最大サイズは 32MByte です。
- 同時にアップロードできるファイルの最大サイズは 2GByte です。

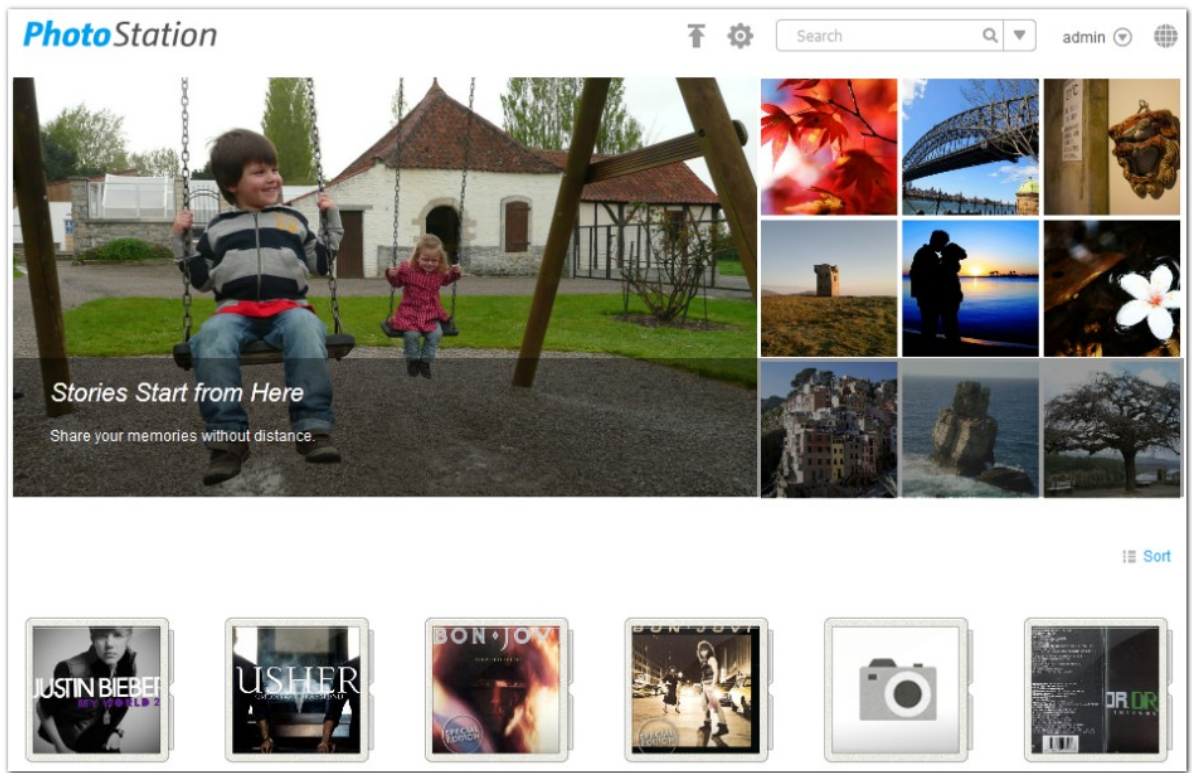
4. NASのログインポータルからPhoto Stationに接続して、またはウェブブラウザ (Internet Explorer、Mozilla Firefox、または Google Chrome) に <http://NAS IP/musicstation> と入力して、「Login (ログイン)」をクリックし、Photo Station にログインします。







注：

- Photo Stationの管理者ログイン情報は、NASウェブ管理者のそれと同じです。
- 「admin」以外のスタンドアロンユーザアカウントが使用中の場合、NASのログインポータルからアプリケーションへのログインは無効になります。



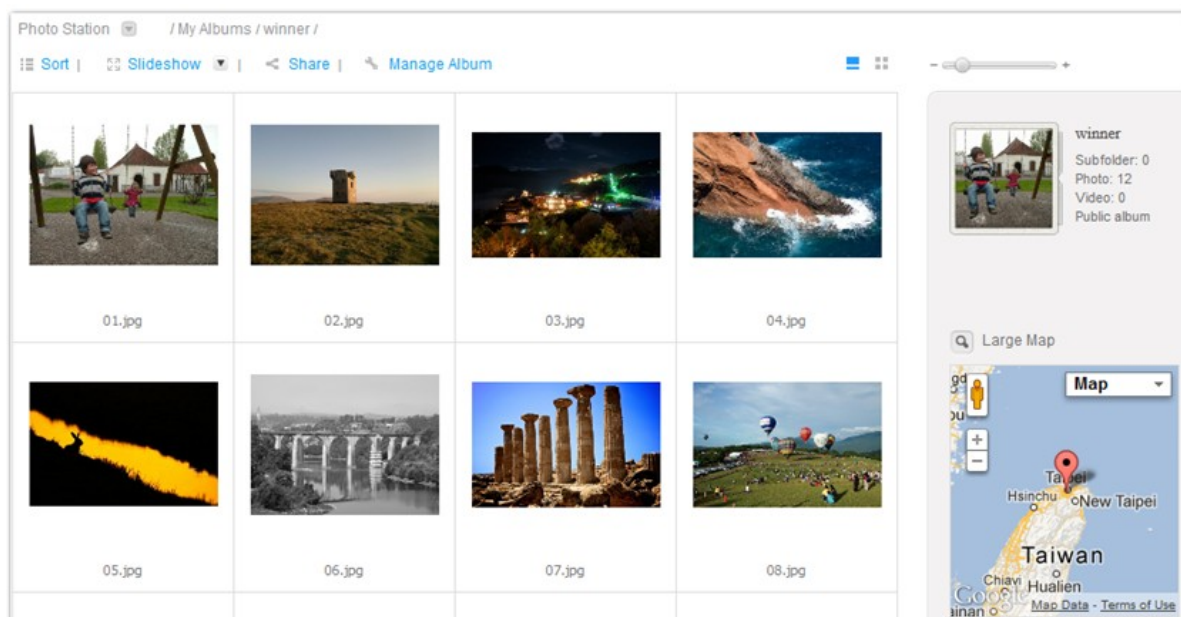
5. ログインページの上部にPhoto Stationのバナーと説明が表示されます。バナーの下には、ユーザアカウントでアクセス可能なアルバムがあります。🌐 をクリックして、表示言語を選択します。



アイコン	説明
	写真をアップロードしてアルバムを作成、または既存のアルバムに写真を追加します。
	設定ページに移動します。
	現在のディレクトリの下フォルダー、写真またはビデオを検索します。高度な検索を行うには、三角アイコンをクリックします。
	ログアウト。Photo Stationの詳細。
	表示言語の選択。
	コンテンツをファイル名、サイズ、ファイル作成日、写真撮影日、アルファベットの昇順または降順でソートします。

1. アルバム(フォルダ)の参照

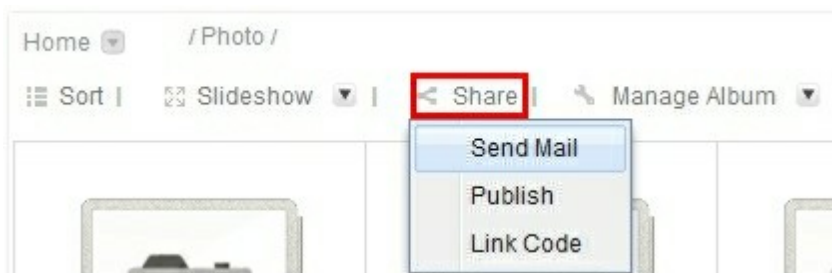
アルバム(フォルダ)を参照すると、サブフォルダおよびサポートされる画像とビデオファイルが表示されます。



アイコン/オプション	説明
	上位フォルダへ移動
/ディレクトリ/	アルバム(フォルダ)内のディレクトリに対するクイックリンクです。
Sort(ソート)	コンテンツをファイル名、サイズ、ファイル作成日、写真撮影日、アルファベットの昇順または降順でソートします。
Slideshow(スライドショー)	写真をスライドショーで表示します。三角アイコンをクリックして、表示モード、スピード、プレイリスト(背景音楽)を選択します。プレイリストは、Music Station(「Applications(アプリケーション)」> Music Station)で作成および編集することができます。
Share(共有)	コンテンツを他の人と電子メール、ソーシャルネットワークへの公開、またはリンクコードにより共有します。
Manage Album(アルバム管理)	既存アルバムにアルバムを追加したり、ファイルをアップロード/コピーします。
	サムネイルまたは写真壁内から表示するコンテンツを選択します。サムネイル表示では、画像ファイル名またはビデオファイル名のみが表示されます。
	サムネイルサイズを調整します。

2. 写真およびビデオファイルの共有


Photo Station 上の画像を電子メール、ソーシャルネットワークへの公開、またはリンクコードによりインターネット上で共有することができます。「Share(共有)」をクリックし、オプションを選択します。



2.1 Send Mail(メールの送信)

電子メールで友達に送信する最大 5 件の画像を選択します。件名(最大 128 文字)、送信者名(最大 128 文字)とメールアドレス、受信者名(最大 128 文字)とメールアドレス、およびメッセージ(最大 1024 文字)を入力します。「Attach slideshow link of current album(カレントアルバムのスライドショーリンクを添付する)」を選択し、電子メールにアルバムスライドショーのリンクを添付します。「Send(送信)」をクリックします。

注:

- この機能を使用するには、「System Administration(システム管理)」>「Notification(通知)」>「Configure SMTP Server(SMTP サーバーの設定)」でメールサーバー設定を適切に行う必要があります。
- 画像の共有を行う前に、「 Settings(設定)」>「Set Folder Public(フォルダ公開設定)」でアルバムを公開する必要があります。



Click the images you want to publish

Selected Images

Subject:

My Name:

My Email:

Friend's Email:

Message:

You can post your personal message here.


Note: Separate the email addresses by comma (,) or a semi-colon (;).

Attach slideshow link

2.2 Publish (公開)

ソーシャルネットワークに公開する最大 5 件の画像を選択します: Twitter、Facebook、MySpace、Plurk または Blogger。タイトル(最大 256 文字)とメッセージ(最大 1024 文字)を入力し、URL を指定します。ソーシャルネットワークアイコンをクリックし、ログイン情報を入力して、画像を公開します。

注:

- 画像の共有を行う前に、「 Settings (設定)」>「Set Folder Public(フォルダ公開設定)」でアルバムを公開する必要があります。
- Photo Station をインターネット上でアクセス可能にする必要があります。NAS 上で DDNS(「System Administration(システム管理)」>「Network(ネットワーク)」)または MyCloudNAS サービスをセットアップすることを推奨します。

Page: 1 / 4



パブリッシュするイメージをクリックします

タイトル: リンク: /photostation/




B I U ABC | ↶ ↷ | 🗑️ | ☰ ☷

パブリッシュ先     

2.3 Link Code (リンクコード)

ソーシャルネットワーク、電子メール、またはフォーラムに公開するコンテンツのアルバムスライドショーのリンクをコピーします。

注:

- 画像の共有を行う前に、「 Settings (設定)」>「Set Folder Public (フォルダ公開設定)」でアルバムを公開する必要があります。
- Photo Station をインターネット上でアクセス可能にする必要があります。NAS 上で DDNS または MyCloudNAS サービスをセットアップすることを推奨します。

スライドショー - リンクコード

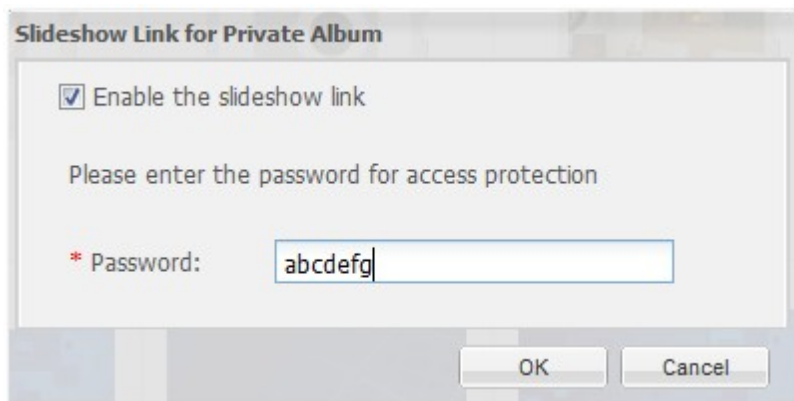
フォーマット	URL	10.8.12.93
リンク	http://10.8.12.93/photostation/slideshow.php?folder=%2FPhoto	
		クリップボードにコピーする

プライベートアルバムの共有

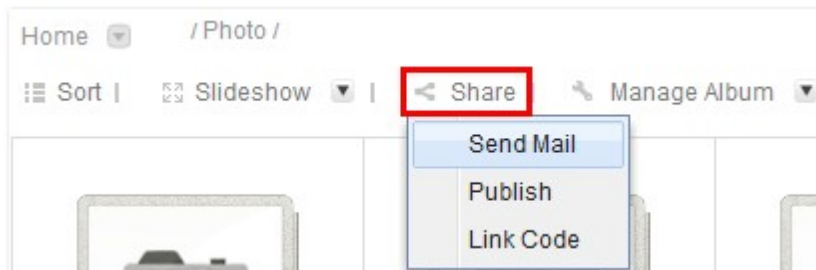
「Manage Album (アルバムの管理)」をクリックして「Enable/Disable Slideshow Link (スライドショーリンクの有効化/無効化)」を選択します。



スライドショーリンクを有効にして、スライドショーリンクに対するアクセスパスワードを入力します。



「Share (共有)」をクリックして、アルバムを電子メールまたはリンクコードで共有します。

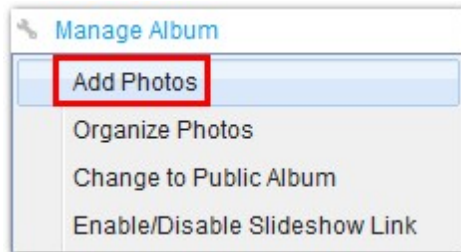


3. アルバムの作成

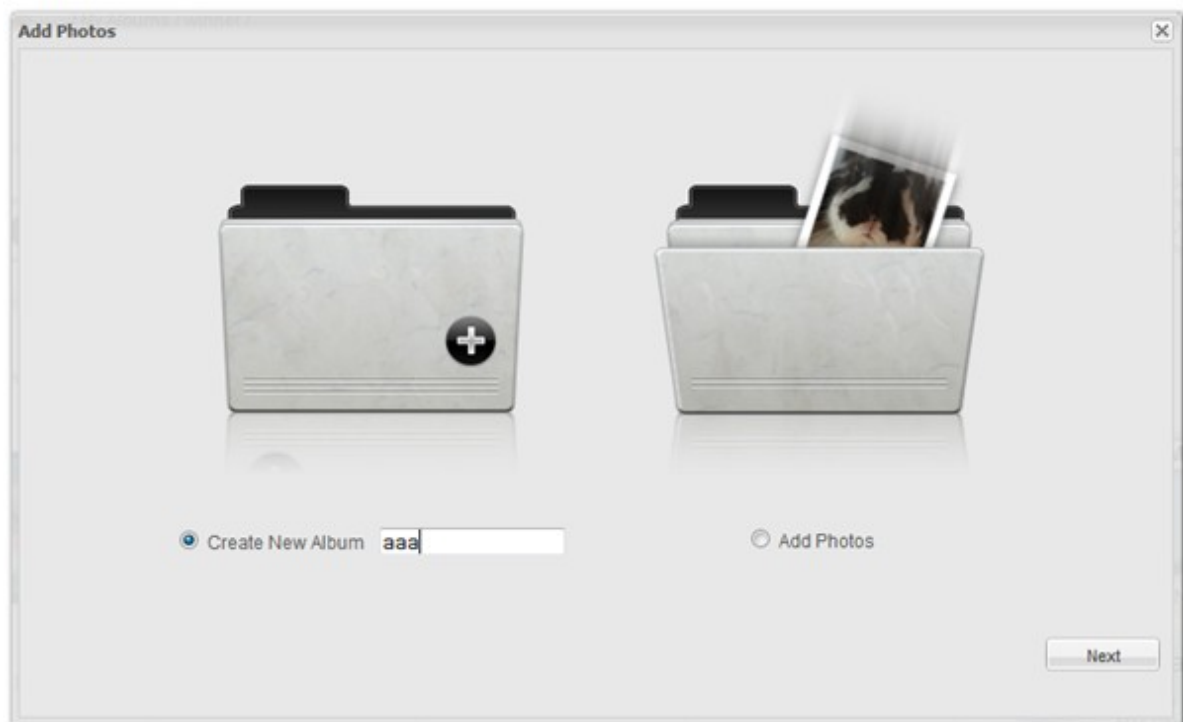
フォルダー内にアルバムを作成するには、「Manage Album(アルバムの管理)」>「Add Photos(写真の追加)」をクリックするか、



をクリックします。



「Create an Album(アルバムの作成)」を選択し、アルバム名を入力します。「Next(次へ)」をクリックします。



3.1 File Upload(ファイルアップロード)

「File Upload(ファイルアップロード)」タブの下で、画像またはビデオファイルを参照し、「Start(開始)」をクリックしてファイルをアップロードします。Mozilla Firefox または Google Chrome のユーザーは、ファイルをドラッグアンドドロップしてアルバムにアップロードすることができます。アルバム内に同一名称のファイルが存在する場合、操作はスキップされます。

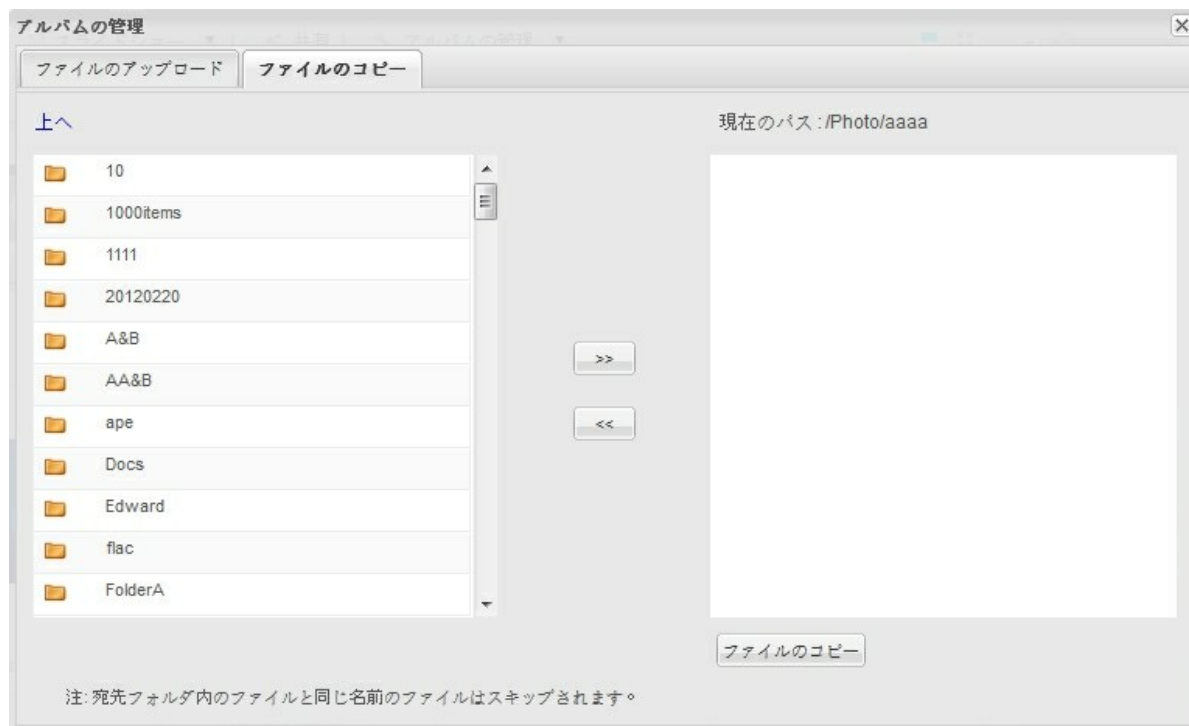
注:

- サポートされる画像ファイルの最大サイズは 32MByte です。
- 同時にアップロードできるファイルの最大サイズは 2GByte です。




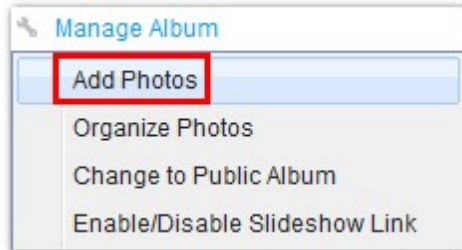
3.2 File Copy (ファイルコピー)

Photo Station 上のフォルダから画像またはビデオファイルを選択したアルバムにコピーするには、「File Copy (ファイルコピー)」タブの下でフォルダとファイルを選択して「>>」をクリックします。その後、「File Copy (ファイルコピー)」をクリックします。アルバム内に同一名称のファイルが存在する場合、操作はスキップされます。

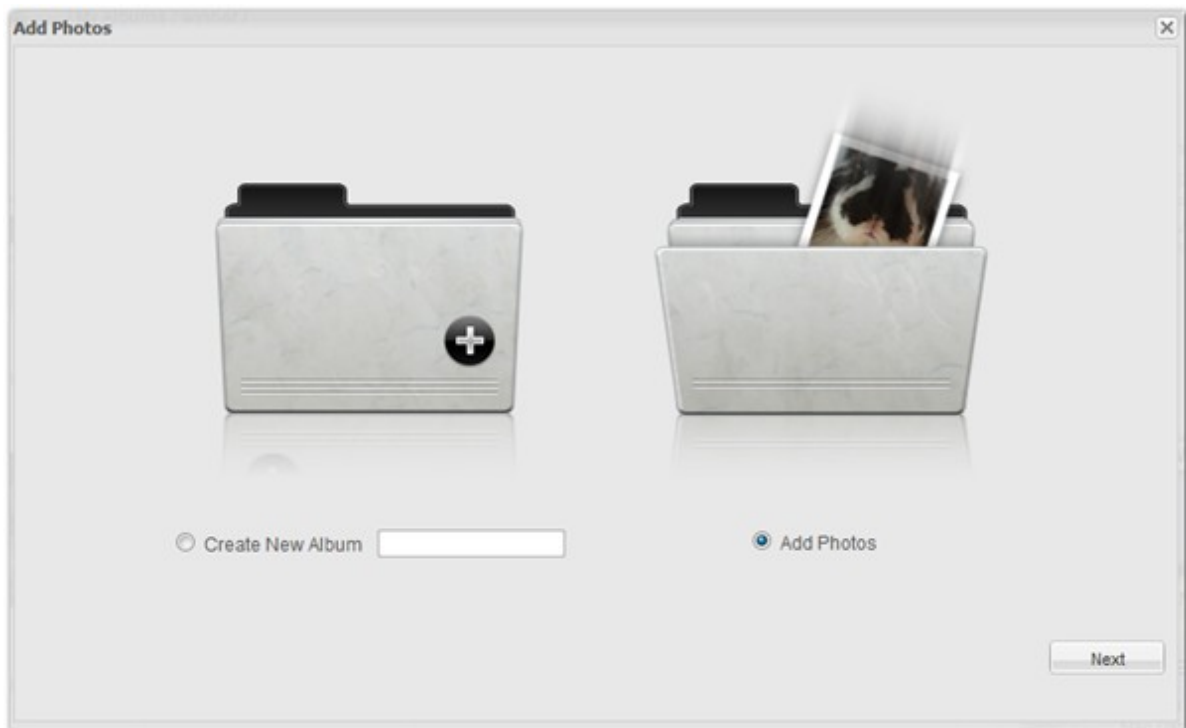


4. アルバムの編集

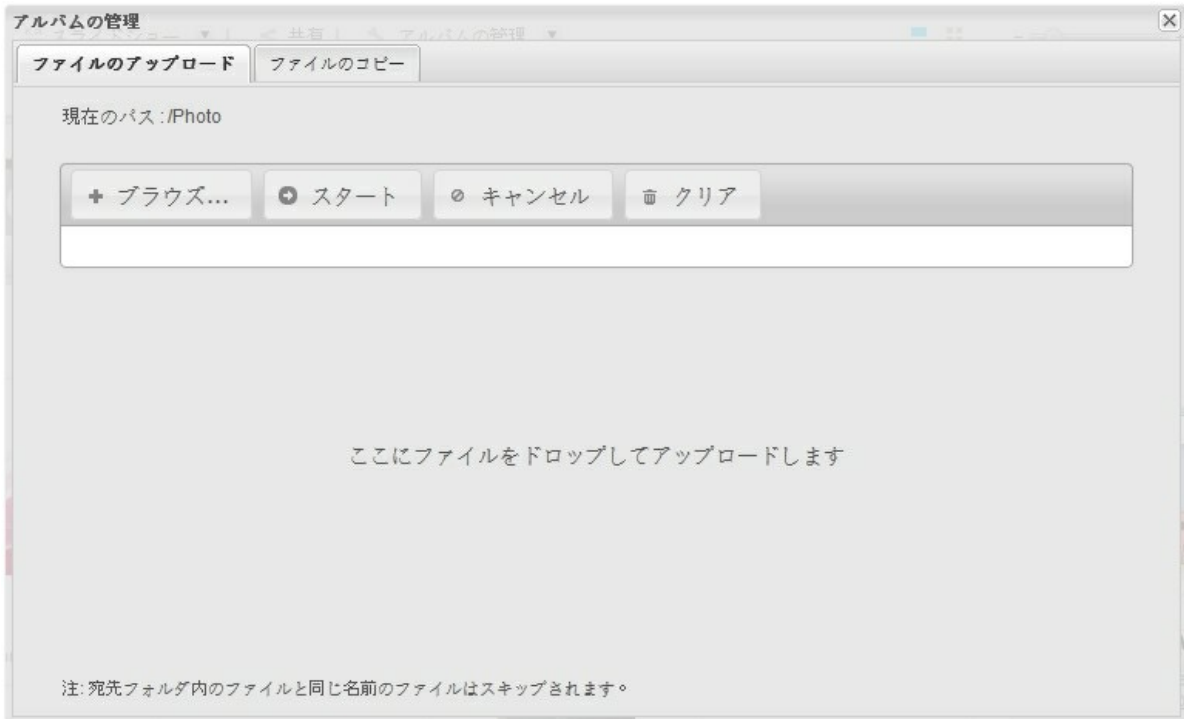
Photo Stationの既存のアルバムにファイルをアップロードまたはコピーするには、「Manage Album(アルバムの管理)」>「Add Photos(写真の追加)」または  をクリックします。



「Add Photos(写真の追加)」を選択します。「Next(次へ)」をクリックします。



既存アルバムからアルバムにアップロードするファイルまたはコピーするファイルを選択します。

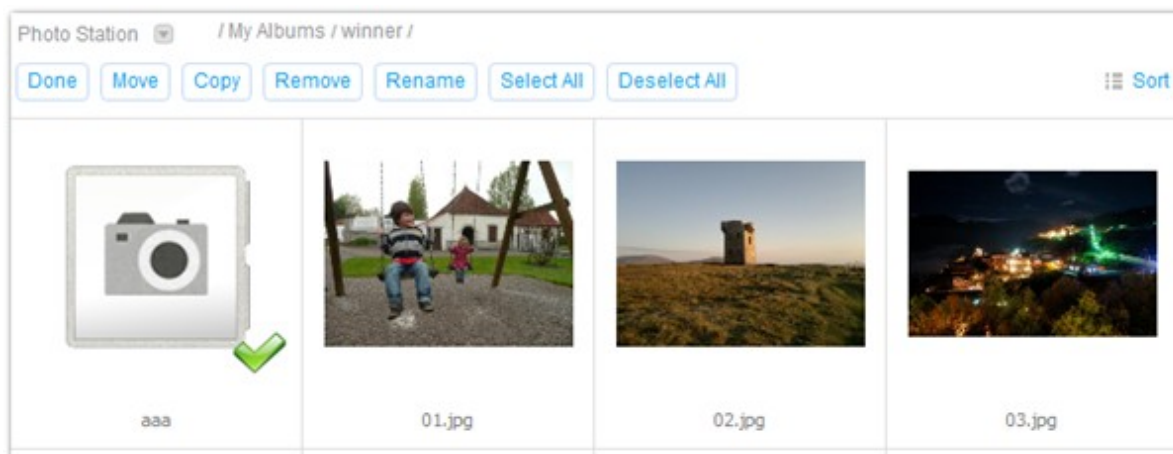


写真の整理

アルバムの中の写真を整理するには、「Manage Album(アルバムの管理)」>「Organize Photos(写真の整理)」をクリックします。



移動、コピー、削除、名前を変更するアルバムの中のファイルまたはフォルダーを選びます。変更が終わったら、「Done(完了)」をクリックします。



5. 写真の表示

Photo Station は、画像ファイルの表示に次のオプションをサポートします。






アイコン/オプション	説明
Slideshow (スライドショー)	アルバム内の画像をスライドショー形式で表示します。三角アイコンをクリックして、表示モード、スピード、プレイリスト(背景音楽)を選択します。プレイリストは、Music Station(「Applications (アプリケーション)」 > Music Station)で作成および編集することができます。
Download(ダウンロード)	画像をダウンロードします。
Link Code(リンクコード)	インターネット上で公開するために、異なるサイズの画像のリンクをコピーします。
EXIF	画像の EXIF 情報を表示します。
編集(Pixlr エディタ)	画像をオンラインで、Pixlr エディタを使って編集します。
Geotag (位置情報タグ)	Googleマップで画像に位置情報タグを付けます。
	画像を反時計回りに 90 度回転します。
	画像を時計回りに 90 度回転します。
	画像をアルバム表紙として設定します。
	画像をオリジナルサイズで表示します。
File name(ファイル名)	クリックして、画像のファイル名を編集します。「Submit(実行)」をクリックして、変更を保存します。
Description(説明)	画像の説明(最大 512 文字)を入力します。
Add Comment (コメントの追加)	クリックして、画像上にコメント(最大 128 文字)を追加します。
Comment(コメント)	クリックして、画像上の全コメントを表示します。

Photo Station / My Albums / winner /

Slideshow | Download | Link Code | EXIF | Edit (Pixlr Editor) | Geotag



01.jpg
Click here to edit the description

Add Comment ▾

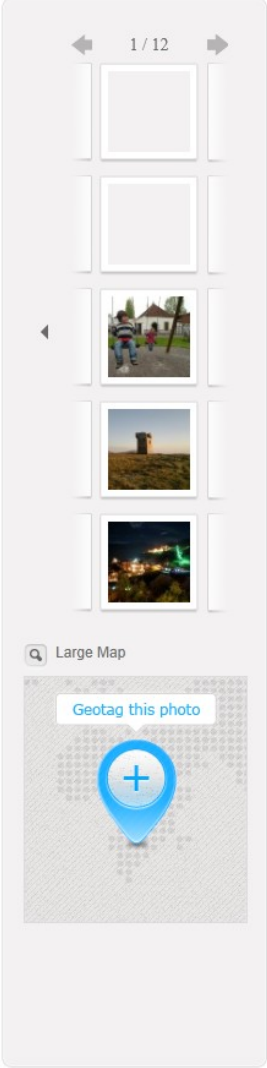
admin

Comment

Submit



Comment ▾

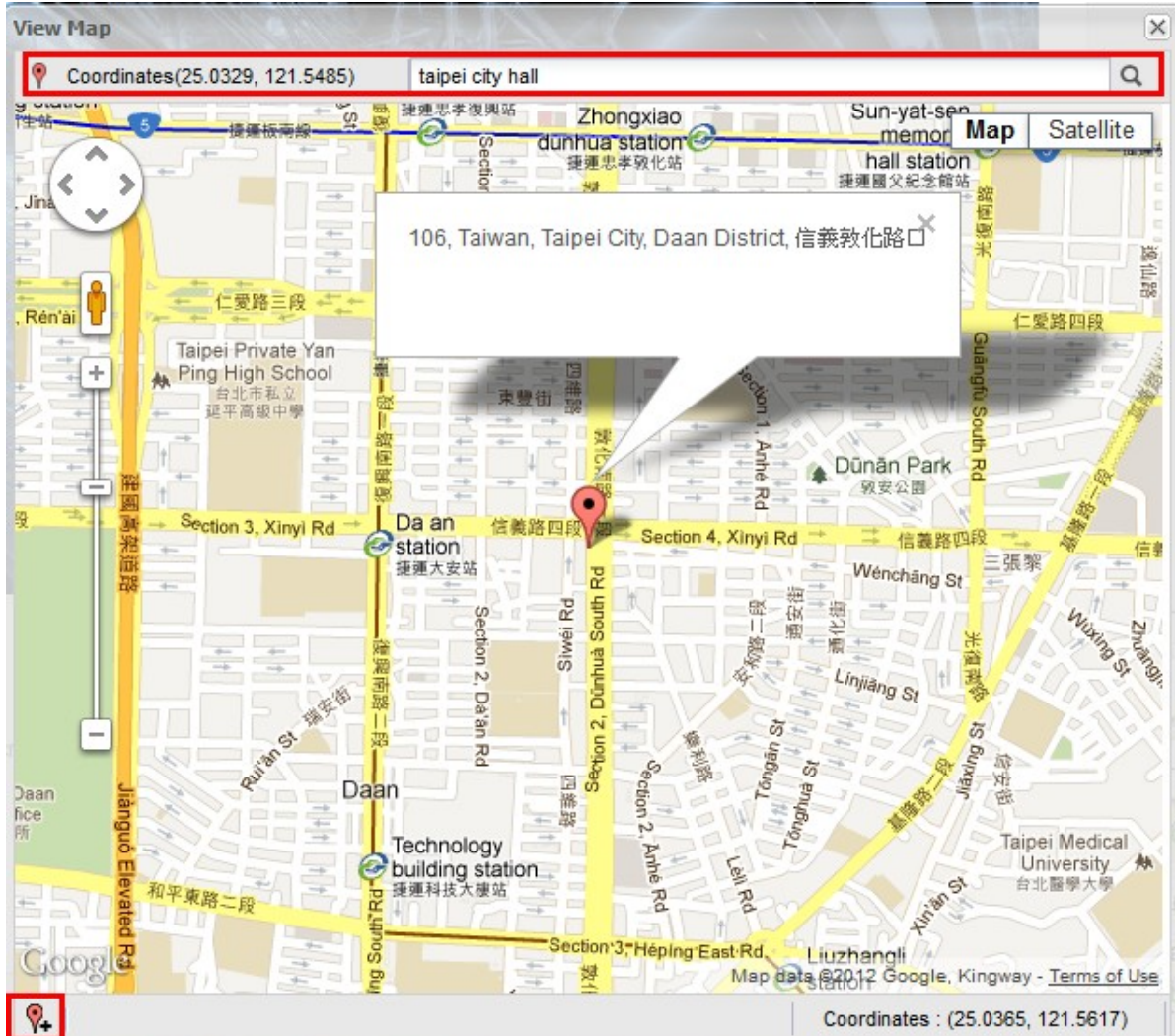
1 / 12



ジオタグ付写真

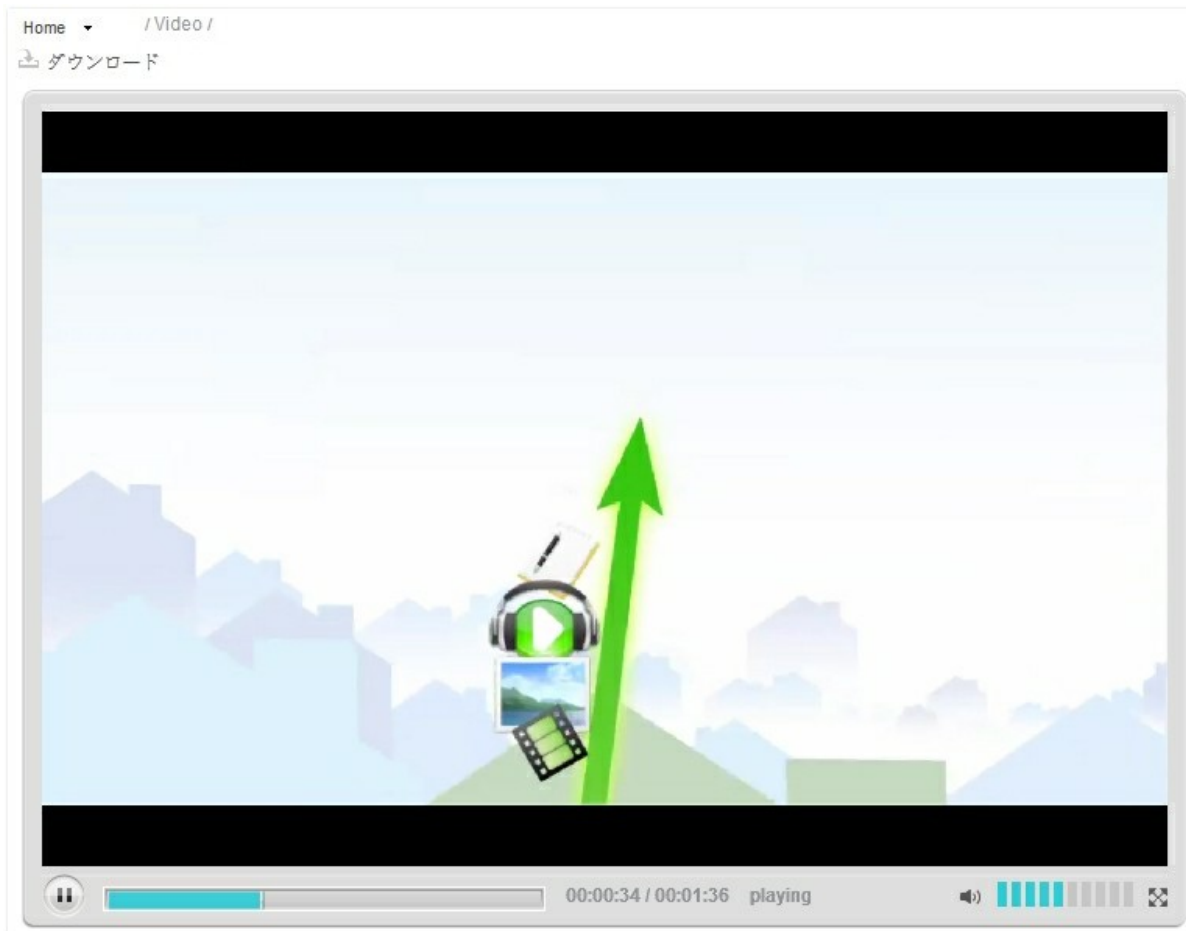


Googleマップと一緒に写真に位置情報タグを付けるには、「Geotag (位置情報タグ)」または  をクリックします。地図上で地点を検索します。地点を右クリックして、「Set Coordinates (座標設定)」または左下の  をクリックし、地図上の地点をクリックします。




6. ビデオの表示

ウェブブラウザで表示するビデオをクリックします。ファイルをダウンロードするには、「Download(ダウンロード)」をクリックします。



7. Settings (設定)

Click  to enter the Settings page.



The screenshot shows the '設定 TON' (Settings TON) interface. At the top, there are three tabs: 'アカウント' (Account), 'アルバムのプライバシー' (Album Privacy), and 'バナー設定' (Banner Settings). The 'アカウント' tab is selected. Below the tabs, there is a section titled 'アカウントの追加' (Add Account). This section contains a table with the following data:

ユーザ名	説明	スケジュール	管理者
AA		有効	いいえ
AAA		有効	いいえ

7.1 Account (アカウント)

ユーザーを作成するには、「Account (アカウント)」タブの下で、「Add Account (アカウントの追加)」をクリックします。



This screenshot is identical to the one above, showing the '設定 TON' interface with the 'アカウント' tab selected and the 'アカウントの追加' table containing two entries: AA and AAA, both with '有効' (Active) status and 'いいえ' (No) for the administrator role.

ユーザー名(最大 32 文字)、パスワード(1 ~ 16 文字)および説明(最大 127 文字)を入力します。ユーザーのステータス(enable(有効)またはdisable(無効))を選択し、ユーザーが管理者であるかどうかを指定します。その後、ユーザーにアクセスを許可するフォルダをアクセス可能フォルダリストに追加することで選択します。「Save(保存)」をクリックします。

注:

- ユーザー名には、A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9、ダッシュ(-)およびアンダースコア(_)のみが利用可能です。
- パスワードには、A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9、-, !、@、#、\$、%、_のみが利用可能です。

設定 TON ようこそ, admin 検索

アカウント アルバムのプライバシー パナー設定

新規アカウントの追加:

名前: john

パスワード: ●●●●●●

パスワードの再入力: ●●●●●●

Eメール: ●●●●●●●●●●

説明: friend

スケジュール: このユーザーアカウントを無効にする 管理者として設定する

アクセス不可なフォルダ

アクセス可能なフォルダ

10
1000items
1111
20120220
A&B
A&B

>>
<<

保存 キャンセル

7.2 Set folder public (フォルダ公開設定)

Photo Station 内の全フォルダは初期設定では非公開です。公開するフォルダを選択します。非公開フォルダは、承認済 Photo Station ユーザーのみがアクセス可能です。「Save (保存)」をクリックして、変更を保存します。



7.3 Advanced Settings (詳細設定)

「Advanced Settings (詳細設定)」でホームページ上の Photo Station のバナーをカスタマイズします。

設定 ION ようこそ, admin 検索

アカウント アルバムのプライバシー **バナー設定**

バナータイトル: 物語はここから始まります

バナーの説明: れていても、あなたの思い出を共有することができます。

バナータイトルおよび説明を非表示にする

バナースタイル: システムデフォルト

保存

1. Photo Station のタイトル(最大 35 文字)と説明(最大 120 文字)を入力し、非表示にする情報を選択します。
2. バナー設定を選択します。2x2、3x3、または 4x4 写真壁バナーを選択し、「Browse (参照)」をクリックして、公開アルバムを選択します。
3. 「Select (選択)」をクリックします。

バナースタイル: 2x2 フォトウォールバナー

1. 公開アルバムを選択します: 参照

4. 公開アルバム内の写真が下に表示されます。バナーブロック(赤くハイライト表示される)を選択し、画像ファイルを選びます。システムの初期画像を伴う空ブロックが表示されます。「Save (保存)」をクリックして、変更を保存します。

1. 公開アルバムを選択します:

Photo
Photo Album

選択 閉じる

8. 「Advanced search(高度な検索)」

「Advanced search(高度な検索では)」、フォルダ(アルバム)およびファイル(写真またはビデオ)を検索するためのより多くのオプションを提供します。検索ボックスの横の三角アイコンをクリックして、「Advanced search(高度な検索)」ページに移動します。

検索条件を入力し、「Submit(実行)」をクリックします。

高度な検索 ✕

検索タイプおよび範囲

タイプ: ▼

範囲: ▼

検索条件

アルバムまたはファイル名:

タイトル:

説明:

写真撮影日:

から: 

まで: 

データファイル作成済:

から: 

まで: 

7.4 Music Station

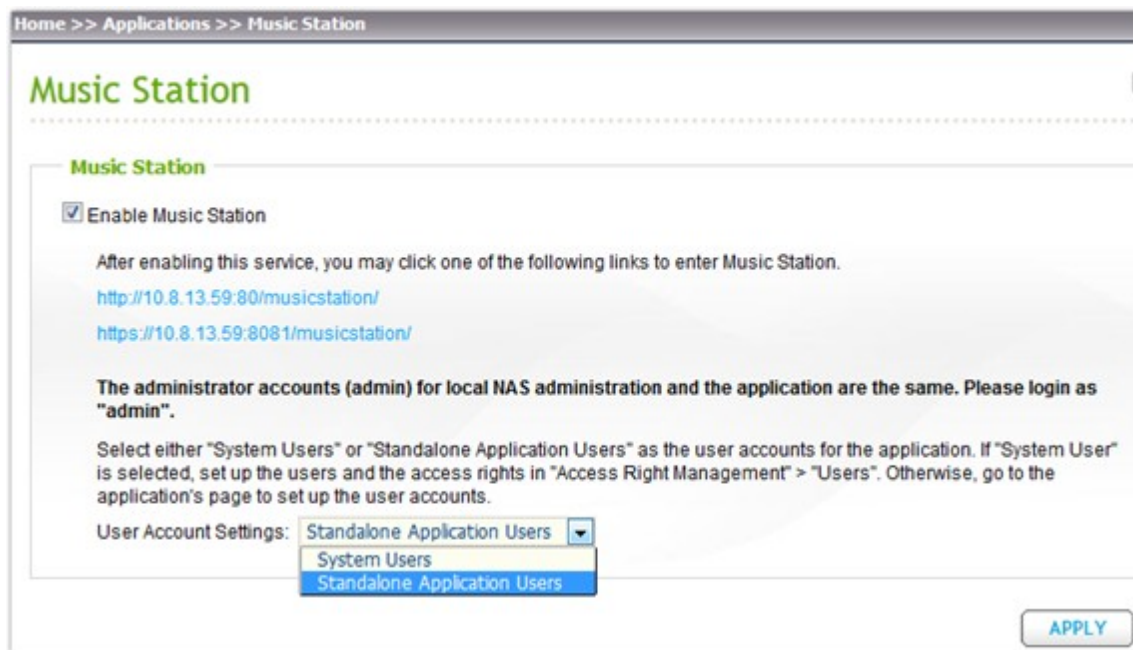
Music StationはユーザがNASまたはメディアサーバー上の音楽ファイルを再生したり、ウェブブラウザーまたはNASに接続したローカルUSBスピーカーで数千ものインターネットラジオ局を聴いたりするための、ウェブベースのアプリケーションです。また、ローカル再生機能を使用して、音楽アラームを設定できます。

開始前に

1. ユーザアカウント設定を行います

Music Stationはデフォルトで有効となっています。このアプリケーションを使用する前に、「admin」でNASにログインし、「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Music Station」と進みます。

ユーザアカウント設定では、「System Users(システムユーザ)」または「Standalone Application Users(スタンドアロンアプリケーションユーザ)」(デフォルト)のどちらかを選択します。「System Users(システムユーザ)」が選択された場合、アプリケーションにはローカルNASアカウントが使用されます。ユーザアカウントは「Access Right Management(アクセス権の管理)」>「Users(ユーザ)」で作成できます。アプリケーションで専用のユーザアカウントを使用するには、「Standalone Application Users(スタンドアロンアプリケーションユーザ)」を選択します。アプリケーションにログイン後、ユーザアカウントは「Settings(設定)」から作成および管理できます。



2. 音楽ファイルをNASへアップロード

音楽ファイルやフォルダーを、NASのネットワーク共有「Multimedia」または「Qmultimedia」にアップロードします。Music Stationにアップロードされたフォルダーは初期設定では非公開で、管理者または承認済管理グループのみが管理できます。

注: Music Stationは、MP3、OGG、WAV、AIFF、AU、FLAC、M4A、APEフォーマットの音声ファイルのみをサポートします。

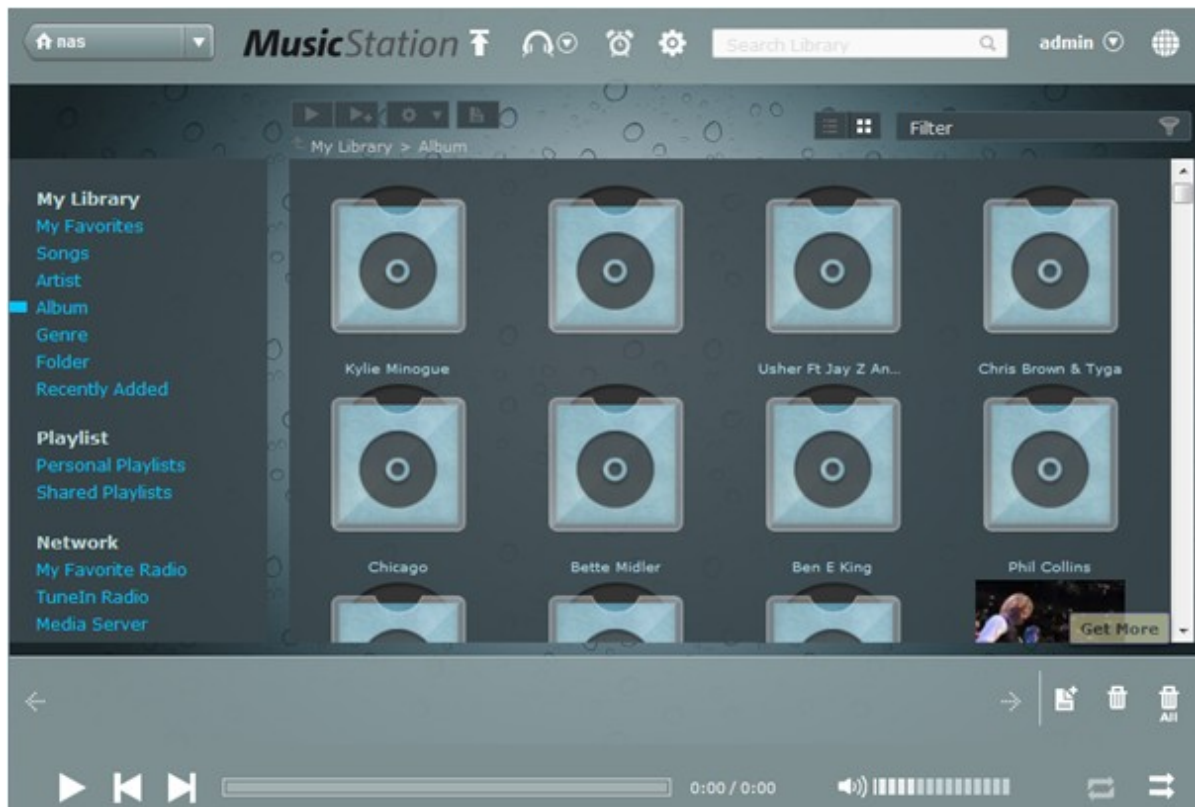
Music Stationにログイン

NASのログインポータルから、またはウェブブラウザ（Internet Explorer、Mozilla Firefox、またはGoogle Chrome）にhttp://NAS_IP/musicstation in a web browserと入力して、Music Stationに接続します。



注:

- Music Stationの管理者ログイン情報は、NASウェブ管理者のそれと同じです。
- 「admin」以外のスタンドアロンユーザアカウントが使用中の場合、NASのログインポータルからアプリケーションへのログインは無効になります。







左パネルには、Music Stationの3つのメインセクションがリストされます。このセクションには、マイライブラリー、再生リスト、ネットワークが含まれます。

1. マイライブラリー :

NASのMultimedia/Qmultimediaフォルダーにあるすべてのフォルダーとサポートされる音楽ファイルは、My Libraryの下に表示されます。お気に入り、曲(個々のファイル)、アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダーまたは最近追加で、表示するファイルを選択します。






注: Music Stationは、MP3、OGG、WAV、AIFF、AU、FLAC、M4A、APEフォーマットの音声ファイルのみをサポートします。

アイコン	説明
	選択した音楽ファイルを再生します。
	現在の再生リストに1つ以上の音楽ファイルやアルバムを追加します。
	お気に入りに追加: 1つ以上の音楽ファイルをお気に入りに追加します。 曲情報: 音楽ファイルの情報を表示します。
	再生リストに追加: 1つ以上の音楽ファイルを既存の再生リストに追加します。 再生リストとして保存: 既存の再生リストを置換します。 新規の再生リストとして保存: 再生リストを作成し、個人または共有再生リストとして指定します。

2. 再生リスト:

Music Stationには2種類の再生リストがあります。





- 個人再生リスト: ユーザだけが表示および再生できる再生リスト。最大200個の再生リストを作成できます。
- 共有再生リスト: Music Stationの全ユーザが表示および再生できる再生リスト。最大200個の再生リストを作成できます。各再生リストは、NASまたはメディアサーバー上の音楽ファイル、TuneInラジオ局、インターネットラジオ局を含む、最大600アイテムを含むことができます。

アイコン	説明
	選択した音楽ファイルを再生します。
	現在の再生リストに1つ以上の音楽ファイルやアルバムを追加します。
	お気に入りに追加: 1つ以上の音楽ファイルをお気に入りに追加します。 削除: 再生リストから音楽ファイルを削除します。 曲情報: 音楽ファイルの情報を表示します。
	再生リストに追加: 1つ以上の音楽ファイルを既存の再生リストに追加します。 再生リストとして保存: 既存の再生リストを置換します。 新規の再生リストとして保存: 再生リストを作成し、個人または共有再生リストとして指定します。
	設定を保存します。





3. ネットワーク:

ユーザはインターネットラジオ局を聴いたり、すべてのUPnPメディアサーバーの音楽ファイルを再生することができます。

お気に入りのラジオ: ユーザのお気に入りのインターネットラジオ局は、ラジオURLを入力、またはTuneInラジオを検索して追加します。最大1024アイテムをサポートします。ラジオ局タイプがMP3である必要があることに注意してください。





アイコン	説明
	選択したラジオ局を再生します。
	現在再生中のリストに1つ以上のラジオ局を追加します。
	インターネットラジオを追加します。 インターネットラジオ設定を編集します。 インターネットラジオを削除します。
	再生リストに追加: 既存の再生リストに1つ以上のラジオ局を追加します。 再生リストとして保存: 既存の再生リストを置換します。 新規の再生リストとして保存: 再生リストを作成し、個人または共有再生リストとして指定します。

TuneInラジオ: TuneInラジオで利用できる局を検索します。

アイコン	説明
	選択したラジオ局を再生します。
	現在再生中のリストに1つ以上のラジオ局を追加します。
	お気に入りのラジオに、1つ以上のラジオ局を追加します。
	<p>再生リストに追加: 既存の再生リストに1つ以上のラジオ局を追加します。</p> <p>再生リストとして保存: 既存の再生リストを置換します。</p> <p>新規の再生リストとして保存: 再生リストを作成し、個人または共有再生リストとして指定します。</p>




Media Server(メディアサーバー)：ローカルネットワークで利用できるUPnPメディアサーバー(最大2000個)を表示します。サポートされる音楽ファイルのみが表示されます。

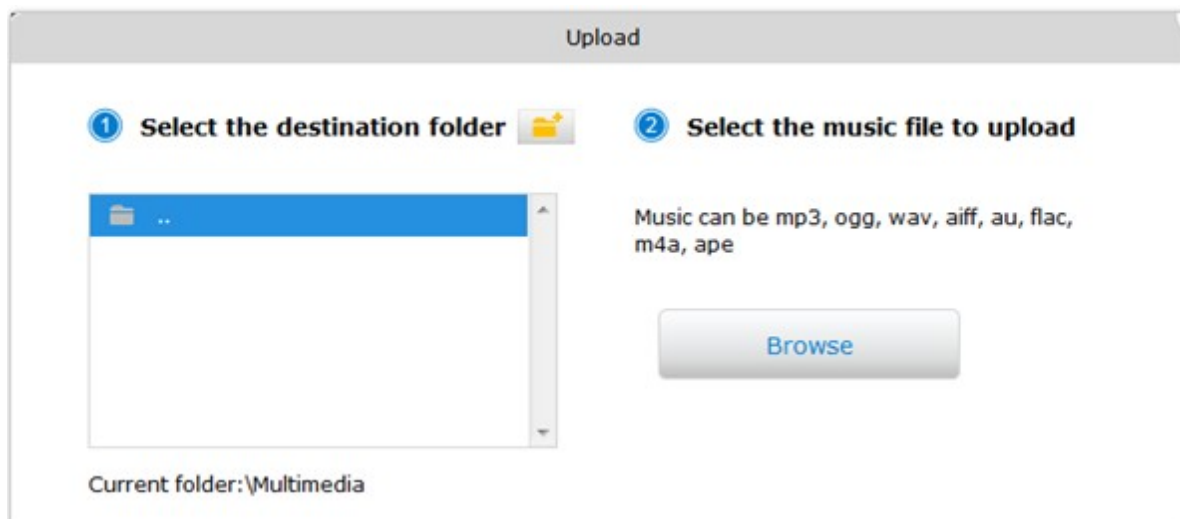
アイコン	説明
	選択した音楽ファイルを再生します。
	現在の再生リストに1つ以上の音楽ファイルやアルバムを追加します。
	お気に入りに追加：1つ以上の音楽ファイルをお気に入りに追加します。
	再生リストに追加：1つ以上の音楽ファイルを既存の再生リストに追加します。 再生リストとして保存：既存の再生リストを置換します。 新規の再生リストとして保存：再生リストを作成し、個人または共有再生リストとして指定します。

Music Stationのウェブインターフェースで音楽をアップロード:



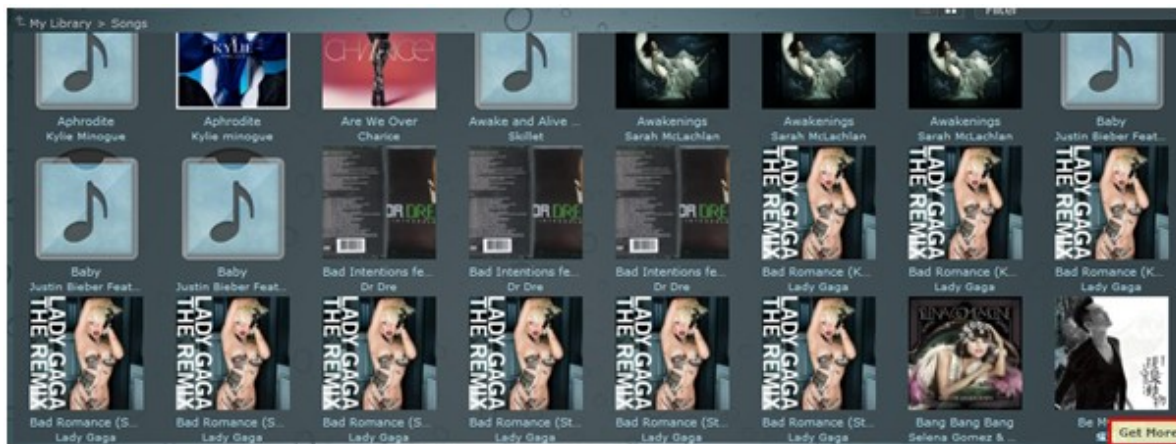
Music Stationに音楽をアップロードするには、をクリックします。

宛先フォルダーを指定し、アップロードする音楽ファイルを選択します。




フォルダー内の600以上のアイテムを表示

フォルダーに600以上のアイテムが含まれる場合、Music Stationは、アルファベット順に最初の600アイテムを表示します。画面上の右下の「Get more(さらに取得)」ボタンをクリックして、次の500アイテムを読み込みます。



音楽ライブラリーの検索

音楽ファイルやアルバムを検索するには、検索ボックスにキーワードを入力し、 クリックします。



再生モード

音楽再生を開始する前に、 をクリックして、再生モードを選択します。

- ストリームモード: コンピューターまたはデバイスに音楽ファイルをストリームし、ウェブブラウザで再生します。
- NAS USBモード: NASに接続したUSBスピーカーで音楽ファイルを再生します。





プレイヤー



アイコン	説明
	再生。
	一時停止。
	前のアイテムを再生。
	次のアイテムを再生。
	音量を調整。
	リピートなし、1回リピート、またはすべてリピート。
	シャッフルのオン/オフ。
	現在の再生リストを保存して、既存のものと置き換えるか、新しく保存します。
	再生リスト上のアイテムを削除します。
	再生リスト上のすべてのアイテムを削除します。

音楽ファイルの再生


「My Library(マイライブラリー)」、「Playlist(再生リスト)、または「Network(ネットワーク)」のコンテンツを表示します。

アイテムを選択し、 (今すぐ再生)または  (現在の再生リストに選択したエントリーを追加)をクリックするか、アイテムをダブルクリックしてすぐに再生、またはアイテムを現在の再生リストにドラッグ&ドロップします。

複数ファイルを再生するには、Ctrlキーを押したまま選択するファイルをクリックするか、マウスをドラッグして複数のアイテムを選択しま

す。次に  (今すぐ再生)または  (現在の再生リストに選択したエントリーを追加)をクリックするか、アイテムを現在の再生リストにドラッグ&ドロップします。

フォルダーの再生

フォルダーを選択して、 (選択済エントリーを再生リストに追加)をクリックするか、フォルダーを現在再生中のリストにドラッグ&ドロップします。

注: フォルダーに100件を超える音楽ファイルが含まれている場合、最初の100件のファイルのみが再生リストに追加されます。

音楽アラーム

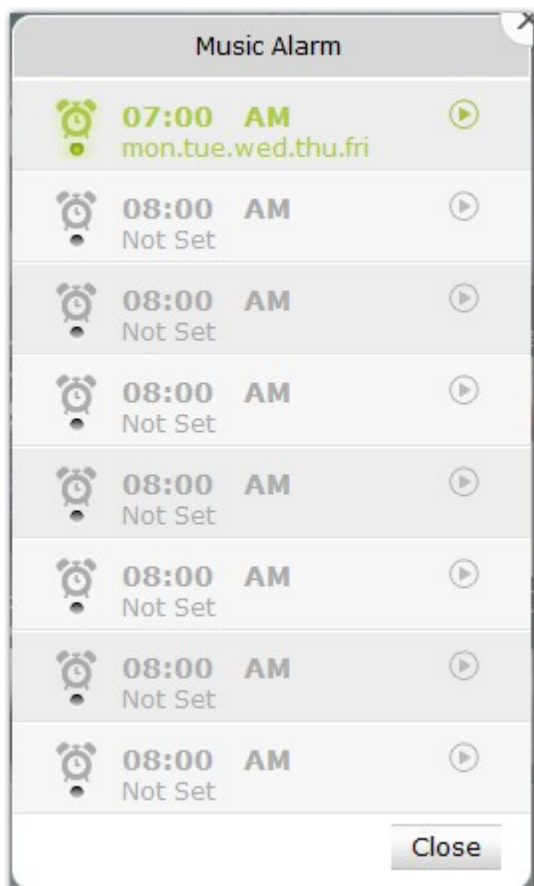
Music Stationは、ローカル再生モードで音楽アラーム設定をサポートします。この機能を使用するには、NASにUSBスピーカーまたはUSBサウンドカードを接続する必要があります。

音楽アラームの設定

1.  をクリックします。






2. スケジュールをクリックします。





3. アラームスケジュールを設定します。



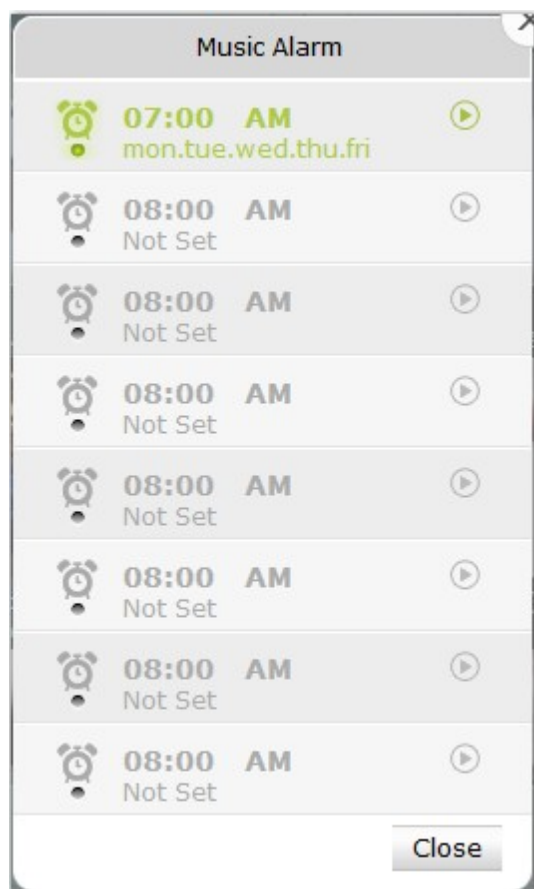
4.  をクリックして、デフォルトのアラームを使用するか、Music Stationの再生リストを使用するか選択します。
5.  をクリックして、アラーム音量を調節します。
6. アラームがオンのときに、 (リピート)をクリックして、再生リストを繰り返し再生します。
7. 「Save(保存)」をクリックします。

音楽アラームの有効/無効

アイコン	説明
	アラームは有効です。
	アラームは無効です。



アイコンをクリックして、アラームを有効または無効にします。




音楽アラームの停止

音楽アラームを止めるには、NASの前面にあるワンタッチコピーボタンを2秒間押します。

音楽ライブラリーとアカウント管理

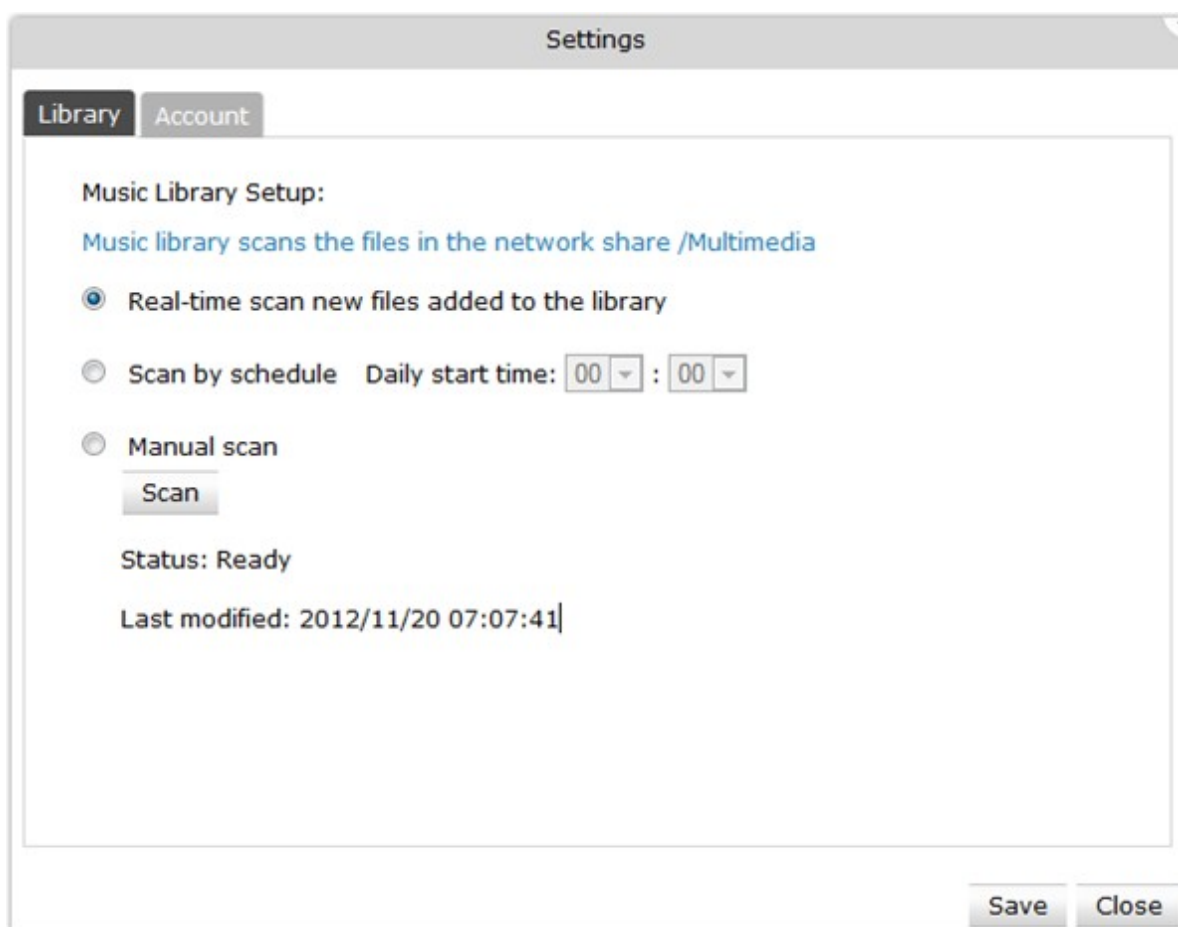
A. 音楽ライブラリーのスキャン

音楽ライブラリーをいつ更新するか指定するには、 をクリックします。



「Library (ライブラリー)」タブから、いつ音楽ライブラリーを更新するか選択します。

- リアルタイムスキャン: 新しいファイルが追加されたときに、すぐに音楽ライブラリーを更新します。
- スケジュールスキャン: 音楽ライブラリーを毎日更新する時間を指定します。
- 手動スキャン: 「Scan (スキャン)」をクリックして、音楽ライブラリーを更新します。



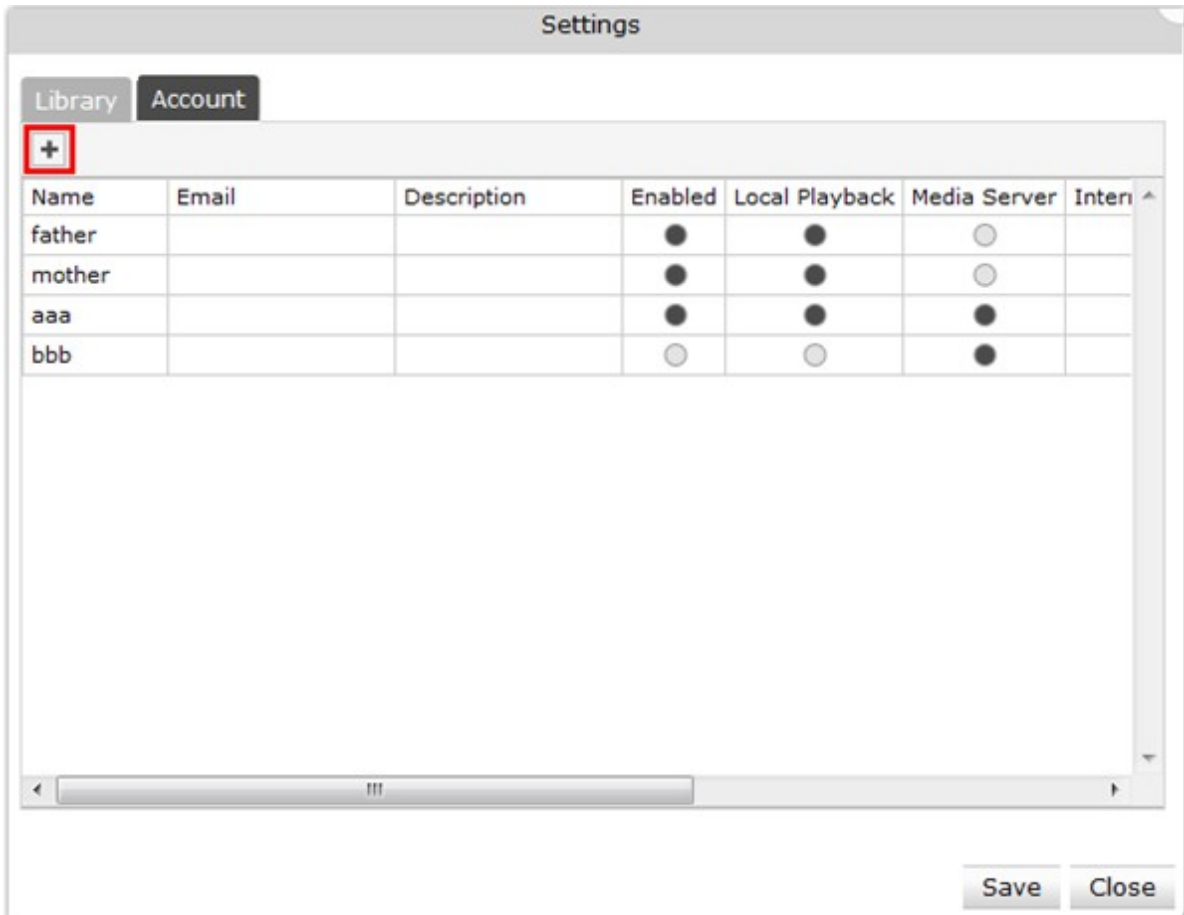
B. アカウント管理



1. をクリックします。



2. アカウントを作成するには、「Account(アカウント)」タブの下の+をクリックします。



3. ユーザ名(最大32文字)、パスワード(最大16文字)および説明(最大512文字)を入力します。アルファベット(A-Zおよびa-z)、数字(0-9)、ダッシュ(-)、およびアンダースコア(_)のみをサポートします。

The image shows a 'Settings' dialog box with two tabs: 'Library' and 'Account'. The 'Account' tab is selected. Under the 'Add Account' section, there are five input fields: 'Name', 'Password', 'Verify Password', 'Email', and 'Description'. The 'Name', 'Password', and 'Verify Password' fields are marked with a red asterisk and the text '* Required Fields'. Below the input fields are six radio button options: 'Enabled' (which is selected), 'Internet Radio', 'Local Playback', 'Media Server', 'Edit Music Info', and 'Manage Playlist'. At the bottom right of the dialog box are 'Save' and 'Cancel' buttons.

4. アカウントを有効または無効にし、権限を付与します。


- ローカル再生：ユーザにローカル再生 (NAS USBモード)による音楽ファイルの再生を許可します。
- 音楽情報の編集：ユーザが音楽情報を編集することを許可します。
- インターネットラジオ：ユーザがインターネットラジオ局にアクセスし、設定を編集することを許可します。
- メディアサーバー：ユーザがメディアサーバーコンテンツにアクセスすることを許可します。
- 再生リストの管理：ユーザが共有再生リストを編集することを許可します。

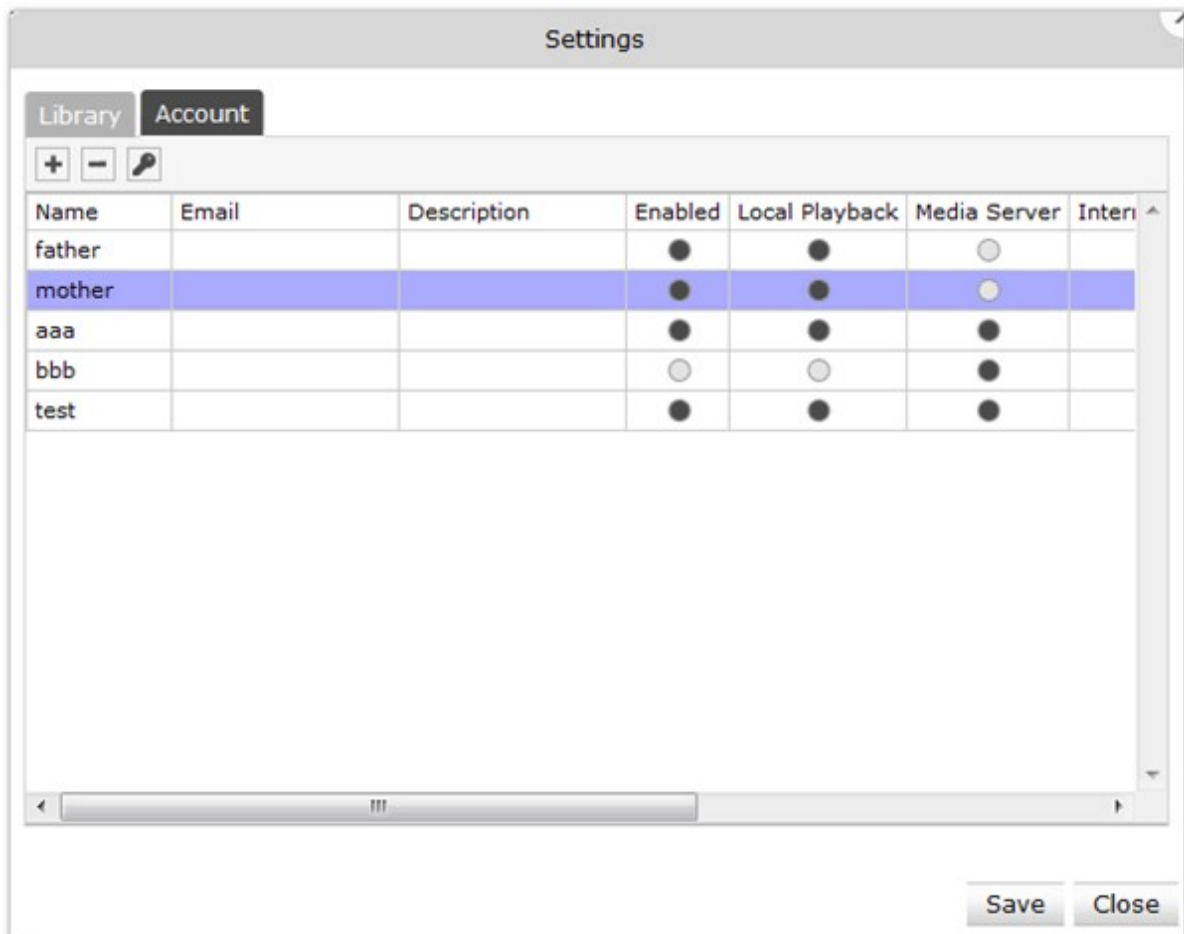
5. 「Save (保存)」をクリックします。

注: フォルダーに100件を超える音楽ファイルが含まれている場合、最初の100件のファイルのみが再生リストに追加されます。

アカウントの編集





アカウントを編集するには、をクリックし、「Account(アカウント)」タブを参照します。表のアカウント設定を編集します。

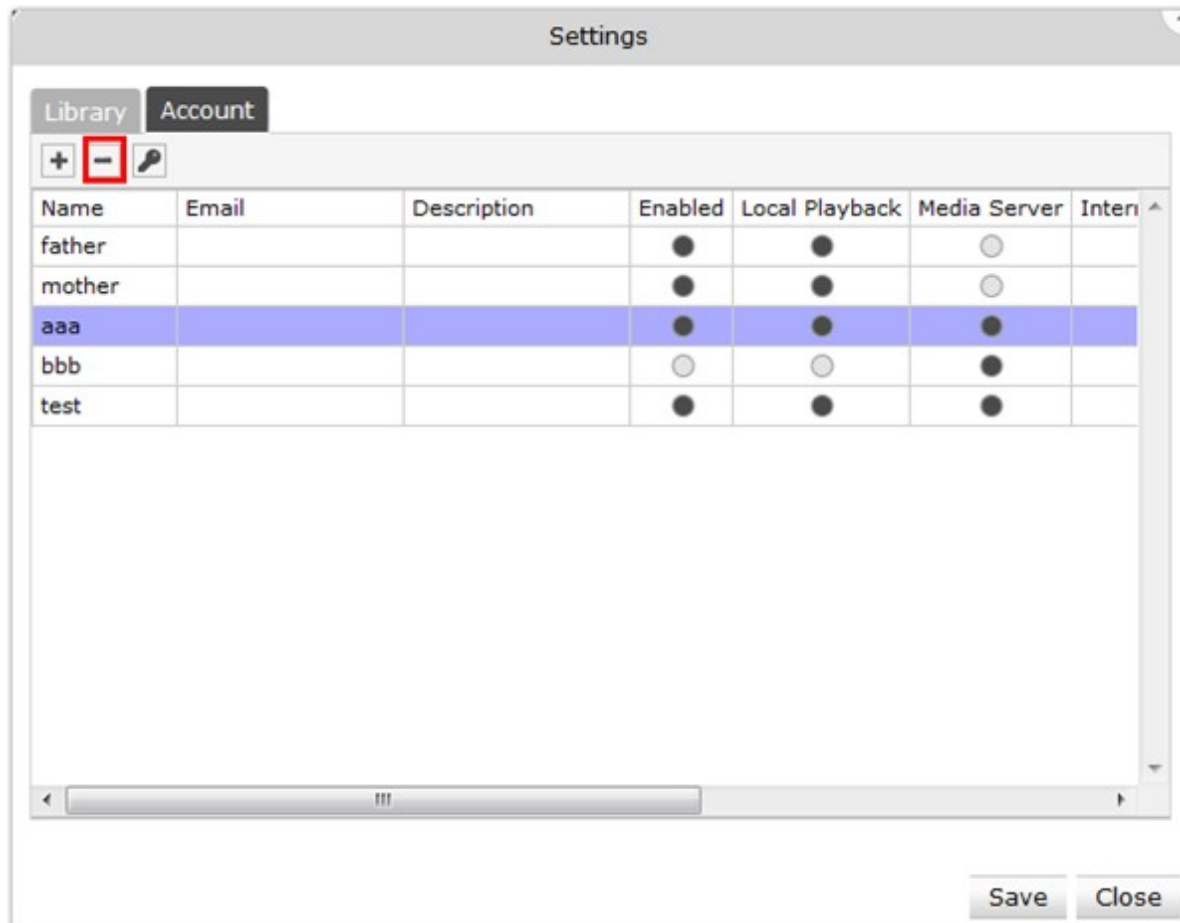


The screenshot shows a 'Settings' window with two tabs: 'Library' and 'Account'. The 'Account' tab is active. Below the tabs are three icons: a plus sign, a minus sign, and a key icon. A table with the following columns is displayed: Name, Email, Description, Enabled, Local Playback, Media Server, and Inter. The 'mother' row is highlighted in blue. Below the table is a scroll bar. At the bottom right of the window are 'Save' and 'Close' buttons.



Name	Email	Description	Enabled	Local Playback	Media Server	Inter
father			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
mother			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
aaa			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
bbb			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
test			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	

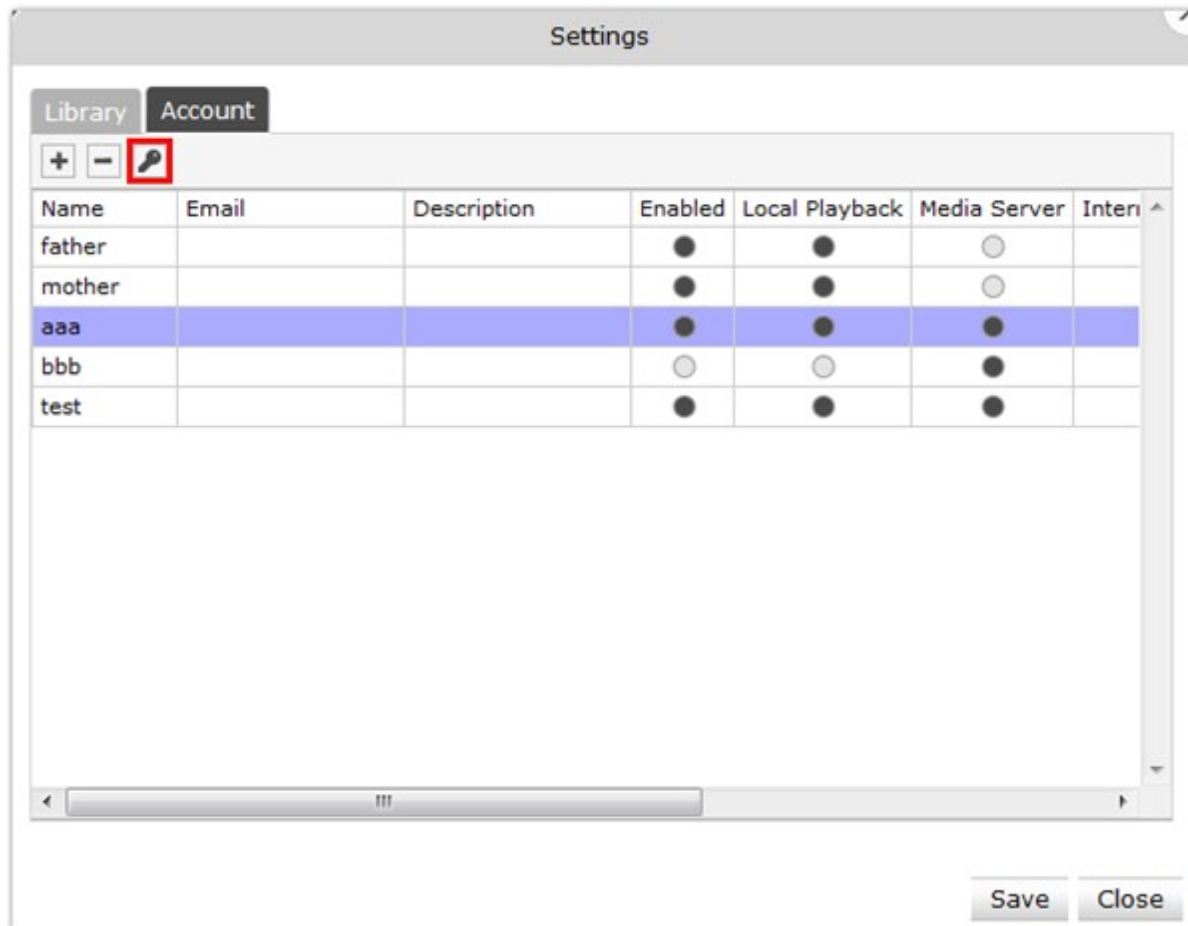
アカウントの削除

アカウントを削除するには、 をクリックし、「Account (アカウント)」タブを参照します。削除するアカウントを選択し、 をクリックします。



パスワードの変更

アカウントのパスワードを変更するには、 をクリックし、「Account(アカウント)」タブを参照します。アカウントを選択し、 をクリックします。



新規パスワードを入力し、「Save(保存)」をクリックします。

The image shows a 'Settings' dialog box with two tabs: 'Library' and 'Account'. The 'Account' tab is selected. Inside the dialog, there is a section titled 'Change Password'. Below this title, there are three input fields: 'Name : aaa', 'Password : ●●●●', and 'Verify Password : ●●●●'. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: 'Save' and 'Cancel'.

7.5 Download Station

Download StationはPCを使用しない、BT、HTTP、FTP、RapidShare、Magnetダウンロードをサポートしています。



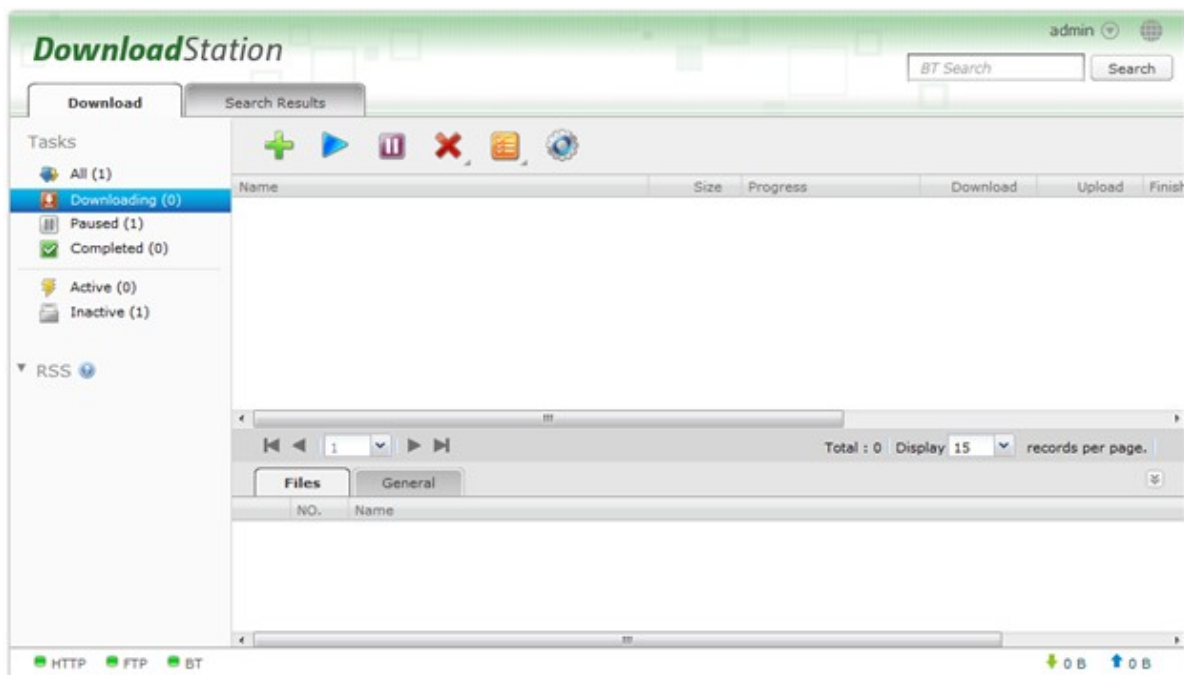
重要：著作権のある資料のダウンロードは違法です。Download Stationの機能は、ダウンロードを認可されたファイルに対してのみ有効です。認可されていない資料のダウンロードまたは配布は、民事罰および刑事罰の対象となります。ユーザーは著作権法に制約され、すべての結果を受け入れなければなりません。

「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Download Station」に進みます。サービスを有効にします。

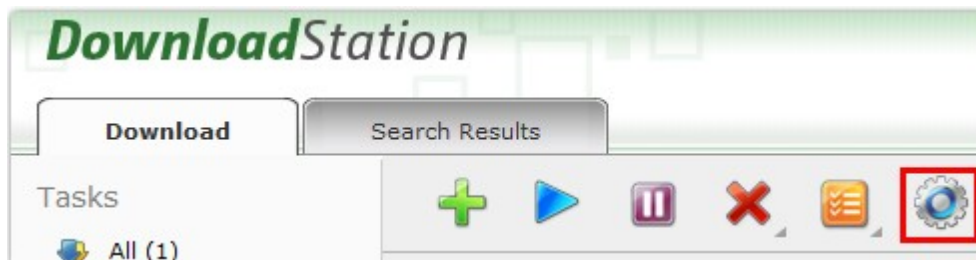
The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying "Home >> Applications >> Download Station". The page title is "Download Station". Below the title, there is a section titled "Download Station" containing a checkbox labeled "Enable Download Station" which is checked. Below the checkbox, there is a text instruction: "After enabling this service, you may click the following link to enter the Download Station." followed by two blue hyperlinks: "http://10.8.13.59:8080/cgi-bin/Qdownload/qdownloadindex.cgi" and "https://10.8.13.59:443/cgi-bin/Qdownload/qdownloadindex.cgi". At the bottom right of the configuration area, there is a blue button labeled "APPLY".

Download Stationにログイン

NASのログインポータルからDownload Stationに接続するか、「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Download Station」のサービスリンクをクリックします。

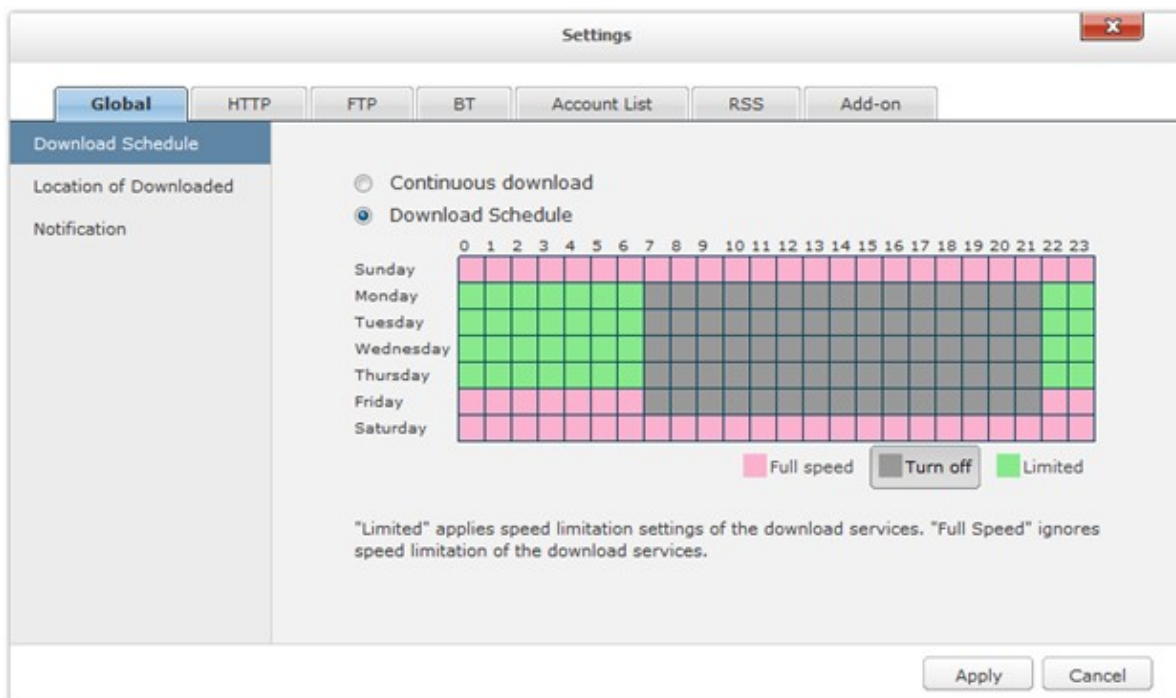


ファイルのダウンロードを開始する前に、 をクリックして、設定を行います。



グローバル設定

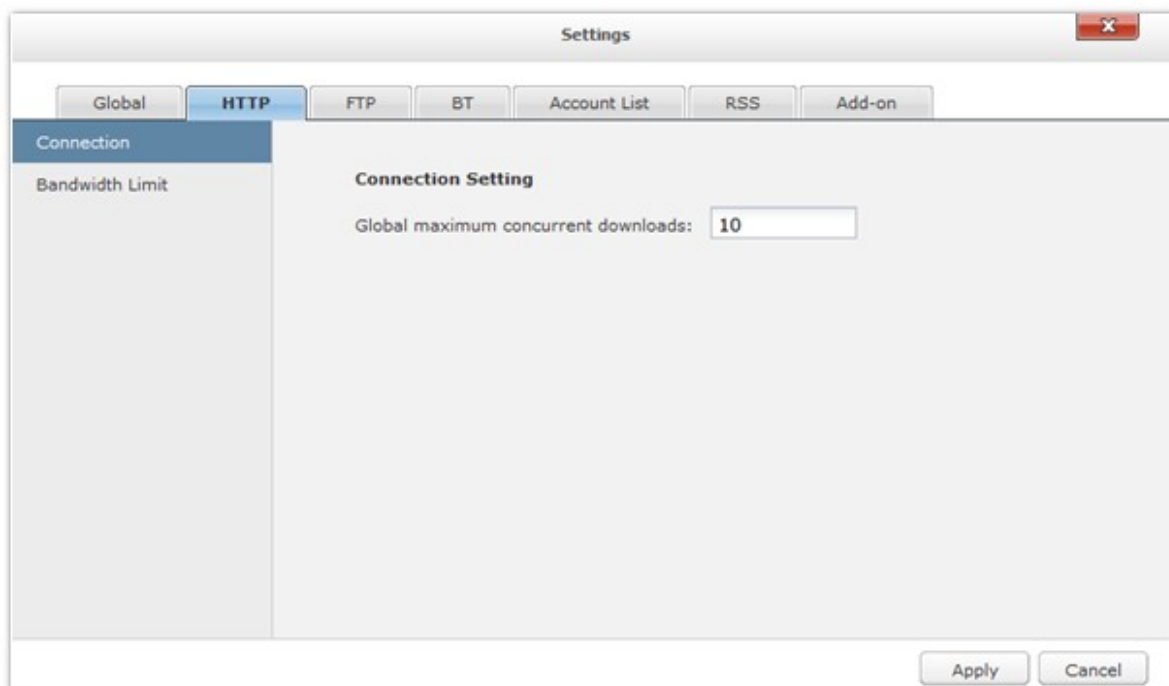
- ダウンロードスケジュール: 連続ダウンロードを選択するか、ダウンロードスケジュールを指定します。ダウンロードスケジュールを設定するときには、すべてのダウンロードタスクでグローバル速度制限(無制限)を使用するために、「Full speed(フルスピード)」を選択します。ダウンロードサービスの速度制限設定を適用するには、「Limited(制限あり)」を選択します。
- ダウンロード済みファイルの場所: ダウンロード済みファイル用に、NAS上のデフォルトディレクトリを指定します。
- 通知: ダウンロードタスクが完了したら、メールおよび/またはインスタントメッセージで通知を送信するように選択します。SMTPおよびIM設定は、「System Administration(システム管理)」>「Notification(通知)」で、適切に設定する必要があります。ご注意ください。



HTTP

- 接続: 最大同時HTTPダウンロード数を指定します。
- 帯域幅制限: HTTPダウンロードタスクの最大ダウンロード速度を指定します。0は制限なしを意味します。

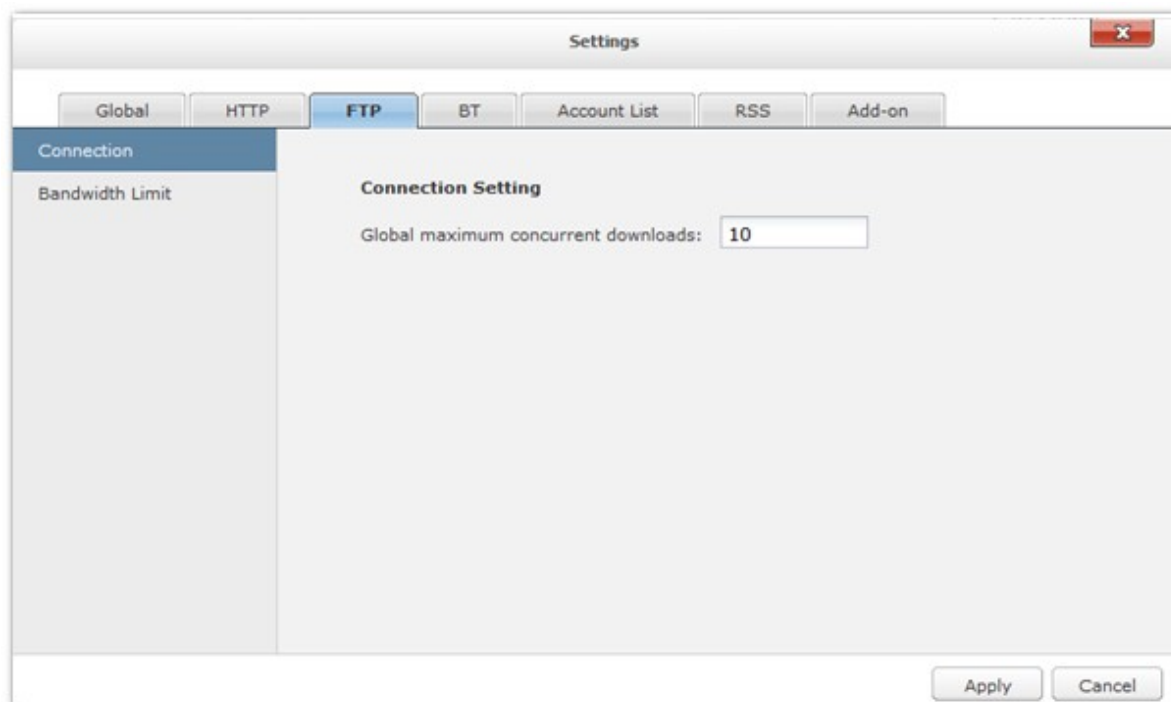
NASモデル	最大同時ダウンロード数
インテルベースのNAS	30
ARMベース(非インテルベース)のNAS	10



FTP

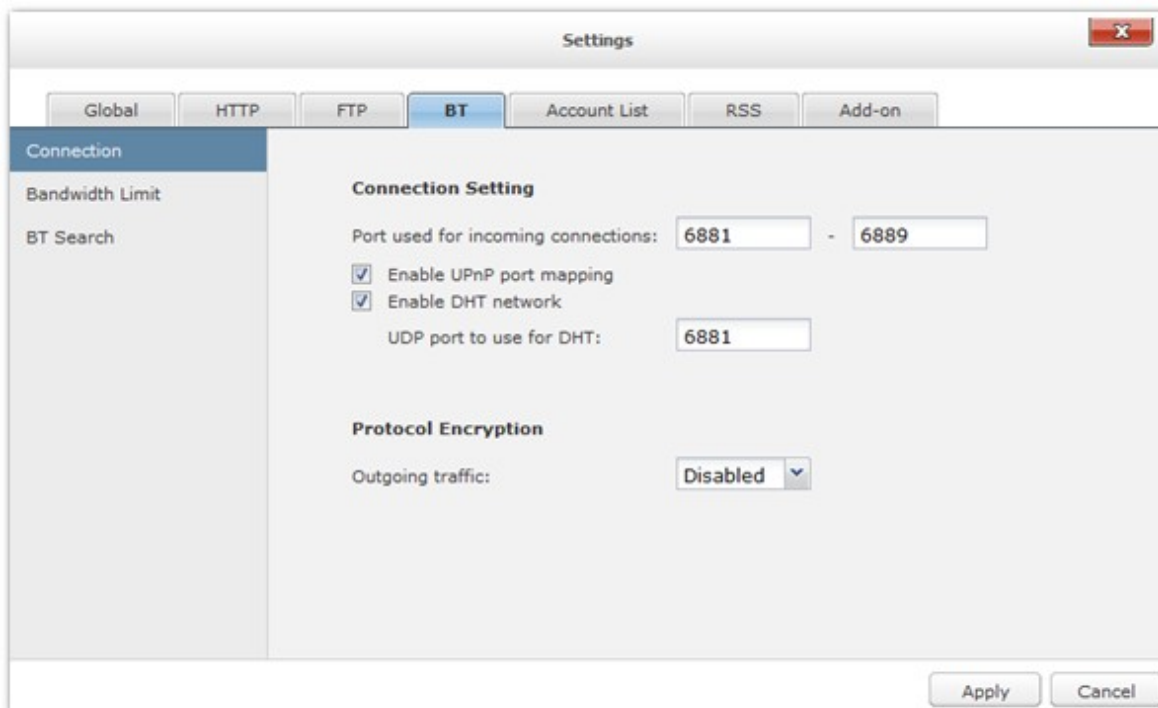
- 接続: 最大同時FTPダウンロード数を指定します。
- 帯域幅制限: FTPダウンロードタスクの最大ダウンロード速度を指定します。0は制限なしを意味します。

NASモデル	最大同時ダウンロード数
インテルベースのNAS	30
ARMベース(非インテルベース)のNAS	10



BT

- 接続:
 - ✓ BTダウンロード用のポートを指定します。デフォルトのポート番号は6881-6889です。
 - ✓ UPnPポートマッピングを有効にします。UPnPサポートされたゲートウェイ上で、自動ポートマッピングを有効にします。
 - ✓ DHTネットワークの有効化: Torrentのトラッカーに接続できない場合でも、NASがファイルをダウンロードできるようにするには、DHT(分散ハッシュテーブル)ネットワークを有効にし、DHTのUDPポート番号を指定します。
 - ✓ プロトコルの暗号化: このオプションを有効にすると、データ転送が暗号化されます。



- 帯域幅制限：BTダウンロードタスクの最大ダウンロード速度を指定します。0は制限なしを意味します。

グローバル最大同時ダウンロード：最大同時BTダウンロード数を指定します。

NASモデル	最大同時ダウンロード数
インテルベースのNAS	30
ARMベース(非インテルベース)のNAS	10

- ✓ グローバル最大アップロード速度(KB/s): BTダウンロードの最大アップロード速度を入力してください。0は制限なしを意味します。
- ✓ グローバル最大ダウンロード速度(KB/s): BTダウンロードの最大ダウンロード速度を入力してください。0は制限なしを意味します。
- ✓ トレントあたりの最大アップロード速度(KB/s): トレントあたりの最大アップロード速度を入力してください。0は制限なしを意味します。
- ✓ グローバル最大接続数: これはトレントに接続することを許可された最大数を参照しています。
- ✓ トレントあたりの最大接続ピア数: これはトレントに接続することを許可された最大ピア数を参照しています。

シード設定:

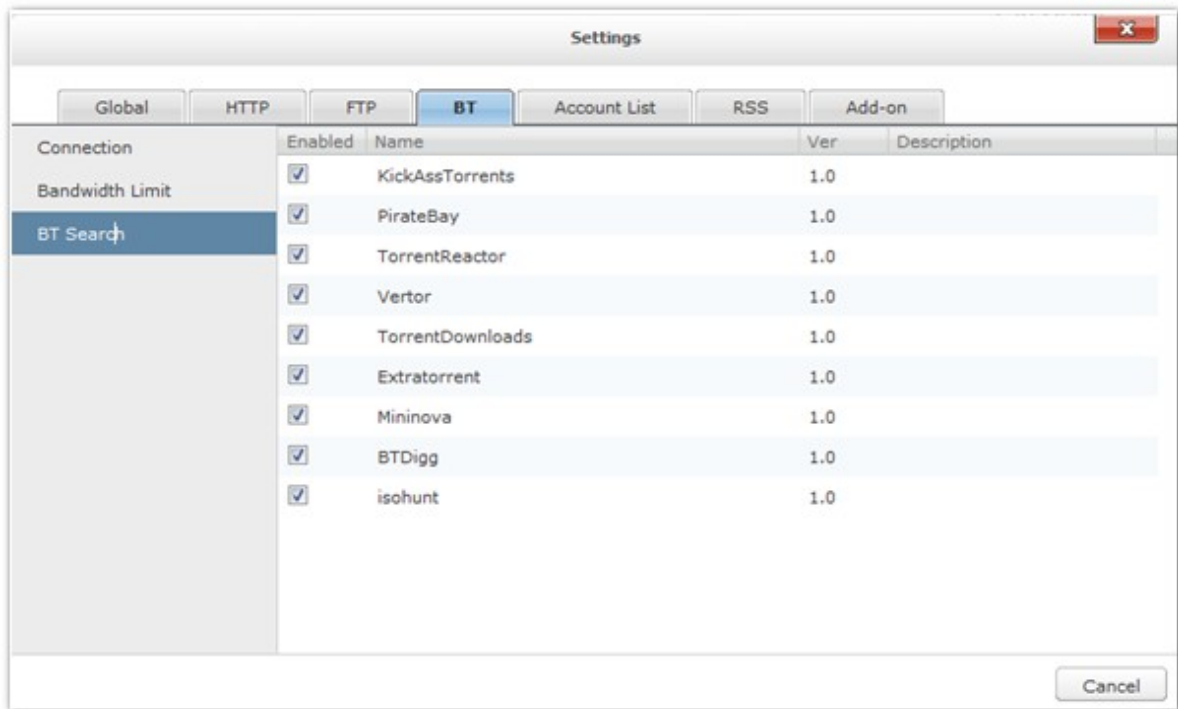
トレントシードの共有比および共有時間を指定します。共有比はアップロードされたデータをダウンロードしたデータ量で割って計算します。

The screenshot shows a 'Settings' window with the 'BT' tab selected. The left sidebar has 'Bandwidth Limit' selected. The main area is divided into two sections: 'Bandwidth Limit' and 'Seeding Preferences'.

Section	Parameter	Value
Bandwidth Limit	Global maximum concurrent downloads:	5
	Global maximum upload rate (KB/s) [0 means unlimited]:	0
	Global maximum download rate (KB/s) [0 means unlimited]:	0
	Maximum upload rate per torrent (KB/s) [0 means unlimited]:	0
	Global maximum number of connections:	300
	Maximum number of connected peers per torrent:	0
Seeding Preferences	Share Ratio:	150 %
	Share Time:	Manual Stop

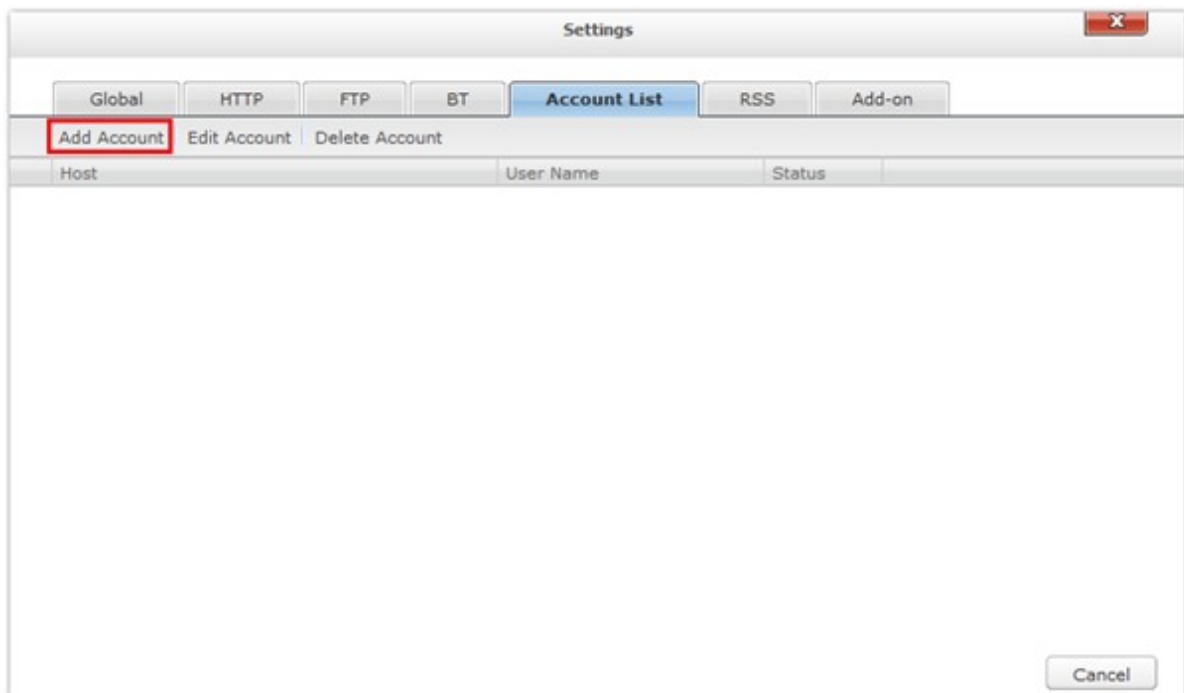
Buttons: Apply, Cancel

- BT検索: BTエンジンを選択して、Download StationでBT検索を有効化します。



アカウント一覧

最大64個のHTTP、FTP、RapidShareアカウントのログイン情報を保存できます。ログイン情報を追加するには、「Add Account (アカウントの追加)」をクリックします。



デフォルトのホストはrapidshare.comです。HTTPまたはFTPサーバーのログイン情報を入力するには、「Input manually (手動入力)」を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled "Add a New Account:". It contains the following fields and controls:

- Host: A dropdown menu showing "rapidshare.com". To its right is a checkbox labeled "Input manually".
- Name: An empty text input field.
- Password: An empty text input field.
- Enabled: A dropdown menu showing "Enabled".
- At the bottom, there are two buttons: "Save" and "Back".

ホスト名かIP、ユーザ名、パスワードを入力します。HTTP、FTP、またはRapidShareダウンロードを設定する際に、アカウント選択用のログイン情報を表示することを許可するには、ドロップダウンメニューから「Enabled(有効)」を選択します。「Save(保存)」をクリックして確定するか、「Back(戻る)」をクリックして中止します。

Add a New Account:

Host: Input manually

Name:

Password:

Enabled:

アカウント設定を編集するには、リストのエントリーを選択し、「Edit Account(アカウントの編集)」をクリックします。アカウントを削除するには、リストのエントリーを選択し、「Delete Account(アカウントの削除)」をクリックします。

Settings						
Global	HTTP	FTP	BT	Account List	RSS	Add-on
Add Account		Edit Account		Delete Account		
Host	User Name	Status				
rapidshare.com	qqq123	Enabled				
10.8.13.59	test	Enabled				

RSS

更新：RSSダウンロードを有効にして、NASがRSSフィードをアップデートし、フィルターに一致する新しいコンテンツがあるか確認する時間間隔を指定します。

RSSダウンロードマネージャー：

RSSダウンロードマネージャーを使用して、フィルターの作成と管理を行い、BTダウンロード用の特定のtorrentファイルをダウンロードできます。


1. フィルターを追加するには、「Add(追加)」をクリックします。
2. フィルター名を入力し、含める/除外するキーワードを指定します。
3. フィルター設定を適用するRSSフィードを選択します。
4. 動画torrentファイルの品質を指定することもできます(この機能を必要としない場合や、torrentファイルが動画でない場合には「All(すべて)」のままにしておきます)。
5. エピソード番号：このオプションを選択して、ドラマ作品の特定の回または一連の回のダウンロードを指定します。例えば、テレビ番組のシーズン1の第1話～第26話をダウンロードするには「1x1-26」と入力します。シーズン1の第1話のみをダウンロードするには「1x1」と入力します。
6. RSSフィードの自動更新の時間間隔を選択します。NASはRSSフィードを更新し、フィルターに一致する新しいコンテンツが利用できるかどうか確認をします。
7. 「Save(保存)」をクリックしてフィルターを保存するか、「Close(閉じる)」をクリックして、中止または終了します。
8. フィルターを削除するには、一覧からフィルターを選択して、「Delete(削除)」をクリックします。

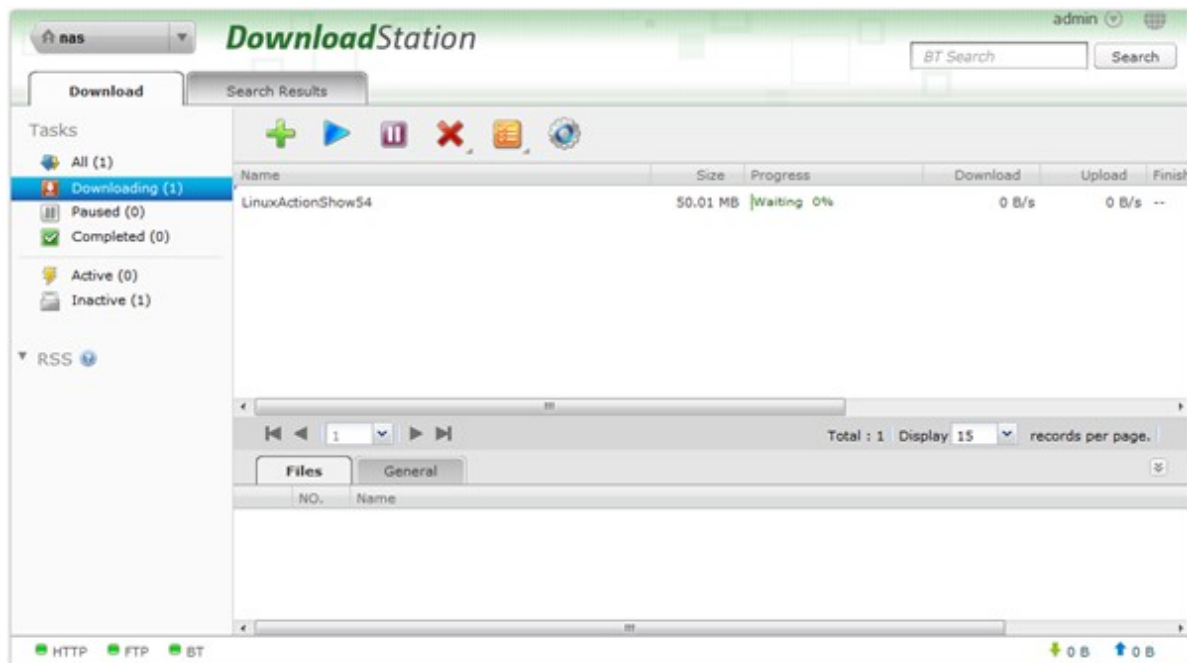
Update		New Delete
RSS Download Manager		Filter Settings
Name	Last Check Date	
		Name: <input type="text"/>
		Keyword: <input type="text"/>
		Doesn't contain: <input type="text"/>
		Feed: <input type="text"/>
		Quality: <input type="text" value="All"/>
		<input type="checkbox"/> Episode Number: [ex. 1x12-14] <input type="text"/>
		Check update every: <input type="text" value="12 hours"/>
		<input type="button" value="Save"/>
		<input type="button" value="Cancel"/>

アドオン

HappyGetアドオンでYouTubeビデオをNASにダウンロードするには、ウェブサイトの講読サービスを有効にしてください。詳細については、アプリケーションノートを参照ください。 <http://www.qnap.com/en/index.php?sn=5319&lang=en>

BTのダウンロード

BTファイルをダウンロードするには、 をクリックしてください。



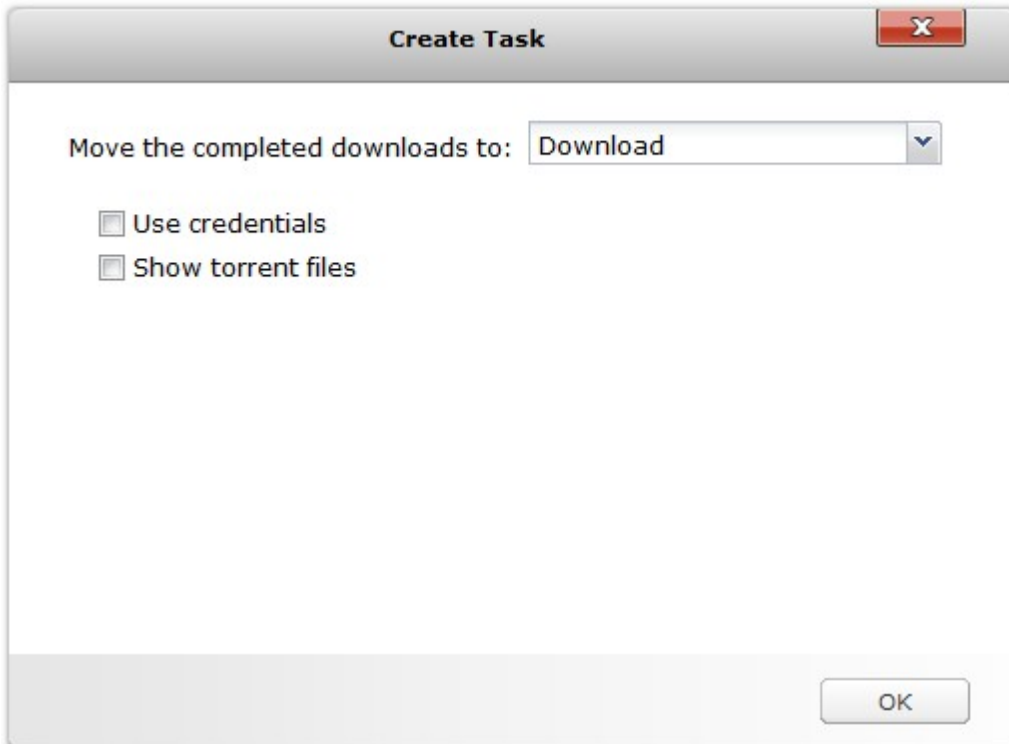
「Add File(ファイルの追加)」をクリックします。torrentファイルを表示および選択します。



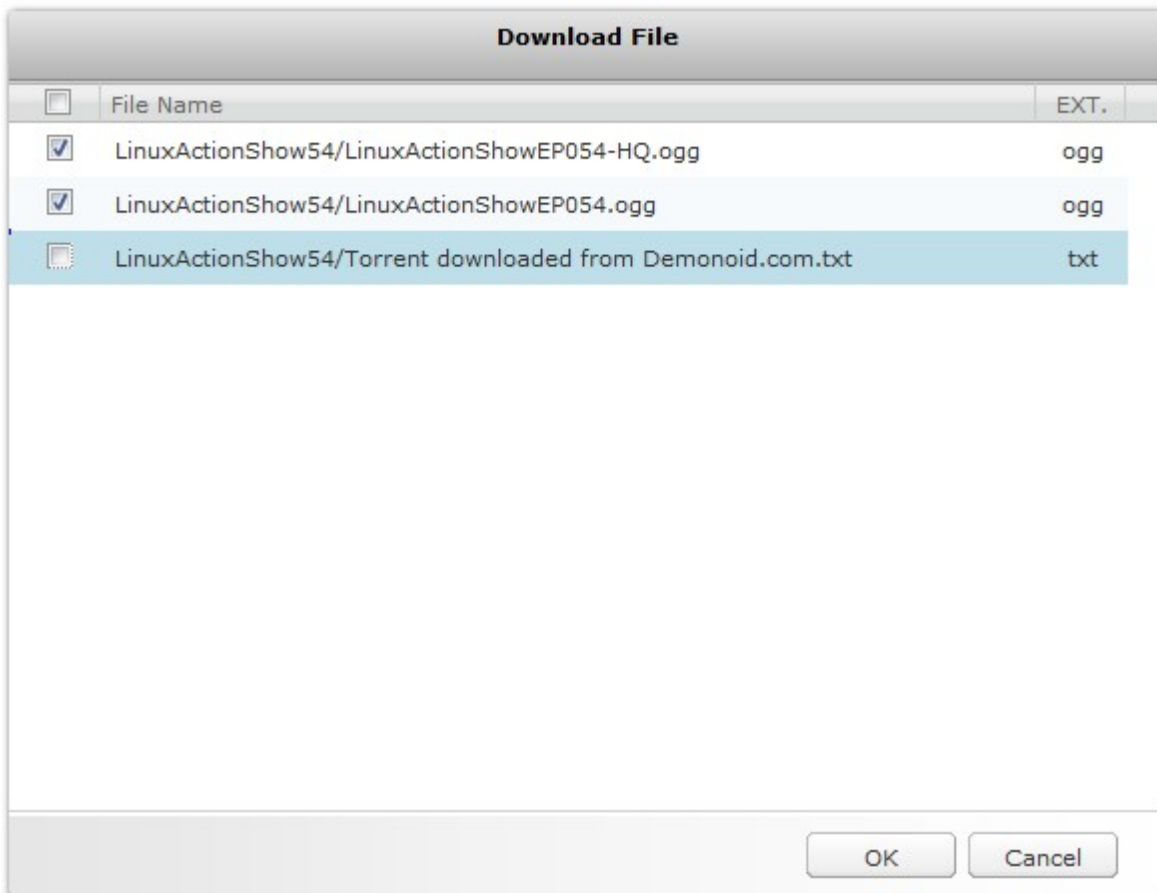
ダウンロード済みファイルが保存されるフォルダーを指定します。

資格情報の使用: このオプションを選択し、ログイン情報を入力して、ファイルをダウンロードします。





torrentファイルの表示: 「OK」をクリックしてから、このオプションを選択し、ダウンロードするファイルを選択します。




ダウンロードするファイルを選択して、「OK」をクリックします。



アイコンをクリックして、ダウンロードタスクを管理します。

アイコン	説明
	ダウンロードタスクを開始します。
	ダウンロードタスクを一時停止します。
	ダウンロードタスクを削除します。
	指定された期間にすべてを開始、すべてを一時停止、またはすべてのダウンロードタスクを一時停止し、すべての完了したタスクを削除、すべての完了したタスクを削除し、データを削除します。

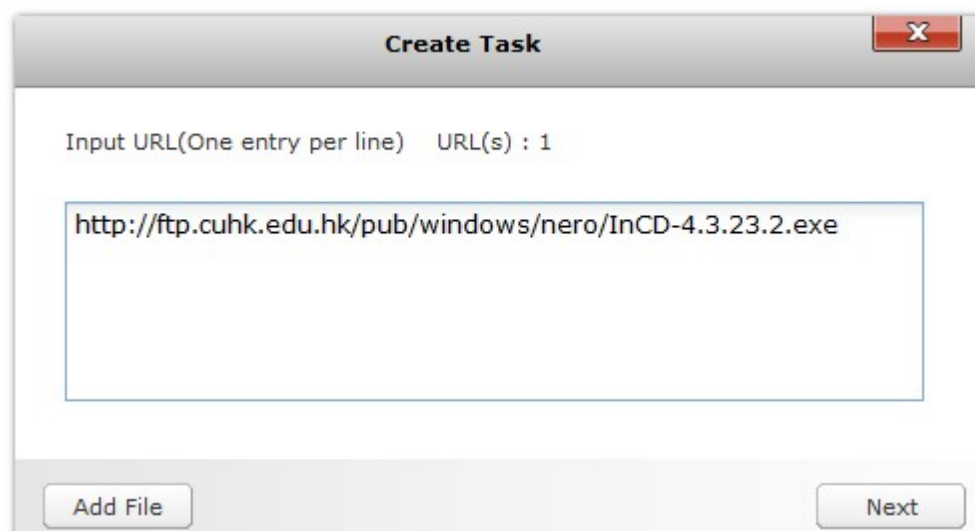
HTTP、FTP、RapidShare、Magnetダウンロード

HTTP、FTP、RapidShare、またはMagnetダウンロードタスクを追加するには、をクリックします。




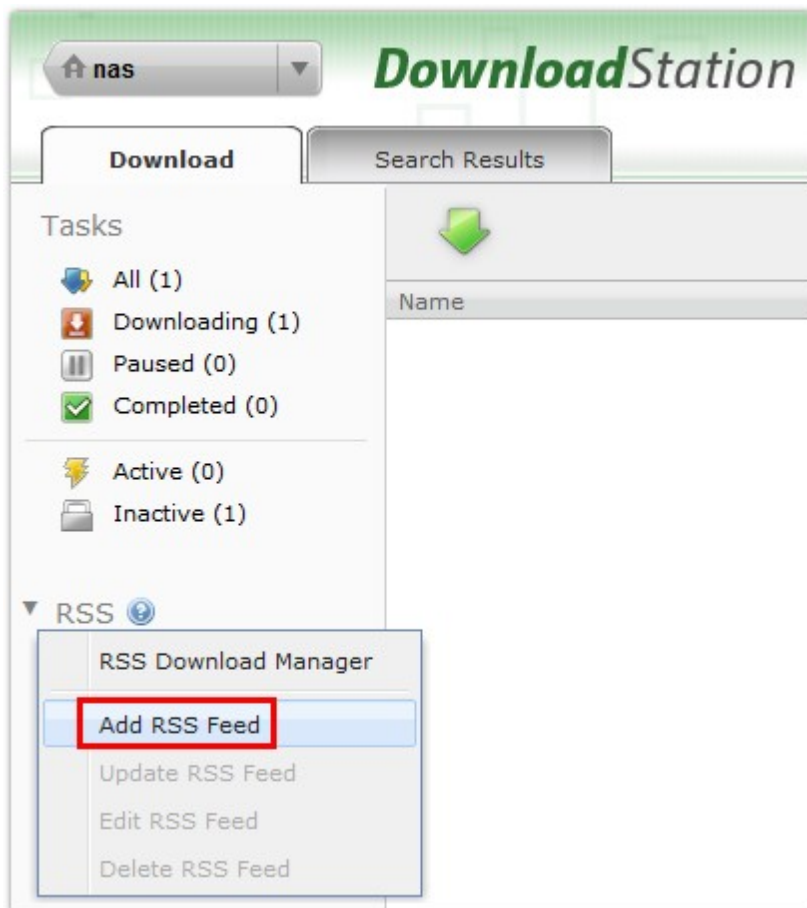
ダウンロードタスクのURLを入力(1行に1エントリー)。次にダウンロードタイプ、HTTP/FTP、RapidShare、Magnetリンクを選択します。ファイルアクセスにユーザ名とパスワードが必要ならば、「Use credentials(資格情報の使用)」を選択し、事前設定アカウント(設定 > アカウントリスト)を選択するか、ユーザ名とパスワードを入力します。次に、「OK」をクリックします。NASはファイルを自動的にダウンロードします。

注意： 一度に最大30エントリーのみ入力できます。

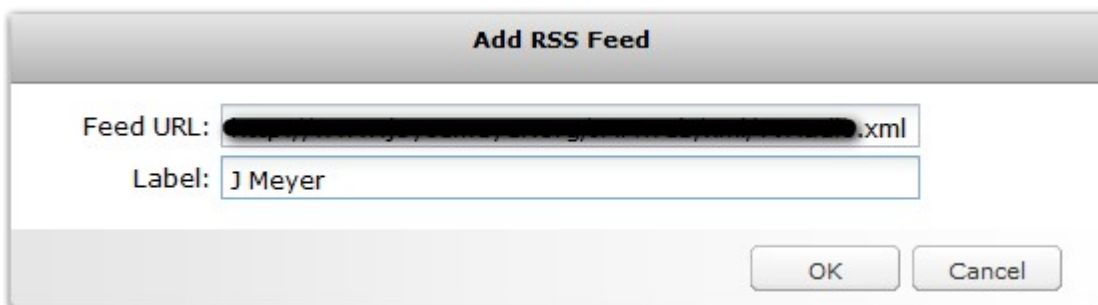



RSSフィード

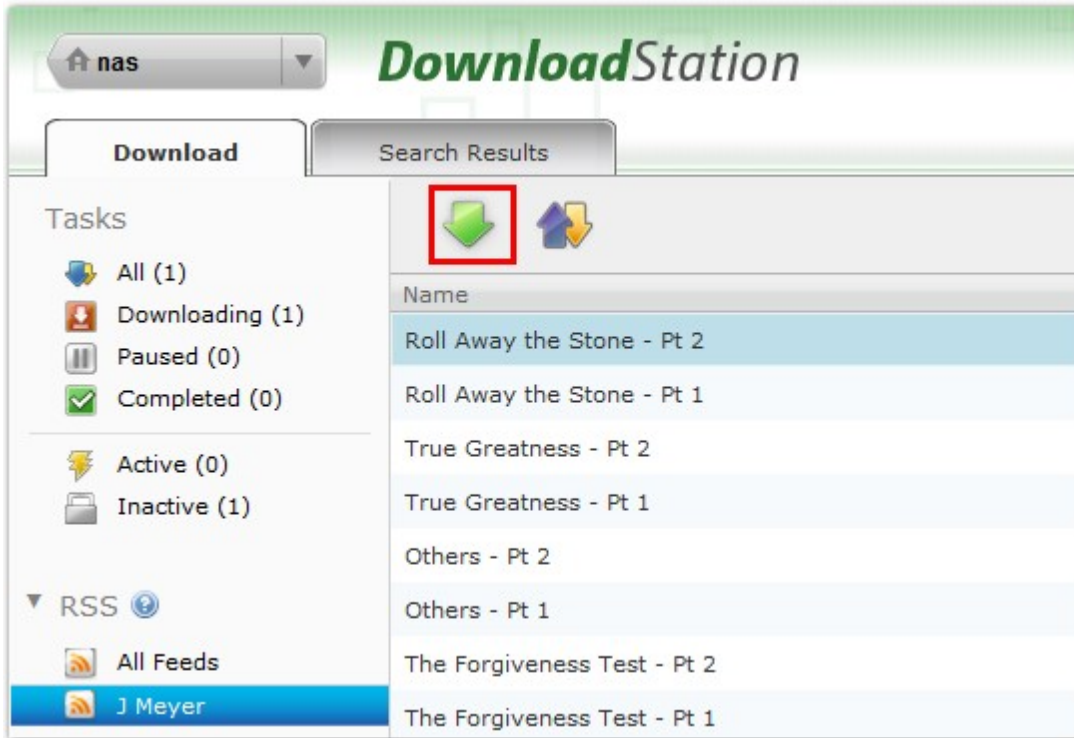
Download StationでRSSフィードを講読し、フィードにtorrentファイルをダウンロードできます。 をクリックして、RSSフィードを追加します。



URLとラベルを入力します。

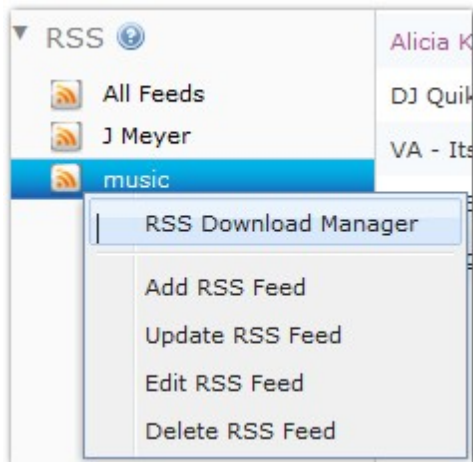


RSSフィードからtorrentファイルをダウンロードするには、ファイルを選択し、 をクリックするか、フィードを右クリックし、「Download(ダウンロード)」を選択します。



NASは自動的にファイルのダウンロードを開始します。ダウンロードリストでダウンロードステータスを確認することができます。

RSSフィード講読を管理するには、RSSフィードラベルを右クリックします。RSSダウンロードマネージャーを開き、RSSフィードを追加、更新、編集、または削除することができます。



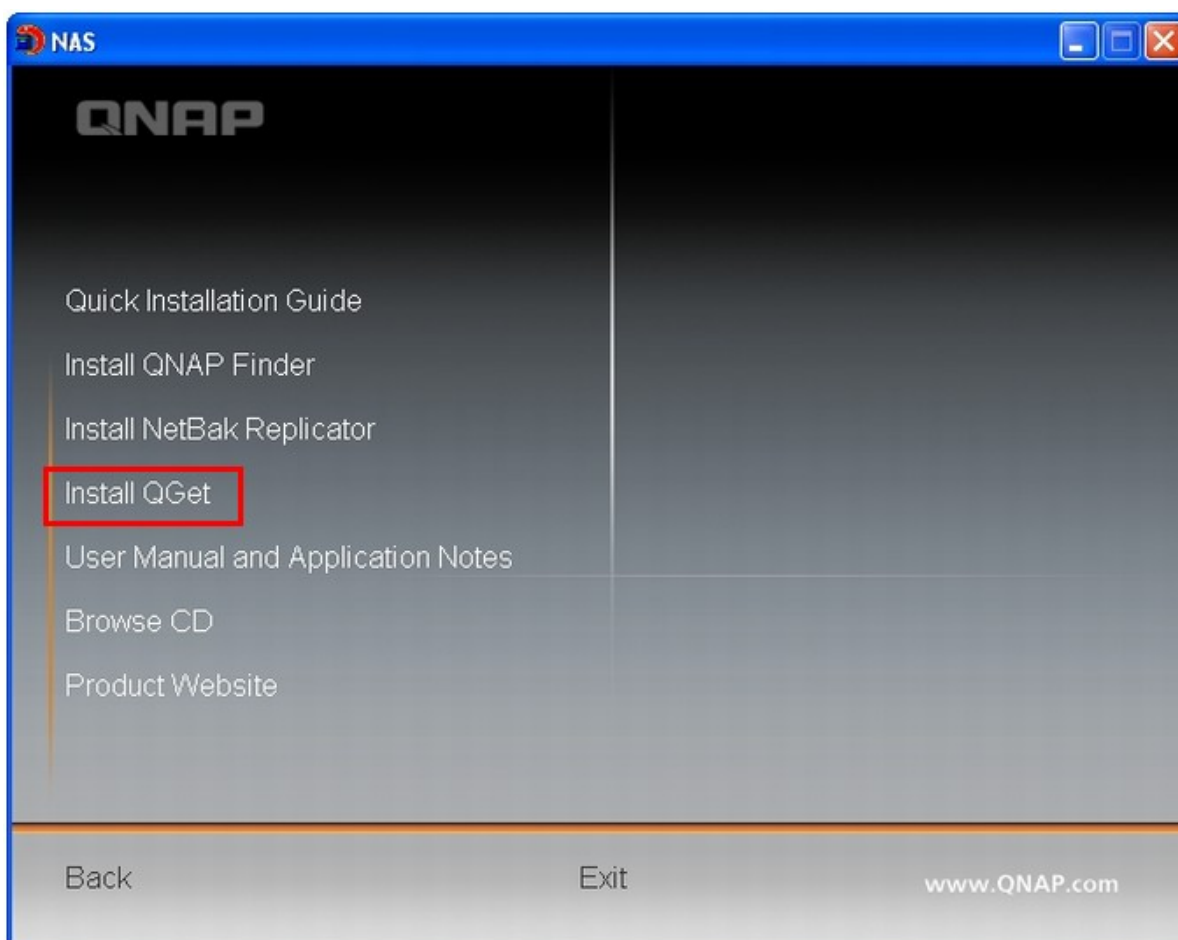
BTダウンロード速度が遅かったり、ダウンロードエラーが発生したりする一般的な理由は以下の通りです:

1. トレントファイルが期限切れか、ピアがこのファイルの共有を停止したか、ファイルにエラーがあります。
2. NASは固定IPを使用するように設定していても、DNSサーバが設定されていないか、DNSサーバがダウンしています。
3. ダウンロード速度が最適になるよう同時ダウンロードの最大数が3-5に設定されています。
4. NASがNATルータの背後に配置されています。ポート設定により、BTのダウンロード速度が遅くなっているか、反応がありません。以下の手順に従って問題を解決できるかもしれません:
 - NATルータのBTポートの範囲を手動で開きます。それらのポートをNASのLAN IPにフォワードします。
 - NASの新しいファームウェアはUPnP NATポートのフォワーディングをサポートしています。NATルータがUPnPに対応している場合、NATのこの機能を効にします。その後、NASのUPnP NATポートのフォワーディングを効にします。BTのダウンロード速度は改善されるはずですが。

ダウンロードソフトウェアQGetを使用する

QGetはLANまたはインターネット上で複数のNASサーバーでダウンロードタスクを管理するユーティリティです。複数のPCまたはMacにソフトウェアをインストールすることができます。ライセンスは必要ありません。Download Station 3で使用するには、<http://www.qnap.com/>からQGetの最新バージョンをダウンロードしてください。

1. QGetを使用するには、製品CD-ROMから同ソフトウェアをインストールします。



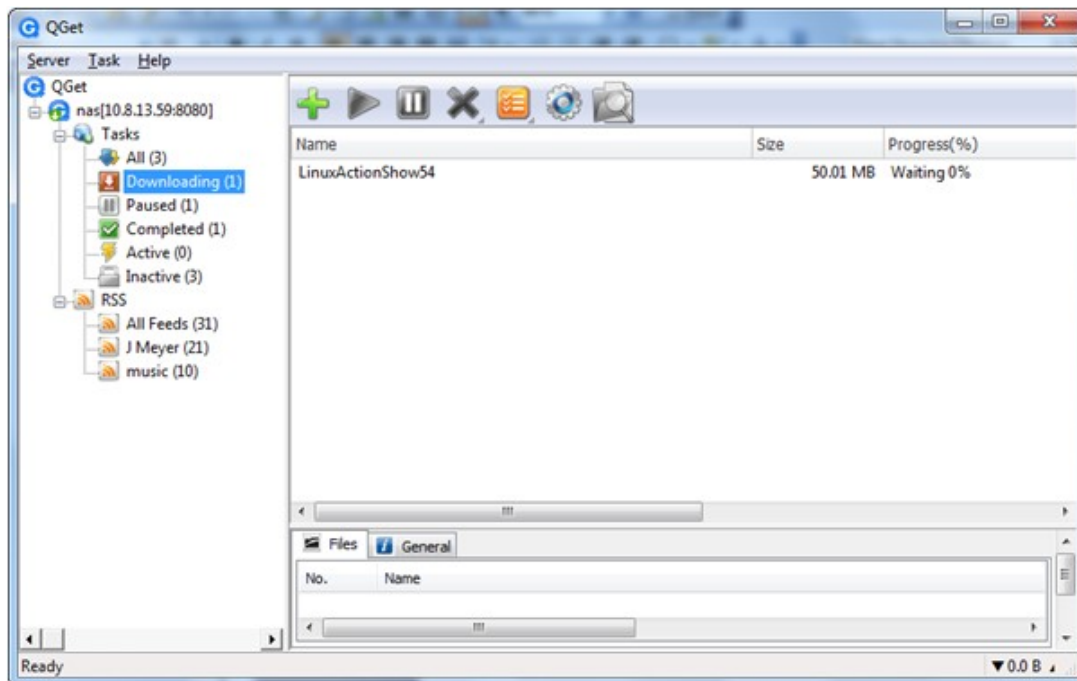
2. 指示に従ってQGetをインストールします。



3. インストールした場所からQGetを実行します。



4. QGetを使用すれば、WebベースのDownload Stationを使用しているかのごとく、複数のNASサーバ上でダウンロードタスクを管理することができます。QGetの概要とボタンの説明については、「Help (ヘルプ) 」 > 「Contents (コンテンツ) 」のオンラインヘルプを参照してください。



7.6 Surveillance Station

Surveillance Stationはローカルネットワークまたはインターネット上にあるIPカメラのライブビデオ監視と録画を提供します。この機能を有効にするには、「Administration (管理)」>「Applications (アプリケーション)」>「Surveillance Station」の順に進みます。

次のTurbo NASモデルは、デフォルトでSurveillance Stationをサポートしています。

NASモデル	IPカメラの最大サポート数
TS-259 Pro+	2
TS-419U II, SS-439 Pro, TS-410U, TS-459 Pro+, TS-459 Pro II, TS-412U, SS-839 Pro, TS-859 Pro+, TS-879 Pro, TS-879U-RP, TS-EC879U-RP, TS-1079 Pro, TS-1279U-RP, TS-EC1279U-RP, TS-1679U-RP, TS-EC1679U-RP	4

IPカメラの互換性リストについては、<http://www.qnap.com/en/index.php?lang=en&sn=4056>を参照ください。

Surveillance Station

Enable Surveillance Station

http://10.8.13.59:8080/cgi-bin/camera_view.cgi

Note: The Surveillance Station only supports 32-bit Internet Explorer version 7.0 or above.

Download Surveillance Station Pro

You can download Surveillance Station Pro for Installation.

Surveillance Station Pro supports more cam models, and equipped with multiple monitoring, advanced alarm settings, intelligent playback features. You can also perform remote management by Vmobile on iOS or Android devices. Click [HERE](#) to download Surveillance Station Pro.

Note: The Surveillance Station Pro offers one free recording channel. To add extra number of recording channels, please purchase the license at QNAP License Store (<http://license.qnap.com>) or contact an authorized reseller for assistance.

APPLY

Surveillance Station Proについて

Surveillance Station ProはSurveillance Stationの高性能バージョンです。このアプリケーションは1400種類以上のIPカメラと互換性を持ち、ライセンス管理によるより多くの録画チャンネル、ユーザアクセス制御、高度なアラーム設定などをサポートしています。Surveillance Station Proはデフォルトで、1つの無料録画チャンネルを提供しています。録画チャンネルを追加するには、QNAPライセンスストア(<http://license.qnap.com>)でライセンスを購入するか、認定された販売店にご相談ください。

次のTurbo NASモデルは、デフォルトでSurveillance Station Proをサポートしています。

NASモデル	IPカメラの最大サポート数(無料)
TS-469 Pro, TS-569 Pro, TS-669 Pro, TS-869 Pro, TS-269 Pro, TS-469U-RP, TS-869U-RP, TS-269L, TS-469L, TS-569L, TS-669L, TS-869L, TS-469U-SP	1

「Applications(アプリケーション)」>「QPKG Center(QPKGセンター)」からアドオンをインストールすれば、他のTurbo NASモデルにSurveillance Station Proをインストールすることができます。

NASモデル	(Surveillance Station Proのライセンスを購入して)サポートされる最大録画チャンネル数
ARMシリーズ (TS-x10, x12, x19)	8
x86シリーズ (TS-x39, x59, x69)	16
TS-x79シリーズ	40

Surveillance Stationの使用

「Administration(管理)」>「Applications(アプリケーション)」>「Surveillance Station」からサービスリンクをクリックし、アプリケーションに接続します。プロンプトが表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力します。

注: Surveillance Station は32ビットInternet Explorerバージョン7.0以上のみサポートしています。

NAS によるネットワーク監視システムをセットアップするには、以下のステップに従います。

1. ホームネットワーク接続状態を計画します
2. IP カメラをセットアップします
3. NAS でカメラを設定します
4. NAT ルータを設定します (インターネット上でのリモート監視用)

ホームネットワーク接続状態を計画します

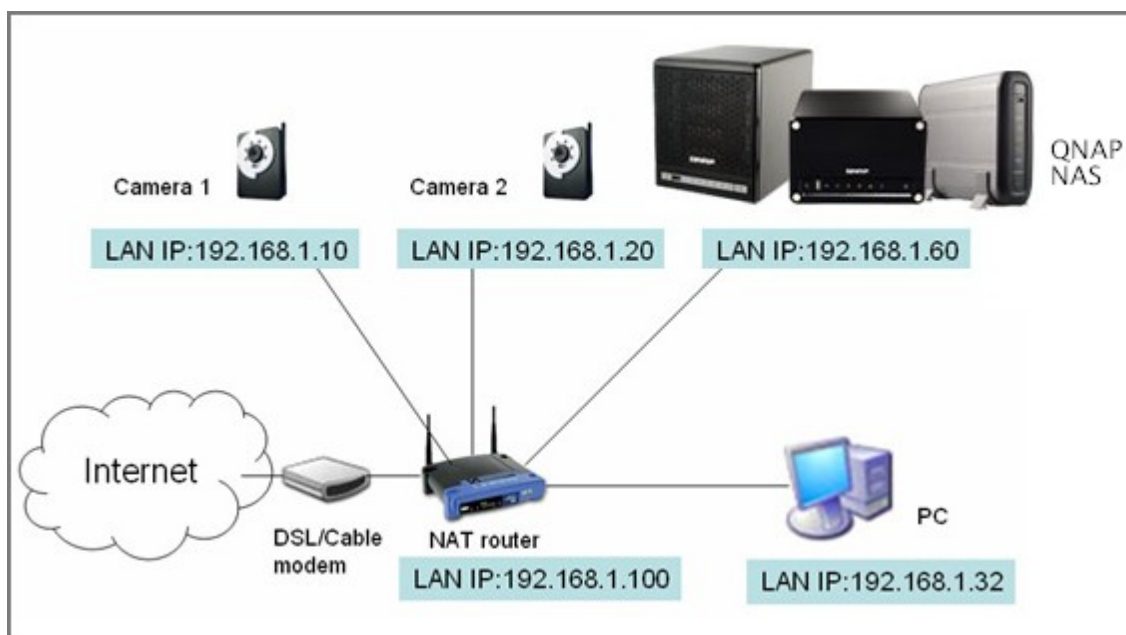
監視システムのセットアップを開始する前に、ホームネットワークの計画を書き留めます。その際、以下の点を考慮してください。

- i. NAS の IP アドレス
- ii. カメラの IP アドレス

この例では、2 つの IP カメラがインストールされています。

コンピュータ、NAS、IP カメラは LAN の同じルータにインストールする必要があります。固定 IP アドレスを NAS と IP カメラに割り当てます。例:

- ホームルータの LAN IP: 192.168.1.100
- カメラ 1 IP: 192.168.1.10 (固定 IP)
- カメラ 2 IP: 192.168.1.20 (固定 IP)
- NAS IP: 192.168.1.20 (固定 IP)



IP カメラをセットアップします

IP カメラをホームネットワークに接続します。次に、カメラがコンピュータと同じ LAN に入るようにカメラの IP アドレスを設定します。IE ブラウザによるカメラ 1 の設定ページにログインします。最初のカメラの IP アドレスを 192.168.1.10 と入力します。デフォルトのゲートウェイはルータの LAN IP として設定する必要があります (この例では、192.168.1.100)。2 台目のカメラの IP アドレスを 192.168.1.20 と設定します。カメラによっては、IP 設定に対してユーティリティを提供するものもあります。詳細については、カメラのユーザーマニュアルを参照してください。

サポートされるネットワークカメラリストについては、<http://www.qnap.com> を参照してください。

NAS でカメラを設定します

IE ブラウザにより Surveillance Station にログインして IP カメラを設定します。「設定>カメラ設定」ページに進みます。カメラ情報 (名前、モデル、IP アドレスなど) を入力します。

The screenshot shows the 'Surveillance Station' interface with the 'Settings' tab selected. Under 'Camera Settings', there is a table with the following data:

	Camera Name	Brand	IP Address	WAN IP Address
1	Camera 1			
2	Camera 2			

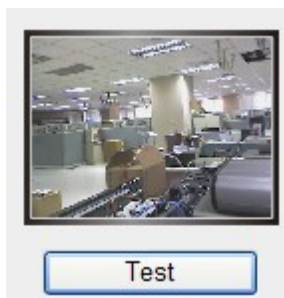
Below the table, the configuration form for 'Camera 1' is visible:

- Camera Number: 1: Camera 1 (dropdown)
- Camera Model: Axis 205 (dropdown)
- Camera Name: Camera 1 (text input)
- IP Address: (text input)
- Port: 80 (text input)
- WAN IP: (for monitoring from public network) (text input)
- Port: 80 (text input)
- User Name: (text input)
- Password: (text input)

Buttons: Apply, Remove, Test

Note: All the camera configuration will not take effect until you click the "Apply" button.

右の「接続テスト」をクリックして、IP カメラへの接続が正常に行われていることを確認します。



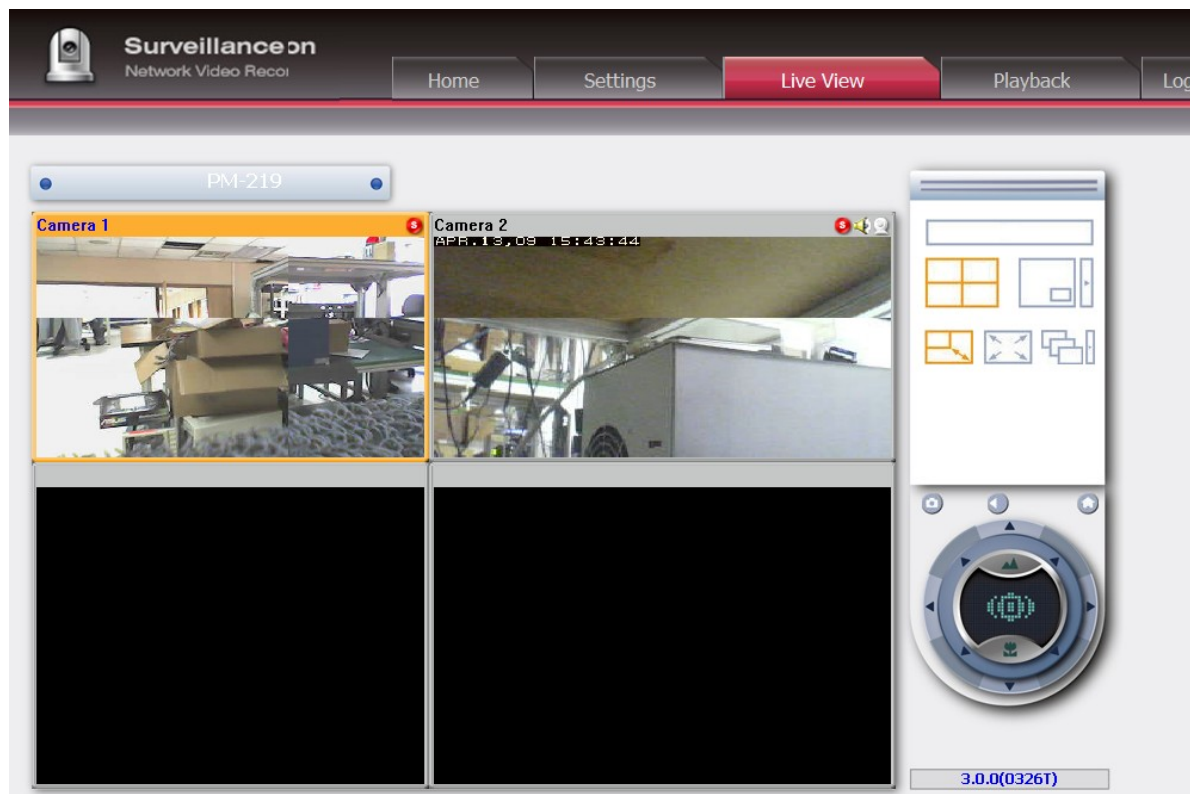
カメラで音声録音をサポートされている場合、「記録設定」ページでオプションを効にすることができます。「適用」をクリックして更を保存します。

Camera Number:	2: Camera 2	▼
Video Compression:	Motion JPEG	▼
Resolution:	QVGA	▼
Frame Rate:	20	▼
Quality:	Normal	▼
<input checked="" type="checkbox"/> Enable audio recording on this camera		
Estimated Storage Space for Recording: 6760 GB		
<input type="button" value="Apply"/>		

上のステップに従ってカメラ 2 の設定を行います。

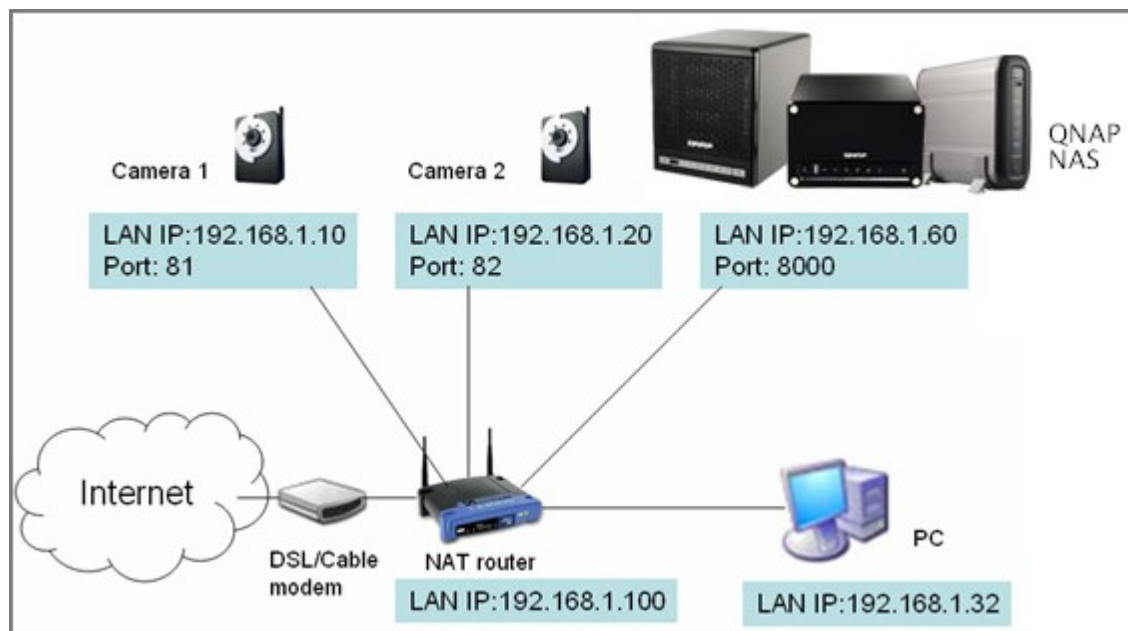
ネットワークカメラを NAS に追加した後、「ライブビュー」ページに進みます。IE ブラウザによりこのページに初めてアクセスするとき、カメラ 1 とカメラ 2 の画像を表示するには、ActiveX コントロールをインストールする必要があります。Surveillance Stationの監視および記録機能を使用できるようになります。

モーション検出記録、スケジュール記録、ビデオ再生など、Surveillance Stationのその他の機能を使用するには、オンラインヘルプを参照してください。



NAT ルーターを設定します (インターネット上でのリモート監視用)

監視ビデオを表示し NAS にリモートでアクセスするには、NAT ルーターの対応する LAN IP に異なるポートを転送することで、ネットワーク設定を変更する必要があります。




NAS および IP カメラのポート設定を変更する

NAS のデフォルトの HTTP ポートは 8080 です。この例で、ポートは 8000 に更されます。従って、設定を適用した後、`http://NAS IP:8000` を通じて NAS にアクセスする必要があります。

次に、IP カメラのネットワーク設定ページにログインします。カメラ 1 の HTTP ポートを 80 から 81 に更します。カメラ 2 のポートを 80 から 82 に更します。

次に、Surveillance Stationにログインします。「設定>カメラ設定」に進みます。カメラ1とカメラ2のポート番号をそれぞれ 192.168.1.10 port 81 とおよび 192.168.1.20 port 82 として入力します。両方のカメラに対してログイン名とパスワードを入力します。

また、WAN IP アドレス(または、パブリックネットワークのドメインアドレス。MyNAS.dyndns.org など)とインターネットから接続用の WAN サイドのポートを入力します。設定の終了後、「Test」をクリックして、カメラへの接続が正常に行われていることを確認します。

Camera Number:	1: Camera 1	 <input type="button" value="Test"/>
Camera Model:	iPUX ICS 1003/1013	
Camera Name:	Camera 1	
IP Address:	192.168.1.10	
<input checked="" type="checkbox"/> Port	81	
WAN IP: (for monitoring from public network)	myNAS.dyndns.org	
(If your IP camera is installed behind NAT router, you may input the public IP address (or URL) and the corresponding forwarded port of the router.)		
<input checked="" type="checkbox"/> Port	81	
User Name :	administrator	
Password :	●●●●●●	
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Remove"/>		

Note: All the camera configuration will not take effect until you click the "Apply" button.

ルータの設定ページに移動し、以下のようにポート転送を設定します。

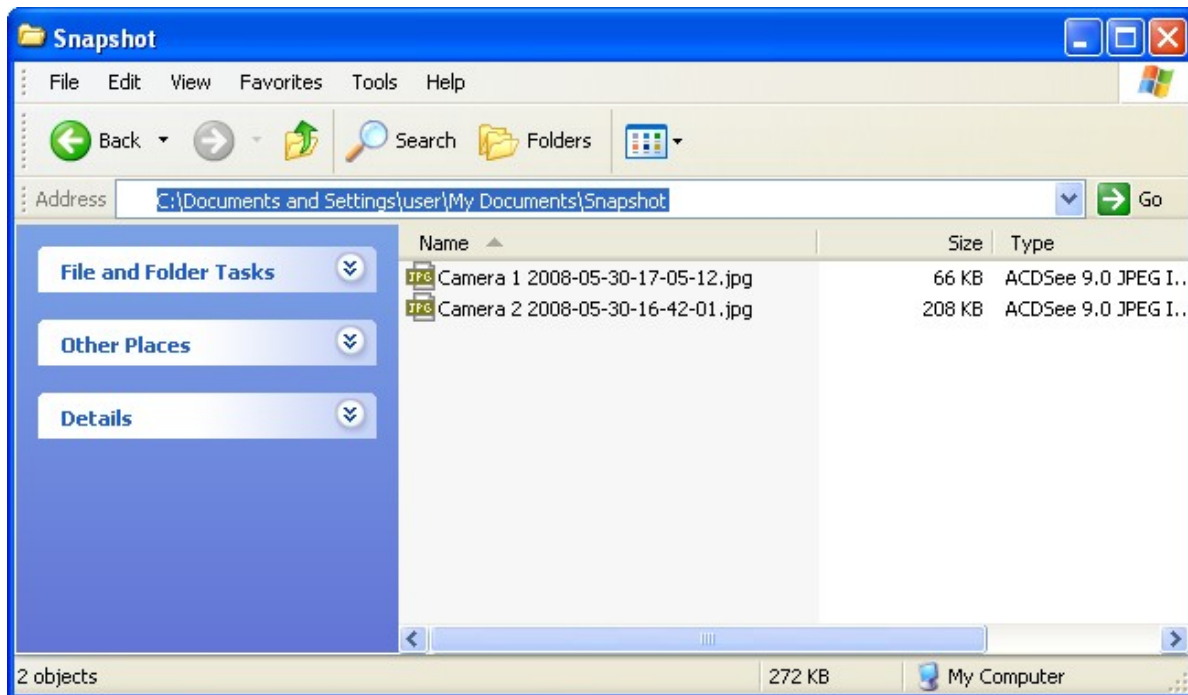
- 転送ポート 8000 対 NAS LAN IP: 192.168.1.60
- 転送ポート 81 対カメラ 1 の LAN IP: 192.168.1.10
- 転送ポート 82 対カメラ 2 の LAN IP: 192.168.1.20

注:ポート設定を更するとき、リモートアクセスが許可されていることを確認します。たとえば、オフィスのネットワークがポート 8000 をブロックする場合、オフィスから NAS にアクセスすることはできません。

ポート転送とルータ設定を設定した後、インターネット上でSurveillance Stationを使ってリモート監視を開始できます。

Surveillance Stationのスナップショットとビデオ記録にアクセスする

すべてのスナップショットは、ご使用のコンピュータの "My Documents" (マイドキュメント) > "Snapshot" (スナップショット) (Windows XP) に保存されます。Windows 7 あるいは Vistaをご使用の場合は、デフォルトのディレクトリは "Documents" (ドキュメント) > "Snapshot" (スナップショット) です。



ビデオ録画は \\NASIP\Qrecordings あるいは \\NASIP\Recordings に保存されます。通常の記録はフォルダ「record_nvr」に保存され、アラーム記録はネットワーク共のフォルダ「record_nvr_alarm」に保存されます。

7.7 iTunes サービス

NASのQmultimedia/ Multimediaフォルダのmp3ファイルは、このサービスを効にすることによってiTunesと共できます。iTunesがインストールされているLAN上のすべてのコンピュータから、NASの音楽ファイルの検出、参照、再生が可能となります。

iTunes サーバーを使用するには、お使いのコンピュータ上に iTunes (<http://www.apple.com/itunes/>)をインストールします。この機能を有効にし、NAS の Qmultimedia/Multimedia フォルダに音楽ファイルをアップロードします。

iTunes サービス

iTunes サービス

iTunesサービスが有効になると、同じサブネット内のすべてのiTunesクライアントが、サーバの[Multimedia]フォルダにある音楽ファイルを再生できます。

iTunesサービスを有効にする

このサービスを有効にすると、次のリンクからiTunes Webサーバのコンフィギュレーションページにアクセスできます。

<http://10.8.12.93:3689/index.html>

ユーザ名: admin

パスワード:

iTunes サーバーを設定し、スマートプレイリストを追加するには、iTunes サーバーのウェブページにログインします：
http://NAS-IP:3689/index.html

The screenshot shows the Firefly web interface. At the top left is the Firefly logo and the tagline "The best open-source media server for the Roku SoundBridge and iTunes". A navigation menu on the left includes links for "server status", "smart playlists", "configuration", "about firefly", "thanks", and "Version svn-1696". The main content area is titled "Configuration" and has a "Show advanced config" link. It is divided into three sections: "Server", "Music Files", and "Database".

Server

Config File Location	/mnt/HDA_ROOT/.config/mt-daapd.conf	
Server Name	<input type="text" value="KenTest659(iTunes)"/>	The name iTunes and other daap clients should see
Logfile	<input type="text"/>	
Admin password	<input type="text" value="admin"/>	The password for this administration interface.
Music Password	<input type="text"/>	The password clients need to access this server.

Music Files

Music Folder	<input type="text" value="/share/Multimedia"/>
Remove	
Music Folder	<input type="text" value="/share/Public"/>
Remove	
Add music folder	
Extensions	<input type="text" value=".mp3,.m4a,.m4p,.aif,.wav,."/>
Playlist File	<input type="text"/>

Database

Scan Type	<input type="text" value="0 - Normal"/>	
Rescan Interval	<input type="text" value="180"/>	How often should Firefly look for new files? In seconds.
Always Scan	<input type="text" value="No"/>	

At the bottom of the configuration area are "Save" and "Cancel" buttons.

PC および NAS を同一 LAN 上に接続し、PC 上の iTunes を起動します。「SHARED (共有中)」の下で NAS 名を探し、音楽ファイルまたはプレイリストの再生を開始します。



7.8 DLNAメディアサーバ

DLNAメディアプレーヤーがNASのマルチメディアコンテンツにアクセスおよび再生できるようにするには、この機能を有効にして、リンク (<http://NAS IP:9000/>) をクリックし、DLNAメディアサーバの設定ページに入ります。



DLNA Media Server

Enable DLNA Media Server

After enabling this service, click the following link to enter DLNA Media Server configuration page.

<http://10.8.13.59:9000/>

APPLY

<http://NAS IP:9000/>のリンクをクリックし、"TwonkyMedia Settings" (TwonkyMedia設定) > "Basic Setup" (基本セットアップ) に移動し、基本サーバ設定を構成します。

デフォルトではNASのQmultimedia (Qマルチメディア) あるいはMultimedia (マルチメディア) フォルダのコンテンツはデジタルメディアプレーヤーに共されます。"Basic Setup" (基本セットアップ) > "Sharing" (共) > "Content Locations" (コンテンツの場所) に移動し、共フォルダの更、または共フォルダを追加することができます。

設定の構成後、mp3、写真、ビデオファイルをNAS上の特定の共フォルダにアップロードすることができます。

注：マルチメディアファイルをデフォルトの共フォルダにアップロードしても、ファイルがメディアプレーヤーに表示されない場合は、メディアプレーヤーの設定ページの「コンテンツディレクトリの再スキャン」または「サーバの再起動」をクリックできます。

この機能に関する情報は、詳細はこちらをご覧ください [685](#)。

7.9 MySQLサーバ

注：TS-x39/509/809シリーズにてこの機能を使用するには製品CDに含まれている画像ファイルを使用してシステムファームウェアを更新するか、あるいは最新システムファームウェアをダウンロードしてください。

MySQLサーバをウェブサイトデータベースとして効にすることができます。

TCP/IPネットワークを効にします

リモート接続を効にし、他のウェブプログラムがインターネット経由でこのサーバのMySQLサーバにアクセスし、データベースサーバとして使うことができるようになります。無効にすると、ローカルウェブプログラムからの接続のみが許可されます。

リモート接続を効にした場合、MySQLサーバのリモート接続サービスに1つのポートを割り当ててください。デフォルトポートは3306です。

NASをはじめてインストールした後、phpMyAdminというフォルダがQweb/ Webネットワークフォルダに作成されます。Webブラウザにhttp://NAS IP/phpMyAdmin/を入力してphpMyAdminページに入りMySQLデータベースを管理できます。

注:

- phpMyAdminフォルダは削除しないでください。このフォルダの名前を変更することはできますが、MySQLサーバページは更新されません。名前を変更したフォルダにアクセスするには、Webブラウザのhttp://NAS IP/renamedフォルダのリンクに入ります。
- はじめてインストールした後に、phpMyAdminフォルダが作成されます。ファームウェアを更新しても、フォルダは変更されません。

データベースメンテナンス

- ロートパスワードをリセットします:MySQLルートのパスワードは、この機能実行後、"admin" にリセットされます。
- データベースを初期化します:この機能実行後、MySQL データベースのすべてのデータは消去されます。

この機能に関する情報は、詳細はこちらをご覧ください[\[69\]](#)。

MySQL サーバ

MySQLサーバをウェブサイトデータベースとして有効にすることができます。

MySQLサーバを有効にします
このオプションを有効にして、MySQLサーバのリモート接続を許可します。

TCP/IPネットワークを有効にします

ポート番号

注記: phpMyAdminパッケージをインストールし、MySQLサーバを管理することができます。phpMyAdminをインストールするには、[こちら](#)をクリックしてください。

データベースメンテナンス

データベースパスワードをリセットするか、データベースを初期化できます。

7.10 QPKG Center

QPKG センターとは、NAS 上にサードパーティ製アドオンソフトウェアをインストールするための管理プラットフォームです。「QPKG Center(QPKG センター)」>「Available(利用可能)」に移動して、アドオンを参照します。「Install(インストール)」をクリックして、それらをインストールします。

注:

- NAS がインターネットに接続されていることを確認します。
- QNAP 社は、オープンソースソフトウェア/アドオンにより引き起こされる問題のトラブル対応の責任を負いません。ユーザーが、問題解決のために QNAP コミュニティフォーラムのディスカッションに参加するか、オープンソースソフトウェアの元の開発者に連絡することを推奨します。

QPKG Center

インストール済 利用可能 さらに活用

カテゴリ ALL

	AjaXplorer 2.5.5 QNAP Systems, Inc.	AjaXplorer はウェブサーバー上のファイルをシンプルなファイル共有システムとして遠隔管理あるいは操作するためのファイルエクスプローラです。リッチなレイ	» インストール済
	Asterisk 1.4.22.1b Adnovea	AsteriskはPBXのソフトウェア実装で、付属の電話を機能させ、またPSTNおよびVoIPサービスといった他の電話サービスとの接続も実現します。	» インストール済
	eyeOS 1.9.0.1 Christopher	eyeOSはクラウドコンピューティング概念に従うオープンソースのウェブデスクトップで、ユーザー間のコラボレーションおよびコミュニケーションを強化します。ま	» インストール » ダウンロード

Forum · Wiki [詳細情報]

選択済のアドオンとインストールの進行状況が表示されます。

注：前提条件となる QPKG を必要とする QPKG アドオンをインストールする場合、前提条件となるアドオンは依存するアドオンの前に自動的にインストールキューに追加されます。



「Installed(インストール済)」タブに移動し、インストール済アドオンの参照、有効化、無効化、または削除を行います。「Check for update(更新の確認)」をクリックして、アドオンの利用可能な更新バージョンをチェックします。利用可能な場合、ダウンロードリンクをクリックして、更新をインストールします。

QPKG Center

[インストール済](#) [利用可能](#) [さらに活用](#)

[更新の確認](#)

	AirVideoServer Alpha.6-r6 Cristian	No Description Available Webページ: http://10.8.12.93:80/avs https://10.8.12.93:8081/avs	» 有効 » 削除
	AjaXplorer 2.5.5 Based on the original work of Charles du Jeu	AjaXplorer はウェブサーバー上のファイルをシンプルな ファイル共有システムとして遠隔管理あるいは操作するた めのファイルエクスプローラです。リッチなレイ [詳細情報] Webページ: http://10.8.12.93:80/AjaXplorer/ https://10.8.12.93:8081/AjaXplorer/	» 削除

オフラインでのインストール

NAS がオフライン時に QPKG アドオンをインストールする場合、または、QNAP 社の QPKG サーバーで正式に利用可能でなベータ版のアドオンをインストールする場合、ユーザーは、QPKG ファイルを QNAP 社ウェブサイト(<http://www.qnap.com/QPKG.asp>) またはフォーラム(<http://forum.qnap.com/>)からダウンロードし、ファイルを解凍して、「QPKG Center(QPKG センター)」>「Get More(追加)」でアドオンを手動でインストールします。

QPKG Center

インストール済 利用可能 **さらに活用**

新規QPKGプラグインのインストール

パッケージをインストールするには、以下の手順に従ってください:

1. [ここ](#)をクリックして、新しく開発されたものを含む QPKG アドオンをQPKG ラボで参照します。アドオンをお使いのコンピュータにダウンロードし、解凍します。
QPKG開発：QPKG アドオンを開発される場合、素晴らしいアプリケーション開発に必要なツール、文書およびサンプルコードは [QDK](#) にあります。
2. 解凍したファイルの場所を参照し、[インストール]をクリックします。

7.11 Syslogサーバ

サーバ設定

NAS をシステムログサーバとして設定し、クライアントからシステムログメッセージを受信するには、システムログサーバを有効にします。NAS がシステムログメッセージを受信するために使用するプロトコル(TCP/UDP)を選択します。必要に応じてポート番号を指定するか、デフォルトポート番号 514 を使用します。「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。NAS をシステムログサーバとして有効にした後、システムログクライアント上のシステムログサーバ IP アドレスに NAS の IP アドレスを入力して、クライアントからシステムログメッセージを受信できるようにします。

ログ設定:

システムログメッセージの最大ログサイズ(1 ~ 100MB)、ログを保存するロケーション(NAS ネットワーク共有)、およびファイル名を指定します。ログが最大サイズに達すると、ログは自動的にアーカイブされ、名称が MyLogFile_YYYY-mm-dd に変更されます(例 MyLogFile_2011-12-31)。複数ログファイルが同じ日にアーカイブされる場合、ファイル名は MyLogFile_YYYY_mm_dd.[番号] になります。例えば、MyLogFile_2011_12_31.1、MyLogFile_2011_12_31.2 などです。「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。

Syslogサーバコンフィギュレーション

サーバ設定 フィルタ設定 SYSLOGビューア

サーバ設定

Syslogサーバを有効にする

TCPを有効にする
TCPポート:

UDPを有効にする
UDPポート:

ログ設定

最大ログサイズ (MB):

ログファイル: /

Eメール通知

受信したログメッセージの重大度が選択した重大度よりも高いと、自動的にアラートメールが送信されます。

Eメール通知を有効にする

重大度:

注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。 [ここをクリックして、SMTPサーバを設定します。](#)

E メール通知：

NASは、受信したシステムログメッセージの重大度が指定されたレベルと一致するとき、専用の E メールアドレス(「System Administration (システム管理)」>「Notification (通知)」>「Alert Notification (アラート通知)」で設定された最大 2 件)への電子メール警告の送信をサポートしています。この機能を利用するには、「System Administration (システム管理)」>「Notification (通知)」>「Configure SMTP Server (SMTP サーバーの設定)」で、SMTP サーバーの設定を行います。次に、E メール通知を有効にし、「Application Servers (アプリケーション)」>「Syslog Server (Syslogサーバ)」>「Server Settings (サーバ設定)」で、重大度のレベルを選択します。「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。

重大度	レベル(最小の数字が最高の重大度を表します)	説明
Emerg	0	緊急: システムは利用不能です。 レベル 0 ~ 4 のシステムログメッセージを受信した時に、警告 E メールを送信します。
Alert	1	警告: 直ちにアクションが必要です。 レベル 1 ~ 4 のシステムログメッセージを受信した時に、警告 E メールを送信します。
Crit	2	危険: 危険な状態です。 レベル 2 ~ 4 のシステムログメッセージを受信した時に、警告 E メールを送信します。
Err	3	エラー: エラー状態です。 レベル 3 ~ 4 のシステムログメッセージを受信した時に、警告 E メールを送信します。
Warning	4	注意: 注意が必要な状態です。 レベル 4 のシステムログメッセージを受信した時に、警告 E メールを送信します。

Eメール通知

受信したログメッセージの重大度が選択した重大度よりも高いと、自動的にアラートメールが送信されます。

Eメール通知を有効にする

重大度:

注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。 [ここをクリックして、SMTPサーバを設定します。](#)

フィルタ設定

この機能は、システムログのフィルタに慣れたシステム管理者のみが操作するようにします。

次のステップに従い、条件に一致するシステムログメッセージを受信するように NAS のシステムログフィルタを作成します。




1. 「Add a New Filter (新規フィルタの追加)」をクリックします。



2. フィルタ設定を定義し、「Add (追加)」をクリックします。フィルタを手動で編集/追加するには、「Manual Edit (手動編集)」をクリックし、ダイアログで内容を変更します。「Apply (適用)」をクリックして、フィルタを保存します。



3. フィルタがリスト上に表示されます。NAS は、使用するフィルタに一致するシステムログメッセージのみを受信します。

ボタン	説明
	フィルタを有効にします
	フィルタを無効にします
	フィルタ設定を編集します
削除	1 つ以上のフィルタを削除します

サーバ設定
フィルタ設定
SYSLOGビューア

新規フィルタの追加

<input type="checkbox"/>	フィルタ	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	(\$syslogfacility-text == 'auth')	有効	 
<input type="checkbox"/>	(\$syslogseverity-text == 'emerg')	無効	 

 削除

Syslogビューア

ウェブベースのシステムログビューアを使って、NAS 上で利用可能なシステムログメッセージを閲覧します。最新のログを閲覧するか、または、特定のアーカイブされたファイル内のログを閲覧するかを選択します。「Syslog Server (Syslogサーバ)」>「Server Settings (サーバ設定)」>「Log Settings (ログ設定)」で、設定したディレクトリ上のログファイルに直接アクセスします。

サーバ設定 フィルタ設定 SYSLOGビューア								
最新のログ ▼								
日付	時刻	ファシリテイ	重大度	ホスト名	アプリケーション	P.ID	M.ID	メッセージ
2011-09-08	14:12:30 +08:00	auth	Info	nas	qlogd	5853	-	qlogd[5853]: conn log: Users: admin, Source IP: 10.8.13.134, Computer name: ---, Connection type: HTTP, Accessed resources: Administration, Action: Login OK
2011-09-08	14:11:48 +08:00	daemon	Info	nas	qlogd	5853	-	qlogd[5853]: event log: Users: admin, Source IP: 10.8.13.134, Computer name: ---, Content: [Syslog Server] Filter deleted.
2011-09-08	14:11:44 +08:00	daemon	Info	nas	qlogd	5853	-	qlogd[5853]: event log: Users: admin, Source IP: 10.8.13.134, Computer name: ---, Content: [Syslog Server] Filter deleted.

7.12 RADIUS サーバ

NAS を、RADIUS (Remote Authentication Dial In User Service: ユーザーサービスにおけるリモート認証ダイヤル) サーバーとして設定し、ネットワークサービスに接続/使用するコンピュータに対する集中化認証および認証管理機能を提供します。

この機能を利用するには、以下のステップに従います:

1. 「RADIUS Server (RADIUS サーバ)」 > 「Server Settings (サーバ設定)」で、NAS 上の RADIUS サーバを有効化します。「Apply (適用)」をクリックします。



The screenshot shows the 'RADIUS サーバ' configuration page with the 'サーバ設定' tab selected. The 'RADIUSサーバを有効にする' checkbox is checked. Below it, there is an unchecked checkbox for 'システムユーザアカウントにダイヤルインアクセス権を付与する'. A note at the bottom states: '注: RADIUSサーバでサポートされているシステムユーザアカウントの認証スキームは、PAP、EAP-TLS/PAP、EAP-TTLS/PAPだけです。' An '適用' button is located at the bottom right.

2. 「RADIUS Server (RADIUS サーバ)」 > 「RADIUS Clients (RADIUS クライアント)」で、NAS 上に、Wi-Fi アクセスポイントおよび VPN などの RADIUS クライアントを追加します。最大 10 の RADIUS クライアントをサポートします。

- a. 「Create a New Client (新規クライアントの作成)」をクリックします。



The screenshot shows the 'RADIUS サーバ' configuration page with the 'RADIUSクライアント' tab selected. A button labeled '新規クライアントの作成' is highlighted with a red box. Below the button is a table with columns: '名前', 'IPアドレス', 'プレフィクス長', 'ステータス', and 'アクション'. There is also a '削除' button with a trash icon.

	名前	IPアドレス	プレフィクス長	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>					

- b. クライアントの情報を入力し、「Apply（適用）」をクリックします。

RADIUSクライアント

QNAP
TURBO NAS

新規クライアントの作成

名前:

IPアドレス:

プレフィクス長:

秘密キー:

- c. クライアントがリスト上に表示されます。

RADIUS サーバ

サーバ設定 **RADIUSクライアント** RADIUSユーザ

<input type="checkbox"/>	名前	IPアドレス	プレフィクス長	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	WirelessAP1	192.168.1.0	24	有効	<input type="button" value="停止"/> <input type="button" value="編集"/>

3. 「RADIUS Server (RADIUS サーバ)」 > 「RADIUS Users (RADIUS ユーザ)」で、RADIUS ユーザーおよびパスワードを作成します。ユーザーは、RADIUS クライアントを通して、ネットワークにアクセスしようとする時に認証されます。NAS がサポートする RADIUS ユーザーの最大数は、サポートされる最大ローカル NAS ユーザーと同じです。詳細は、<http://docs.qnap.com/nas/en/index.html?users.htm> を参照してください。

- a. 「Create a New User (新規ユーザの作成)」をクリックします。



- b. ユーザー名およびパスワードを入力します。ユーザー名は、アルファベット(a ~ z および A ~ Z)と数字(0 ~ 9)のみが利用可能です。パスワードは、8 ~ 32 文字でなければなりません(a ~ z, A ~ Z, および 0 ~ 9 のみ)。「Apply (適用)」をクリックします。



4. ダイヤルアクセス権を付与するローカル NAS ユーザーを指定します。このオプションを有効にして、ローカル NAS ユーザーが、NAS へのログイン名とパスワードを使用して RADIUS クライアントを通し、ネットワークサービスにアクセスできるようにします。「Apply (適用)」をクリックします。

RADIUS サーバ

サーバ設定 RADIUSクライアント RADIUSユーザ

サーバ設定

RADIUSサーバを有効にする

システムユーザアカウントにダイヤルインアクセス権を付与する

注: RADIUSサーバでサポートされているシステムユーザアカウントの認証スキームは、PAP、EAP-TLS/PAP、EAP-TTLS/PAPだけです。

適用

注: RADIUS サーバは、ローカル NAS ユーザーの認証に、PAP、EAP-TLS/PAP、および EAP-TTLS/PAP のみをサポートします。

7.13 バックアップサーバー

再同期サーバー

再同期サーバーを有効にしてNASをバックアップサーバーとして設定することで、リモート再同期サーバーまたはNASサーバーからデータをバックアップすることができます。再同期経由でのリモートレプリケーションに対するデフォルトのポート番号は、873です。帯域幅制御のため最大ダウンロードレートを指定します。0は、無制限を意味します。

- リモートサーバーからローカルホストへのバックアップを有効にする: このオプションを選択すると、リモートサーバー (NAS) からローカルサーバー (NAS) にデータをバックアップすることができます。
- リモート再同期サーバーがNASにデータをバックアップできるようにする: このオプションを選択すると、再同期サーバーからローカルサーバー (NAS) にデータをバックアップすることができます。

ユーザー名とパスワードをセットアップすると、再同期サーバーから認証されたアクセスのみを許可して、NASにデータをバックアップすることができます。

バックアップサーバー

RSYNCサーバー **RTRRサーバー**

再同期サーバー設定

この機能を使用すると、ローカルサーバのデータを同じNASシリーズのリモートサーバにバックアップできるほか、リモートサーバからローカルサーバへのバックアップも可能です。

ポート番号:

最大ダウンロード速度(KB/s):

リモートサーバからローカルホストへのバックアップを有効にする

リモートRsyncサーバによるNASへのデータのバックアップを許可する

ユーザ名:

パスワード:

RTRRサーバー

リモートサーバーからローカルNASにリアルタイムまたはスケジュールのデータレプリケーションを可能にするには、「Enable Real-time Remote Replication Server(リアルタイムのリモートレプリケーションサーバーを有効にする)」を選択します。リモートレプリケーションに対して、ポート番号を指定できます。デフォルトのポート番号は8899です。帯域幅制御のため最大アップロードレートとダウンロードレートを指定します。0は、無制限を意味します。認証されたアクセスのみを許可してローカルNASにデータをバックアップするには、アクセスパスワードを指定します。パスワードを入力し、RTRR経由でNASにデータをバックアップするように求めるプロンプトが、クライアントサーバーに対して出されます。

RSYNCサーバ **RTRRサーバー**

RTRRサーバー設定

リアルタイムリモートレプリケーション(RTRR)サーバーでは、ローカルNASからリモートサーバーへの、または逆の一方同期化を実施します。

リアルタイムリモートレプリケーションサーバーを有効にする

ポート番号:

最大アップロード速度(KB/s):

最大ダウンロード速度(KB/s):

パスワード

パスワード:

パスワードの再入力:

ネットワークアクセス保護

すべての接続を許可する

リストからの接続だけを許可する

<input type="checkbox"/>	分類	IPアドレスまたはネットワークドメイン	アクセス権	アクション
<input type="button" value="削除"/>				

リモートレプリケーションのためにNASへのアクセスを許可する、IPアドレスまたはホスト名を指定できます。規則は、最大10件まで設定できます。すべての接続を許可するには、「Allow all connections(すべての接続を許可する)」を選択します。IPアドレスまたはホスト名を指定するには、「Allow connections from the list only(リストのみから接続を許可する)」を選択し「Add(追加)」をクリックします。

ネットワークアクセス保護

すべての接続を許可する
 リストからの接続だけを許可する

<input type="checkbox"/>	分類	IPアドレスまたはネットワークドメイン	アクセス権	アクション
<input type="button" value="削除"/>				

注: リストが空の場合、サーバーへのすべての接続が許可されます。

注: 設定は変更されています。「適用」をクリックしてサーバーを再起動してください。

IPとサブネットマスクを入力することで、IPアドレスを入力したりIPアドレスの範囲を指定します。「読み込みのみ」または「読み込み/書き込み」のアクセス権を選択します。「読み込み/書き込み」を選択することで、クライアントサーバーはローカルNASのファイルを削除できます。「FINISH(終了)」をクリックして終了します。

IPアドレスの追加

QNAP
TURBO NAS

サーバーへの接続が許可されたIPアドレスを入力します。

IPアドレス形式: IPv4

単一のIPアドレス
 IPアドレスとネットマスクを設定し、特定のネットワークのIPアドレスを指定

IPアドレス: 10 . 8 . 12 . 0
 IP: . . .
 サブネットマスク: 255 . 0 . 0 . 0

アクセス権: 読み取り/書き込み

Step 1 of 1

アクセス規則を保存した後、「APPLY(適用)」をクリックするとNASが再起動して設定を適用します。

ネットワークアクセス保護

すべての接続を許可する

リストからの接続だけを許可する

[追加](#)

<input type="checkbox"/>	分類	IPアドレスまたはネットワークドメイン	アクセス権	アクション
<input type="checkbox"/>	単一のIPアドレス	10.8.12.0	読み取り書き込み	

[削除](#)

注: リストが空の場合、サーバーへのすべての接続が許可されます。

注: 設定は変更されています。「適用」をクリックしてサーバーを再起動してください。 [適用](#)

7.14 アンチウイルス

ステータス

ウイルス対策機能を使用して、NAS を手動または定期的なスケジュールでスキャンし、ウイルス、マルウェア、トロイの木馬、および、その他の悪意のある脅威に感染したファイルを削除または隔離します。この機能を利用するには、「Enable antivirus (アンチウイルスを有効にする)」を選択し、「Apply (適用)」をクリックします。

更新:

「Check and update automatically (自動的に確認して更新します)」を選択し、ウイルス対策定義を自動的に更新する間隔日数を指定します。オンライン更新の横の「Update Now (今すぐ更新)」をクリックして、ウイルス対策定義を直ちに更新します。また、<http://www.clamav.net> から更新ファイルをダウンロードして、ウイルス対策定義を手動で更新することも可能です。この機能を使用するには、インターネットにNASを接続する必要があります。

隔離:

NAS 上のディスクボリュームの隔離情報を表示します。詳細は、「Application Servers (アプリケーション)」>「Antivirus (アンチウイルス)」>「Quarantine (隔離)」で参照します。

The screenshot shows a web interface for Antivirus management. At the top, there are four tabs: 'ステータス' (Status), 'スキャンジョブ' (Scan Jobs), 'レポート' (Reports), and '隔離' (Quarantine). The 'ステータス' tab is selected. Below the tabs, there are three main sections:

- アンチウイルス**: A section with a checked checkbox 'アンチウイルスを有効にする'. Below it is a table with columns for 'ウイルス定義' (Virus Definitions), '最後のウイルススキャン' (Last Virus Scan), '最後に感染したファイルが見つかりました' (Last File Found Infected), and 'ステータス' (Status).

ウイルス定義	2011/09/07 10:55
最後のウイルススキャン	2011/09/08 13:00:03
最後に感染したファイルが見つかりました	2011/09/06 15:00:04
ステータス	スキャンしています...
- 更新**: A section with a checked checkbox '自動的に確認して更新します。頻度日数: 1'. Below it are buttons for 'オンライン更新: 今すぐ更新' (Online Update: Update Now), '手動更新(*.cvd): Browse...' (Manual Update: Browse...), and 'インポート' (Import). At the bottom, it says '更新ファイルの入手先: <http://www.clamav.net>'.
- 隔離**: A section with the text '単一ディスク: ドライブ 1: 感染したファイルを含む' (Single Disk: Drive 1: Contains infected files).

At the bottom right of the interface, there is a button labeled '適用' (Apply).

スキャンジョブ


NAS は、手動またはスケジュールでの全共有あるは指定した共有のスキャンをサポートします。最大 64 件のスキャンジョブを作成し、同時に 5 スキャンジョブを起動できます。スキャンジョブを作成するには、次のステップを行います。

1. 「Application Servers (アプリケーション)」>「Antivirus (アンチウイルス)」>「Scan Jobs (スキャンジョブ)」に進みます。「New Scan Job (新規スキャンジョブ)」をクリックします。



2. ジョブ名を入力して、スキャンするネットワーク共有を選択します。スキャンするネットワーク共有を指定するには、共有を選択して、「Add (追加)」をクリックします。



3. 複数のネットワーク共有を選択可能です。ネットワーク共有を削除するには、共有名の横の  をクリックします。「Next (次へ)」をクリックします。

スキャンジョブの作成 

フォルダの選択

ジョブ名:

すべてのフォルダ

特定のフォルダ:

フォルダ	アクション
/Public	

Step 1 of 5

4. スキャンジョブのスケジュールを定義します。「Next (次へ)」をクリックします。

スキャンジョブの作成 

スケジュール

以前選択したフォルダのスキャン頻度を選択します:

今すぐスキャン

毎日スキャン:

毎日スキャン: 開始時間: :

毎週スキャン: 開始時間: :

日:

Step 2 of 5

5. ネットワーク共有内の全ファイルをスキャンするか、感染の可能性のあるファイルだけをクイックスキャンするかを選択します。「Exclude files or folders (除外するファイルまたはフォルダ)」を選択し、ウイルススキャンを実行しないファイル、フォルダ、またはファイル拡張子を指定します。同一行にスペース区切りで入力するか、行ごとに入力します。例：

/Public/testfile.txt

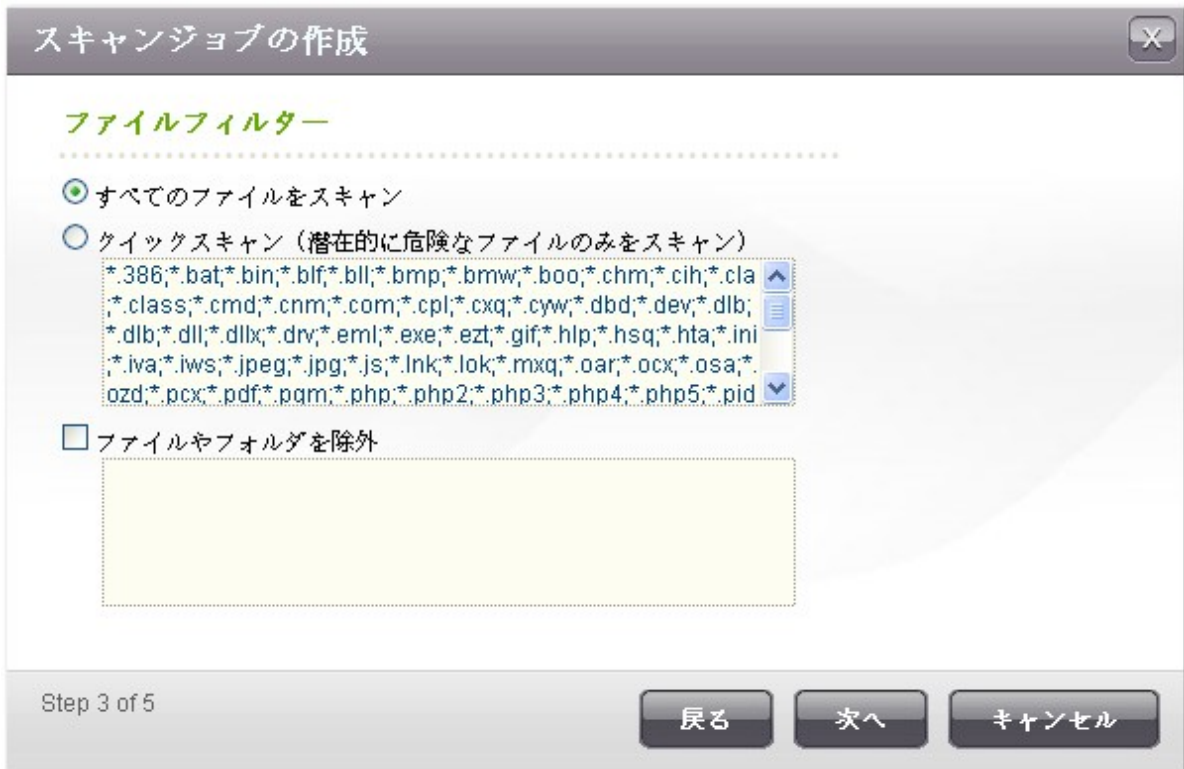
/Download

*.log

*.exe *.com

*.txt

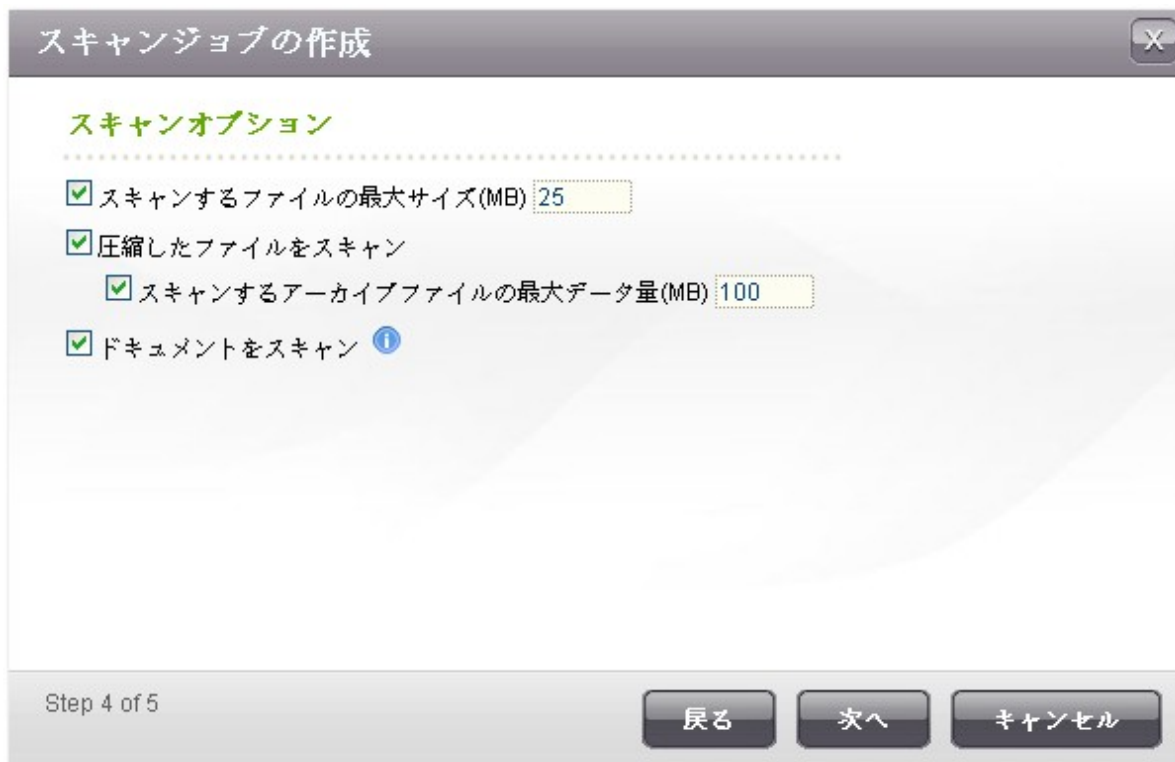
「Next (次へ)」をクリックします。



6. 他のスキャンオプションの有効化:

- スキャンを行う最大ファイルサイズ(1 ~ 4096 MB)を指定します。
- ネットワーク共有内の圧縮ファイルをスキャンするには、「Scan compressed files (圧縮したファイルをスキャン)」を有効にします。該当する場合は、圧縮ファイル大きさの最大値(1 ~ 4096 MB)を指定します。
- MS オフィスおよび Mac オフィスファイル、RTF、PDF、および HTML ファイルをスキャンするには、「Scan documents (ドキュメントをスキャン)」を選択します。

「Next (次へ)」をクリックします。



7. 感染したファイルを検出したときのアクションを指定します。

- ウイルスの報告のみ: 「Reports (レポート)」タブの下にウイルススキャンの結果が記録されます。感染ファイルに対して、アクションを実施しません。
- 感染したファイルを隔離場所に移動: 感染したファイルは隔離され、元のネットワーク共有からはアクセスできなくなります。「Reports (レポート)」タブの下にウイルススキャンの結果が表示され、ユーザーは「Quarantine (隔離)」タブの下に感染ファイルを削除/復元できます。
- 感染したファイルを自動的に削除: 感染したファイルは削除され、復元できなくなります。

感染ファイルの検出時、または、スキャン完了後に、Eメールを受信するには、「System Administration (システム管理)」> 「Notification (通知)」> 「Configure SMTP Server (SMTPサーバの設定)」で、SMTPサーバを設定します。「OK」をクリックして、スキャンジョブを作成します。

スキャンジョブの作成

感染したファイルが見つかった時にとるアクション

- ウイルスの報告のみ
- 感染したファイルを隔離場所に移動
- 感染したファイルを自動的に削除 **注意して使用**
- 感染したファイルが見つかった場合、アラートメールを送信します。
- スキャン終了後アラートメースを送信する

注: アラートメールを配信するには、まず、「System Administration(システム管理)」> 「Notification(通知)」で、SMTPサーバと受信者を設定する必要があります

Step 5 of 5

戻る OK

8. スキャンジョブは指定したスケジュールにより起動します。

アンチウイルス

ステータス スキャンジョブ レポート 隔離






スキャンジョブ

新しいスキャンジョブ

ジョブ名	最後のスキャン	持続期間	感染したファイル	アクション
01	2011/09/01 15:30:59	00:00:51	0	    



合計: 1 | ページあたり 10 エントリを表示します。

1 / 1

ボタン	説明
	スキャンジョブを今すぐ起動します。
	スキャンジョブを停止します。
	スキャンジョブの設定を編集します。
	最新のウイルススキャンのサマリをダウンロードします。ファイルは、WordPad などのテキストエディタで開くことができます。
	スキャンジョブを削除します。

レポート

NAS 上の最新のスキャンジョブのレポートを表示/ダウンロードします。

ボタン	説明
	ウイルススキャンのレポートをダウンロードします。ファイルは、WordPad などのテキストエディタで開くことができます。
	リスト上のエントリを削除します。
ダウンロード	リスト上の全ウイルススキャンのログを zip ファイルとしてダウンロードします。

レポートオプション

- ログを保存する日数(1 ~ 999)を指定します。
- 「Archive logs after expiration (有効期限切れにログをアーカイブします)」オプションを有効化し、保存日数に達したログを保存するネットワーク共有を指定します。「Apply (適用)」をクリックして、変更を保存します。

アンチウイルス

ステータス
スキャンジョブ
レポート
隔離

レポート

ジョブ名	最後のスキャン	持続期間	感染したファイル	アクション
01	2011/09/01 15:30:59	00:00:51	0	 

合計: 1 | ページあたり エントリを表示します。

⏪ ⏴ / 1 ⏵ ⏩

ログを保存する日数:




すべてのログをダウンロード ダウンロード

有効期限切れにログをアーカイブします。フォルダにアーカイブファイルを保存:

適用

隔離

このページには、NAS 上の隔離ファイルが表示されます。ユーザーは、手動で隔離ファイルを削除/復元し、または、除外リストにファイルを復元/追加できます。

ボタン/オプション	説明
	感染ファイルを削除します。ファイルは復元できません。
	感染ファイルを元のネットワーク共有に復元します。
	感染ファイルを復元し、除外リスト(スキャンフィルタ)に追加します。
選択したファイルを復元	リスト上の複数ファイルを復元します。
選択したファイルを削除	リスト上の複数ファイルを削除します。ファイルは復元できません。
すべてのファイルを削除	リスト上の全ファイルを削除します。ファイルは復元できません。

アンチウイルス

ステータス
スキャンジョブ
レポート
隔離

隔離

 選択したファイルを復元
 選択したファイルを削除
 すべてのファイルを削除

	ファイル名	パス	ウイルス名	ジョブ名	アクション
<input type="checkbox"/>	keyfinder.exe	/Public	Hacktool.Crack.XP	01	  

合計: 1 | ページあたり 10 エントリを表示します。



1 / 1
 


7.15 TFTPサーバー

NAS を TFTP (Trivial File Transfer Protocol : トリビアル ファイル トランスファー プロトコル)サーバーとして設定し、ネットワークデバイスの設定管理およびシステムイメージおよびシステムリカバリでのコンピュータのリモートネットワークブートを行います。TFTP は、FTP の非常に基本的な機能であるファイル転送プロトコルです。TFTP は、ユーザー認証を提供せず、標準 FTP クライアントにより接続できません。

次のステップに従い、この機能を利用します。

1. この機能を利用するには、「Enable TFTP Server (TFTPサーバーを有効にする)」を選択します。
2. ファイル転送用のデフォルト UDP ポートは 69 です。必要な場合のみ、ポート番号を変更します。
3. TFTP サーバーのルートディレクトリとして、NAS 上のフォルダを指定します。
4. Enable TFTP Logging (TFTPログを有効にする) : このオプションを有効にして、TFTP ログファイル(opentftpd.log)を保存するディレクトリを指定します。ログファイルを閲覧するには、Windows OS では、Microsoft Excel または、WordPad、Mac OS では、TextEdit の利用を推奨します。
5. クライアントに対し、読み込み専用またはフルアクセスを割り当てます。
6. IP アドレスの範囲を指定して、TFTP クライアントアクセスを制限するか、「Anywhere (どこでも)」を選択して、任意の TFTP クライアントアクセスを許可します。
7. 「Apply (適用)」をクリックして、設定を保存します。

TFTP Server

TFTP Server

Enable TFTP Server

UDP Port:

You need to specify a root directory for the TFTP server.

Root Directory:

Enable TFTP Logging

The log file(s) will be saved in the selected folder. If the size of a log file exceeds 1MB, the file will be archived automatically.

Save log files in:

Access Right:

Allow TFTP access from:

Anywhere

Certain IP range only

Start IP Address: . . .

End IP Address: . . .

7.16 VPN サービス

NAS は、仮想プライベートネットワーク(VPN)サービスをサポートしており、ユーザーは、インターネットからプライベートネットワーク上で NAS およびリソースにアクセスすることができます。次の指示に従って、NAS 上の VPN サービスの初期設定を行います。

1. 接続するネットワークインターフェースを選択します
2. PPTP サービスまたは OpenVPN サービスを有効にします
3. 自動ルーター設定により、ポートフォワーディングを設定します
4. MyCloudNAS サービスを登録します
5. VPN ユーザーを追加します
6. VPN クライアントにより、プライベートネットワークに接続します

1. 接続するネットワークインターフェースを選択します

NAS に「admin」としてログインし、「Applications (アプリケーション)」>「VPN Service (VPN サービス)」>「VPN Server Settings (VPN サーバー設定)」に移動します。「General Settings (一般設定)」の下で、NAS が所属するネットワークに接続するネットワークインターフェースを選択します。

VPN サービス

[VPN サーバー設定](#) [VPN クライアント管理](#) [接続リスト](#)

一般設定

ネットワークインターフェースを選択して、NAS が所属する目的のネットワークに接続します。ルーター上の VPN ポートを [自動ルーター設定](#) で転送し、接続用 MyCloudNAS 名で WAN IP アドレスを置き換えることができます。

ネットワークインターフェース:

MyCloudNAS 名:

2. PPTP サービスまたは OpenVPN サービスを有効にします

NAS は、VPN 接続に対して、PPTP および OpenVPN をサポートします。いずれかのオプションを選択し、設定を行います。

PPTP: ポイントツーポイントトンネルプロトコル(PPTP)は、VPN 接続の最も良く使用される方法の一つです。Windows、Mac、Linux、Android、および iPhone でネイティブにサポートされます。

注: PPTP-VPN接続でのデフォルトのNAS IPは10.0.0.1です。

OpenVPN: OpenVPN とは、セキュア接続に SSL 暗号化を使用するオープンソースの VPN ソリューションです。OpenVPN サーバーに接続するには、お使いの PC 上に OpenVPN クライアントをインストールする必要があります。「Download Configuration File(設定ファイルのダウンロード)」をクリックし、NAS から VPN クライアント設定、認証/キーおよびインストールガイドをダウンロードして、ファイルを OpenVPN クライアントにアップロードします。

注: OpenVPN 設定、MyCloudNAS 名またはセキュア証明書が変更される場合は必ず OpenVPN クライアントに設定ファイルをアップロードする必要があります。

PPTP 設定

PPTP サーバーを使い、ユーザーは LAN にリモートでアクセスすることができます。デフォルト設定を使用するか、手動で設定を指定します。詳しい情報は、次を確認してください: (http://www.qnap.com/pro_application.asp?ap_id=836)

PPTP VPN サーバーを有効にする

VPN クライアント IP プール -

[詳細設定](#)

オープン VPN 設定

OpenVPN クライアントソフトウェアがリモート PC 上で必要です。デフォルト VPN 設定を使用するか、手動で設定を指定します。詳しい情報は、次を確認してください: (<http://openvpn.net/>)

OpenVPN サーバーを有効にする

VPN クライアント IP プール -

[詳細設定](#)

[設定ファイルのダウンロード](#)

[適用](#)

3. 自動ルーター設定により、ポートフォワーディングを設定します

NAS は、UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイネットワークプロトコル)ルーターに対して、自動ポートフォワーディングをサポートしています。「MyCloudNAS Service(MyCloudNAS サービス)」>「Auto Router Configuration(自動ルーター設定)」に移動し、UPnP ポートフォワーディングを有効にして、ルーター上で PPTP サービスまたは OpenVPN サービス用のポートを開きます。

注:インターネット上で PPTP サーバーに接続するには、一部のルーターでは PPTP パススルーオプションを開く必要があります。PPTP は、ポート TCP-1723 のみを使用します。お使いのルーターが UPnP をサポートしていない場合、このポートを手動でフォワーディングする必要があります。

4. MyCloudNAS サービスを登録します

WAN IP または MyCloudNAS 名で NAS に接続することができます。MyCloudNAS サービスを有効にするには、「MyCloudNAS Service(MyCloudNAS サービス)」>「Configure MyCloudNAS(MyCloudNAS 設定)」に移動します。更に詳しい情報は、http://www.qnap.com/pro_application.asp?ap_id=637を参照してください

5. Add VPN Users (VPN ユーザーを追加します)

「Applications(アプリケーション)」>「VPN Service(VPN サービス)」>「VPN Client Management(VPN クライアント管理)」に移動し、「Add VPN Users (VPN ユーザーの追加)」をクリックします。ローカル NAS ユーザーが表示されます。VPN サービスの使用を許可するユーザーとその接続方法(PPTP、OpenVPN または両方)を選択します。「Add(追加)」をクリックします。

The screenshot shows the 'VPN サービス' (VPN Service) interface. It has three tabs: 'VPN サーバー設定', 'VPN クライアント管理' (selected), and '接続リスト'. A red box highlights the 'VPN ユーザーの追加' (Add VPN Users) button. Below the tabs is a table with columns for checkboxes, 'ユーザ名' (Username), 'ステータス' (Status), 'PPTP', and 'OpenVPN'. The table lists five users: admin, edwardd, Akon, tomcat, and Jason2, all with a status of '準備完了' (Ready). The 'PPTP' and 'OpenVPN' columns have checkboxes indicating which service is enabled for each user. At the bottom, there is a '削除' (Delete) button, a summary '合計: 5 | ページあたり 10 エントリを表示します。', and a '適用' (Apply) button.

<input type="checkbox"/>	ユーザ名	ステータス	PPTP	OpenVPN
<input type="checkbox"/>	admin	準備完了	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	edwardd	準備完了	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	準備完了	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	tomcat	準備完了	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Jason2	準備完了	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ユーザーおよび権限の選択

ユーザの作成

合計: 9

1 / 1

ユーザ名	PPTP	OpenVPN
avahi-autoipd	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
openldap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
KennyG	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
bbb	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
jason	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
rr	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
icecast	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

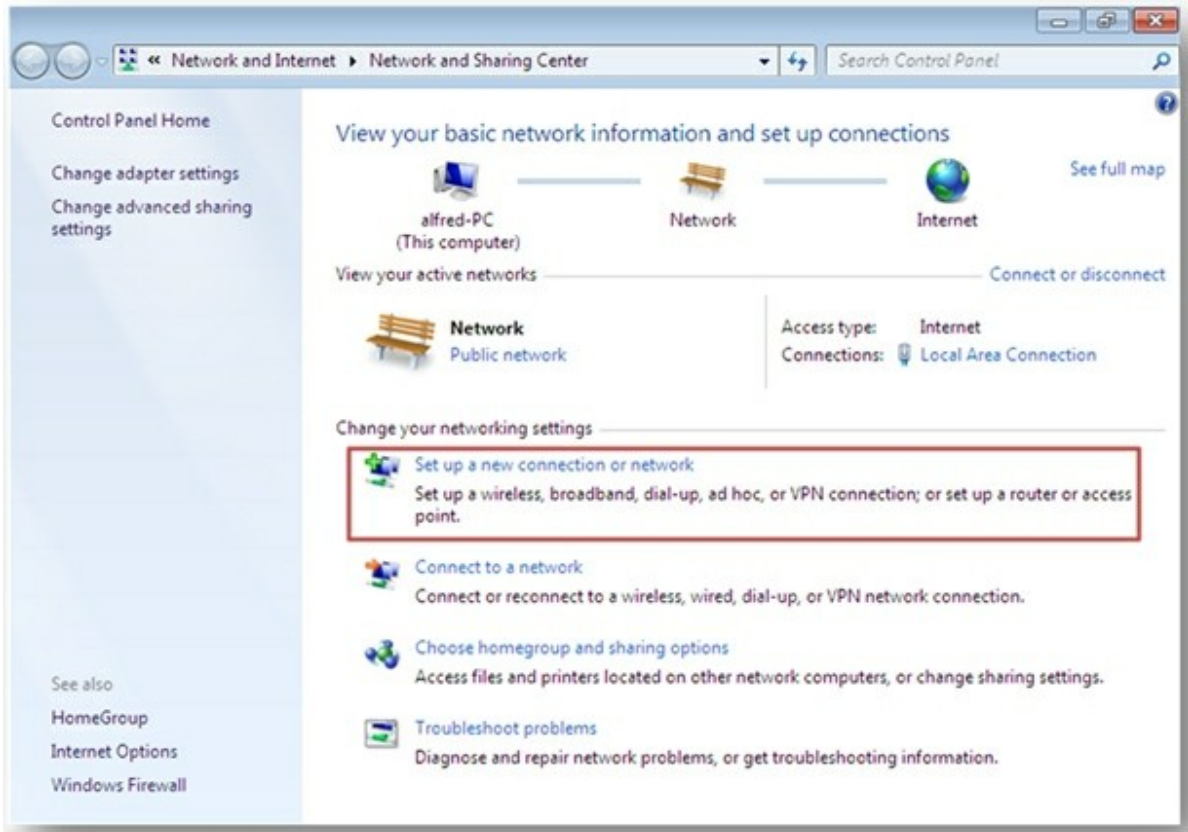
ステップ 1 / 1

追加 キャンセル

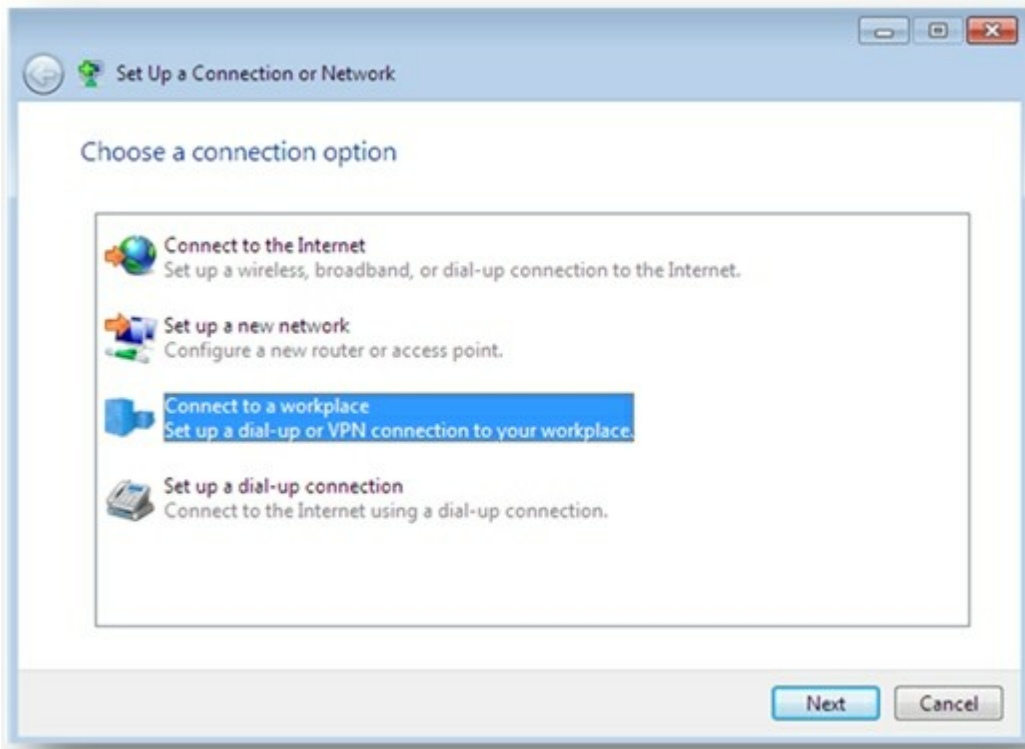
6. VPN クライアントにより、プライベートネットワークに接続します
VPN クライアントを使用して、VPN サービスを介して NAS に接続できるようになりました。

Windows 7 上の PPTP

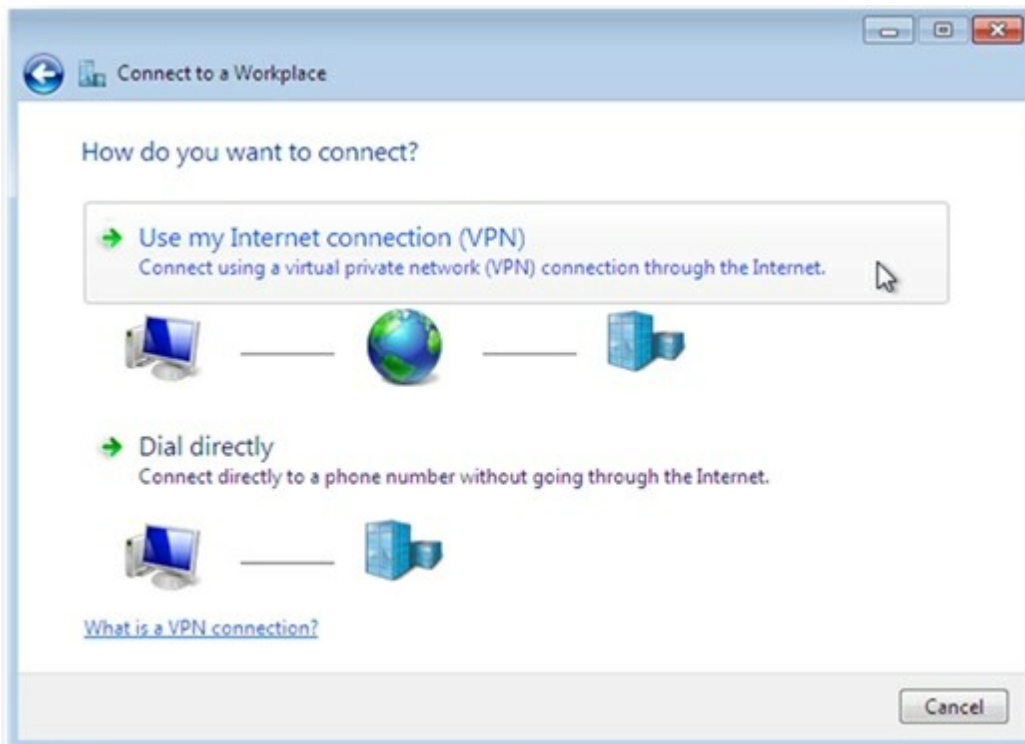
1. 「Control Panel(コントロールパネル)」>「Network and Sharing Center(ネットワークおよび共有センター)」に移動します。
「Set up a new connection or network(新規接続またはネットワークの設定)」を選択します。



2. 「Connect to a workplace(ワークプレイスに接続する)」を選択し、「Next (次へ)」をクリックします。



3. 「Use my Internet connection (VPN)(マイインターネット接続(VPN)の使用)」を選択します。



4. MyCloudNAS 名または NAS の WAN IP を入力し、接続名を入力します。その後、「NEXT (次へ)」をクリックします。

Connect to a Workplace

Type the Internet address to connect to

Your network administrator can give you this address.

Internet address: [Example:Contoso.com or 157.54.0.1 or 3ffe:1234::1111]

Destination name: VPN Connection

Use a smart card

Allow other people to use this connection
This option allows anyone with access to this computer to use this connection.

Don't connect now; just set it up so I can connect later

Next Cancel

5. VPN アクセス用に NAS から追加されたユーザー名とパスワードを入力します。「Connect (接続)」をクリックします。

Connect to a Workplace

Type your user name and password

User name: []

Password: []

Show characters

Remember this password

Domain (optional): []

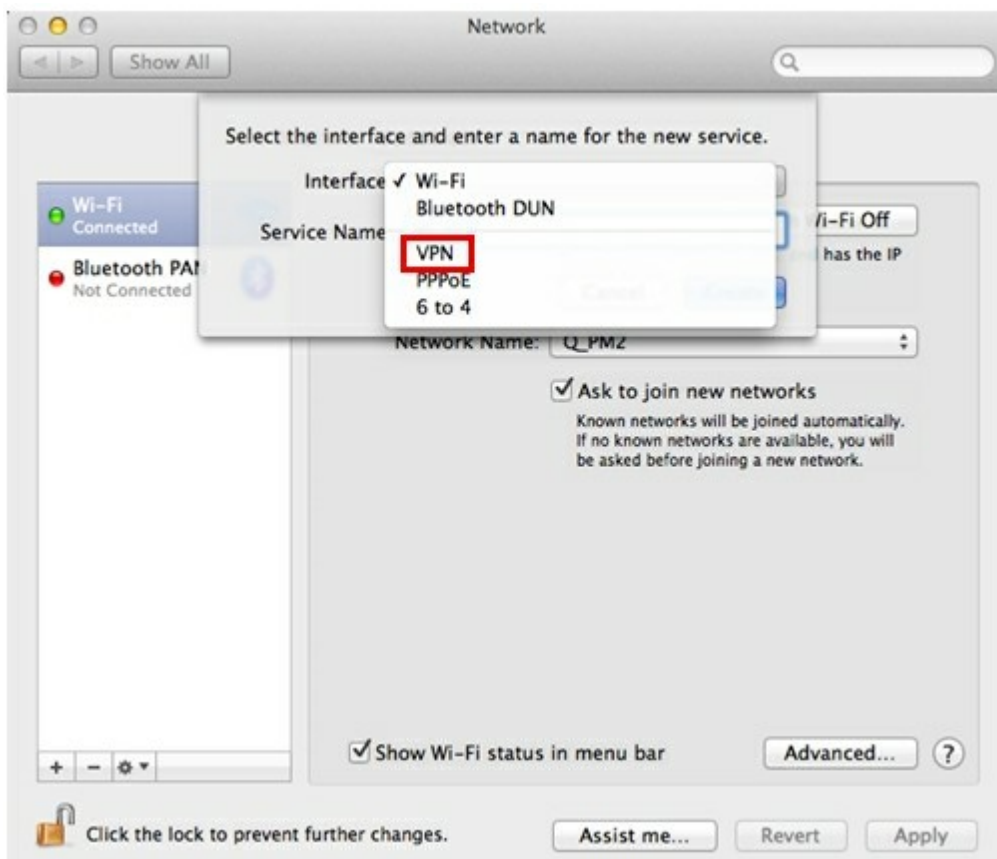
Connect Cancel

Mac OS X 10.7 上の PPTP

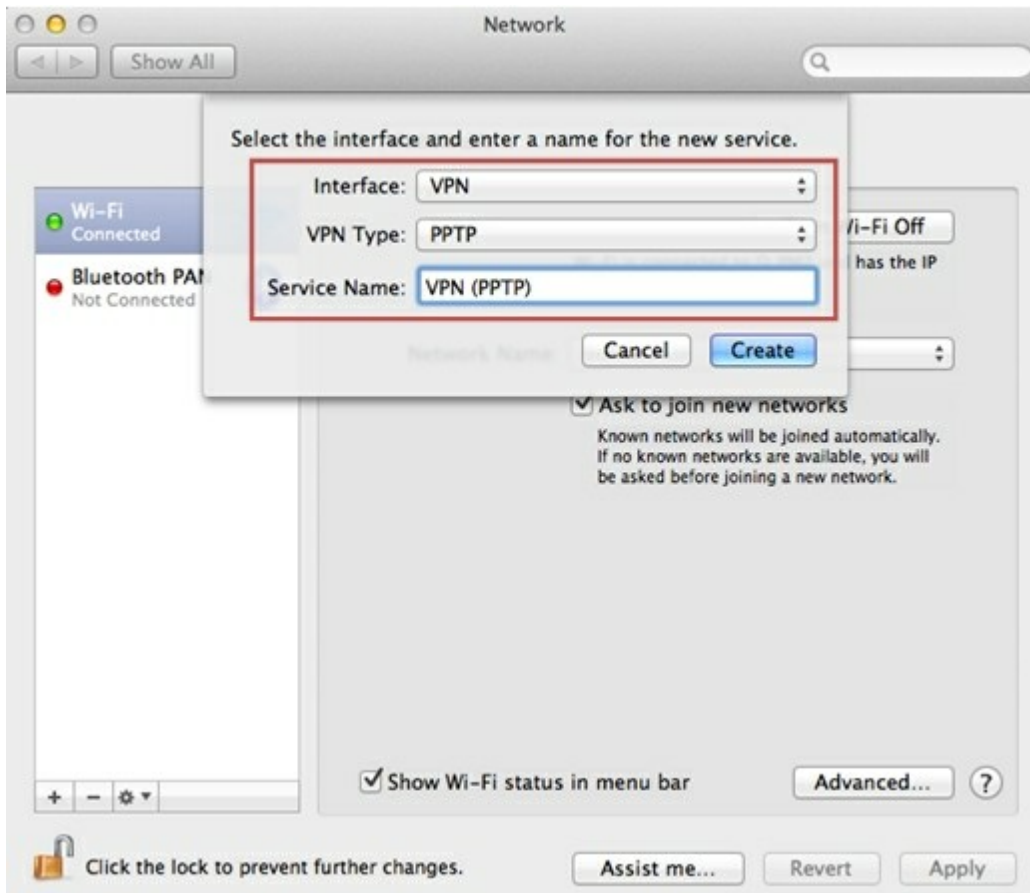
1. 「Apple menu(Apple メニュー)」>「System Preferences(システム設定)」に移動し、「Network(ネットワーク)」をクリックします。



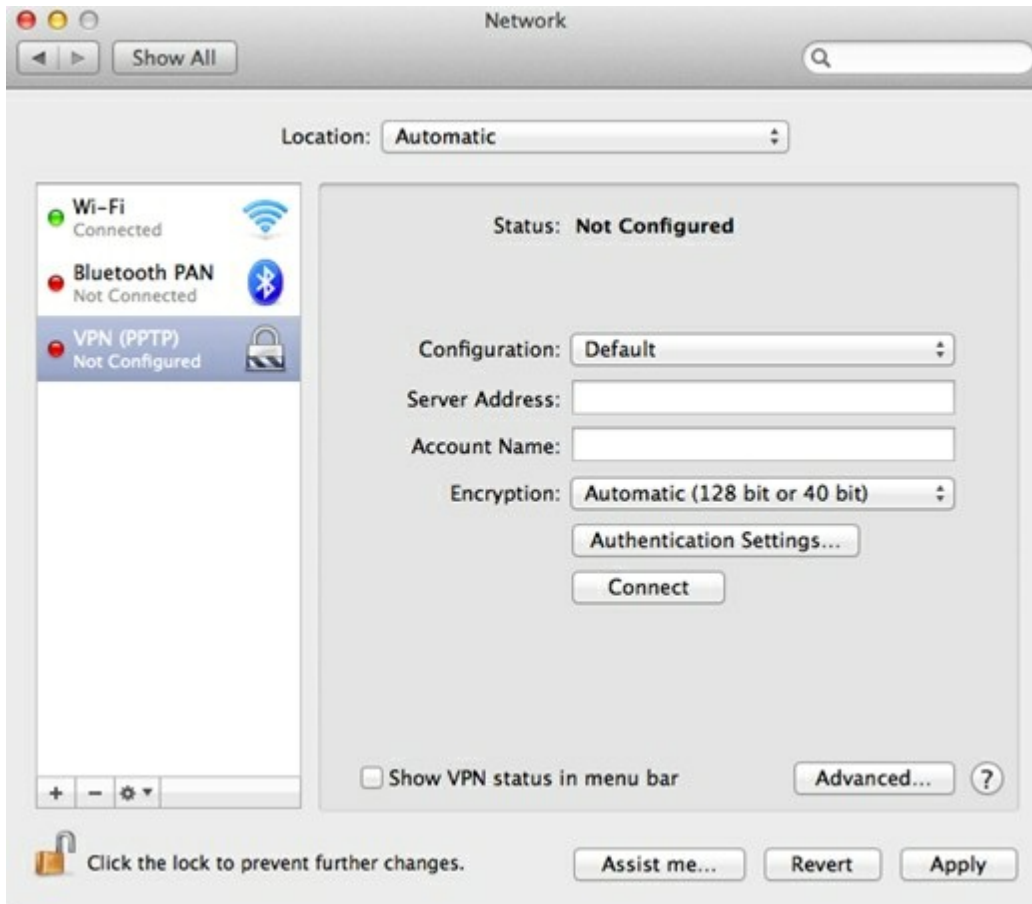
2. リストの下の「Add (+)(追加(+))」をクリックし、インターフェースとして「VPN」を選択します。



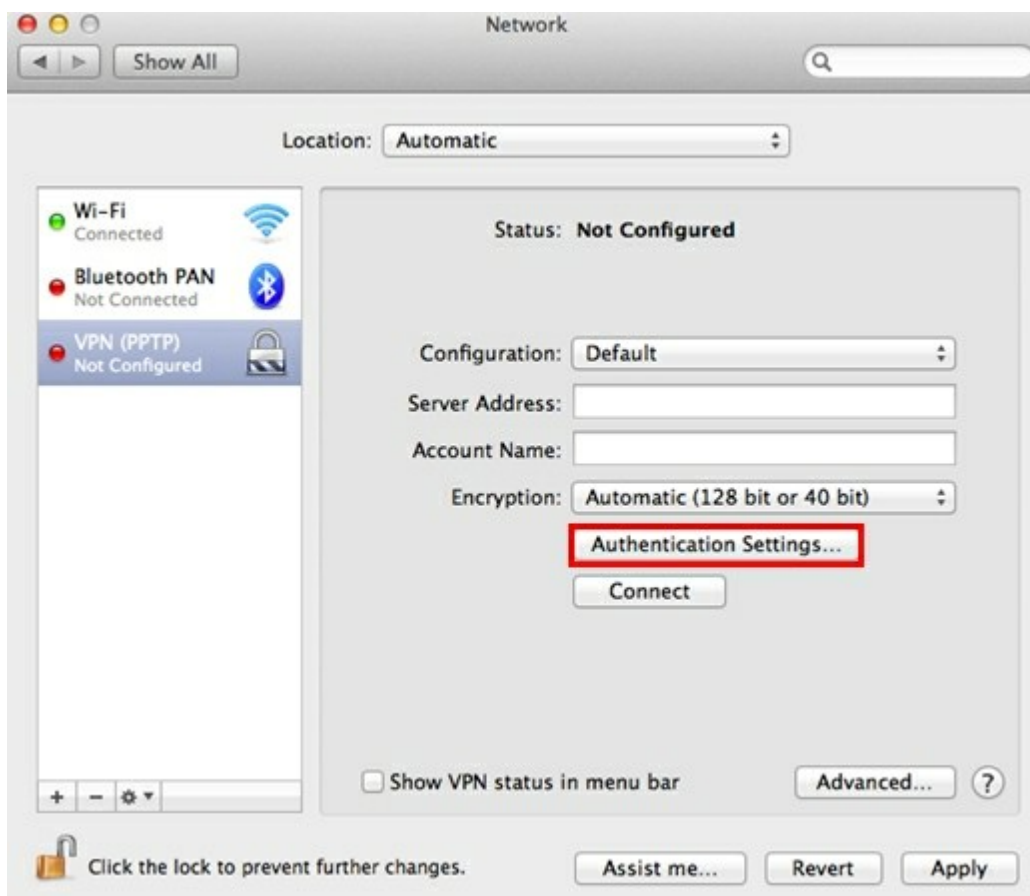
3. 接続する NAS の設定により VPN タイプを選択します。サービス名を入力します。



4. 「Server Address (サーバーアドレス)」で、MyCloudNAS 名または NAS の WAN IP を入力します。「Account Name (アカウント名)」で、NAS から追加されたユーザー名を入力します。



5. 「Authentication Settings (認証設定)」をクリックし、ネットワーク管理者から与えられたユーザー認証情報を入力します。



6. ユーザー認証情報を入力後、「OK」をクリックし、その後「Connect (接続)」をクリックします。

iOS 5 上の PPTP

1. 「Settings (設定)」>「General (一般)」>「Network (ネットワーク)」> を選択し、「VPN」をクリックします。



2. 「Add VPN Configuration (VPN 設定の追加)」をクリックします。



3. 「PPTP」をクリックし、Description (説明)、Server (サーバー)、接続用の Account (アカウント) および Password (パスワード) を入力します。



4. 「Settings (設定)」>「General (一般)」>「Network (ネットワーク)」>「VPN」に戻り、「VPN」を有効にします。



Windows 上の OpenVPN

1. <http://openvpn.net/index.php/open-source/downloads.html> から OpenVPN をダウンロードします
2. Windows 上に OpenVPN クライアントをインストールします。デフォルトインストールディレクトリは、C:\Program Files\OpenVPN です。
3. 管理者として OpenVPN GUI を起動します。
4. NAS から OpenVPN 設定ファイルと証明書をダウンロードします(「Applications (アプリケーション)」>「VPN Service (VPN サービス)」>「VPN Server Settings (VPN サーバー設定)」>「OpenVPN Settings (OpenVPN 設定)」)。
5. openvpn.ovpn ファイルを編集し、「OPENVPN_SERVER_IP」を OpenVPN サーバー IP で置き換えます。
6. 「ca.crt」および「openvpn.ovpn」を OpenVPN 設定サブディレクトリの下の設定フォルダ (C:\Program Files\OpenVPN\config) に配置します。

注: Windows 7 上で OpenVPN クライアントを起動する場合は、OpenVPN の詳細設定内でファイアウォールルールを追加します。

Linux 上の OpenVPN

1. <http://openvpn.net/index.php/open-source/downloads.html> から OpenVPN をダウンロードします
2. Linux 上に OpenVPN クライアントをインストールします。
3. NAS から OpenVPN 設定ファイルと証明書をダウンロードします(「Applications(アプリケーション)」>「VPN Service(VPN サービス)」>「VPN Server Settings(VPN サーバー設定)」>「OpenVPN Settings(OpenVPN 設定)」)。
4. `openvpn.ovpn` ファイルを編集し、「`OPENVPN_SERVER_IP`」を OpenVPN サーバー IP で置き換えます。
5. 「`ca.crt`」および「`openvpn.ovpn`」を OpenVPN 設定サブディレクトリの下の設定フォルダに配置します。
6. OpenVPN を起動します。

Mac 上の OpenVPN

1. <http://code.google.com/p/tunnelblick/> から OpenVPN クライアントのディスクイメージをダウンロードします
2. Tunnelblick を起動します。
3. NAS から OpenVPN 設定ファイルと証明書をダウンロードします(「Applications (アプリケーション)」>「VPN Service (VPN サービス)」>「VPN Server Settings (VPN サーバー設定)」>「OpenVPN Settings (OpenVPN 設定)」)。
4. openvpn.ovpn ファイルを編集し、「OPENVPN_SERVER_IP(alfred.myqnapnas.com)」を OpenVPN サーバー IP で置き換えます。
5. 「ca.crt」および「openvpn.ovpn」を OpenVPN 設定サブディレクトリの下の設定フォルダに配置します。
6. OpenVPN を起動します。

7.17 LDAP サーバー

NAS の LDAP サーバーを使用することで、管理者は、同一ユーザー名とパスワードで複数 NAS サーバーにアクセスできるユーザーを作成することができます。以下の指示に従って、LDAP サーバーを設定します。

LDAP サーバーを有効にする

NAS に「admin」としてログインします。「Applications (アプリケーション)」>「LDAP Server(LDAP サーバー)」に移動し、LDAP サーバーを有効にします。フル LDAP ドメイン名と LDAP サーバーに対するパスワードを入力し、「Apply (適用)」をクリックします。

LDAP サーバー

LDAP サーバー ユーザ グループ バックアップ/リストア

LDAP サーバー

LDAP サーバーの有効化

フルドメイン名:

パスワード:

パスワードの再入力:

ルートDN:

ユーザーベースDN:

グループベースDN:

LDAP データベースの初期化: (LDAP サーバーから全ユーザーおよびグループを削除する)

この NAS を LDAP サービスのクライアントにする: [ドメインのセキュリティ](#)

LDAP ユーザーの作成

「Users(ユーザー)」タブの下で、「Create a User(ユーザーの作成)」、「Create Multiple Users(複数ユーザーの作成)」または「Batch Import Users(ユーザーの一括インポート)」をクリックします。ウィザードの指示に従って、LDAP ユーザーを作成します。



LDAP ユーザーを作成すると、NAS をドメインに参加させることができます。LDAP ユーザーの権限を設定し、NAS により認証することができます。

NAS の LDAP ドメインへの参加

LDAP ユーザーの NAS への接続を許可するには、NAS を LDAP ドメインに参加させます。「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Domain Security (ドメインセキュリティ)」に移動します。「LDAP authentication (LDAP 認証)」を選択し、サーバータイプとして、「LDAP server of local NAS (ローカル NAS の LDAP サーバー)」を選びます。その後、「Apply (適用)」をクリックします。

ドメインのセキュリティ

ファイルサービス用のドメインセキュリティ

ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)

Active Directory認証(ドメインメンバー)

LDAP認証

LDAP サーバーのタイプの選択: ローカル NAS の LDAP サーバー ▼

適用して、この NAS が LDAP サーバーのユーザーとグループを使用できるように設定します。

適用

NAS は、LDAP サーバーのクライアントになりました。ドメインユーザーまたはグループを表示するには、「Access Right Management (アクセス権管理)」>「Users (ユーザー)」または「User Groups (ユーザーグループ)」に移動し、「Domain Users (ドメインユーザー)」あるいは「Domain Groups (ドメイングループ)」を選択します。また、ドメインユーザーあるいはグループにフォルダ権限を設定することもできます。

セカンダリ NAS の LDAP ドメインへの参加

複数 NAS サーバーを同一 LDAP ドメインに参加させ、LDAP ユーザーに同一ログイン情報を使用して NAS サーバーへの接続を許可することができます。

別な NAS を LDAP ドメインに参加させるには、「Access Right Management (アクセス権管理)」 > 「Domain Security (ドメインセキュリティ)」に移動します。「LDAP authentication (LDAP 認証)」を選択し、サーバータイプとして、「LDAP server of a remote NAS (リモート NAS の LDAP サーバー)」を選びます。

リモート NAS の DNS 名または IP アドレスを、事前に作成した LDAP ドメイン名を入力し、LDAP サーバーのパスワードを入力します。「Apply (適用)」をクリックします。

ドメインのセキュリティ

ファイルサービス用のドメインセキュリティ

ドメインセキュリティなし(ローカルユーザーのみ)

Active Directory認証(ドメインメンバー)

LDAP認証

LDAP サーバーのタイプの選択:

ステータス: オフライン

IP アドレスまたは NAS 名:

LDAP ドメイン:

例: mydomain.local

パスワード:

LDAP データベースのバックアップ/リストア

NAS 上の LDAP データベースをバックアップするには、「Back up Database (データベースのバックアップ)」を選択し、バックアップ周期、NAS 上の宛先フォルダおよびその他のオプションを指定します。LDAP データベースをリストアするには、*.exp ファイルを参照し、選択して「Import (インポート)」を選びます。「Apply (適用)」をクリックして、設定を適用します。

LDAP サーバー **ユーザ** **グループ** **バックアップ/リストア**

LDAP データベースのバックアップ

データベースのバックアップ

1. バックアップ周期 毎日

2. 開始時間: 0 :00

3. 宛先フォルダ: /Public

4. バックアップオプション

既存バックアップファイル (LDAP_Backup.exp) を上書きする

各バックアップに新規ファイルを作成し、ファイル名に日時を追加する (LDAP_backup_yyyy_mm_dd.exp)

5. 適用

LDAP データベースのリストア

バックアップファイルをインポートして、全 LDAP 設定とコンテンツをリストアすることができます。
インポートするバックアップファイルの選択:

8. バックアップ

リモートレプリケーション [526](#)

クラウドバックアップ [552](#)

Time Machine [562](#)

外部ドライブ [566](#)

USBワンタッチコピー [582](#)

8.1 リモートレプリケーション

再同期レプリケーション

再同期リモートレプリケーションにより、リモートNASまたは再同期サーバーに対してNASデータを複製できます。バックアップ先がNASの場合、まず「アプリケーション」>「バックアップサーバー」>「再同期サーバー」に移動し、再同期バックアップサーバーとしてリモートNASを有効にします。

- レプリケーションジョブを作成するには、「新規レプリケーションジョブの作成」をクリックします。

ホーム >> ネットワーク サービス >> ネットワークサービスディスカバリ

ようこそ admin | ログアウト

日本語

リモートレプリケーション

RSYNC RTRR

現在のジョブ

再同期レプリケーションにより、ローカルフォルダのファイルをリモートサーバーのフォルダに複製できます。この機能を使用するには、リモートサーバーで%sサーバーを有効にする必要があります。Rsyncサーバーを有効にする必要があります。

オプション


新規レプリケーションジョブの作成

ジョブ名	スケジュール	ステータス	アクション
			削除

2. リモートサーバーのサーバータイプ、NASまたは再同期サーバーを指定します。ジョブ名を入力します。「NEXT(次へ)」をクリックします。



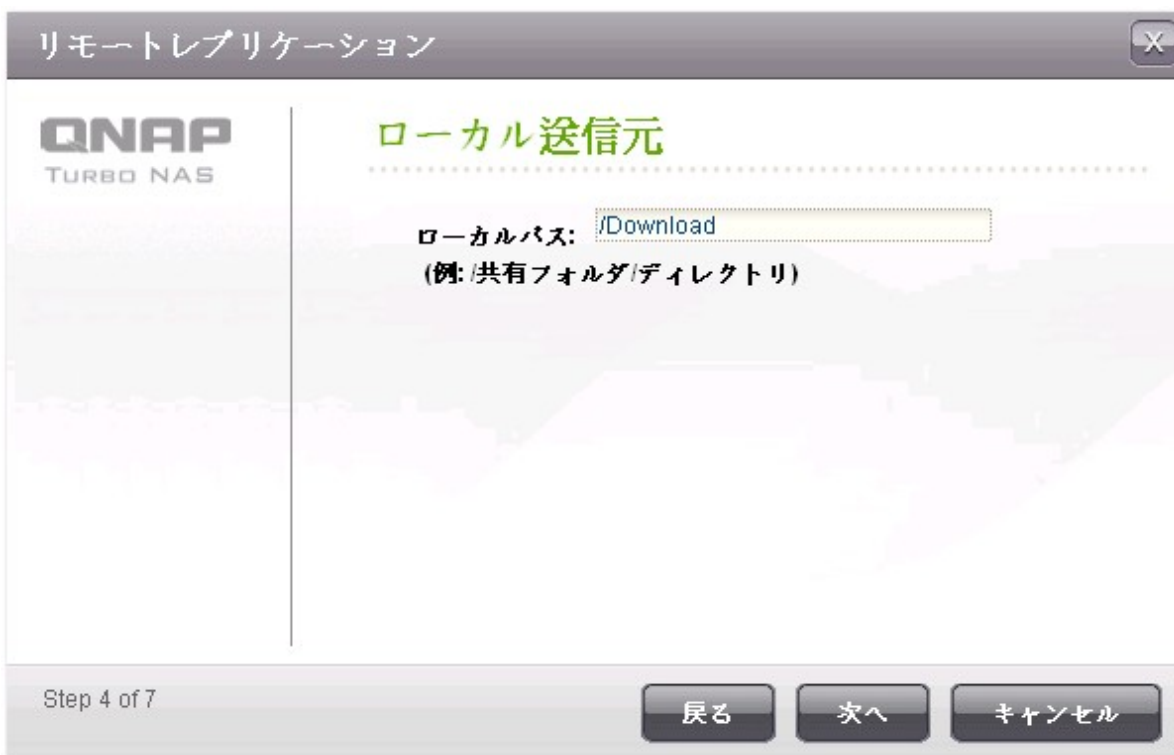
3. IPアドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力してリモートサーバーにログインします。デフォルトのポート番号は873です。ログインユーザー名はリモートサーバーに対して読み込み/書き込みアクセス権、およびサーバー上での十分な割り当て制限を持つ必要があります。「TEST(テスト)」をクリックして接続を確認します。「NEXT(次へ)」をクリックします。



4. データを複製する、宛先フォルダを指定します。



5. データの複製元となる、ローカルフォルダを指定します。

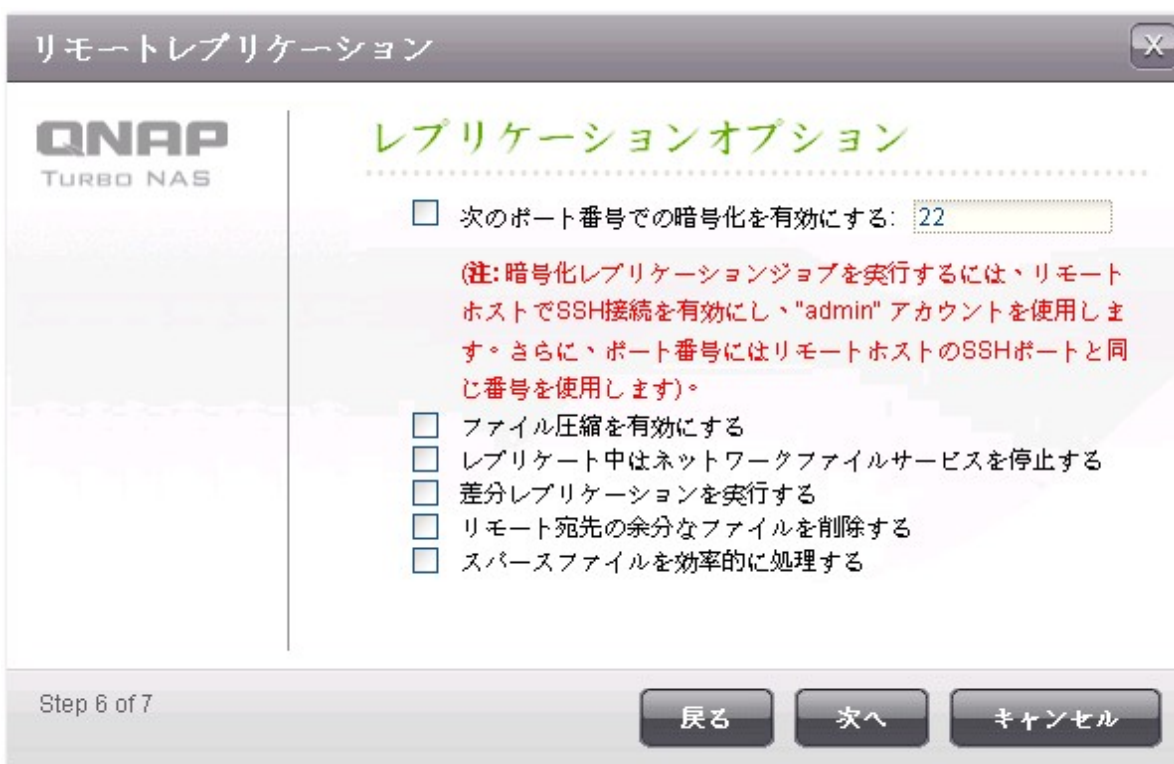


6. 直ちにデータを複製するように選択するか、バックアップスケジュールを指定します。

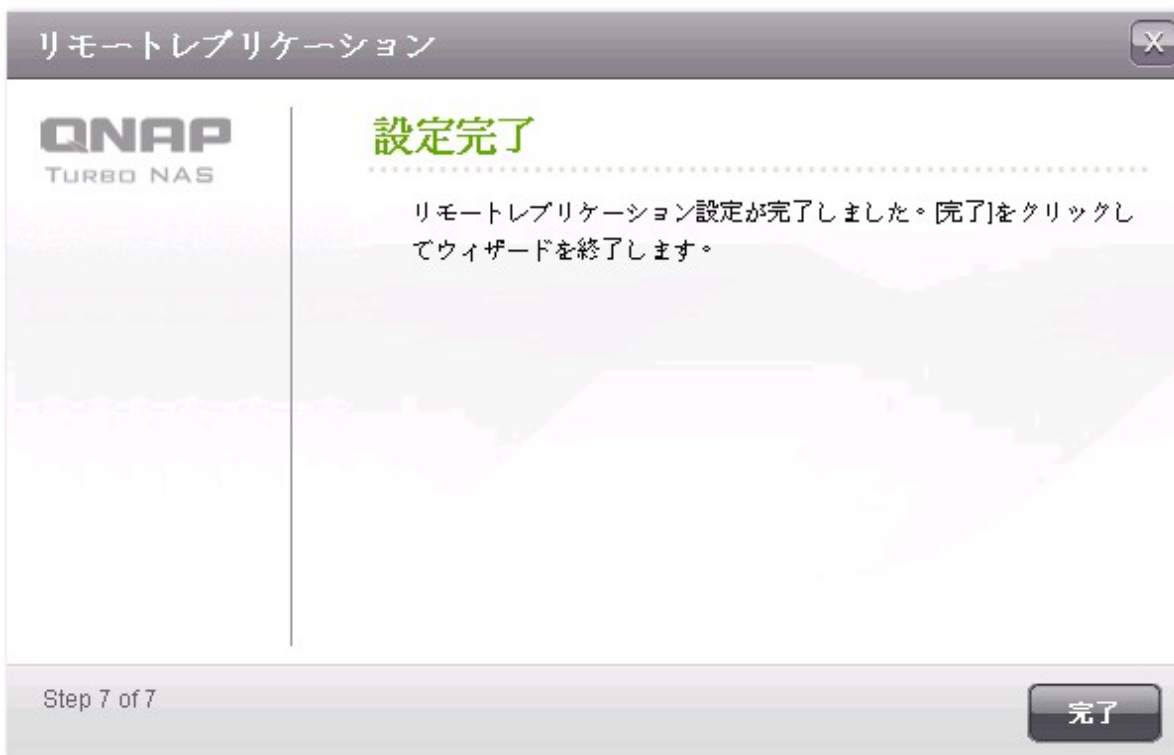
The screenshot shows a web-based configuration window titled "リモートレプリケーション" (Remote Replication) with a close button in the top right corner. The QNAP Turbo NAS logo is in the top left. The main heading is "レプリケーションスケジュール" (Replication Schedule). Under "スケジュールの選択:" (Schedule Selection), there are four radio button options: "今すぐレプリケート" (Replicate now), "毎日" (Daily), "毎週" (Weekly), and "毎月" (Monthly), which is currently selected. To the right of these options are three dropdown menus for specifying the schedule: "月曜日" (Monday), "01", and "00:00". At the bottom left, it says "Step 5 of 7". At the bottom right, there are three buttons: "戻る" (Back), "次へ" (Next), and "キャンセル" (Cancel).







7. リモートレプリケーションジョブに対して、他のオプションを指定します。

- 暗号の有効化：このオプションを選択して、暗号化されたリモートレプリケーションを実行します。「ネットワークサービス」>「テルネット/SSH」で「SSH接続を許可する」をオンにし、SSHと暗号化されたリモートレプリケーションに対して同じポート番号を指定する必要があります。
- ファイル圧縮のアクティブ化：データ転送プロセスの間圧縮を可能にするには、このオプションをオンにします。低バンド幅環境またはWAN上でのリモートレプリケーションに対して、このオプションを推奨します。
- 複製中は、ネットワークファイルサービスを停止してください。リモートレプリケーションの進行中は、Samba (SMB)、AFP、およびFTP経由でのNASへの接続をすべて停止してください。
- 増分レプリケーションの実施：このオプションがオンになっているとき、最初のレプリケーション後、NASは最後のバックアップ以後に変更されたファイルのみをバックアップします。同じ名前、サイズ、変更された時間のファイルは再びコピーされません。バックアップ時間を短縮するために、何回も実行されるレプリケーションジョブに対してこのオプションをオンにするようにお勧めします。
- リモート宛先の余分なファイルを削除します。ソースデータを宛先データと同期するオプションを選択します(一方向の同期化)。宛先の余分なファイルは削除されます。ソースデータは変更されません。
- スパースファイルの効率的な処理：スパースファイルは、ゼロタイプのデータの大きなブロックを含む一種のコンピュータファイルです。このオプションをオンにすると、リモートレプリケーションに必要な時間が短縮されます。



8. 「FINISH(終了)」をクリックします。ジョブは、スケジュールに従って実行されます。ジョブは繰り返し用いられます。リモートレプリケーションの実行中は、ローカルNASとリモートサーバーをオフにしないでください。



アイコン	説明
	直ちに、レプリケーションジョブを開始します。
	実行中のレプリケーションジョブを停止します。
	再同期ログを表示します(レプリケーション結果)。
	レプリケーションジョブを編集します。
	レプリケーションスケジュールを無効にします。
	レプリケーションスケジュールを有効にします。

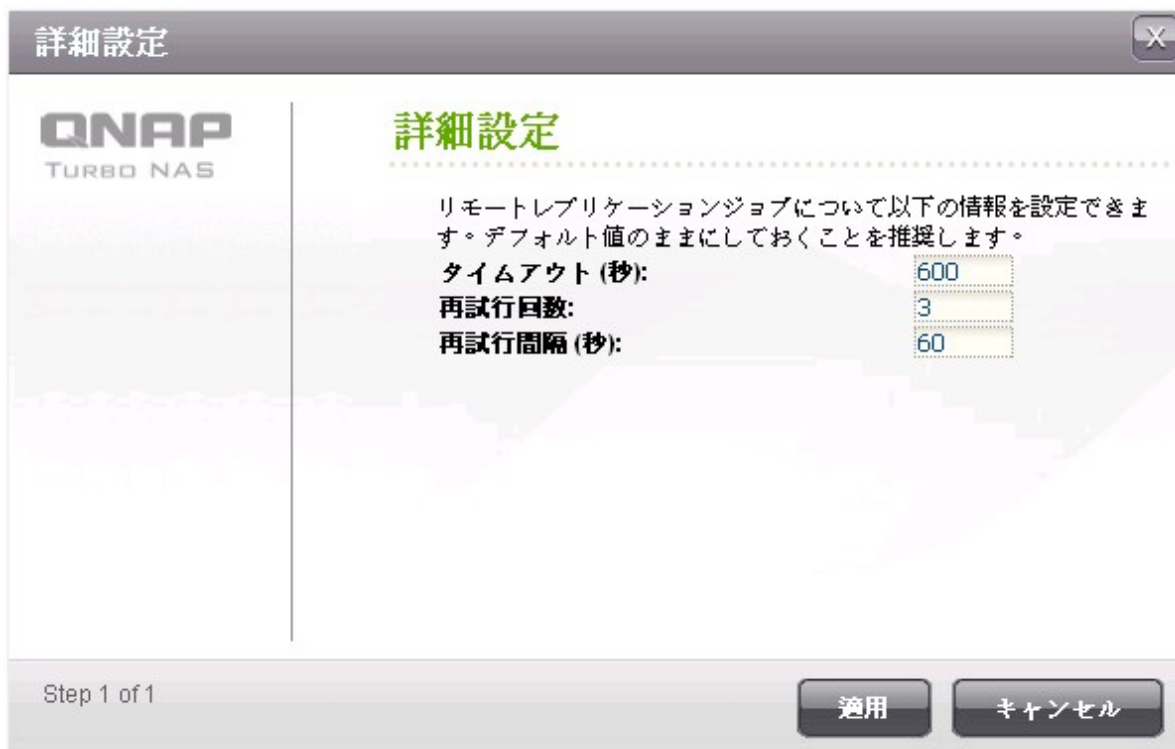
レプリケーションジョブのタイムアウトと再試行設定を設定するには、「Options (オプション)」をクリックします。



The screenshot shows a web interface for backup management. At the top, there are two buttons: 'オプション' (Options) and '新規レプリケーションジョブの作成' (Create New Replication Job). Below these is a table with columns: 'ジョブ名' (Job Name), 'スケジュール' (Schedule), 'ステータス' (Status), and 'アクション' (Action). The table contains one entry: 'backup' with a schedule of '00:00 - 毎月: 1' and a status of '準備完了' (Ready). The 'アクション' column for this entry contains several icons, including the play icon. Below the table is a '削除' (Delete) button.

- タイムアウト(秒)：レプリケーションジョブごとのタイムアウト値を指定します。これは、データが届かない場合、レプリケーションジョブがキャンセルされるまで待つ最大の秒数です。
- 再試行回数：NASがレプリケーションジョブが失敗した場合、再試行する回数を指定します。
- 再試行間隔(秒)：各試行間に待つ秒数を指定します。

例えば、タイムアウトに対して600秒、3回の再試行、再試行間隔に対して60秒を入力した場合、データを受け取らなければレプリケーションジョブは600秒でタイムアウトになります。NASは60秒待ち、2度目のジョブを試みます。ジョブが再びタイムアウトになると、NASはさらに60秒間待ち、ジョブの実行をさらに試みます。



The screenshot shows a dialog box titled '詳細設定' (Detailed Settings) for QNAP Turbo NAS. The dialog contains the following text: 'リモートレプリケーションジョブについて以下の情報を設定できます。デフォルト値のままにしておくことを推奨します。' (You can set the following information for remote replication jobs. It is recommended to leave the default values as they are.) Below this, there are three input fields: 'タイムアウト(秒):' (Timeout (seconds)) with a value of 600, '再試行回数:' (Retries) with a value of 3, and '再試行間隔(秒):' (Retry interval (seconds)) with a value of 60. At the bottom of the dialog, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel). The dialog also shows 'Step 1 of 1' in the bottom left corner.

リモートアプリケーション(rsync)によりディスクボリュームにすべての共有をバックアップするには、どうすればいいのですか？

リモートアプリケーション(rsync)でディスクボリュームにすべての共有をバックアップするには、ルートディレクトリとして(例えば、root)同じボリュームにすべてのフォルダを含むネットワーク共有を作成し、「/」にパスを指定します。次に、リモートアプリケーションジョブを作成してこの共有(root)をコピーします。すべてのフォルダとサブフォルダが複製されます。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "共有フォルダプロパティ" (Shared Folder Properties). The main title is "共有フォルダプロパティ" in green. The dialog contains the following fields and options:

- ネットワーク共有名: root
- ディスクボリューム: RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3
- ネットワークドライブの非表示: はい いいえ
- ファイルのロック (oplocks): はい いいえ
- パス: / (highlighted with a red rectangle)
- コメント (任意):
- FTP接続に書き込み専用アクセスを有効にする

At the bottom, it says "Step 1 of 1" and has two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel).

RTRRレプリケーション

リアルタイムリモートレプリケーション(RTRR)は、ローカルNASとリモートNAS、FTPサーバー、または外部ドライブ間でリアルタイムのまたはスケジュールされたデータレプリケーションを、または2つのローカル共有フォルダ間のレプリケーションを提供します。リアルタイムモードでは、ソースフォルダがモニタされ、新規の、変更された、名前を変更されたファイルが直ちにターゲットフォルダに複製されます。スケジュールモードでは、事前定義されたスケジュールに従ってソースフォルダがターゲットフォルダに複製されます。

バックアップ宛先がNASの場合、まずリモートNASでRTRRサーバー(「アプリケーション」>「バックアップサーバー」>「RTRRサーバー」)またはFTPサービス(「ネットワークサービス」>「FTPサービス」)を有効にする必要があります。

NASモデル	ファームウェア	サポートされるレプリケーションジョブの最大数
IntelベースのNAS	v3.5.0以前	64*
	v3.5.0以降	32*
ARMベース(非Intelベース)NAS	v3.5.0以前	RTRRレプリケーションはサポートされていません。
	v3.5.0以降	8*

*各ジョブは、最大5つのホルダペアをサポートします。

NASモデルが以下に一覧されていない場合、<http://www.qnap.com>にアクセスして詳細をご確認ください。

IntelベースのNAS	TS-x39シリーズ、TS-x59シリーズ、TS-x69シリーズ、TS-509、TS-809、TS-809 Pro TS-809U-RP SS-439 Pro SS-839 Pro TS-x59 Pro+ TS-879 Pro TS-1079 Pro TS-879U-RP TS-EC879U-RP TS-1279U-RP TS-EC1279U-RP
ARMベース(非Intelベース)NAS	TS-109、TS-209、TS-409、TS-409U、TS-x10、TS-x12、TS-x19シリーズ

以下のステップに従ってレプリケーションジョブを作成します。

1. リアルタイムまたはスケジュールされたリモートレプリケーションを作成するには、「新規レプリケーションジョブの作成」をクリックします。

リモートレプリケーション

RSYNC RTRR

現在のジョブ

RTRR (リアルタイムリモートレプリケーション)により、2つのサーバー場所(FTPサーバーを含む)間のリアルタイムでの、または指定したスケジュールに従った一方方向データレプリケーションが可能になります。この機能を使用するには、リモートサーバーで%sまたは%sサーバーを有効にする必要があります。RTRRまたはFTPサーバーを有効にする必要があります。

ターゲットホスト/ジョブ名	ステータス	アクション

オプション 新規レプリケーションジョブの作成

2. ウィザードが表示されたら、「NEXT(次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

同期化ジョブウィザード

このウィザードにより、次のステップを通して同期ジョブを作成できます。

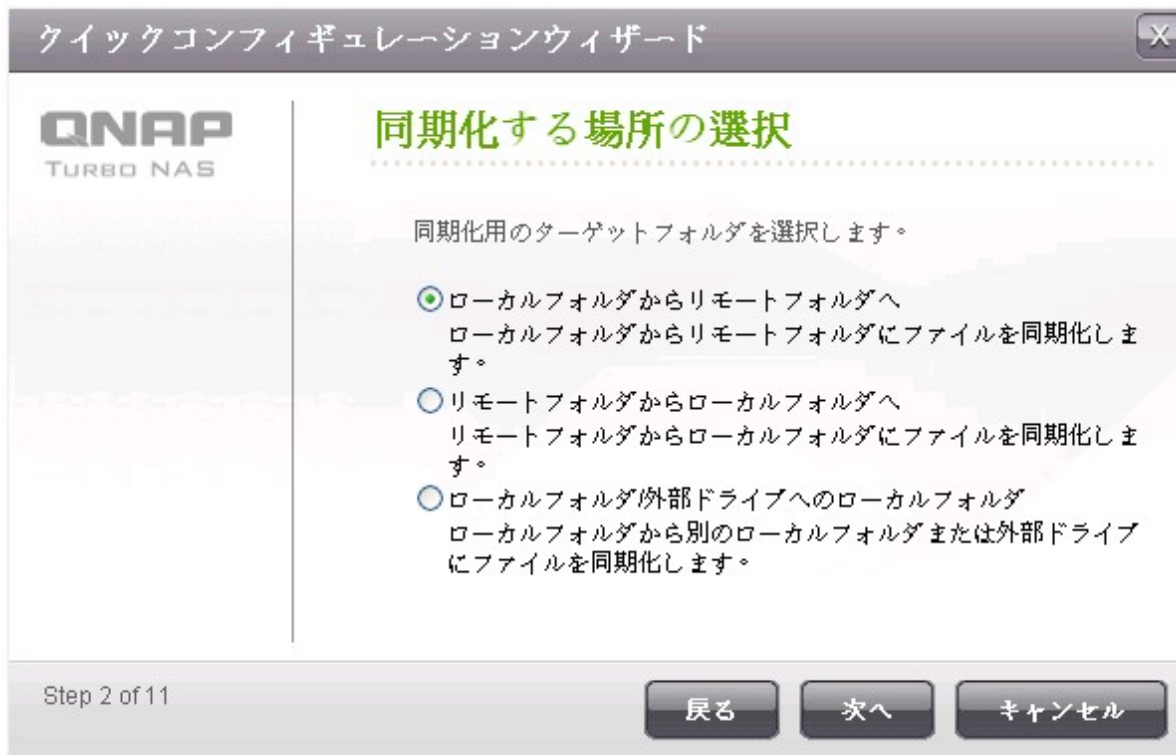
1. リモートホストに接続します。
2. 同期化フォルダのフォルダペアを作成します。
3. リアルタイムの、またはスケジュールされた同期化オプションを設定します。

「次へ」をクリックして起動します。

Step 1 of 11

次へ キャンセル

3. 同期場所を選択します。宛先デバイスがフォーマットされ、共有フォルダが作成されていることを確認してください。NASは、以下をサポートします。
- ローカルフォルダからリモートフォルダ (NASまたはFTPサーバー) に対してデータを同期化します。
 - リモートフォルダ (NASまたはFTPサーバー) からローカルフォルダに対してデータを同期化します。
 - ローカルフォルダから別のローカルフォルダまたは外部ドライブに対してデータを同期化します。
- 「NEXT (次へ)」をクリックします。



4. IPアドレスまたはホスト名を入力します。サーバータイプを選択します (RTRRサービスを有効にしたFTPサーバーまたはNASサーバー)。

FTPサーバーへのリモートレプリケーション:

暗号化されたデータを転送するために、ポート番号および、FTPをSSL/TLS (Explicit)でFTPを有効にするかどうかを指定します。FTPサーバーがファイアウォールの背後にある場合、パッシブモードを有効にします。サーバーに対して読み込み/書き込みアクセス権を持つユーザー名とパスワードを入力します。「NEXT(次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

リモートホスト設定の設定

IPアドレス/ホスト名: 10.8.12.111 ✓

サーバタイプ: FTPサーバー ?

ポート: 21 FTP over SSL/TLS(Explicit)
 受動モード

ユーザ名: admin ✓

パスワード: ●●●● ✓

テスト

Step 3 of 11

戻る 次へ キャンセル

NASとRTRRサービスに対するリモートレプリケーション:

RTRRサービス対応サーバーのIPアドレスを入力します。接続ポートを指定し、安全な接続を有効にするかどうかを選択します。

RTRR接続用のパスワードを入力します。「NEXT(次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

リモートホスト設定の設定

IPアドレス/ホスト名: 10.8.13.58 ✓

サーバタイプ: RTRRサービス ?

ポート: 8899 セキュア接続(SSL)を有効にする

パスワード ●

テスト

Step 3 of 11

戻る 次へ キャンセル

5. データ同期化用のフォルダペアを選択します。

注: レプリケーションジョブのフォルダペアでソースまたは宛先としてあるフォルダまたはその親フォルダまたは子フォルダが選択されている場合、同じジョブの別のフォルダペアのソースまたは宛先としてフォルダを選択できません。



6. バックアップに対してさらに多くのフォルダペアを追加するには、「さらにフォルダペアを追加する」を選択します。各同期ジョブは、最大5つのフォルダペアをサポートします。フォルダペアを選択し、「ADD (追加)」をクリックします。「NEXT (次へ)」をクリックします。

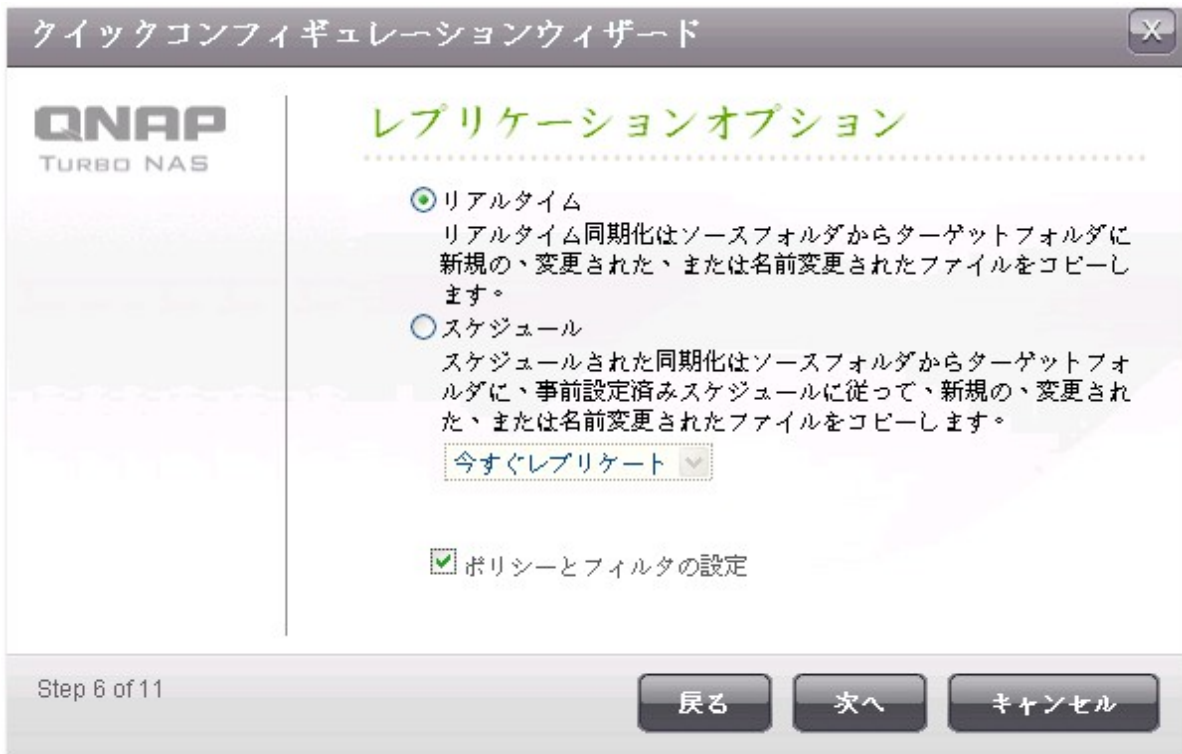


7. リアルタイムとスケジュールされた同期化から選択します。最初のバックアップ後変更が行われると直ちに、リアルタイム同期化は、新しいファイル、またソースフォルダからターゲットフォルダに変更または名称変更されたファイルをコピーします。

注: RTRR は、現行バージョンでは、両方向同期をサポートしません。フォルダペアは、2 台の NAS サーバー間でリアルタイムモードで同期されません。2 台の NAS サーバーのフォルダペア間のデータを同期するには、スケジュールバックアップを使用してください。

スケジュールされた同期化は、事前設定されたスケジュールに従って、ソースフォルダからターゲットフォルダにファイルをコピーします。オプションは以下の通りです:

- 今複製する: データを直ちに複製します。
- 周期的に: バックアップが実行される間隔を、時間と分で入力します。最小の時間間隔は5分です。
- 毎時: 毎時のバックアップスケジュールを実行するときの分を指定します。例えば、01を入力すると、1時間ごとに最初の分のバックアップを入力します。1:01、2:01、3:01...
- 毎日: 毎日のバックアップを実行する時刻を指定します。例えば、毎日の02:02。
- 毎週: 毎週のバックアップを実行する曜日と時刻を選択します。
- 毎月: 毎月のバックアップを実行する日と時刻を選択します。



8. 同期化ポリシーを設定するには、「ポリシーとフィルタの設定」を選択し、「NEXT(次へ)」をクリックします。

次のオプションを有効にするかどうかを選択します。

- 余分のファイルの削除: ターゲットフォルダの余分なファイルを削除します。ソースフォルダで実行された削除は、ターゲットフォルダで繰り返されます。リアルタイム同期化の場合、このオプションは使用できません。
- スパースファイルの削除: ヌルデータのファイルを無視するには、このオプションを選択します。
- ファイルコンテンツの確認: 2つのファイルが同じかどうかを判断するには、ファイルコンテンツ、日付、サイズ、名前の検査を指定します。リアルタイム同期化の場合、このオプションは使用できません。
- 送信間のファイルの圧縮: 同期操作用にファイルを圧縮するかどうかを指定します。多くのCPUリソースが消費されることにご注意ください。
- シンボリックリンクの無視: ペアフォルダのシンボリックリンクを無視するには、このオプションを選択します。
- 拡張属性: 拡張属性で情報を維持するには、このオプションを選択します。
- タイムアウトと再試行設定: 同期操作が失敗した場合、タイムアウト期間と再試行設定を指定します。

クイックコンフィギュレーションウィザード

同期化ポリシーの設定

余分なファイルの削除 ? タイムアウトおよび再試行設定: ?

解析ファイルの削除 ? タイムアウト (秒):

ファイルコンテンツの確認 ? 再試行間隔 (秒):

送信中にファイルの圧縮 ?

シンボリックリンクを無視する ?

拡張属性 ?

Step 7 of 11

戻る 次へ キャンセル

9. ファイルサイズ、含有/除外するファイルタイプ、データ同期化をフィルタするファイル日付/時刻を指定できます。
- ファイルサイズ: 複製するファイルの最小および最大サイズを指定します。
 - ファイルタイプの含有: 複製するファイルタイプを指定します。
 - ファイルタイプの除外: レプリケーション用に除外するファイルタイプを指定します。
 - ファイル日付/時刻: 複製するファイルの日付と時刻を指定します。

クイックコンフィギュレーションウィザード

同期化フィルタを設定する

ファイルサイズ ? ファイルの日付時刻 ?

最小サイズ: 0 KB 最大サイズ: 1000 MB

開始時刻: 2000 / 01 / 01 宛先: 2012 / 01 / 01

ファイルタイプを含める ?

ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽

一時ファイル その他: _____

ファイルタイプを除外する ?

ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽

一時ファイル その他: _____

Step 8 of 11

戻る 次へ キャンセル

10. ジョブ名を入力します。「NEXT(次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

同期化ジョブ名の入力

ジョブ名 ✓

同期化ジョブの名前を指定します。これは必須フィールドで、空にすることはできません。

Step 9 of 11

戻る 次へ キャンセル

11. 設定を確認し、「NEXT(次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

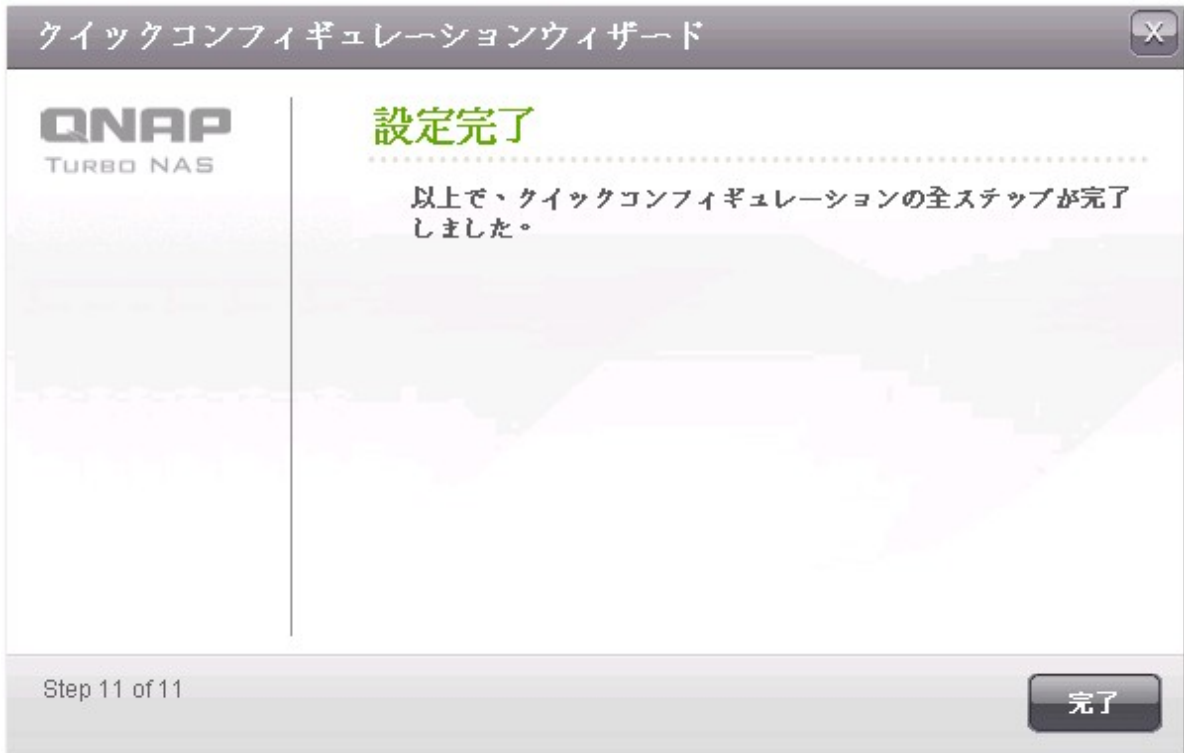
設定の確認







ジョブ名:	Recordings-->Remote:Recordings
フォルダペア番号:	1
フォルダペア 1:	[/Recordings] --> [/Recordings]
サーバタイプ:	ローカルフォルダからリモートフォルダへ
サーバタイプ:	RTRRサービス
ホスト名:	10.8.13.58:8899
スケジュールタイプ	リアルタイム
ポリシー:	タイムアウト (秒): 120 再試行回数: 3 再試行間隔 (秒): 60
ファイルサイズ:	--- ~ 1000 mb
ファイルの日付時刻:	2000/1/1 ~---

Step 10 of 11

戻る 次へ キャンセル

12. 「FINISH(終了)」をクリックしてウィザードを終了します。



アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • リモートサーバーへの接続を有効にします。 • レプリケーションジョブを開始します。
	<p>リモートサーバーまたは外部ドライブへの接続を停止します。</p>
	<p>レプリケーションジョブを停止します。</p>
	<p>ジョブステータスとログ、ダウンロードログを表示します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> • リモートサーバーの接続設定を編集します。 • レプリケーションジョブの設定を編集します。
	<ul style="list-style-type: none"> • リモートサーバーへの接続設定を削除します。 • レプリケーションジョブを削除します。 <p>このボタンは、レプリケーションジョブがまたはリモートサーバーへの接続が停止した後でのみ使用できます。</p>

レプリケーションジョブプロパティを編集するには、「Options(オプション)」をクリックします。

	ターゲットホスト/ジョブ名	ステータス	アクション
	10.8.13.58	有効	

「Event Logs(イベントログ)」の下で、「詳細ログのダウンロード」を選択して有効にし、ログファイルの最大のファイルサイズを指定することができます。同期化の失敗や完了時に電子メールアラートを送信するように、選択することもできます。SMTPサーバー設定をNAS(「Download Detailed Logs(システム管理)」>「Notification(通知)」)で適切にセットアップする必要があることにご注意ください。

ジョブプロパティをカスタマイズする

イベントログ ポリシー フィルター

詳細ログのダウンロード
最大ログサイズ(MB): 10 MB (最大1GB)
ログファイルに詳細を含めるには、このオプションを有効にします。最大のファイルサイズを指定することもできます。

次の条件で警報電子メールを送信する：
 同期化に失敗しました
 同期化が完了しました。
このオプションを有効にすると、同期化ジョブが失敗または完了するときに、システムからシステム管理者に警報電子メールが送信されます。


注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。 [ここをクリックして、SMTPサーバを設定します。](#)

適用 キャンセル

「Policy(ポリシー)」でレプリケーションポリシーを、「Filter(フィルタ)」でフィルタ設定を指定します。これらはすべてのRTRRレプリケーションジョブでデフォルトの設定です。

The screenshot shows a dialog box titled "ジョブプロパティをカスタマイズする" (Customize Job Properties) with a close button (X) in the top right corner. The dialog has three tabs: "イベントログ" (Event Log), "ポリシー" (Policy), and "フィルター" (Filter). The "ポリシー" tab is selected and highlighted in green. Below the tabs, there are two columns of settings. The left column contains six unchecked checkboxes, each with a red question mark icon: "余分なファイルの削除" (Delete extra files), "解析ファイルの削除" (Delete analysis files), "ファイルコンテンツの確認" (Check file contents), "送信中にファイルの圧縮" (Compress files during transmission), "シンボリックリンクを無視する" (Ignore symbolic links), and "拡張属性" (Extended attributes). The right column contains the "タイムアウトおよび再試行設定" (Timeout and Retry Settings) section, which includes three input fields: "タイムアウト (秒):" (Timeout (seconds)) with the value "120", "再試行回数:" (Retry count) with the value "3", and "再試行間隔 (秒):" (Retry interval (seconds)) with the value "60". At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel).

レプリケーションジョブログのダウンロード:

レプリケーションジョブのステータスとログを表示するには、 をクリックします。

オプション		新規レプリケーションジョブの作成	
	ターゲットホスト/ジョブ名	ステータス	アクション
	10.8.13.58	有効	  
	└ Recordings-->Remote:Recordings (リアルタイム)	スタンバイ	   

レプリケーションジョブの詳細を表示できます。

ジョブステータスとログ

ジョブステータス | ジョブログ

ジョブ名: Recordings-->Remote:Recordings

スケジュールタイプ: リアルタイム フォルダペア: 1

合計ファイル: 2 合計フォルダ: 20

合計ファイルサイズ: 14.0 KB 平均送信時間: 1.0 MB

経過時間: 00:00:00 残り時間: 00:00:00

ステータス: スタンバイ

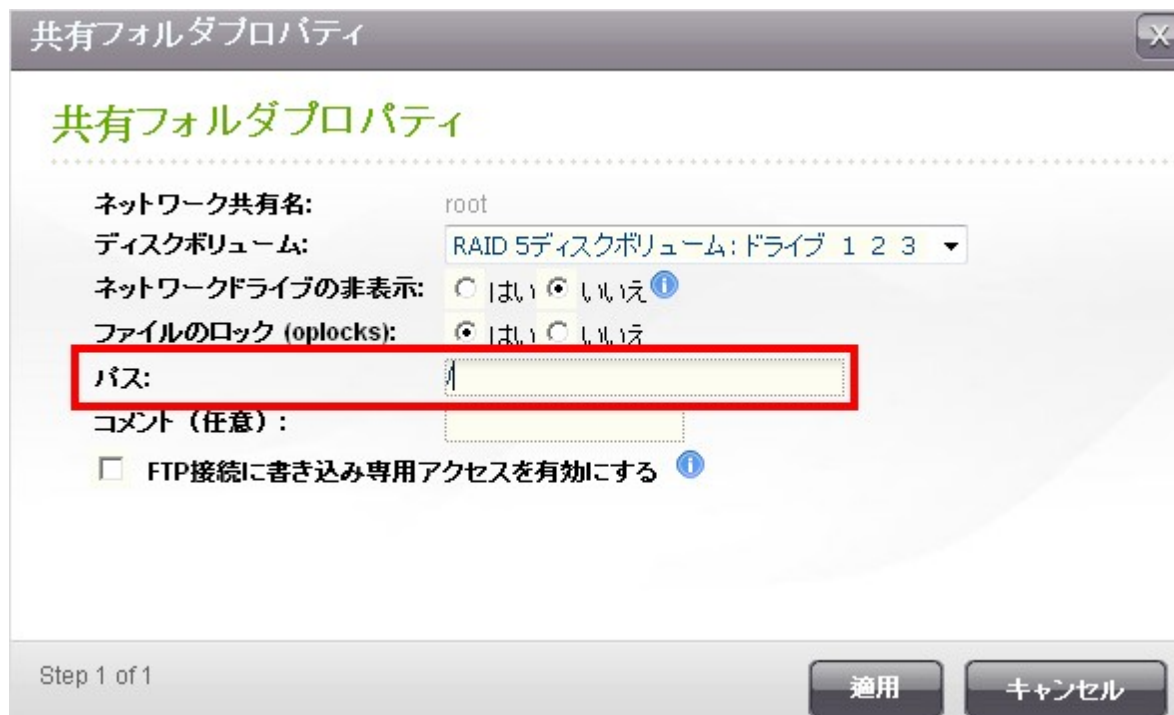
OK

「Download Logs (ログをダウンロードする)」をクリックすることで、ジョブログを表示したり、ログをダウンロードしたりできます。ログファイルは、Microsoft Excelまたはその他のテキストエディタソフトウェアで開くことができます。このボタンは「Download Detailed Logs (オプション)」>「Options(イベントログ)」で「Event Logs(詳細ログのダウンロード)」を有効にし、レプリケーションジョブを一度実行した後でのみ利用できることにご注意ください。



ディスクボリューム全体のリモートレプリケーションジョブの作成方法

リモートレプリケーションによってディスクボリュームの全体をバックアップするには、同じボリュームにすべての共フォルダを含むをルートディレクトリとして新しい共フォルダ(例えば、ルート)を作成し、パスを '/' に指定します。次にリモートレプリケーションジョブを作成し、この共フォルダ(ルート)をコピーします。共フォルダとサブフォルダのすべてが複製されます。



8.2 クラウドバックアップ

Amazon S3

Amazon S3 (シンプルストレージサービス、Simple Storage Service) はAWS (Amazonウェブサービス、Amazon Web Services) が提供するオンラインストレージウェブサービスです。明快なウェブサービスインターフェイスにより、ウェブ上のどこからでもデータを保管または取得することができます。Amazon S3により、NASからAmazon S3 へのデータアップロード、またはAmazon S3 からNASへのデータダウンロードが可能です。

<http://aws.amazon.com>よりAWSアカウントに登録し、サービスを購入する必要があります。ご注意ください。アカウントにサインアップした後、一つ以上のバケット (ルートフォルダ) をAmazon S3アプリケーションによりAmazon S3に作成する必要があります。初心者の方には、Mozilla Firefoxのアドオン "S3Fox" をお勧めします。

クラウドバックアップ

概要 **AMAZON S3** ELEPHANTDRIVE SYMFORM

Amazon S3

この機能を使用すると、NASとAmazon S3の間でデータをアップロードできます。

注: この機能を使用する前に、システムの時刻をインターネットタイムサーバと同期してください。システムの日時を設定するには

Note: Please synchronize the system time with an Internet time server before using this function. To configure the system date and time, please click [ここをクリックしてください](#)。

現在のジョブ

[レプリケーションジョブの作成](#)

ジョブ名	使用タイプ	スケジュール	ステータス	アクション
------	-------	--------	-------	-------

免責事項: クラウドストレージサービスは"現状のまま"で、サードパーティのベンダーによって提供されています。QNAP社は、データのセキュリティや損失又はこれらのサービスの使用によって引き起こされる可能性のあるデータの破損に対して一切責任を負いません。

Amazon S3アカウントをセットアップした後、以下の手順に従い、NASを使用してAmazon S3へデータのバックアップ、またはAmazon S3からデータを取得してください。

1. "Create New Replicating Job" (新規レプリケーションジョブの作成)をクリックします。
2. リモートレプリケーションジョブ名を入力します。
3. 使用タイプを選択します: "Upload" (アップロード) あるいは "Download" (ダウンロード) を選択肢、その他の設定を入力します。バケットとはAmazon S3のルートディレクトリのことです。"TEST" (テスト) をクリックすると、リモートホストテストが可能です。その他の設定はオプションとなります。



リモートレプリケーション

QNAP
TURBO NAS

Amazon S3

使用タイプ: アップロード

アクセスキー(Access Key): AKIAJ3O3SUDAHN4EV

プライベートキー(Private Key):

リモートパス(バケット/ディレクトリ): awe-uploads /

リモートホストのテスト テスト

再試行の最大回数(0-99):

新しいファイルだけレプリケーションする

リモート先の余分なファイルを削除する

Step 2 of 5

戻る 継続 キャンセル

4. レプリケーション用のNASのローカルディレクトリを指定します。
5. レプリケーションスケジュールを入力します。
6. "Finish" (終了) をクリックします。スケジュールに合わせてレプリケーションジョブが実行されます。

ElephantDrive

ElephantDriveサービスを使用するには、「ElephantDriveサービスを有効にする」を選択してください。ElephantDriveサービスの電子メールとパスワードを入力します。アカウントをお持ちでない場合、情報を入力し、「Create (作成)」をクリックします。

概要 AMAZON S3 **ELEPHANTDRIVE** SYMFORM

ElephantDriveアカウント

ElephantDriveサービスを有効にする

ElephantDriveサービス 

E-mail:

パスワード:

パスワードの再入力:

主な特徴:

- 軍用グレードの暗号化
- 自動バックアップ
- 容易なファイル共有の利用
- どこからでもファイルにアクセスできます

ElephantDriveアカウントをお持ちでない場合、上記情報を入力し「作成」をクリックしてアカウントを作成します。

QNAPからElephantDriveサービスをサインアップしてください。30日間は無料でお試しいただけ、さらに3ヶ月間は10%の割引を受けられます。

ステータス: -----


アカウント管理とデータバックアップの場合、ElephantDrive Webサイトにアクセスしてください。 <https://www.elephantdrive.com/qnap>

「OK」をクリックして確認します。

アカウントの作成後、「APPLY (適用)」をクリックします。NASは、ElephantDriveサービスへのログインをお手伝いいたします。

NASのElephantDriveサービスにログインした後、ElephantDrive Webサイト (<http://www.elephantdrive.com/qnap>) にアクセスしてバックアップを管理することができます。

ElephantDriveアカウント

ElephantDriveサービスを有効にする
ElephantDriveサービス 

E-mail:

パスワード:

パスワードの再入力:

ElephantDriveアカウントをお持ちでない場合、上記情報を入力し「作成」をクリックしてアカウントを作成します。 作成

QNAPからElephantDriveサービスをサインアップしてください。30日間は無料でお試しいただけ、さらに3ヶ月間は10%の割引を受けられます。

ステータス: **ログインされています**

アカウント管理とデータバックアップの場合、ElephantDrive Webサイトにアクセスしてください。 <https://www.elephantdrive.com/qnap>

適用

ElephantDriveアカウントにログインします。バックアップを管理し、Webサイトでジョブを復元することができます。

Already a User [Login here](#)
English (US)

PROTECT YOUR TURBO NAS FILES WITH ONLINE BACKUP



ElephantDrive: Optimized for Turbo NAS

-  **Continuous Data Protection**
ElephantDrive watches for changes in real-time and provides immediate protection for new or modified files.
-  **Web-based Management**
Check transfer history, modify configurations, change scheduling and select backup sources from any browser-based location in real-time.
-  **Device-integrated Cloud Backup**
You can run ElephantDrive directly on your storage device.
-  **Quick and easy data recovery and restore**
Sign on and browse to the files you need and restore them to your Turbo NAS with a click.

[Plans start from \\$9.95](#)

[FREE TRIAL](#) 

30-Day FREE trial just for QNAP users!

“...a simple, enterprise-class solution for Internet- or cloud-based data protection...”



To learn more about ElephantDrive, [click here](#). To compare the different ElephantDrive account types, [click here](#)

Copyright © 2011 [ElephantDrive](#). All rights reserved.

Symform

Symform クラウドバックアップを使用するには、「Backup(バックアップ) > Cloud Backup(クラウドバックアップ) > Symform」に移動します。「Get Started Now(今すぐ開始)」をクリックして、Symform をインストールします。NAS がパッケージを自動的にダウンロード、検証、インストールします。



「Configure(設定)」をクリックします。



電子メールアドレスを入力し、「Sign-In(サインイン)」をクリックして、NAS 上の Symform をアクティブにします。アクティベーションコードが、このメールアドレスに送信されます。

Welcome to Symform, the world's safest and most cost-effective cloud storage.

Let's get started. Enter your email below and we'll take you step-by-step to get your data protected in Symform's Storage Cloud.

If you need help at any point during the short installation, please visit the [Symform support forums](#).

Please enter your Email:

Sign-In

アクティベーションコードを受信するメールアドレスを確認し、セットアップを完了します。

Welcome to Symform, the world's safest and most cost-effective cloud storage.

Let's get started. Enter your email below and we'll take you step-by-step to get your data protected in Symform's Storage Cloud.

If you need help at any point during the short installation, please visit the [Symform support forums](#).

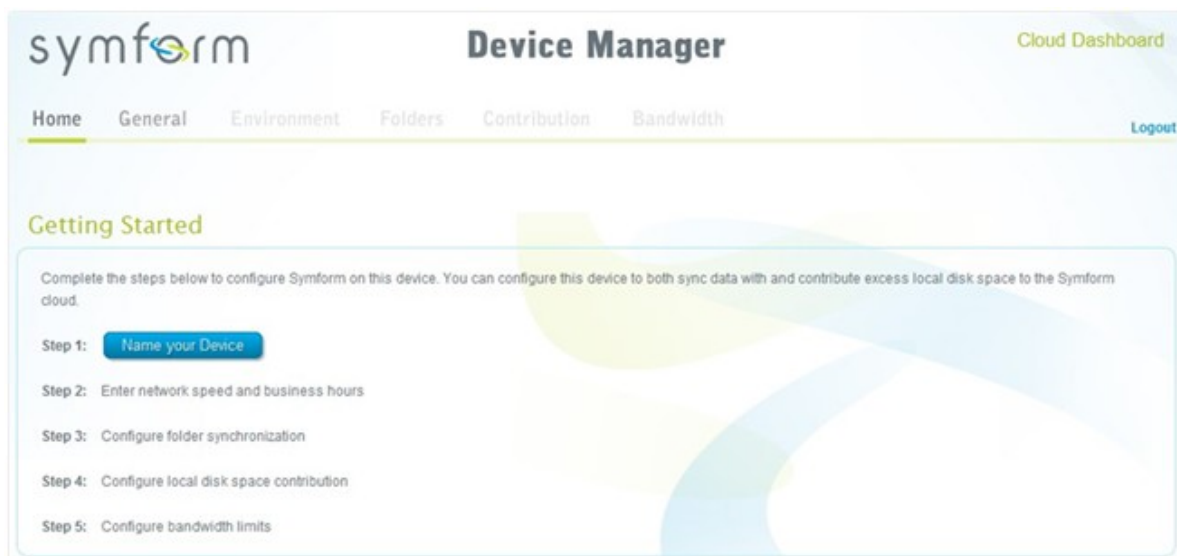
Please enter your Email:

Let's get you setup. We just sent you a code to the above email address. Check your spam folder, just in case!

Activation Code:	<input type="text"/>	*
First Name:	<input type="text"/>	*
Last Name:	<input type="text"/>	
Password:	<input type="password"/>	*
Confirm Password:	<input type="password"/>	*

Sign-In

指示に従い、Symform を設定します。



完了後、セットアップ時に選択したフォルダが、Symform ストレージクラウドにバックアップされます。

Symform がアクティブになると、デバイス設定が表示されます。「Cloud Dashboard(クラウドダッシュボード)」をクリックして Symform クラウドダッシュボードにアクセスし、Symform ストレージクラウド稼働中の全デバイスのステータスを確認します。

Symform サービスに関する注意事項:

- ウェブ管理インターフェースの TCP ポート: 59234
- コントリビューション TCP ポート: Symform セットアップ時にランダムに定義され、必要な場合は変更できます。
- 全 TCP アウトバウンドポートは必須です。
- コントリビューション使用時は、NAS のハードドライブのスタンバイ機能は、Symform サービスが常にハードドライブ上のデータを読み書きするため機能しません。
- コントリビューション付 Symform は、ネットワーク帯域幅が必要です。コントリビューションが有効な場合、NAS と Symform クラウド間に常に通信が発生します。これによりネットワークが使用され、必要な場合、帯域幅を制限することができます。

8.3 Time Machine

Time Machineサポートを効化して、OS XのTime Machine機能により複数のMacのバックアップ先としてNASを使用することができます。

Time Machine

TIME MACHINEのサポート バックアップの管理

Time Machineのサポート

Time Machine機能を有効にすると、Mac OS X Time Machineのバックアップ先としてNASを使用できます。

Time Machineのサポートを有効にする

表示名: TMBBackup

ユーザ名: TimeMachine

パスワード: ●●●●

ボリューム: RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 空きサイズ: 265GB

容量: 0 GB (0は無制限)

注: Time Machine機能を使用すると、AFPサービスが自動的に有効になります。Time Machineの全ユーザが、この機能の同じネットワーク共有を共有します。

適用

この機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

NAS上の設定を構成します:

1. Time Machineサポートを効化します。

Time Machineのサポート

Time Machine機能を有効にすると、Mac OS X Time Machineのバックアップ先としてNASを使用できます。

Time Machineのサポートを有効にする

表示名: TMBackup

ユーザ名: TimeMachine

パスワード: ●●●●

ボリューム: RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 ▼ 空きサイズ: 265GB

容量: 0 GB (0は無制限)

注: Time Machine機能を使用すると、AFPサービスが自動的に有効になります。Time Machineの全ユーザが、この機能の同じネットワーク共有を共有します。

2. Time Machineパスワードを入力します。パスワードはデフォルトでは空欄になっています。
3. バックアップ先としてNAS上のボリュームを選択します。
4. Time Machineバックアップが使用できるストレージ容量を入力します。
5. "Apply" (適用) をクリックし設定を保存します。

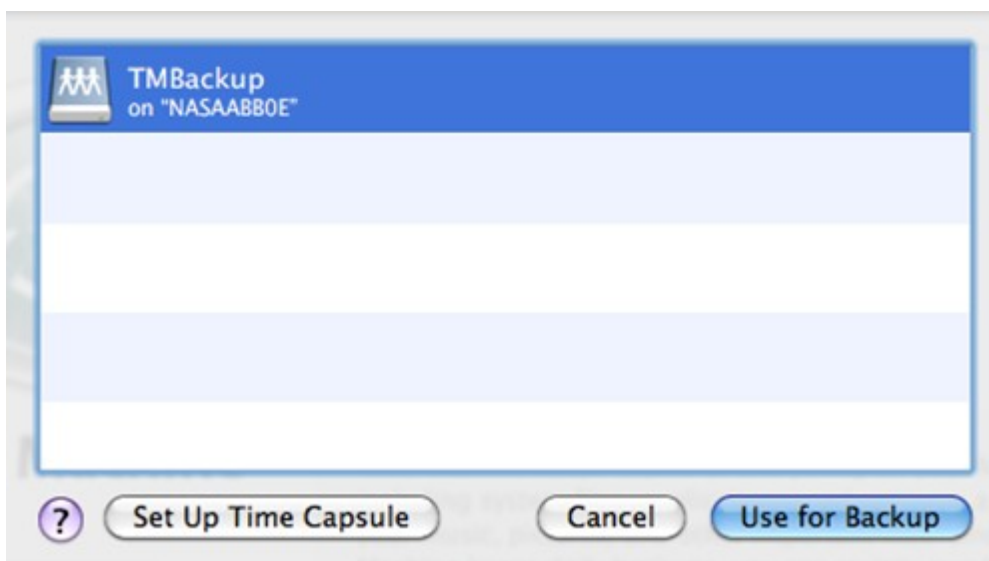
すべてのTime Machineユーザーは、この機能用に同一のネットワーク共有を共有します。

Mac上のバックアップ設定を構成します:

1. Mac上でTime Machineを開き、"Select Backup Disk" (バックアップディスクの選択) をクリックします。



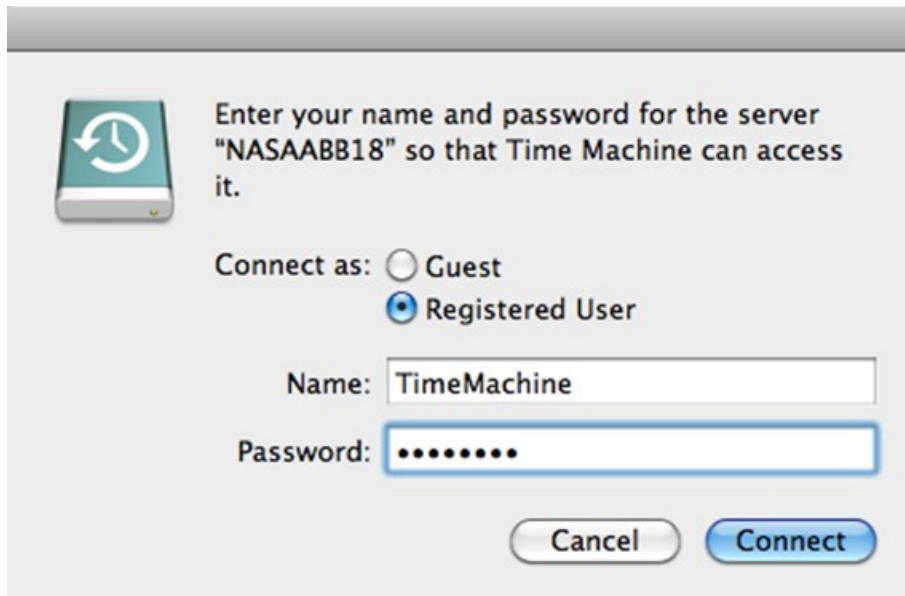
2. NASのTMBBackupをリストから選択し、"Use for Backup" (バックアップに使用) をクリックします。



3. QNAP NASにアクセスするユーザー名及びパスワードを入力します。続いて"Connect" (接続) をクリックします。

登録したユーザー名: TimeMachine

パスワード: NASで構成したパスワードです。パスワードはデフォルトでは空欄になっています。



The image shows a macOS-style dialog box for connecting to a Time Machine server. On the left is an icon of a Time Machine drive. The main text reads: "Enter your name and password for the server 'NASAABB18' so that Time Machine can access it." Below this, there are two radio buttons: "Guest" (unselected) and "Registered User" (selected). Underneath, there are two text input fields: "Name:" with the value "TimeMachine" and "Password:" with a masked password of eight dots. At the bottom right, there are two buttons: "Cancel" and "Connect".

4. 正常に接続されると、Time Machineは "ON" (オン) に切り替わります。バックアップに使用可能な容量が表示され、バックアップは120秒後に開始されます。



初めてバックアップを実行する際は、Mac上のデータサイズにより、時間が通常より長くなる場合があります。Mac OSにデータを回復するには、<http://www.apple.com>のチュートリアルを参照してください。

バックアップ管理

このページで既存のバックアップを管理することができます。

TIME MACHINEのサポート **バックアップの管理**

バックアップの管理

ボリューム: RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 ▼

<input type="checkbox"/>	名前	サイズ	更新日
<input type="checkbox"/>	JW MacBook Pro.sparsebundle	141 GB	2011/01/11 12:53:15

Volume (ボリューム):ボリュームに保管されたTi Name (名前):Time Machineバックアップの名前(Time Machineが作成したスパスバンドルディスク画像)

Size (サイズ) : このTime Machineバックアップのサイズ

Date Modified (修正日時):このTime Machineバックアップが最後に修正された日時

Delete (削除):このTime Machine/バックアップの削除me Machine バックアップタスクを表示します。

8.4 外部ドライブ

NAS は、内部ディスクボリュームと外部 USB/eSATA ストレージデバイス間のリアルタイムおよびスケジュール設定でのデータバックアップをサポートします。この機能を利用するには、次のステップを行います。

注：外部ストレージデバイスがNASによって暗号化されている場合、バックアップジョブを作成する前に「External Device (外部デバイス)」>「External Storage Device (外部ストレージデバイス)」でロックされていないことを確認します。

1. NAS の USB/eSATA インターフェースに 1 台以上の外部ストレージデバイスを接続します(利用可能な場合)。
2. 「Create a new job (新しいジョブの作成)」をクリックします。

外部ドライブ

現在のジョブ

バックアップ機能により、ローカルディスクボリュームと外部ストレージデバイス間でデータを複製できます。バックアップジョブを作成して、特定のディスクボリュームにマップできます。バックアップジョブが割り当てられた外部ストレージデバイスは、常にUSBまたはeSATAのいずれかが接続されている方のNASにより認識できます。

オプション 新しいジョブの作成

+	ターゲットデバイス / ジョブ名	ステータス	アクション
---	------------------	-------	-------

3. ウィザードが表示されたら、説明を注意深く読んで、「NEXT (次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

同期化ジョブウィザード

このウィザードにより、次のステップを通して同期ジョブを作成できます。

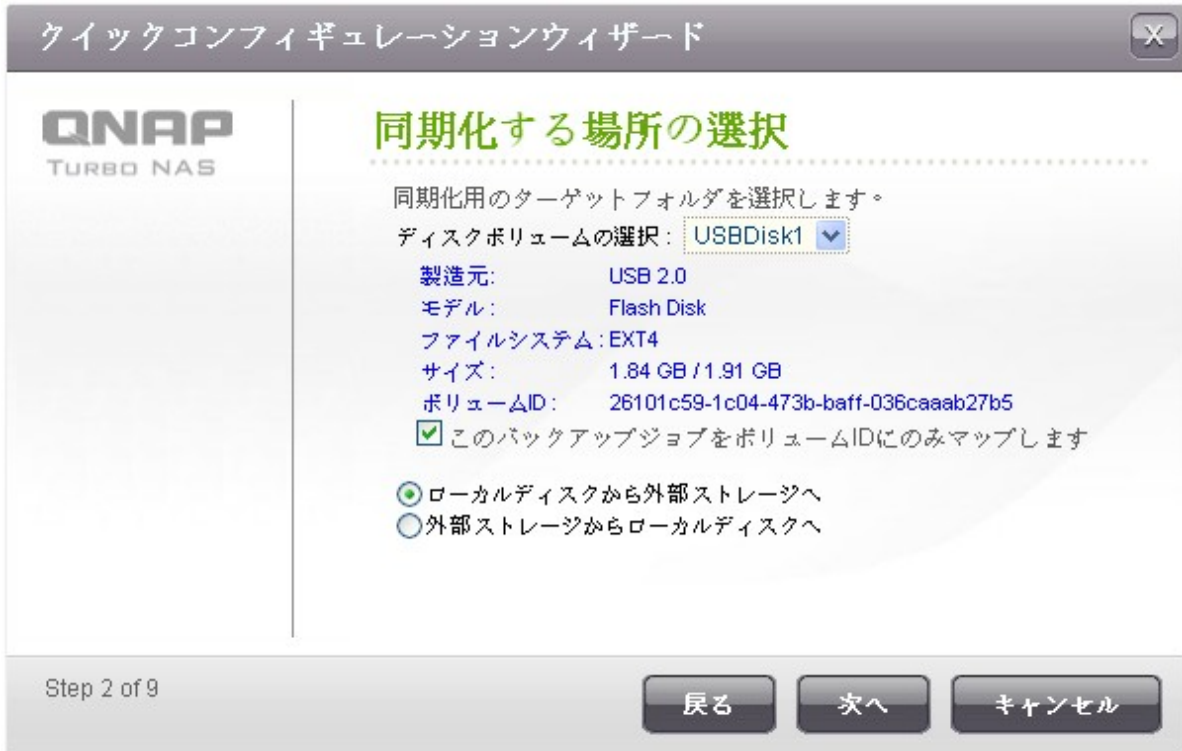
1. 外部ストレージデバイスに接続します。
2. 同期化フォルダのフォルダヘアを作成します。
3. リアルタイムの、またはスケジュールされた同期化オプションを設定します。

「次へ」をクリックして起動します。

Step 1 of 9 次へ キャンセル

4. バックアップ先を選択します。
 - a. ドロップダウンメニューから外部ディスクボリューム* を選択します。NAS は、EXT3、EXT4、FAT、NTFS、および HFS+ ファイルシステムをサポートします。ストレージデバイスの一般的な情報が表示されます。
 - b. 「Map this backup job to the volume ID only (このバックアップジョブをボリュームIDにのみマップします)」を選択し、バックアップジョブを特定の外部ストレージデバイスにマッピングします。USB/eSATA インターフェースで、デバイスが NAS に接続されると、NAS が、デバイスを認識し、自動的に設定によりバックアップジョブを実行します。
 - c. ローカルディスクボリュームから外部ストレージ、または、その逆に外部ストレージからローカルディスクボリュームにデータをバックアップするを選択します。
 - d. 「NEXT (次へ)」をクリックします。

* 外部ストレージデバイス上の複数パーティションは、別々のディスクボリュームとして認識されます。



5. バックアップの元と先のフォルダを選択します。それから、「ADD（追加）」をクリックします。最大 5 フォルダのペアを作成できます。「NEXT（次へ）」をクリックします。

注：バックアップジョブのフォルダペアで、親フォルダまたは子フォルダが元フォルダまたは先フォルダとして選択された場合、同じバックアップジョブのフォルダペアで同じフォルダを別なフォルダペアの元フォルダまたは先フォルダとして選択することはできません。

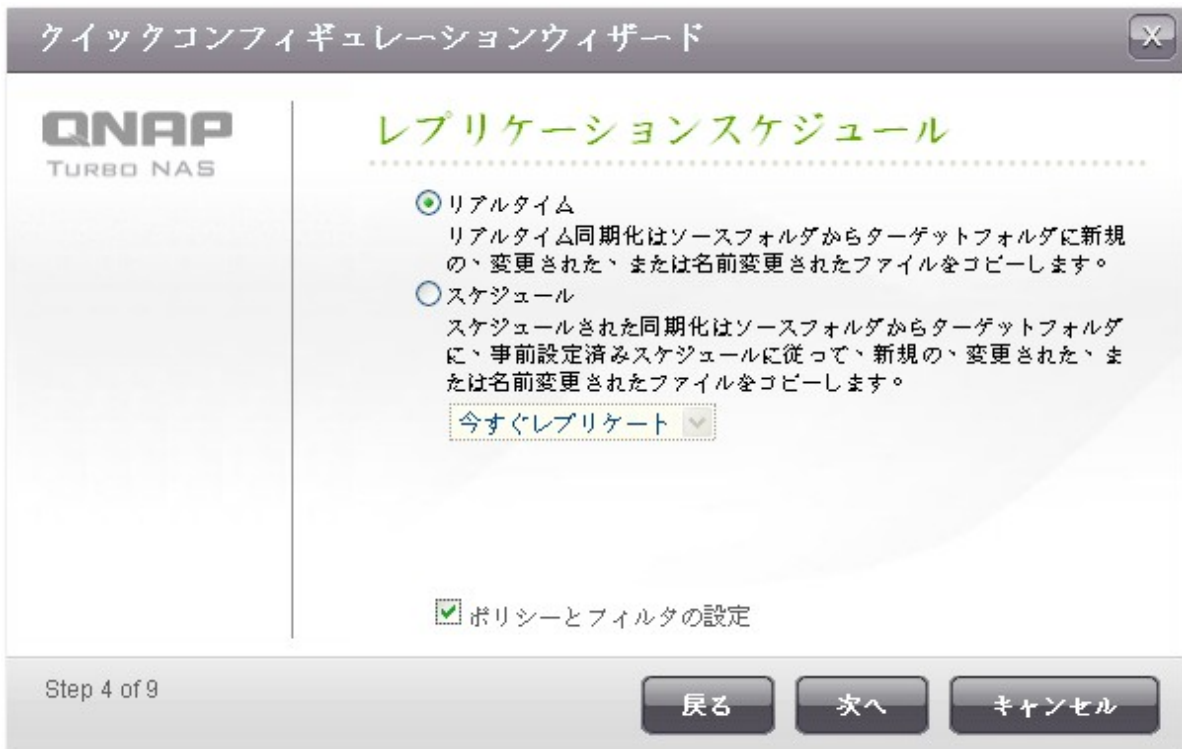


6. リアルタイムバックアップおよびスケジュールバックアップを選択します。リアルタイムバックアップは、新しいファイル、変更されたファイル、名称が変更されたファイルを元フォルダから先フォルダに、バックアップ後変更された場合直ちにコピーします。

スケジュールバックアップは、スケジュールに従い、元フォルダから先フォルダにファイルをコピーします。オプションは次の通りです：

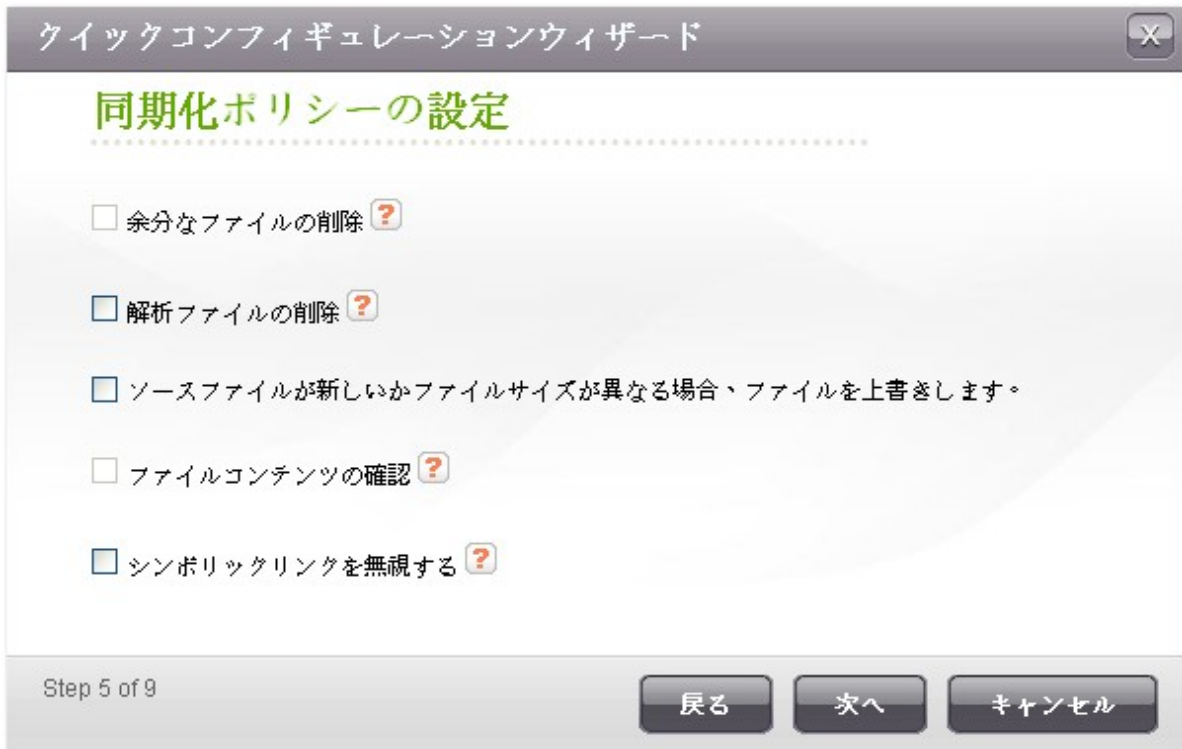
- 今すぐコピー：データを直ちにコピーします。
- 周期的：バックアップジョブを実行する間隔を時分単位で入力します。最小時間間隔は 5 分です。
- 毎時：バックアップジョブを実行する分を選択します。例えば、01 を選択した場合、バックアップジョブは毎時 1 分(1 時 1 分、2 時 1 分、3 時 1 分…)に実行されます。
- 毎日：バックアップジョブを実行する時刻を指定します(例えば、毎日 2 時 2 分)。
- 毎週：週毎のバックアップを実行する曜日と時刻を選択します。
- 毎月：月毎のバックアップを実行する日付と時刻を選択します。
- 自動バックアップ：デバイスが接続され、NAS が検出した時に自動的に毎回データバックアップを実行します。

バックアップポリシーおよびフィルタ設定を行うには、「Configure policy and filter (ポリシーとフィルタの設定)」を選択します。「NEXT (次へ)」をクリックします。



7. 次のオプションを有効にするかどうかを選択します:

- Delete extra files (余分なファイルの削除): 先フォルダ内の余分なファイルを削除します。元フォルダ上の削除が、先フォルダに反映されます。このオプションは、リアルタイムバックアップでは利用できません。
- Detect sparse files (解析ファイルの削除): このオプションを選択して、NULL データのファイルを無視します。
- Overwrite the file if the source file is newer or the file size is different (ソースファイルが新しいかファイルサイズが異なる場合、ファイルを上書きします)。
- Check file contents (ファイルコンテンツの確認): ファイルコンテンツ、日付、サイズ、名称を検査して、2 つのファイルが同一であるかどうか決定します。このオプションは、リアルタイムバックアップでは利用できません。
- Ignore symbolic links (シンボリックリンクを無視する): このオプションを選択して、フォルダペア内のシンボリックリンクを無視します。



クイックコンフィギュレーションウィザード

同期化ポリシーの設定

余分なファイルの削除 ?

解析ファイルの削除 ?

ソースファイルが新しいかファイルサイズが異なる場合、ファイルを上書きします。

ファイルコンテンツの確認 ?

シンボリックリンクを無視する ?

Step 5 of 9

戻る 次へ キャンセル

8. バックアップジョブ用のフィルタを作成します。

- File size (ファイルサイズ): コピーするファイルの最小サイズおよび最大サイズを指定します。
- Include file types (ファイルタイプを含める): コピーするファイルタイプを指定します。
- Exclude file types (ファイルタイプを除外する): データコピーから除外するファイルタイプを指定します。
- File date/time (ファイルの日付/時刻): コピーするファイルの日付および時刻を指定します。

クイックコンフィギュレーションウィザード

同期化フィルタを設定する

ファイルサイズ ?

最小サイズ: 0 KB

最大サイズ: 1000 MB

ファイルの日付/時刻 ?

開始時刻: 2000 / 01 / 01

宛先: 2012 / 01 / 01

ファイルタイプを含める ?

ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽

一時ファイル その他:

ファイルタイプを除外する ?

ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽

一時ファイル その他:

Step 6 of 9

戻る 次へ キャンセル

9. バックアップジョブの名称を入力します。ジョブ名は最大 63 文字をサポートします。スペースで開始/終了することはできません。「NEXT (次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

同期化ジョブ名の入力

ジョブ名: ✓

同期化ジョブの名前を指定します。これは必須シールドで、空にすることはできません。

Step 7 of 9

戻る 次へ キャンセル

10. 設定を確認し、「NEXT (次へ)」をクリックします。

クイックコンフィギュレーションウィザード

QNAP
TURBO NAS

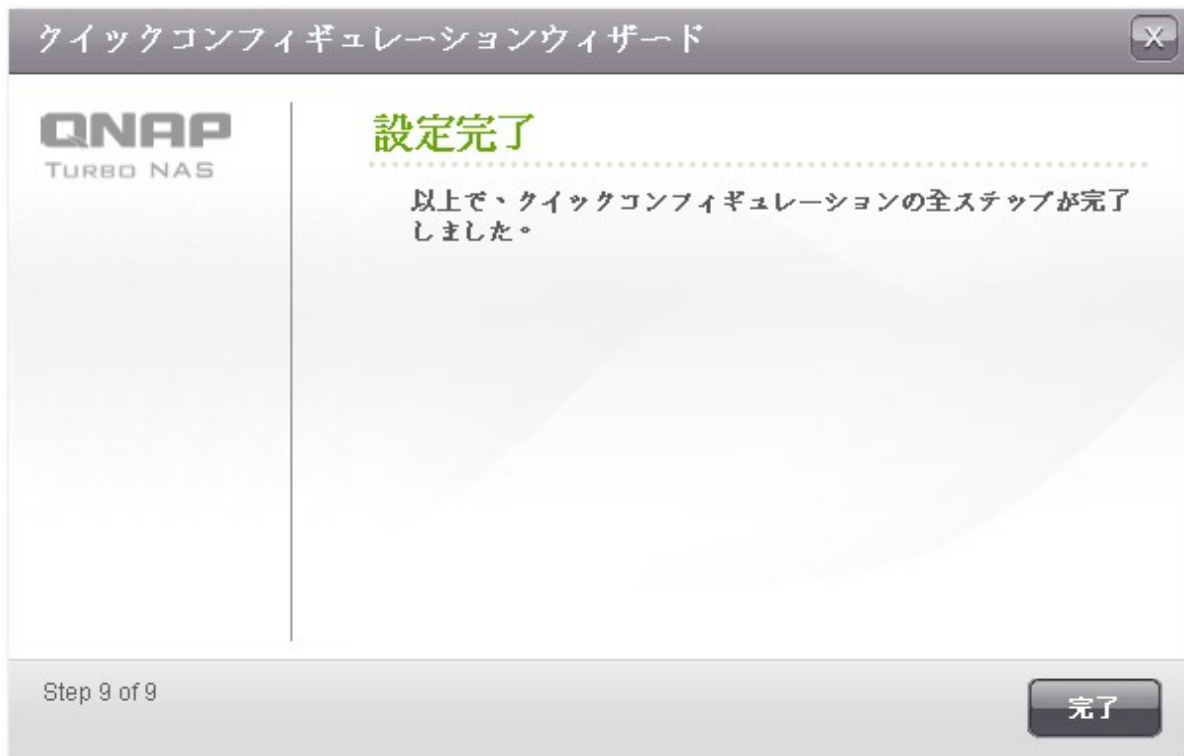
設定の確認

ジョブ名:	aaaa-->USBDisk1
フォルダペア番号:	1
フォルダペア1:	[/aaaa] --> [/USBDisk1]
スケジュールタイプ	リアルタイム
ポリシー:	
ファイルサイズ:	--- ~ 1000 mb
ファイルタイプを除外する:	一時ファイル

Step 8 of 9

戻る 次へ キャンセル

11. 「FINISH (完了)」をクリックして、ウィザードを終了します。



12. バックアップジョブおよびステータスがリスト上に表示されます。

外部ドライブ

現在のジョブ

バックアップ機能により、ローカルディスクボリュームと外部ストレージデバイス間でデータを複製できます。バックアップジョブを作成して、特定のディスクボリュームにマップできます。バックアップジョブが割り当てられた外部ストレージデバイスは、常にUSBまたはeSATAのいずれかが接続されている方のNASにより認識できます。

オプション
新しいジョブの作成

	ターゲットデバイス / ジョブ名	ステータス	アクション
+	USB 2.0 Flash Disk (EXT4, 1.88 GB) ↳ aaaa->USBDisk1 (リアルタイム)	スタンバイ	

ボタン	説明
	バックアップジョブを開始します。
	バックアップジョブを停止します。
	バックアップジョブの設定を編集します。
	ジョブのステータスおよびログを表示します バックアップジョブのログをダウンロードします。
	バックアップジョブを削除します。 このボタンは、バックアップジョブが停止後、利用可能です。

バックアップジョブのバックアップスケジュールを無効にするには、 をクリックし、「Settings (設定)」>「Schedule Type (スケジュールタイプ)」の下の「Disabled (無効)」を選択して、「APPLY (適用)」をクリックします。



デフォルトバックアップジョブ設定

デフォルトバックアップジョブのプロパティを編集するには、「Options (オプション)」をクリックします。

現在のジョブ

バックアップ機能により、ローカルディスクボリュームと外部ストレージデバイス間でデータを複製できます。バックアップジョブを作成して、特定のディスクボリュームにマップできます。バックアップジョブが割り当てられた外部ストレージデバイスは、常にUSBまたはeSATAのいずれかが接続されている方のNASにより認識できます。

オプション 新しいジョブの作成

+	ターゲットデバイス / ジョブ名	ステータス	アクション
+	USB 2.0 Flash Disk (EXT4, 1.88 GB)		

「Event Logs (イベントログ)」の下の「Download Detailed Logs (詳細ログのダウンロード)」を選択/有効にし、ログファイルの最大ファイルサイズを指定します。バックアップジョブが失敗または完了した時の E メール通知を送信するよう選択します。「System Administration (システム管理)」>「Notification (通知)」で、SMTP サーバ設定が適切に行う必要があることに注意してください。

ジョブプロパティをカスタマイズする

イベントログ ポリシー フィルター

詳細ログのダウンロード
最大ログサイズ (MB): MB (最大1GB)
ログファイルに詳細を含めるには、このオプションを有効にします。最大のファイルサイズを指定することもできます。

次の条件で警報電子メールを送信する：
 同期化に失敗しました
 同期化が完了しました。
このオプションを有効にすると、同期化ジョブが失敗または完了するときに、システムからシステム管理者に警報電子メールが送信されます。

注: アラートメールを送信できるように、SMTPサーバを設定してください。 [ここをクリックして、SMTPサーバを設定します。](#)

適用 キャンセル

「Policy（ポリシー）」で、バックアップポリシーを、「Filter（フィルター）」で、フィルタ設定を指定します。これらが、すべてのバックアップジョブのデフォルト設定になります。

ジョブプロパティをカスタマイズする

イベントログ **ポリシー** フィルター

- 余分なファイルの削除 ?
- 解析ファイルの削除 ?
- ソースファイルが新しいかファイルサイズが異なる場合、ファイルを上書きします。
- ファイルコンテンツの確認 ?
- シンボリックリンクを無視する ?

適用 キャンセル

ジョブプロパティをカスタマイズする

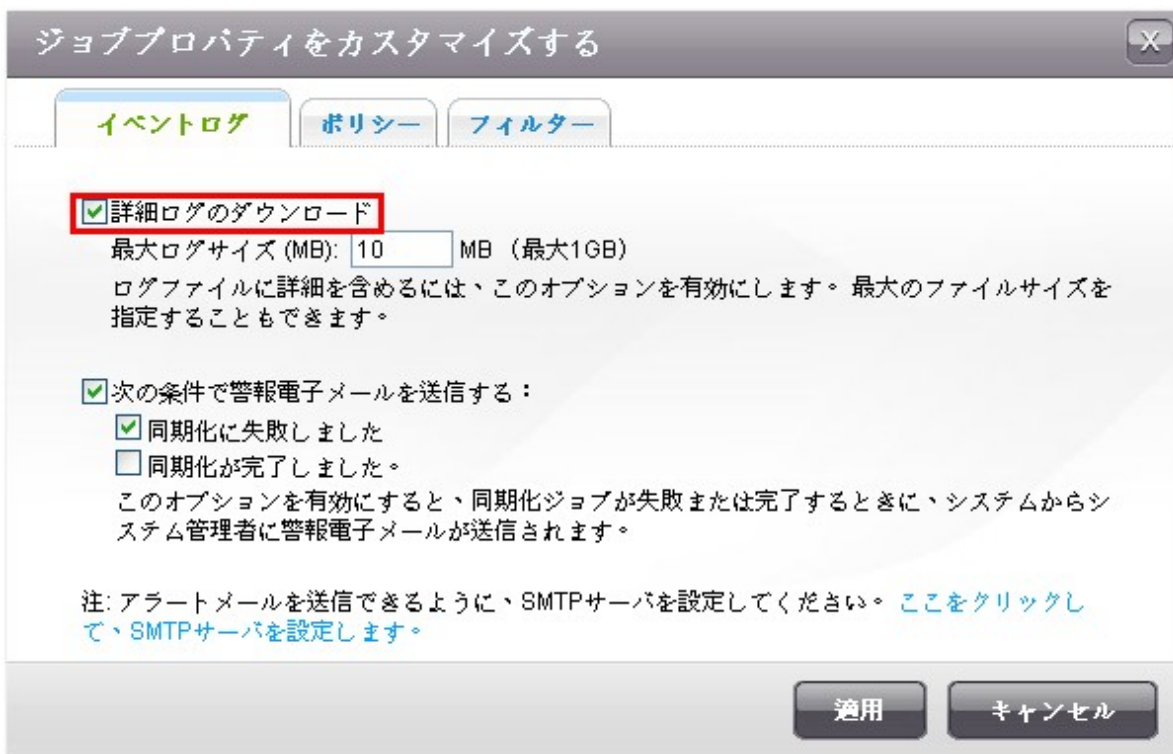
イベントログ ポリシー **フィルター**

- ファイルサイズ ?
 - 最小サイズ: 0 KB
 - 最大サイズ: 0 KB
- ファイルの日付時刻 ?
 - 開始時刻: 2000 / 01 / 01
 - 宛先: 2012 / 01 / 01
- ファイルタイプを含める ?
 - ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽
 - 一時ファイル その他: _____
- ファイルタイプを除外する ?
 - ドキュメント 写真 ビデオ アプリケーション 音楽
 - 一時ファイル その他: _____

適用 キャンセル

バックアップログのダウンロード

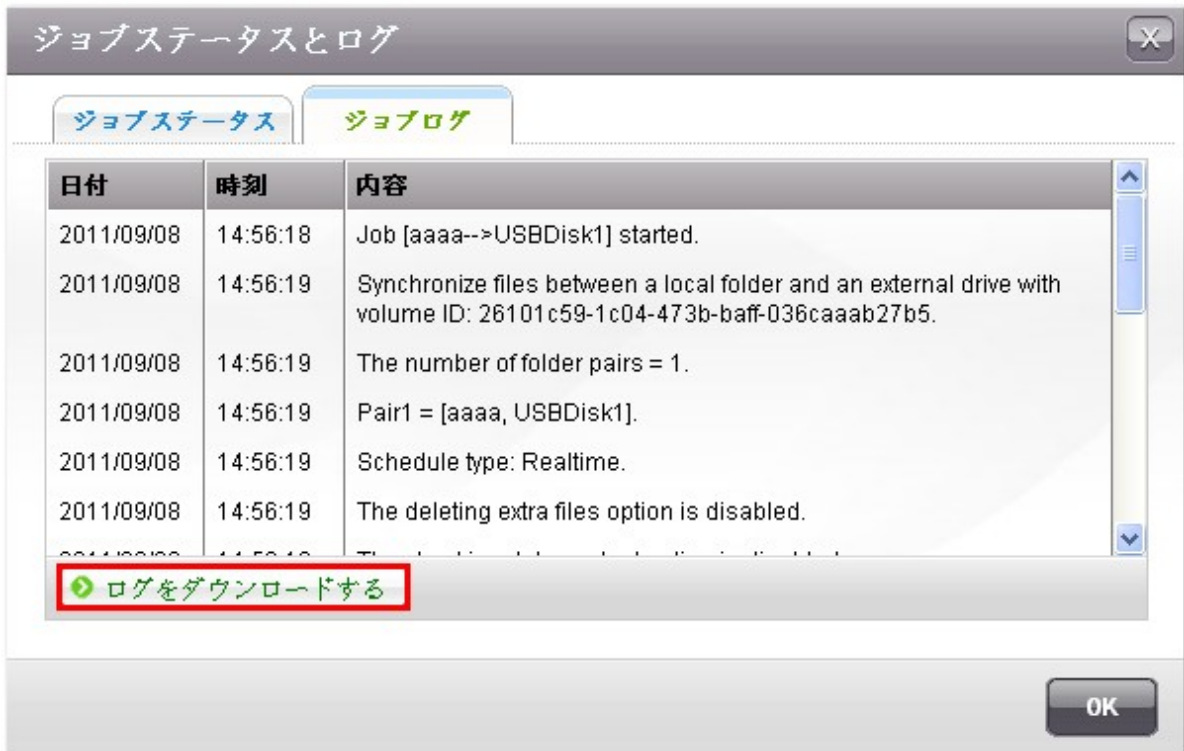
1. バックアップログをダウンロードするには、「Options (オプション)」>「Event Logs (イベントログ)」内の「Download Detailed Logs (詳細ログのダウンロード)」オプションが有効になっていることを確認します。



2. バックアップジョブの「Action (アクション)」カラムの  をクリックします。



3. 「Job Logs (ジョブログ)」に進み、「Download Logs (ログのダウンロード)」をクリックします。ログファイルは、Microsoft Excel または他のテキストエディタで開くことができます。このボタンは、「Options (オプション)」>「Event Logs (イベントログ)」の「Download Detailed Logs (詳細ログのダウンロード)」を有効にし、バックアップジョブを一度実行した後でのみ、利用可能になります。



8.5 USBワンタッチコピー

前面 USB ドライブから NAS またはその逆にデータをバックアップできるようにUSB ワンタッチボタンを有効にします。この機能はTS-809U-RP, TS-879U-RP, TS-EC879U-RP, TS-1279U-RP, TS-EC1279U-RPではサポートされません。

USB One Touch Copy

Configure the behavior of the USB one touch copy button to back up the data from the front USB drive to the NAS or vice versa.

Enable one touch copy button

Backup direction: The front USB drive --> NAS Backup method: Synchronize

WARNING! Files are copied from the source to the destination. Extra files on the destination will be deleted, files of the same names will be overwritten by the source. Source data will remain unchanged.

Handle sparse files efficiently

Source folder: Destination folder: ADD

Source folder	Destination folder	Action
/FrontUSB/Docs	→ /Multimedia/temp	

Unmount the front USB drive manually

Enable alarm buzzer

バックアップ方向：前面 USB ドライブから NAS または、NAS から 前面 USB ドライブ。

バックアップ方法：

- ディレクトリの作成:コピー先に新たなディレクトリが作成され、ソースデータはこのディレクトリにコピーされます。新たなディレクトリはバックアップの日付で名前が付けられます(年(4桁)月(2桁)日(2桁)同日中に二つ以上のバックアップがある場合、ディレクトリは年(4桁)月(2桁)日(2桁)-1、年(4桁)月(2桁)日(2桁)-2...というように名付けられます。
- コピー:データをコピー先の共フォルダにバックアップします。同一のファイルが存在する場合、コピー先のファイルは上書きされません。
- 同期化:データをコピー先の共フォルダにバックアップし、冗長ファイルを削除します。同一のファイルが存在する場合、コピー先のファイルは上書きされます。

注:ソースのストレージ機器に複数のパーティションが存在する場合、バックアップ先には、バックアップフォルダとして各パーティションに対し新規フォルダが作成されます。バックアップフォルダはバックアップの日付およびパーティション用の数値が名付けられます。パーティション1用には年(4桁)月(2桁)日(2桁)-1、パーティション2用には年(4桁)月(2桁)日(2桁)-2...のようになります。ソースのストレージ機器にはパーティションが1つしかない場合、バックアップフォルダは年(4桁)月(2桁)日(2桁)として名付けられます。

スパースファイルを効率的に扱う：スパースファイルとは、ゼロバイトデータの大きなブロックを含むコンピュータファイルのタイプです。このオプションをオンにするとバックアップにかかる時間を削減することができます。

バックアップ元およびバックアップ先フォルダ：バックアップ用のフォルダペアを指定し、「Add(追加)」をクリックします。最

大 9 件のフォルダペアを追加できます。

オプション：「Options (オプション)」をクリックして、バックアップジョブの通知方法を電子メール、SMS またはインスタントメッセージ (IM) から設定します。

前面 USB ドライブの手動マウント解除：有効な場合、コピーボタンを 8 ～ 10 秒間、USB の LED ライトがオフになるまで押し、NAS から前面 USB ドライブを取り外します。

アラームブザーの有効化：

- 1 回の短いビープ音：バックアップを開始しました。
- 2 回の短いビープ音：前面 USB ドライブのマウントを解除しています。

フロントUSBポートによるデータコピー

NASは外付けUSBデバイスからNASに、またはフロント[USBコピー]ボタンによるその他の方法によるインスタントデータコピーのバックアップをサポートします。この機能を使用するには、以下のステップに従ってください。

1. ハードドライブが取り付けられ、NASでフォーマットされていることを確認します。デフォルトのネットワーク共有 Qusb/ Usbが作成されます。
2. NASをオンにします。
3. 「データのバックアップ」 > 「USBのワンタッチコピーバックアップ」ページで、[コピー]ボタンの動作を構成します。
4. デジタルカメラやフラッシュなどのUSBデバイスをNASのフロントUSBポートに接続します。
5. Copy (コピーボタンを一度押します。NASの設定に従って、データがコピーされます。

注:増分バックアップがこの機能に使用されます。初回のデータバックアップの後は、NASは前回のバックアップ以降に変更があったファイルのみコピーします。



注:ファイルはソースからコピー先へとコピーされます。コピー先にあるその他のファイルは削除され、同一の名前のファイルはソースのファイルにより上書きされます。ソースのデータには変更はありません。

9. 外部デバイス

外部ストレージデバイス [\[68\]](#)

USBプリンタ [\[59\]](#)

UPS設定 [\[62\]](#)

9.1 外部ストレージデバイス

NAS は、ストレージ拡張用に、外部 USB および eSATA ストレージデバイス* をサポートします。ストレージデバイスを NAS の USB または eSATA インターフェースに接続し、デバイスの検出に成功すると、詳細がこのページに表示されます。

*サポートする USB および eSATA インターフェースの数は、モデルによって異なります。詳細は、<http://www.qnap.com> を参照してください。

NAS サーバーが、外部 USB デバイスを検出するには数十秒かかる場合があります。辛抱強くお待ちください。

外部ストレージデバイスは、FAT32、NTFS、EXT3、または、HFS+ (Mac のみ) ファイルシステムとしてフォーマットが可能です。「Format As (指定フォーマット)」の横のドロップダウンメニューからオプションを選択します。

高度なフォーマットオプション:

NAS は、外部ドライブの暗号化をサポートします。外部ストレージデバイスを暗号化するには、「Advanced format options (高度なフォーマットオプション)」をクリックします。暗号化方式を選択します: AES 128-、192- または 256- ビット。そして、パスワード (8 ~ 16 文字)を入力します。「Save encryption key (暗号化キーの保存)」を選択して、パスワードを NAS のハードドライブの隠された場所に保存します。NAS は、暗号化された外部ストレージデバイスが接続されると、毎回自動的にロック解除します。

指定フォーマット: EXT4

今すぐフォーマット 高度なフォーマットオプション

高度なフォーマットオプション

暗号化 AES 128 bits

パスワード ●●●●●●

パスワードの再入力 ●●●●●●

暗号化キーの保存

「Format Now (指定フォーマット)」をクリックします。全データが消去されます。ディスクの初期化が完了後、デバイスは「Ready (準備完了)」になります。

外部ストレージデバイス

USBDisk1

製造元: USB 2.0

モデル: Flash Disk

デバイスタイプ: USB 2.0

合計空きサイズ: 1.91 GB / 1.84 GB

ファイルシステム: EXT4

ステータス: 準備完了

暗号化管理

指定フォーマット: EXT4

今すぐフォーマット 高度なフォーマットオプション

取り出し: ディスクパーティションの切断

デバイスの取り外し

暗号化管理

NAS により外部ストレージデバイスが暗号化されると、「Encryption Management (暗号化管理)」ボタンが表示されます。このボタンをクリックして、暗号化パスワード/キーを管理し、または、デバイスをロック/ロック解除します。

外部ストレージデバイス

USBDisk1	製造元:	USB 2.0
	モデル:	Flash Disk
	デバイスタイプ:	USB 2.0
	合計/空きサイズ:	1.91 GB / 1.84 GB
	ファイルシステム:	EXT4
	ステータス:	準備完了  暗号化管理
	指定フォーマット:	<input type="button" value="今すぐフォーマット"/> 高度なフォーマットオプション
	取り出し:	<input type="button" value="ディスクパーティションの切断"/> <input type="button" value="デバイスの取り外し"/>

デバイスのロック

注:リアルタイムのまたは定期的なバックアップジョブが実行中は、外部ストレージでバイスをロックできません。バックアップジョブを無効にするには、「Backup (バックアップ)」>「External Drive (外部ドライブ)」に移動します。

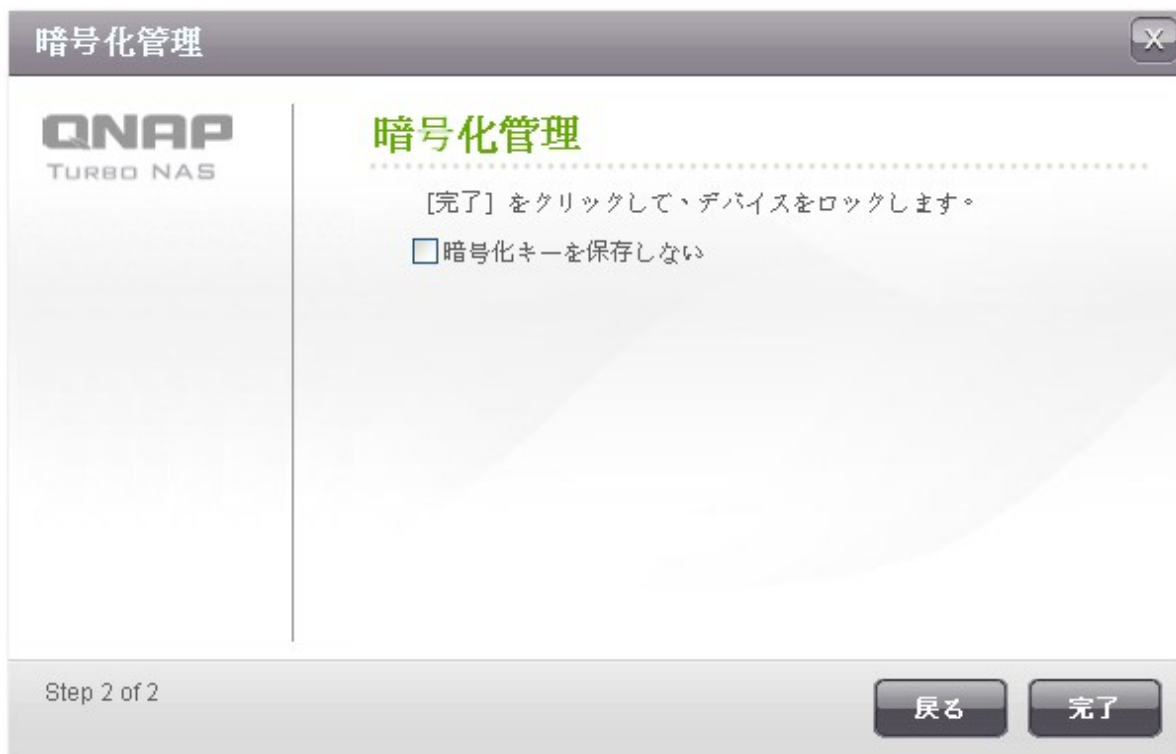
1. 暗号化された外部ストレージデバイスをロックするには、「Encryption Management (暗号化管理)」をクリックします。



2. 「Lock this device (このデバイスをロックする)」を選択し、「Next (次へ)」をクリックします。



3. 「Finish (完了)」をクリックして、デバイスをロックします。



デバイスのロック解除

1. 暗号化された外部ストレージデバイスをロック解除するには、「Encryption Management (暗号化管理)」をクリックします。



2. 「Unlock the device (このデバイスをロック解除する)」を選択し、「Next (次へ)」をクリックします。



3. 暗号化パスワードを入力するか、キーファイルをアップロードします。「Save encryption key (暗号化キーの保存)」を選択して、パスワードを NAS のハードドライブの隠された場所に保存します。NAS は、暗号化された外部ストレージデバイスが接続されると、毎回自動的にロック解除します。「Finish (完了)」をクリックします。

暗号化管理

QNAP
TURBO NAS

暗号化管理

このデバイスは次によりロック解除されます：

パスワード キーファイル

パスワード:

暗号化キーの保存

Step 2 of 2

戻る 完了

暗号化キーの管理

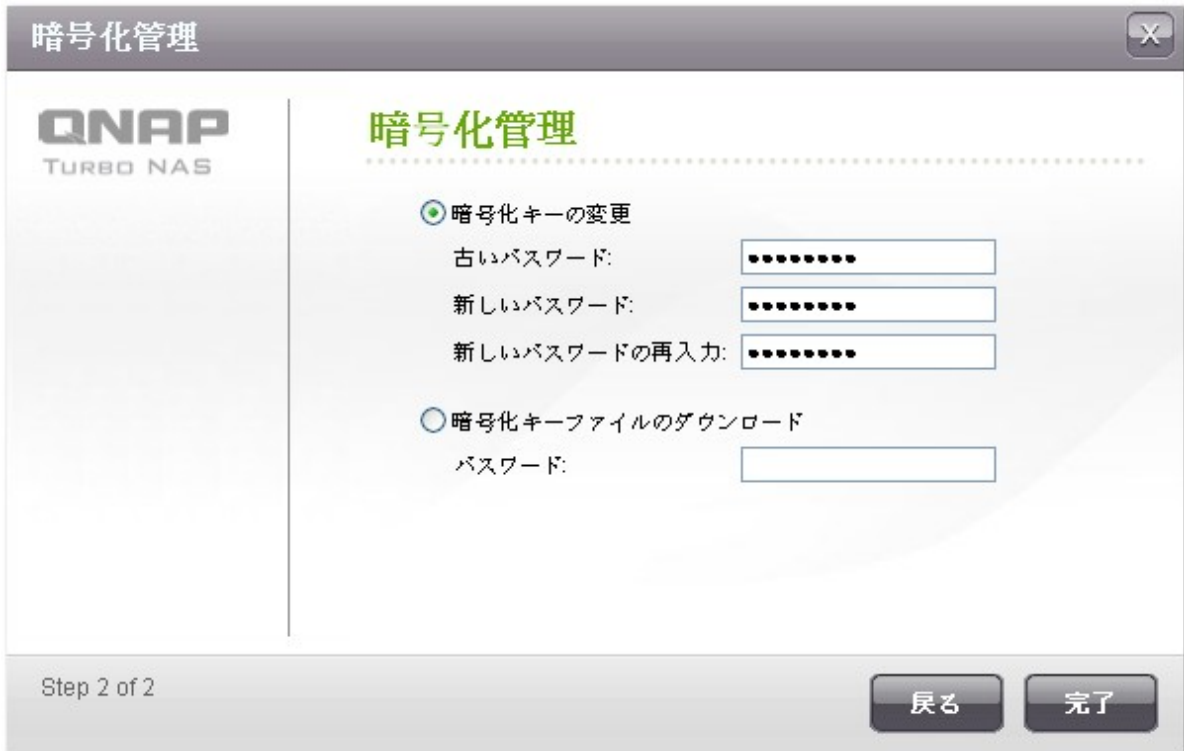
1. 暗号化パスワードの変更、または、暗号化キーファイルをダウンロードするには、「Encryption Management (暗号化管理)」をクリックします。



2. 「Manage encryption key (暗号化キーの管理)」を選択します。「Next (次へ)」をクリックします。



3. 暗号化キーの変更または、暗号化キーファイルのダウンロードを選択します。「Finish（完了）」をクリックします。



暗号化管理

暗号化管理

暗号化キーの変更

古いパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの再入力:

暗号化キーファイルのダウンロード

パスワード:

Step 2 of 2

戻る 完了

1 ドライブモデル用ディスク利用設定

1 ドライブモデルの NAS へ外部ストレージデバイスを接続するには次のうち 1 つの設定を選択します：

- データ共有：外部ドライブを NAS のストレージ拡張用に使います。
- Q-RAID 1：外部ドライブと NAS 上のローカルハードドライブを Q-RAID 1 として設定します。Q-RAID 1 は、NAS から外部ストレージデバイスへの一方方向のデータ同期を可能にしますが、RAID 冗長性には影響を与えません。Q-RAID 1 が実行されているとき、外部ドライブはフォーマットされません。

外部ストレージデバイス

外部ストレージデバイス

USBdisk1	製造元:	WDC WD75
	モデル:	00KEVT-00A28T0
	デバイスタイプ:	USB 2.0
	合計/空きサイズ:	698.63 GB / 685.93 GB
	ファイルシステム:	EXT4
	ステータス:	準備完了
	指定フォーマット:	<input type="button" value="今すぐフォーマット"/> 高度なフォーマットオプション
		<input type="button" value="ディスクパーティションの切断"/>
		<input type="button" value="デバイスの取り外し"/>

取り出し:

ハードウェアデバイスを取り外すには、[デバイスの取り外し]をクリックしてください。デバイスが画面に表示されなくなれば、安全に取り外すことができます。

注: デバイスの保護のため、使用中のデバイスは取り外さないでください。

ディスク使用設定:

データ共有

Q-RAID 1

Q-RAID 1 が一度実行され、NAS に外部ストレージデバイスが接続されると、自動的に NAS のデータが外部ストレージデバイスにコピーされます。

注:

- 一度に Q-RAID 1 として設定できる外部ハードディスクは 1 台のみです。
- NAS の内部ハードドライブと同じ容量の外部ストレージデバイスの利用を推奨します。外部ストレージデバイスのストレージ容量が内部ハードドライブの同期用に小さ過ぎる場合、デバイスはデータ共有用のみ利用可能です。

9.2 USBプリンタ

NASは、Windows、Mac、Linux (Ubuntu)環境のローカルネットワークおよびインターネット上で、ネットワーク印刷共有サービスをサポートします。最大3台のUSBプリンタがサポートされます。

NASでUSBプリンタを共有するには、プリンタをNASのUSBポートに接続します。プリンタは自動的に検出され、プリンタの情報が表示されます。

ホーム >> 外付けデバイス >> USBプリンタ

ようこそ admin | ログアウト 日本語

USBプリンタ

プリンター オプション

USBプリンタ

プリンターの共有を停止し、スプールを削除する

製造元: Hewlett-Packard
モデル: HP LaserJet 2200
状態: 準備完了

スプールデータの削除:

Bonjourプリンター対応

サービス名:

ユーザ:

ユーザ	ソースIP	ファイル名	状態	動作
合計: 0 各ページ 10 エントリーずつ表示				

注:

- USBプリンタをサーバに接続する前に、ソフトウェアの設定を完了してください。
- NASは一般のUSBプリンタだけでなく、多機能プリンタにも対応しています。
- プリンタジョブテーブルのファイル名表示は、IPP (インターネット印刷プロトコル) 接続経由で送信されるプリンタジョブでのみ使用できます。
- 対応しているUSBプリンタの型番情報については、<http://www.qnap.com>を参照してください。

プリンタ共有の停止と印刷スプールのクリア

このオプションを選択すると、接続したプリンタの印刷共有が一時的に無効になります。プリンタスプールのすべてのデータも消去されます。

プリンタのスプールスペースの除去

[Clean Now(今消去する)]をクリックしてプリンタスプールに保存したデータを除去します。

Bonjourプリンタサポート

このオプションを選択して、Bonjour経由でMacユーザーに印刷サービスを送信します。Bonjourでプリンタを見つけられるサービス名を入力します。名前には、「a-z」、「A-Z」、「0-9」、ドット(.)、コンマ(,)、ダッシュ(-)のみを含めることができます。

「Options(オプション)」タブで他のプリンタオプションを設定できます。

プリンター オプション

オプション

プリンタあたりの最大ジョブ数: 500

IPアドレスまたはドメイン名を入力してください: ⓘ

アクセス権: 制限なし

*

適用

プリンタあたりの最大プリンタジョブ

プリンタあたりのプリンタジョブの最大数を指定します。プリンタは1,000までのプリンタジョブをサポートします。プリンタジョブの最大数に達すると、もっとも古いプリンタジョブは最新ジョブに置き換えられます。

印刷アクセスを許可または拒否するIPアドレスまたはドメイン名を入力する

NASの印刷サービスを使用するために特定のIPアドレスまたはドメイン名を許可または拒否するには、「Allow printing(印刷の許可)」または「Deny printing(印刷の拒否)」を選択し、IPアドレスまたはドメイン名を選択します。アスタリスク(*)はすべての接続を意味します。すべてのユーザーがプリンタを使用できるようにするには、「No limit(制限なし)」を選択します。「Apply(適用)」をクリックして設定を保存します。

注:この機能は、Sambaではなく、IPPとBonjour経由で設定された印刷サービスでのみ作動します。

IPアドレスまたはドメイン名を入力してください: ⓘ

アクセス権: 制限なし


制限なし
印刷を許可する
印刷を拒絶する



*


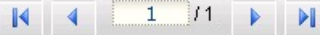
適用

プリンタジョブの一時停止、再開、削除

進行中または保留中のジョブの一時停止またはキャンセル、一時停止中ジョブの再開、または完了または保留中ジョブの削除を行うことができます。

ユーザ	ソースIP	ファイル名	状態	動作
Chan	10.8.12.105	Microsoft Word Document1	completed (14/Jan/2011:15:37:30)	

ユーザ:   クリア

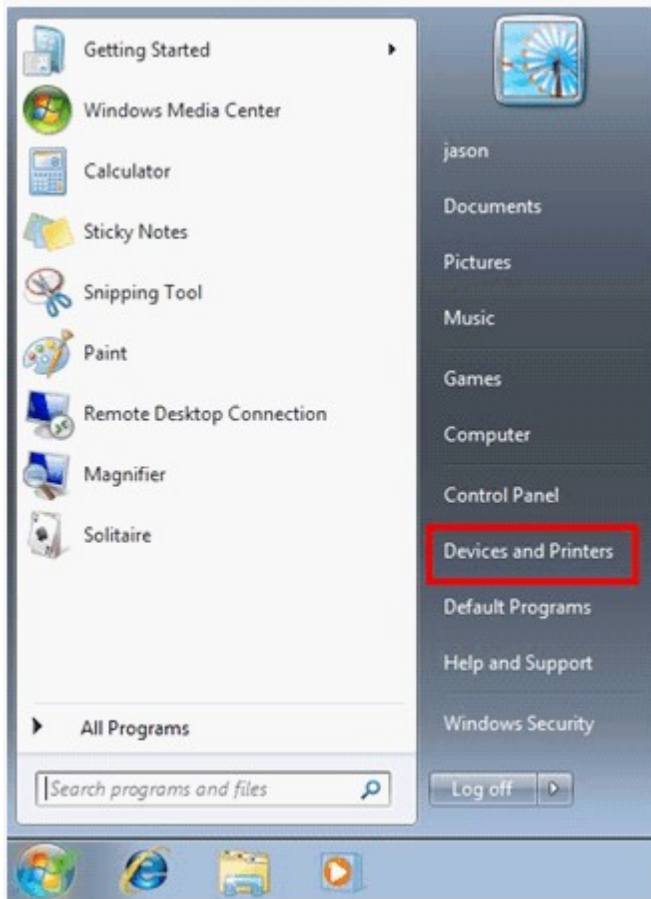
合計: 1 | 各ページ 10  エントリーずつ表示。 

注:印刷が進行中のときまたは待ち行列のジョブがあるとき、NASを再起動したりシステムファームウェアを更新したりしないでください。これを守らないと、シーケンスジョブはキャンセルされ削除されます。

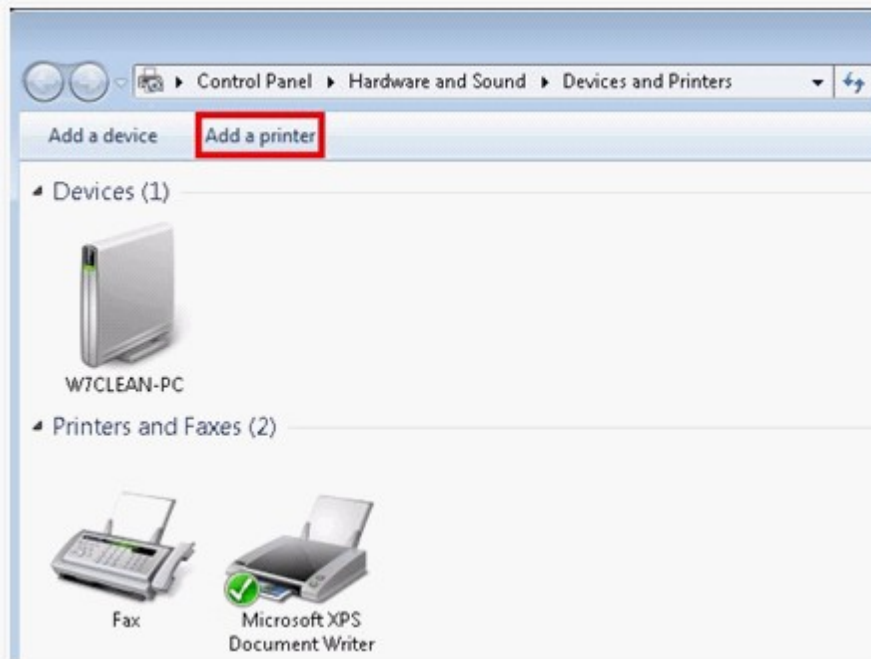
9.2.1 Windows 7, Vistaユーザー

次の説明はWindows 7に適用されます。

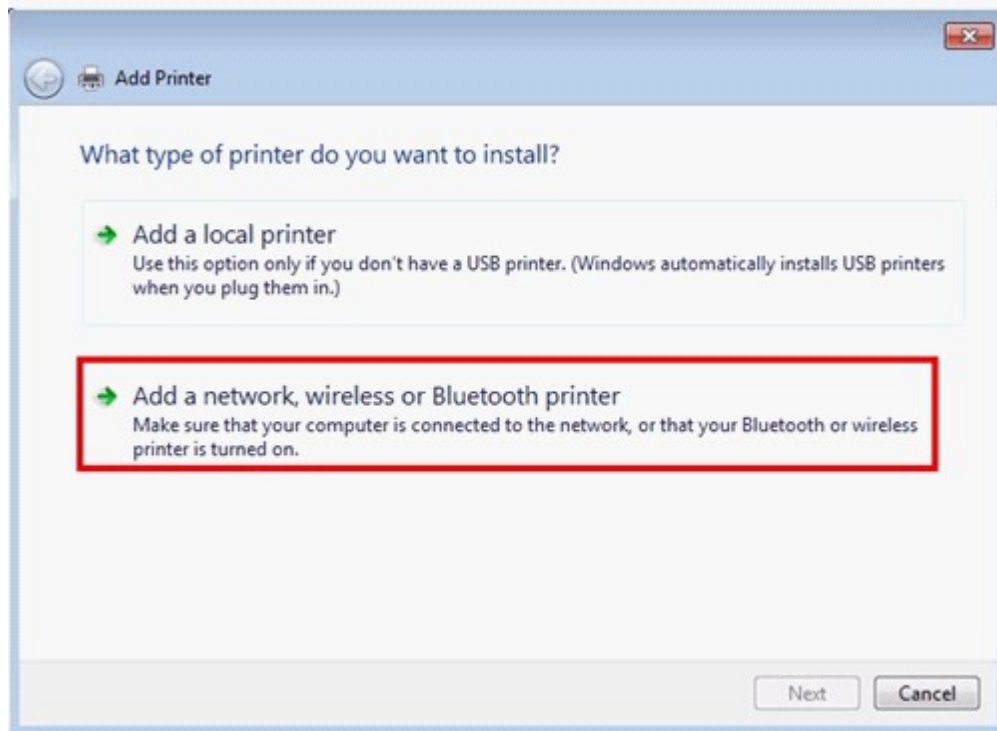
1. 「Devices and Printers (デバイスとプリンタ)」に進んでください。



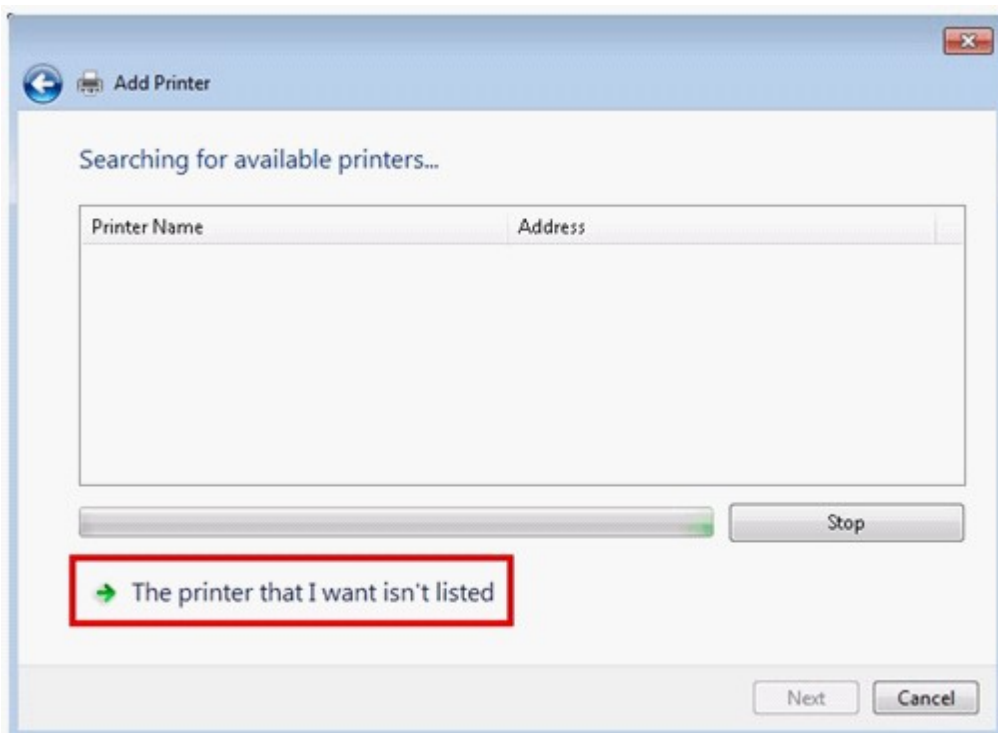
2. 「Add a printer(プリンタの追加)」をクリックします。



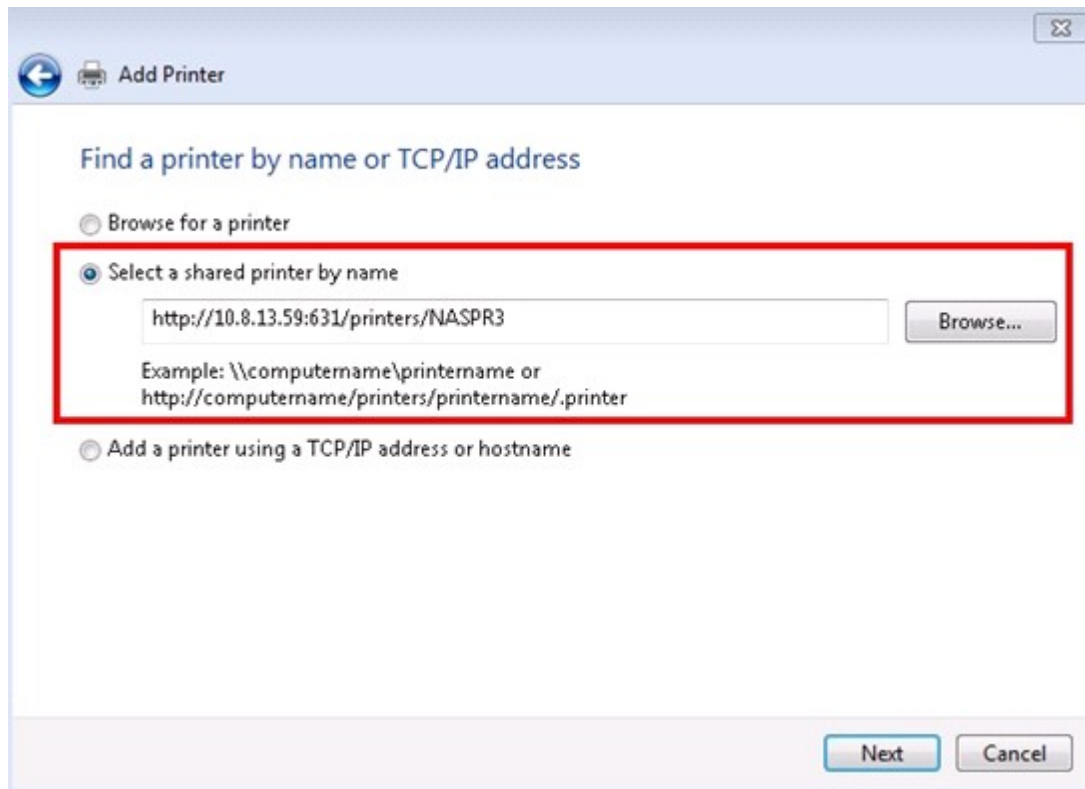
3. 「Add printer(プリンタの追加)」ウィザードで、「Add a network, wireless or Bluetooth printer(ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothの追加)」をクリックします。



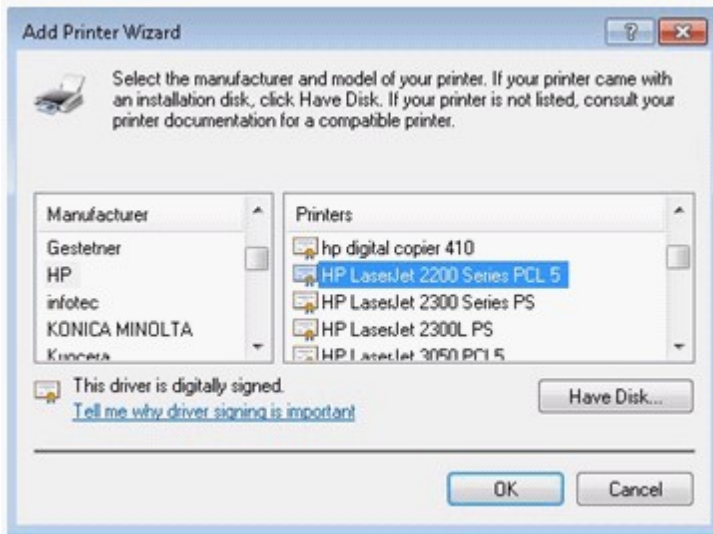
4. Windowsが利用可能なネットワークプリンタを検索している間、「希望するプリンタが一覧にありません」をクリックします。



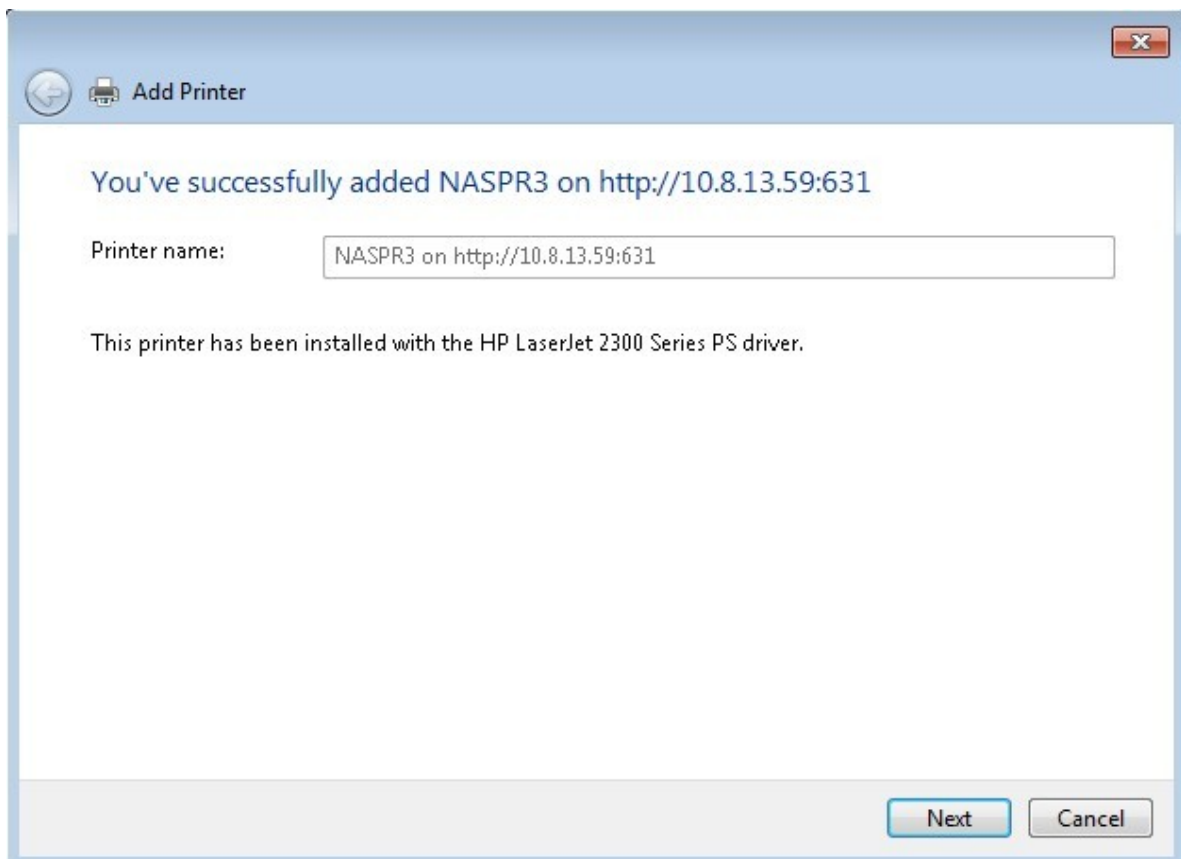
5. 「名前でも共有されたプリンタを選択する」をクリックしてから、ネットワークプリンタのアドレスを入力します。アドレスは次の形式です - `http://NAS_IP:631/printers/ServernamePR`。プリンタをリモートで印刷する場合、NAS_IPをドメイン名アドレスにすることもできます。例えば、`http://10.8.13.59:631/printers/NASPR3`



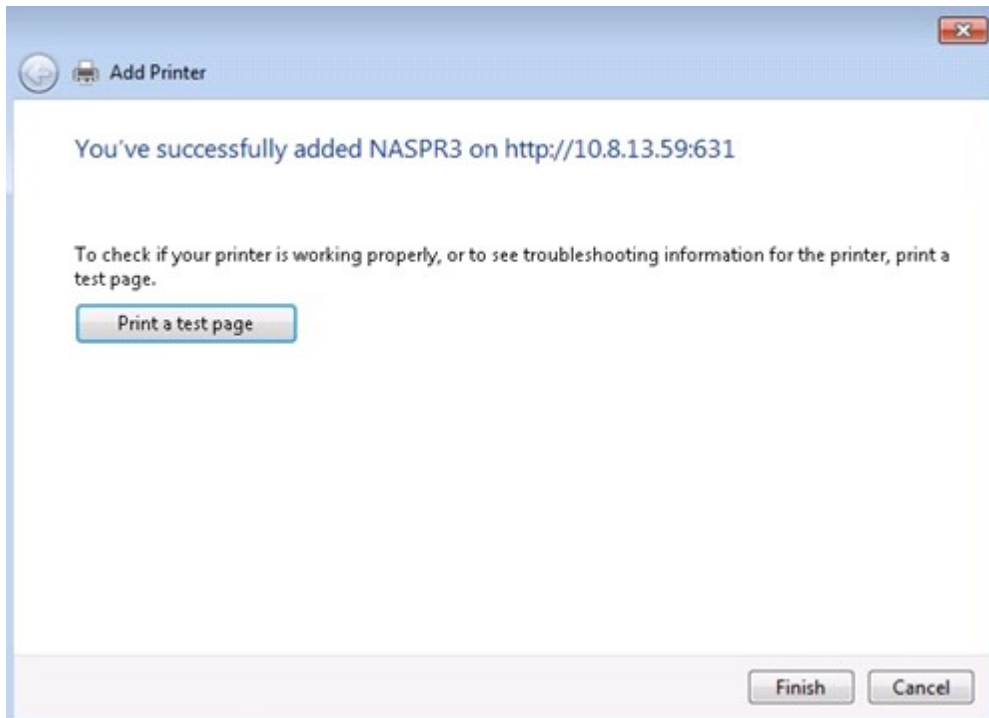
6. 正しいプリンタドライバを求めるプロンプトが表示されます。Windowsオペレーティングシステムに組み込まれていない場合、メーカーのWebサイトから最新のプリンタドライバをダウンロードすることもできます。



7. 正しいプリンタドライバをインストールした後、新しいネットワークプリンタのアドレスとドライバが表示されます。



8. デフォルトのプリンタとしてネットワークプリンタをセットアップしたり、テストページを印刷することもできます。「FINISH(終了)」をクリックしてウィザードを終了します。

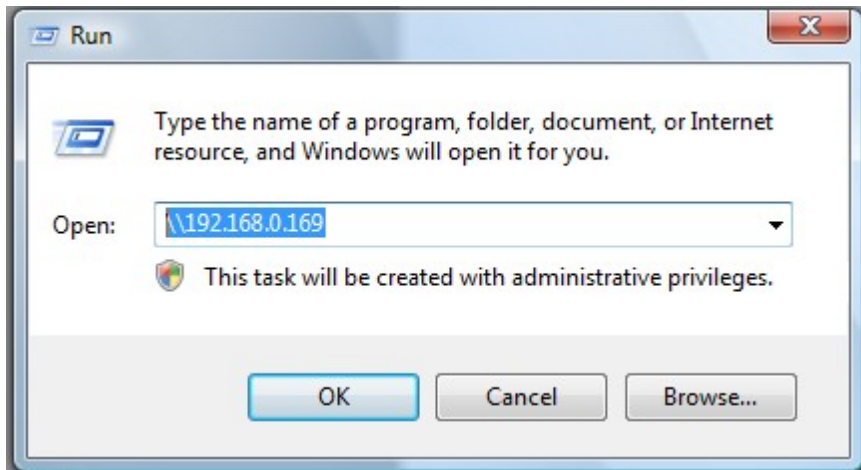


9. 新しいネットワークプリンタが印刷できるようになります。

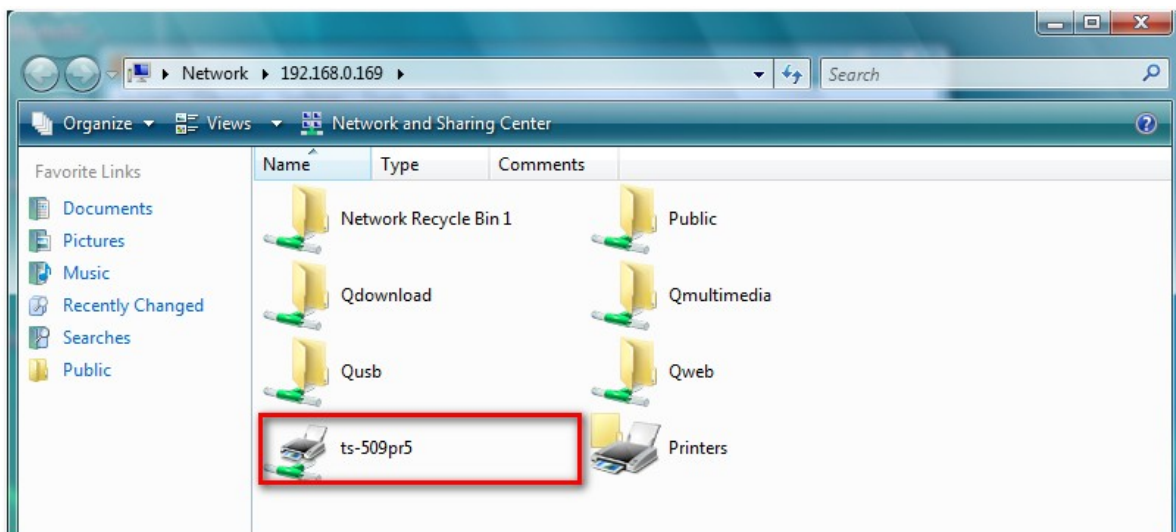
次の説明はWindows 7とVista OSに適用されます。

以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

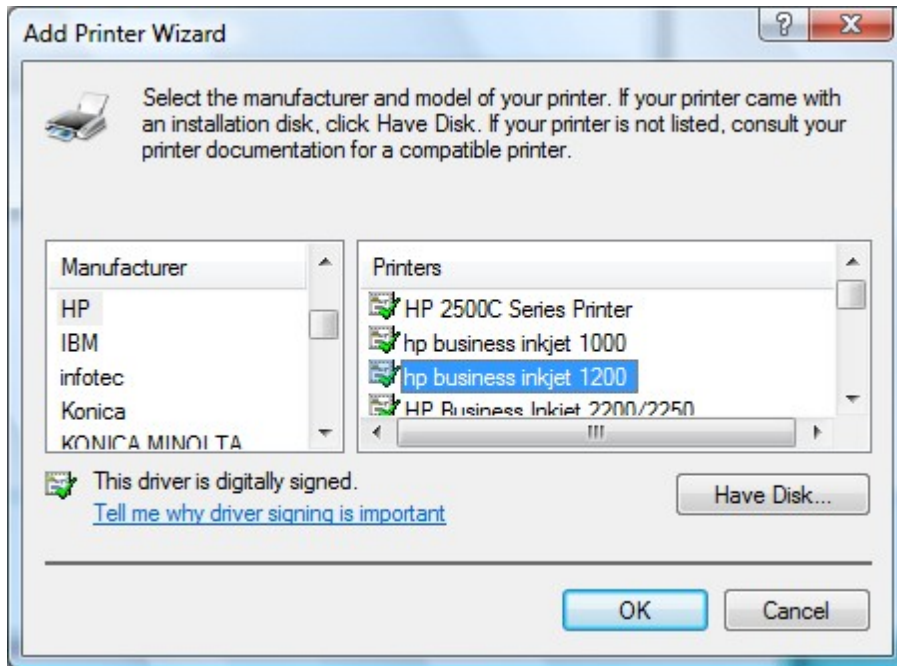
1. "Run" (ファイル名を指定して実行)メニューで、\\NAS IPを入力します。



2. ネットワークプリンタアイコンを見つけ、それをダブルクリックします。



- 正しいプリンタドライバをインストールします。



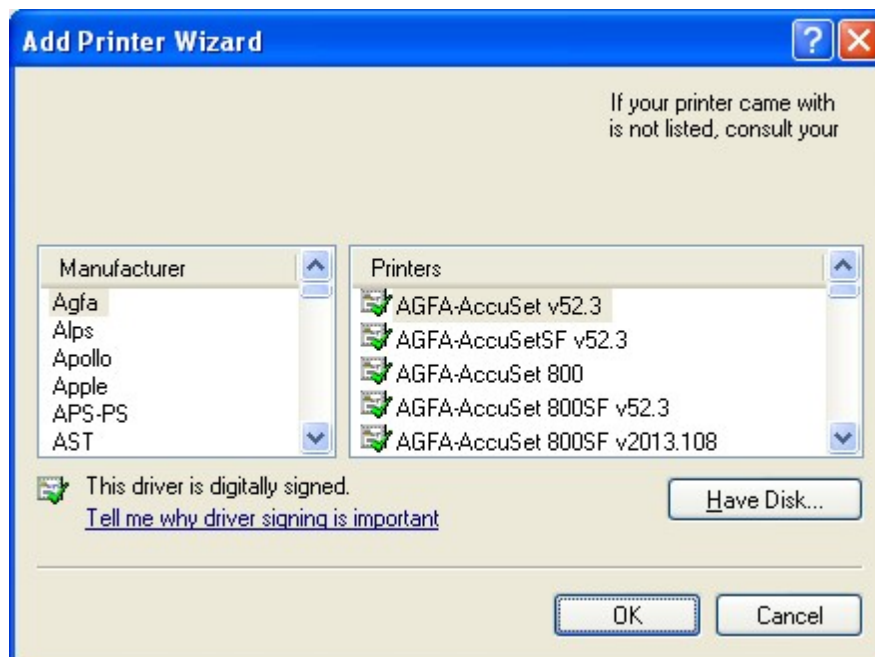
- 完了したら、テストページを印刷してプリンタの使用準備ができていることを確認します。

9.2.2 Windows XPユーザー

以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

方式1

1. Windows Explorerで\\NAS IPを入力します。
2. プリンタアイコンが、サーバの共有フォルダに表示されます。アイコンをダブルクリックします。
3. プリンタドライバをインストールします。



4. 終了すると、NASのネットワークプリンタサービスを使用できるようになります。

方式2

次の設定方式はWindows XPでのみ確認されています：

1. [プリンタとFAXを開きます]。
2. 既存のネットワークプリンタがある場合、それを削除します。
3. プリンタとFAXウィンドウで空白領域を右クリックします。[サーバーのプロパティ]を選択します。
4. [ポート]タブをクリックし、以前のネットワークプリンタに対して設定されていたポートがあれば、それを削除します。
5. PCを再起動します。
6. プリンタとFAXを開きます。
7. [プリンタの追加をクリックし、[次へ]をクリックします。
8. [このコンピュータに接続されたローカルプリンタ]を選択します。[次へ]をクリックします。
9. [新規ポートの作成]をクリックし、ドロップダウンメニューから[ローカルポート]を選択します。[次へ]をクリックします。
10. ポート名を入力します。形式は\\NAS IP\NAS名prです。たとえば、NAS IP= 192.168.1.1, NAS名= myNAS、リンクは\\192.168.1.1\myNASprです。
11. プリンタドライバをインストールします。
12. テストページを印刷します。

9.2.3 Mac OS 10.6

Mac OS X 10.6をご使用の場合は、以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

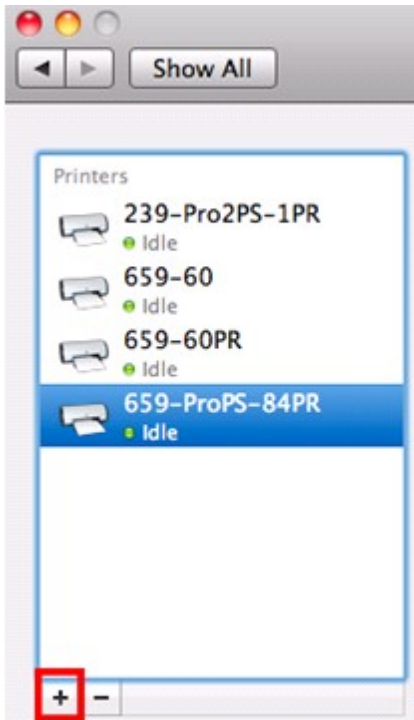
1. まず、「External Device(外部デバイス)」>「USB Printer(USBプリンタ)」を順にクリックして、BonjourプリンタサポートがNASで有効になっていることを確認します。サーバー名をプリンタによりふさわしい名前に変更することができます。



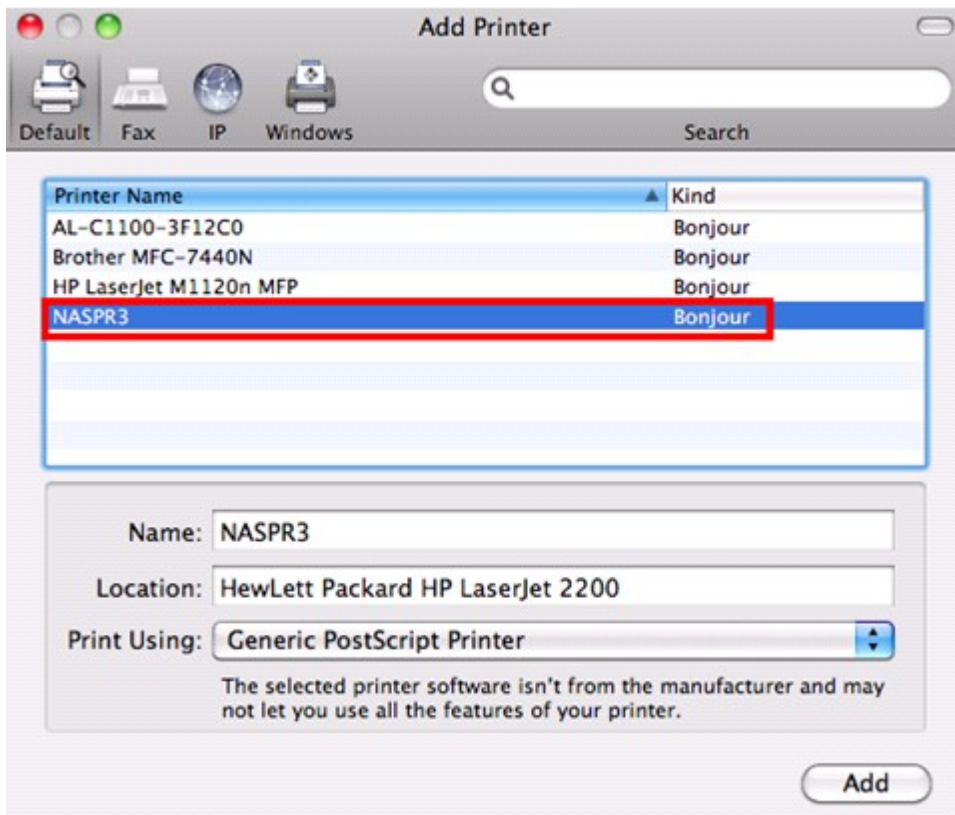
2. Macの場合、「System Preferences(システム初期設定)」をポイントし、「Print & Fax(プリンタとファックス)」をクリックします。



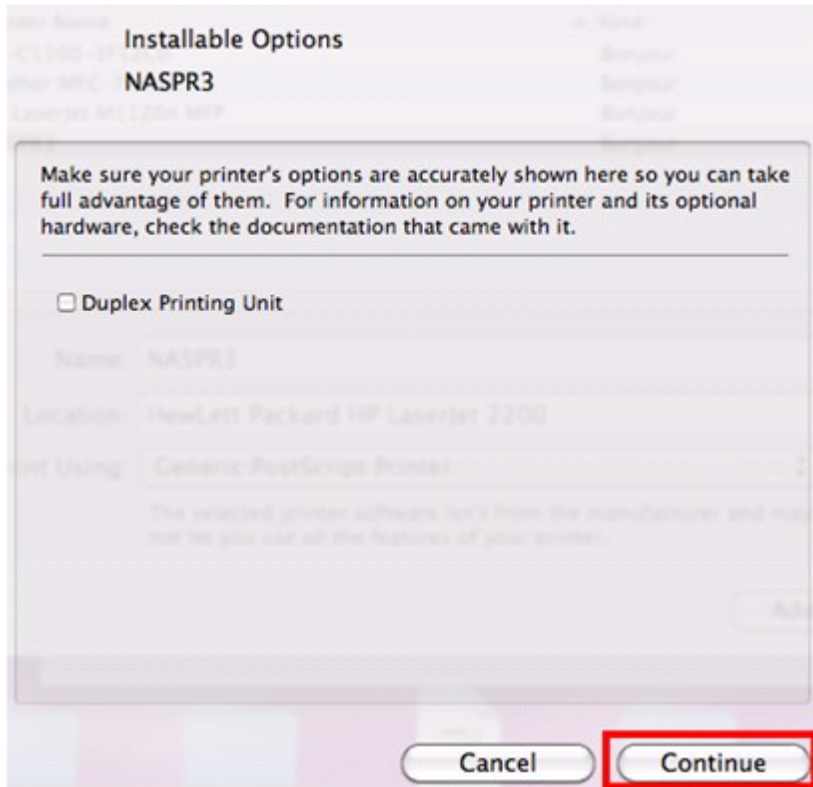
3. 「Print & Fax (プリンタとファックス)」ウィンドウで、+ をクリックして新しいプリンタを追加します。



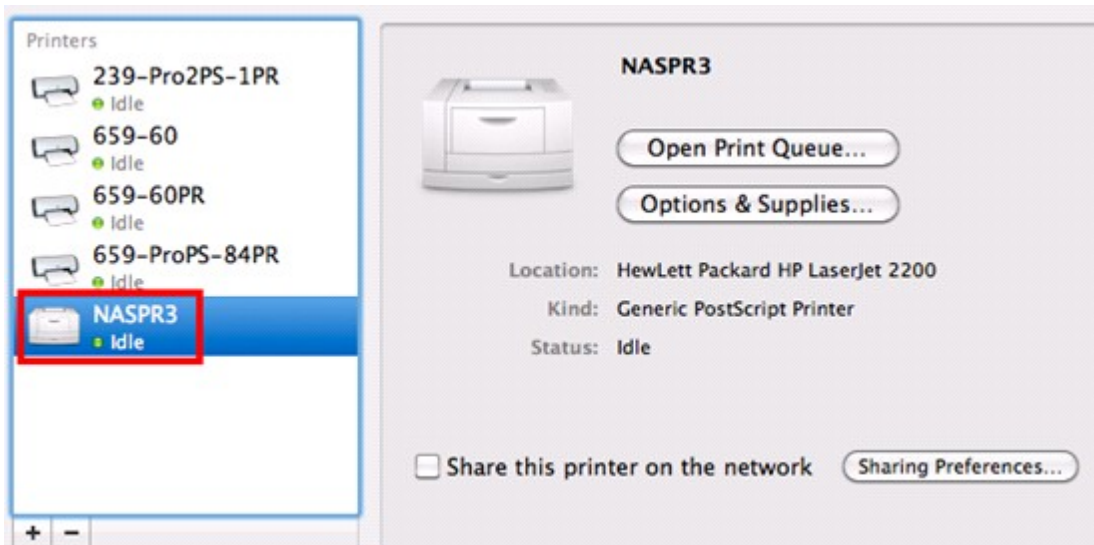
4. USBネットワークプリンタは、Bonjour経由で一覧表示されます。デフォルトのプリンタドライバを選択するか、プリンタメーカーのWebサイトから最新のドライバをダウンロードしてインストールすることができます。「Add (追加)」をクリックしてこのプリンタを追加します。



5. お使いのプリンタで追加オプションが利用できるようになります。「Continue (続行)」をクリックします。



6. 新しいネットワークプリンタが印刷できるようになります。



9.2.4 Mac OS 10.5

Mac OS X 10.5をご使用の場合は、以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

1. プリンタがNASに接続され、"USBプリンタ"ページに情報が正しく表示されていることを確認してください。
2. 「ネットワーク設定」 > 「Microsoftネットワーク」に移動します。NAS用のワークグループ名を入力します。この情報は後に必要となります。

ホーム >> ネットワーク サービス >> Microsoft ネットワーク ようこそ admin | ログアウト 日本語

Microsoft ネットワーク

MICROSOFT ネットワーク 詳細オプション

Microsoftネットワーク向けのファイルサービスを有効にする

サーバの説明(任意):

ワークグループ:

スタンドアロンサーバ

ADドメインメンバ(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。

LDAPドメイン認証(ドメインセキュリティを有効にするには、ここをクリックしてください)。

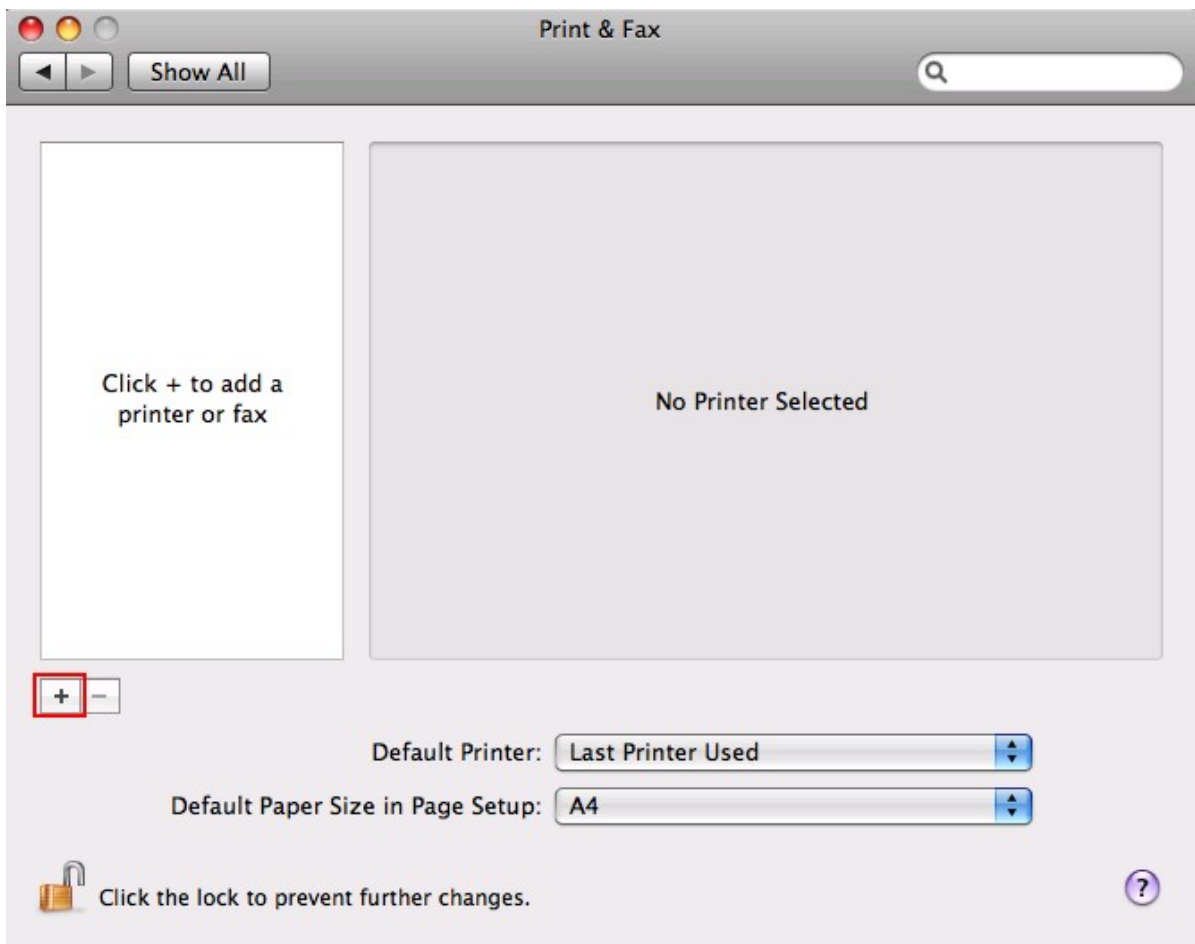
現在のSamba ID S-1-5-21-325120726-1639715159-2191483818

適用

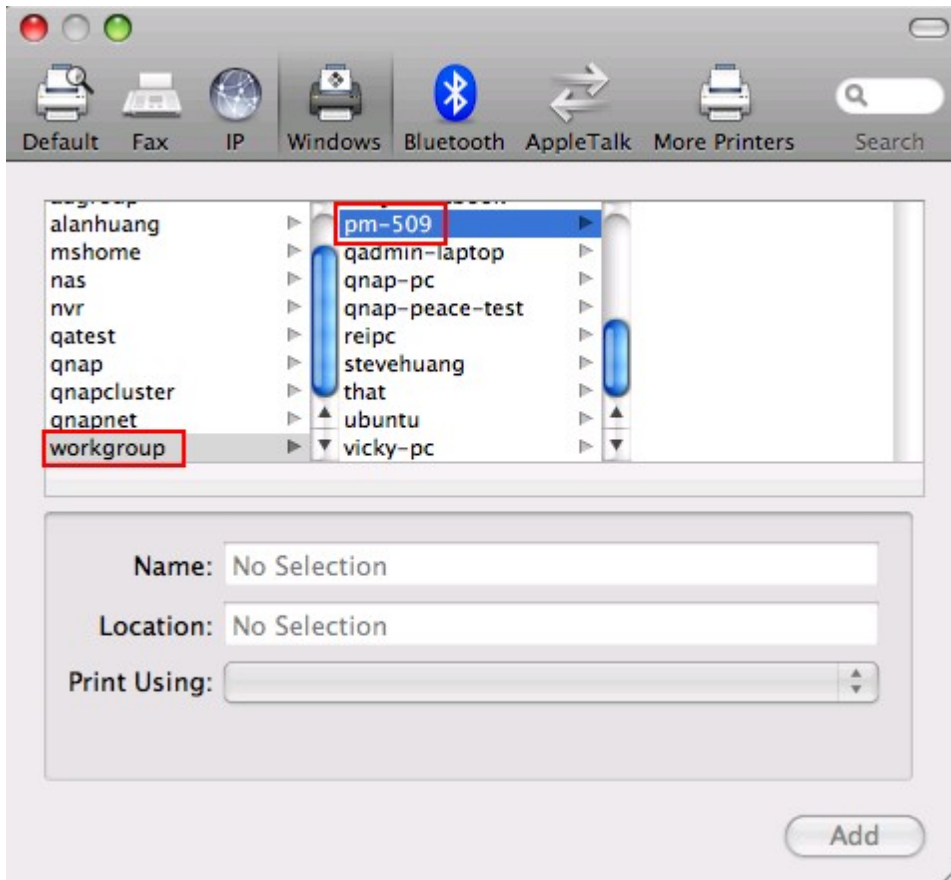
3. Macの「印刷とファックス」に移動します。



4. +をクリックして新規プリンタを追加します。



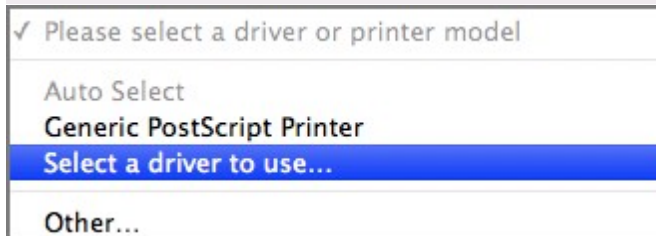
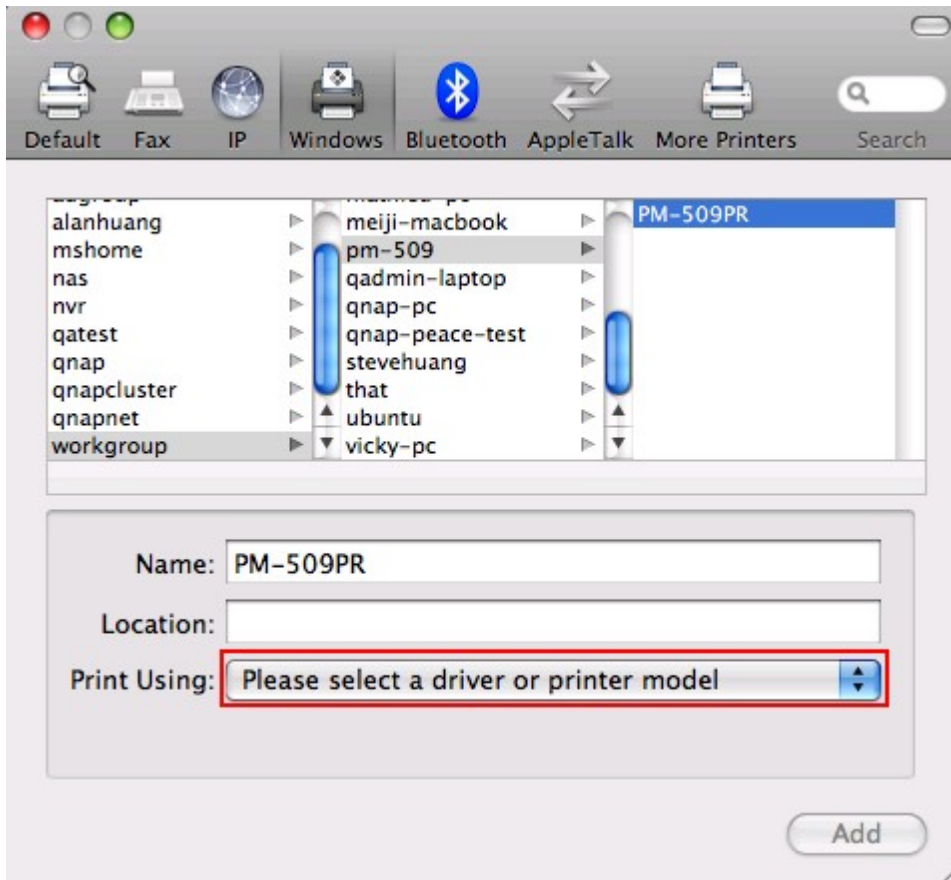
5. NASワークグループを選択し、続いてプリンタ名を選択します。



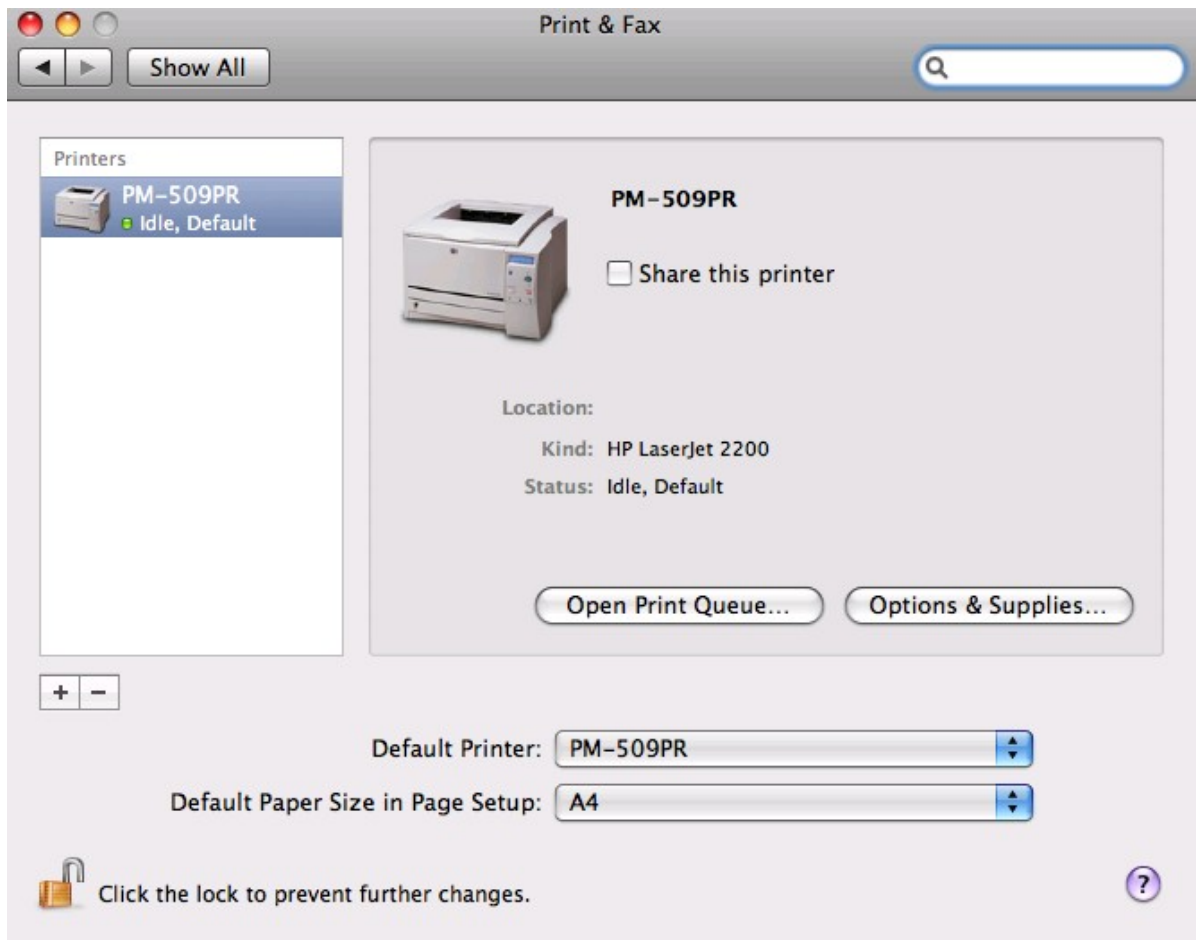
6. ユーザー名及びパスワードを入力し、NAS上のプリンタサーバにアクセスします。



7. プリンタドライバを選択します。



8. プリンタドライバが正常にインストールされると、プリンタの使用を開始することができます。



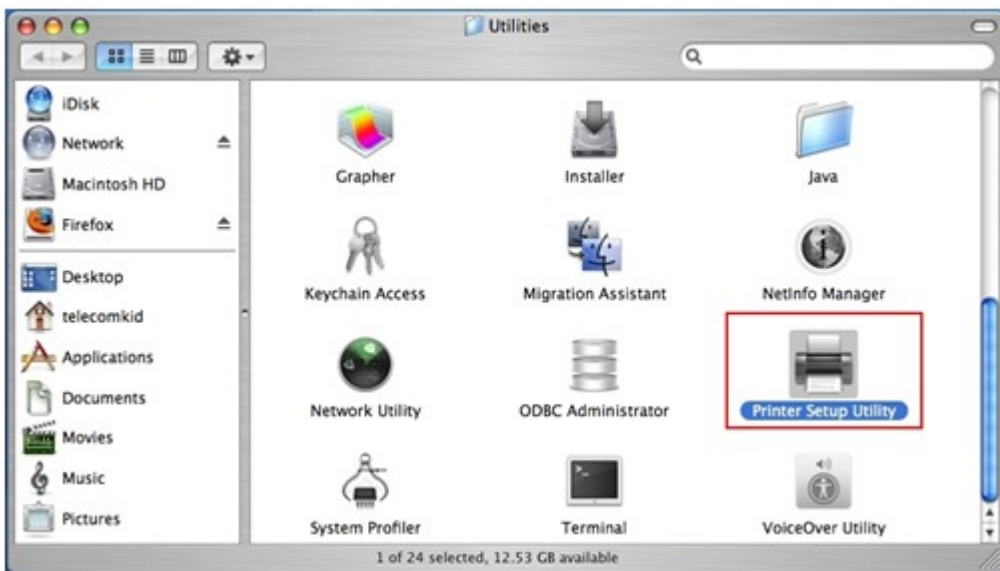
9.2.5 Mac OS 10.4

Mac OS X 10.4をご使用の場合は、以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

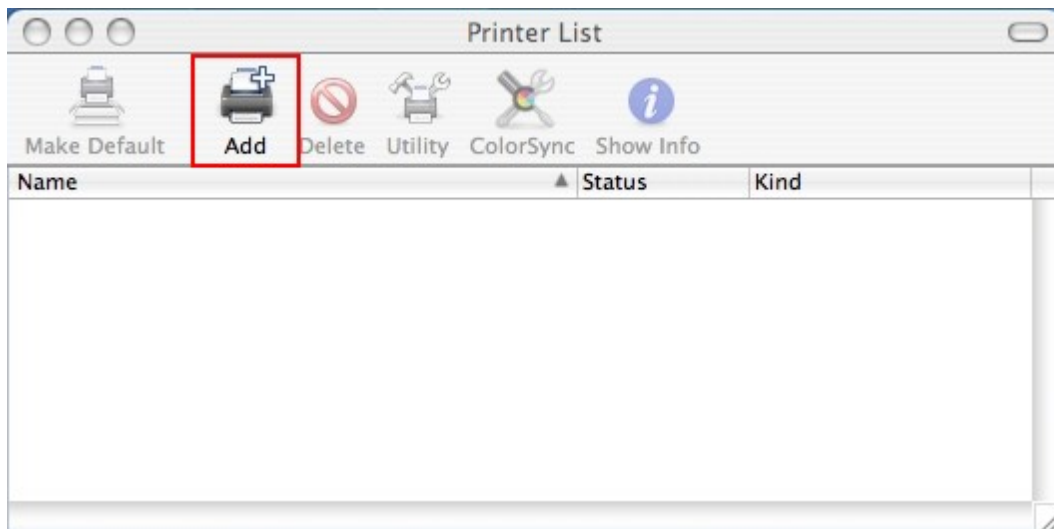
1. ツールバーで、[移動/ ユーティリティ]をクリックします。




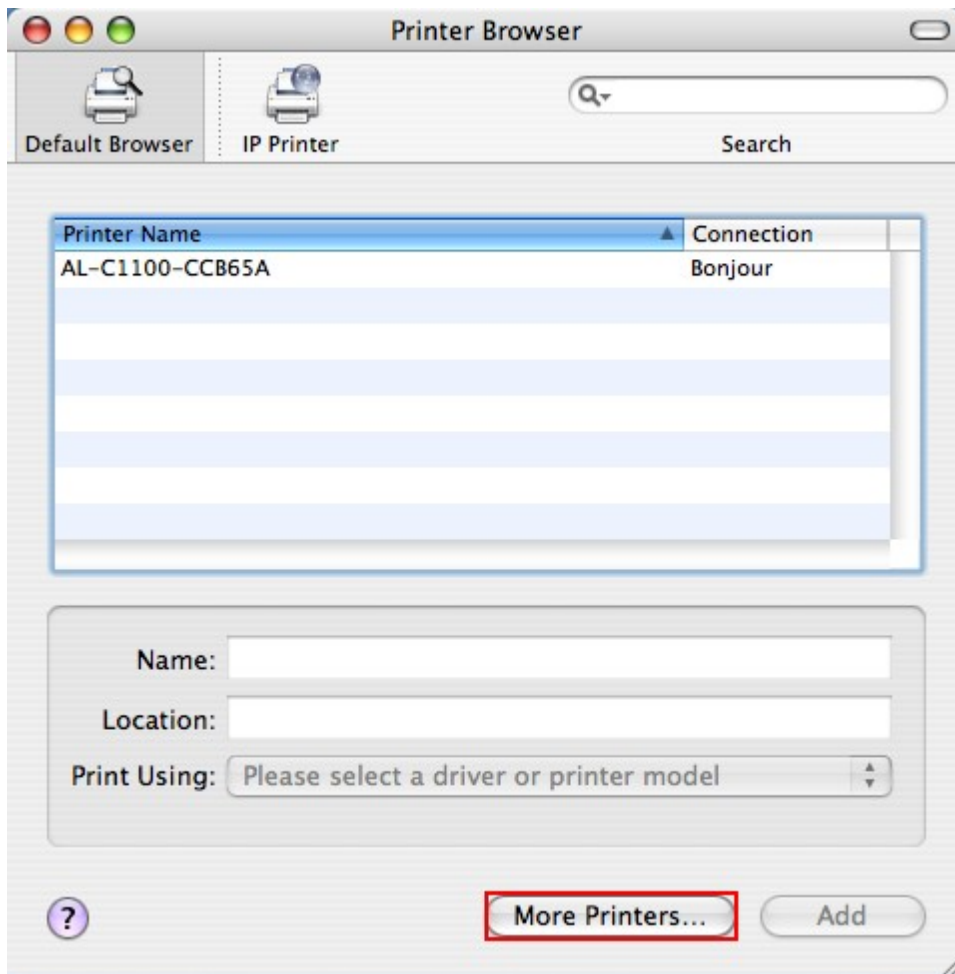
2. [プリンタセットアップユーティリティ]をクリックします。



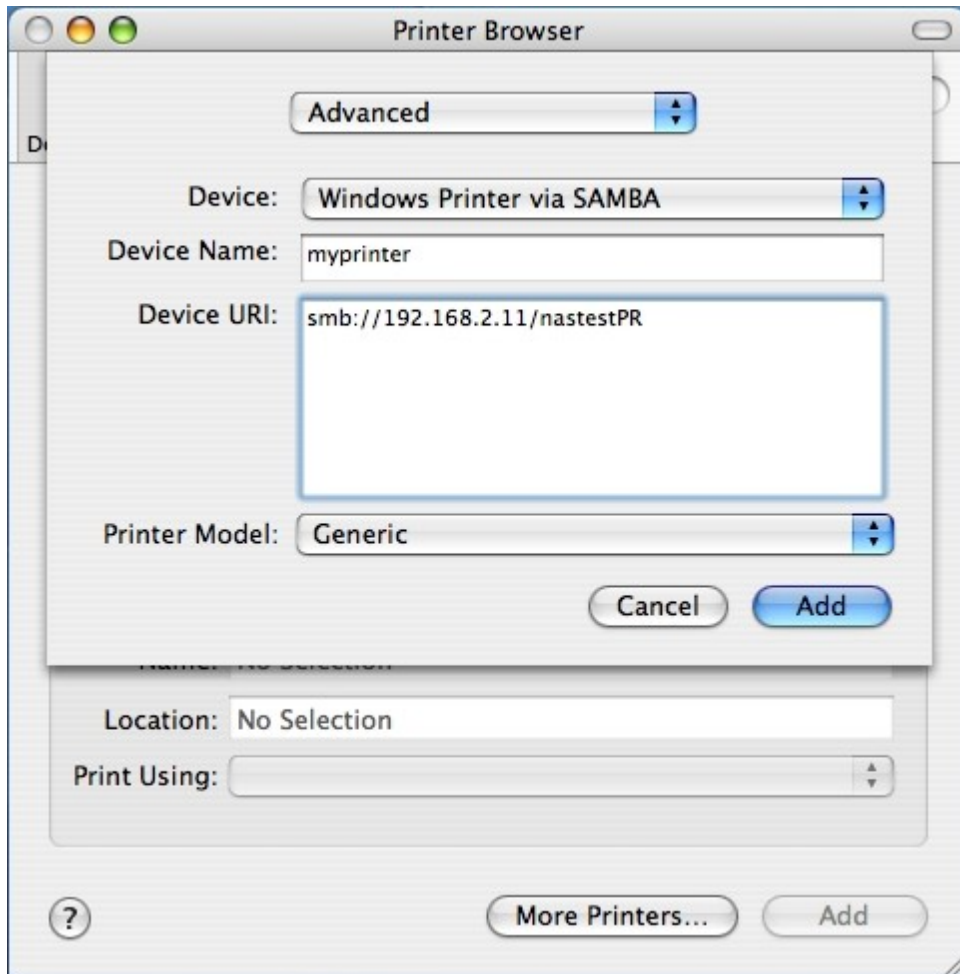
3. [追加]をクリックします。



4. キーボードでaltキー  を押し下げながら、同時に[プリンタの追加]をクリックします。

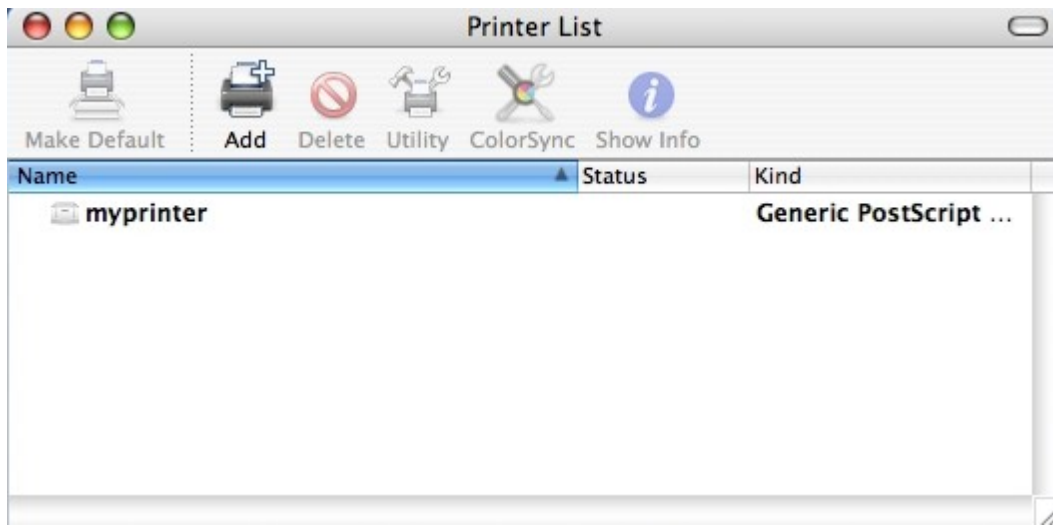


5. ポップアップウィンドウで、次の操作を実行します。
 - a. [詳細設定]を選択します。
 - b. [SAMBAを組み込んだWindowsプリンタ]を選択します。
 - c. プリンタ名を入力します。
 - d. プリンタのURIを入力します。形式はsmb://NAS IP/printer名です。プリンタ名はデバイス設定/ USBプリンタページに出ています。
 - e. プリンタモデルで[汎用]を選択します。
 - f. [追加]をクリックします。



拡張プリンタ設定を表示するには、altキーを押し下げながら、同時に[プリンタの追加]をクリックする必要があります。それ以外の場合、このオプションは表示されません。

6. プリンタはプリンタリストに表示されます。これで使用する準備が整いました。



注: NASネットワークプリンタサービスは、Mac OSのPostscriptプリンタのみをサポートします。

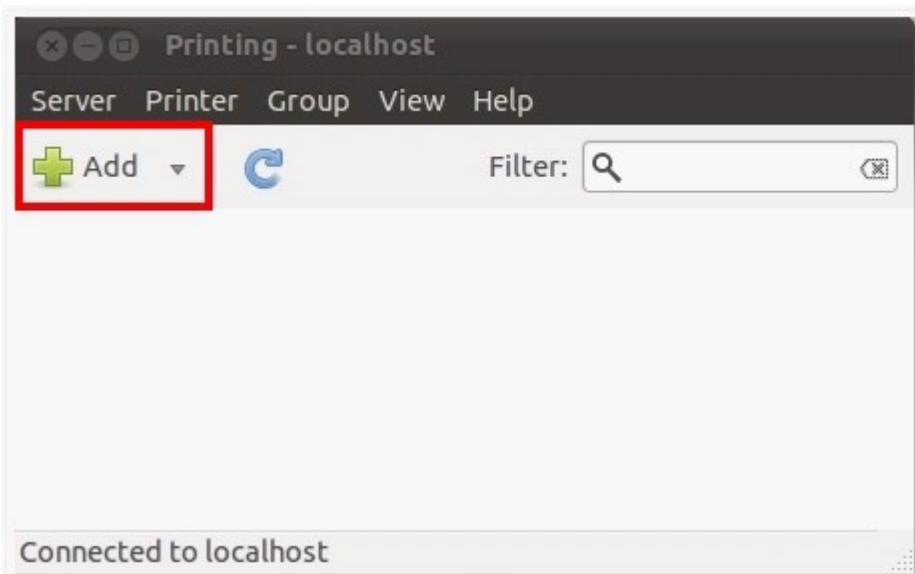
9.2.6 Linux (Ubuntu 10.10)

Linux (Ubuntu 10.10)をご使用の場合は、以下の手順に従ってNASのプリンタ機能を構成してください。

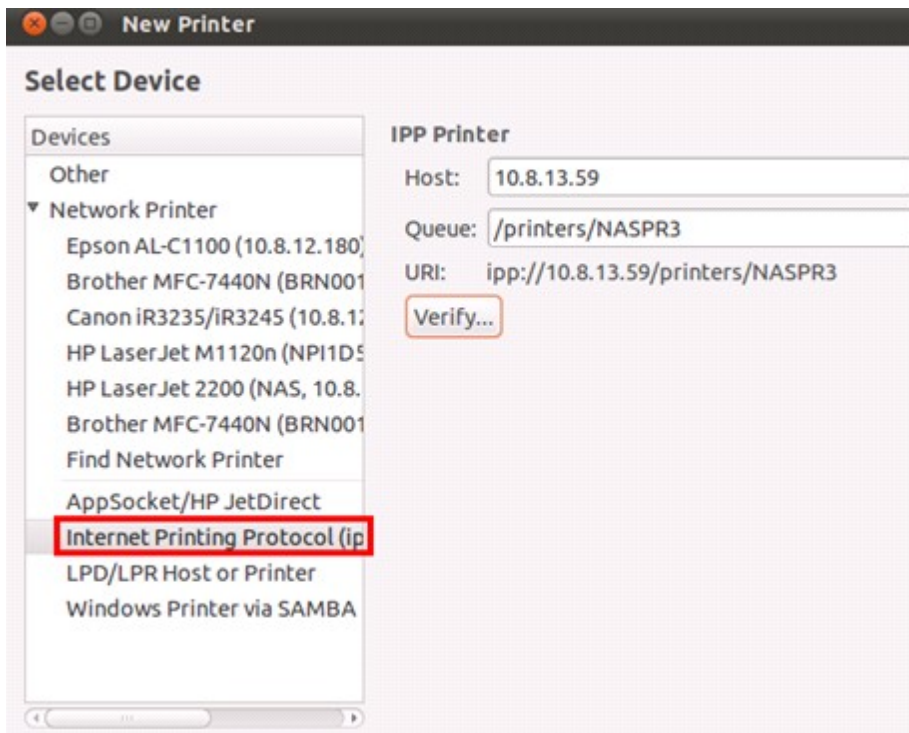
1. 「System(システム)」タブをクリックし、「Administration(管理)」を選択します。「Printing(印刷する)」を選択します。



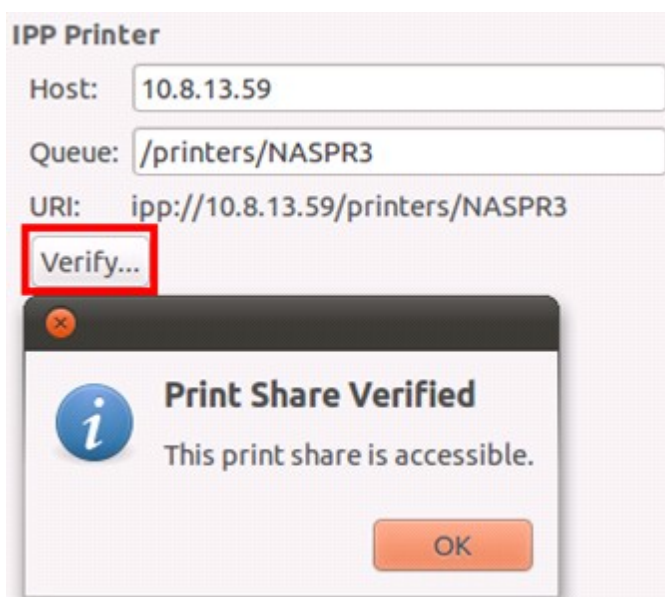
2. 「Add(追加)」をクリックして新しいプリンタを追加します。



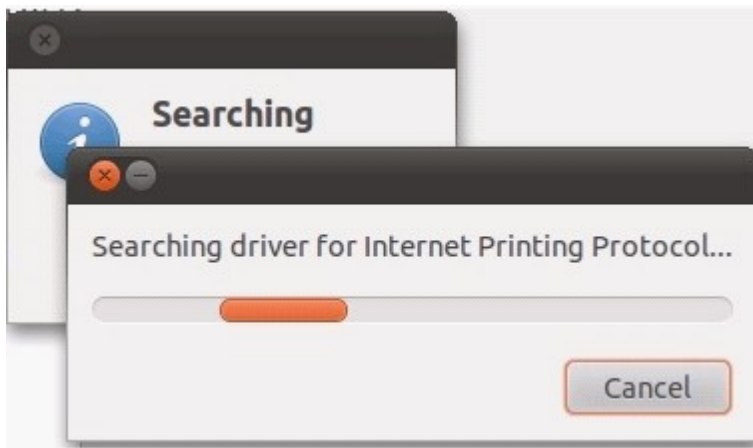
3. 「Network Printer(ネットワークプリンタ)」をクリックしてから、「Internet Printing Protocol (ipp)(インターネット印刷プロトコル(ipp))」を選択します。「Host(ホスト)」にNAS IPアドレスを入力します。「/printers」がすでに存在します。「Queue(待ち行列)」フィールドの「printers/」の後にプリンタ名を入力します。



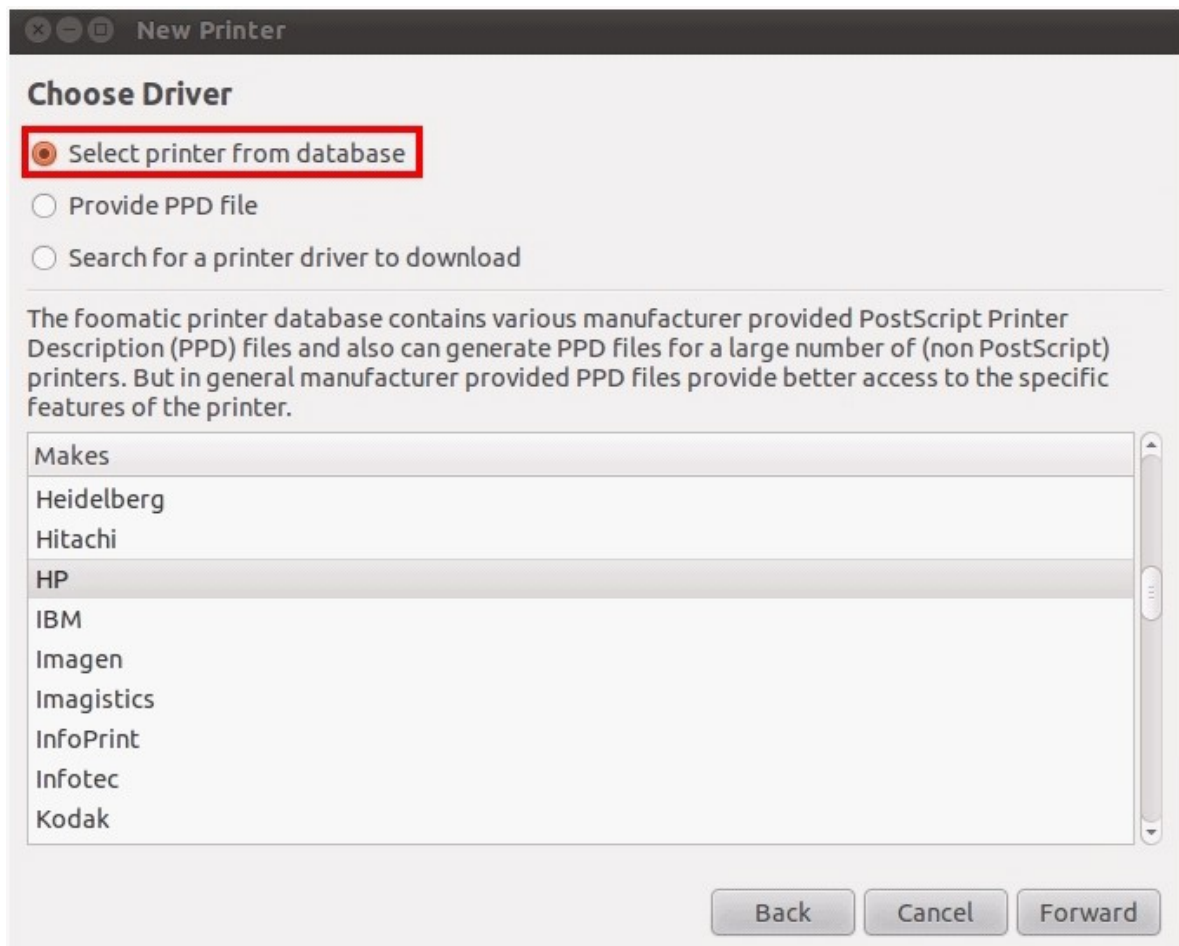
4. 続ける前に、「Verify(検証)」をクリックしてプリンタ接続をテストできます。



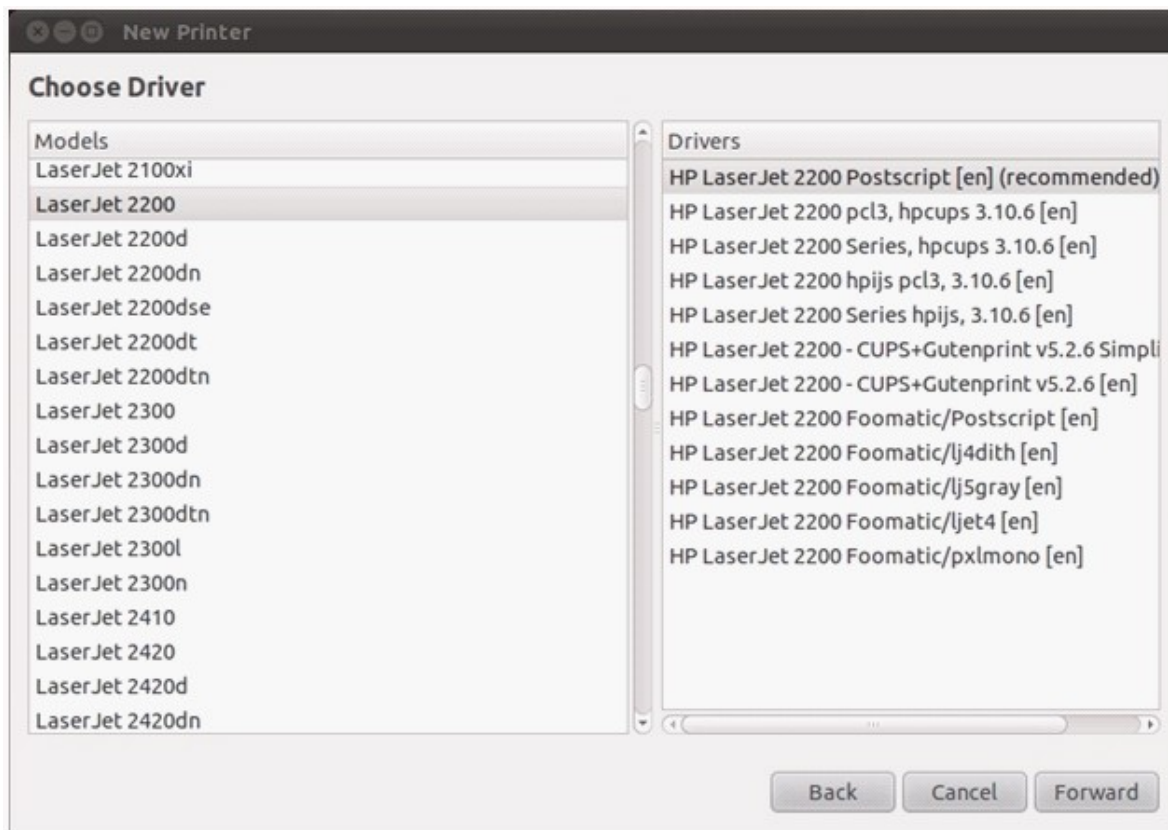
5. オペレーティングシステムは、可能なドライバリストの検索を開始します。



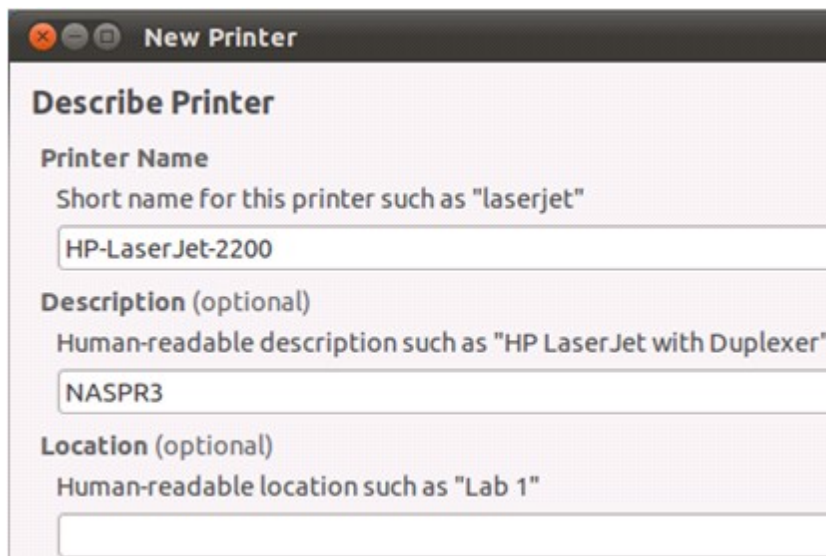
6. 組み込みデータベースからプリンタドライバを選択するか、オンライン検索します。



7. 正しいプリンタモデルとドライバを選択します。プリンタによっては、次の手順で追加プリンタオプションを利用できるものもあります。



8. このプリンタの名前を変えたり、追加情報を入力できます。「Apply(適用)」をクリックして終了します。



New Printer

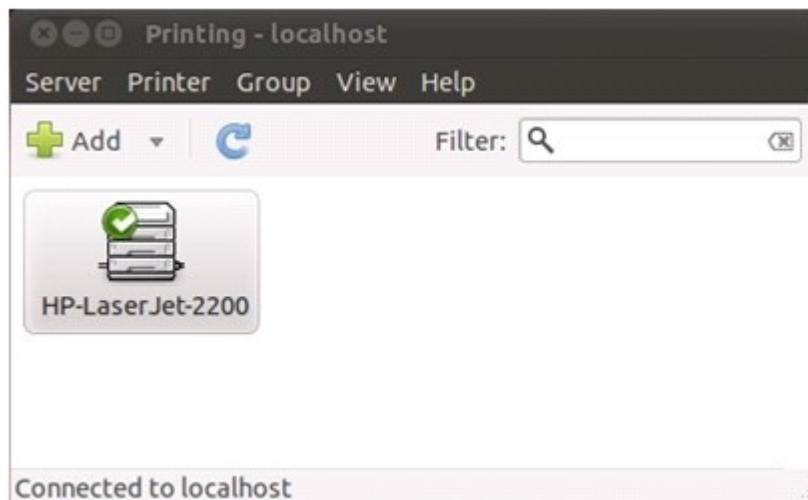
Describe Printer

Printer Name
Short name for this printer such as "laserjet"
HP-LaserJet-2200

Description (optional)
Human-readable description such as "HP LaserJet with Duplexer"
NASPR3

Location (optional)
Human-readable location such as "Lab 1"

9. ネットワークプリンタが印刷できるようになります。



9.3 UPS設定

UPS (無停電電源装置) サポートを有効化することにより、電源遮断によるNASの異常なシステムシャットダウンを防ぐことができます。電源が停止した場合、NASは自動的にシャットダウンするか、あるいは接続されたUPSユニットの電源ステータスを検出し自動保護モードに入ります。

UPS設定

UPS設定

UPSサポートを有効にする

AC電源の異常が 分間続くと、サーバの電源がオフになります。

AC電源の異常が 分で、システムはすべてのサービスを停止します。電源が回復すると、システムは自動的に再起動します。

プロトコル

ネットワークUPSサーバのIPアドレス:

UPS情報

UPS製造元: --

UPSモデル: --

AC電源状態: --

バッテリー容量: --

推定保護時間: --

スタンドアローン・モード-USB

USBスタンドアローン・モードで操作するには、以下の手順に従ってください。

1. UPSのUSBケーブルをNASに挿し込みます。
2. "Enable UPS Support" (UPSサポート効化) オプションを選択します。
3. AC電源停止の際に、NASがシャットダウンするか自動保護モードに入るかを選択します。選択したオプションをNASが実行するまでの待ち時間を分単位で指定します。NASが自動保護モードに入った後に電源が復旧した際には、NASはもとの操作ステータスに戻ります。
4. "Apply" (適用) をクリックして確定します。

スタンドアローン・モード-SNMP

SNMPスタンドアローン・モードで操作するには、以下の手順に従ってください。

1. NASがSNMPベースのUPSと同一の物理ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. "Enable UPS Support" (UPSサポート効化) オプションを選択します。
3. AC電源停止の際に、NASがシャットダウンするか自動保護モードに入るかを選択します。選択したオプションをNASが実行するまでの待ち時間を分単位で指定します。NASが自動保護モードに入った後に電源が復旧した際には、NASはもとの操作ステータスに戻ります。
4. "Protocol" (プロトコル) ドロップダウンメニューから"SNMP"を選択します。
5. SNMPベースのUPSのIPアドレスを入力します。
6. "Apply" (適用) をクリックして確定します。

ネットワークマスター・モード

ネットワークUPSマスターは、同一の物理ネットワーク上のネットワークUPSスレーブに対し、重要な電源ステータスについてコミュニケーションをとる責任を担っています。UPSを備えたNASをネットワークマスター・モードにセットアップするには、UPSのUSBケーブルをNASに接続し、以下の手順に従ってください。

1. NASがネットワークUPSスレーブと同一の物理ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. "Enable UPS Support" (UPSサポート効化) オプションを選択します。
3. AC電源停止の際に、NASがシャットダウンするか自動保護モードに入るかを選択します。選択したオプションをNASが実行するまでの待ち時間を分単位で指定します。NASが自動保護モードに入った後に電源が復旧した際には、NASはもとの操作ステータスに戻ります。
4. "Enable network UPS master" (ネットワークUPSマスター効化) オプションをクリックします。このオプションは、NASがUPSにUSBケーブルを通して接続されている場合にのみ表示されます。
5. 他のネットワークUPSスレーブの "IP address" (IPアドレス) を入力し、電源停止の際に通知が届くようにします。
6. "Apply" (適用) をクリックして確定し、下記のネットワークスレーブ・モードで操作するNASシステムのセットアップに進みます。

ネットワークスレーブ・モード

ネットワークUPSスレーブはネットワークUPSマスターとコミュニケーションし、UPSステータスを受信します。UPSを備えたNASネットワークスレーブモードでセットアップするには、以下の手順に従ってください。

1. NASがネットワークUPSマスターと同一の物理ネットワークに接続されていることを確認してください。
2. "Enable UPS Support" (UPSサポート効化) オプションを選択します。
3. AC電源停止の際に、NASがシャットダウンするか自動保護モードに入るかを選択します。選択したオプションをNASが実行するまでの待ち時間を分単位で指定します。NASが自動保護モードに入った後に電源が復旧した際には、NASはもとの操作ステータスに戻ります。
4. "Protocol" (プロトコル) ドロップダウンメニューから "USB slave mode" (USBスレーブモード) を選択します。
5. ネットワークUPSマスターのIPアドレスを入力します。
6. "Apply" (適用) をクリックして確定します。

注:電力喪失の際に、ご使用のUPS機器がSNMPアラートをQNAP NASに送信するには、UPS機器の構成ページにてNASのIPアドレス入力が必要な場合があります。

NASのUPS機能の動作:

電力喪失および電力復旧の際、これらのイベントは "System Event Logs" (システムイベントログ) に記録されます。

電力喪失の間、NASは "UPS Settings" (UPS設定) にて特定された時間が経過するのを待ち、その後電源オフ、あるいは自動保護モードに入ります。

この待ち時間経過以前に電力が復旧した場合は、NASは操作状態を保持し、電源オフあるいは自動保護の動作をキャンセルします。

電源が復旧した後は:

- NASが自動保護モードに入っていた場合には、通常の操作に戻ります。
- NASが電源オフになっていた場合は、オフのままとなります。

自動保護モードと電源オフモードの違い

モード	利点	不利な点
自動保護モード	電源の回復後、NASは動作を再開する。	UPSがオフになるまで停電が続く場合、NASは異常シャットダウンを起こす。
電源オフモード	NASは、正常なシャットダウンで終了する。	電源の回復後、NASは電源がオフのままである。手動でサーバーの電源をオンにする必要がある。

NASがシャットダウンし、UPSデバイスの電源がオフになる前に電源が回復した場合、Wake on LAN*機能を使用してNASの電源をオンにすることができます (NASとUPSデバイスがWake on LAN機能をサポートし、Wake on LANがNASで効になっている場合)。

*この機能は、TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-419P、TS-410U、TS-419U、TS-112、TS-212、TS-412およびTS-412Uではサポートされません。詳細は<http://www.qnap.com>にアクセスしてください。

NASとUPSの両機器がシャットダウンした後に電源が回復した場合、NASは「システム管理」>「パワーマネジメント」で設定したとおりに動作します。

ホーム>> システム管理>> パワーマネジメント ようこそ admin | ログアウト 日本語

パワーマネジメント ?

再起動/シャットダウン

システムの再起動/シャットダウンを直ちに実行する

Wake-on-LANの設定

有効にする

無効にする

AC電源が復旧すると:

- サーバーを前の電源オンまたは電源オフステータスに戻します。
- サーバーを自動的にオンにします。
- サーバーはオフの状態を維持します。

10. MyCloudNAS サービス

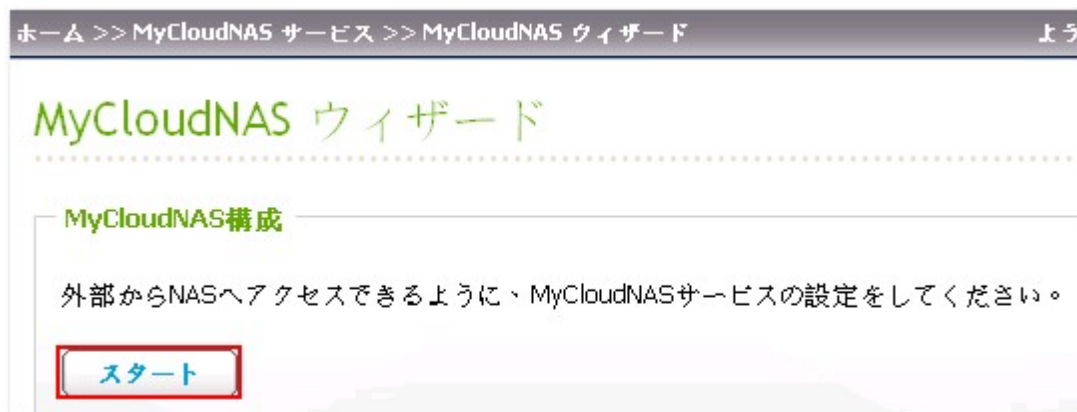
MyCloudNASサービスは、ホスト名登録、ホスト名への動的NAS IPの自動マッピング、ローカルネットワークでUPnPルータの自動ポートマッピングを提供する機能です。MyCloudNASウィザードを使用してNASで固有ホスト名の登録、UPnPルータの自動ポート転送の設定、インターネット上のリモートアクセスに対するNASサービスの公開を行います。

MyCloudNASサービスを使用するには、NASをUPnPルータとインターネットに接続していることを確認してください。



10.1 MyCloudNAS ウィザード

MyCloudNASサービスを初めて使用するとき、MyCloudNASウィザードを使用して設定を完了するようにお勧めします。それまで設定を行ったことがない場合、ウィザードが自動的に表示されます。「Start(スタート)」をクリックしてウィザードを使用することもできます。



以下の手順に従ってMyCloudNASサービスをセットアップします。MyCloudNASサービスを使用するには、NASをUPnPルータとインターネットに接続していることを確認してください。

1. エクスプレスセットアップ(デフォルト)または手動セットアップの使用を選択します。エクスプレスセットアップはHTTP (8080)、HTTP (80)、FTP (21)、FTPS (20)サービス用のポートを自動的に開きます。開くNASサービスのポートを選択するには、「Manual Setup(手動セットアップ)」を選択します。「Next(次へ)」をクリックします。



2. NAS用のホスト名(MyCloudNAS名)を入力し、ドメイン名を選択します。「Check(チェック)」をクリックして、ホスト名の可用性をチェックします。次に「Next(次へ)」をクリックします。

MyCloudNAS ウィザード

MyCloudNAS名を入力

インターネット経由のリモートアクセスのために、あなたのNASの名前を入力してください

http://test123 MyCloudNAS.com 確認する

Step 2 of 6

戻る 継続 キャンセル

3. UPnPルータで開くポートを選択します。ルータは、NASサービスに対してポートを自動的に開いたり転送するように設定されます。「Next(次へ)」をクリックします。

ポート番号:	NASサービス
HTTP (8080)	Web管理、Web File Manager
HTTP (80)	Webサーバー、マルチメディアステーション、QMobile
FTP, FTPS (21, 20)	FTP, FTPS
SSL (443)	安全なWeb管理
Telnet (13131)	テルネットサーバー
SSH (22)	SSHサーバー、SFTPサーバー
SSL (8081)	安全なWebサーバー
再同期 (873)	リモートレプリケーション

X
MyCloudNAS ウィザード

リモートアクセス用のサービスを選択

自動ルータ構成を経由したインターネットアクセス用に開かれるサービスを選択 (UPnPポート・フォワードイング)

<input type="checkbox"/>	カテゴリー (ポート番号)	NASサービス
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP (8080)	ウェブ管理 Webファイル管理
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP (80)	Webサーバ マルチメディアステーション / QMobile
<input checked="" type="checkbox"/>	FTP/FTPS (20,21)	FTP/FTPS
<input checked="" type="checkbox"/>	SSL (443)	安全なウェブ管理

Step 3 of 6

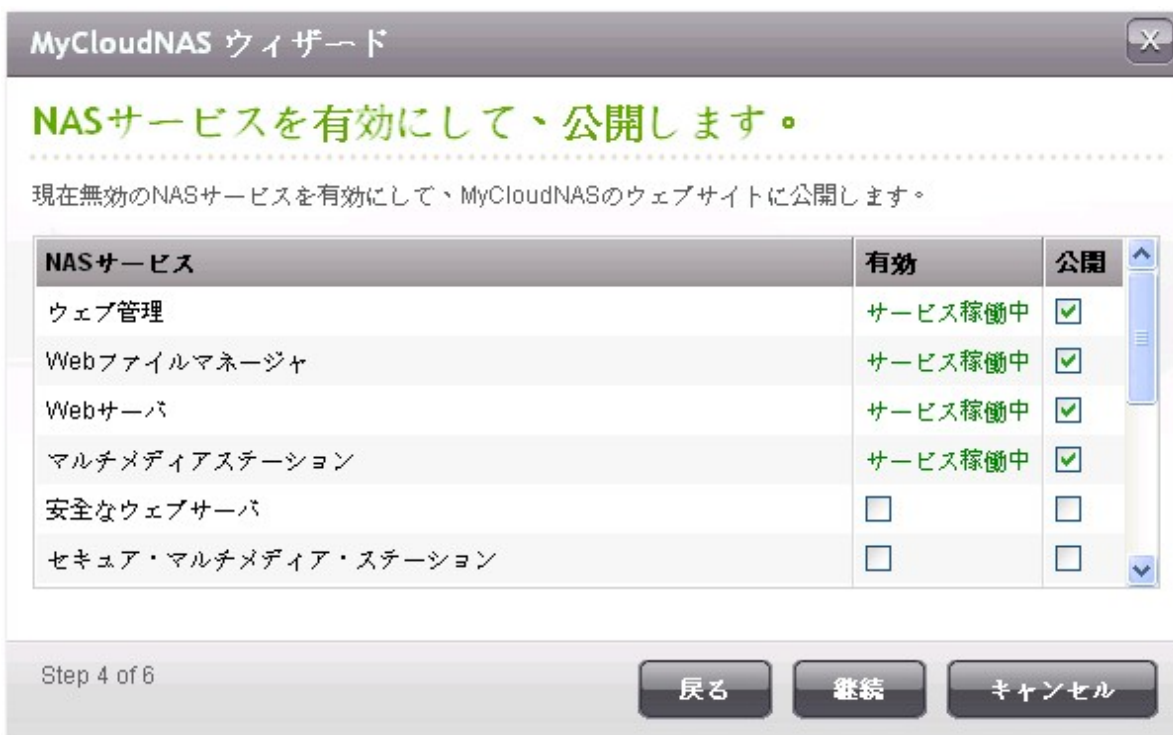
戻る
継続
キャンセル

4. 公開サービス。

前の手順で開いたポートを使用するNASサービスが表示されます。現在無効になっているサービスを有効にし、Web管理、Webサーバー、マルチメディアサーバー、Web File ManagerなどのWebベースのNASサービスをhttp://www.mycloudnas.comに公開することができます。「Next(次へ)」をクリックします。

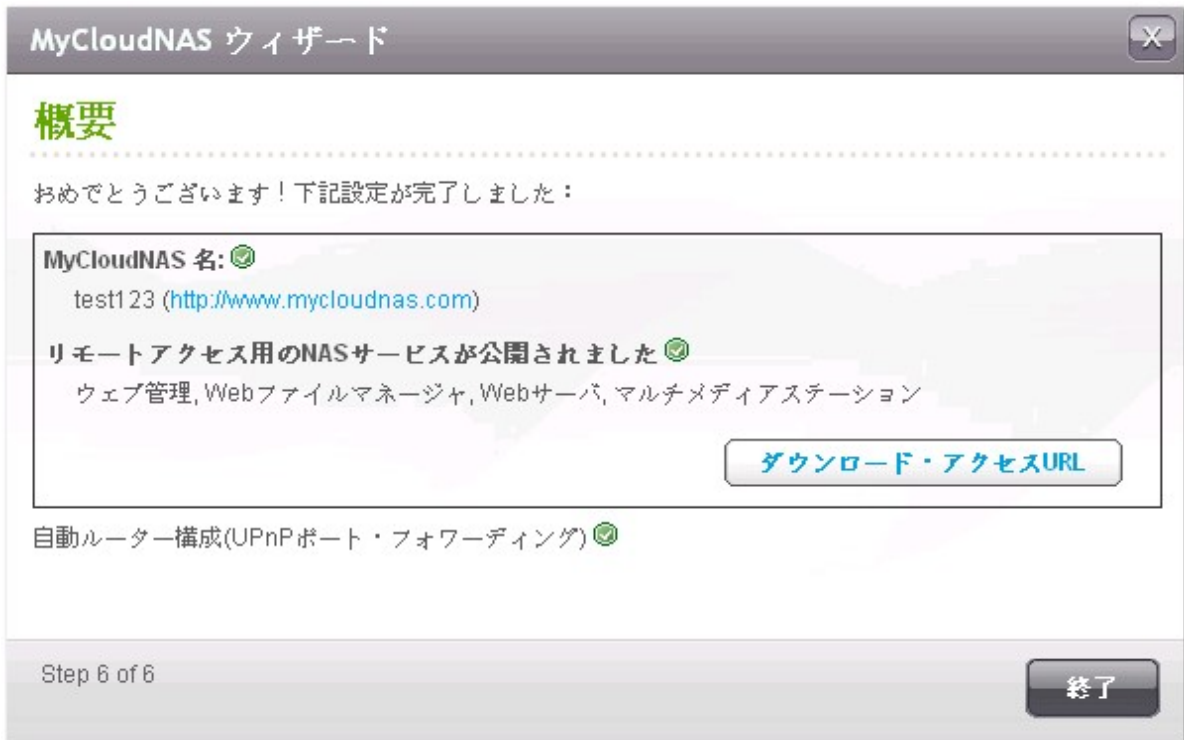
この手順でNASサービスを有効にすることで、公開された場合でもリモートアクセスに対して公開されます。NASサービスを有効にし公開することで、http://www.mycloudnas.comからアクセスできます。

NASサーバーを MyCloudNAS Access Code を所有するユーザーのみに MyCloudNAS ウェブサイト(http://www.mycloudnas.com)から閲覧できるようにプライベートに公開することができます。この機能を利用するには、「MyCloudNAS Service (MyCloudNAS サービス)」>「Configure MyCloudNAS (MyCloudNAS構成)」>「Publish Services (公開サービス)」へ進みます。

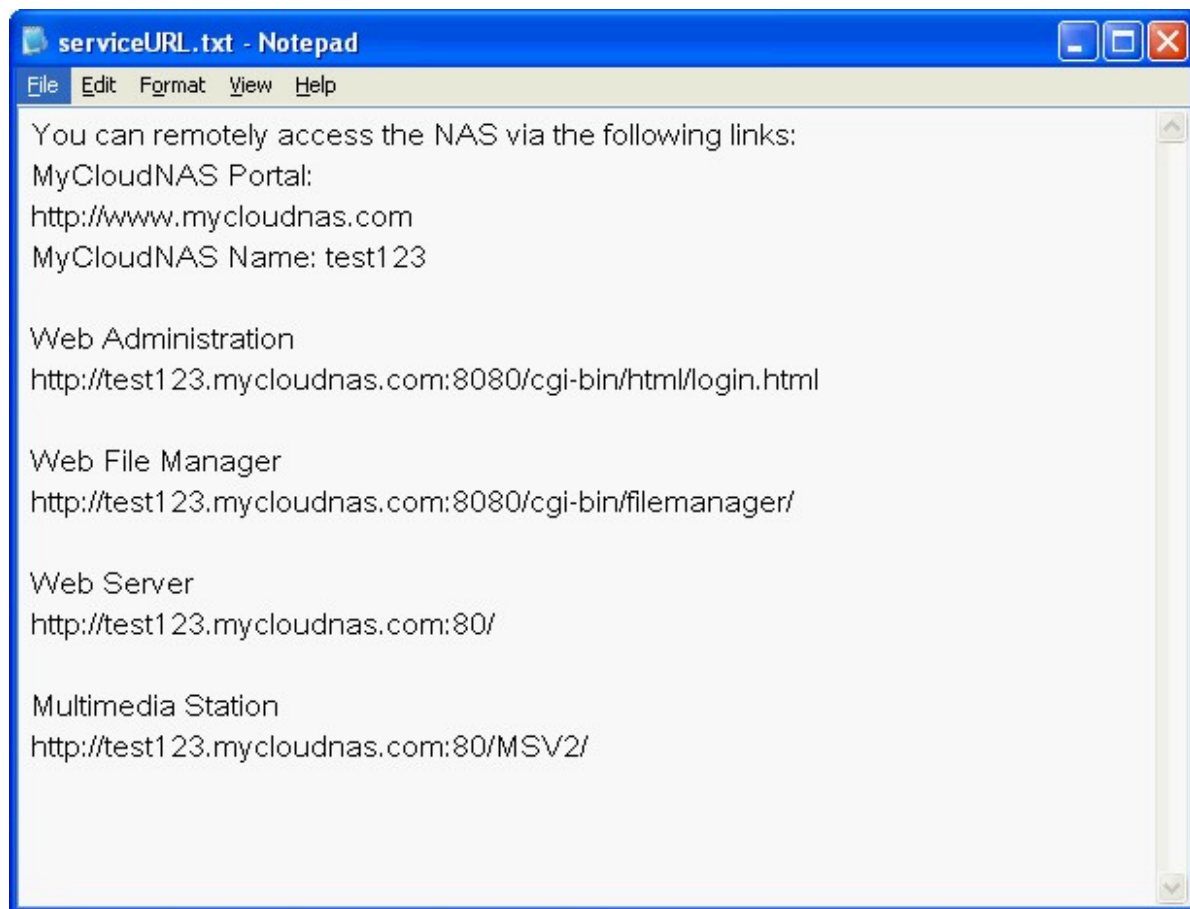


NASサービス	有効	公開
ウェブ管理	サービス稼働中	<input checked="" type="checkbox"/>
Webファイルマネージャ	サービス稼働中	<input checked="" type="checkbox"/>
Webサーバ	サービス稼働中	<input checked="" type="checkbox"/>
マルチメディアステーション	サービス稼働中	<input checked="" type="checkbox"/>
安全なウェブサーバ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
セキュア・マルチメディア・ステーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. サマリが表示されます。MyCloudNAS 名で NAS に接続し、公開サービスの URL をダウンロードします。「Finish (完了)」をクリックして終了します。



URLをコピーし、WebブラウザによりNASサービスにアクセスします。



6. MyCloudNAS ウェブサイトを経由して NAS サービスにアクセスするには、<http://www.mycloudnas.com> に進み、NAS の MyCloudNAS 名を入力し、正しいドメイン名を選択します。「Go (実行)」をクリックして、公開された NAS サービスにアクセスします。



7. サービスアイコンをクリックして、ウェブベースの NAS サービスにログインします。


MyCloudNAS
Service


User Name:
MyCloudNAS Access Code:

Applications and Services


Web Administration


Multimedia Station


Web File Manager


Web Server

| [Home](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms of Use](#) | [What's MyCloudNAS Service?](#) |
Copyright ©2010; MyCloudNAS.COM. All Rights Reserved. This site is best viewed in 1024 x 768 true color with IE7.0+ or Firefox 3.0+

8. MyCloudNAS ウェブサイト上に公開されたプライベート NAS サービスを閲覧するには、ユーザー名と MyCloudNAS Access Code を入力して、「Login (ログイン)」をクリックします。

NAS サービスをプライベートに公開し、MyCloudNAS Access Code を設定するには、「MyCloudNAS Service (MyCloudNAS サービス)」>「Configure MyCloudNAS (MyCloudNAS構成)」>「Publish Services (公開サービス)」と進みます。

A login form with a light blue background. It contains two input fields: 'User Name:' with the text 'admin' and 'MyCloudNAS Access Code:' with ten black dots. Below the fields is a 'Login' button.

9. ログインに成功すると、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開されたプライベート NAS サービスが表示されます。サービスアイコンをクリックして、ウェブベースの NAS サービスにログインします。

The MyCloudNAS Service dashboard. At the top left is the 'MyCloudNAS Service' logo. At the top right, the 'User Name:' field contains 'admin' and the 'MyCloudNAS Access Code:' field contains 'passed', with a 'Logout' button below. The main area is titled 'Applications and Services' and displays eight service icons in a 2x4 grid. The first row includes 'Web Administration', 'Secure Web Administration', 'Multimedia Station', and 'Secure Multimedia Station'. The second row includes 'Web File Manager', 'Secure Web File Manager', 'Web Server', and 'Secure Web Server'. Each icon is a square with a blue-to-green gradient and a white icon representing the service.

10.2 MyCloudNAS構成

「MyCloudNASサービス」>「MyCloudNASの設定」を順に選択して、MyCloudNASサービスを有効にするように選択できます。NASのホスト名を登録したり、ホスト名をいつでも変更できます。時間間隔を指定し、NASの外部IPアドレスをチェックします。NASのWAN IPアドレスが変更されると、NASはMyCloudNASサービスを自動的に通知します。MyCloudNASサービスを使用するには、NASをUPnPルータとインターネットに接続していることを確認してください。

ホーム >> MyCloudNAS サービス >> MyCloudNAS構成 ようこそ admin | ログアウト 日本語

MyCloudNAS構成

MYCLOUDNAS構成 | 公開サービス

MyCloudNAS名を構成

MyCloudNASサービスを有効化した後、このサーバをご希望のホスト名によって接続することができます。

MyCloudNAS サービスを有効化

MyCloudNAS 名:

外部IPアドレスを自動的に確認する

[こちらをクリックしてMyCloudNAS ウィザードを起動します。](#)

最近の更新結果

現在のMyCloudNAS 名:	http://test123.mycloudnas.com
現在のWAN IP:	114.36.30.229
最後に確認した時間:	2011/01/11 17:01:23
次回の確認時間:	2011/01/11 18:01:23
最後に更新した時間:	2011/01/11 17:01:24
サーバ応答:	MyCloudNAS 名およびWAN IPは正常に更新されました。

注:

- 各QNAP NASのMyCloudNAS名は一意です。1つのNASでは、1つのMyCloudNAS名のみを使用できます。
- NASが期間内にオンラインに接続されなければ、登録されたMyCloudNAS名は120日で有効期限が切れます。名前の有効期限が切れると、他のユーザーによって新しい登録用に公開されます。

「Configure MyCloudNAS (MyCloudNAS構成)」>「Publish Services (公開サービス)」に、ウェブベースの NAS サービスが表示されます。「Publish (公開)」を選択して、NAS サービスを MyCloudNAS ウェブサイトに公開します。「Private (プライベート)」を選択して、公開した NAS サービスを公開アクセスから非表示にします。MyCloudNAS ウェブサイト上のプライベートサービスは、MyCloudNAS Access Code を所有する指定したユーザーのみが閲覧できます。

NAS サービスの公開を無効化すると、MyCloudNAS ウェブサイト(<http://www.mycloudnas.com>)上に対応するアイコンが表示されていても、サービスにアクセスできなくなります。

MYCLOUDNAS構成

公開サービス

公開サービス

NASサービスはMyCloudNAS Webサイト(<http://www.mycloudnas.com>)に公開することができます。

[公開] を選択して、NASサービスをMyCloudNASウェブサイトに公開します。

[プライベート] を選択して、公開したNASサービスを公開アクセスから参照できないようにします。MyCloudNAS ウェブサイト上のプライベートサービスは、QCloud Access Codeで指定されたユーザーのみ参照可能です。

NASサービス	有効	公開	プライベート
Web管理	有効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Webファイルマネージャー	有効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Webサーバ	有効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マルチメディアステーション	有効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
安全なウェブ管理	無効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
セキュア・Webファイルマネージャー	無効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
安全なウェブサーバ	無効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
セキュア・マルチメディア・ステーション	無効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Set MyCloudNAS Access Code (MyCloudNAS Access Code の設定): 6 ~ 16 文字のコード(a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9 のみ)を入力します。コードは、NAS ユーザーが、MyCloudNAS ウェブサイト上のプライベート NAS サービスを閲覧しようとするときに必要になります。

MyCloudNAS Access Code

MyCloudNAS Access Codeを設定:

注:コードは6から16文字でなければなりません(a-z、A-Z、0-9のみ使用可能)。

ユーザー管理: 「Manage Users (ユーザー管理)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開されたプライベート NAS サービスの閲覧を許可する最大 9 件の NAS ユーザーを指定します。「Apply (適用)」をクリックします。

ユーザ管理

「Add User (ユーザーの追加)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開したプライベート NAS サービスの閲覧を許可するローカル NAS ユーザーを指定します。また、これらのユーザーは、リモートアクセスに MyCloudNAS コネクトを同時に使用することができます。最大 9 ユーザーを指定可能です。

ユーザーを選択し、「Send Invitation (招待状の送信)」をクリックして、サービスへのアクセス方法付のメールを送信します。

注意: 電子メールは、システムのユーザーアカウントに更新されます。

[ユーザーの追加](#)

<input type="checkbox"/>	ユーザ名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイト
<input type="checkbox"/>	admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	jason	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ユーザーおよび権限の選択 X

選択したユーザー数: 2

合計: 11 1 / 2

ユーザ名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイ
tomcat	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
avahi-autoipd	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
openldap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
KennyG	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
edwardd	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
bbb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
rr	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Jason2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「Apply (適用)」をクリックして、「Publish Services (公開サービス)」ページ上の設定を保存します。

ユーザ管理

「Add User (ユーザーの追加)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開したプライベート NAS サービスの閲覧を許可するローカル NAS ユーザーを指定します。また、これらのユーザーは、リモートアクセスに MyCloudNAS コネクトを同時に使用することができます。最大 9 ユーザーを指定可能です。

ユーザーを選択し、「Send Invitation (招待状の送信)」をクリックして、サービスへのアクセス方法付のメールを送信します。

注意：電子メールは、システムのユーザーアカウントに更新されます。

<input type="checkbox"/>	ユーザー名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイト
<input type="checkbox"/>	admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	jason	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	bbb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「Add Users(ユーザー追加)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイトに公開されたプライベート NAS サービスの参照を許可する最大 9 件のローカル NAS ユーザーを指定します。

ユーザ管理

「Add User (ユーザーの追加)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開したプライベート NAS サービスの閲覧を許可するローカル NAS ユーザーを指定します。また、これらのユーザーは、リモートアクセスに MyCloudNAS コネクトを同時に使用することができます。最大 9 ユーザーを指定可能です。

ユーザーを選択し、「Send Invitation (招待状の送信)」をクリックして、サービスへのアクセス方法付のメールを送信します。

注意：電子メールは、システムのユーザーアカウントに更新されます。

➡ ユーザーの追加

<input type="checkbox"/>	ユーザ名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイト
<input type="checkbox"/>	admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	jason	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

➡ 削除
✉ 招待状の送信

適用

接続方法を選択します：MyCloudNAS 接続(VPN)ユーティリティおよび/または MyCloudNAS ウェブサイト。「Add(追加)」をクリックします。

ユーザーおよび権限の選択
✕

選択したユーザー数: 2

合計: 11

⏪ ⏩ 1 / 2 ⏪ ⏩

ユーザ名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイ
tomcat	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
avahi-autoipd	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
openldap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
KennyG	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
edwardd	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
bbb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
rr	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Jason2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

追加
キャンセル

「Apply（適用）」をクリックして、設定を保存します。

ユーザ管理

「Add User（ユーザーの追加）」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開したプライベート NAS サービスの閲覧を許可するローカル NAS ユーザーを指定します。また、これらのユーザーは、リモートアクセスに MyCloudNAS コネクトを同時に使用することができます。最大 9 ユーザーを指定可能です。

ユーザーを選択し、「Send Invitation（招待状の送信）」をクリックして、サービスへのアクセス方法付のメールを送信します。

注意：電子メールは、システムのユーザーアカウントに更新されます。

<input type="checkbox"/>	ユーザー名	MyCloudNAS コネクト（VPN）	MyCloudNAS ウェブサイト
<input type="checkbox"/>	admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	jason	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	bbb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

MyCloudNAS サービスの使用方法を電子メールを介してユーザーに送信するには、ユーザーを選択し、「Send Invitation (招待の送信)」をクリックします。

注：この機能を使用するには、「System Administration(システム管理)」>「Notification(通知)」>「Configure SMTP Server(SMTP サーバーの設定)」でメールサーバー設定を適切に行う必要があります。

ユーザ管理

「Add User (ユーザーの追加)」をクリックし、MyCloudNAS ウェブサイト上に公開したプライベート NAS サービスの閲覧を許可するローカル NAS ユーザーを指定します。また、これらのユーザーは、リモートアクセスに MyCloudNAS コネクトを同時に使用することができます。最大 9 ユーザーを指定可能です。

ユーザーを選択し、「Send Invitation (招待状の送信)」をクリックして、サービスへのアクセス方法付のメールを送信します。

注意：電子メールは、システムのユーザーアカウントに更新されます。

<input type="checkbox"/>	ユーザ名	MyCloudNAS コネクト (VPN)	MyCloudNAS ウェブサイト
<input type="checkbox"/>	admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Akon	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	jason	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	aaa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	bbb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

メールアドレスを入力します。ユーザーに MyCloudNAS パスワードを再設定するリンクを伴う操作方法を送信するには、「Reset Password(パスワードの再設定)」を選択します。「Send(送信)」をクリックします。

注: パスワード再設定用のリンクは、電子メール送信後 24 時間を経過するか、ユーザーがパスワードを再設定した後、無効になります。

電子メール通知でユーザーを招待し、サービスにアクセスさせます ✕

ユーザー名	Eメール	パスワードのリセット	ステータス
aaa	<input type="text" value="testmail@qnap.com"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

10.3 自動ルータ構成

「MyCloudNASサービス」>「自動ルータ設定」を順に選択すると、UPnPポート転送の有効/無効を切り替えることができます。このオプションが有効になると、NASにUPnPルータ経由でインターネットからアクセスできます。UPnPルータがローカルネットワークに見つからない場合、「Rescan(再スキャン)」をクリックしてルータを検出します。ルータ情報を表示するには、「view details(詳細を見る)」をクリックします。

注: ネットワークに複数のルータがある場合、NASのデフォルトゲートウェイとして設定されるルータのみが検出されます。

ホーム >> MyCloudNAS サービス >> 自動ルータ構成 ようこそ admin | ログアウト 日本語

自動ルータ構成

自動ルータ構成

UPnPポート転送を有効化

この機能を有効化して、UPnPルータ経由でのインターネットからのNASへのアクセスを許可します。

注記:この機能はUPnP対応デバイスでのみ動作します。




状態: ネットワーク上でUPnPルータを検索 [\(詳細を見る\)](#)

転送サービス

ルータに適用

有効	状態	サービス名	ポート	プロトコル
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	ウェブ管理(ウェブファイルマネージャ、ダウンロードステーション、監視ステーション)	8080	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	安全なウェブ管理	443	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	SSL/TLSサーバによるFTP/FTPS	20,21	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	Telnetサーバ	13131	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	SSH/SFTPサーバ	22	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	ウェブサーバ/マルチメディアステーション	80	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	安全なウェブサーバ	8081	TCP
<input type="checkbox"/>	--	Remote Replication	873	TCP

UPnPルータにNASと互換性がない場合、 アイコンをクリックし、「UPnPルータ互換性フィードバック…」(<http://www.qnap.com/onlinesupport.aspx>)をクリックして技術サポートに連絡してください。

ホーム >> MyCloudNAS サービス >> 自動ルータ構成 ようこそ admin



自動ルータ構成

自動ルータ構成


UPnPポート転送を有効化

この機能を有効化して、UPnPルータ経由でのインターネットからのNASへのアクセスを許可します。

注記:この機能はUPnP対応デバイスでのみ動作します。

 状態: ネットワーク上のUPnPルータが見つかりません 

[再スキャンする](#)

 ルータがUPnPプロトコルをサポートしていないか、ルータ上でUPnP機能が有効化されていません。

[UPnPルータ互換性フィードバック...](#)

[OK](#)

リモートアクセスを許可されたNASサービスを選択します。「Apply to router(ルータに適用)」をクリックします。UpnPルータでポート転送が自動的に設定されます。これらのNASサービスには、インターネットからアクセスが可能です。

転送サービス

ルータに適用

有効	状態	サービス名	ポート	プロトコル
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	ウェブ管理(ウェブファイルマネージャ、ダウンロードステーション、監視ステーション)	8080	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	安全なウェブ管理	443	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	SSL/TLSサーバによるFTP/FTPS	20,21	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	Telnetサーバ	13131	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	SSH/SFTPサーバ	22	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	ウェブサーバ/マルチメディアステーション	80	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	OK	安全なウェブサーバ	8081	TCP
<input type="checkbox"/>	--	Remote Replication	873	TCP

注: ルータがUPnP機能に対応していない場合、ルータでポート転送を手動設定する必要があります。以下のリンクを参照してください。

- アプリケーションメモ: http://www.qnap.com/pro_application.asp?ap_id=111
- FAQ: <http://www.qnap.com/faq.asp>
- UPnPルータ互換性リスト: http://www.qnap.com/pro_compatibility.asp

11. システムステータス

システム情報 [\[65\]](#)

システムサービス [\[65\]](#)

リソースモニタ [\[65\]](#)

11.1 システム情報

CPU使用率およびメモリなどのシステム情報は、このページに表示できます。

ホーム >> システムステータス >> システム情報 ようこそ admin | ログアウト 日本語

システム情報

システム情報

サーバ名	nas
ファームウェアバージョン	3.5.1 Build 0907T
システムアップタイム	1 日 0 時間 24 分
シリアル番号	Q10AI07669

ポートステータス

ポート番号	ポートステータス	IPアドレス	MACアドレス	受信済み パケット	送信済み パケット	エラーパ ケット
イーサネット 1	Up	10.8.13.59	00:08:9B:C5:A3:01	1420538	556136	0

ハードウェア情報

CPU使用率	100.0 %
合計メモリ	503.4 MB
空きメモリ	337.9 MB
システム温度	47°C/116°F
HDD 1温度	40°C/104°F

11.2 システムサービス

このセクションで、NASの現在のネットワーク設定とステータスを表示できます。

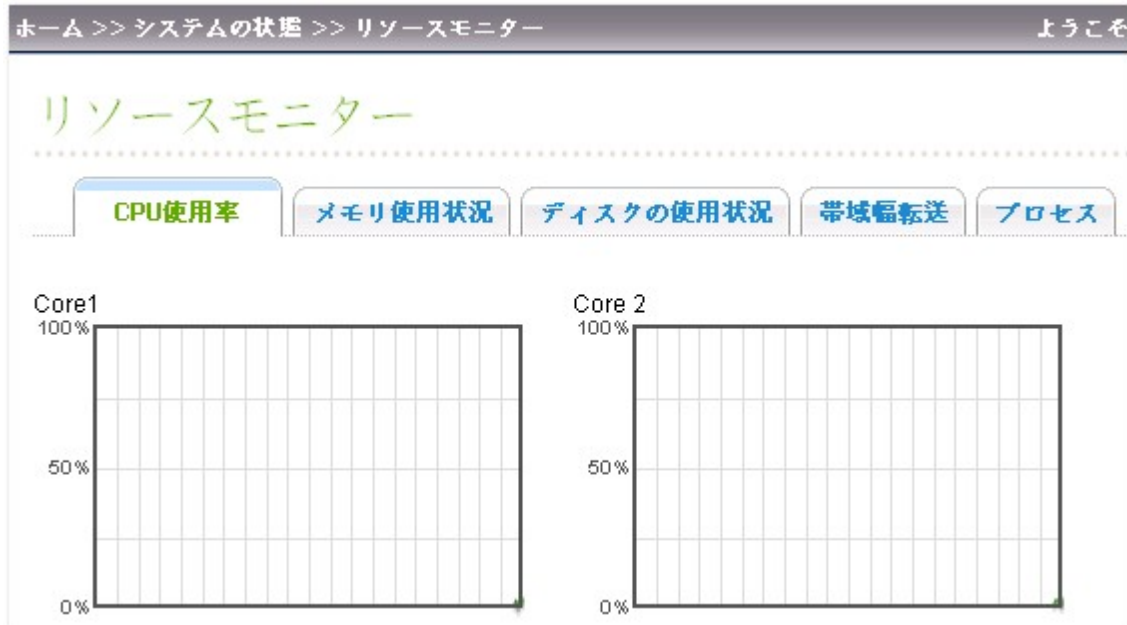
システムサービス

システムサービス	
Microsoftネットワーク	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
サーバータイプ	スタンドアロンサーバ
ワークグループ名	NAS
WINSサーバを有効にする	<input type="checkbox"/>
ローカルマスターブラウザの有効化	<input checked="" type="checkbox"/>
Appleネットワーク	
有効	<input type="checkbox"/>
ゾーン名	*
Unix/Linux NFS	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
Webファイル管理	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
FTPサービス	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
マルチメディアステーション	
マルチメディアステーションを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
iTunesサービスを有効にする	<input type="checkbox"/>
UPnPメディアサーバを使用	<input checked="" type="checkbox"/>
ダウンロードステーション	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
Webサーバ	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
ポート	80
register_globals	<input type="checkbox"/>
DDNSサービス	
有効	<input type="checkbox"/>
MySQLサーバ	
有効	<input type="checkbox"/>
TCP/IPネットワークを有効にします	<input type="checkbox"/>

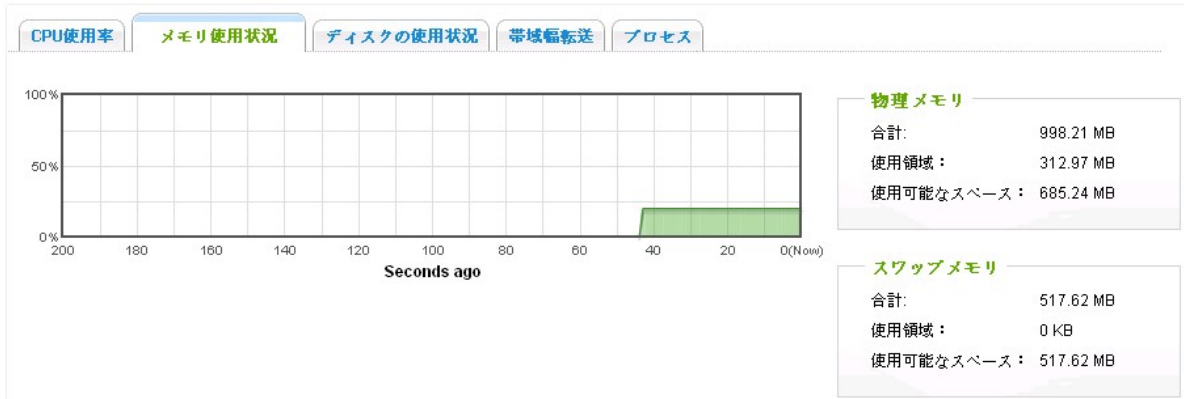
11.3 リソースモニタ

CPU使用率、ディスク使用率、NASの帯域幅伝送統計をこのページで表示することができます。

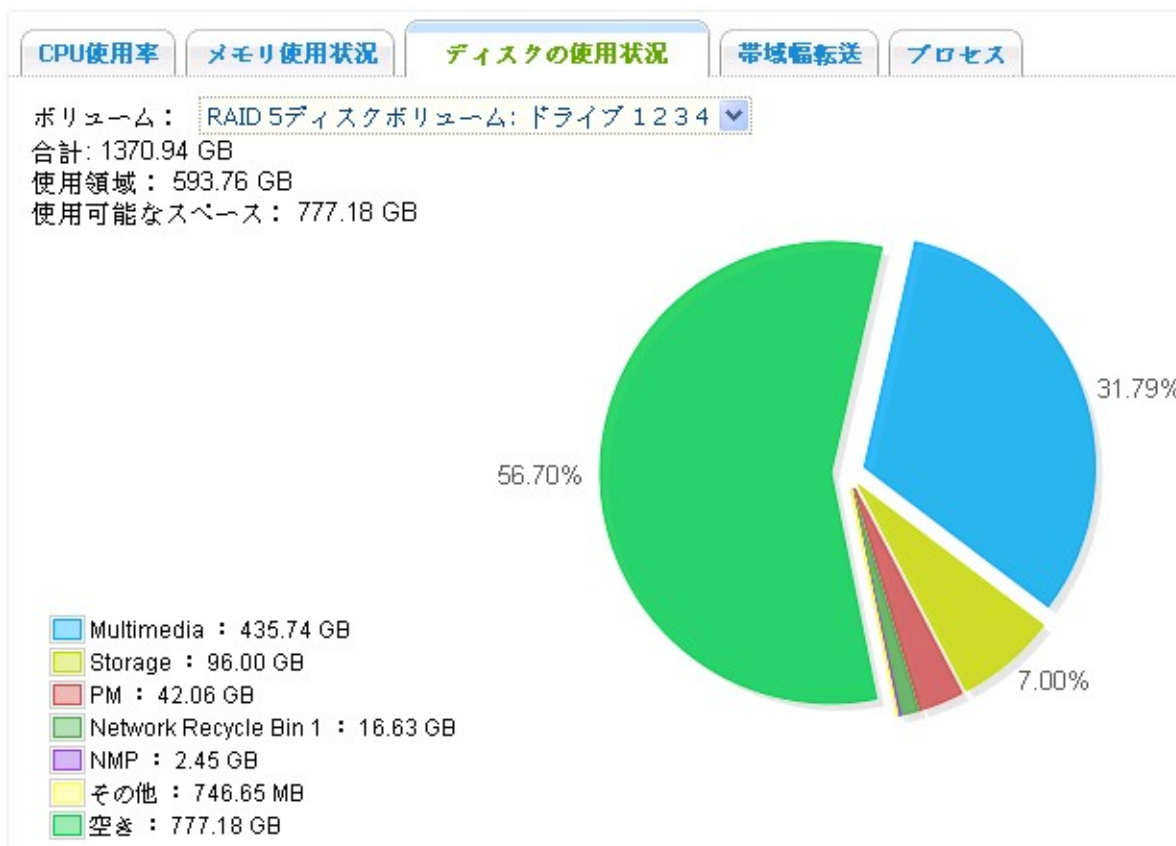
CPU 使用状況:このタブではNASのCPU使用状況を表示します。



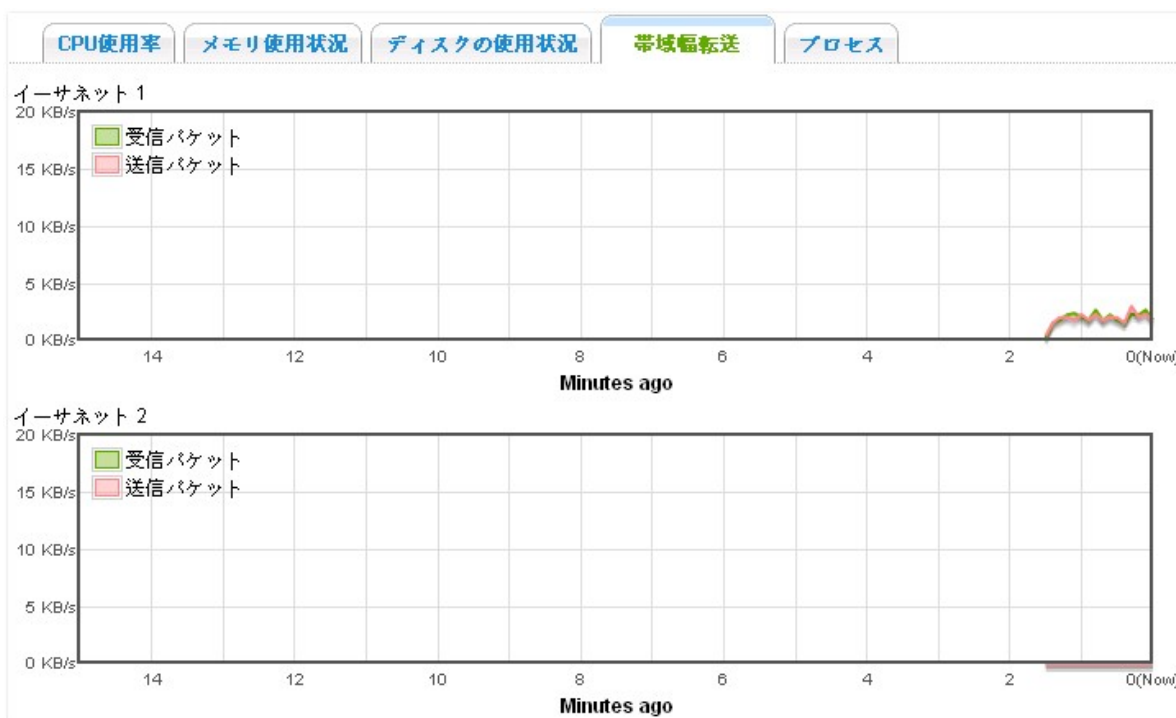
メモリ使用状況:このタブではNASのメモリ使用状況をリアルタイムの動的グラフで表示します。



ディスク使用状況:このタブは、各ディスクボリュームおよびその共フォルダのディスク容量の使用状況を示します。



帯域幅転送:このタブは、NASの各LANポートにおける帯域幅転送についての情報を示します。



プロセス:このタブではNASで実行中のプロセスの情報を表示します。

プロセス名	ユーザ	PID	CPU使用率	物理メモリ
top	admin	1118	2.9%	872 K
top	admin	1121	1.9%	872 K
hd_util	admin	4782	0.9%	1220 K
init	admin	1	0	624 K
manaRequest.cgi	admin	1116	0	1288 K
thttpd	admin	1117	0	540 K
manaRequest.cgi	admin	1119	0	1288 K
thttpd	admin	1120	0	540 K
daemon_mgr	admin	1535	0	536 K
qVatcodogd: keeping alive ever	admin	1610	0	476 K
modagent	admin	1854	0	420 K
hotswap	admin	2249	0	1036 K
qsmartd	admin	2257	0	820 K
dhcpcd	admin	2540	0	256 K
mDNSResponderPosix	admin	2607	0	708 K

12. LCDパネルの使用

この機能はLCDパネルの付いたNASモデルにのみ付属しています。詳細については、<http://www.qnap.com>にアクセスしてください。

NASでは、便利なLCDパネルにより、ディスクを構成を実行したり、システム情報を表示することができます。

NASを開始すると、サーバー名とIPアドレスを表示することができます。

N	A	S	5	F	4	D	E	3						
1	6	9	.	2	5	4	.	1	0	0	.	1	0	0

初めてインストールする場合、LCDパネルには検出されたハードドライブの数とIPアドレスが表示されます。ハードドライブを構成するよう選択することもできます。

検出されたハードドライブ数	デフォルトのディスク構成	利用可能なディスク構成オプション*
1	シングル	シングル
2	RAID 1	シングル -> JBOD -> RAID 0 -> RAID 1
3	RAID 5	シングル -> JBOD -> RAID 0 -> RAID 5
4以上	RAID 5	シングル -> JBOD -> RAID 0 -> RAID 5 -> RAID 6

* 「Select」 ボタンを押しオプションを選択、「Enter」 ボタンを押し承認します。

例えば、インストールされた5つのハードドライブのあるNASのスイッチをオンにした場合、LCDパネルには以下のように表示されます：

C	o	n	f	i	g	.		D	i	s	k	s	?		
→	R	A	I	D	5										

「Select」ボタンを押し、RAID6などの詳細オプションを表示します。「Enter」ボタンを押すと次のメッセージが表示されます。「Select」ボタンを押し、「Yes」を選択します。再度「Enter」ボタンを押し、承認します。

C	h	o	o	s	e		R	A	I	D	5	?			
→	Y	e	s			N	o								

RAID 1、RAID 5、RAID 6構成を実行する際、システムはハードドライブを初期化し、またRAIDデバイスを作成及びフォーマットし、NASにボリュームとしてマウントします。進行はLCDパネルに表示されます。100%に達すると、RAIDボリュームにアクセスすることができます。例えば、共フォルダの作成、NAS上のファイルにファイルをアップロード、といったことが可能になります。その間、すべてのRAIDコンポーネントデバイスのストライプ及びブロックの準備が完了していることを確認するため、NASはRAID同期を実行します。その進行は"Disk Management" (ディスク管理) > "Volume Management" (ボリューム管理) のページで表示することができます。同期率は約30-60MB/秒です。(ハードドライブモデル、システムリソース使用率などにより異なる)

注：RAID構成のメンバードライブが同期中に失われた場合、RAIDデバイスは低下モードに入ります。その際もボリュームデータへのアクセスは可能です。デバイスに新規メンバーを追加すると、再構築が開始されます。"Volume Management" (ボリューム管理) ページにてステータスを確認することができます。

ディスクボリュームを暗号化するには*、LCD パネルに<Encrypt Volume?>が表示されたら"Yes"を選択します。デフォルトの暗号化パスワードは"admin"です。パスワードを更するには、管理者としてWebベースの管理インターフェイスにログインし、「デバイス設定」>「ディスクボリューム暗号化の管理」で設定を更します。

E	n	c	r	y	p	t		V	o	l	u	m	e	?	
→	Y	e	s			N	o								

構成が終了すると、サーバー名、IPアドレスが表示されます。NASがディスク容量の作成に失敗した場合、次のメッセージが表示されます。

C	r	e	a	t	i	n	g	.	.	.					
R	A	I	D	5		F	a	i	l	e	d				

この機能は、TS-110、TS-119、TS-210、TS-219、TS-219P、TS-410、TS-419P、TS-410U、TS-419U、TS-119P+、TS-219P+、TS-419P+、TS-112、TS-212、TS-412、TS-419U+、およびTS-412Uではサポートされません。

データ暗号化機能は、一部の国では法規制に従って利用できないことがあります。

LCDパネルによるシステム情報の表示

LCDパネルがサーバー名、IPアドレスを表示した場合、「Enter」ボタンを押し、Main Menuを入力します。Main Menuでは以下で構成されます。

1. TCP/IP
2. Physical disk
3. Volume
4. System
5. Shut down
6. Reboot
7. Password
8. Back

TCP/ IP

TCP/ IP では、以下のオプションを表示することができます。

1. LAN IP Address
2. LAN Subnet Mask
3. LAN Gateway
4. LAN PRI. DNS
5. LAN SEC. DNS
6. Enter Network Settings
 - Network Settings – DHCP
 - Network Settings – Static IP*
 - Network Settings – BACK
7. Back to Main Menu

*Network Settings – Static IPでは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、LAN 1 と LAN 2のDNSを構成することができます。

Physical disk

Physical diskでは、以下のオプションを表示することができます。

- Disk Info
- Back to Main Menu

ディスク情報では、ハードドライブの温度、容量が表示されます。

D	i	s	k	:	1		T	e	m	p	:	5	0	°	C
S	i	z	e	:		2	3	2		G	B				

Volume

このセクションでは、NASのディスク情報が表示されます。1行目には、RAID構成、ストレージ容量、2行目には構成のメンバードライブ数が表示されます。

R	A	I	D	5						7	5	0	G	B
D	r	i	v	e		1	2	3	4					

1つ以上のボリュームがある場合、「Select」ボタンを押し情報を表示します。以下の表に、RAID5構成用のLCDメッセージの表示を示します。

LCDディスプレイ	ドライブ構成
RAID5+S	RAID5+スペア
RAID5 (D)	RAID 5低下モード
RAID 5 (B)	RAID 5 再構築
RAID 5 (S)	RAID 5 再同期化
RAID 5 (U)	RAIDのマウントが解除されました。
RAID 5 (X)	RAID 5 が非アクティブです。

System

このセクションでは、システムの才温度、システムファンの回転速度を表示します。

C	P	U		T	e	m	p	:		5	0	°	C		
S	y	s		T	e	m	p	:		5	5	°	C		
S	y	s		F	a	n	:		8	6	5	R	P	M	

Shut down

このオプションを使用し、NASのスイッチをオフにします。「Select」ボタンを押し、「Yes」を選択します。次に、「Enter」ボタンを押し、承認します。

Reboot

このオプションを使用し、NASを再起動します。「Select」ボタンを押し、「Yes」を選択します。次に、「Enter」ボタンを押し、承認します。

Password

LCDパネルのデフォルトのパスワードはblankです。このオプションを入力し、パスワードを更します。「Yes」を選択し、続行します。

C	h	a	n	g	e		P	a	s	s	w	o	r	d	
					Y	e	s		→	N	o				

最大8文字までの数字 (0 ~ 9 でパスワードを入力することができます。カーソルを「OK」まで移動し、「Enter」ボタンを押します。パスワードを確認し、更します。

N	e	w		P	a	s	s	w	o	r	d	:			
														O	K

Back

このオプションを選択し、メインメニューに戻ります。

システムメッセージ

NASがシステムエラーになった場合、エラーメッセージがLCDパネルに表示されます。「Enter」を押し、メッセージを表示します。「Enter」ボタンを押し、再度次のメッセージを表示します。

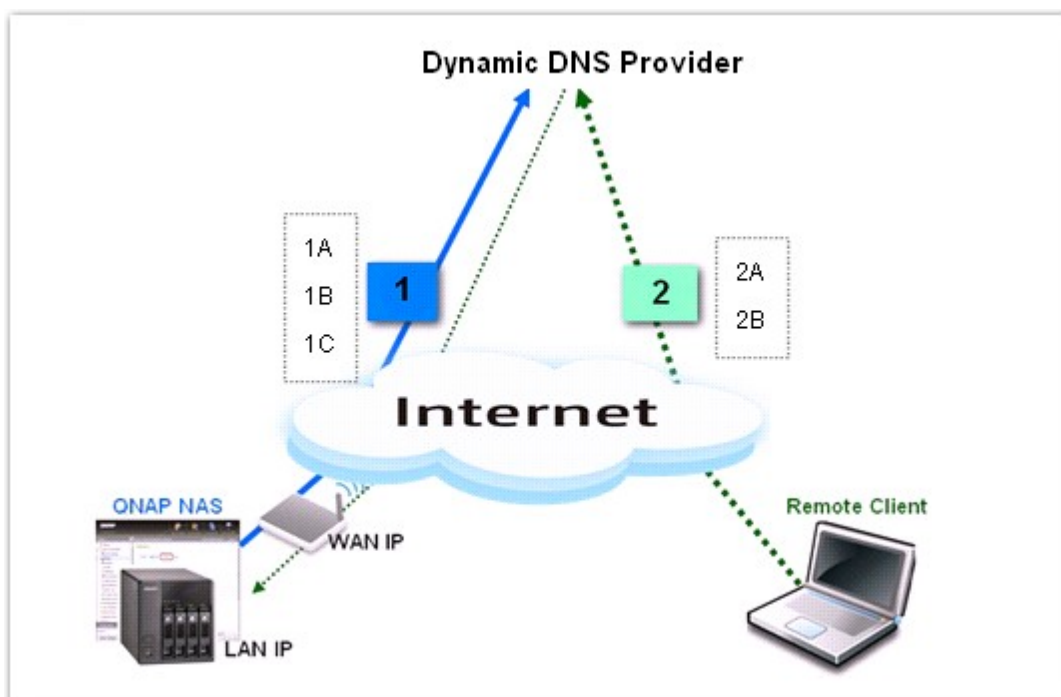
S	y	s	t	e	m		E	r	r	o	r	!			
P	l	s	.		C	h	e	c	k		L	o	g	s	

システムメッセージ	表記
Sys. Fan Failed	システムファンのエラー
Sys. Overheat	システムのオーバーヒート
HDD Overheat	ハードドライブのオーバーヒート
CPU Overheat	CPUのオーバーヒート
Network Lost	LAN 1 と LAN 2が、フェールオーバー、または負荷バランシングモードで接続が切断されました。
LAN1 Lost	LAN 1の接続が切断されました。
LAN2 Lost	LAN 2の接続が切断されました。
HDD Failure	ハードドライブエラー
Vol1 Full	容量がいっぱいです。
HDD Ejected	ハードドライブが取り出されました。
Vol1 Degraded	容量が低下モードです。
Vol1 Unmounted	容量のマウントが解除されました。
Vol1 Nonactivate	容量が非アクティブです。

13. インターネットからQNAP NASをアクセスする(DDNSサービス)

リモートでインターネットにアクセスするために、QNAP NASに対してDDNSサービスをセットアップする

DDNS (ダイナミックドメイン名サービス) は、ドメイン名をネットワークデバイスのダイナミックIPアドレスにマップするために使用されるサービスです。QNAP NASはDDNSをサポートして、長ったらしいIPアドレスの代わりに覚えやすいドメイン名(URL)でインターネットのサーバーにすばやくアクセスできるようにしています。IPが変更されると、NASはいつでもリモートでアクセスできるように、DDNSプロバイダへの情報を自動的に更新します。



1A: DDNSプロバイダーからホスト名を登録します。

1B: DDNSサービスを有効にし、NASでDDNSアカウント情報を入力します。

1C: QNAP NASでは、DDNSプロバイダへのWAN IP情報を自動的に更新します。

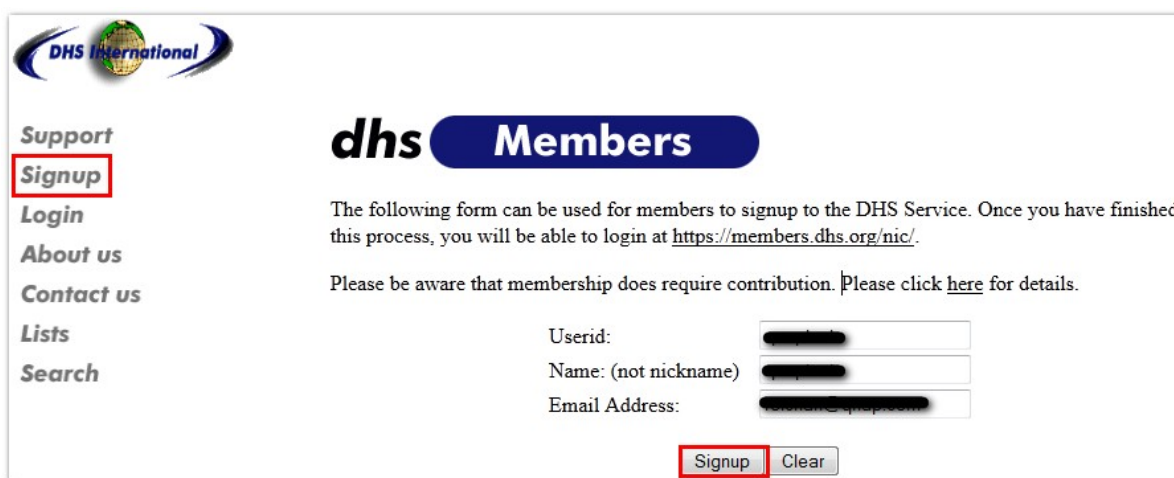
2A: 登録したホスト名でNASに接続します。

2B: IPが変更されると、DDNSはQNAP NASにより更新されたWAN IPをドメイン名にマップします。

DDNSサービスの登録

NASがダイナミックIPアドレスを使用するようにセットアップされている場合、DNSサービスプロバイダからDDNS(ダイナミックDNS)アカウントを登録し一意のホスト名を割り当てて、インターネット上でNASに容易にアクセスすることができます。DDNSアカウントを登録するには、以下のステップを参照してください。

1. DNSサービスプロバイダを選択します。QNAP NASは現在、次のDDNSサービスプロバイダをサポートしています。
http://www.dyndns.com
http://update.ods.org
http://www.dhs.org
http://www.dyns.cx
http://www.3322.org
http://www.no-ip.com
2. アカウントの作成。ここでは例として、http://www.dhs.orgを取り上げます。http://www.dhs.orgに行きます。「Signup(サインアップ)」からアカウントを作成します。次に「Signup(サインアップ)」をクリックします。



DHS International

Support
Signup
Login
About us
Contact us
Lists
Search

dhs Members

The following form can be used for members to signup to the DHS Service. Once you have finished this process, you will be able to login at <https://members.dhs.org/nic/>.

Please be aware that membership does require contribution. Please click [here](#) for details.

Userid:

Name: (not nickname)

Email Address:

Signup Clear

3. サービス条件に同意します。

dhs Members

In order to become a member you must agree to the following Terms of Service.

Agree to terms of Service

TERMS OF SERVICE

This Agreement contains all of the terms and conditions between DHS International Pty Ltd ("DHS"), and the individual or organization ("user") participating in services from "DHS".

In this Agreement, "we" and "us" means "DHS International Pty Ltd", and "you" means the "user" participating in the services. "DHS International Web Site" or "Our Site" means the web site located at <http://www.dhs.org> or any other of the sites "DHS" has under its direct control, and "Your Site" means the site(s) which you, the user, use our hostnames to resolve to. "Services" means any such services that DHS International may provide to users.

1. Registration at DHS International.

To begin the registration process, you must submit a properly completed registration application via Our Site. We will evaluate your application in good faith and will notify you of your acceptance or rejection in a timely manner. We may reject your application at any time if we determine, in our sole discretion, that Your Site is unsuitable for resolution from one of our hostnames. Your Site may be deemed by us to be unsuitable if, in our view, it:

- i. contains, promotes or links to sexually explicit or violent material;

4. メールアドレス宛に、確認メールが送られます。

dhs Members

Account created.

Your account has been created and details have been emailed to [REDACTED]. Inside that email are the details on how to activate your account so you can login to the Members area.

[Back to members](#)

5. メールにあるユーザIDとコードを入力して、アカウントをアクティベートします。

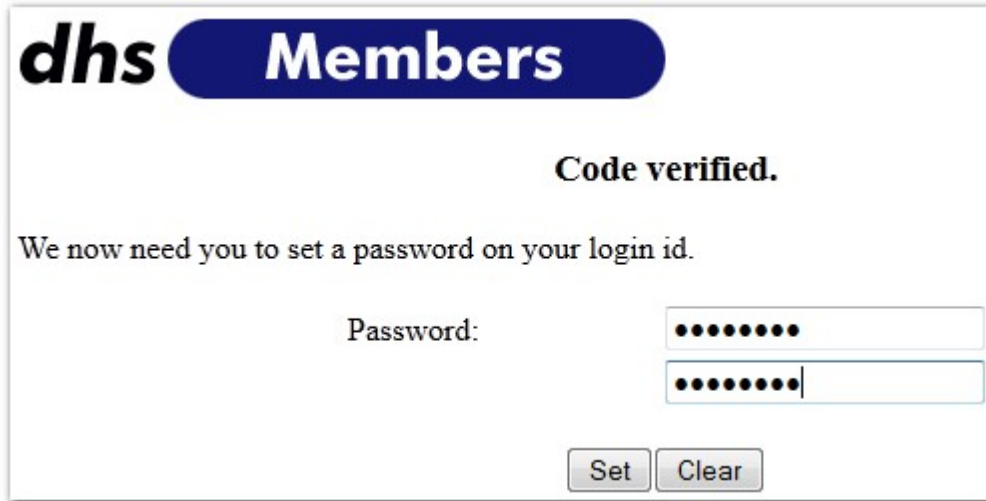
dhs Members

Your two steps away from accessing all the members services. Please insert the information from the email which you recieved.

Userid:

Code:

6. ログインIDのパスワードを設定します。



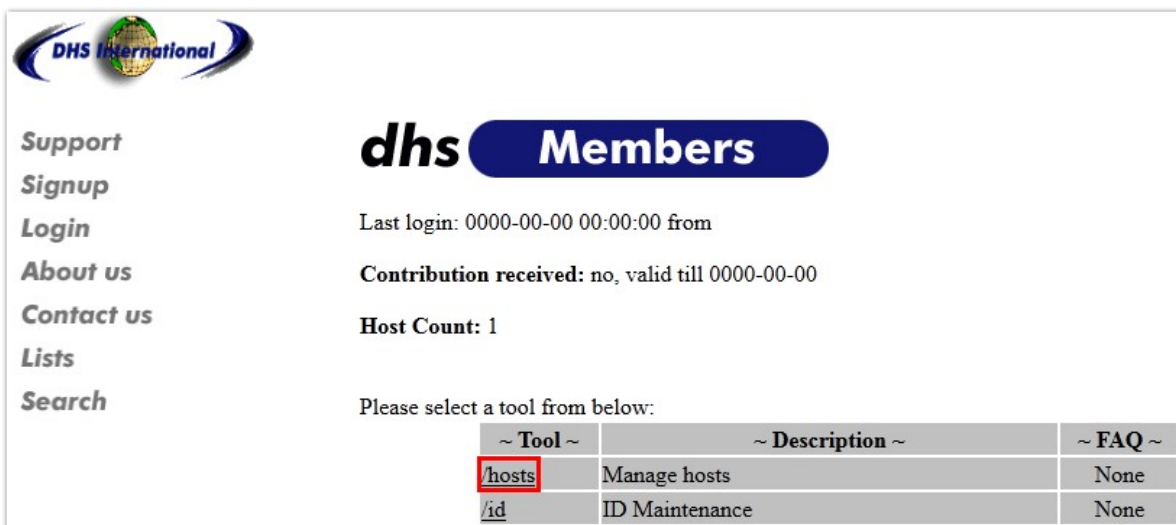
dhs **Members**

Code verified.

We now need you to set a password on your login id.

Password:

7. アカウントにログインし、「hosts (ホスト)」をクリックして、ホストを追加します。

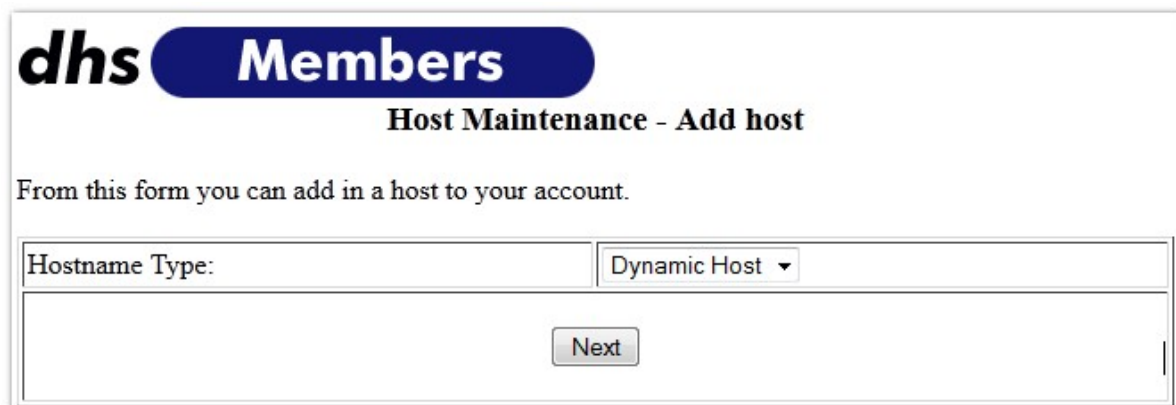


~ Tool ~	~ Description ~	~ FAQ ~
/hosts	Manage hosts	None
/id	ID Maintenance	None

8. 「Add (追加)」をクリックします。



9. ホストタイプを選択し、「Next (次へ)」をクリックします。



10. ホスト名とNASのWAN IPを入力します。「Add (追加)」をクリックします。

dhs Members

Host Maintenance - Add AtHome host

Domain:	home.dhs.org ▾
Hostname:	testestnas
Redirect to:	http:// www.testestnas.com
Cloak	<input type="checkbox"/>
Title of cloaked page:	
<input type="button" value="Add"/>	

NASにログインし、DDNSサービスをセットアップできるようになりました。

QNAP NASでDDNSサービスを設定する

NASにログインし、「System Administration(システム管理)」>「Network(ネットワーク)」>「DDNS」の順にポイントします。DNSサービスプロバイダから登録したDDNS情報を入力します。「Check the External IP Address Automatically(外部IPアドレスを自動的に確認する)」オプションを設定することで、DDNS記録を周期的に更新するようにNASをスケジュールに入れることができます。

Home >> System Administration >> Network

TCP/IP WI-FI **DDNS** IPV6

DDNS Service

After enabling DDNS Service, you can connect to this server by domain name.

Enable Dynamic DNS Service

Select DDNS server: members.dhs.org

Enter the account information you registered with the DDNS provider

User name: [Redacted]

Password: [Masked]

Host Name: [Redacted]

Check the External IP Address Automatically 10 minutes

Current WAN IP: 59.104.86.4

設定を終了すると、NASはDDNSプロバイダに対してWAN IPの更新を開始しドメイン名をマッピングします。インターネット上で、ドメイン名(qnap.dyndns-office.com)によりNASに接続できるようになります。

確認が必要な場合、DNSを検索する：

NASのドメイン名がそのWAN IPに正しくマップされていることを確認するには、<http://www.mxtoolbox.com/DNSLookup.aspx>にアクセスする必要があります。DNS検索のドメイン名を入力すると、IPアドレスが戻されます。

The screenshot shows the MXToolbox website interface. At the top, there is a navigation bar with links for Mx Lookup, Blacklists, Diagnostics, Analyze Headers, SPF Records, and Free Monitoring. Below this is the 'SuperTool Beta7' section. A search input field contains 'testestnas.home.dhs.org' and a 'Lookup' button is visible. Below the search, the results for 'a:testestnas.home.dhs.org' are displayed in a table. The table has columns for Type, Domain Name, IP Address, and TTL. The results show a single entry with Type 'A', Domain Name 'testestnas.home.dhs.org', IP Address '192.168.1.1', and TTL '2 hrs'. Below the table, there are links for 'smtp diag', 'blacklist', 'port scan', and 'http test'. At the bottom, it reports the lookup was performed by ns1.dhsnames.com on Tuesday, October 30, 2012 at 3:25:41 AM (UTC -5) with a 'Transcript' link.

Type	Domain Name	IP Address	TTL
A	testestnas.home.dhs.org	192.168.1.1	2 hrs

[smtp diag](#) [blacklist](#) [port scan](#) [http test](#)

Reported by ns1.dhsnames.com on Tuesday, October 30, 2012 at 3:25:41 AM (UTC -5) [Transcript](#)

ポートの転送

ご使用のNASがNATルーターの背後に配置されている場合、NATルーター上のいくつかのサービスのポートを開け、NASの固定LAN IPにこれらのポートを転送する必要があります。この機能は市場のほとんどのルーターに搭載されており、"Port Forwarding" (ポート転送)、"NAT Server" (NAT サーバ)あるいは"Virtual Server" (仮想サーバ)といった名称で知られています。例えば、NASシリーズの管理インターフェースに接続するには、ポート8080を開ける必要があります。

QNAP NASの現在開いているサービスポート	
NASサービス	デフォルトのポート
Webベースシステム管理	8080 (全てのモデル、TS-101/201ファームウェアバージョン 2.3.0以降)
Webベースシステム管理	6000 (TS-100/101/201ファームウェアバージョン 2.3.0以前)
FTP	21
パッシブFTP	55536-56559
Webサーバー	80
Download Station (BTダウンロード)	6881-6999
リモートレプリケーション (Rsync)	873
Telnet	13131
SSH	22
SSL	443
SMTP	25
Samba	445
MySQL	3306
TwonkyMedia	9000

14. QNAP NASでSMS、電子メール、IM Alertをセットアップします

QNAP NASはSMS (ショートメッセージサービス)、電子メール、インスタントメッセージング(IM) Alertをサポートして、ユーザーにシステムエラーまたは警告を通知します。

注: TS-109/ 209/ 409/ 409U シリーズはメールアラートのみサポートしています。

SMS Alertのセットアップ

1. SMSサービスアカウントに加入し、セットアップする

ここではClickatellを例に使

用します。ClickatellのWebサイト<http://www.clickatell.com/login.php>にアクセスします。"New Customers" (新規顧客)から"Clickatell Central (API)"を選択します。

New Customers

If you do not already have an account, take a moment to create one. You will benefit from:

- A user-friendly administration interface
- Free registration and no license fees
- 24/7 Service & Support
- Web based account accessible from anywhere
- Multiple payment options

Product Selection:

Please Select Product

- Please Select Product
- Clickatell Central (API)
- Communicator
- Messenger-Pro
- Clickatell Affiliates
- Clickatell Wholesale

個人情報を入力し、"Continue" (続行)をクリックします。 利用規定をよく読み、内容が適当と判断されれば同意します。

Complete our simple registrations process below to test our gateway and obtain your free test credits.

* Indicates all fields that are required.

Step 1 of 4 - Select Product

Select one of the products below which you would like to register for:

Clickatell Central ? Communicator ?

Step 2 of 4 - Account Setup

Select a country specific or international account type, based on your requirements for SMS traffic delivery destinations.

International Coverage Account: ? **Local Coverage Account:** ?

INTERNATIONAL USA UK SA

* Create Username: Security Code:

* Create Password: *Enter Security Code:

Step 3 of 4 - Personal Information

*First Name: * Country:

* Last Name: * Mobile Number:

* Email Address: (e.g. sample@domain.com)

Personal Use Only

* Company:

Emails sent to me must be in Text format or HTML format

I would like to receive: Clickatell News, Balance Notifications, Promotions

* I accept Clickatell's [Terms and Conditions](#)

Security & Privacy

登録が完了すると、アカウント効化のためのリンクを含んだメールを受信できます。アカウントの効化を完了するため、メールの受信箱を確認してください。効化のリンクから、下図のようなログイン画面に進みます。パスワードを入力し、"Login" (ログイン)をクリックして進みます。

My Account Login

Customer Login

Existing Clickatell account holders can select their product and login below. Note, username & password are CASE sensitive.

Select Product: Clickatell Central (API) ▼

Username: [Redacted]

ClientID: [Redacted]

Password: [Redacted]

Login

Lost password?

ご使用の携帯電話番号を入力し、"SEND ACTIVATION CODE" (アクティベーションコードを送信する) をクリックします。その後、Clickatellから送信されたアクティベーションコードを入力し、ご使用の携帯電話番号を確認します。

Verify your Mobile Number

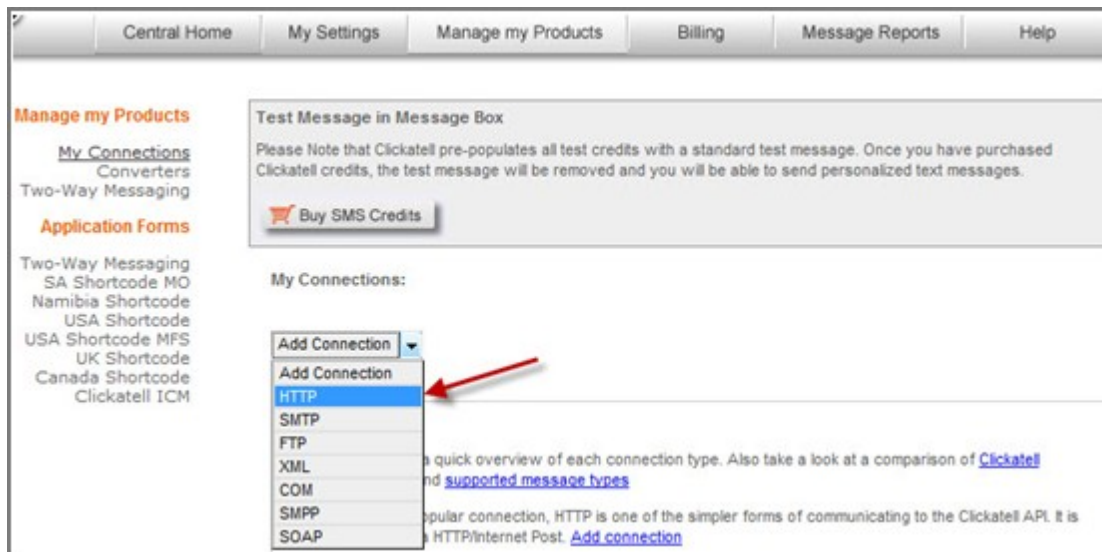
For security reasons you are required to verify your mobile number in order to make your first credit purchase and send non-test SMS messages.

Your activation code will be sent to [Redacted] SEND ACTIVATION CODE

If this is not your number, please retype your mobile number in the box above and click the "Send Activation Code" button.

Enter your activation code here: [Redacted] VERIFY NOW

Clickatellにログインしたまま、"Manage my Products" (製品の管理) に移動、"My Connections" (接続) のドロップダウンリストから"HTTP"を選択します。



以下の図に示されるように、最小限必要な "Name" (名前)、"Dial Prefix" (ダイヤルのプレフィックス) および "Callback Type" (コールバックのタイプ) の情報を入力して "HTTP API" をセットアップします。"Submit" (送信) をクリックすると完了です。

HTTP API
This product provides an interface between your applications and the Messaging Gateway. It is a lower level connectivity option, but offers the most functionality and flexibility for the Developer and Systems Integrator. With the API you can set up alert-based SMS delivery from your server, deliver information to your mobile sales staff and keep in contact with your customers. This product is intended for machine-generated to User messaging.

Add HTTP API - Bold Items Required

Name:

IP Lock Down:

Dial Prefix:

Callback Type:

Callback Url:

Callback Username:

Callback Password:

NOTE: submission of this form will delete any session_id currently valid for this api_id. Any application using this session_id will have to re-authenticate.

SMSサービスの使用前に必要な"API ID"が表示されます。次のステップでNAS管理でのセットアップに使用できるよう、書き取っておいてください。

<u>Name</u>	<u>Type</u>	<u>API ID</u> ▾	<u>Dialing Code</u>
██████████	HTTP	██████████	886 Taiwan

1 to 1 of 1

ここまでで、Clickatellにおけるアカウント登録、携帯電話番号の確認、"API ID"の取得が完了しました。ステップ2に進みましょう。

2. NAS上のSMSCおよびSMSアラート通知を設定する

"System Administration" (システム管理) > "Notification" (通知) > "Configure SMSC server" (SMSCサーバの構成) と移動し、前のステップで取得した情報を入力してSMSCサーバを構成します。

The screenshot shows a web administration page titled "Notification". At the top, there is a breadcrumb trail: "Home >> System Administration >> Notification". On the right, it says "Welcome admin | Logout" and "English". Below the title, there are four tabs: "CONFIGURE SMTP SERVER", "CONFIGURE IM", "CONFIGURE SMSC SERVER" (which is active), and "ALERT NOTIFICATION".

The main content area is titled "Configure SMSC Server". It contains the following fields and options:

- A description: "You can configure the SMSC settings to send instant system alerts via the SMS service provided by the SMS provider."
- "SMS Service Provider": A dropdown menu with "Clickatell" selected and a URL "http://www.clickatell.com".
- "Enable SSL Connection": A checked checkbox.
- "SSL Port": A text input field containing "443".
- "SMS Server Login Name": A text input field with a blurred value.
- "SMS Server Login Password": A password input field with masked characters (dots).
- "SMS Server API_ID": A text input field with a blurred value.

An "APPLY" button is located at the bottom right of the form area.

次に、"System Administration" (システム管理) > "Notification" (通知) > "Alert Notification" (アラート通知) に移動し、携帯電話番号を入力します。

The screenshot shows a web interface for configuring alert notifications. At the top, there are navigation tabs: "CONFIGURE SMTP SERVER", "CONFIGURE IM", "CONFIGURE SMSC SERVER", and "ALERT NOTIFICATION". The "ALERT NOTIFICATION" tab is selected. Below the tabs, there is a section titled "Alert Notification" with the instruction: "When a system event occurs, do the following immediately:". This section contains two rows of radio button options. The first row is "Send system error alert by:" with options for "Email", "SMS" (which is checked), and "Instant Messaging". The second row is "Send system warning alert by:" with options for "Email" and "Instant Messaging". Below this is the "E-mail Notification Settings" section, which includes two text input fields for "E-mail address 1:" and "E-mail address 2:", and a "SEND A TEST E-MAIL" button. A note below states: "Note: The SMTP server must be configured first for alert mail delivery." The next section is "Instant Messaging Settings", which has an "Authorized Contacts:" text input field and an "Add" button. The final section is "SMS Notification Settings", which includes a "Country Code:" dropdown menu set to "Taiwan (+886)", and two "Cell Phone No." input fields, both starting with "+886". A "SEND A TEST SMS MESSAGE" button is located below these fields. A note at the bottom states: "Note: You must configure the SMSC server to be able to send SMS notification properly." Red boxes in the original image highlight the "Send system error alert by:" options and the "SMS Notification Settings" fields.

これですべてのセットアップは終了です。"SEND A TEST SMS MESSAGE" (テストSMSメッセージを送信する) をクリックし、SMS通知が正しく構成されたかテストしてみましょう。正しく構成されている場合、10秒以内に通知を受信するはずです。

Email Alertのセットアップ

"System Administration" (システム管理) > "Notification" (通知) > "Configure SMTP server" (SMTPサーバを構成) と移動し、正しいSMTP情報を入力します。この例では、SMTPサービスプロバイダとしてGmailを使用しています。

The screenshot shows a web interface for configuring an SMTP server. The breadcrumb navigation is "Home >> System Administration >> Notification". The user is logged in as "admin" and the language is set to "English". The main heading is "Notification". There are four tabs: "CONFIGURE SMTP SERVER" (selected), "CONFIGURE IM", "CONFIGURE SMSC SERVER", and "ALERT NOTIFICATION". The "Configure SMTP Server" section contains the following fields and options:

- SMTP Server:
- Port Number:
- Sender:
- Enable SMTP Authentication
 - User Name:
 - Password:
- Use SSL/TLS secure connection
 - Protocol Type:

An "APPLY" button is located at the bottom right of the form.

次に、"System Administration" (システム管理) > "Notification" (通知) > "Alert Notification" (アラート通知) と移動しメールアドレスを入力します。また、システムエラーアラートだけでなくシステム警告アラートも受信するかどうかを指定します。"SEND A TEST E-MAIL" (テストメールを送信する) をクリックするとメール送信プロセスをテストすることもできます。

The screenshot shows a web interface for configuring notifications. At the top, there is a breadcrumb trail: "Home >> System Administration >> Notification". On the right, it says "Welcome admin | Logout". Below the breadcrumb is a "Notification" header. There are four tabs: "CONFIGURE SMTP SERVER", "CONFIGURE IM", "CONFIGURE SMSC SERVER", and "ALERT NOTIFICATION" (which is highlighted in green). Under the "Alert Notification" tab, there is a section titled "Alert Notification" with the instruction: "When a system event occurs, do the following immediately:". Below this, there are two rows of checkboxes: "Send system error alert by:" with options for Email (checked), SMS, and Instant Messaging; and "Send system warning alert by:" with options for Email (checked) and Instant Messaging. Below this is a section titled "E-mail Notification Settings" with two input fields for "E-mail address 1:" and "E-mail address 2:". A "SEND A TEST E-MAIL" button is located below the input fields. At the bottom, there is a note: "Note: The SMTP server must be configured first for alert mail delivery."

IM(インスタントメッセージング) Alertのセットアップ

これらの機能を実施するには、以下のステップで行います：

1. <https://signup.live.com/>から、NAS 用の Windows ライブメッセージ ID にサインアップします。
2. お使いの Windows オペレーティングシステム用の Windows ライブメッセージを<http://explore.live.com/>からダウンロードします。NAS は、Windows ライブメッセージ 2009 または、それ以降をサポートします。
3. ステップ 1 で登録した Windows ライブメッセージのアカウントでログインします。NAS との対話を許可する連絡先を最大 10 件追加します。これらの連絡先を NAS のメッセージアカウントに追加していることを確認します。
4. 「Notification (通知)」>「Configure IM (IM設定)」へ進み、ステップ 1 で登録したログイン情報を入力します。「Apply (適用)」をクリックします。ログインステータスが、「On (オン)」と表示されます。

Notification

CONFIGURE SMTP SERVER CONFIGURE IM CONFIGURE SMSC SERVER ALERT NOTIFICATION

Configure Instant Messaging Service

Enable Instant Messaging Service

Email: [masked]

Password: [masked]

Login Status: On

APPLY

5. 「Notification (通知)」>「Alert Notification (アラート通知)」と進みます。インスタントメッセージによる警告通知を有効にして、「Instant Messaging Settings (インスタントメッセージの設定)」の下に最大 10 件の許可する連絡先を入力します。「Apply (適用)」をクリックします。

Notification

CONFIGURE SMTP SERVER CONFIGURE IM CONFIGURE SMSC SERVER **ALERT NOTIFICATION**

Alert Notification

When a system event occurs, an alert email/SMS will be sent automatically.

Send system error alert by: Email SMS Instant Messaging

Send system warning alert by: Email Instant Messaging

E-mail Notification Settings

E-mail address 1:

E-mail address 2:

SEND A TEST E-MAIL

Note: The SMTP server must be configured first for alert mail delivery.

Instant Messaging Settings

Authorized Contacts: **Add**

Remove

Remove

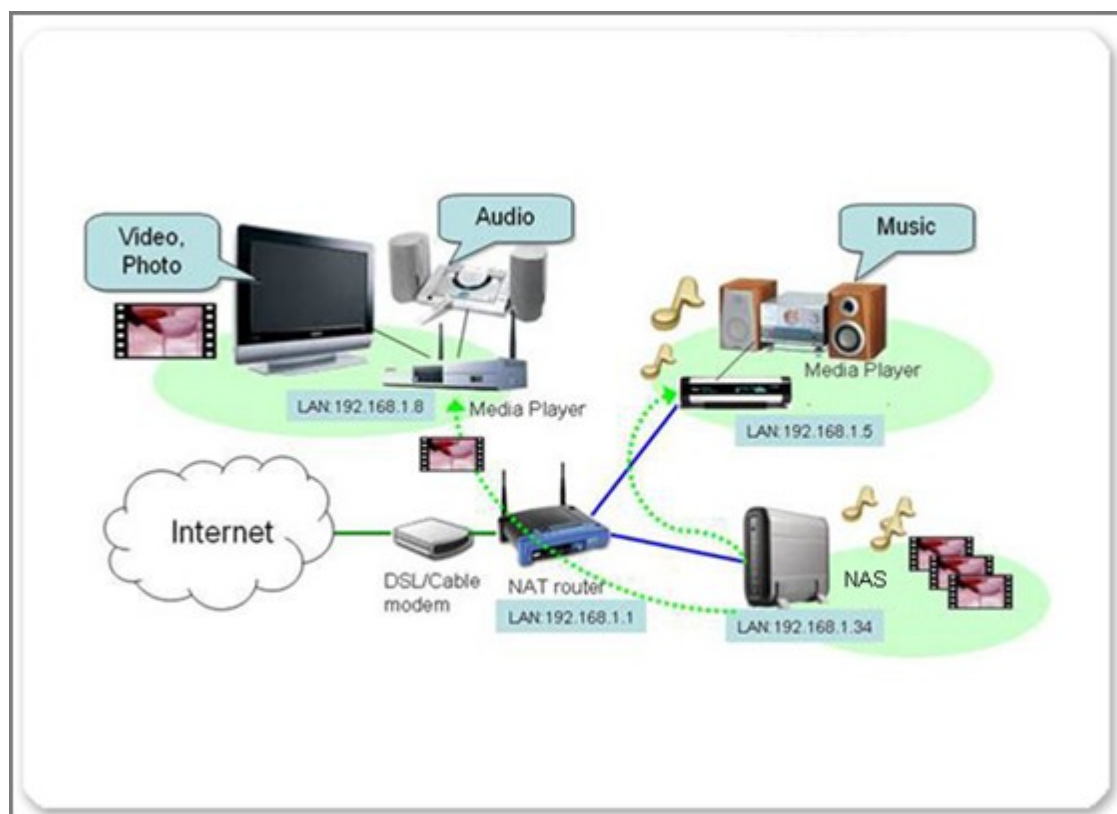
6. 許可された Windows ライブメッセージアカウントでログインして、Windows ライブメッセージを経由し、NAS を対話します。NAS は、イベント発生時に、即時エラー/警告メッセージを許可された連絡先に送信します(英語のみ)。

許可された Windows ライブメッセージャーの連絡先を使用し、次のコマンドを入力して、NAS からリアルタイムでシステム情報を問い合わせることができます。情報は、英語でのみ利用可能です。

コマンド	説明
help	コマンドのオプション一覧が表示されます。
info-cpu	現在の CPU 温度を問い合わせます。
info-sys	現在のシステム温度および冷却ファンのスピードを問い合わせます。
info-model	NAS のモデル番号と問い合わせます。
info-hd	NAS 上のハードディスクの個数を問い合わせます。
info-hd-[hd#]	ハードディスクの現在の温度およびスマートステータス(自己監視および報告技術によるステータス)を問い合わせます。例、info-hd-1
info-vol	NAS 上のディスクボリュームの個数を問い合わせます。
info-vol-[vol#]	ディスクボリュームの情報を問い合わせます。例、info-vol-1 の情報

15. メディアプレーヤー用に**UPnP**メディアサーバをセットアップする

このセクションでは、マルチメディアファイルをローカルネットワーク上のメディアプレーヤーと共して、ご自宅のホームエンターテインメントシステムで再生するためのQNAP NASのDLNAメディアサーバのセットアップ法を説明します。



DLNAメディアサーバの効化

"Applications" (アプリケーション) > "DLNA Media Server" (DLNAメディアサーバ) に移動し、"Enabled DLNA Media Server" (DLNAメディアサーバを有効化する) のチェックボックスにチェックマークを入れ、"Apply" (適用) をクリックします。DLNAメディアサーバ機能はこれで準備完了です。

Home>> Applications>> DLNA Media Server

DLNA Media Server

DLNA Media Server

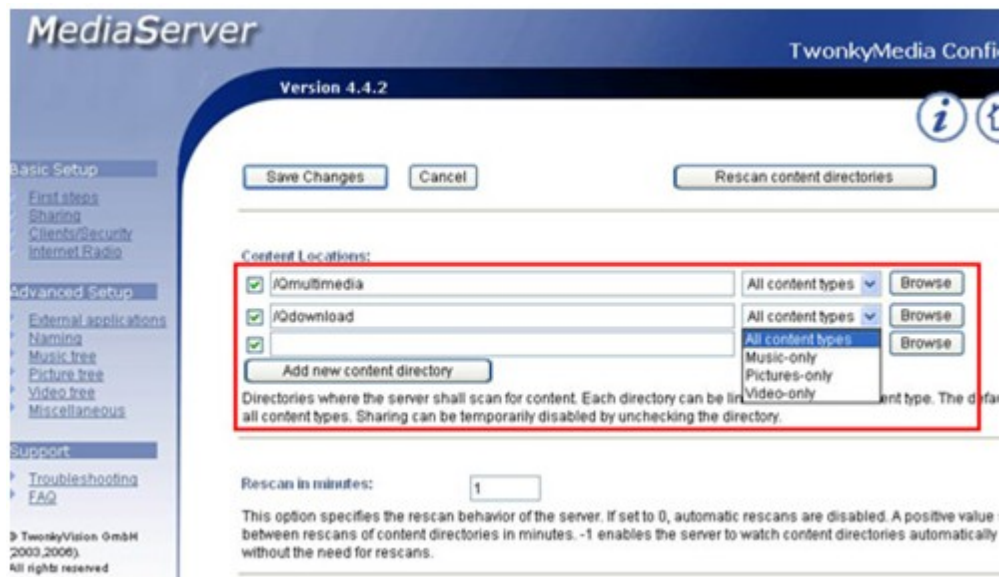
- Enable DLNA Media Server
 - After enabling this service, click the following link to enter DLNA Media Server configuration page.
<http://10.8.13.59:9000/>

APPLY

TwonkyMediaサーバのセットアップ

この例でご紹介するTwonkyMediaのバージョンは、4.4.2です。NASがサポートする実際のバージョンは、予告なく変更されることがあります。

ブラウザから `http://NAS IP:9000/` に移動すると、構成ページに入ります。"Content Locations" (コンテンツの場所)で、ホームネットワーク内で共したいコンテンツの場所を指定することができます。QNAP NAS上のコンテンツのパスを入力します。(デフォルトのフォルダはQmultimediaです。この例では、共/Qdownload (Qダウンロードを追加しています)。



多量のメディアコンテンツを所している際は、閲覧を容易にするために、写真、動画、および音楽のナビゲーションツリーを構成することが出来ます。このパワフルな機能により、TV上でメディアコンテンツを選択するのが容易になります。



構成が完了した際に、Save Changes (更を保存のボタンをクリックして設定を保存するよう確認してください)。

これで、QmultimediaフォルダやMutimediaフォルダあるいはWindowsのマップ済みドライブまたはFTPからNASにメディアプレーヤー用として追加したあらゆるカスタムフォルダへ、mp3、画像、動画を移動することができます。

メディアプレーヤーとの接続をセットアップ

実際の配線について:

この例では、ハイディフィニション(HDメディアプレーヤーをQNAP NASと併用しています。メディアプレーヤーはNASのUPnPメディアサーバによって送信されたストリーム・マルチメディアファイルを受信するのに使用されます。そしてこれらのファイルを換し、TVあるいはHi-Fiシステムにより再生できるようにします。これらのインターフェイスにおけるケーブルの長さの限界により、メディアプレーヤーは通常、TVやHi-Fiシステムの側に配置する必要があります。



TCP/IP設定について:

ご家庭のLANにメディアプレーヤーを接続し、DHCPによりIPアドレスを取得するよう設定します。(ほとんどのメディアプレーヤーはDHCPクライアントとして定義されており、ホームネットワークに接続した際に自動的にIPアドレスを割り当てられます。

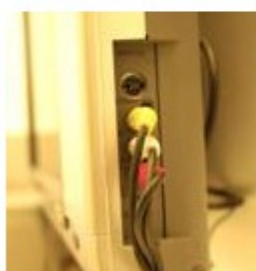
メディアプレーヤーのビデオおよびオーディオ出力をご使用のTVに接続する

複合ビデオ/オーディオ出力、ビデオ出力用のS-ビデオ、S/PDIFデジタルオーディオ、あるいはビデオとオーディオの両方の信号を処理できる最新のHDMIインターフェイスなど、異なるビデオおよびオーディオインターフェイスがメディアプレーヤーに付属している場合があります。



例1 (Buffalo LinkTheaterを使用)

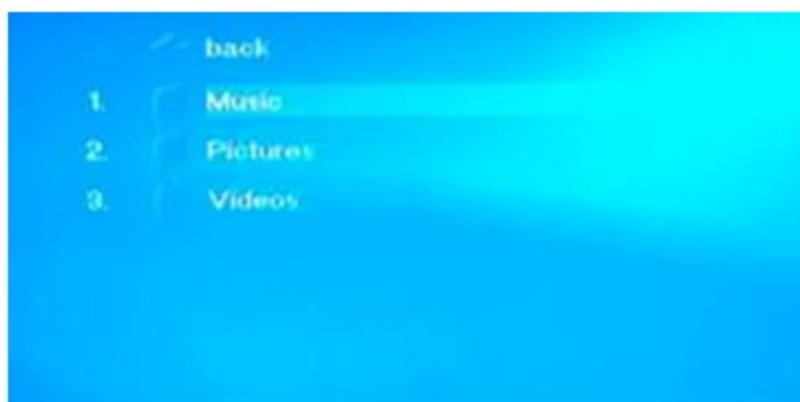
この例では、TVにビデオおよびオーディオ出力ケーブルが接続されています。オーディオ出力をステレオ音響システムに接続することもできます。



メディアプレーヤーに接続されているTVの電源を入れます。メディアプレーヤーのリモートコントロールによりオプションを選択することができます。メディアプレーヤーがネットワーク上のNASを検出します。NASの名前が画面に表示されます。



NASの特定のフォルダにより共されている写真、ビデオ、および音楽を検出することができます。メディアプレーヤーのリモートコントロールを使用してファイルを選択、再生することができます。



例2 (ZyXEL's DMA-1000W)

ZyXEL DMA-1000WはSigmaDesignsのプラットフォームを基礎としたモデルの一つです。



ご使用のTVがHDMIインターフェイス搭載の場合、オーディオとビデオの両方は一本のケーブルだけで処理できます。メディアプレーヤーとTVをHDMIケーブルを使用して接続してください。



TVがHDMIインターフェイスに対応していない場合、ビデオ出力にはS-ビデオケーブルを使用してTVに接続、オーディオ出力には複合左/右オーディオインターフェイスで接続することができます。音楽をより高音質でお楽しみいただくには、ご使用のHi-FiシステムにS/PDIFケーブルを使用して接続してください。



TVの電源をいれ、選択したインターフェイスにあわせTVをスイッチします(例:HDMIあるいはS-ビデオ)。メディアプレーヤーのリモートコントロールをご使用いただき、「Server」(サーバ)のページに入るよう選択します。メディアプレーヤーはNASを自動的に検出します。これで、NASからマルチメディアファイルを再生したり、インターネットラジオを聴くことができます。



16. QNAP NASにてPHPBBフォーラムをホストする

本セクションでは、QNAP NASで人気の高いオープンソースフォーラムソフトウェアのphpBBを使用してフォーラムをホストする方法を説明します。

WebサーバおよびMySQLデータベースサーバの効化

NASの管理ページにログインし、"Network Services" (ネットワークサービス) > "Web Server" (Webサーバ) に移動します。"Enable Web server" (Webサーバを有効化) のオプションを選択し、"Apply" (適用) をクリックします。

ホーム >> ネットワーク サービス >> Webサーバ ようこそ admin | ログアウト 日本語

Webサーバ

WEBサーバ **仮想ホスト**

Webサーバ

この機能を有効にすると、Webネットワーク共有にウェブページファイルをアップロードして、ウェブサイトをパブリッシュできます。

- Webサーバを有効にする ⓘ
 - ポート番号:
 - register_globals: オン オフ
 - セキュリティ接続(SSL)を有効化。
 - ポート番号:
 - WebDAVを有効化
 - ログインページにサービスリンクを表示する

この設定を有効にした後、次のリンクからWebサーバにアクセスできます。

<http://10.8.13.160:80/>

適用

php.iniを編集する

- php.iniを編集する

ファイル"php.ini"は、ウェブサーバのシステムコンフィギュレーションファイルです。この機能を有効にすると、このファイルを編集、アップロードまたは修復できます。システムデフォルト設定の使用を推奨します。

次に、"Applications" (アプリケーション) > "MySQL Server" (MySQLサーバ) と移動し、"Enable MySQL Server" (MySQLサーバを有効化) および"Enable TCP/IP Networking" (TCP/IPネットワークを有効化) のオプションにチェックマークを入れ、"Apply" (適用) をクリックします。

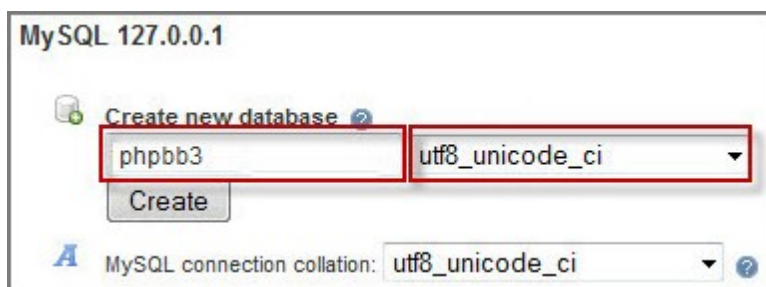
The screenshot shows a web interface for configuring the MySQL server. At the top, there is a breadcrumb trail: "ホーム >> アプリケーション・サーバー >> MySQL サーバ". On the right, it says "ようこそ admin | ログアウト" and "日本語". The main heading is "MySQL サーバ". Below this, there is a section titled "MySQL サーバ" with a description: "MySQLサーバをウェブサイトデータベースとして有効にすることができます。". There are two checked checkboxes: "MySQLサーバを有効にします" (with a sub-note: "このオプションを有効にして、MySQLサーバのリモート接続を許可します。") and "TCP/IPネットワークを有効にします" (with a text input field for "ポート番号" containing "3306"). A note at the bottom of this section says: "注記: phpMyAdminパッケージをインストールし、MySQLサーバを管理することができます。phpMyAdminをインストールするには、[こちら](#) をクリックしてください。". To the right of this section is a blue button labeled "適用". Below this is another section titled "データベースメンテナンス" with a description: "データベースパスワードをリセットするか、データベースを初期化できます。". At the bottom of this section are two blue buttons: "ロートパスワードをリセットします" and "データベースを初期化します".

phpMyAdminにてphpBB3用データベースを作成

phpBB3のインストール前に、そのための新規データベースを作成する必要があります。データベース作成にはphpMyAdminを使用しますので、phpMyAdmin QPKGをNASでまだ実行していない場合は、これをまずインストールしてください。インストール終了後、ブラウザからhttp://NAS-IP/phpMyAdmin/に移動し、ユーザー名およびパスワードを入力してログインします。(デフォルトのユーザー名およびパスワードはroot/adminです)。ご希望の言語を選択することもできます。



ログイン後、"Create new database" (新規データベースを作成)の欄にデータベース名 "phpBB3"を入力します。ご希望のデフォルトのエンコード言語(最も互換性があるのはUTF-8です)を選択し、"Create" (作成)をクリックします。では、次のステップに進みましょう。



phpBB3 Webベースインストールを開始する

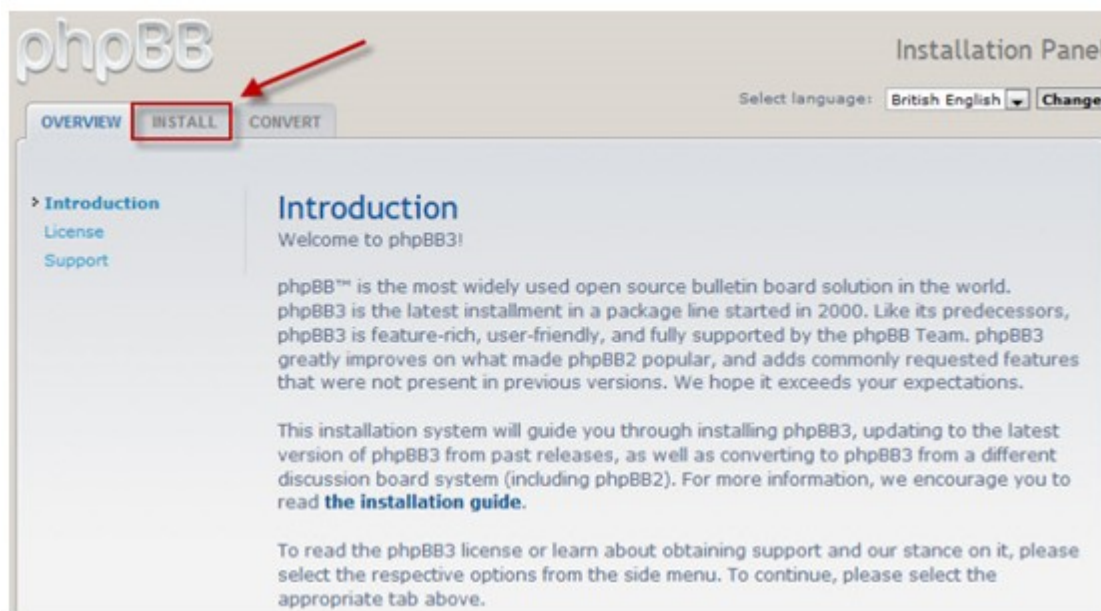
phpBB3ソースアーカイブを <http://www.phpbb.com/downloads/olympus.php> からダウンロードします。[Full Package] (フルパッケージ) をダウンロードし、QwebまたはWeb共有フォルダにzip解凍します。

[Full Package]
Contains entire phpBB3 source and english language files.
Best suited for new installations.

 [Download phpBB 3.0.5 \(zip\)](#)
Size: 2.22 MiB
md5sum: 69c4ec3f1495e518c6b8a5dac8543ab4

 [Download phpBB 3.0.5 \(bz2\)](#)
Size: 1.43 MiB
md5sum: 734b8f9c2390d5cc8c971cfc29da185

ブラウザから <http://NAS-IP/phpBB3> に移動すると、下のようなphpBB3 Webベース インストールページが表示されます。"INSTALL" (インストール) タブをクリックして開始します。



The screenshot shows the phpBB3 Installation Panel. At the top left is the phpBB logo. On the right is the title "Installation Panel" and a language selector set to "British English" with a "Change" button. Below the title are three tabs: "OVERVIEW", "INSTALL" (highlighted with a red box and a red arrow), and "CONVERT". The main content area is titled "Introduction" and contains the following text:

Welcome to phpBB3!

phpBB™ is the most widely used open source bulletin board solution in the world. phpBB3 is the latest installment in a package line started in 2000. Like its predecessors, phpBB3 is feature-rich, user-friendly, and fully supported by the phpBB Team. phpBB3 greatly improves on what made phpBB2 popular, and adds commonly requested features that were not present in previous versions. We hope it exceeds your expectations.

This installation system will guide you through installing phpBB3, updating to the latest version of phpBB3 from past releases, as well as converting to phpBB3 from a different discussion board system (including phpBB2). For more information, we encourage you to read [the installation guide](#).

To read the phpBB3 license or learn about obtaining support and our stance on it, please select the respective options from the side menu. To continue, please select the appropriate tab above.

"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして次のステップに進みます。

phpBB Installation Panel

Select language: British English Change

OVERVIEW **INSTALL** CONVERT

Introduction

- Requirements
- Database settings
- Administrator details
- Configuration file
- Advanced settings
- Create database tables
- Final stage

Welcome to Installation

With this option, it is possible to install phpBB3 onto your server.

In order to proceed, you will need your database settings. If you do not know your database settings, please contact your host and ask for them. You will not be able to continue without them. You need:

- The Database Type - the database you will be using.
- The Database server hostname or DSN - the address of the database server.
- The Database server port - the port of the database server (most of the time this is not needed).
- The Database name - the name of the database on the server.
- The Database username and Database password - the login data to access the database.

Note: if you are installing using SQLite, you should enter the full path to your database file in the DSN field and leave the username and password fields blank. For security reasons, you should make sure that the database file is not stored in a location accessible from the web.

phpBB3 supports the following databases:

- MySQL 3.23 or above (MySQLi supported)
- PostgreSQL 7.3+
- SQLite 2.8.2+
- Firebird 2.0+
- MS SQL Server 2000 or above (directly or via ODBC)
- Oracle

Only those databases supported on your server will be displayed.

Proceed to next step

インストールの互換性ページが表示されます。ほとんどの場合、ご使用のWebサーバは必要条件と互換しているはずで
す。"Start install" (インストールを開始) をクリックして次のステップに進みます。

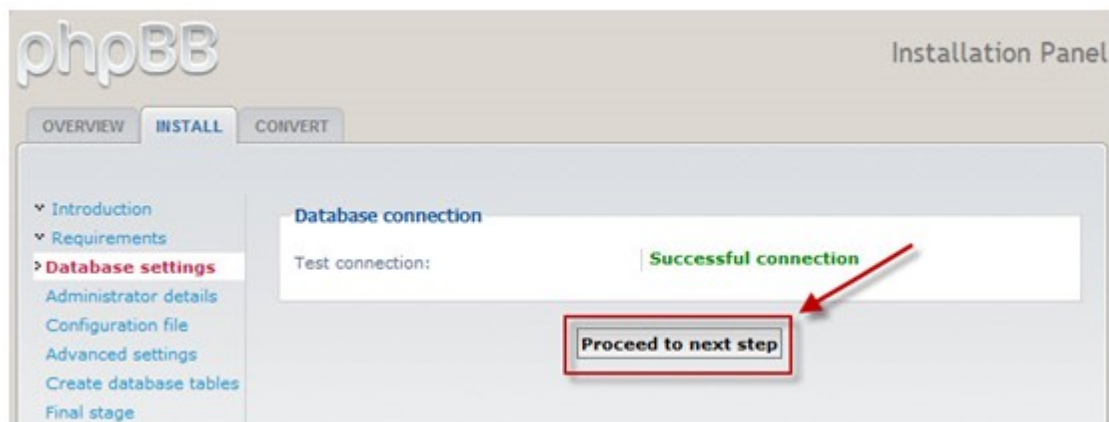
ホスト名、データベース名、データベースのユーザー名およびパスワードなどのMySQL情報を空欄に入力し、"Proceed
to next step" (次のステップに進む) をクリックして続行します。

The screenshot shows the 'phpBB Installation Panel' with the 'INSTALL' tab selected. On the left, a navigation menu includes 'Database settings' which is expanded. The main content area is titled 'Database configuration' and contains the following fields:

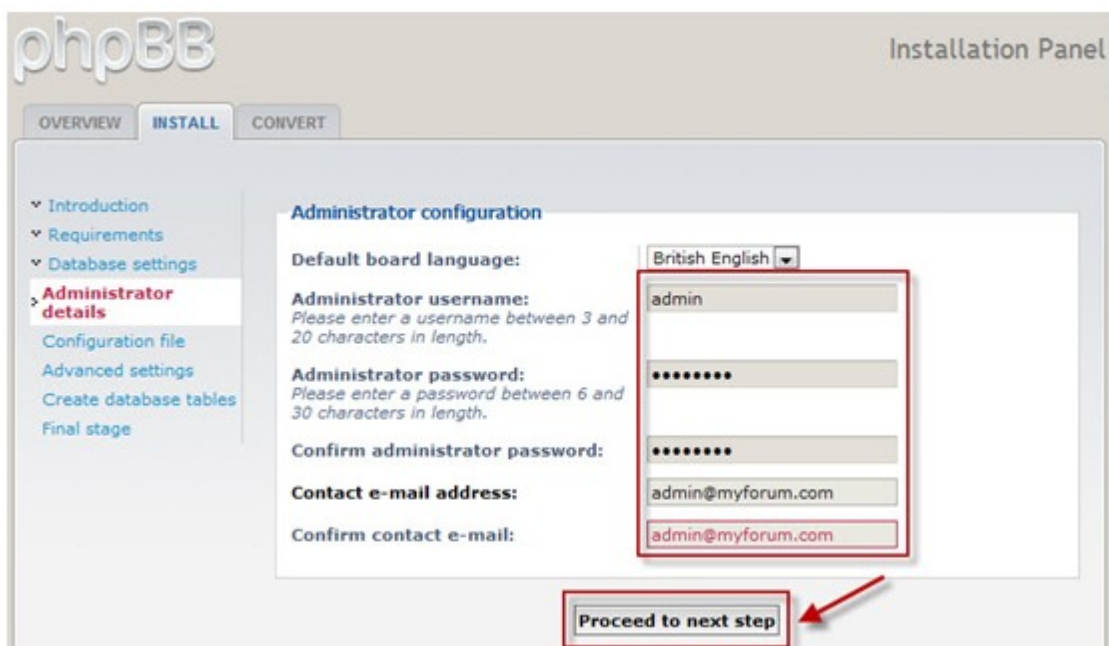
- Database type:** A dropdown menu set to 'MySQL'.
- Database server hostname or DSN:** A text input field containing '127.0.0.1'. Below it is a note: 'DSN stands for Data Source Name and is relevant only for ODBC installs.'
- Database server port:** An empty text input field. Below it is a note: 'Leave this blank unless you know the server operates on a non-standard port.'
- Database name:** A text input field containing 'phpbb3'.
- Database username:** A text input field containing 'root'.
- Database password:** A text input field containing six dots '.....'.
- Prefix for tables in database:** A text input field containing 'phpbb_'.

At the bottom of the form, a button labeled 'Proceed to next step' is highlighted with a red rectangular box, and a red arrow points to it from the right.

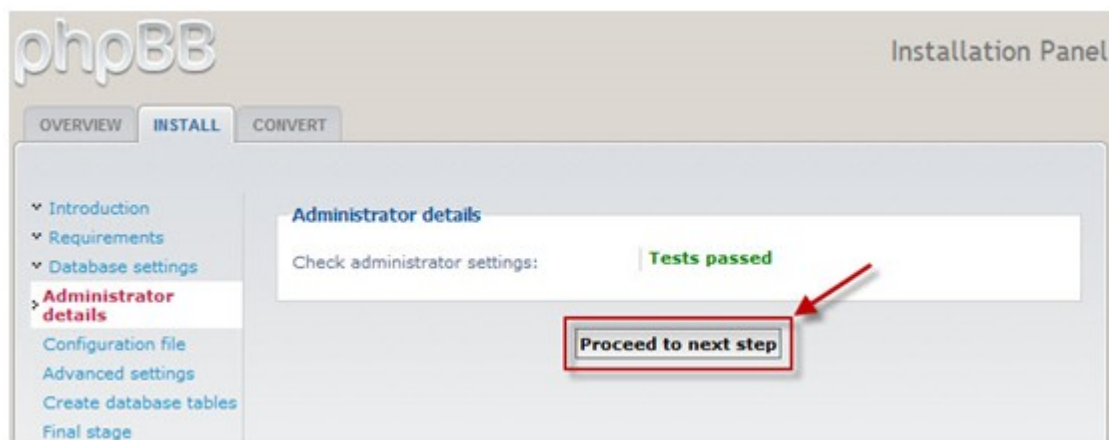
MySQLサーバが実行され、先に作成したデータベース "phpBB3" が正しく存在している場合、"Successful connection" (接続成功) と表示されます。"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして次のステップに進みます。



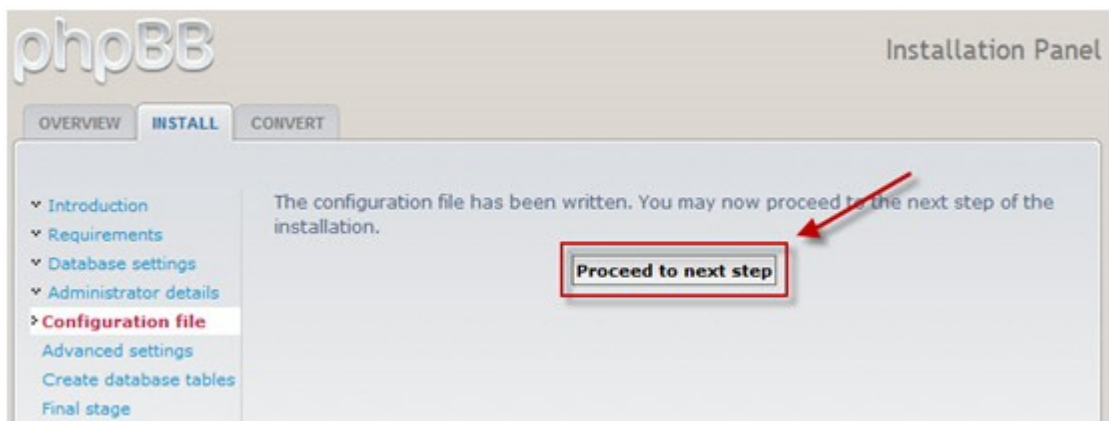
phpBB3管理者ユーザー名およびパスワード、また有効なメールアドレスを指定します。その後、"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックします。



"Tests passed" (テスト成功) と表示されたら、"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして続行します。



phpBB3はここで構成ファイル(config.php) にすべての設定情報を書き込みます。"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして次のステップに進みます。



ご希望にあわせ詳細を指定し、その後"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして続行します。

The screenshot shows the phpBB Installation Panel with the 'Advanced settings' section active. The 'E-mail settings' section includes options for enabling board-wide e-mails, using an SMTP server, and entering SMTP details. The 'Server URL settings' section includes options for cookie security, forcing server URL settings, and entering server protocol, domain name, server port, and script path. A red arrow points to the 'Proceed to next step' button at the bottom of the form.

phpBB Installation Panel

OVERVIEW INSTALL CONVERT

Introduction
Requirements
Database settings
Administrator details
Configuration file
Advanced settings
Create database tables
Final stage

The settings on this page are only necessary to set if you know that you require something different from the default. If you are unsure, just proceed to the next page, as these settings can be altered from the Administration Control Panel later.

E-mail settings

Enable board-wide e-mails: Enabled Disabled
If this is set to disabled no e-mails will be sent by the board at all.

Use SMTP server for e-mail: Yes No
Select "Yes" if you want or have to send e-mail via a named server instead of the local mail function.

SMTP server address:

Authentication method for SMTP:

SMTP username:

SMTP password:

Server URL settings

Cookie secure: Enabled Disabled
If your server is running via SSL set this to enabled else leave as disabled. Having this enabled and not running via SSL will result in server errors during redirects.

Force server URL settings: Yes No
If set to yes the server settings defined here will be used in favour of the automatically determined values.

Server protocol:
This is used as the server protocol if these settings are forced. If empty or not forced the protocol is determined by the cookie secure settings (http:// or https://).

Domain name:
The domain name this board runs from (for example: www.example.com).

Server port:
The port your server is running on, usually 80, only change if different.

Script path:
The path where phpBB is located relative to the domain name, e.g. /phpBB3.

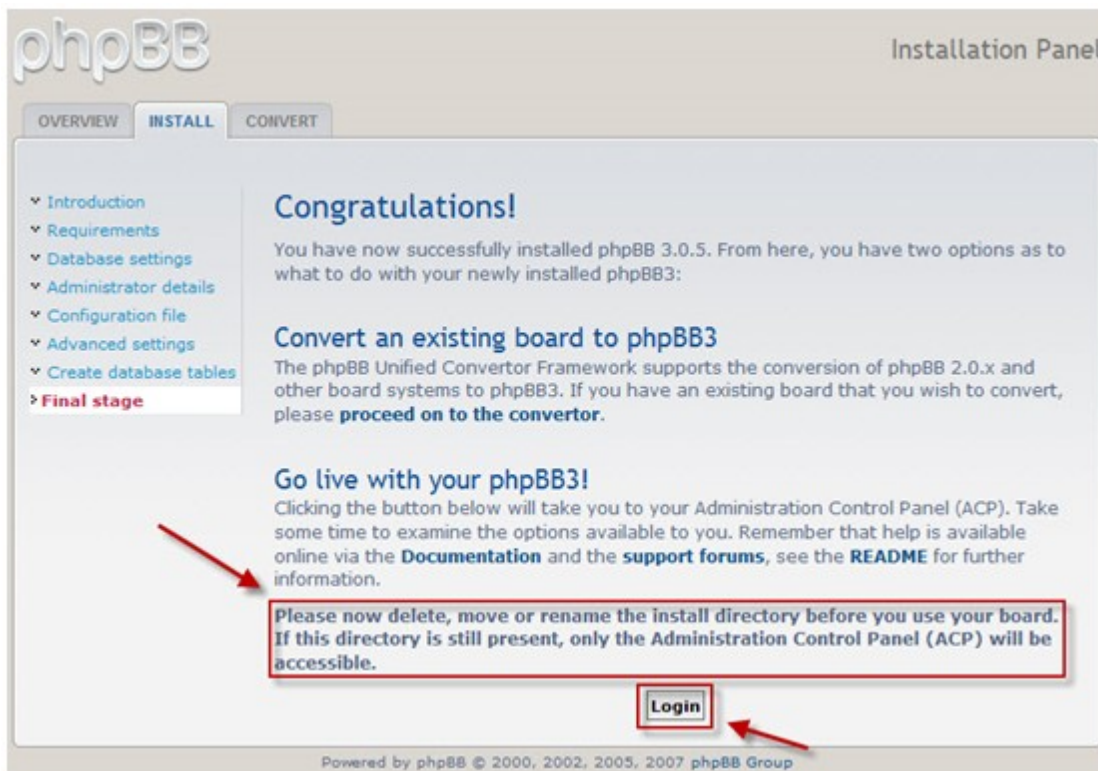
Proceed to next step

Powered by phpBB © 2000, 2002, 2005, 2007 phpBB Group

phpBB3はすべてのデータベーステーブルおよびいくつかの初期データをここで作成します。"Proceed to next step" (次のステップに進む) をクリックして次のステップに進みます。



最後の手順として一つだけ残っていることは、phpBB3フォルダ内のインストールフォルダを削除することです。削除後は、"Login" (ログイン) をクリックすればphpBB3の管理ページに入ることができます。



これがphpBB3のAdministration Control Panel (管理コントロールパネル) です。すべての管理タスクをここで行うことができます。

phpBB Administration Control Panel
Admin index • Board index

GENERAL FORUMS POSTING USERS AND GROUPS PERMISSIONS STYLES MAINTENANCE SYSTEM

You are logged in as: **admin** [Logout]
[ACP Logout]

WELCOME TO phpBB
Thank you for choosing phpBB as your board solution. This screen will give you a quick overview of all the various statistics of your board. The links on the left hand side of this screen allow you to control every aspect of your board experience. Each page will have instructions on how to use the tools.

BOARD STATISTICS

STATISTIC	VALUE	STATISTIC	VALUE
Number of posts:	1	Posts per day:	1
Number of topics:	1	Topics per day:	1
Number of users:	1	Users per day:	1
Number of attachments:	0	Attachments per day:	0.00
Board started:	Tue Jun 30, 2009 4:14 pm	Avatar directory size:	0 Bytes
Database size:	262.62 KIB	Size of posted attachments:	0 Bytes
Database server:	MySQL 5.0.67-log	GZip compression:	Off
Board version:	3.0.5	Orphan attachments:	0

Resynchronise or reset statistics

Reset most users ever online

Reset board's start date

Resynchronise statistics
Recalculates the total number of posts, topics, users and files.

Resynchronise post counts
Only existing posts will be taken into consideration. Pruned posts will not be counted.

Resynchronise dotted topics
First unmarks all topics and then correctly marks topics that have seen any activity during the past six months.

Purge the cache
Purge all cache related items, this includes any cached template files or queries.

Logged administrator actions
This gives an overview of the last five actions carried out by board administrators. A full copy of the log can be viewed from the appropriate menu item or following the link below.

» View administrator log

USERNAME	USER IP	TIME	ACTION
admin	192.168.1.2	Tue Jun 30, 2009 4:14 pm	Installed phpBB 3.0.5

Inactive users
This is a list of the last 10 registered users who have inactive accounts. A full list is available from the appropriate menu item or by following the link below from where you can activate, delete or remind (by sending an e-mail) these users if you wish.

これが新しく設置したphpBB3フォーラムの最初のページとなります。オンラインコミュニティを作り上げるため、フォーラム招待状の送信を始めましょう。

phpBB yourdomain.com
creating communities A short text to describe your forum



Search... Search
Advanced search

[Board index](#) ⌵ ⌶

[User Control Panel](#) (0 new messages) • [View your posts](#) [FAQ](#) [Members](#) [Logout](#) [admin]

It is currently Tue Jun 30, 2009 4:17 pm Last visit was: Tue Jun 30, 2009 4:14 pm
[[Moderator Control Panel](#)]

[View unanswered posts](#) • [View new posts](#) • [View active topics](#) [Mark forums read](#)

YOUR FIRST CATEGORY	TOPICS	POSTS	LAST POST
 Your first forum Description of your first forum.	1	1	by admin  Tue Jun 30, 2009 4:14 pm

WHO IS ONLINE

In total there are **2** users online :: 1 registered, 0 hidden and 1 guest (based on users active over the past 5 minutes)
Most users ever online was **2** on Tue Jun 30, 2009 4:17 pm

Registered users: **admin**
Legend: *Administrators*, *Global moderators*

STATISTICS

Total posts **1** • Total topics **1** • Total members **1** • Our newest member **admin**

[Board index](#) [The team](#) • [Delete all board cookies](#) • All times are UTC

Powered by phpBB © 2000, 2002, 2005, 2007 phpBB Group
Administration Control Panel

17. NAS メンテナンス

シャットダウン/再起動 [707](#)

システム温度保護 [710](#)

17.1 シャットダウン/再起動

電源ボタンによって

電源ボタンを1.5秒間*押し続けてNASの電源をオフにします。NASを強制的に停止するには、電源ボタンを5秒以上押し続けます。NASは1度ビープ音を鳴らして、直ちに停止します。

TS-109I/II、TS-109 Pro I/II、TS-209 I/II、TS-209 Pro I/II、TS-409/TS-409 Pro/TS-409Uの電源をオフにするには、電源ボタンを4秒間押し続けます。

Web 管理者インターフェースによって

NASに「admin」としてログインします。右上のログイン名の隣りの三角形のアイコンをクリックし、再起動を選択するか、NASを停止します。



「システム管理」>「電源管理」でNASを再起動したり電源をオフにしたりすることもできます。

パワーマネジメント

再起動/シャットダウン

システムの再起動/シャットダウンを直ちに実行する

[再起動](#)[シャットダウン](#)

Wake-on-LANの設定

- 有効にする
 無効にする

AC電源が復旧すると

- サーバーを前の電源オンまたは電源オフステータスに戻します。
 サーバーを自動的にオンにします。
 サーバーはオフの状態を維持します。

電源オン/電源オフの再起動スケジュールを設定

- スケジュールを有効にする

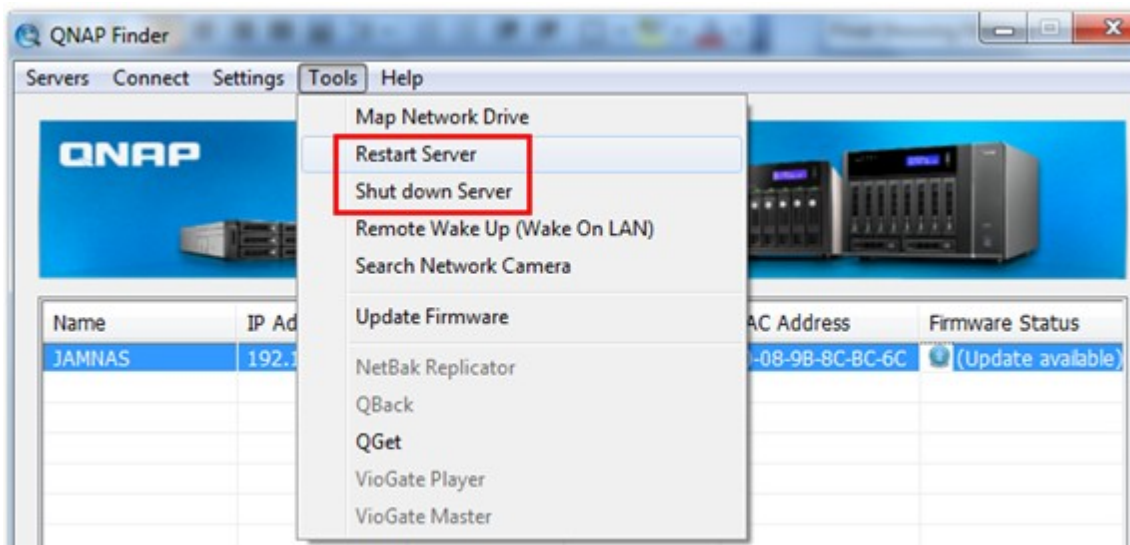
- レプリケーションジョブを実行中の際は、再起動/シャットダウンスケジュールを延期します。

シャットダウン ▼ 毎日 ▼ 7 ▼ 0 ▼ + -

[適用](#)

Finderによって

Finderを実行します。NAS名を選択します。「ツール」をクリックしてNASの再起動または電源オフを選択します（管理者のアクセスが必要です）。



17.2 システム温度保護

以下の条件のうちいずれかが発生した場合、システムはハードウェア保護のため自動的にシャットダウンします:

- システム温度が70°C (158°F)を超える
- CPU温度が85°C (185°F)を超える
- ハードドライブ温度が65°C (149°F)を超える*

* NASのいずれかのハードドライブの温度が65°C (149°F)を超えた場合、NASはスタンバイ時間 (「システム管理」 > 「ハードウェア」で設定) まで待ち、その後10分間経過すると、自動的にシャットダウンします。例えば、休止状態になってから5分間後にスタンバイモードになるようにNASを設定すると、いずれかのハードドライブの温度が継続して65°C (149°F)を超える場合、NASは15分 (5 + 10分) 後に自動的にシャットダウンします。

18. GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those

domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

'This License' refers to version 3 of the GNU General Public License.

'Copyright' also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

'The Program' refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as 'you'.

'Licensees' and 'recipients' may be individuals or organizations.

To 'modify' a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a 'modified version' of the earlier work or a work 'based on' the earlier work.

A 'covered work' means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To 'propagate' a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy.

Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To 'convey' a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays 'Appropriate Legal Notices' to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The 'source code' for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. 'Object code' means any non-source form of a work.

A 'Standard Interface' means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers

working in that language.

The 'System Libraries' of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A 'Major Component', in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The 'Corresponding Source' for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the

extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
- b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to 'keep intact all notices'.
- c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
- d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an 'aggregate' if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

- a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
- b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used

for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.

c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.

d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A 'User Product' is either (1) a 'consumer product', which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, 'normally used' refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

'Installation Information' for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

'Additional permissions' are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

- a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
- b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
- c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
- d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
- e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
- f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered 'further restrictions' within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt

otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An 'entity transaction' is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A 'contributor' is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's 'contributor version'.

A contributor's 'essential patent claims' are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already

acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, 'control' includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a 'patent license' is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To 'grant' such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. 'Knowingly relying' means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is 'discriminatory' if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy

simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License 'or any later version' applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR

CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS